NTT DoCoMo

取扱説明書

FOMA® SH702iD ’06.4



i mode®

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA SH702iD」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなどの機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA SH702iDは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただけます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（☞P.38、P.40）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☞P.44、P.46）
3. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう（☞P.24）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☞P.27）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（☞P.30）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☞P.47）

- この『FOMA SH702iD取扱説明書』の本文中においては、「FOMA SH702iD」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて：☞P.278
-
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しています。

索引から
☞P.406

FOMA SH702iDのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から
☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから
☞表紙

表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

目次から
☞P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から
☞P.8

新機能や便利な機能など、FOMA SH702iDの特徴的な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー一覧から
☞P.360

FOMA SH702iDのメニューに表示されるメニューを一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから
☞P.412

基本的な機能について簡潔に説明しています。切り離して外出の際にお持ちいただけます。

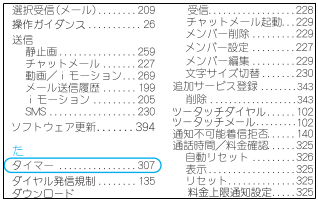
索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引き方をタイマー機能を例に説明します。
（本文中のページとは内容が異なります。）

索引から

☞P.406

FOMA SH702iDのディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。





P.307
「タイマー」の
説明ページへ

かんたん検索から

☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

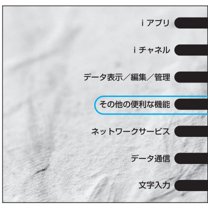

こんなこともできます

P.307
「タイマー」の
説明ページへ

表紙インデックスから

☞表紙

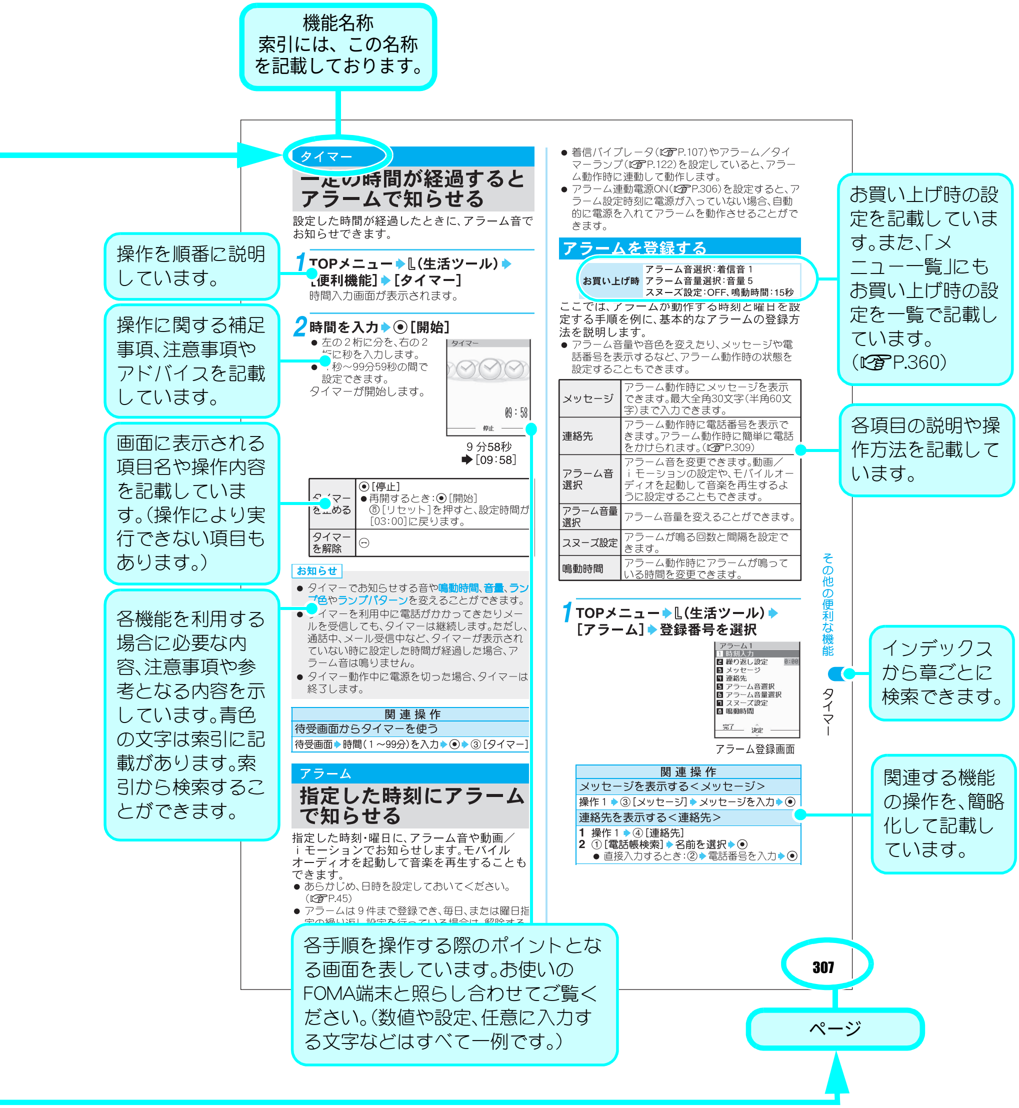
「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。




その他の便利な機能

P.307「タイマー」の説明ページへ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）



※本文中のページとは内容が異なります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定およびメニューのボタン操作について：☞P.360～P.364「メニュー一覧」
- 本書ではminiSDメモリーカードを、「miniSDメモリーカード」または「miniSD」と記載しています。

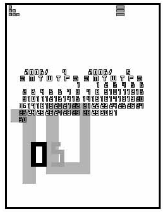
ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

画面表示を変えたい／知りたい



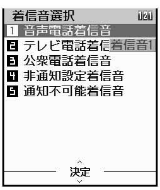
通話に便利な機能を知りたい



出られない電話にこうしたい

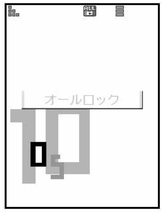


メロディやイルミネーションを変えたい

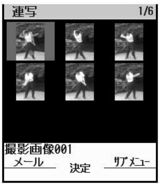


＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

安心して電話を使いたい



カメラを使いこなしたい



メールを使いこなしたい



こんなこともできます



よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとしてまとめています。(☞P.412)

目次

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

FOMA SH702iDの特徴

FOMAとは、第３世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただける他、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモード（月額使用料：有料）

１画面最大100Kバイトの表示に対応。コンテンツの持つ豊富な情報をより正確に再現できるようになりました。☞P.164

ｉショット対応 ☞P.197

ｉモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画や、ｉモードサイトなどから取得したｉモーションをｉモードメールに添付して送れます。☞P.213

大容量Flash対応

大容量Flashに対応。よりリッチな表現が楽しめるようになりました。Flash画像を待受画面に設定することもできます。☞P.170

ｉモードメール

最大500Kバイトの静止画／動画を添付できます。☞P.194

ｉモーション対応

ｉモードサイトなどから映像や音楽を取得して楽しむことができます。保存したｉモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定することもできます。☞P.190

チャットメール対応 ☞P.227

ｉアプリDX対応

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみ方が広がります。☞P.166

フェイスtoフェイスコミュニケーション

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話をすることができます。メインカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることができたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させることが可能なキャラ電にも対応しています。また通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。初期設定では相手の声がスピーカから聞こえるようになっているのですぐに会話を始めることができます。☞P.70

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。☞P.201

あんしん設定

各種ロック機能やセキュリティの設定で、FOMA端末を安心してお使いいただけます。

- 各種ロック機能 ☞P.131
- シークレットモード ☞P.136
- PIMロック ☞P.134
- 発着信履歴表示 ☞P.136

豊富なネットワークサービス

- デュアルネットワークサービス（月額使用料：有料）☞P.339
- 留守番電話サービス（月額使用料：有料）☞P.332
- キャッチホン（月額使用料：有料）☞P.334
- SMS（ショートメッセージ）☞P.230
- 転送でんわサービス☞P.335

有効画素数131万画素カメラ

有効画素数131万画素CMOSのカメラ搭載

（記録画素数：123万画素（メインカメラ）、10万画素（サブカメラ））
デジタルカメラで静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、有効画素数131万画素のCMOS、11万画素のCMOSサブカメラにより、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。☞P.144

多彩な画像編集（スピーディラボ）

カメラ撮影した静止画は待受画面に利用したり、編集前と編集後の静止画を見比べながら画像補正、フェイスエフェクトなどの編集ができます。また、エフェクト挿入、サイズ変換、テロップ編集、アフレコ編集、静止画キャプチャ、映像カッター（メール用／手動）などの動画編集が可能です。☞P.260、P.270

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

多彩な機能

アクティブマーカー

直前に利用した機能やファイルを簡単な操作で呼び出すことができます。☞P.304

文字やバーコードの読み取りが可能

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、バーコード(JANコード、QRコード)などをカメラで読み取ることができます。読み取った文字を電話帳に登録したり、読み取った画像やメロディを再生できます。☞P.157、P.159

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用して他の赤外線機能を搭載したFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビなどの赤外線リモコンに対応した機器に利用することもできます。☞P.290、P.293

マルチアクセス

音声電話とパケット通信(ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信)の複数の通信を同時にご利用いただけます。また、複数のメニューを同時に使用できる「マルチアシスタント」にも対応しています。☞P.302、P.377

サポートブック

FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用できます。
☞P.34、P.297

メロディ（64和音：PCM音源）

ダウンロードしたメロディや、FOMA端末で記録した映像や音声なども着信音としてご利用いただけます。
☞P.104

多彩なマナーモード

TPOに合わせて、通常マナーモード、サイレントマナーモード、オリジナルマナーモードのいずれかのマナーモードが設定できます。☞P.109

モードイルミ

１日の生活シーンに合わせて、お好みのイルミネーションを指定した時間帯に点滅させることができます。
☞P.305

着モーション対応

ｉモードのサイトなどからｉモーションをFOMA端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけでなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。☞P.104、P.114

ボイスレコーダー

マイクを使って音声を録音できます。32MバイトのminiSDメモリーカードを利用した場合、最大約５時間まで録音できます。☞P.294

ズームメニュー

ズームメニューを使うと、大きい文字表示で電話機能、メール機能、ｉモード、カメラ機能の基本的な操作や、簡単な設定ができます。☞P.32

自動時刻補正

FOMA端末の電源を入れたときなどに、ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。☞P.45

ブックリーダー

小説や図鑑、英和辞書などの電子書籍／電子辞書を購入してminiSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で電子書籍を読んだり、単語を調べたりすることができます。☞P.295

ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことで、見ることができるチャネル一覧を表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash(☞P.170)で作られたリッチな詳細情報を取得できます。またｉチャネルをお申し込みでない場合でも一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
☞P.252
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

モバイルオーディオ

miniSDメモリーカードに保存したAAC形式やSD-Audio規格に準拠した音楽データを、FOMA端末で再生することができます。☞P.381

パソコンとの連携

miniSDメモリーカード対応

コンパクトなminiSDメモリーカードに対応。FOMA端末とminiSDメモリーカードとの間で、データのやりとりをしたり、パソコンとの連携が可能です。miniSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影&再生にも対応しています。外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生することができます。(一部条件下では再生できない場合があります。)☞P.150、P.278、P.380

データ通信に関する詳細は添付のCD-ROM内に記載されています。

FOMA SH702iDを使いこなす！

ここでは、FOMA SH702iDの機能を紹介します。

テレビ電話 ☞P.70

■ サブカメラ使用でフェイスtoフェイスコミュニケーション

お互いの顔を見ながら会話できます。

■ メインカメラ使用でライブ中継

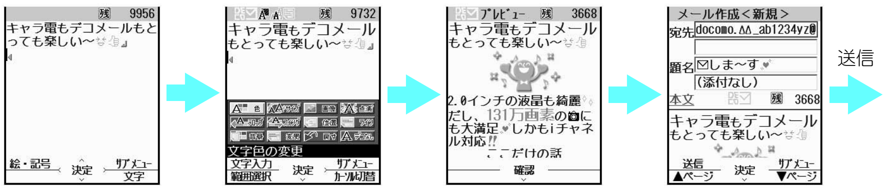
メインカメラとマイクを使うと、周囲の映像＋音声をリアルタイムで相手の方にお届けできます。



デコメール ☞P.201

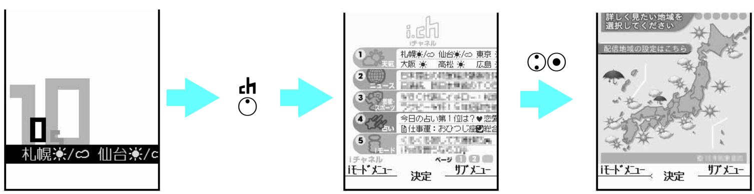
ｉモードメール本文の文字の大きさや背景の色を変えたり、画像を貼り付けたりして装飾したデコメールを簡単に作成できます。

本文入力画面　パレット表示画面　プレビュー画面　送信画面



ｉチャネル ☞P.252

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。



モードイルミ

☞ P.305

１日の生活シーンに合わせて、お好みのイルミネーションを指定した時間帯に点滅させることができます。

スケジュールアラーム、ToDoアラーム、アラーム

☞ P.308、P.313

アラーム時刻にモバイルオーディオを起動して、お好みの音楽を再生することができます。

省電力設定／ユーザ設定

☞ P.115

節約モードに設定したり、ユーザ設定でディスプレイの表示を設定すると、バッテリーの消費を抑え、使用時間をより長くできます。

サポートブック

☞ P.34

FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用できます。

多彩なマナーモード

☞ P.109

周囲の状況に合わせて、通常マナーモード、サイレントマナーモード、オリジナルマナーモードのいずれかのマナーモードを設定できます。

Gガイド番組表リモコン

☞ P.243

テレビ番組表とAVリモコン機能が１つになった便利アプリです。いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Ｇコード®などを知ることができます。また、テレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります。）

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。



安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ(充電器含む)・FOMAカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ(充電器含む)は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH07
- 卓上ホルダ SH07
- FOMA ACアダプタ01
- FOMA DCアダプタ01

※ その他、互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠危険

濡らさないでください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

分解禁止

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。

禁止

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

指示

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

禁止

ショートによる火災や故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリのくり返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

指示

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モード（ドライブモード）または留守番電話サービスをご利用ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能（自動電源ON）が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

禁止

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与えることがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

禁止

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

指示

難聴になる可能性があります。

⚠注意

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

指示

けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

指示

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

禁止

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

禁止 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止 火災、感電、故障の原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示 下記の箇所に金属（クロムメッキ）を使用しています。
ｉモードボタン、カメラボタン、イヤホンマイク端子、外部接続端子、充電端子。
リアカバーを開けると金属があります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

火の中に投下しないでください。

禁止 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

禁止 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。

指示 失明などの原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

禁止 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

禁止 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

指示 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

指示 皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

指示 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

次ページへ続く

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ(充電器含む)の取り扱いについて

⚠警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

禁止

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。

禁止

感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。

禁止

落雷、感電の原因となります。

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

禁止

感電、発熱、火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指定の電源、電圧で使用してください。

指示

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
ACアダプタ:AC100V(国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V・24V(マイナスアース車専用)

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電、発煙、火災の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止

火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

指示

感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

電源プラグを抜く　感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。

禁止　感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

指示　コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示　電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、FOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

指示　電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示　電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

FOMAカード（ＩＣ部分）を取り外す際にご注意ください。

指示　手や指を傷付ける可能性があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 充電端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障の原因となります。
- ストラップなどを挟んだままFOMA端末を折りたたまないでください。故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。FOMA端末は周囲温度５℃～35℃の範囲でご使用ください。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- はじめてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（５℃～35℃）の場所で行ってください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度（５℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオの近く
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- 極端な高温・低温は避けてください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダーライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ＩＣを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「ｉアプリサーチ」、「ｉエリア」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール」、「着モーション」、「ｉショット」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉアプリDX」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「ｉアニメ」、「ショートメール」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「eビリング」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「トクだねニュース便」、「My DoCoMo」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「V ライブ」、「クイックキャスト」、「セキュリティスキャン」、「musea」、「sigmarion」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltdの商標または登録商標です。© 1998-2006 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFrontおよび NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- AVE-TCP® は、株式会社ACCESSの日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc. の米国内外における商標または登録商標です。
- miniSD™ miniSD™は、SDアソシエーションの商標です。
- Powered by JBlend™ © 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび LC FONT® は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- 『Gガイドモバイル』およびそのロゴ、『Gガイド』およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- DiMAGIC VX DiMAGIC Virtualizer X®、DiMAGIC HEADPHONE DiMAGIC Headphone®は、DiMAGIC社の登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

その他

- 本製品は、インターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

本製品の一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、簡易ウィンドウマネージャ機能ソフトウェアとして、株式会社ACCESSのWAVEを搭載しています。

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - ■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複号すること。
  - ■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
- その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA,L.L.C.にお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA,L.L.C.より許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA,L.L.C.にお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び/又は(ｉｉ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び/又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 下記の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501	5,506,865
5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196
5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754	5,414,796	5,657,420
5,416,797	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

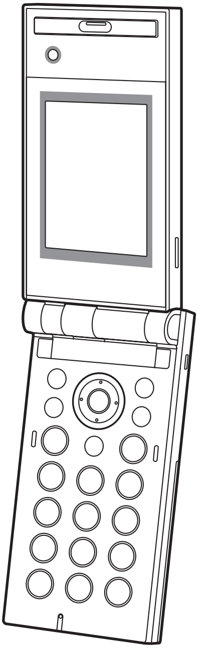
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。

- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標または登録商標です。
- 本製品は、DiMAGIC社の仮想音源処理技術 DiMAGIC Virtualizer X®、ヘッドホンサラウンド再生技術 DiMAGIC Headphone® を搭載しています。
- 「CP8 PATENT」
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。.
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
- 本書では、Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000 と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

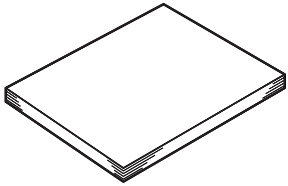
■ 以下のデザインに関する著作権は松永真デザイン事務所が有しています。
・お知らせウィンドウアニメ:「お知らせアニメ1」　・電源ON画面
・静止画:「待受画面1」「待受画面2」「待受画面3」「待受画面4」「待受画面5」「待受画面6」「待受画面7」「待受画面8」「待受画面9」「待受画面10」
・GIFアニメーション:「待受画面12」

本体付属品および主なオプション品について

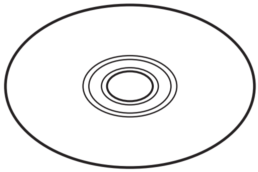
本体付属品



FOMA SH702iD本体
（保証書・リアカバーSH08含む）

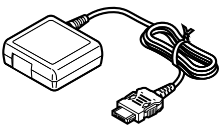


FOMA SH702iD取扱説明書（本書）
※P.412にクイックマニュアルを
記載しております。

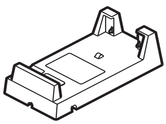


FOMA SH702iD用CD-ROM
※PDF版「データ通信マニュアル」
を収録しています。

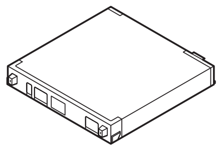
主なオプション品



FOMA ACアダプタ01
（保証書・取扱説明書付き）



卓上ホルダ SH07
（取扱説明書付き）

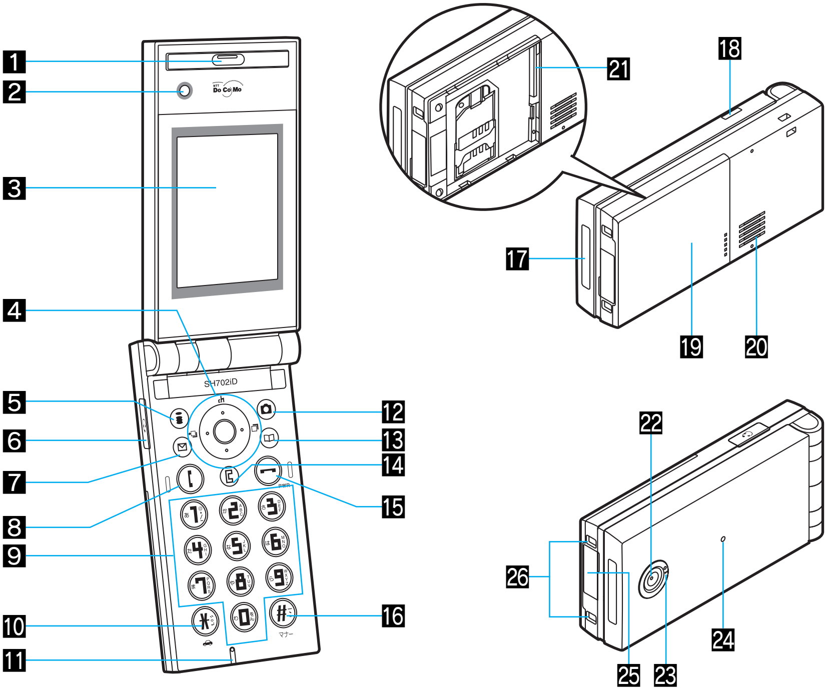


電池パック SH07
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品について：☞P.378

ご使用前の確認

各部の名称と機能

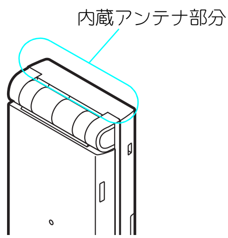


※表面のデザインが異なる場合があります。

※本書の中では、FOMA端末のダイヤル／文字入力ボタン（①～⓪、㊀、#）表記を、実際とは異なったデザイン（①～⓪、㊀、#）で記載しております。

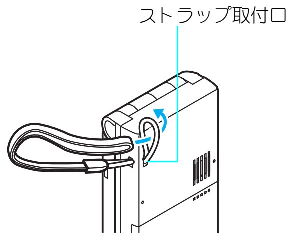
内蔵アンテナ部分について

FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。



市販のストラップを取り付けるとき

FOMA端末を閉じた状態で、ストラップをストラップ取付口に通し、反対側を輪になっているところへ通します。



1 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 待受中に伝言メモ／音声メモの録音内容がここから聞こえます。

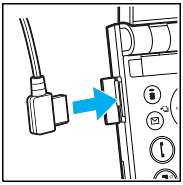
2 サブカメラ
自分を撮影（☞P.144）したり、テレビ電話時（☞P.70）に自分側の映像を相手に送信するときに使用します。

3 ディスプレイ（☞P.27）

4 マルチガイドボタン（4方向ボタン＆決定ボタン）（☞P.26）
TOPメニュー、リダイヤル、着信履歴、iチャネル、アクティブマーカー／ショートカットメニューを表示・選択するときや操作を実行・決定するときに押します。

5 iモード／操作ガイダンス用ボタン
- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します。（☞P.71、P.74）
- iモードを利用するときに押します。（☞P.164）
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.26）
- 1秒以上押すと、iアプリ画面が表示されます。（☞P.240）

6 イヤホンマイク端子
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。（☞P.327）
イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。



7 メール／A／aボタン
- メール機能を利用するときに押します。（☞P.198）
- 画面左下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.26）
- 文字を入力中に大文字／小文字を切り替えます。（☞P.353）
- 文字入力画面で1秒以上押すと、定型文挿入画面が表示されます。（☞P.354）
- 2回押すとiモード問い合わせをします。（☞P.210）

8 開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。
- 音声電話の通話中に1秒以上押すとハンズフリーに切り替わります。（☞P.48）
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーを切り替えます。（☞P.80）

9 ダイヤル／文字入力ボタン
- 電話番号を入力するときに押します。（☞P.48）
- 文字を入力するときに押します。（☞P.350）

10 ＊／改行／公共モード（ドライブモード）ボタン
- ［＊］や、［゛］（濁点）、［゜］（半濁点）を入力したり改行するときに押します。（☞P.351）
- 1秒以上押すと、公共モード（ドライブモード）を設定／解除します。（☞P.62）

11 送話口
自分の声をここから伝えます。

12 カメラ／操作ガイダンス用ボタン
- カメラモードを利用するときに押します。（☞P.147）
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.26）
- 1秒以上押すと、データBOX画面を表示します。（☞P.256）

13 電話帳ボタン
- 電話帳を利用するときに押します。（☞P.85）
- 画面右下の操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.26）
- 入力する文字の種類を変更するときに押します。（☞P.352）
- 文字入力画面で1秒以上押すとインターネットに関連した定型文を利用できます。（☞P.354）

14 クリア／iアプリ待受画面ボタン
- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います。（☞P.352）
- 前のメニューやページに戻るときに押します。
- iアプリ待受画面起動：iアプリ待受画面を設定しているときに押すと、iアプリが起動します。（☞P.246）
- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像を設定しているときに押すと、再生／一時停止できます。iモーションを設定しているときに押すと、再生／停止できます。

15 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します。（☞P.44）
- 通話やiモードを終了するときや、着信時の応答を保留するときに押します。（☞P.60）

16 #／マナーモード／カメラ切替ボタン
- ［#］や［ー］（長音）、［、］（読点）、［。］（句点）、［!］（感嘆符）、［?］（疑問符）、［・］（中点）を入力するときに押します。
- 1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します。（☞P.109）
- 撮影時はメインカメラとサブカメラを切り替えます。（☞P.152）

17 赤外線ポート
赤外線を送受信する窓です。（☞P.291）

次ページへ続く

⓲サイドボタン(MUSIC／MULTI)▭

- マルチアシスタント起動：アプリ実行中に押すと、電話帳やメールなど他の機能を利用することができます。(☞P.303)
- モバイルオーディオ起動：待受画面でFOMA端末を閉じているときに1秒以上押すと、モバイルオーディオを再生できます。(☞P.381)
- サポートブック表示：待受画面で押すとサポートブック(内蔵)が表示されます。(☞P.34)
- ショートカットメニュー登録：画面に[↗]が表示されているときに1秒以上押すと、ショートカットメニューに登録できます。(☞P.320)
- 不在着信確認：待受中に、FOMA端末を閉じた状態で押すと、不在着信、伝言メモ、新着メールや留守番電話の伝言メッセージの有無をバイブレータで確認できます。(☞P.65)

⓳リアカバー(☞P.38)

⓴スピーカ

- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話／テレビ電話のハンズフリー通話時に相手の声を聞くことができます。

㉑miniSDメモリーカードスロット

miniSDメモリーカードを挿入します。(☞P.278)

㉒メインカメラ(☞P.144)

周囲を撮影したり、テレビ電話時に周囲の映像を相手に送信するときに使います。

㉓接写レバー

カメラ撮影の接写モードと通常モードを切り替えます。(☞P.151)

㉔着信／充電／撮影ランプ

- 電話がかかってくると点滅します。
- 充電中は点灯します。
- カメラ起動時や撮影中に点灯します。

㉕外部接続端子

ACアダプタ／DCアダプタ(☞P.41)、FOMA USB接続ケーブル(別売)など外部機器を接続するための端子です。

㉖充電端子

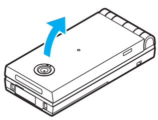
卓上ホルダで充電するための端子です。(☞P.42)

FOMA端末の開き方

FOMA端末を利用するときは、FOMA端末を開きます。

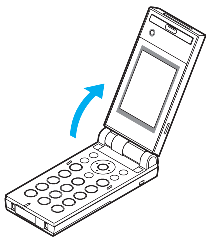
- 携帯するときは、操作1の図のようにFOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

1

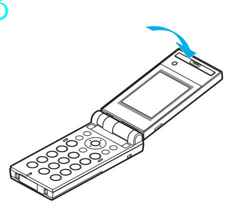


両手で持って軽く開く。

2



3



ディスプレイを最後まで開く。

お知らせ

- イヤホンマイク端子、および外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

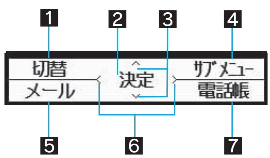
マルチガイドボタンの操作方法と操作ガイダンスの選択方法

マルチガイドボタンの操作方法

画面に表示されているメニューの選択や決定には、マルチガイドボタン(4方向ボタン＆決定ボタン)を使います。4方向ボタンでカーソルを移動させ、決定ボタンで決定します。

操作ガイダンスの選択方法

画面下部に表示される操作ガイダンスのメニューはそれぞれに割り当てられたボタンを使って実行することができます。(場面によって割り当てられる機能が異なります。)
操作ガイダンスの表示位置とボタンは、次の図のように対応しています。



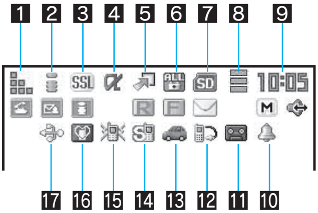
	ボタン操作		ボタン操作
1	(▯)	5	(✉)
2	◉	6	(··)
3	(:)	7	(📖)
4	(📷)		

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

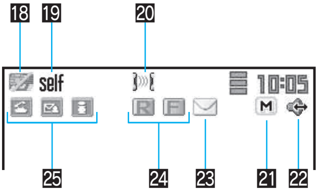
ディスプレイの見かた

電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認できます。
何かのボタンを押すと、一定時間ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、[15秒]に設定されています。(☞P.115)

ディスプレイ上部に表示されるマーク



ディスプレイ上部に表示されるマーク



ディスプレイ下部に表示されるマーク



1 電波状態表示
電波の強さの目安を表示します。
(強い)　(弱い)
[ ](圏外)が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。
電波マークは変更することもできます。(☞P.118)

2 ｉモード表示 (☞P.168)
ｉモードの状態を表示します。

3 SSL表示 (☞P.169)
SSLに対応しているｉモードサイトなどを表示中に表示します。
マルチタスク動作時に表示されている場合は、マルチタスクを利用してｉモード／ｉアプリ／ソフトウェア更新を実行中です。

4 ｉアプリ表示(☞P.240)
ｉアプリの状態を表示します。
- ：ｉアプリ実行中
  ｉアプリ待受画面実行中
- ：ｉアプリ待受画面設定中※
- ：ｉアプリDX実行中
  ｉアプリDX待受画面実行中
- ：ｉアプリDX待受画面設定中※

※ｉアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。

5 ショートカットメニュー表示 (☞P.320)
ショートカットメニューに登録できるときに表示します。

6 制限表示(☞P.131、P.136)
各種制限の設定状態を表示します。
- ：シークレットモード
- ：シークレットデータ編集中
- ：ダイヤル発信制限中
- ：オールロック中
- ：PIMロック中
- ：ダイヤル発信制限とPIMロックを設定中
- ：シークレットモードとPIMロックまたはダイヤル発信制限を設定中
- ：ボタン操作無効設定中

7 miniSDメモリーカード表示 (☞P.278)
miniSDメモリーカードを装着しているときに表示します。
(グレー)：miniSDメモリーカードを挿入中
(ピンク)：miniSDメモリーカード内のデータを参照中

8 電池残量／充電中表示 (☞P.43)
電池パックの状態を表示します。また、電池マークは変更することもできます。(☞P.118)

9 時計表示(☞P.45)
設定されている時刻を表示します。

10 アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示 (☞P.308、P.314、P.319)
その日にスケジュールアラーム、ToDoアラームまたはアラームが設定されているときに表示します。

11 伝言メモ表示 (☞P.65)
音声電話伝言メモまたはテレビ電話伝言メモを設定しているときに表示します。伝言メモが録音されているときは、両方の件数を合わせ、[～]と表示されます。

12 イヤホンマイク接続表示 (☞P.328)
オート着信設定中に、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに表示します。

13 公共モード(ドライブモード)表示 (☞P.62)
公共モード(ドライブモード)を設定しているときに表示します。

14 サイレント表示 (☞P.106)
音声電話着信音量を[サイレント]に設定しているときに表示します。

次ページへ続く

⑮ バイブレータ表示（☞P.107）
バイブレータを設定しているときに表示します。

⑯ マナーモード表示（☞P.109）
マナーモード設定中に表示します。

⑰ USBモード表示（☞P.284）
FOMA USB接続ケーブルを接続中に表示します。
：通信モード

⑱ FOMAカードエラー表示
FOMAカードのエラーを表示します。
：FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示されます。
：FOMAカード以外のカードを挿入したときに表示されます。

⑲ セルフモード表示self（☞P.133）
セルフモードを設定し、電話の発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信の機能を使えないようにしたときに表示します。

⑳ 赤外線通信／外部機器通信中表示
赤外線通信中や外部機器を接続して通信中に表示します。
：赤外線通信機能で他の機器とデータ通信を行っているときに表示します。（☞P.290）
赤外線リモコンの送信中に点滅します。（☞P.293）
（緑色）：外部機器を接続し、パケット通信中
（赤色）：外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
：外部機器を接続し、64Kデータ通信中

㉑ メモリ警告表示（☞P.289）
メモリの状態を表示します。
（黄色）：メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
（赤色）：メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

㉒ ハンズフリー表示（☞P.48、P.56）
（赤色）：ハンズフリー通話中
（緑色）：ハンズフリー対応機器接続中

㉓ ｉモードメール／SMS受信表示
（☞P.208）
ｉモードメール／SMSの受信状態、センターのｉモードメールの保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。また、受信メールを保存するメモリの状態を表示します。

㉔ メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示（☞P.184）
メッセージR／F受信状態、センターのメッセージR／F保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。

㉕ マルチタスク表示（☞P.303）
起動中の機能を表示します。
：４つ以上のアプリが起動中
：TV電話（64K）
：TV電話（32K）
：音声通話
：ソフトウェア更新中
：赤外線受信
：ｉアプリ
：ｉモード
：ｉチャネル
：メール／SMS
：メール／SMS作成中
：メッセージ
：モバイルオーディオ
：電話帳
：データBOX
：カメラ（静止画）
：カメラ（動画）
：カメラ（OCR）
：バーコードリーダー
：ボイスレコーダー
：スケジュール
：ToDo
：テキストメモ
：電卓
：ブックリーダー
：アラーム
：タイマー
：miniSD管理
：各種設定
：伝言メモ・音声メモ起動中
：リダイヤル表示中
：着信履歴表示中
：電話番号表示中
：モデム通信中

㉖ 操作ガイダンス
、、、、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

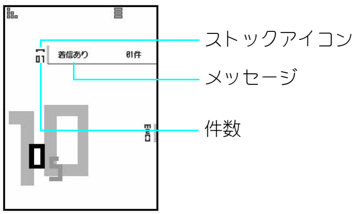
- 着信履歴（☞P.58～P.59）
- カメラモード（☞P.146～P.147）
- メール（☞P.215～P.218）
- SMS（☞P.215～P.218）
- 電話帳（☞P.87）
- メッセージR／F（☞P.184～P.187）
- データBOXのマイピクチャ（☞P.258）

お知らせ

- FOMA端末上では、miniSDメモリーカードは[miniSD]または[SD]と表示されます。（☞P.278）
- 本書内で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ストックアイコンからお知らせの内容を確認する

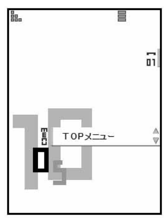
かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、[着信あり]や[新着メールあり]などのメッセージとストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選択し、お知らせの内容を確認することができます。



ストックアイコン

アイコン	メッセージ	内　容
	着信あり	かかってきた電話に出られなかったときに表示されます。 着信履歴の一覧が表示され、着信日時を確認できます。発信者番号が通知されている場合は、相手の電話番号が表示され、電話をかけられます。（☞P.64）
	新着メールあり	新着のｉモードメールやSMSがあるときに表示されます。 受信BOXのフォルダ一覧画面が表示され、未読メールを表示できます。（☞P.208）
	留守録音あり	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されたときに表示されます。 留守番電話サービスメッセージ確認画面が表示され、メッセージを再生できます。（☞P.333）
	伝言メモあり テレビ伝言メモあり	伝言メモが録音されたときに表示されます。 メモメニュー画面が表示され、伝言メモを再生できます。（☞P.67）
	TOPメニュー	TOPメニューを表示します。（☞P.30）

1 待受画面にストックアイコンが表示されているとき ▶ ◉



2 ◎でストックアイコンを選択 ▶ ◉

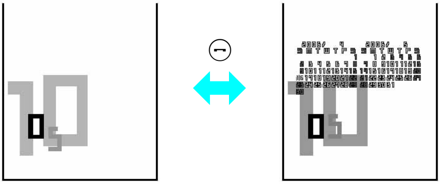
- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

お知らせ

- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ストックアイコンが表示されません。

ディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面で⊖を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。（カレンダー表示設定について：☞P.112）



待受画面表示　　カレンダー表示の例（2ヶ月表示）

- ［1ヶ月（大）］を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付の右側にアイコン表示されます。

メニューの選択方法

機能の設定や登録は、メニューを表示させてから行います。

- メニューを表示させるには次の方法があります。
  - TOPメニューから順に機能を選択
  - 機能番号を入力して機能を呼び出す（☞P.32）
  - ショートカットメニューから機能を選択（☞P.320）
  - よく使う機能を大きな文字表示で選択（ズームメニュー）（☞P.32）
  - 操作ガイダンスに表示されるサブメニューから項目を選択（☞P.33）
- TOPメニュー、ショートカットメニュー（☞P.320）、ズームメニューはメニュー表示中にⓘ［切替］を押して順に切り替えることができます。待受画面で◉を押したときは、前回と同じメニューが表示されます。待受画面で◉を押したときに、ズームメニューやショートカットメニューが表示された場合は、ⓘ［切替］を押してTOPメニューに切り替えてください。
- 機能を選択し直すには、Ⓒを押すと1つ前の画面に戻ります。サブメニューから機能を選択し直すときは、Ⓒを押してサブメニュー画面に戻ります。
- 本書では、「設定」、「生活ツール」、「メディアツール」のメニューを選択する操作はTOPメニューから選択する方法を基準に説明しています。
- 本書では、専用のボタンのある「カメラ」、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の機能を選択する操作は機能番号を入力する方法を基準に説明しています。

TOPメニューから機能を選択する

9つのアイコンに分類されたメニューから機能の利用や設定を行うことができます。
（設定メニューについて：☞P.360～P.364）

- アイコンは変更できます。（テーマ設定☞P.119、アイコン画像設定☞P.119）

アイコン	メニュー	機　能
i-mode	i-mode（iモード）	1 iMenu
		2 メッセージ
		3 Bookmark
		4 iモード問い合わせ
		5 画面メモ
		6 Internet
		7 iモード設定
i-αppli	i-αppli（iアプリ）	1 ソフト一覧
		2 iアプリ音量設定
		3 ソフト情報表示設定
		4 自動起動設定
		5 エラー表示
		6 トレース表示
		7 PIMロック

アイコン	メニュー	機　能
Camera	Camera（カメラ）	1 静止画撮影
		2 動画撮影
		3 文字読み取り
		4 バーコードリーダー
Mail	Mail（メール）（1ページ目）	1 受信BOX
		2 送信BOX
		3 未送信BOX
		4 新規メール作成
		5 新規SMS作成
		6 チャットメール
		7 iモード問い合わせ
		8 SMS問い合わせ
		9 テンプレート
	（2ページ目）	1 メール選択受信
		2 メール設定

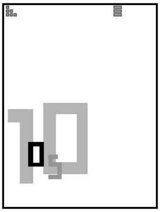
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

アイコン	メニュー	機　能
Data box	Data box（データBOX）	1 マイピクチャ
		2 i モーション
		3 メロディ
		4 キャラ電
		5 プリント指定（DPOF）
Phonebook	Phonebook（電話帳）	電話帳検索
Settings	Settings（設定）	1 音
		2 表示
		3 一般設定
		4 NWサービス
		5 その他のNWサービス
		6 通話・通信機能設定
		7 セキュリティ
		8 初期設定

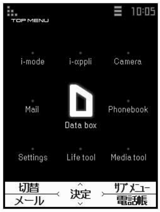
アイコン	メニュー	機　能
Life tool	Life tool（生活ツール）	1 バーコードリーダー
		2 赤外線受信
		3 miniSD管理
		4 文字読み取り
		5 モードイルミ
		6 アラーム
		7 スケジュール（スケジュール、ToDoリスト）
		8 便利機能（電卓、テキストメモ、タイマー）
Media tool	Media tool（メディアツール）	1 モバイルオーディオ
		2 ボイスレコーダー
		3 ブックリーダー

※お買い上げ時のTOPメニューのメニュー名は英語表示となっておりますが、本書の中では日本語のメニュー名で説明しております。（例：(Data box)→(データBOX)）

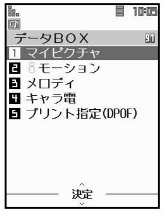
待受画面で◉を押し、で目的のメニューやアイコンを選択して◉を押します。さらにで機能を選択して◉を押します。



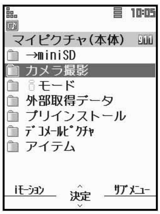
（待受画面）



（TOPメニュー）



［データBOX］を選択した場合



［マイピクチャ］を選択した場合



［カメラ撮影］を選択した場合

- 本書では、TOPメニューから上記の機能を呼び出す操作方法を、「TOPメニュー→(データBOX)→［マイピクチャ］→［カメラ撮影］」と説明しています。
- 待受画面に［ ］と、［ ］、［ ］、［ ］、［ ］のいずれかが表示されている場合は、◉を押してからで［ ］を選択して◉を押してください。

機能番号を入力して機能を呼び出す

機能番号を入力すると、すばやく目的の機能を呼び出すことができます。
機能番号の最初の番号は、各種設定が１～８、データBOXが91、生活ツールが92、メディアツールが93となっています。
各機能の機能番号（ボタン操作）について：☞P.360～P.364
ここでは機能番号[1211]の[音声電話着信音]を例に説明します。

例：機能番号[1211]の[音声電話着信音]の場合

1 待受画面▶◉▶①▶②▶①▶①
指定した機能（音声電話着信音）の画面が表示されます。

お知らせ

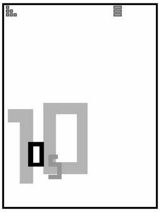
- ショートカットメニュー、ズームメニューのとき、機能番号を入力して機能を呼び出すことはできません。

ズームメニューから機能を選択する<ズームメニュー>

ズームメニューとは、よく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニューです。ズームメニューを使うと、大きい文字表示で基本的な操作ができます。

メニュー	機　能	表示される画面	ページ
電話	電話帳の表示	電話帳検索画面	P.97
	リダイヤル	リダイヤル詳細画面	P.50
	着信履歴	着信履歴詳細画面	P.58
	伝言メモ	メモメニュー画面	P.67
	電話帳の登録	電話帳入力画面	P.87
	自分の電話番号	電話番号表示画面	P.46
メール	メールの作成	メール作成画面	P.199
	メールの受信	ｉモード問い合わせ	P.210
	全受信メール	受信メール一覧画面	P.216
	全送信メール	送信メール一覧画面	
	全未送信メール	未送信メール一覧画面	
iモード	iMenu	ｉMenu	P.168
	全Bookmark表示	Bookmark一覧画面	P.175
	画面メモの表示	画面メモ一覧画面	P.177
カメラ	写真を撮る	静止画撮影画面	P.148
	写真を見る	マイピクチャのフォルダ一覧画面	P.256
	映像を撮る	動画撮影画面	P.148
	映像を見る	ｉモーションのフォルダ一覧画面	P.265
設定／生活ツール	着信音の設定	音声電話着信音設定画面	P.104
	待受画面の設定	待受画面設定画面	P.111
	アラームの設定	アラーム一覧画面	P.308
	電卓	電卓	P.324
	通話時間／料金	通話時間／料金確認画面	P.325
	留守番電話	留守番電話設定画面	P.332
通常メニュー	TOPメニューに切り替え	－	P.30

お買い上げ時：待受画面▶●▶⑧［切替］（２回）（ズームメニューが表示されます。）▶◎で機能を選択▶●



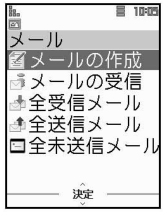
（待受画面）

●⑧⑧



（ズームメニュー画面）

◎●



［メール］を
選択した場合

● メニューは、⑧［切替］を押すたびに、TOPメニュー▶ショートカットメニュー▶ズームメニューの順に切り替わります。

お知らせ

● カメラ撮影時の操作について：☞P.148

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンス［ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ］が表示されているときは、◎を押すと、その画面で使用できる機能（サブメニュー）が表示されます。
サブメニューに複数のページがある場合は、◎でページを切り替えます。
本書では、サブメニューを選択する操作は機能番号で入力する方法で説明しています。
ただし、機能番号のないサブメニューもあります。そのときは、◎で機能を選択して●を押してください。

例：画像一覧画面の見かたを［16分割］に切り替えた場合



◎



（サブメニュー画面）
選択できない項目は
グレーになっています。

⑧／◎●



［マイピクチャ設定］
を選択した場合

①／◎●



［表示切替］
を選択した場合

②／◎●



［16分割］
を選択した場合

通話中にサブメニューを利用する

通話中に◎を押すと、通話中でも利用できる下記の機能が表示されます。

- 通話保留（☞P.48）
- 電話番号表示（☞P.46）
- 通話中音声メモ（☞P.323）
- テレビ電話切替（☞P.49）
- 電話帳登録（☞P.87）

操作終了後、Ⓒを数回押すと、通話画面に戻ります。

サポートブック

便利に使うためのサポート情報を表示する

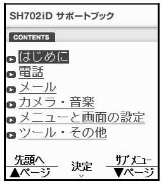
ブックリーダー機能を利用した、FOMA端末上の簡単な操作ガイドです。FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください。（☞P.295）
マルチアシスタント機能を使ってメール作成中などの操作中に⊂⊃（サイドボタン）を押して、サポートブック（内蔵）を呼び出すこともできます。（☞P.303）

- すばやく使いこなすためのコツや、知っておくと便利な機能の説明が表示されます。
- サポートブックで調べた機能を直接起動することもできます。

例：自分のアドレスを確認するには

1 待受画面▶⊂⊃（サイドボタン）

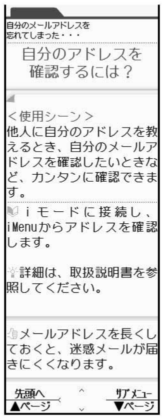
- TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ブックリーダー]▶[プリインストール]▶[サポートブック（内蔵）]の順に選択することもできます。（miniSDメモリーカードを挿入していないときは、[プリインストール]の選択は不要です。）



2 [メール]▶◉

3 [自分のアドレスを確認するには？]▶◉

タイトルの下に説明文が表示されます。



関連操作	
サポートブックから機能を起動する	サポートブックの内容表示画面▶起動項目を選択▶◉▶[はい]▶◉

お知らせ

- サポートブック以外の機能を同時に使用している場合、サポートブックから機能を起動することはできません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

FOMAカードを使う

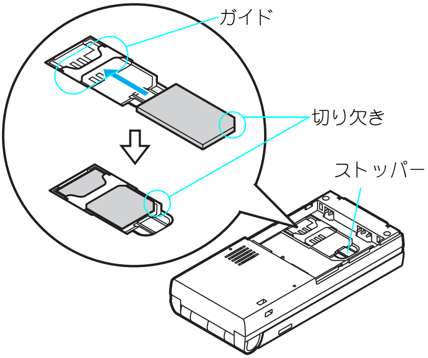
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているＩＣカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存することもできます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージＲ／Ｆ受信、データ通信などの通信機能を利用できません。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- FOMAカードの取り付け、取り外しをする際には、ＩＣに不用意に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを他のｉチャネル対応端末に差し替えた場合、テロップは表示されません。最新の情報を受信する、またはチャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップ設定が[ON]の場合はｉチャネルテロップが表示されます。

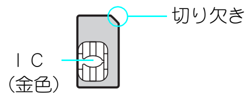
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

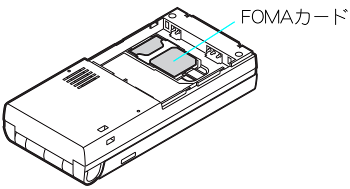
FOMAカードを取り付ける／取り外すときは、FOMA端末を閉じてから手で持って、行ってください。
※P.44「電源を切る」の操作１を参照して電源を切ってから背面を上向きにして電池パックを取り外し、FOMAカードの取り付けや取り外しを行ってください。

■取り付けかた



1 **FOMA**カードのＩＣ面(金色)を下に向けて、左図のように**FOMA**カードをガイドの下に挿入する



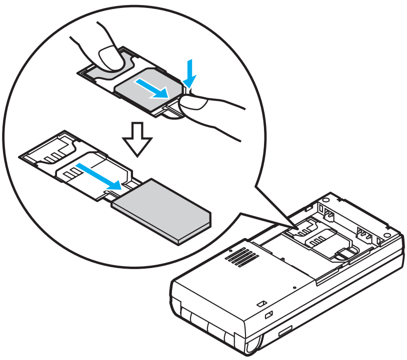


正しくセットされた状態

2 左図の位置で**FOMA**カードをゆっくりスライドさせ、ストッパーがカチッと音がするまで押し込む

- 奥まで差し込むと、カードが中で固定されます。

■取り外しかた



1 左図の位置でストッパーを上から押しながら、もう片方の手の指で**FOMA**カードをスライドさせる

2 **FOMA**カードが少し出てきたら、まっすぐ、ゆっくり抜く

- 外す際はFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

次ページへ続く

お知らせ

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- FOMAカードのＩＣ部分が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがありますので、ご注意ください。汚れたときは、乾いた布などで拭いてください。

FOMAカードの暗証番号について

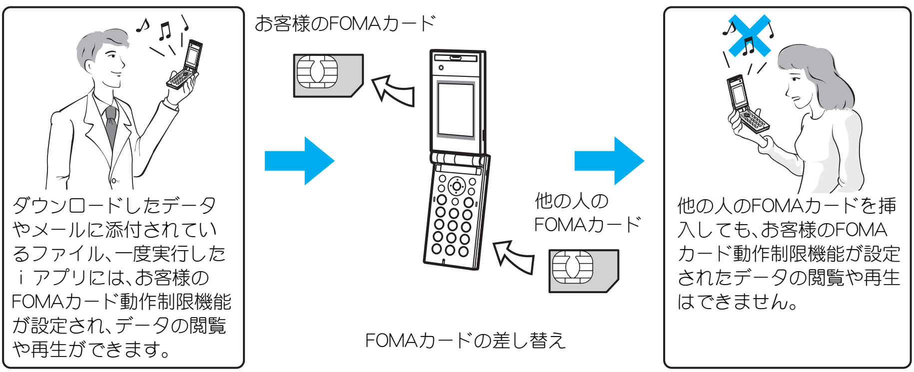
FOMAカードには「PIN１コード」、「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。
ご契約はどちらも「0000」に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます。（☞P.128）

FOMAカード動作制限機能について＜FOMAカード動作制限機能＞

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ ｉモードサイトなどから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ ｉモードサイトなどを画面メモとして保存したとき（ただし、画像の含まれない画面メモは除く）
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能によるデータの送信、miniSDメモリーカードへのコピーなどを実行できます。
- FOMAカード動作制限が設定されるデータは次のとおりです。
  - ■ デコメール本文中の画像
  - ■ ｉモードメールに添付されているファイル
  - ■ 画像やメロディ　■ 画面メモ
  - ■ メッセージR／F　■ ｉモーション
  - ■ キャラ電　■ ｉアプリ
  - ■ テレビ電話静止画メモ
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - ■ 電話番号表示　■ バイリンガル
  - ■ SMSセンター設定　■ SMS有効期間設定
  - ■ PIN設定　■ SSL証明書
- データ、ファイルの取得時やｉアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。



お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- お客様のFOMAカードを外したままで使用したり、他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、ｉモードサイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

＜例：FOMAカード動作制限機能が設定された［メロディA］を着信音に設定したとき＞
お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに着信音選択で表示される設定内容はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、［メロディA］の着信音に戻ります。

- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- ｉモードメールのメール表示画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動したりｉモーションを取得する場合も、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取得ができません。
- ｉアプリ待受画面を設定後、他の人のFOMAカードに差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.92
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.188
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P.37
サービスダイヤル	利用不可	利用可	取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」および「故障お問い合わせ先」

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。

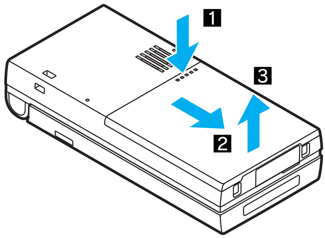
※2005年８月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申し込み手続きが必要となります。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

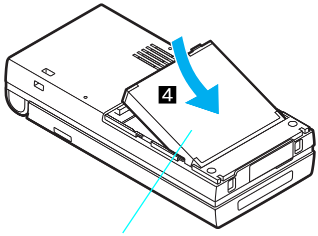
電池パックは､FOMA端末専用の電池パック SH07をご利用ください｡
取り付け／取り外しは､必ず電源を切って､FOMA端末を閉じてから手で持って､行ってください｡

■電池パックの取り付けかた



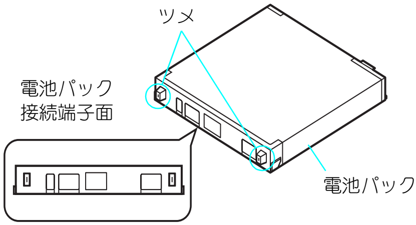
1 リアカバーを矢印の方向(1)に軽く押しながら約２mmスライド(2)させる

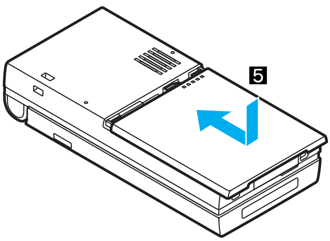
2 矢印の方向(3)にリアカバーを持ち上げ､取り外す



3 電池パックを取り付ける(4)

- 電池パックには取り付け用のツメがついています。電池パックの商品名（SH07）を上に向けて取り付けてください。





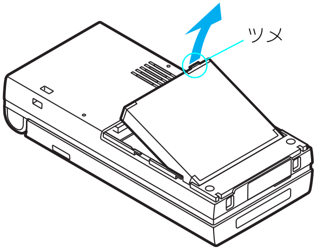
4 リアカバーを取り付ける(5)

- 本体とリアカバーを図の位置に合わせて､リアカバーを押しながらスライドさせます。

お知らせ

- 無理に取り付けたり､取り外したりすると､FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- 詳しくは､電池パック SH07の取扱説明書をご覧ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと､リアカバーが外れ､振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。
- 電池パック接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていると接触が悪くなり､電源が切れることがあります。また､充電不十分の原因ともなりますので､汚れたときは乾いた布､綿棒などで拭いてください。

■電池パックの取り外しかた



1 P.38の操作１～２の手順でリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメがついています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 電池パックを取り外すと、次の登録・設定内容が変化します。

取り外すと、すぐにお買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■編集中データ

取り外したままにしておく、または電池残量のない状態で放置すると、お買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■日時設定

- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion

携帯電話を充電する

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
FOMA ACアダプタ01	約110分
FOMA DCアダプタ01	約110分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。充電完了ランプ（☞P.122）が［ON］に設定されている場合は、充電完了ランプが点滅します。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます。（充電中は、ディスプレイの［　］が黄色で点滅します。）充電が完了すると、充電ランプが消灯し、ディスプレイの［　］が［　］に変わります。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯し、ディスプレイの電池マークは点灯に変わります。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

条　件	電池パック SH07
連続待受時間	約420時間（静止時）／約330時間（移動時）
連続通話（通信）時間	約130分（音声電話）／約80分（テレビ電話）

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、待受画面や省電力モードなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないまたは弱い場所）などにより、通話・待受時間は半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。iチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信を行わなくても画像を撮影したり、編集したり、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリを作動させたり待受画面設定や音楽再生を行うと、通話（通信）・待受時間は、短くなります。iアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり、通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

電池パックの寿命は

- 1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

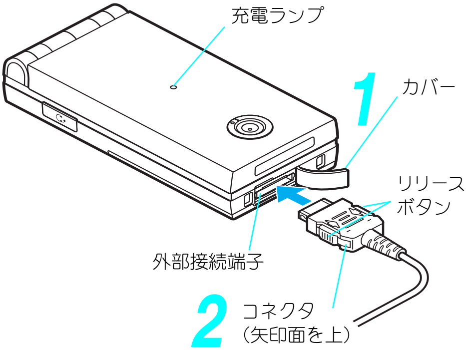
充電時のご注意

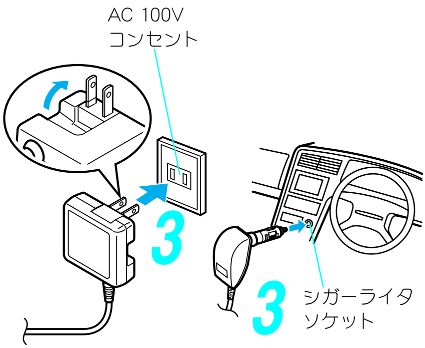
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめいたします。
- 電池パック単体での充電はできません。
- 充電しながらiアプリなどを操作し長時間充電状態を継続すると、電池パックの寿命が短くなることがありますのでお控えください。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

［必ずFOMA ACアダプタ01（別売）／FOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書を参照してください］

- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。



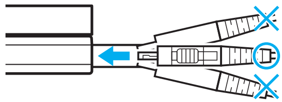


ACアダプタの場合　DCアダプタの場合

1 外部接続端子のカバーを開く

2 **AC**アダプタ／**DC**アダプタの向き（裏表）をよく確かめ、外部接続端子に水平に差し込む

- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

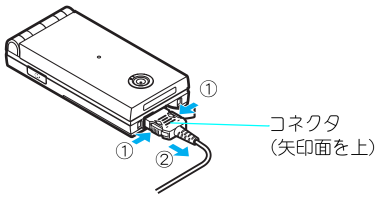


3 **AC**アダプタの場合、プラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む
DCアダプタの場合は、プラグを車のシガーライタソケットに差し込む

- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。

4 充電が完了すると、充電完了音が鳴る

- 充電ランプが消灯します。充電完了ランプ（☞P.122）が［ON］に設定されている場合は、充電完了ランプが点滅します。
- コネクタを取り外す場合は、必ずコネクタの両側にあるリリースボタンを押した状態（①）で、コネクタを水平に抜いてください（②）。無理に引っ張ると故障の原因になります。外部接続端子のカバーを閉じてください。



- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。

お知らせ

- 着信／メールお知らせランプが「ON」に設定されている場合、充電中に不在着信や新着メールなどがあると、充電中のランプ色は、お知らせランプのランプ色が優先されます。
- ACアダプタなどのコネクタは、正しい向き（裏表）や角度で、無理な力がかからないように、ゆっくり確実に接続してください。無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子が破損する場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

- イヤホンマイク端子および外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

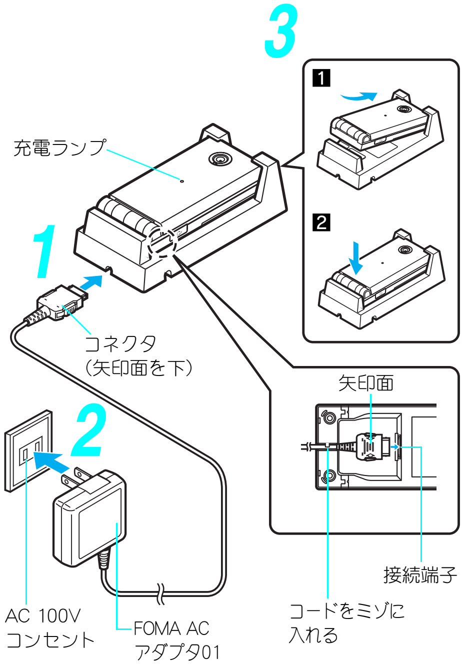
DCアダプタのとき

- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。(DC12V・24V両用)
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを使って充電する

[必ず卓上ホルダ SH07(別売)の取扱説明書を参照してください]

- FOMA端末は、閉じた状態で充電してください。



1 ACアダプタのコネクタの矢印を下に向け、卓上ホルダの接続端子に差し込む

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして差し込んでください。
- 卓上ホルダの接続端子は裏側にあります。

2 ACアダプタのプラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに置く

- 左図1のようにFOMA端末を置いたあと、2の矢印の方向に押し下げてください。
- 充電開始音が鳴り、充電ランプが赤色で点灯します。

4 充電が完了すると、充電完了音が鳴る

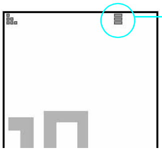
- 充電ランプが消灯します。充電完了ランプ(☞P.122)が[ON]に設定されている場合は、充電完了ランプが点滅します。
- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 充電開始音が鳴らないとき(充電開始音量を[サイレント]に設定、またはマナーモードに設定している場合や、電源を切っている場合を除く)や、充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くとき、ストラップを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた

電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。



:電池残量が十分残っています

:電池残量が少なくなっています

:電池残量がほとんどありません

:電池残量がありません(しばらくすると電源が切れます)

:電池パック充電中です

お知らせ

● マークのデザインを変更した場合(☞P.118)、上記の表示と異なる場合があります。

電池残量を音と表示で確認する

1 **TOP**メニュー ▶ 5(設定) ▶ [一般設定] ▶ [確認] ▶ [電池残量確認]

電池残量のグラフィックが表示されます。(残量に応じた音も鳴ります。)

- 電池残量確認音は、ボタン確認音で設定した音量で鳴ります。(☞P.107)
- 約2秒間経過するかⓒを押すと、1つ前の画面に戻ります。

グラフィック			
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状　態	十分残っています	少なくなっています	ほとんどありません

電池が切れたら

電源が切れそうになると、約80秒前に[電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します]と表示されます。(◉[確認]を押すと表示は消えます。)約20秒後に警告音が「ピピピ･･･」と鳴って右の画面が表示され、FOMA端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。



- 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に通話が切れると同時に上の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
- 警告音を止めるときは⊖を押します。⊖を押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

お知らせ

● マナーモードや公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、警告音は鳴りません。(通話中を除く)

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源を入れるとディスプレイのバックライトが点灯し、電話をかけたり、受けたりできる状態(待受状態)になります。

- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。(☞P.35)

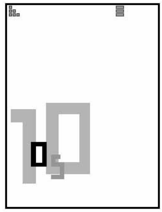
1 ⊖(電源)(２秒以上)

ウェイクアップ画面が表示され、初期設定の画面が表示されます。続けて、初期設定(☞P.44)の操作を行ってください。

- 初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。



- 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。
- [PIN1コードを入力してください]と表示されたときは、PIN1コード(☞P.128)を入力します。
- [圏外](圏外)が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- [self]が表示されているときは、セルフモード中(☞P.133)です。



お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合[FOMAカード(UIM)を挿入してください]と表示され、FOMAカードエラーが表示されます。
- 電波が強く[Y..]が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れることがあります。

電源を切る

1 ⊖(電源)(２秒以上)

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります。(電源が切れるまでディスプレイに[･･･]が表示されます。)

お知らせ

- 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示され、次の項目を設定できます。(初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます。)

設定項目	内　容	ページ
日時設定	FOMA端末の日付と時刻を合わせます。自動的に日時を補正するように設定できます。	P.45
端末暗証番号変更	FOMA端末の各機能を利用するときに必要な端末暗証番号を登録します。	P.127
ボタン確認音設定	ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	P.107
ソフトウェア更新確認	ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。	P.394

- 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

1 日付・時刻を設定



● TOPメニュー▶5(設定)▶[初期設定]の順に選択することもできます。

自動的に日時を補正するとき	[自動日時設定]▶◉▶[ON]▶⑧[完了]
日時を入力するとき	[自動日時設定]▶◉▶[OFF]▶[日付]▶◉▶日付を入力▶◉▶[時刻]▶◉▶時刻を入力▶◉▶⑧[完了] ●24時間制で入力します。また、月日・時刻が1桁(1～9)のときは、01～09のように前に「0」を付けます。 ●◎で数字を選択することもできます。また、入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動して、入力し直してください。

2 端末暗証番号(4～8桁の数字)を登録(☞P.127)

● お買い上げ時は、[0000]に設定されています。

3 ボタン確認音を設定:①[ON]

● 設定しないとき:②[OFF]

4 ソフトウエア更新確認を設定:[はい]▶◉

ソフトウェア更新が起動し、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。(☞P.394)

お知らせ

● 日時は、2001年1月1日 00:00から2050年12月31日 23:59まで設定できます。

初期設定を中止するとき

● 設定中に⊖を押します。日時設定は中止しても必ず設定されます。

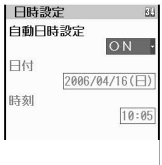
日時設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時 自動日時設定:ON

FOMA端末の日付と時刻を設定します。自動的に日時を補正するように設定することもできます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[日時設定]



2 [自動日時設定]▶◉▶設定方法を選択

自動的に日時を補正するとき	[ON]▶⑧[完了]
日時を入力するとき	[OFF]▶[日付]▶◉▶日付を入力▶◉▶[時刻]▶◉▶時刻を入力▶◉▶⑧[完了] ●24時間制で入力します。また、月日・時刻が1桁(1～9)のときは、01～09のように前に「0」を付けます。 ●◎で数字を選択することもできます。また、入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動して、入力し直してください。

● ⊖を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

● 時刻は24時間制で表示されます。
● 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約2週間以上電池パックを外す、または電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから再び設定し直してください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON／OFF、アラーム、スケジュール、SSL通信（認証）、iアプリ自動起動、iアプリDX起動など、時計を利用する機能が正しくご利用になれません。
- 料金上限通知設定が［有効］に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号の入力が必要です。
- 料金上限通知設定のリセット通知を設定中に日時設定を翌月以降に変更した場合、待受画面に［リセット時刻経過］と表示されます。

自動日時設定について
- ドコモネットワークの時刻情報をもとに、自動的に時刻を補正します。
- 自動日時設定を［ON］にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動日時設定を有効にするには、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

お買い上げ時　通知しない

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機（ディスプレイ）に自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	TOPメニュー▶5（設定）▶［NWサービス］▶［発信者番号通知］▶［発信者番号通知設定］▶ネットワーク暗証番号（4桁の数字）を入力（☞P.127）	［はい］に設定	［いいえ］に設定
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」／「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選択（☞P.51）	◎▶②▶①［番号通知］	◎▶②▶②［番号非通知］

- ［圏外］（圏外）のときは、発信者番号通知設定はできません。
- 発信者番号通知の設定を確認するとき：TOPメニュー▶5（設定）▶［NWサービス］▶［発信者番号通知］▶［設定確認］
- 発信者番号通知の設定内容より、電話をかけるときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定してから、おかけ直しください。
- 発信者番号通知は、相手の電話機の発信者番号表示が可能な場合のみ、利用できます。

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されている電話番号を確認できます。

1 **TOPメニュー▶5（設定）▶［一般設定］▶［確認］▶［所有者情報］**
- 通話中に確認するとき：◎▶④［電話番号表示］
- 電話帳のPIMロックを設定しているとき：端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- 電話番号以外の所有者情報を確認するとき：●［詳細］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●
- 所有者情報の登録・変更について：☞P.322



電話番号表示画面

電話のかけかた／受けかた

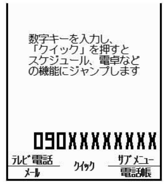
電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

- 電波が強く[圏]が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れることがあります。
- [圏外]（圏外）が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- [self]が表示されているときは、セルフモード中（☞P.133）です。

1 待受画面 ▶ 電話番号を市外局番からダイヤルする

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が２行表示されます。



携帯電話にかける	電話番号11桁（090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX）を入力
PHSにかける	電話番号11桁（070-XXXX-XXXX）を入力
国際電話をかける（[+]入力）	⓪（１秒以上）▶ 電話番号の入力 ●先頭に[+]が入力された場合、[+]以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	Ⓒ（最後の１桁が消えます。） ●すべての桁を消すとき：Ⓒ（１秒以上）（待受画面に戻ります。）

関連操作	
発信番号を選択して電話をかける<マルチナンバー選択>	**1** 待受画面 ▶ 相手先電話番号を入力 ▶ ◎ ▶ ④[マルチナンバー選択] **2** 発信番号を選択 ▶ ⓛ ● 電話番号設定でマルチナンバーを登録していない場合は番号を選択できません。マルチナンバーを登録してください。（☞P.342）

2 電話をかける：ⓛ

[発信中]が表示されます。

携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プップップッ」という発信音が入ります。

- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。また、画像を設定しているときは、画像も併せて表示されます。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。⊖を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、通話先の方が番号通知をお願いする旨のサービスを[開始]に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください。（☞P.46、P.51）



電話帳に名前と静止画を登録している場合

関連操作	
ハンズフリーで話す<ハンズフリー>	操作２ ▶ ⓛ（１秒以上） ● 受話音量を調節するとき：⊙（上げる）／⊙（下げる） ● 解除するとき：ⓛ（１秒以上）
通話中に保留する<通話保留>	操作２ ▶ ◎ ▶ ①[通話保留] ● 保留中の電話に出るとき：◎[解除]

3 通話が終わったら ▶ ⊖

お知らせ

- 操作１と２の手順を逆にしても電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約５秒間何も操作しないと発信します。
- プッシュホン信号を利用してメッセージを送るときは、80桁以上入力できます。（最初に入力した順に消去されます。）
- 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。
  通話時間は最大９時間59分59秒まで表示され、これを超えると０分00秒に戻ります。

お知らせ

- 連続通話するとFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電話をかけるときは、内蔵アンテナ部分を覆わないようにしてご利用ください。

マルチナンバー選択について

- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。(☞P.342)

ハンズフリーについて

- ハンズフリー中は[✥]が表示されます。
- マナーモードを設定している場合は、[マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、ハンズフリーに切り替わります。
- 送話口から20～40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- 着信中はハンズフリーにできません。
- 受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合は、◎を押して音量を下げてください。
- 通話を終了すると、ハンズフリーは解除されます。

通話保留について

- 保留中は保留音がスピーカから流れます。
- マナーモード設定中、こちら側に保留音は流れません。
- 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
- 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。クローズ動作設定とは連動していません。

音声通話からテレビ電話へ切り替える

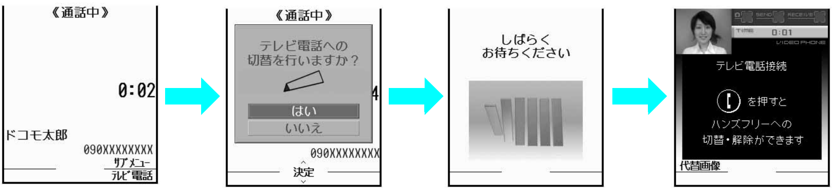
自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えできます。

- 相手のFOMA端末の切替機能通知設定(☞P.83)を開始に設定している必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに[テレビ電話]が表示され、音声電話中にテレビ電話へ切り替えることができます。(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。)

1 音声電話の通話中 ▶ ⓜ[テレビ電話] ▶ [はい] ▶ ◉

切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。テレビ電話に切り替わると、自分側のカメラ映像が送信されます。

- サブメニューから切り替えるとき：◎ ▶ ⑤[テレビ電話切替]
- [いいえ]を選択すると、音声通話中の画面に戻ります。
- 音声電話⇔テレビ電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が０秒から開始されます。
- 相手が映像を表示しないように選択した場合、相手側のカメラ映像は表示されません。



お知らせ

- 通話中でも、サブメニューやマルチアシスタントから他の画面を表示したときや保留中などには、テレビ電話に切り替えできません。
- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切り替え中は、通話時間としてカウントされますが、料金は加算されません。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手がパケット通信中の場合は、[切替できません]と表示され、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、音声通話を継続します。

次ページへ続く ▶▶

お知らせ

- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- お買い上げ時のテレビ電話ハンズフリー設定は[ON]に設定されていますので、切り替え前の通話状態に関わらず、テレビ電話に切り替えるとハンズフリー通話になります。
- テレビ電話の通話中にⓘを押すと、ハンズフリーへの切替・解除ができます。
- [しばらくお待ちください]が表示されている間は、ハンズフリーへの切替・解除ができません。
- テレビ電話から音声電話への切り替え方法について：☞P.73
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

以前にかけた電話番号（リダイヤル）は、最後にかけた電話番号から最大30件までFOMA端末に記憶されます。これらの電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件だけが記憶されます。

1 待受画面▶◯（□）

電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。

- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。

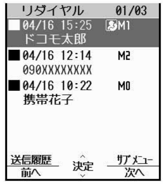
リダイヤルの種類

テレビ電話アイコン：テレビ電話　　国際電話アイコン：国際電話

M0～M2：マルチナンバー発信（マルチナンバー設定時のみ）

表示なし：音声電話

リダイヤル詳細画面を表示	電話番号を選択▶◉
着信履歴一覧画面に切り替え	◯



リダイヤル一覧画面

2 電話番号を選択▶ⓘ（音声電話）

表示されている電話番号に発信します。

- テレビ電話をかけるとき：◉▶⑧[テレビ電話]
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

お知らせ

- リダイヤルの種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、発信時の種類が表示されます。
- 発着信履歴表示のリダイヤル表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、リダイヤルは表示されません。

サブメニューでできること

- リダイヤル一覧画面や詳細画面で◎を押すと、サブメニュー画面が表示され、次の操作を選択できます。

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面の場合	リダイヤル詳細画面の場合	内　容
1電話帳登録	1電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2削除	2１件削除	記憶している電話番号を削除する。
—	3番号通知設定	発信する際の番号の非通知／通知を設定する。
—	4番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信、付加番号削除を行う。
—	5マルチナンバー選択	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する。（☞P.342）
—	6テレビ電話設定	テレビ電話画像設定、通信速度設定を行う。（☞P.82）
7メール作成	7メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、発信した電話番号が宛先に入力される。
8スケジュール作成	8スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。

関連操作	
リダイヤルを削除する<削除>	待受画面▶◯(□)▶電話番号を選択▶◎▶②▶①[1件削除]▶[はい]▶◉ ● すべてのリダイヤルを削除するとき:待受画面▶◯(□)▶◎▶②▶②▶[はい]▶◉

お知らせ

リダイヤルの削除について
- 電源を切ってもリダイヤルは削除されません。他の人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
- 次の操作を行うと、リダイヤルはすべて削除されます。
  ■ ダイヤル発信制限　■ 電話帳のPIMロック　■ ユーザデータ削除

番号通知／非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

自分の電話番号を相手に「通知する」または「通知しない」を、そのつど選択して、発信できます。

■発信者番号を通知しないとき

相手先電話番号を入力▶◎▶②▶②[番号非通知]▶①[音声電話]／⑧[テレビ電話]

■発信者番号を通知するとき

相手先電話番号を入力▶◎▶②▶①[番号通知]▶①[音声電話]／⑧[テレビ電話]

お知らせ

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面で、サブメニューを表示して、番号非通知／番号通知を選択し、電話をかけることもできます。
- 「186」を入力してから相手先番号を入力して◎▶②▶②[番号非通知]を押した場合、発番号は通知されます。
- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[186]を付けた場合、発番号は通知されます。
- 「184」を入力してから相手先番号を入力して◎▶②▶①[番号通知]を押した場合、発番号は通知されません。
- 相手番号を入力し、プレフィックス選択から[184]を付けた場合、発番号は通知されません。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

関連操作	
「184」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知しない）	待受画面▶①⑧④▶電話番号▶①[音声電話]／⑧[テレビ電話]
「186」を付けてダイヤルする（発信者番号を通知する）	待受画面▶①⑧⑥▶電話番号▶①[音声電話]／⑧[テレビ電話]

お知らせ

通話ごとの発信者番号通知について
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定にかかわらず有効です。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を手早く送り出す

ポケットベル※の電話番号と送信するメッセージ（番号）や、チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ（番号）などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力（☞P.88）▶◯▶送信する番号を入力▶◉
- ポーズ[P]を入力するとき:◯
- 番号を入力してから、◯を押し、さらに番号を追加できます。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く▶▶

2 電話帳の他の項目を入力（☞P.89 操作4へ）

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から電話をかける（☞P.97～P.99）
電話がつながると、登録した［P］以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて⑧［**PB**送信］を押す
［P］以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- ［P］で区切った複数の番号を登録しているときは、⑧［PB送信］を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を１つずつ送信できます。

1 電話をかけ、つながったら送信する番号のダイヤルボタンを押す
押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
※FOMAサービスをお申し込みいただく時に、併せて「WORLD CALL」をご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）

［通話方法］

009130 ➡ 010 ➡ 国番号 ➡ 市外局番 ➡ 相手先電話番号 ➡ ⓘ

※上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
※市外局番が「０」で始まる場合には、「０」を除いてダイヤルしてください。
（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は、「０」が必要です。）

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- WORLD CALLの料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます。（☞P.325）
- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用するときは、「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

［国際電話ダイヤル手順の変更について］
携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

※WORLD CALLについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

簡単な方法で国際電話をかける<プレフィックス選択>

お買い上げ時　009130-010

国番号、市外局番、相手先電話番号のみを入力して、国際電話をかけることができます。

1 待受画面▶国番号、市外局番、相手先電話番号を入力▶◎▶③▶①[プレフィックス選択]▶①[**009130-010**]▶ⓘ

入力した電話番号に発信します。

- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、あらかじめプレフィックス設定で登録したうえで選択します。

プレフィックス設定をする

国際電話用の付加番号を最大５件まで登録できます。電話帳、着信履歴、リダイヤルからの発信時に付加されます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[プレフィックス設定]▶[**------------------**](新規に登録)



すでに登録されている番号を変更	番号を選択▶①
すでに登録されている番号を削除	番号を選択▶②▶[はい]▶⊙

2 付加番号を入力▶⊙

- [+]を入力するとき：⓪（１秒以上）
- 最大16桁まで入力できます。
- ダイヤル発信制限中（☞P.135）は、番号の登録や変更、削除はできません。

お知らせ

- 設定リセットを行うと、付加番号は[009130-010]のみになります。

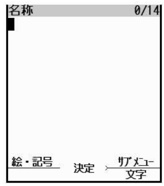
関連操作	
電話帳から発信する	電話帳内容表示画面（☞P.98）▶◎▶④▶②▶①[プレフィックス選択]▶付加番号を選択▶ⓘ
着信履歴やリダイヤルから発信する	着信履歴／リダイヤルの詳細画面（☞P.50、P.58）▶◎▶④▶①[プレフィックス選択]▶付加番号を選択▶ⓘ

WORLD CALL以外の番号を設定する<国際電話設定>

お買い上げ時 WORLD CALL［009130-010］

WORLD CALL以外の国際電話番号の名称と番号を最大10件登録できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ダイヤル設定］▶［国際電話設定］▶［--------------------］(新規に登録)



すでに登録されている番号を変更	番号を選択▶①
すでに登録されている番号を削除	番号を選択▶②▶［はい］▶⦿
登録した番号を自動付加対象に設定	番号を選択▶③ 名称の右に［🌐］が表示されます。 ●自動付加を解除するときは、再び同様の操作を行います。

2 名称を入力▶⦿

- 最大全角７文字(半角14文字)まで入力できます。

3 付加番号を入力▶⦿

- ［+］を入力するとき：⓪(１秒以上)
- 最大16桁まで入力できます。
- ダイヤル発信制限中(☞P.135)は、番号の登録や変更、削除はできません。

お知らせ

- 設定リセットを行うと、付加番号は［009130-010］のみになります。

国際電話番号を付けて国際電話をかける<国際電話発信>

待受画面▶国番号、市外局番、相手先電話番号を入力▶◎▶③▶②［国際電話発信］▶付加番号を選択

- 付加した番号を削除するとき：◎▶③▶③［付加番号削除］

国際電話番号を自動的に付加する<自動付加設定>

お買い上げ時 自動付加

国際電話設定で自動付加対象に設定した番号を国際電話発信時に自動的に付加するかどうかを設定します。

1 **TOP** メニュー▶5(設定)▶［通話・通信機能設定］▶［その他の設定］▶［国際ダイヤル設定］▶［自動付加設定］▶①［自動付加］

自動付加を設定すると

先頭に［+］を入力してダイヤルすると、国際電話番号を自動付加して発信します。

- ［+］を入力するとき：⓪(１秒以上)

待受画面▶［+］、国番号、市外局番、相手先電話番号を入力▶Ⓘ▶［はい］▶⦿

国際電話を発信します。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

サブアドレスを指定して電話をかけられるように設定します。サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[サブアドレス設定]▶①[**ON**]

- 設定を解除するとき:②[OFF]

サブアドレスを指定して電話をかける

- 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

待受画面▶電話番号を入力▶(*)▶サブアドレスを入力▶(発信)

お知らせ

- 電話番号の先頭に「¥」を入力したり、「184」、「186」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「¥」を入力すると、「¥」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能

途切れた通話を自動的に再接続する

お買い上げ時 アラームあり(高音)

トンネルやビルの陰などでは一時的に電波の状態が悪くなり、通話が途切れることがあります。すぐに電波状態がよくなった場合に自動的に再接続して、通話を継続できるようにします。再接続時はアラーム音でお知らせします。

- アラーム音は、[アラームあり(高音)]、[アラームあり(低音)]、[アラームなし]から選択することができます。
- 再接続機能はテレビ電話中も有効です。

1 **TOP** メニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[再接続機能]▶アラーム音を選択

お知らせ

- 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
- 再接続されるまでの間(最大10秒間)、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

通話中に周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にします。

- ノイズキャンセラはテレビ電話中もはたらきます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[ノイズキャンセラ]▶①[**ON**]

- 設定を解除するとき:②[OFF]

お知らせ

- 通常は、[ON]でのご使用をおすすめします。
- ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。
なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を[サイレント]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定していない場合は、64Kでテレビ電話を発信します。
- FOMA端末を閉じた状態でハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりする場合、相手には代替画像が送信されます。
- FOMA端末から音を鳴らすように設定している場合、通話中にFOMA端末を閉じたときはクローズ動作設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話を受ける

音声電話の着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。
- 電話帳にピクチャーコール（静止画または動画／ｉモーション）が設定されているときは（☞P.88）、名前や電話番号に加えて、設定された画像が表示されます。ただし、音声電話着信音にｉモーションを設定した場合は、音声電話着信音の画像が優先されます。発信者番号が通知されないときは、表示されません。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知の理由により、次のメッセージが表示されます。
  [非通知設定]：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
  [公衆電話]　：公衆電話などから発信した場合
  [通知不可能]：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）
- 着信音やバイブレータを止めたいとき：#（クイックサイレント）



電話帳に名前と静止画を登録している場合

2 電話を受ける：ⓛ

相手と通話できます。

- エニーキーアンサーが[ON]に設定されている場合、⊖／◎／#以外のボタンで、電話を受けることができます。（☞P.58）

3 通話が終わったら ▶ ⊖

お知らせ

- ビル電話などダイヤル市外通話のできない電話機から、FOMA端末へ電話をかけることはできません。
- 電話帳に登録されていない相手や電話番号を通知してこない相手から着信があったときに、設定した秒数後に着信音が鳴るようにできる呼出動作開始時間設定や、電話帳に登録されていない相手からの電話をつながらないように設定できる電話帳登録外着信拒否を設定することもできます。
- 特定の電話帳をリストに登録して、着信拒否／着信許可を設定することもできます。
- 着信通知機能を利用すると、FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことを知らせるSMSを受信します。その場合は電話帳に登録されている相手からの着信のときは、本文に名前が表示されます。

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、留守番電話サービスと転送でんわサービスは通話中着信設定を［開始］に設定し、着信動作選択を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  - ■ 留守番電話サービス . . . 着信中に◎▶③［留守転送］を押して留守番電話サービスセンターへ転送できます。（☞P.332）
  - ■ 転送でんわサービス . . . 着信中に◎▶②［着信転送］を押して登録転送先へ転送できます。（☞P.335）
  - ■ キャッチホン . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。（☞P.334）

着信中のボタン操作

応答保留（☞P.60）	⊖	伝言メモ録音／着信転送／留守転送／着信拒否	◎
クイックサイレント	#	マナーモード設定（☞P.109）	#（1秒以上）
伝言メモ応答（☞P.65）	⊙（1秒以上）		

編集中に電話がかかってきたとき

- 電話帳や送信メッセージなどの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。ただし、変換途中で確定前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。
- 編集画面に戻ったときに⊖を押すと、［編集中の内容が失われます　終了しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、⊙を押すと、待受画面に戻り、編集中のデータは削除されます。

登録しているマルチナンバーに着信があると

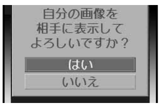
- マルチナンバーの名称を登録している場合、着信した番号に応じて［着信中］の文字の右に名称が表示されます。

音声通話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

相手（発信側）の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分（着信側）から切り替えることはできません。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）
- 自分のFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.83）を開始に設定しておく必要があります。

1 音声電話の通話中に相手がテレビ電話に切り替える



音声ガイダンスが流れたあと、右の画面が表示されます。

- テレビ電話中に相手が音声電話に切り替えたときは、音声ガイダンスが流れたあと音声電話に切り替わります。

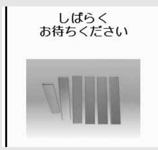
2 ［はい］▶⊙

自分側のカメラ映像が送信されます。

- ［いいえ］を選択すると、自分側のカメラ映像は送信されません。相手側の画面には、［カメラオフ］と表示されます。

お知らせ

- 切り替えには、約5秒かかります。切り替え中は、右の画面が表示されます。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。



- パケット通信中の場合は、切り替えできません。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- テレビ電話から音声電話へ切り替えて電話を受ける方法について：☞P.76

エニーキーアンサー

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時 ON

⓪、㊍、①～⑨のボタンを押しても、音声電話を受けることができるように設定します。
- ダイヤルボタン以外に、Ⓢ、ⓜ、ⓘ、Ⓒ、⊙、◉、▭（サイドボタン）でも電話を受けることができます。
- テレビ電話をⓘやⓈ以外のボタンで受けることはできません。

1 **TOP**メニュー ▶ Ⓢ（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［着信時設定］▶［エニーキーアンサー］▶ ①［**ON**］
- 設定を解除するとき：②［OFF］

クローズ動作設定

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する

お買い上げ時 終話

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定できます。
［保留］（保留音を流す）、［終話］（通話を終了する）、［ミュート］（保留音を流さずに通話を保留する）のいずれかを選択できます。

1 **TOP**メニュー ▶ Ⓢ（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［クローズ動作設定］▶ クローズ動作を選択

お知らせ

- ［保留］に設定しているときは、保留音が流れます。保留音は変更（☞P.61）できます。テレビ電話の場合、相手には保留画像設定で設定した画像が送信されます。
- ［ミュート］に設定しているときは、保留音は鳴りません。テレビ電話の場合、代替画像設定で静止画を設定したときは、相手には設定した静止画が送信されます。キャラ電を設定したときは、相手には現在設定中のキャラ電が送信されます。
- 再び通話するときは、FOMA端末を開きます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、［保留］、［ミュート］、［終話］の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。
  - ■ テレビ電話の場合、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、FOMA端末を開くとカメラ画像が相手側に送信されます。（☞P.79）
- FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、［ミュート］、［終話］に設定中はミュート状態になり、［保留］に設定中は保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続する、またはFOMA端末を開くと、通話できます。

着信履歴

着信履歴を利用する

かかってきた電話の履歴（着信履歴）は、最後にかかってきた電話番号から最大30件までFOMA端末に記憶されます。これらの電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。

着信履歴で電話をかける

1 待受画面 ▶ ⊙（➡︎📥）

電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の若い方の名前が表示されます。



着信履歴一覧画面

履歴の種類

📞：電話に出たものや、応答保留したもの

📼：伝言メモで用件録音されたもの

☎:電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否(☞P.138)、電話帳指定着信許可(☞P.137)、電話帳登録外着信拒否(☞P.141)、非通知理由別着信拒否(☞P.140)、公共モード(ドライブモード)(☞P.62)の設定により着信が拒否されたもの

電話の種類

:テレビ電話　:64Kデータ通信　:国際電話

M0〜M2:マルチナンバー着信(マルチナンバー設定時のみ)　表示なし:音声電話

待受画面に[着信あり]と表示されているとき(不在着信)	待受画面▶◉▶[着信あり]を選択▶◉ 最新の着信履歴が表示されます。(☞P.64)
着信履歴詳細画面を表示	電話番号を選択▶◉
リダイヤル一覧画面に切り替える	◯

2 電話番号を選択▶①(音声電話)

表示されている電話番号に発信します。

- テレビ電話をかけるとき:◉▶⑧[テレビ電話]

お知らせ

- 着信履歴の電話の種類は、通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、応答時の種類が表示されます。
- ダイヤル発信制限中は、着信履歴から電話をかけることができません。
- 電話帳のPIMロック中は、電話番号のみ表示されます。PIMロックを解除すると、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されているときに電話がかかってきた場合、呼出動作開始時間内に電話が切断されたり、電波の状況が悪いために切断されると、着信履歴には表示されません。ただし、着信履歴一覧画面で◎▶◯▶①▶①[全表示]を押して全表示を行うと、このような場合の着信履歴も表示されます。
- 電話に出られなかった場合は、着信履歴詳細画面で◎▶◯▶①▶②[呼出時間表示]を押すと、かかってきた電話の呼出時間を表示できます。呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、公共モード(ドライブモード)の設定により着信が拒否された場合は[0:00]と表示されます。
なお、[♪]が表示されているもの(かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの)については呼出時間が表示されません。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 発着信履歴表示の着信履歴表示が[OFF]に設定されているときも履歴は記憶されていますが、着信履歴は表示されません。
- 着信履歴一覧画面で⑧を押すと、メール受信履歴一覧画面が表示されます。
画面の見かた、メール受信履歴の利用のしかたについて:☞P.221

サブメニューでできること

- 着信履歴一覧画面や詳細画面で◎を押すと、サブメニュー画面が表示され、次の操作を選択できます。

着信履歴のサブメニュー

着信履歴一覧画面の場合	着信履歴詳細画面の場合	内　容
1電話帳登録	1電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する。
2削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。
—	3番号通知設定	発信する際の番号の非通知/通知を設定する。
—	4番号付加設定	プレフィックス選択、国際電話発信、付加番号削除を行う。
—	5マルチナンバー選択	マルチナンバーに登録している発信番号を選択する。(☞P.342)
—	6テレビ電話設定	テレビ電話画像設定、通信速度設定を行う。(☞P.82)
7メール作成	7メール作成	メールを作成する。電話帳にメールアドレスが登録されていない場合は、着信した電話番号が宛先に入力される。
8スケジュール作成	8スケジュール作成	電話番号と着信日時をスケジュールに登録する。
◯▶1表示設定	◯▶1表示設定	全表示/限定表示、呼出時間表示を行う。 ※着信履歴一覧画面の場合、呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されているときに電話帳に登録されていない番号からかかってきた電話が呼出動作開始時間内に切れたり、転送などされたときに表示されます。 ※着信履歴詳細画面の場合、電話に出たり、呼出動作開始時間設定を[OFF]に設定している場合は表示されません。

次ページへ続く▶▶

関連操作	
着信履歴を削除する<削除>	待受画面▶⊙(➔□)▶電話番号を選択▶◎▶②▶①［1件削除］▶［はい］▶⦿ ● すべての着信履歴を削除するとき：待受画面▶⊙(➔□)▶◎▶②▶②▶［はい］▶⦿

お知らせ

着信履歴の削除について
- 電源を切っても着信履歴は削除されません。他の人に見られたくないときは、着信履歴を削除してください。
- 次の操作を行うと、着信履歴はすべて削除されます。
  ■ ダイヤル発信制限　■ 電話帳のPIMロック　■ ユーザデータ削除

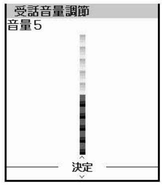
受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時　音量５

通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。
- 着信中は調節できません。
- 待受中の受話音量調節について：☞P.107

1 通話中▶⊙(上げる)／⊙(下げる)で調節
- 音量調節後、⦿／Ⓒを押すか、約２秒経過すると元の画面に戻ります。



受話音量調節画面

お知らせ

- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、保留にできます。
- 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。

1 音声電話着信中▶⊖
かけてきた相手には、応答保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
- 応答保留中に電話を切るとき：⊖(着信履歴に記憶されます。)
- 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。



2 電話に出られるようになったら▶⊡

応答保留音を設定する

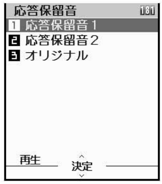
お買い上げ時　応答保留音１

応答保留中に相手へ流れるガイダンスを設定します。[応答保留音１]（日本語）と[応答保留音２]（英語）、または録音した音声メモを選択できます。

応答保留音１…　[ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。]

応答保留音２…　[I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.]

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[音]▶[保留・応答保留音]▶[応答保留音]▶応答保留音を選択



日本語のガイダンスを設定	①
英語のガイダンスを設定	②
録音した音声メモを設定	③▶②[再生]▶メモを選択▶◎[決定]
音声メモを録音してから設定	③▶①[録音]▶録音▶⦿[停止]▶②[再生]▶メモを選択▶◎[決定]
音声メモにPIMロックを設定	③▶③▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶①[ON] ●PIMロックを解除するとき：②[OFF]

● [応答保留音１]または[応答保留音２]を選択し、◎[再生]を押すと、応答保留音が再生されます。もう一度◎[停止]を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 録音した音声メモを応答保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

通話保留音を設定する

お買い上げ時　保留メロディ１

通話を保留にしたときに相手へ流す保留音として、[保留メロディ１]、[保留メロディ２]、または録音した音声メモを選択できます。

● 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[音]▶[保留・応答保留音]▶[保留音]▶保留音を選択



保留メロディ１	①
保留メロディ２	②
録音した音声メモを設定	③▶②[再生]▶メモを選択▶◎[決定]
音声メモを録音してから設定	③▶①[録音]▶録音▶⦿[停止]▶②[再生]▶メモを選択▶◎[決定]
音声メモにPIMロックを設定	③▶③▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶①[ON] ●PIMロックを解除するとき：②[OFF]

● [保留メロディ１]または[保留メロディ２]を選択し、◎[再生]を押すと、保留音が再生されます。もう一度◎[停止]を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 録音した音声メモを保留音に設定している場合、設定した音声メモを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

公共モード(ドライブモード)を利用する

運転中や公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定/解除は、待受中のみできます。([圏外](圏外)のときも可能です。)
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードのガイダンスは流れません。)

1 待受画面▶＊(1秒以上)

公共モードが設定され、[🚗]が表示されます。

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほど、おかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- マナーモードを同時設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

1 待受画面▶＊(1秒以上)

公共モード解除され、[🚗]が消えます。

公共モード(ドライブモード)を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには[着信あり]と表示され、着信履歴に記憶されます。(☞P.58)

- 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手の方には、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ｉモードメール、SMSやメッセージR/Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。

公共モード(ドライブモード)設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス(☞P.332)	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため留守番電話サービスに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴には記憶されます。※1	留守番電話サービスセンターに接続されずに、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。
転送でんわサービス(☞P.335)	接続されず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。着信履歴には記憶されます。※2	接続されず、すぐに転送されます。ただし、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話(☞P.70)以外の場合は、切断されます。着信履歴には記憶されます。
キャッチホン(☞P.334)	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	着信音は鳴らず、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。
迷惑電話ストップサービス(拒否登録した電話番号から着信した場合)(☞P.337)	接続されず、接続できなかった旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されません。	接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。

サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
番号通知お願いサービス（☞P.338）	電話番号を通知していない場合	接続されず、番号通知お願いのガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されません。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴にも記憶されません。
	電話番号を通知している場合	着信音は鳴らず、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。着信履歴には記憶されます。	公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。着信履歴には記憶されます。

※１　留守番電話サービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。着信履歴にも記憶されません。

※２　転送でんわサービスの呼出時間を［０秒］に設定している場合は、ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。着信履歴にも記憶されません。公共モードのガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。（☞P.336）

お知らせ

- 公共モード設定中でも、遠隔オールロックの操作ができます。このときは、公共モードのガイダンスが流れたら電話を切ってください。ただし、着信回数に達してオールロックが設定されるときは、公共モードのガイダンスが流れず、オールロック設定の通知音「ピーピー」が流れます。
- マナーモードを同時設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。
- 公共モード設定中にアラーム時刻になったときは、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータも動作しません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面▶ⓐ②⑤②⑤①▶ⓘ

公共モード（電源OFF）が設定されます。（待受画面上の変化はありません。）

- 公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を解除する

待受画面▶ⓐ②⑤②⑤⓪▶ⓘ

公共モード（電源OFF）の設定を確認する

待受画面▶ⓐ②⑤②⑤⑨▶ⓘ

公共モード（電源OFF）を設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■公共モード（電源OFF）に設定中の着信と各サービスとの関係

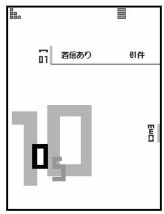
サービス名		音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス（☞P.332）		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。	留守番電話サービスセンターに接続されずに、切断されます。
転送でんわサービス（☞P.335）		携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。公共モード（電源OFF）のガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います（☞P.336）	公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは流れず、すぐに転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、転送されずに切断されます。
迷惑電話ストップサービス（拒否登録した電話番号から着信した場合）（☞P.337）		接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。	接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス（☞P.338）	電話番号を通知していない場合	番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。	番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
	電話番号を通知している場合	公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れたあと、切断されます。	公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面には［着信あり］と着信件数が表示されます。（不在着信表示）

- 不在着信を確認したり、ⓒを１秒以上押すと、［着信あり］の表示が消えます。



1 待受画面に［着信あり］が表示されているとき▶⦿

2 ［☎着信あり］を選択▶⦿

着信履歴の不在着信には［☎］が表示されます。

- ⊙（着信履歴）を押しても、着信履歴を確認できます。（☞P.58）

3 電話番号を選択▶⦿

不在着信の内容が表示されます。

- 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認できます。

不在着信をランプで確認する＜着信／メールお知らせランプ＞

お買い上げ時　ON

FOMA端末を閉じているときやディスプレイの表示が消えているとき（省電力モード中）に不在着信や新着メールがあると、ランプを点灯してお知らせします。

- 不在着信お知らせのランプ色はブルー、未読メールお知らせのランプ色はイエロー、不在着信と新着メール両方がある場合はブルーで点灯します。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［表示］▶［ランプ設定］▶［着信／メールお知らせランプ］▶①［不在着信お知らせ］／②［未読メールお知らせ］▶①［**ON**］

- 設定を解除するとき：②［OFF］

お知らせ

- オールロック中は、着信したことをお知らせしません。オールロックを解除すると確認できます。

バイブレータで不在着信を確認するとき

- 待受中に、FOMA端末を閉じた状態で▭(サイドボタン)を押すと、不在着信、伝言メモ、新着メールや留守番電話の伝言メッセージの有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、[パターン 1]で2回振動します。何もない場合は、振動しません。着信／メールお知らせランプの設定が[OFF]でもバイブレータは動作します。バイブレータの振動内容について:☞P.107

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきた場合は、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

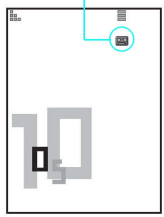
- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには使用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスを併せてご利用になると便利です。
- 音声伝言メモは3件(1件あたり約15秒)まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて3件です。
- テレビ電話伝言メモは2件(1件あたり約15秒)まで録画できます。
- 待受画面に表示される伝言メモの件数は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモの合計です。
- 伝言メモ／音声メモをPIMロックしている場合は、伝言メモを設定していても録音されません。

伝言メモを設定する<伝言メモ設定>

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[伝言メモ設定]▶1[ON]**

- ⊖を押すと待受画面に戻ります。([📼]表示)
- 伝言があると、[📼1](1件の場合)[📼2](2件の場合)…のように件数を表すマークが表示されます。5件目が録音されると、[📼]は自動的に消えます。
- [音声伝言メモがすでに3件録音されています]と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件未満、録音済みです。
- [テレビ電話伝言メモがすでに2件録画されています]と表示されたときは、音声伝言メモ3件未満、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。
- [これ以上録音できません]と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。(☞P.68)

伝言メモ表示



関連操作	
応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<伝言応答時間>	TOPメニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[伝言応答時間]▶応答時間(3桁:000〜120秒)を入力▶⦿ ● 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき:応答時間に[000秒]を入力
応答メッセージを設定する<応答メッセージ>	**1** TOPメニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[応答メッセージ] **2** メッセージの種類を選択 ● オリジナルの応答メッセージを設定するとき:3▶2[再生]▶メモを選択▶Ⓢ[決定] ● オリジナルの応答メッセージを録音するとき:3▶1[録音]▶録音▶⦿[停止]▶2[再生]▶メモを選択▶Ⓢ[決定] ● 応答メッセージを再生するとき:Ⓢ[再生] ● 応答メッセージを停止するとき:Ⓢ[停止]

お知らせ

- 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり3分間、20件まで録音できます。設定しているときは、音声伝言メモが3件録音されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 通話中音声メモ、待受中音声メモについて:☞P.323

伝言応答時間について

- 伝言応答時間は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- お買い上げ時は、[8秒]に設定されています。

次ページへ続く

お知らせ

- オート着信の設定と同じ時間には設定できません。（☞P.328）
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
  伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。

応答メッセージについて

- お買い上げ時は、応答メッセージは［応答メッセージ１］、テレビ電話時応答画像は［テレビ電話代替］に設定されています。
- お買い上げ時には、［応答メッセージ１］と［応答メッセージ２（英文）］が登録されています。
  応答メッセージ１ ……………「ただいま電話に出ることができません。ピーッと言う発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。」
  応答メッセージ２（英文）…「I can't take your call now. Please leave your message, thank you.」
- オリジナルの応答メッセージは「伝言メモ・音声メモを削除する」（☞P.68）で削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

伝言メモを解除する

TOPメニュー ▶ ５（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［伝言メモ設定］▶［伝言メモ設定］▶ ②［**OFF**］

- ⊖を押すと待受画面に戻り［📼］が消えます。
- マナーモード設定時の伝言メモの設定／解除は、マナーモード設定（☞P.109）で行ってください。

伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、伝言応答時間（☞**P.65**）のあとに伝言メモが応答

- 音声電話をかけてきた相手には、音声ガイダンスが流れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、［伝言メモ準備中　お待ち下さい］と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。
- 伝言メモ応答中、または録音、録画中に次の操作で電話に出ることができます。



音声電話
伝言メモ応答中

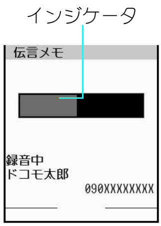


テレビ電話
伝言メモ応答中

電話に出る		ⓘ
テレビ電話に出る	自分側のカメラ映像を送信	ⓘ
	代替画像を送信	⑧［代替画像］ 代替画像設定（☞P.79）で設定した画像が送信されます。

2 相手の用件を録音／録画

- インジケータは目安です。
- 用件の録音が終わると、待受画面に戻ります。
- 音声伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます。（マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません。）録音を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- テレビ電話伝言メモのときは、録画中は画面に相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画しています。
- 電話に出るまでの間に録音または録画された内容は記憶されます。



音声電話
伝言メモ録音中



テレビ電話
伝言メモ録画中

お知らせ

- 音声伝言メモが３件、テレビ電話伝言メモが２件になると［📼］が消え、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
  伝言メモが設定されている場合は、不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。
- 伝言メモ・テレビ電話伝言メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- 電波の状態により録音内容が途切れたりすることがあります。
- テレビ電話伝言メモの応答画像を設定できます。
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、FOMA端末で設定した応答画像に[伝言メモ]という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- 伝言メモを設定していなくても、着信中のボタン操作で伝言メモを設定し、用件を録音・録画できます。(☞P.67、P.75)
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音できません。
- 公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、伝言メモは動作しません。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

音声電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音できます。

1 音声電話着信中▶⊙(1秒以上)

音声ガイダンスが流れたあと、録音が始まります。

- 音声電話着信中に、◎▶①[伝言メモ録音]を押しても伝言メモを録音できます。
- テレビ電話着信中に伝言メモを録画する方法について:☞P.75
- [音声伝言メモがすでに3件録音されています]と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件未満録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。(☞P.68)
- [これ以上録音できません]と表示されたときは、音声伝言メモ3件、テレビ電話伝言メモ2件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。(☞P.68)



お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

伝言メモ・音声メモ再生／削除

伝言メモ・音声メモを再生／削除する

伝言メモの用件、通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除できます。

伝言メモ・音声メモを再生する

再生時の音量は、受話音量調節(☞P.60)の設定に従います。

1 待受画面▶⊙(1秒以上)▶②[再生]

[伝言メモあり　○件　テレビ伝言メモあり○件]と表示されているとき

- 待受画面▶◉▶[📼]▶◉▶②[再生]
- 未再生のメモには、[📼]が表示されます。

着信種別
🎵:通話中音声メモ
📼:伝言メモ
🎤:待受中音声メモ

電話種別
📹:テレビ電話
表示なし:音声電話



メモメニュー画面



伝言メモ未再生のメモリスト画面

次ページへ続く

2 メモを選択▶◉［再生］

- インジケータは目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合、電話番号や名前は表示されません。

再生を途中で止める	◉［停止］
再生中のメモを最初から聞く	◉［停止］▶◉［再生］
再生中に他のメモを聞く	◉［停止］▶メモを選択▶◉［再生］



音声電話
伝言メモの場合

お知らせ

- 音声メモの録音について：☞P.323

伝言メモ・音声メモの再生／削除について

- 伝言メモ・音声メモの再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 伝言メモ・音声メモの再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- テレビ電話伝言メモの再生時にマナーモード設定されている場合は、確認画面が表示されます。再生するときは、［はい］を選択します。
- 着信履歴表示を［OFF］に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ・音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ・音声メモのPIMロック中の場合（☞P.134）

- 操作1で⊙を1秒以上押すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックは一時解除され、操作できるようになります。
- 操作を終了して待受画面に戻ると再びロックされます。

バイブレータで伝言メモを確認するとき

- 待受中に、FOMA端末を閉じた状態で▭（サイドボタン）を押すと、不在着信、伝言メモ、新着メールや留守番電話の伝言メッセージの有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、［パターン1］で2回振動します。何もない場合は、振動しません。着信／メールお知らせランプの設定が［OFF］でもバイブレータは動作します。バイブレータの振動内容について：☞P.107

伝言メモ・音声メモを削除する

1 メモリスト画面（☞**P.67**）▶削除方法を選択

メモを1件削除	メモを選択▶◎▶①▶［はい］▶◉
すべてのメモを削除	◎▶②▶［はい］▶◉

関連操作	
伝言メモ・音声メモをPIMロックする <PIMロック>	待受画面▶⊙（1秒以上）▶③［PIMロック］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶①［ON］

テレビ電話のかけかた／受けかた

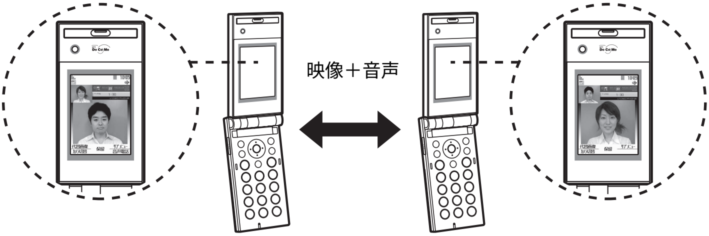
テレビ電話について

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話できます。

- テレビ電話は64K(kbps)または32K(kbps)で通信できます。
- 64Kまたは32Kのどちらの通信速度でも、接続したときのデジタル通信料は同じです。
- 自画像の代わりに代替画像やキャラ電を送受信して通話する場合も、デジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。(☞P.52)
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1　3GPP(3rd Generation Partnership Project):第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2　3G-324M:第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。



- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク(☞P.327)を利用、またはハンズフリー(☞P.80)を利用してください。

テレビ電話中の画面の見かた



- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 子画面:自分側のカメラ映像(お買い上げ時)

2 親画面:相手側のカメラ映像(お買い上げ時)

3 カメラの明るさ:-2　-1　±0　+1　+2

4 送信画像マーク

送信している画像の種類や状態を表示します。

- :カメラ映像送信中
- :カメラ映像の一時停止中
- :代替画像送信中
- :キャラ電(全体アクションモード)を送信中
- :データBOXのマイピクチャの画像を送信中
- :キャラ電(パーツアクションモード)を送信中

5 テレビ電話中表示

テレビ電話の通信速度の状態を表示します。

- :テレビ電話通信中(64K)
- :テレビ電話通信中(32K)

6 ハンズフリー表示

:ハンズフリー中に表示します。

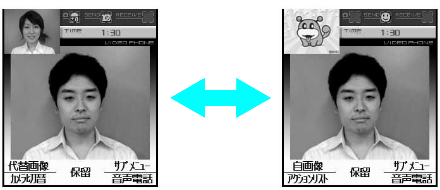
7 受信画像マーク

:相手側の画像を撮影、保存するときに表示します。

8 通信時間:通信時間を最大9時間59分59秒まで表示します。9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。

キャラ電

テレビ電話中、自分の映像の代わりにキャラクタを表示して相手に送信できます。キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作によって手足などを動かしたりできます。(☞P.76)



©BVIG

テレビ電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

1 待受画面➡電話番号を市外局番からダイヤルする

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が２行表示されます。

携帯電話にかける	電話番号11桁（090-XXXX-XXXX、080-XXXX-XXXX）を入力
PHSにかける	電話番号11桁（070-XXXX-XXXX）を入力
国際電話をかける（[+]入力）	⓪（１秒以上）➡電話番号の入力 ●先頭に[+]が入力された場合、[+]以降の電話番号への発信・通話動作を行います。
ダイヤルを間違えたとき	ⓒ（最後の１桁が消えます。） ●すべての桁を消すとき：ⓒ（１秒以上）（待受画面に戻ります。）

2 ⓘ[テレビ電話]

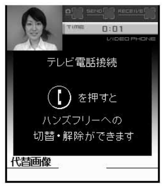
- 電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけるとき：ⓜ➡⑤➡①➡②[代替画像]➡フォルダを選択➡◉➡キャラ電を選択➡ⓘ[決定]➡ⓘ[テレビ電話]



3 相手が電話に出たら通話

[テレビ電話接続　ⓣを押すとハンズ フリーへの切替・解除ができます]が表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。

- 相手側の映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。
- お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が[ON]に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。マナーモードを設定している場合は、[マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？]と表示されます。[はい]を選択し、◉を押します。



ハンズフリーのON／OFFを切り替える（☞P.80）		ⓣ
通話中に代替画像を送信		ⓘ[代替画像] ●代替画像設定（☞P.79）で設定した画像やキャラ電が表示されます。
プッシュホン信号を送信<DTMF送信モード>	カメラ映像を送信中	送信する番号を入力
	キャラ電を送信中	ⓜ➡⑦[DTMF送信モード]➡①[ON]➡送信する番号を入力
自分の電話番号を表示		ⓜ➡⑧[自局番号表示]

4 通話が終わったら➡⊖

お知らせ

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけた場合は接続できません。音声自動再発信が[ON]に設定されている場合は、自動的に音声電話で発信し直します（☞P.82）。その場合、通信料金は音声通話料となります。なお、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.70）に対応していないISDNのテレビ電話など（2006年２月現在）や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。

次ページへ続く

お知らせ

- 相手がテレビ電話に対応したFOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。(☞P.82)64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

ダイヤル入力時の設定速度	音声自動再発信	発信順序
64K	ON	64K発信→32K発信→音声発信
	OFF	64K発信→32K発信
32K	ON	32K発信→音声発信
	OFF	32K発信

- 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所では映像に白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源がじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
- キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に[着信あり]と表示されます。
- テレビ電話中、i モードメールやメッセージR／Fは受信されず、i モードセンターに保管されます。i モードセンターに保管された i モードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、i モード問い合わせを行うと受信できます。
- テレビ電話中、SMSは自動的に受信します。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
- テレビ電話の通信が開始されると、音声自動再発信は行いません。
- テレビ電話は[テレビ電話通話時間]としてカウントされます。(☞P.325)
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、i モードを利用することはできません。
- 別売りのイヤホンマイク接続中は、テレビ電話ハンズフリー設定にかかわらず、イヤホンマイクによる通話となります。

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください	使われてない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が通話中に表示されます。
転送致しますのでお待ちください	相手が転送設定している場合に表示されます。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源を入れていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。(Vライブやビジュアルネットなどへの発信時)
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスに設定している場合に表示されます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

テレビ電話の通話中に保留にする<通話保留>

テレビ電話の通話中に、通話を保留にします。

1 テレビ電話の通話中 ▶ ◉[保留]

保留状態になり、保留画像設定で設定した画像が表示されます。(☞P.79)
かけてきた相手には保留音(☞P.61)が流れ、保留画像設定で設定した画像が送信されます。

- サブメニューから切り替えるとき：◎ ▶ ①[通話保留]



2 電話に出られるようになったら ▶ Ⓘ／⑧[代替画像]

- 自画像を送信するときはⒾ、代替画像を送信するときは⑧[代替画像]を押します。

お知らせ

- 保留中、相手には、FOMA端末で設定した保留画像に[保留]という文字が重なって表示されます。

テレビ電話の通話中に相手の声の音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時 音量５

テレビ電話の通話中に相手の声の大きさを10段階で調節できます。

- 着信中は調節できません。

1 テレビ電話の通話中 ▶ ⓞ(上げる)／ⓞ(下げる)で調節

- テレビ電話の通話中に◎ ▶ ②[受話音量]を押しても操作できます。
- 音量調節後、◉／Ⓒを押すか、約２秒経過すると元の画面に戻ります。

お知らせ

- 受話音量を上げて通話すると、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。
- 通話中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

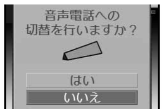
テレビ電話から音声通話に切り替える

自分から電話をかけたときに、テレビ電話⇔音声電話を切り替えできます。

- 相手のFOMA端末の切替機能通知設定(☞P.83)を開始に設定している必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。
- 相手側が切り替え可能な端末の場合、画面右下の操作ガイダンスに[音声電話]が表示され、テレビ電話中に音声電話へ切り替えることができます。(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。)

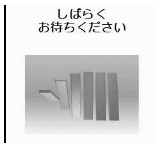
1 テレビ電話の通話中 ▶ ⓜ[音声電話]

- サブメニューから切り替えるとき：◎ ▶ ⑥[音声電話切替]



2 [はい] ▶ ◉

- 切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。
- [いいえ]を選択すると、テレビ電話の画面に戻ります。
- テレビ電話⇔音声電話の切り替えは、通話中何度でも可能です。切り替えるたびに、通話時間表示が０秒から開始されます。



お知らせ

- 通話中でも、サブメニューから他の画面を表示したときや、保留中などには音声電話に切り替えできません。
- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 切り替え中は、料金は加算されません。
- ハンズフリー通話中に音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーは解除されます。
- 32Kでのテレビ電話中は、音声電話に切り替えることはできません。
- 音声電話からテレビ電話への切り替え方法について：☞P.49

テレビ電話を受ける

- テレビ電話に出ると、ディスプレイに相手側のカメラ映像と自分側のカメラ映像が表示されます。
- 着信中や通話中に⑧[代替画像]を押して、自分側のカメラ映像の代わりに、代替画像やキャラ電(☞P.79)を相手に送信してお話しできます。
- お買い上げ時は、テレビ電話ハンズフリー設定が[ON]に設定されていますので、通話開始時からハンズフリーでお話できます。

1 テレビ電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅

- 発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。電話帳に相手の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。



2 電話を受ける：ⓘ

相手側のカメラ映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。

- マナーモードを設定しているときは、[マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？]と表示されます。[はい]を選択し、◉を押します。



3 通話が終わったら ▶ ⊖

お知らせ

- 送信する代替画像の種類は、代替画像設定で設定できます。
- 音声通話中にテレビ電話がかかってきた場合、キャッチホンなど(ネットワークサービス)のお申し込み状況により、テレビ電話を受けることができます。テレビ電話を選択した場合は、通話中の音声電話は切断されます。
- 留守番電話サービスを[開始]に設定しているときに901iSシリーズ以降のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、相手には[音声電話でおかけ直しください]と表示され、電話が切れます。901iSシリーズより前のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合は、[接続できませんでした]と表示され、電話が切れます。設定した呼出時間内に応答すると、そのまま通話できます。
- 着信側で転送でんわサービスを[開始]に設定しても、転送先が3G-324M(☞P.70)に準拠したテレビ電話対応機でないと、テレビ電話は転送されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定してください。
- 公共モード(ドライブモード)設定中にテレビ電話がかかってきたときは、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信履歴には記憶されます。
- 相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。

着信中のボタン操作

自画像で応答	ⓘ	テレビ電話伝言メモ応答(☞P.75)	⊙(1秒以上)
代替画像で応答	⑧	着信拒否／テレビ電話伝言メモ／着信転送	ⓞ
応答保留(☞P.60)	⊖	マナーモード設定(☞P.109)	#(1秒以上)
クイックサイレント	#		

- テレビ電話の場合、エニーキーアンサーを[ON]に設定していても、上記以外のボタン操作は無効です。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を利用するとき

- 平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを2秒以上押すと、FOMA端末を開いているときは自画像で、FOMA端末を閉じているときは代替画像でテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。(☞P.78)
- オート着信設定を[ON]に設定すると、平型スイッチ付イヤホンマイク接続中にテレビ電話がかかってきた場合、指定した着信時間後に代替画像を送信して応答します。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。

すぐに電話に出られないときに保留にする<応答保留>

かかってきたテレビ電話にすぐに出られないときは、保留にできます。
- 応答保留中でも、相手にデジタル通信料がかかります。

1 テレビ電話着信中▶⊖



- [テレビ電話接続]と表示され、応答保留画像設定にて設定された画像が表示されます。
- かけてきた相手には、電話はつながった状態のまま、応答保留音が流れ、応答保留画像設定にて設定された画像が送信されます。
- 応答保留中に電話を切るとき：⊖（着信履歴に記憶されます。）
- 応答保留中に相手が電話を切ったときも着信履歴に記憶されます。

2 電話に出られるようになったら▶ⓘ／⑧[代替画像]

- 自画像を送信するときはⓘ、代替画像を送信するときは⑧[代替画像]を押します。

お知らせ

- 応答保留中、相手には、FOMA端末で設定した応答保留画像に[応答保留]という文字が重なって表示されます。

着信中のテレビ電話に出られないときに用件を録画する<テレビ電話伝言メモ>

テレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録画できます。
- FOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときは使用できません。
- ２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。
- 伝言メモの設定について：☞P.65

1 テレビ電話着信中▶⊙（１秒以上）



- テレビ電話着信中に、◎▶②[テレビ電話伝言メモ]を押しても、テレビ電話伝言メモを録画できます。
- [伝言メモ準備中　お待ち下さい]と表示されたあと、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
- かけてきた相手には伝言メモメッセージ（☞P.65）が流れ、テレビ電話伝言メモ用の応答画像が送信されます。
- テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されているときは、[テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されています]または[これ以上録画できません]（音声伝言メモも３件登録されているとき）と表示され、動作しません。

2 用件を録画

- 録画中、相手の画像は表示されませんが、実際は相手の画像も録画されます。
- 用件の録画が終わると、待受画面に戻ります。
- テレビ電話伝言メモ録画中に電話に出る場合、自分側のカメラ映像を送信して通話するときはⓘ、代替画像を送信して通話するときは⑧[代替画像]を押します。

関連操作	
テレビ電話伝言メモの静止画を設定する<テレビ電話時応答画像>	TOPメニュー▶5（設定）▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[テレビ電話時応答画像]▶フォルダを選択▶⊙▶静止画を選択▶⑧[決定] ● 静止画を確認するとき：静止画を選択▶⊙[確認]

お知らせ

- テレビ電話伝言メモの再生と削除について：☞P.67
- 伝言メモ設定またはマナーモード設定により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- テレビ電話伝言メモの応答画像は、テレビ電話時応答画像で設定できます。
- テレビ電話伝言メモの応答中、相手には、FOMA端末で設定した応答画像に[伝言メモ]という文字が重なって表示されます。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

テレビ電話時応答画像について

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、[テレビ電話代替]に設定されています。

テレビ電話から音声通話に切り替えて電話を受ける

相手（発信側）の操作でテレビ電話⇔音声電話を切り替えます。

- 自分（着信側）から切り替えることはできません。（音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種にてご利用いただけます。）
- 自分のFOMA端末の切替機能通知設定（☞P.83）を開始に設定しておく必要があります。

1 **テレビ電話の通話中に相手が音声電話に切り替える**
切り替え中は、右の画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。



お知らせ

- 切り替えには、約５秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては、テレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れる場合があります。
- 音声通話からテレビ電話へ切り替えて電話を受ける方法について：☞P.57

キャラ電を利用する

- キャラ電については、P.273も併せて参照してください。

キャラ電を代替画像として送信する<送信画像切替>

お買い上げ時　ブンブン（Dimo）

テレビ電話中の操作で、自分のカメラ映像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。

1 **テレビ電話中▶◎▶③▶③[キャラ電]▶フォルダを選択▶⦿▶キャラ電を選択▶⑧[決定]**

お知らせ

- あらかじめ代替画像としてキャラ電を設定（☞P.79）しておくと、テレビ電話中または着信中に⑧[代替画像]を押すだけでキャラ電を送信できます。
- DTMF送信モードを[ON]に設定した場合は、ダイヤルボタンでプッシュホン信号が送出されるため、キャラ電のボタン操作ができません。
- [ブンブン（Dimo）]を削除したあとで、設定リセットを行うと[テレビ電話代替]になります。

お買い上げ時に登録されているキャラ電

お買い上げ時には、以下のキャラ電が設定されています。

ブンブン(Dimo)



©BVIG

ブンブンが喜びや悲しみの感情を表し、体全体のアクションで応対します。

● 全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション	番号(ボタン操作)	アクション
①	喜ぶ	⑥	酔っぱらい
②	反省	⑦	ラッパー
③	あっかんべ	⑧	悲しみ
④	LOVE	⑨	ムンクの叫び
⑤	寝る		

● ブンブン(Dimo)は、パーツアクションに対応していません。

キャラ(ロボット)



ロボットが喜びや驚きの感情を表したり、腕を回したりガッツポーズをとるなどのさまざまなアクションで応対します。

● 全体アクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション	番号(ボタン操作)	アクション
①	喜ぶ	④	ラブラブ
②	怒る	⑤	驚く
③	いじける	⑥	ゴメンなさい

● パーツアクションモードでのアクション一覧

番号(ボタン操作)	アクション	番号(ボタン操作)	アクション
①▶①	(右腕)手を振る(ループ)	①▶⑧	(左腕)左腕バタバタ(ループ)
①▶②	(左腕)手を振る(ループ)	②▶①	(右腕)右腕回す(ループ)
①▶③	(顔)うなずく(ループ)	②▶②	(左腕)左腕回す(ループ)
①▶④	(右腕)ガッツポーズ	②▶③	(体)上半身回転(ループ)
①▶⑤	(左腕)ガッツポーズ	②▶④	(体)ボディから煙り
①▶⑥	(顔)頭ぐるぐる(ループ)	②▶⑤	(足)がに股
①▶⑦	(右腕)右腕バタバタ(ループ)	②▶⑥	(体)ミサイル発射

テレビ電話中にキャラ電を切り替える<キャラ電切替>

テレビ電話中にキャラ電を送信しているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中▶ⓜ▶◯▶②▶①[キャラ電切替]▶フォルダを選択▶●▶キャラ電を選択▶ⓢ[決定]

全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクション切替>

表示中のキャラ電の動作を、全体アクションかパーツアクションに切り替えることができます。

1 代替画像でキャラ電を送信中▶◯(1秒以上)

全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

● 送信中にⓜ▶◯▶②▶②[アクション切替]でも切り替えできます。

キャラ電にアクションをさせる

キャラ電にアクションをさせることができます。
- 全体アクションモードにすると、[喜ぶ]や[悲しみ]などの感情を選択することができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすものもあります。
- キャラ電によりアクションの種類は異なります。
- キャラ電によっては、アクションがないものがあります。

1 代替画像でキャラ電を送信中 ▶ ⓜ[アクションリスト]／◯(1秒以上)
- 送信中に ▶ ⓜ ▶ ◯ ▶ ② ▶ ③[アクション一覧]でも表示できます。

アクションをさせる	アクションを選択 選択したアクションを行います。 ●アクション一覧を表示せずに、アクションの番号(①～⑨、#)を押してアクションをさせることもできます。 ●あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについて：☞P.77
アクションを中止	⓪
アクションの詳細を表示	ⓘ[詳細]

お知らせ
- キャラ電によっては、操作しなくてもアクションを行うものがあります。

相手側に送信する映像について設定する

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」(横×縦)のサイズの静止画を利用できます。(GIFアニメーションは利用できません。)
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。

送信する画像を通話中に切り替える<送信画像切替>

自分側のカメラ映像の代わりに、あらかじめ設定した代替画像を送信できます。

1 テレビ電話中 ▶ ⓘ[代替画像]
設定されている代替画像が送信されます。
- 自分側のカメラ映像に戻すとき：ⓘ[自画像]／ⓜ ▶ ③ ▶ ①[自画像]



©BVIG

代替画像を選択して送信	ⓜ ▶ ③ ▶ ②[代替画像] ▶ フォルダを選択 ▶ ◉ ▶ 静止画を選択 ▶ ⓘ[決定] ●ここで選択した代替画像は、テレビ電話を終了すると解除されます。
キャラ電を選択して送信	ⓜ ▶ ③ ▶ ③[キャラ電] ▶ フォルダを選択 ▶ ◉ ▶ キャラ電を選択 ▶ ⓘ[決定] ●ここで選択したキャラ電は、テレビ電話を終了すると解除されます。

関連操作	
自画像のズームアップ／ズームダウンを行う <ズームアップ／ズームダウン>	**1** テレビ電話の通話中 ▶ ◯／◯ **2** ◯(ズームアップ)／◯(ズームダウン) ● 最大ズーム：ⓜ ● 最小ズーム：ⓜ
メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>	テレビ電話の通話中 ▶ ⓜ[カメラ切替] ● サブメニューから切り替えるとき：ⓜ ▶ ◯ ▶ ①
データBOXの静止画を送信する <ファイル再生>	テレビ電話の通話中 ▶ ⓜ ▶ ③ ▶ ④[ファイル再生] ▶ フォルダを選択 ▶ ◉ ▶ 静止画を選択 ▶ ⓘ[決定] ● 自分側のカメラ映像に戻すとき：ⓘ[自画像]／ⓜ ▶ ③ ▶ ①[自画像]
明るさを調整する<明るさ調整>	テレビ電話の通話中 ▶ ◯(明るく)(1秒以上)／◯(暗く)(1秒以上)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

ズームアップ／ズームダウンについて
- 最大18段階（メインカメラ）、2段階（サブカメラ）のズームを設定できます。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、画像をズームできません。
- 相手の映像はズームできません。
- カメラを切り替えたり、テレビ電話を終了するとズームは解除されます。

カメラ切替について
- テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
- メインカメラを使用中またはサブカメラを使用中にメインカメラに切り替えようとした場合、メインカメラの周辺の温度が高くなっていたり、電池残量が[▭]以下になった場合、[ただいまメインカメラを利用できません]と表示され、代替画像に切り替わります。メインカメラに切り替えできません。

ファイル再生について
- FOMA端末で撮影した画像はファイル制限設定に関係なく利用できます。（静止画メモで撮影した画像は利用できません。）
- miniSDメモリーカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末（本体）マイピクチャの[外部取得データ]フォルダにコピーしてご利用ください。
- マルチメディアのPIMロック中はファイルが表示されません。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、ファイルが表示されます。

明るさ調整について
- ディスプレイ上部に[-2]、[-1]、[±0]、[+1]、[+2]が表示されます。
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。
- 代替画像を送信しているときは、明るさを調整できません。

相手に送信する代替画像を発信時に変更する<テレビ電話画像設定>

1 電話番号を入力▶◎▶⑤▶①[テレビ電話画像設定]▶送信する画像を選択
- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するとき：◎▶⑥▶①[テレビ電話画像設定]

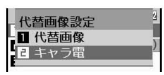
自分側のカメラ映像を送信	①
キャラ電を送信	②▶フォルダを選択▶⦿▶キャラ電を選択▶⑧[決定] ●キャラ電を確認するとき：キャラ電を選択▶⦿[確認]（戻るとき：ⓒ）

代替画像を設定する<代替画像設定>

お買い上げ時 ブンブン（Dimo）

テレビ電話中の代替画像に、静止画やキャラ電（☞P.273）を設定できます。
- キャラ電を代替画像に設定できる画像サイズは、「QCIF：176×144」です。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画像設定]▶[代替画像設定]▶代替画像を選択



静止画を設定	①[代替画像]▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶⑧[決定]
キャラ電を設定	②[キャラ電]▶フォルダを選択▶⦿▶キャラ電を選択▶⑧[決定]

- 画像を確認するとき：画像を選択▶⦿[確認]（戻るとき：ⓒ）

お知らせ
- 代替画像を送信中、相手には、FOMA端末で設定した静止画に[カメラオフ]という文字が重なって表示されます。キャラ電を設定している場合、[カメラオフ]は表示されません。

関連操作	
応答保留や通話保留の画像を変更する<応答保留画像設定／保留画像設定>	**1** TOPメニュー▶5（設定）▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画像設定]▶⦿ **2** 応答保留画像設定するとき：②[応答保留画像設定] ●保留時の代替画像を設定するとき：③[保留画像設定] **3** フォルダを選択▶⦿▶画像を選択▶⑧[決定]

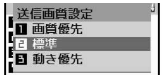
お知らせ
- お買い上げ時は、どちらも[テレビ電話代替]が設定されています。

送信画質を設定する<送信画質設定>

お買い上げ時　標準

テレビ電話中に送信する自画像の画質を設定できます。

1 **TOP**メニュー▶S（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［テレビ電話設定］▶［送信画質設定］▶画質を選択



- テレビ電話通話中に設定するとき：◎▶⑤▶③［送信画質設定］

画質優先	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

お知らせ

- テレビ電話中の送信画質設定は一時的なものです。テレビ電話を終了すると、TOPメニュー▶S（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［テレビ電話設定］▶［送信画質設定］で設定した画質に戻ります。
- テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時　ON

テレビ電話の通話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。ハンズフリーにすると、相手の声をスピーカから流して、映像を見ながら通話できます。

- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。

1 **TOP**メニュー▶S（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［テレビ電話設定］▶［テレビ電話ハンズフリー設定］▶①［**ON**］

- 設定を解除するとき：②［OFF］

通話中にハンズフリーの**ON**／**OFF**を切り替える

1 テレビ電話の通話中▶ⓘ

- ⓘを押すたびにハンズフリーのON／OFFが切り替わります。
- ハンズフリー中は［✥］が表示されます。
- マナーモードを設定している場合は、［マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？］と表示されます。［はい］を選んで◉を押します。



お知らせ

- 送話口から20～40cm程度が最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所でハンズフリー通話を行う場合は、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話中の映像を設定する

テレビ電話の通話中にディスプレイの画像表示を変更できます。

● 設定できる項目は次のとおりです。操作方法について:☞P.78、P.81

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定
明るさ調整	カメラ映像の明るさを5段階で調整できます。	±0
テレビ電話画面設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更できます。	相手大・自分小
子画面表示設定	子画面の表示位置を設定できます。	左上
テレビ電話中照明設定	テレビ電話中のディスプレイの照明時間を設定できます。	常にON
自画像設定	自分側の映像を、正像、鏡像、または一時停止に設定できます。	鏡像

テレビ電話画面設定

● 次の4種類から選択することができます。

項　目	設定内容
相手大・自分小	相手側の映像を大きく、自分側の映像を小さく表示します。
相手のみ	相手側の映像のみを表示します。
自分大・相手小	自分側の映像を大きく、相手側の映像を小さく表示します。
自分のみ	自分側の映像のみを表示します。



相手大・自分小



相手のみ



自分大・相手小



自分のみ

子画面表示位置



左上



右下

関 連 操 作	
相手画像と自画像の表示方法を設定する ＜テレビ電話画面設定＞	**1** テレビ電話の通話中▶◎▶⑤▶①［テレビ電話画面設定］ **2** 表示方法を選択
子画面の表示位置を設定する ＜子画面表示設定＞	**1** テレビ電話の通話中▶◎▶⑤▶②［子画面表示設定］ **2** 位置を選択
照明を設定する＜テレビ電話中照明＞	**1** テレビ電話の通話中▶◎▶⑤▶④［テレビ電話中照明］ **2** ［常にON］にするとき:② ● 通常時と同じにするとき:①
自分側の画像を静止画にして送信する ＜一時停止＞	テレビ電話の通話中▶◎▶③▶⑤▶①［一時停止］ ● 元に戻すとき:ⓜ［終了］／Ⓒ
自分側の画像を正像にする＜正像/鏡像切替＞	テレビ電話の通話中▶◎▶③▶⑤▶②［正像／鏡像切替］

次ページへ続く

お知らせ

- 代替画像を送信しているときは、一時停止、正像／鏡像切替はできません。

テレビ電話画面設定について

- テレビ電話画面設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

子画面表示設定について

- 子画面を[右下]に設定すると、通話時間や送信、受信画像アイコンは左下に表示されます。
- 子画面表示位置は、テレビ電話を終了しても保持されます。

テレビ電話中照明設定について

- [通常時と同じ]に設定すると、照明時間設定の通常時で設定した点灯時間になります。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- テレビ電話中照明設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

自画像設定(一時停止、正像／鏡像切替)について

- 設定にかかわらず相手側には常に正像が表示されます。
- カメラ映像が停止した状態の静止画を送信することもできます。
- [正像]は見たとおりの向きに、[鏡像]は左右逆向きに表示されます。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、自画像設定できません。
- 一時停止中、相手には、FOMA端末の映像に[停止中]という文字が重なって表示されます。
- 一時停止中は送信画像切替や静止画メモを選択できません。
- テレビ電話を終了すると、自画像設定は元に戻ります。

テレビ電話の設定を変更する

通信速度を32Kに切り替える<通信速度設定>

お買い上げ時 64K

1 電話番号を入力 ▶ ◎ ▶ ⑤ ▶ ② [通信速度設定]

- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から発信するとき：◎ ▶ ⑥ ▶ ② [通信速度設定]

2 ② [**32K**] ▶ ⑧ [テレビ電話]

[32K]が表示されます。

- 64Kにするとき：① [64K]



お知らせ

- 64Kまたは32Kの通信速度変更は、その発信に限り有効です。

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

お買い上げ時 OFF

1 **TOP**メニュー ▶ 5(設定) ▶ [通話・通信機能設定] ▶ [テレビ電話設定] ▶ [音声自動再発信] ▶ ① [**ON**]

- 設定を解除するとき：②[OFF]

お知らせ

- 音声電話で再発信した場合の通話料金は、テレビ電話通話料ではなく、音声通話料になります。
- テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。
- ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(☞P.70)に対応していないISDNのテレビ電話など(2006年2月現在)や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時 通知中

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。

- 切替機能通知設定を停止に設定すると、相手から切り替えることはできません。
- 音声通話中およびテレビ電話中に切替機能通知設定を変更することはできません。
- 圏外のときは切替機能通知設定を変更できません。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話切替機能通知]▶切替機能通知を開始・停止

切替機能通知を開始	①▶[はい]▶◉
切替機能通知を停止	②▶[はい]▶◉
切替機能通知設定を確認	③ 現在の設定内容が表示されます。

静止画メモ

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の画像を静止画撮影できます。

- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」(横×縦)です。

1 テレビ電話中▶◎▶④[静止画メモ]▶◉[📷]

静止画が撮影され、[保存中]が表示されます。

撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。

- 静止画撮影中、相手には、FOMA端末の映像に[撮影中]という文字が重なって表示されます。
- シャッター音は鳴りません。
- 撮影した静止画はFOMA端末以外へ出力できません。

お知らせ

- テレビ電話画面設定を[自分のみ]に設定している場合、静止画メモを選択できません。

▶MEMO◀

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳では登録できる項目や件数などが異なります。

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の違い

FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

- FOMAカードは、複数のFOMA端末でお使いいただけます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末(本体)電話帳	FOMAカード電話帳
件数	750件	ドコモのFOMAカード:50件
名前の登録文字数	最大全角16文字(半角32文字)	半角英数のみ:最大21文字 全角のみ、全角/半角混在、 半角カタカナのみ:最大10文字
フリガナ	半角カタカナ(最大32文字)	全角カタカナ(最大12文字)
グループの設定	20グループ	11グループ
アイコン	電話番号:7種類 メールアドレス:4種類	−
メモリ番号の設定	000〜749	−
電話番号	1つの電話帳に3件(電話帳全体で登録可能な電話番号は2250件まで)	1つの電話帳に1件
メールアドレス	1つの電話帳に3件(電話帳全体で登録可能なメールアドレスは2250件まで)	1つの電話帳に1件
郵便番号/住所/誕生日/メモ/シークレット登録/シークレットコード/指定着信音選択/指定メール着信音選択/指定着信ランプ色/指定着信ランプパターン/指定メール着信ランプ色/指定メール着信ランプパターン/画像(ピクチャーコール設定)/キャラ電設定	1つの電話帳に1件	−

−:登録不可

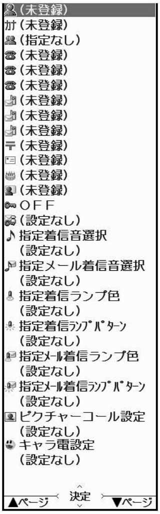
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

よくおかけになる電話番号を、名前やメールアドレスなどと併せて電話帳に登録すると、簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールやSMSを送信したりできます。

● カメラで撮影した静止画や動画／ｉモーションなどを、電話帳に登録できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号と登録した画像が表示されます。

登録できる内容



FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

アイコン	項目	内容	ページ
	名前	名前を入力します。最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。	P.88
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。最大半角カタカナ32文字まで入力できます。	P.88
	グループ	グループに分けて登録できます。20のグループがあり、グループ名を変更することもできます。	P.88
	電話番号	３件の電話番号を登録できます。それぞれの電話番号を７つのアイコンで分類することもできます。	P.89
	メールアドレス	３件のメールアドレスを登録できます。それぞれのメールアドレスを４つのアイコンで分類することもできます。	P.89
	郵便番号	郵便番号を登録できます。	P.88
	住所	住所を登録できます。最大全角50文字（半角100文字）まで入力できます。	P.88
	誕生日	誕生日を登録できます。1900年１月１日～2099年12月31日まで入力できます。	P.88
	メモ	メモを登録できます。最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。	P.88
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	P.101
	シークレットコード	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	P.88
	指定着信音選択	電話がかかってきたときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.88
	指定メール着信音選択	メールを受信したときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	P.88
	指定着信ランプ色	電話がかかってきたときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.88
	指定着信ランプパターン	指定着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.88
	指定メール着信ランプ色	メールを受信したときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	P.88
	指定メール着信ランプパターン	指定メール着信ランプの点滅パターンを設定できます。	P.88
	ピクチャーコール設定	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像で相手を識別できます。また、電話帳リストに専用の画像が表示されます。カメラで撮影した静止画や動画／ｉモーションなどを１件登録できます。	P.88
	キャラ電設定	テレビ電話中に代替画像を送信する場合のキャラ電を設定できます。	P.89

お知らせ

● ドコモショップなどの窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

● ピクチャーコール設定でｉモーションを設定している場合、発信時には発着信画面設定で設定した画像が表示されます。

電話帳に登録した内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカードやデータリンクソフトをご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

● FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、電話帳に登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な登録のしかた

電話帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録します。

1 待受画面▶□（１秒以上）▶①［本体新規］
- 待受画面▶□▶◎▶②▶①［本体新規］を押しても表示できます。

2 名前を入力▶◉
- 記号や絵文字も入力できます。
- ［ｶﾅ］の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。
- フリガナが違っているときは、［ｶﾅ］を選択し、◉を押して正しいフリガナに修正します。



FOMA端末（本体）
電話帳入力画面

関 連 操 作	
グループを設定する <グループ選択>	［□］▶◉▶グループを選択
郵便番号を登録する	［〒］▶◉▶郵便番号を入力▶◉
住所を登録する	［□］▶◉▶住所を入力▶◉
誕生日を登録する	［□］▶◉▶誕生日を入力▶◉
メモを登録する	［□］▶◉▶メモを入力▶◉
シークレット登録する <シークレット登録>	［□］▶◉▶①［ON］
メールアドレスにシークレットコードを設定する <シークレットコード>	**1**　［□］▶◉▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉ **2**　①［コード設定］ ● 設定済みのシークレットコードを確認するとき：② ● シークレットコードを解除するとき：③ **3**　ｉモードメールアドレスを選択▶シークレットコード（４桁）を入力▶［はい］▶◉
着信音や着モーションを設定する <指定着信音選択／指定メール着信音選択>	**1**　［♪ 指定着信音選択］▶◉ ● 指定メール着信音を設定するとき：［□ 指定メール着信音選択］▶◉ **2**　①［通常着信音］ ● 着モーションを設定するとき：② ● 設定を解除するとき：③ **3**　フォルダを選択▶◉▶着信音を選択▶ⓘ［決定］
着信ランプの色を設定する <指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色>	**1**　［□ 指定着信ランプ色］▶◉ ● 指定メール着信ランプを設定するとき：［□ 指定メール着信ランプ色］▶◉ **2**　着信ランプの色を選択 ● 設定を解除するとき：①
着信ランプの点滅パターンを設定する※ <指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン>	**1**　［□ 指定着信ランプパターン］▶◉ ● 指定メール着信ランプパターンを設定するとき：［□ 指定メール着信ランプパターン］▶◉ **2**　点滅パターンを選択 ● 設定を解除するとき：①
画像を設定する <ピクチャーコール設定>	**1**　［□ ピクチャーコール設定］▶◉ **2**　①［マイピクチャ］ ● 動画／ｉモーションを設定するとき：② ● カメラで静止画を撮影するとき：③▶撮影 ● カメラで動画を撮影するとき：④▶撮影 ● 画像の設定を解除するとき：⑤ **3**　フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶ⓘ［決定］

関連操作	
キャラ電を設定する <キャラ電設定>	**1** [キャラ電設定]▶◉ **2** ①[キャラ電] ● キャラ電の設定を解除するとき：② **3** フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶⑧[決定] ● キャラ電を確認するとき：キャラ電を選択▶◉[確認]（戻るとき：Ⓒ）

※ 着信ランプの点滅パターン選択時に、点滅パターンにカーソルを合わせると、着信ランプで点滅パターンを確認することができます。[メロディ連動]にカーソルを合わせると、[指定着信ランプパターン]は[ハートビート]で、[指定メール着信ランプパターン]は[ブレス]で点滅します。

3 [☎]▶◉▶電話番号を入力▶◉



● 登録先が一般電話の場合でも、必ず市外局番から入力してください。
● 電話番号は26桁まで入力できます。
● 電話番号には、「¥」や「#」も入力できますが、正しく発信できない場合があります。
● 「186」などを付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールやSMS送信時の宛先に選択した場合、正しく送信できません。

国際電話をかける（[+]入力）	⓪（１秒以上）▶電話番号の入力
ポーズ[P]を入力	◔
入力をやり直す	Ⓒ（最後の１桁／カーソル位置の文字が消えます。） ●Ⓒを１秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

4 電話種別アイコンを選択



☎	一般の電話		テレビ電話		会社の電話		会社のFAX
	携帯電話		自宅の電話		自宅のFAX		

● 電話番号を複数登録するとき：操作３～４をくり返す

5 [ ]▶◉▶メールアドレスを入力▶◉



● 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
● メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.]（ピリオド）を入力	①（数回）
インターネットに関連した定型文を入力	ⓘ（１秒以上） ●メールアドレスの一部を簡単に入力できます。（☞P.354） ●Ⓜ（１秒以上）▶⑤[インターネット]を押しても操作できます。

6 メールアドレス種別アイコンを選択



	携帯電話のメールアドレス		会社のメールアドレス
	自宅のメールアドレス	✉	メールアドレス

● メールアドレスを複数登録するとき：操作５～６をくり返す

7 ⑧[完了]▶メモリ番号（３桁：**000～749**）を入力

● メモリ番号を入力せずに◉を押すと、[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、[000]～[009]の中で最も小さい番号に登録されます。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- シークレット登録を[ON]に設定しているときは、シークレットモードを[ON]に設定しないと電話帳を上書き登録できません。
- すでにFOMA端末(本体)電話帳に750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合、メモリ番号を指定すると、すでに登録されている電話帳に上書き登録されます。(FOMAカード電話帳の場合には上書き登録されません。)

操作ガイダンスに[完了]が表示されないとき

- 名前を入力してください。

メモリ番号について

- メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ワンタッチダイヤルで電話をかけることができます。

メモリ番号にはこんな指定方法もあります

- 百の位の数字を1桁入力して⦿を押します。
  空いているメモリ番号(①の場合、[100]～[199])の中で、最も小さい番号に登録されます。
- 百の位と十の位の2桁を入力して⦿を押します。
  空いているメモリ番号(①▶②の場合、[120]～[129])の中で、最も小さい番号に登録されます。

編集中にｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを受信すると

- メール受信表示設定を[操作優先]に設定した場合は、受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

FOMAカードへのコピーについて

- FOMA端末(本体)に登録した電話帳をFOMAカードにコピーしたり、FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピーできます。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)に登録した電話帳をminiSDメモリーカードにコピーできます。また、miniSDメモリーカードに保存されている電話帳を表示したり、FOMA端末(本体)にコピーできます。

赤外線通信について

- FOMA端末(本体)に登録した電話帳を赤外線通信で送信したり、赤外線通信で電話帳を受信できます。(☞P.292)

記号や絵文字の使用について

- FOMA端末(本体)電話帳の[名前]、[メモ]、[住所]には、記号や絵文字も入力できますが、赤外線通信などでｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- データBOXのメロディから着信音、ｉモーションから着モーションを選択できます。
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位(高→低)
着信音	マルチナンバー着信音→電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にピクチャーコールに設定されます。
- 着信音設定が[不可]の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。(☞P.288)
- miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にコピーしたり、赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用して転送した動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末(本体)に録画してください。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
- 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。
  ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- メール着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、待受画面以外でメールを受信したときに音声のみしか再生されない場合があります。
- 音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、[電話着信1]の画像が表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

● 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール着信ランプは次の優先順位で点滅します。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

● 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプが点滅します。
● シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。指定着信ランプ／指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
● 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。
● 指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

シークレット登録について

● シークレット登録について：☞P.101

シークレットコードについて

● シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。シークレットコードについて：☞P.195
● シークレットコードに［0000］は設定できません。
● シークレットコードは、電話帳データ１件につき、メールアドレス１～３のうち１つのメールアドレスに対してのみ設定できます。
● メールアドレスにシークレットコードを設定しても、メール作成画面（☞P.199）の宛先欄にシークレットコードは表示されません。
● 自分のシークレットコードの登録については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
● メールアドレスにシークレットコードを含めて、「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」の形式で電話帳に登録している場合は、メール送信できないことがあります。メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。

ピクチャーコール設定について

● 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定

● 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
● ピクチャーコールに設定した静止画のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。
● ピクチャーコールに動画／ｉモーションを設定したときは、電話帳リスト画面に画像を表示した場合、最初の１コマ目が表示されます。
● ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合も、設定した画像が表示されます。
● miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたり、赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用して転送した動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
● ピクチャーコールに設定した画像をデータBOXから削除するときは、［１件削除］を選択します。削除の確認画面で［はい］を選択すると削除されます。
● カメラ撮影後のプレビュー画面で◎▶③▶②［電話帳］を押すと、撮影した静止画をピクチャーコールに設定して電話帳登録できます。なお、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、電話帳登録できません。保存先を本体に設定してください。
● 指定着信音に映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定している場合、ピクチャーコールに静止画を設定すると、指定着信音の設定は解除されます。また、ピクチャーコールに映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを設定すると、指定着信音の設定にも反映されます。
● シークレット登録した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。ピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。

キャラ電設定について

● 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のキャラ電設定→テレビ電話設定の代替画像設定

ズームメニューから登録する

ズームメニューからFOMA端末(本体)電話帳に登録できます。
- 登録できる内容は次のとおりです。
  ■ 名前　■ フリガナ　■ 電話番号：1件　■ メールアドレス：1件
- 登録後の電話帳をズームメニューの[電話帳の表示]で表示させたり、サブメニューから電話帳のすべての項目を編集(☞P.100)することもできます。

1 待受画面▶◉▶[電話]▶◉
- TOPメニューやショートカットメニューが表示されたときは、ⓘ[切替]を押してズームメニューに切り替えます。

2 [電話帳の登録]▶◉▶名前を入力▶◉▶フリガナを確認▶◉
フリガナは自動的に入力されます。
- フリガナが違っているときは、正しいフリガナに修正してください。

3 電話番号を入力▶◉▶[✉]▶◉▶メールアドレスを入力▶◉

4 ⓘ[完了]
- メモリ番号は、[010]～[749]の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号に登録されます。空いていないときは、[000]～[009]の中で最も小さい番号に登録されます。
  電話種別アイコンは[☎]、メールアドレス種別アイコンは[✉]が自動的に登録されます。

FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード内の電話帳にも登録できます。FOMA端末(本体)電話帳と登録できる項目が一部異なります。
- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。
- 1件の電話帳に1件の電話番号と1件のメールアドレスを登録できます。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
👤	名前	名前を入力します。半角英数のみの場合は最大21文字まで、全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字まで入力できます。
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。全角カタカナのみで最大12文字、半角英数のみで最大25文字まで入力できます。全角／半角が混在している場合は最大12文字まで入力できます。半角で12文字以上入力してから全角カタカナを入力した場合、全角カタカナ以降に入力した文字は登録されません。
👥	グループ	グループに分けて登録できます。11のグループがあり、グループ名を変更することもできます。
☎	電話番号	電話番号を1件登録できます。
✉	メールアドレス	メールアドレスを1件登録できます。

基本的な登録のしかた

1 待受画面▶Ⓜ(1秒以上)▶②[**FOMA**カード(**UIM**)新規]
- 待受画面▶Ⓜ▶◎▶②▶②[FOMAカード(UIM)新規]を押しても表示できます。

2 名前を入力▶◉



- 記号や絵文字も入力できます。
- [ｶﾅ]の行に、入力した名前のフリガナが自動的に入力されます。名前の入力後に修正した場合、フリガナには自動で反映されません。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したとき、フリガナは自動的に入力されません。
- フリガナが違っているときは、[ｶﾅ]を選択し、◉を押して正しいフリガナに修正します。

3 [👥]▶●▶設定するグループを選択

4 [📇]▶●▶電話番号を入力▶●

- FOMAカード(緑色)をご使用のときは26桁、FOMAカード(青色)をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号を間違えたときは、Ⓒを押すと、最後の１桁またはカーソル位置の文字が消えます。また、Ⓒを１秒以上押すと、カーソルが最後の位置にあるときは番号がすべて消えます。カーソルがそれ以外の位置にあるときはカーソル以降の番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

5 [📧]▶●▶メールアドレスを入力▶●

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスに、絵文字は入力できません。

[@]や[.](ピリオド)を入力	①(数回)
インターネットに関連した定型文を入力	Ⓜ(１秒以上) ● メールアドレスの一部を簡単に入力できます。(☞P.354) ● Ⓜ(１秒以上)▶⑤[インターネット]を押しても操作できます。

6 Ⓢ[完了]

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード内の電話帳にコピーする

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳のデータをコピーできます。

1 待受画面▶Ⓜ▶名前を選択▶Ⓢ▶⑤▶①[**FOMA**カードへコピー]

2 コピー方法を選択

１件コピー	①▶[はい]▶●
選択コピー	②▶名前を選択●(くり返し可)▶Ⓢ[完了]▶[はい]▶●
電話帳の内容を確認してコピー	操作１で名前を選択▶●▶Ⓢ▶③▶②[FOMAカードへコピー]▶[はい]▶●

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合は、この機能を利用できません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、１つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された２件目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードにコピーできません。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないことがあります。コピーできないデータがあるときは、[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、１件目の電話番号／メールアドレスがコピーされます。
- シークレット登録した電話帳は、シークレットモードを[ON]に設定しないとコピーできません。
- FOMA端末(本体)に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ 名前は半角英数のみの場合は21文字、全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は10文字を超えた文字は破棄されます。
  - ■ フリガナは全角カタカナ文字で登録され、12文字を超えた文字は破棄されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、フリガナは半角カタカナで登録されます。
  - ■ FOMA端末(本体)とFOMAカードの電話帳に同じグループ名があるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは[(指定なし)]となります。なお、全角記号と半角記号は別の文字として扱われます。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
- 電話帳データをコピーしても転送元のデータは残ります。
- データのコピー中に転送先の最大登録(保存)件数を超えたときは、[メモリがいっぱいです　これ以上登録できません]と表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

FOMAカード内の電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーする

1 待受画面▶ⓜ▶名前を選択▶◎▶⑤▶①[本体へコピー]

2 コピー方法を選択

1件コピー	①▶[はい]▶⦿
選択コピー	②▶名前を選択⦿(くり返し可)▶◎[完了]▶[はい]▶⦿
電話帳の内容を確認してコピー	操作1で名前を選択▶⦿▶◎▶③▶②[本体へコピー]▶[はい]▶⦿

お知らせ

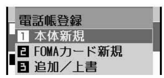
- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末(本体)にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ フリガナは半角カタカナで登録されます。
  - ■ 電話番号、メールアドレスは、FOMA端末(本体)電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
  - ■ FOMA端末(本体)とFOMAカードの電話帳に同じグループ名があるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、[(指定なし)]となります。
  - ■ メモリ番号は[010]～[749]→[000]～[009]の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータをFOMA端末にコピーする場合、半角英数記号以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。
- コピーできないデータがあるときは、[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか?]と表示されます。[はい]を選択すると、電話番号/メールアドレスがコピーされます。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

リダイヤルや着信履歴、カメラのバーコードリーダーや文字読み取り、メールなどからも電話帳に登録できます。

例:着信履歴から登録する場合

1 待受画面▶○(→□)▶電話番号を選択▶◎▶①[電話帳登録]



2 登録方法を選択

本体新規	FOMA端末(本体)電話帳に登録します。
FOMAカード新規	FOMAカード電話帳に登録します。
追加/上書き	追加/上書き登録します。

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。(☞P.88)

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音や着信ランプ、電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

● FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみ設定できます。

グループ名を変更する<グループ名編集>

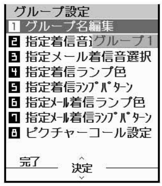
お買い上げ時	FOMA端末（本体）電話帳：[（指定なし）]、[グループ１]～[グループ19] FOMAカード電話帳：[（指定なし）]、[グループ１]～[グループ10]

グループ名を変更できます。

● [1（指定なし）]は変更できません。

1 待受画面▶📖▶設定するグループを選択

電話帳リスト画面のとき	◎▶⑧[グループ設定]▶グループを選択
グループリスト画面のとき	グループを選択▶◎▶③[グループ設定]



グループ設定画面

関連操作	
グループごとの着信音や着モーションを設定する <指定着信音選択／指定メール着信音選択>	**1** 操作１▶②[指定着信音選択] ● グループ指定メール着信音を設定するとき：③ **2** ①[通常着信音] ● 着モーションを設定するとき：② ● 設定を解除するとき：③ **3** フォルダを選択▶⊙▶着信音を選択▶Ⓢ[決定]
グループごとの着信ランプの色を設定する <指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色>	**1** 操作１▶④[指定着信ランプ色] ● グループ指定メール着信ランプの色を設定するとき：⑥ **2** 着信ランプの色を選択
グループごとの着信ランプの点滅パターンを設定する <指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン>	**1** 操作１▶⑤[指定着信ランプパターン] ● グループ指定メール着信ランプの点滅パターンを設定するとき：⑦ **2** 点滅パターンを選択
グループごとの画像を設定する <ピクチャーコール設定>	**1** 操作１▶⑧[ピクチャーコール設定] **2** ①[マイピクチャ] ● 動画／ｉモーションを設定するとき：② ● カメラで静止画を撮影するとき：③▶撮影 ● カメラで動画を撮影するとき：④▶撮影 ● 画像の設定を解除するとき：⑤ **3** フォルダを選択▶⊙▶画像を選択▶Ⓢ[決定]

2 ①[グループ名編集]▶グループ名を入力／修正▶⊙

● グループ名の入力文字数は次のとおりです。
- ■ FOMA端末（本体）電話帳：最大全角10文字（半角20文字）
- ■ FOMAカード電話帳：半角英数のみの場合は最大21文字
全角のみや全角／半角が混在している場合、半角カタカナのみの場合は最大10文字

● お買い上げ時のグループ名に戻すとき：ⓒ（１秒以上）▶⊙

3 Ⓢ[完了]

次ページへ続く▶▶

お知らせ

指定着信音選択／指定メール着信音選択について

- 着信音、メール着信音の優先順位について：☞P.90
- 映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。
- 着信音設定が［不可］の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。（☞P.288）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、着モーションに設定できません。撮影した動画を着モーションに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、着信音選択の非通知設定着信音で設定した着信音が鳴ります。設定していないときは、通常の着信音が鳴ります。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。グループ指定着信音選択／グループ指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
- グループ指定メール着信音を設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 映像と音声を含んだ動画／ｉモーションを着モーションに設定した場合、自動的にグループのピクチャーコールに設定されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着モーションとして設定した場合、着信画面は電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、［電話着信 1］の画像が表示されます。

指定着信ランプ／指定メール着信ランプについて

- 着信ランプ、メール着信ランプの優先順位について：☞P.91
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の着信ランプが点滅します。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプが点滅します。グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
- グループ指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

ピクチャーコール設定について

- グループピクチャーコールを設定すると、グループ選択画面に［▣］が表示されます。
- ピクチャーコールを設定した相手から、キャッチホンで着信した場合も設定した画像が表示されます。
- 画像の優先順位について：☞P.91
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、またはテロップを付けた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーした動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。撮影した動画をピクチャーコールに設定する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。
- 発信者番号を通知しないで電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- グループ内のシークレット登録した相手から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。グループピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。また、シークレット登録した電話帳は、シークレットモード(☞P.136)を[ON]に設定すると検索することができます。

- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力すると電話帳から電話をかけることができます。
- TOPメニューから(電話帳)を選択しても電話帳を表示できます。

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。

- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号では検索できません。
- 待受画面でⓜを押すと、前回選択した検索方法で表示されます。

1 待受画面▶ⓜ▶◎▶①[検索方法選択]▶検索方法を選択

フリガナ検索	FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
グループ検索	FOMA端末(本体)電話帳のあとにFOMAカード電話帳が表示されます。
メモリ番号検索	FOMA端末(本体)電話帳のみが表示されます。FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、表示されません。

選択した検索方法で、電話帳が表示されます。

関連操作	
音声電話中に電話帳を表示する	音声電話中▶▭(サイドボタン)▶📖(電話帳)▶◉
miniSDメモリーカード内の電話帳を表示する<miniSDデータ参照>	待受画面▶ⓜ▶◎▶◐▶②[miniSDデータ参照] ● グループ検索のとき:待受画面▶ⓜ▶グループを選択▶◎▶◐▶②[miniSDデータ参照]
電話帳をPIMロックする<PIMロック>	**1** 待受画面▶ⓜ▶◎▶◐▶③[PIMロック] **2** 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶①[ON] ● グループ検索のとき:待受画面▶ⓜ▶グループを選択▶◎▶◐▶③[PIM ロック]

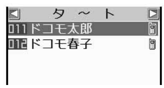
お知らせ

miniSDデータ参照について
- miniSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択できません。

名前で検索する<フリガナ検索>

1 待受画面▶ⓜ

- フリガナ検索の電話帳リスト画面が表示されないとき:◎▶①▶①[フリガナ検索]



電話帳リスト画面(タ～ト行)

2 名前を選択

五十音順の前の行／次の行を表示	◐
1件ずつ選択	◐
フリガナを入力(スピーディーサーチ)	フリガナを1文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

次ページへ続く▶▶

3 ◉［決定］

● ⊙で各アイコンを選択し、◉を押すと、次の動作を行います。



電話帳内容
表示画面

	登録している電話番号に発信します。
	登録しているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。
	登録している住所を確認できます。
	登録しているメモの内容を確認できます。
	設定している着信音／着モーションを再生します。
	設定している着信ランプが点滅します。
	設定している着信ランプパターンで点滅します。
	設定している静止画、動画／ｉモーションを表示します。
	設定しているキャラ電を再生します。

関連操作	
発信方法を選択して電話をかける	国際電話をかけるとき：操作３▶◎▶④▶②▶②［国際電話発信］▶国際電話番号を選択▶ⓛ／◉ ● プレフィックス番号を付けるとき：操作３▶◎▶④▶②▶①［プレフィックス選択］▶プレフィックス番号を選択▶ⓛ／◉ ● 発信者番号非通知でかけるとき：操作３▶◎▶④▶①▶②［非通知］▶ⓛ／◉ ● 発信者番号通知でかけるとき：操作３▶◎▶④▶①▶①［通知］▶ⓛ／◉ ● マルチナンバーを選択するとき：操作３▶◎▶⑤［マルチナンバー選択］▶マルチナンバーを選択▶ⓛ／◉
画像を指定してテレビ電話をかける<テレビ電話画像設定>	操作３▶◎▶⑥▶①▶②［代替画像］▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶ⓘ［決定］▶ⓘ［テレビ電話］ ● 自分側のカメラ映像を送信するとき：◎▶⑥▶①▶①［自画像］▶ⓘ［テレビ電話］
通信速度を指定してテレビ電話をかける<通信速度設定>	操作３▶◎▶⑥▶②［通信速度設定］▶①［64K］／②［32K］▶ⓘ［テレビ電話］
登録内容をコピーする<項目コピー>	操作３▶項目を選択▶◎▶③▶①［項目コピー］

4 電話をかける：ⓛ／◉（音声電話）

表示されている電話番号に発信します。

● テレビ電話をかけるとき：ⓘ［テレビ電話］

お知らせ

● 電話帳リスト画面で、ⓐ［▲ページ］を押すとページ単位で上にスクロールし、ⓑ［▼ページ］を押すとページ単位で下にスクロールします。
● フリガナ検索は次の順番で表示されます。
カタカナ（50音→濁点・半濁点）→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし
（フリガナの１文字目にスペースが入力されている場合は、数字のあと、記号より前に表示されます。）

テレビ電話画像設定について
● 静止画は設定できません。
● テレビ電話を終了すると、テレビ電話画像設定は元に戻ります。

通信速度設定について
● お買い上げ時は、［64K］に設定されています。
● テレビ電話を終了すると、通信速度設定は元に戻ります。
● 相手がテレビ電話に対応したFOMA端末の場合は、64Kでかけることをおすすめします。ネットワーク状況によって64Kが利用できないPHSなどの機器と接続する場合は、32Kに設定してください。
64Kでテレビ電話をかけても、相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

登録内容のコピーについて
● コピーできる項目は、FOMA端末（本体）電話帳内の、［名前］、［電話番号１～３］、［メールアドレス１～３］、［メモ］、［住所］とFOMAカード電話帳内の、［名前］、［電話番号］、［メールアドレス］です。

お知らせ

● 電話帳からコピーした内容の貼り付け方法について:☞P.356「文字を貼り付ける」

グループで検索する<グループ検索>

1 待受画面▶Ⓜ

● グループ選択画面が表示されないとき:◎▶①▶②[グループ検索]

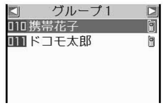


グループ選択画面

2 グループを選択

フリガナ順(カタカナ(50音→濁点・半濁点)→英字→数字→スペース→記号→フリガナなし)に表示されます。

● グループ設定していない電話帳は[(指定なし)]にグループ分けされています。



電話帳リスト画面(グループ1)

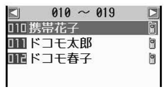
3 名前を選択▶電話をかける(☞**P.98**「名前で検索する」の操作3以降)

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

● メモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、ツータッチダイヤルで電話をかけることができます。(☞P.102)

1 待受画面▶Ⓜ

● メモリ番号検索の電話帳リスト画面が表示されないとき:◎▶①▶③[メモリ番号検索]



FOMA端末(本体)電話帳リスト画面(メモリ番号010～019)

2 メモリ番号を選択▶電話をかける(☞**P.98**「名前で検索する」の操作3以降)

前の10番台／次の10番台を表示	⊙ 表示されている電話帳の前後10番台の先頭から表示されます。
1件ずつ選択	⊙
メモリ番号を入力(スピーディーサーチ)	●メモリ番号を1桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。たとえば、「085」を入力すると次のようになります。 ● 1桁目「0」を入力:メモリ番号[000]～[009]の電話帳が表示されます。 ● 2桁目「8」を入力:メモリ番号[080]～[089]の電話帳が表示されます。 ● 3桁目「5」を入力:メモリ番号[085]の電話帳が選択されます。 ●入力したメモリ番号が登録されていない場合は、入力したメモリ番号より大きくて一番近いメモリ番号の電話帳が表示されます。ただし、入力したメモリ番号より大きいメモリ番号の電話帳が登録されていない場合は、メモリ番号「000」から順次検索し、最も小さいメモリ番号の電話帳を表示します。

電話帳リスト画面の表示を変更する＜画像表示切替＞

FOMA端末（本体）の電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳リスト画面に表示できます。
- miniSDメモリーカード内のデータを表示している場合は、表示切り替えできません。

1 待受画面▶📖▶ⓜ▶◯▶①［画像表示切替］

グループ検索のとき	ⓜ▶グループを選択▶ⓜ▶◯▶①［画像表示切替］
電話帳内容表示画面の表示を切り替えるとき	ⓜ▶名前を選択▶◉▶ⓜ▶◯▶①［画像表示切替］



お知らせ

- 電話帳リスト画面に静止画を表示しているときは、一番先頭の電話番号やメールアドレスのみを表示、選択できます。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面から選択してください。
- グループ設定のピクチャーコールを設定した場合、設定した画像が、グループ内のメンバー全員の画像として表示されます。ただし、個人ごとに設定した画像があるときは、その画像が表示されます。

画像を転送しないように設定する＜画像転送設定＞

お買い上げ時　する（転送する）

FOMA端末（本体）の電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり、赤外線通信で送信するときに、ピクチャーコールに設定した画像を転送しないように設定できます。
- 画像転送設定を［する］に設定している場合、miniSDメモリーカードに電話帳をコピーしたり、赤外線通信で送信するときに時間がかかることがあります。また、取得元がカメラ以外の画像は転送できません。

1 待受画面▶📖▶ⓜ▶⑦［画像転送設定］▶［する］／［しない］を選択
- グループ検索のとき：ⓜ▶グループを選択▶ⓜ▶⑦［画像転送設定］▶［する］／［しない］を選択

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録・設定した内容を、項目ごとに編集できます。
- 電話帳のPIMロックを設定しているときは、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して一時的にPIMロックを解除しないと編集できません。
- 遠隔オールロックの許可番号や指定着信許可／拒否に設定されている電話帳は編集できません。

1 待受画面▶📖▶名前を選択▶ⓜ▶③▶①［修正］
- 電話帳内容表示画面から編集するとき：ⓜ▶①［修正］

2 項目を選択▶◉▶編集
- 編集方法は、新規登録時と同様です。
- 名前を修正してもフリガナは自動で反映されません。
- 複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号を削除したときは［（未登録）］となりますが、他の電話番号は変更されません。

3 ⓘ［完了］▶登録

FOMA端末（本体）電話帳のとき	上書き登録	◉▶［はい］▶◉
	別のメモリに登録	メモリ番号を入力 ●Ⓒを1秒以上押し、メモリ番号を消去して◉を押すと、空いているメモリ番号に登録できます。（☞P.90）
FOMAカード電話帳のとき		［はい］▶◉

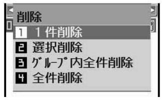
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

電話帳を削除する

電話帳に登録されているデータを削除します。

- 電話帳のPIMロックを設定しているときは、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力して一時的にPIMロックを解除しないと削除できません。
- 遠隔オールロックの許可番号や指定着信許可／拒否に設定されている電話帳は削除できません。(グループ内全件削除、全件削除では削除できます。)

1 待受画面▶📖▶名前を選択▶◎▶④[削除]



2 削除方法を選択

電話帳データを1件削除	①[1件削除]▶[はい]▶◉
複数の電話帳データをまとめて削除	②[選択削除]▶名前を選択◉(くり返し可)▶◎[完了]▶[はい]▶◉
選んだグループ内のすべての電話帳データを削除	③[グループ内全件削除]▶グループを選択▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
FOMA端末(本体)電話帳のすべての電話帳データを削除	④▶①[本体電話帳]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
FOMAカード電話帳のすべての電話帳データを削除	④▶②[FOMAカード電話帳]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉

関連操作	
電話帳内容表示画面から削除する<1件削除>	電話帳内容表示画面(☞P.98)▶◎▶②[1件削除]▶[はい]▶◉

シークレット登録

知られたくない電話帳を守る

FOMA端末(本体)電話帳をシークレット登録すると、そのデータはFOMA端末のシークレットモードを[ON]に設定しない限り呼び出せなくなり、他の人に見られるのを防げます。

- FOMAカード電話帳には、シークレット登録することができません。

電話帳にシークレット登録する<シークレット登録>

1 電話帳入力画面(☞**P.88**)▶[🔑]▶◉▶①[**ON**]▶⑧[完了]

2 新規登録:メモリ番号を入力(☞**P.89**「基本的な登録のしかた」の操作7)

- 上書き登録するとき:◉▶[はい]▶◉

お知らせ

- メモリ番号[000]～[099]に登録した電話帳をシークレット登録した場合、シークレットモードを[ON]に設定しないとワンタッチダイヤルで電話をかけることはできません。
- シークレット登録した電話帳のメールアドレスも、シークレットモードを[ON]に設定しないと呼び出せません。

シークレットデータを呼び出すとき

- シークレットモードを[ON]に設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します。(電話帳リスト画面でシークレットデータを選択すると、[🔑]が点滅します。)
- 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作ができます。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

リダイヤル、着信履歴、メール受信履歴、メール送信履歴、スケジュールでの表示について
- シークレット登録した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモードを［ON］に設定してください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音と着信ランプでお知らせします。電話帳で設定した着信音、着信ランプを有効にするには、シークレットモードを［ON］に設定してください。

ツータッチダイヤル／ツータッチメール

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～099に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、i モードメールを作成して送信することができます。
- 電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号／メールアドレスに発信／送信します。

1 待受画面▶メモリ番号の下１桁／下２桁の数字を入力
- メモリ番号000～009：下１桁の数字に対応する⓪～⑨を押す。
- メモリ番号010～099：下２桁の数字に対応する①▶⓪～⑨▶⑨を押す。



2 電話をかける：Ⓘ（音声電話）
- テレビ電話をかけるとき：Ⓡ［テレビ電話］
- メールを作成するとき：Ⓜ［メール］

指定したメモリ番号に登録されている相手に発信、またはメール作成画面が表示されます。
- メールの作成および送信方法について：☞P.199の操作２～４

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中は、ツータッチダイヤルやツータッチメールを利用することはできません。

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る音を変える

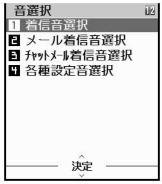
電話の着信を知らせる着信音や着モーションを変更することができます。

- 内蔵メロディ、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ、ｉモードメールで受信したメロディやｉモードでダウンロードしたメロディから選択できます。
- 公衆電話着信、非通知設定着信、通知不可能着信、ｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR／Fの受信を知らせる着信音を変更することもできます。
- ｉモードで取得したｉモーション、FOMA端末で記録した映像や音声を設定することもできます。

着信音や着モーションを変更する<着信音選択>

お買い上げ時	音声電話着信音：着信音１ テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音：音声電話着信音に従う メール着信音、チャットメール着信音：着信音２ メッセージR／F着信音、SMS着信音：メール着信音に従う

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［音］▶［音選択］



2 ［着信音選択］▶項目を選択▶着信音を選択

メロディを設定	①▶フォルダを選択▶◉▶着信音を選択▶ⓞ［決定］ ●着信音を確認するとき：着信音を選択▶◉［確認］（停止するとき：ⓞ［停止］） ●確認時にマナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。［はい］を選択し、◉を押します。
ｉモーションを設定	②▶フォルダを選択▶◉▶着モーションを選択▶ⓞ［決定］ ●動画／ｉモーションを確認するとき：動画／ｉモーションを選択▶◉［確認］（Ⓜで停止） ●マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。［はい］を選択し、◉を押します。 ●映像のみ、またはテロップを付けた動画／ｉモーションや再生制限のある動画／ｉモーションは、設定できません。 ●着信音設定が［不可］のｉモーションは設定できません。（☞P.288） ●miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に保存してください。 ●着信音・着信画面の組み合わせについて：☞P.191
テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を音声電話着信音と同じ音に設定	③

関連操作	
ｉモードメール、チャットメールの着信音を変更する<メール着信音選択／チャットメール着信音選択>	**1** ｉモードメールのとき：操作１▶②▶① ● チャットメールのとき：操作１▶③ **2** メロディを設定するとき：①［メロディ］ ● 動画／ｉモーションを設定するとき：② **3** フォルダを選択▶◉▶着信音を選択▶ⓞ［決定］
SMS、メッセージR／Fの着信音を変更する<メール着信音選択>	**1** SMSのとき：操作１▶②▶④ ● メッセージRのとき：操作１▶②▶② ● メッセージFのとき：操作１▶②▶③ **2** メロディを設定するとき：①［メロディ］ ● 動画／ｉモーションを設定するとき：② ● メール着信音と同じ音にするとき：③ **3** フォルダを選択▶◉▶着信音を選択▶ⓞ［決定］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- 着信音を変更した場合、着信画面も変更されることがあります。(☞P.191)
- 操作2でメロディまたは動画/iモーションを再生すると、音量選択で設定した音量で再生されます。なお、音量設定が[サイレント]の場合は[音量1]で再生されます。再生中に◎を押して音量を調節できます。
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位(高→低)
着信音	マルチナンバー着信音→電話帳指定着信音→グループ指定着信音→テレビ電話着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、[テレビ電話着信音]が優先されます。
- データ通信時の着信音は、音声電話着信音で設定した音と同じです。着信画面は、音声電話着信音で設定した画面のアニメーションと同じです。動画/iモーションが設定されているときは動画/iモーション画面となります。

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

曲　名	作曲者名	曲　名	作曲者名
着信音1	—	風の吹く島	—
着信音2	—	Afternoon Cafe	—
黒電話	—	OP(サイレント)	—
水槽	—	OP(電子音)	—
環境音(バー)	—	OP(Rock ice)	—
マウス&キーボード	—	OP(ライター)	—
Swing Jazz	—	CL(サイレント)	—
風鈴	—	CL(電子音)	—
Ave Maria	GIULIO CACCINI	CL(Rock ice)	—
タンホイザー序曲	RICHARD WAGNER	CL(ライター)	—
Light heart	—	標準音	—
Ride on	—	目覚まし時計	—
Siesta	—	古時計	—
Memories	—		

お知らせ

- 指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した指定着信音が鳴ります。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した指定着信音が鳴ります。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、非通知設定着信音が鳴ります。
- メロディごとのアイコンについて:☞P.277「メロディマークの見かた」

登録したiメロディは、パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカード(☞P.278)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。(ファイル制限ありのメロディは転送できません。)

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

FOMA端末の開閉音、タイマーの音を変更する
<オープン音/クローズ音/タイマー音>

お買い上げ時	オープン音:OP(サイレント)、クローズ音:CL(サイレント)、鳴動時間(オープン音/クローズ音):3秒、タイマー音:標準音、鳴動時間(タイマー音のとき):15秒

FOMA端末を開閉したときの音(オープン音、クローズ音)やタイマー音の音色を変更できます。

- iモーションを待受画面に設定しているとき、オープン音・クローズ音は鳴りません。
- データBOXのメロディから選択できます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[音]▶[音選択]▶[各種設定音選択]▶項目を選択

次ページへ続く

2 音色を選択

標準音	① ● 標準音を確認するとき:ⓢ[再生](停止するとき:ⓢ[停止]) マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。[はい]を選んで◉を押します。 ● オープン音とクローズ音の標準音は無音になります。
メロディを設定	②▶フォルダを選択▶◉▶メロディを選択▶ⓢ[決定] ● メロディを確認するとき:メロディを選択▶◉[確認](停止するとき:ⓢ[停止]) ● マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。[はい]を選択し、◉を押します。

● 鳴動時間の設定画面が表示されたときは、音を鳴らす時間(00〜99秒)を入力します。

お知らせ

● 動画/iモーションは、オープン音、クローズ音、シャッター音、タイマー音に設定できません。
● シャッター音の設定について:☞P.155
● 操作2で電子音またはメロディを再生すると、各音量選択で設定した音量で再生されます。なお、電子音では音量設定が[サイレント]は[音量1]で再生されます。メロディは再生中に↕を押して音量を調節できます。
● OP(サイレント)やCL(サイレント)は「再生」しても無音になります。
● オープン音、クローズ音の音色に、標準音またはプリインストールフォルダ内の効果音のメロディを選択した場合、鳴動時間は設定できません。

音量調節

携帯電話から鳴る音の音量を変える

音声電話やテレビ電話の着信、iモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信を知らせる着信音量を変更できます。また、ボタン確認音、FOMA端末開閉音、タイマー音や充電開始/完了の音量も変更できます。

着信音の音量を調節する<着信音量>

お買い上げ時　すべて音量5

音声電話やテレビ電話の着信音の音量を変更できます。
● 公衆電話着信、非通知設定着信、通知不可能着信、iモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fの着信音の音量を変更することもできます。
● 音を消したり(サイレント)、だんだん大きな音になるように(ステップトーン)設定することもできます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[音]▶[音量選択]

関連操作	
iモードメール、メッセージR/F、SMSの着信音量を調節する <メール着信音量選択>	**1** iモードメールのとき:操作1▶②▶① ● メッセージRのとき:操作1▶②▶② ● メッセージFのとき:操作1▶②▶③ ● SMSのとき:操作1▶②▶④ **2** ↑(上げる)/↓(下げる)▶◉
チャットメールの着信音量を調節する <チャットメール着信音量選択>	操作1▶③▶↑(上げる)/↓(下げる)▶◉

2 [着信音量選択]▶項目を選択▶↑(上げる)/↓(下げる)で調節▶◉

● [音量1]が最小で、[音量10]が最大の音量です。
● [ステップトーン]に設定するとき:[音量10]▶↑(設定すると、[音量1]〜[音量9]の順で3秒ごとに音量が上がり、以降は[音量10]で鳴ります。着モーションを設定しているときもステップトーンで再生されます。)
● [サイレント]に設定するとき:[音量1]▶↓(設定すると、着信音が鳴りません。音声電話着信音を[サイレント]に設定したときは、待受画面に[S]が表示されます。)

お知らせ

- 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- データ通信時の着信音量は、音声電話着信音で設定した音量と同じです。

受話音量を調節する<受話音量>

お買い上げ時　音量５

受話音量を10段階で調節できます。

1 待受画面 ▶ ⌃(１秒以上)／⌄(１秒以上)
- カレンダーが表示されているときは、⊖を押してカレンダー表示を解除してから操作してください。

2 ⌃(上げる)／⌄(下げる)で調節
- 音量調節後、●／ⓒを押すか、約２秒経過すると元の画面に戻ります。

ボタン確認音の音量を調節する<ボタン確認音>

お買い上げ時　すべて音量５

FOMA端末のボタンを押したときの音(ボタン確認音)の音量を調節します。また、FOMA端末を開閉したときの音(オープン音、クローズ音)、充電開始／完了音、タイマー音の音量を調節することもできます。オリジナルマナーモードでは、ボタン確認音の[ON]／[OFF]を設定できます。
- [サイレント]に設定すると、電池残量確認音やボタン確認音、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、タイマー音も鳴りません。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。

1 TOPメニュー ▶ 5(設定) ▶ [音] ▶ [音量選択] ▶ [各種設定音量選択]

関連操作	
開閉音の音量を調節する <オープン音／クローズ音>	オープン音のとき：操作１ ▶ ② ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる) ▶ ● ● クローズ音の音量を調節するとき：操作１ ▶ ③ ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる) ▶ ●
充電開始音／完了音の音量を調節する <充電開始音／充電完了音>	充電開始音のとき：操作１ ▶ ④ ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる) ▶ ● ● 充電完了時の音量を調節するとき：操作１ ▶ ⑤ ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる) ▶ ●
タイマー音の音量を調節する <タイマー音>	操作１ ▶ ⑥ ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる) ▶ ●

2 [ボタン確認音] ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる)で調節 ▶ ●

お知らせ

- キャラ電発信中、キャラ電再生中、キャラ電撮影中のキャラクタ操作では、ボタン確認音が鳴りません。

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時　着信バイブレータ：OFF、メール着信バイブレータ：OFF

バイブレータを設定すると、電話やメール受信、アラームを、振動やメロディとの連動でお知らせできます。
- アラーム動作時のバイブレータは、ここで設定した着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を[サイレント]に設定してください。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます。(☞P.106、P.308)
- メロディに設定されているバイブレータを利用することもできます。(メロディ連動)

1 TOPメニュー ▶ 5(設定) ▶ [音] ▶ [バイブレータ設定] ▶ 項目を選択

次ページへ続く ▶▶

2 バイブレータの種類を選択

OFF	バイブレータは動作しません。
パターン1	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
パターン2	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約１秒停止のくり返し
パターン3	連続振動
メロディ連動	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音に設定しているとき、メロディと連動させる（メロディ連動）こともできます。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音に設定すると、[パターン１]で振動します。

バイブレータが設定され待受画面に[]が表示されます。ただし、メールのバイブレータのみを設定したときは表示されません。

- でパターン１～３を選択すると、バイブレータの振動を確認することができます。

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上などにFOMA端末を置いておくと、着信があったとき落下するおそれがありますので、ご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像からのバイブレータ動作には反映されません。
- マナーモード中（通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを[ON]にしている場合）は、バイブレータ設定を[OFF]に設定していても、バイブレータは[パターン１]で振動します。
- メロディ連動に設定しても、主旋律と連動していません。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時　アラームあり（高音）

電波状態が悪いなど通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。

- 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。
- アラーム音は、[アラームあり（高音）]、[アラームあり（低音）]、[アラームなし]から選択することができます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[通話品質アラーム]▶アラーム音を選択

お知らせ

- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。
- 電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも、通話品質アラームが鳴ることがあります。

メール着信鳴動時間

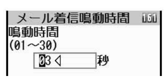
メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時　ON、３秒

メール着信音を鳴らす時間を設定したり、鳴らさないように設定できます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[音]▶[メール着信鳴動時間]▶①[ON]

- 鳴らさないとき：②[OFF]



2 着信音を鳴らす時間（２桁：01～30秒）を入力▶⦿

お知らせ

- メール受信表示設定を[通知優先]に設定していても、通話中、ｉアプリ実行中などには鳴りません。

着信音出力切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続したとき、FOMA端末のスピーカから着信音を出さず、イヤホンだけから聞こえるように設定できます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、[イヤホンのみ]に設定していても、スピーカから着信音が鳴ります。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[音]▶[着信音出力切替]▶着信音の出力方法を選択

お知らせ

- イヤホンマイクからの着信音量は着信音量選択で設定されている音量で聞こえます。着信音量を[サイレント]に設定している場合、着信音はイヤホンから聞こえません。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全なまま途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 次の場合は故障ではありません。
  - ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグの差し込みが不完全な場合に、音が途切れたり雑音がすることがある。
  - ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時 OFF

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、簡単に切り替えることができます。

- マナーモードは、通常マナーモード、サイレントマナーモード、オリジナルマナーモードの３種類から選択できます。
  マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が以下のように異なります。

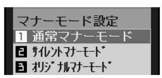
機　能	通常マナーモード	サイレントマナーモード	オリジナルマナーモード※
伝言メモ、バイブレータ	ON	OFF	ON
着信音、メール着信音	サイレント		
アラーム音、ボタン確認音、電池残量警告音、マナー再生	OFF		
マイク感度アップ	ON		

※オリジナルマナーモードの設定は変更できます。(☞P.110)

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の撮影開始音／停止音は鳴ります。ただし、キャラ電撮影(☞P.274)のときは鳴りません。

マナーモードを設定する

1 待受中▶#(１秒以上)

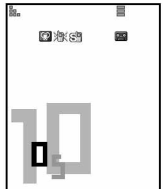


- 着信中にマナーモードを設定するとき：着信中▶#(１秒以上)(前回と同じマナーモードが設定されます。)
- 着信中に操作すると、着信音が止まり、マナーモードが設定されます。この設定は以降も有効です。電話に出られなかったときは、相手の用件が録音されます。ただし、すでに３件の伝言メモ／音声メモ、２件のテレビ電話伝言メモが録音されている場合、伝言メモは設定されません。①を押すと電話に出ることができます。

関 連 操 作	
マナーモードの種類を変更する	待受画面▶⦿▶①▶④▶①▶マナーモードの種類を選択

次ページへ続く

2 マナーモードの種類を選択



選択したマナーモードの種類により、[通常マナーモード設定しました]、[サイレントマナーモード設定しました]または[オリジナルマナーモード設定しました]と表示され、マナーモードが設定されます。([ ]表示)

- 操作１のあと、約２秒間何も操作しないでそのままにしておくと、選択中のマナーモードで設定されます。

通常マナーモード設定時の待受中や着信中は

- ボタン確認音、警告音、メロディ再生音(確認画面を表示)、iアプリのメロディ／効果音、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、電池残量確認音、応答保留音、通話保留音、読み取り完了音、料金上限通知アラーム音などは鳴りません。
- 各種着信音、アラーム音、タイマー音などはバイブレータによるお知らせに変わります。
- 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除(☞P.65)はできません。

マナーモードを解除する

1 待受中、着信中 ▶ ＃(１秒以上)

[マナーモード解除しました]と表示され、マナーモードが解除されます。

お知らせ

マイク感度アップについて

- マイク感度アップを[ON]に設定している場合は、通話中、マイクの感度が高くなり、小さな声で通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。

関連操作	
指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する<マナーモード自動解除>	待受画面 ▶ 解除時刻(４桁:24時間制)を入力 ▶ ＃(１秒以上)
マナーモードを設定していないときに着信音を止める<クイックサイレント>	着信中 ▶ ＃

お知らせ

マナーモード自動解除について

- 解除時刻は、設定した時刻から24時間以内です。解除時刻に待受画面以外の画面を表示していたり、電源が入っていない場合は、待受画面に戻ったときにマナーモードが解除されます。

クイックサイレントについて

- クイックサイレントは、その着信に限り、着信音を止めることができます。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

お買い上げ時	伝言メモ:ON、着信音:サイレント、メール着信音:サイレント、アラーム音:OFF、バイブレータ:ON ボタン確認音:OFF、マイク感度アップ:ON、電池残量警告音:OFF、マナー再生:OFF

オリジナルマナーモード選択時に設定される各機能の設定内容を変更できます。

1 TOPメニュー ▶ 5(設定) ▶ [音] ▶ [マナーモード設定] ▶ ①[ON] ▶ ③[オリジナルマナーモード]

2 機能と設定内容を選択

機能	操作
伝言メモを設定	① ▶ ①[ON]／②[OFF]
着信音を設定	② ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる)で調節 ▶ ●
メール着信音を設定	③ ▶ ⌃(上げる)／⌄(下げる)で調節 ▶ ●
アラーム音を設定	④ ▶ ①[ON]／②[OFF]
バイブレータを設定	⑤ ▶ ①[ON]／②[OFF]

ボタン確認音を設定	⑥▶①[ON]／②[OFF]
マイク感度アップを設定	⑦▶①[ON]／②[OFF]
電池残量警告音を設定	⑧▶①[ON]／②[OFF]
マナー再生を設定	⑨▶①[ON]／②[OFF]

お知らせ

- オリジナルマナーモードの伝言メモを[OFF]に設定していても、伝言メモ(☞P.65)を[ON]に設定していると、伝言メモが動作します。
- 電池残量警告音を[ON]に設定したあと、電池残量が少なくなると、警告音が「ピピピ…」と鳴ります。
- オリジナルマナーモード設定中は、モバイルオーディオ起動時のマナー再生はオリジナルマナーモードの設定に従います。
- マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードの設定内容を変更できます。
- 外部機器接続中に外部機器から音を鳴らすように設定したときは、マナーモードを設定していても外部機器から音が鳴ります。

待受画面設定

待受画面の表示を変える

画像を表示する

お買い上げ時　待受画面11

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、動画、iモードサイトなどでダウンロードした静止画やFlash画像、iモーション、iモードメールで受信した画像など、データBOXに保存されている画像を、待受画面に表示できます。

- FOMA端末にはあらかじめ待受画面の画像が登録されています。(☞P.370)
- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、iモーション内の動画／iモーションを利用できます。
- 「待受:240×320」以外の静止画は、サイズを変更できます。(☞P.261)
- 音声のみの動画／iモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)、再生制限のある動画／iモーションは待受画面に設定できません。ASFファイルも設定できません。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[表示]▶[待受画面設定]▶[待受画面設定]

2 画像を選択

マイピクチャの画像を設定	①▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶ⓜ[決定]▶[はい]▶◉ ●静止画を確認するとき:静止画を選択▶◉[確認](戻るとき:Ⓒ) ●「待受:240×320」より小さいサイズの静止画(JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション)の場合は、[等倍]／[拡大]を選択し、待受画面に表示されるサイズを選択します。
動画／iモーションを設定	②▶フォルダを選択▶◉▶動画／iモーションを選択▶ⓜ[決定]▶[はい]▶◉ ●動画／iモーションを確認するとき:動画／iモーションを選択▶◉[確認](ⓜで停止) ●再生を一時停止するとき:◉[ポーズ](続きを再生するとき:◉[再生]) ●「sQCIF:128×96」、「QCIF:176×144」(横×縦)サイズの動画／iモーションの場合は、[等倍]／[拡大]を選択し、待受画面に表示されるサイズを選択します。(sQCIFサイズ、QCIFサイズ以外は[等倍]／[拡大]を選択できません。) ●動画／iモーションの音量は、オープン音の音量に従います。(1回再生すると停止します。)待受画面でiモーションを再生中に▭(サイドボタン)を1秒以上押すと、音声の有無を切り替えることができます。
iアプリを設定	③ ●iアプリの設定方法について:☞P.246

お知らせ

- お買い上げ時に設定されているFlash画像の時計表示(待受画面11)は、一定の時間が経過すると再生が停止し、停止した時点の時刻が待受画面として表示されます。また、停止後、FOMA端末の開閉やⒸを押すと、FOMA端末の現在の時刻に合わせて再生が再開されます。
- 音声のあるFlash画像を待受画面設定しても、音は鳴りません。

次ページへ続く

お知らせ

- miniSDメモリーカード内の静止画や動画／ｉモーションは直接、待受画面に設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。
- カメラ撮影後のプレビュー画面で◎▶③▶①［待受画面］を押すと、撮影した静止画をすぐに設定できます。なお、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、待受画面に設定できません。保存先を本体に設定してください。
- 保存したFlash画像は、ｉモードサイトなどの動作と異なる場合があります。
- Flash画像やGIFアニメーション、動画／ｉモーション（符号化方式がH.264以外）は最初の１コマ目が待受画面として表示されます。（符号化方式がH.264の動画／ｉモーションの場合は、待受画面としては何も表示されません。）Flash画像やGIFアニメーションの場合、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。また、再生中に©を押すと、Flash画像やGIFアニメーションの場合は一時停止、動画／ｉモーションの場合は停止（先頭に戻る）します。再度©を押すと、再生が再開されます。
- 待受画面に設定している画像を削除した場合、お買い上げ時の画像に戻ります。
- ｉモーション待受画面からWeb To機能は利用できません。
- 設定したGIFアニメーションは、コマ落ちなど、ｉモードサイトなどの動作と異なる場合があります。

カレンダーを表示する<カレンダー表示設定>

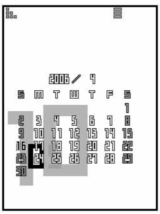
お買い上げ時　OFF

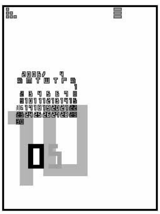
ディスプレイの待受画像に重ねて、今月または、今月と次月の２ヶ月分、４ヶ月分のカレンダーを表示できます。
休日設定日、祝日（☞P.315）は赤色で表示されます。

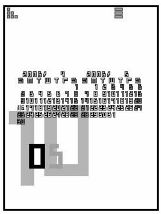
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2006年２月現在）。（春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。）
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像およびｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- 英語表示に設定したときは、カレンダー表示も英語表示になります。

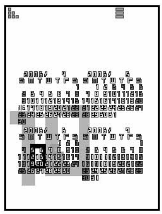
1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［表示］▶［待受画面設定］▶［カレンダー表示設定］▶表示方法を選択

１ヶ月（大）表示	① スケジュールが設定されている日付にアイコンが表示されます。 スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
１ヶ月表示	②▶①［左上］／②［右上］／③［左下］／④［右下］ スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
２ヶ月表示	③▶①［上］／②［下］ 今月と次月のカレンダーが表示されます。 スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
４ヶ月表示	④ 今月を先頭に、４ヶ月分のカレンダーが表示されます。 スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
OFF	⑤ カレンダーを表示しません。


１ヶ月（大）表示


１ヶ月表示


２ヶ月表示


４ヶ月表示

- ⊙を押すと、前後の月のカレンダーが表示されます。［４ヶ月］の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーが表示されます。
- カレンダー表示を設定しているときに、待受画面で⊖を押すと、待受画面表示とカレンダー表示が切り替わります。
- カレンダー表示を設定し、ｉチャネルテロップ設定を［ON］に設定しているときに、待受画面で⊖を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

時計を表示する＜待受時計表示設定＞

お買い上げ時 OFF

- お買い上げ時の待受画面には、Flash画像の時計（待受画面11）が設定されています。待受画面の上部または下部に時計を表示させるには、時計表示設定を[ON(大)]または[ON(小)]にしてください。
- 日時（曜日）を表示させるには、時計表示設定を[ON(大)]にしてください。
- 英語表示に設定したときは、日時も英語表示になります。

1 TOPメニュー ▶ 5（設定）▶［表示］▶［待受画面設定］▶［待受時計表示設定］

2 ［時計表示］▶ ⦿ ▶ 時計の種類を選択

- ［ON(小)］または［OFF］を選択した場合は⑧［完了］を押して設定を完了します。

3 ［時計グラフィック設定］▶ ⦿ ▶ フォルダを選択 ▶ ⦿ ▶ 画像を選択 ▶ ⑧［決定］

画面下部に時計の見本が表示されます。

- マイピクチャから画像を選択するときは、横160×縦160ドットのGIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。）

4 ［表示位置設定］▶ ⦿ ▶ 表示位置を選択 ▶ ⑧［完了］

お知らせ

- 時計(小)の画像はマーク表示設定（☞P.118）で変更できます。
- 画像によっては、Bilingualで日本語表示／英語表示を切り替えたときに正しく表示されない場合があります。

ｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定する ＜ｉチャネルテロップ設定＞

お買い上げ時	ON（テロップ文字サイズ：大（標準）、テロップ色：パターン１（文字色：緑、背景色：黒）、テロップ速度：標準）

待受画面にｉチャネルテロップ（☞P.253）を表示できます。

1 TOPメニュー ▶ 5（設定）▶［表示］▶［待受画面設定］▶［ｉチャネルテロップ設定］▶ ①［ON］

- 表示しないとき：②［OFF］

2 ［テロップ文字サイズ設定］▶ ⦿ ▶ 文字サイズを選択

画面下部にテロップの見本が表示されます。

3 ［テロップ色設定］▶ ⦿ ▶ テロップの色を選択

- ［パターン１］～［パターン９］から選択します。

4 ［テロップ速度設定］▶ ⦿ ▶ 速度を選択 ▶ ⑧［完了］

お知らせ

- カレンダー表示設定とｉチャネルテロップ設定がどちらも設定されているときは、待受画面で⊖を押すと、カレンダー表示とｉチャネルテロップ表示が切り替わります。
- 公共モード（ドライブモード）中は、テロップは表示されません。

発着信時の画像を変更する

お買い上げ時　発信画面：電話発信１、着信画面：電話着信１

電話をかけるときや、電話がかかってきたときに表示される画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を利用できます。着信画面にはｉモーションも表示できます。（音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を除く。）
- 横240×縦168ドットより大きいサイズの画像は、縮小して表示されます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［画面カスタマイズ設定］▶［発着信画面設定］

2 項目を選択▶画像を選択

電話発信画面を設定	②▶Ⓜ［画像選択］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
音声電話着信画面を設定	③▶Ⓜ［画像選択］▶①［マイピクチャ］／②［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
テレビ電話着信画面を設定	④▶Ⓜ［画像選択］▶①［マイピクチャ］／②［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
公衆電話着信画面を設定	⑤▶Ⓜ［画像選択］▶①［マイピクチャ］／②［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
非通知設定着信画面を設定	⑥▶Ⓜ［画像選択］▶①［マイピクチャ］／②［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
通知不可能着信画面を設定	⑦▶Ⓜ［画像選択］▶①［マイピクチャ］／②［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］

- 項目を選択すると、設定されている画像のプレビュー画面が表示されますが、動画／ｉモーションを設定している場合は表示されません。
- 画像を確認するとき：画像を選択▶◉［確認］（戻るとき：Ⓒ）
  あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◉［確認］を押すと再生され、10～40秒経過すると、自動的に停止します。
- 動画／ｉモーションの場合、再生を一時停止するとき：◉［ポーズ］（続きを再生するとき：◉［再生］／戻るとき：Ⓜ［停止］）
- 着信画面にｉモーションを設定する場合：☞P.191

お知らせ

- 着信画面を変更した場合、着信音も変更されることがあります。（☞P.191）
- 発信画面・着信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 発信画面・着信画面に設定できない画像は表示されません。
- 発信者番号が通知されないテレビ電話着信は、［テレビ電話着信画面］が優先されます。
- miniSDメモリーカード内の画像は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。
- ピクチャーコール設定（☞P.88）を［ON］に設定している場合は、ピクチャーコール設定が優先されます。

メール送受信画面設定

メール送受信時の画像を変更する

お買い上げ時　メール送信画面：メール送信１、メール受信画面：メール受信１

メール送信時、メール受信時の画像を変更できます。

- データBOXのマイピクチャのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を表示できます。（動画／ｉモーションは表示できません。）

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［画面カスタマイズ設定］▶［メール送受信画面設定］

2 項目を選択▶画像を選択

メール送信画面を設定	①▶Ⓜ［画像選択］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］
メール受信画面を設定	②▶Ⓜ［画像選択］▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶Ⓜ［決定］

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

● 設定できない画像は表示されません。
● 画像を確認するとき：画像を選択▶◉［確認］（戻るとき：Ⓒ）
あらかじめ登録されているGIFアニメーションの場合、◉［確認］を押すと再生され、15～50秒経過すると、自動的に停止します。

お知らせ

● メール送信画面・メール受信画面に設定した元の画像を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
● miniSDメモリーカード内の静止画は、メール送信画面・メール受信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

ピクチャーコール設定

電話帳に登録した画像を着信時に表示するかどうかを設定する

お買い上げ時 ON

ピクチャーコール設定（☞P.88）されている電話番号からの着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定できます。
● 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール（画像）を設定していないときは、ピクチャーコール設定を［ON］に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません。（☞P.88）

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［表示］▶［画面カスタマイズ設定］▶［発着信画面設定］▶［ピクチャーコール設定］▶①［**ON**］
● 設定を解除するとき：②［OFF］

省電力設定

バッテリーを節約する

お買い上げ時 通常モード

ディスプレイの表示時間などを調整してバッテリーの消耗を抑えることができます。
● 省電力設定は、通常モード、節約モード、ユーザ設定の３種類から選択できます。
● 省電力設定の種類によって、表示時間などが以下のように異なります。

	通常モード	節約モード	ユーザ設定※
照明時間設定	約15秒	約５秒	約15秒
画面表示時間設定	約２分	約30秒	約２分
明るさ調整	12	1	12
ボタン照明設定	点灯	消灯	点灯

※ユーザ設定は変更できます。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［表示］▶［省電力設定］▶省電力設定の種類を選択

ユーザ設定

オリジナルの省電力モードを設定する

省電力設定の［ユーザ設定］には、照明時間設定、画面表示時間設定、明るさ調整、ボタン照明設定をそれぞれ設定できます。

ディスプレイとボタンの照明時間を設定する<照明時間設定>

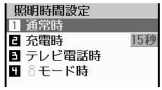
お買い上げ時 通常時：15秒、充電時、ｉモード時：通常時と同じ、テレビ電話時：常にON

ディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、以下の場合についてそれぞれ設定できます。設定した時間を過ぎると、ディスプレイは微灯、ボタンのバックライトは消灯します。
● ユーザ設定で設定した照明時間設定、ボタン照明設定、画面表示時間設定、明るさ調整は、［省電力設定］の種類を［通常モード］、［節約モード］に設定すると無効になります。

次ページへ続く▶▶

通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、1～99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ、DCアダプタを接続しているときに照明が点灯する時間を[通常時と同じ]／[常にON]に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話の通話中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]／[常にON]に設定できます。
iモード時	iモード中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]／[常にON]に設定できます。

1 TOPメニュー ▶ 設定(設定) ▶ [表示] ▶ [省電力設定] ▶ [ユーザ設定] ▶ [照明時間設定]



2 項目を選択 ▶ 照明時間を設定

通常時の照明を設定	① ▶ 点灯時間(01～99秒)を入力 ▶ ⦿
充電時の照明を設定	② ▶ ①[通常時と同じ]／②[常にON]
テレビ電話時の照明を設定	③ ▶ ①[通常時と同じ]／②[常にON]
iモード時の照明を設定	④ ▶ ①[通常時と同じ]／②[常にON]

お知らせ

- 点灯時間(秒数)は[通常時]のみに設定できます。
- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。
- 通常時の照明時間設定と画面表示時間設定を同時に設定している場合は、画面表示時間設定が優先されます。
- 充電時、iモード時の照明時間設定を[常にON]に設定しても、画面表示時間設定で設定した時間が経過すると、ディスプレイの表示はOFFになります。
- Flash画像、動画の再生は、バックライト点灯時間に従います。(☞P.265)
- Flash画像やGIFアニメーションを待受画面に設定している場合、省電力モードから復帰したときは先頭から再生されます。
- イメージビューア、ビデオプレーヤ、キャラ電プレーヤでバックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定した場合、照明時間設定の[通常時]の設定が反映されます。
- スライドショー、静止画撮影では、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
- 複数の照明時間が設定されているとき、次の優先順位で点灯します。ただし、テレビ電話時またはiモード時の照明時間設定を[常にON]に設定すると、充電しながらテレビ電話やiモードを利用する場合、充電時の設定にかかわらず、[常にON]になります。

	優先順位(高→低)
照明時間	充電時→テレビ電話時／iモード時→通常時

ボタンの照明を点灯させる<ボタン照明設定>

お買い上げ時 点灯

ボタンのバックライトの照明を点灯／消灯を設定することができます。

1 TOPメニュー ▶ 設定(設定) ▶ [表示] ▶ [省電力設定] ▶ [ユーザ設定] ▶ [ボタン照明設定] ▶ ①[点灯]

- ボタンのバックライトの照明が点灯します。

お知らせ

- [点灯]に設定したときの点灯時間は、照明時間設定に従います。
- 点灯にすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

画面表示時間を設定する<画面表示時間設定>

お買い上げ時　表示時間：２分

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消してバッテリーの消費を抑えます。[30秒]、[１分]、[２分]、[３分]、[５分]、[10分]、[15分]、[20分]から選択することができます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[表示]▶[省電力設定]▶[ユーザ設定]▶[画面表示時間設定]▶省電力モードになるまでの時間を選択

お知らせ

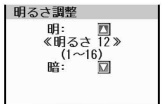
- ディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのボタンを押すとディスプレイ表示が点灯します。
- 音声電話中は、画面表示時間設定の設定時間に関わらず、照明時間設定(通常時)に従ってディスプレイの表示が消えます。
- ｉチャネルテロップ再生中は画面表示時間設定に従ってディスプレイの表示は消えますが、画面表示時間設定が30秒に設定されている場合は、ｉチャネルテロップ再生開始から60秒間はディスプレイの表示は消えません。
- テレビ電話中・ｉモード通信中・メール通信中・カメラの起動中・ｉモーション再生中・スライドショー再生中・外部機器とのデータ転送中は、画面表示時間設定した時間が経過してもディスプレイの表示は消えません。

ディスプレイの濃淡を調整する<明るさ調整>

お買い上げ時　明るさ12

ディスプレイの照明の明るさを16段階に調整できます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[表示]▶[省電力設定]▶[ユーザ設定]▶[明るさ調整]



2 ⊙(明るく)／⊙(暗く)で調整▶⊙

お知らせ

- 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

画面カスタマイズ設定

ディスプレイをアレンジする

サブメニュー枠のデザインを変更する<サブメニュー画像設定>

お買い上げ時　上画像：メニュー枠１(上)、下画像：メニュー枠１(下)

サブメニューの上下の枠のデザインを変更できます。

- 横218×縦10ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。(Flash画像は利用できません。)

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[表示]▶[画面カスタマイズ設定]▶[サブメニュー画像設定]▶ⓢ[画像選択]

- 上枠と下枠の画像は別々に設定できます。ⓜ[下画像]を押すと下枠の画面設定に切り替わります。

2 フォルダを選択▶⊙▶画像を選択▶ⓢ[決定]

- 画像を確認するとき：画像を選択▶⊙[確認](戻るとき：ⓒ)

お知らせウィンドウのアニメーションを設定する <お知らせウィンドウアニメ>

お買い上げ時 お知らせアニメ1

確認メッセージやエラーメッセージを表示するお知らせウィンドウの画像を設定できます。

- 横212×縦42ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。(Flash画像は利用できません。)

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[表示]▶[画面カスタマイズ設定]▶[お知らせウィンドウアニメ]▶⑧[画像選択]▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶⑧[決定]

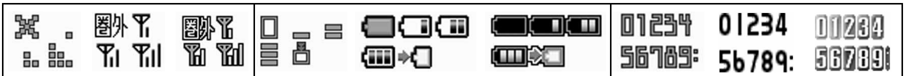
- 画像を確認するとき：画像を選択▶◉[確認](戻るとき：Ⓒ)

マークのデザインを変更する <マーク表示設定>

お買い上げ時 電波マーク：電界強度1／電池マーク：電池残量1／小時計マーク：時計表示1

ディスプレイに表示される電波状態表示マーク、電池残量表示マーク、時計表示(小)マークを変更できます。

登録されているマーク



電界強度1	電界強度2	電界強度3	電池残量1	電池残量2	電池残量3	時計表示1	時計表示2	時計表示3

- マイピクチャから画像を選択するときは、電波状態表示マークが横48×縦40ドット、電池残量表示マークが横72×縦40ドット、時計表示(小)マークが横49×縦40ドットのGIF画像を利用できます。(Flash像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。)

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[表示]▶[画面カスタマイズ設定]▶[マーク表示設定]▶マークの種類を選択▶⑧[画像選択]▶フォルダを選択▶◉▶画像を選択▶⑧[決定]

- 画像を確認するとき：画像を選択▶◉[確認](戻るとき：Ⓒ)

画面の配色を変更する <テーマカラー設定>

お買い上げ時 Mstyle

画面の配色パターンをテーマカラー1～6の中から設定できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[表示]▶[テーマカラー設定]▶テーマカラーを選択

テーマカラーを選択すると、画面が選択中の配色パターンで表示されます。

2 [はい]▶◉

TOPメニューのデザインを変更する

TOPメニューのアイコンや順番、背景画像、アイコン名の有無を設定できます。

TOPメニューのデザインを変える<テーマ設定>

お買い上げ時 テーマ1

TOPメニューに設定されているアイコンの位置や画像を、統一されたイメージに変更できます。

- お買い上げ時、3件のテーマが登録されています。iアプリからダウンロードしたアイコン一括画像（☞P.179）を設定することもできます。また、自分でアイコンと背景に設定した画像の組み合わせを、テーマとして［ユーザ設定1］～［ユーザ設定4］に登録することもできます。
- お買い上げ時に登録されているテーマを利用すると、次の設定が変更されます。
  アイコン画像設定、背景設定、アイコン位置、ショートカットメニューの背景画像の設定、アクションフォーカス、テーマカラー設定、サブメニュー画像設定、お知らせウィンドウアニメ。
- iアプリからダウンロードしたアイコン一括画像や、［ユーザ設定1］～［ユーザ設定4］を利用すると、アイコン画像設定と背景設定が変更されます。

1 TOPメニュー▶Ⓜ▶①［テーマ設定］▶テーマを選択▶［はい］▶⦿

- テーマの画像を確認するとき：テーマを選択▶Ⓘ［確認］（戻るとき：⦿［確認］）
- ［設定中］と表示されます。画像展開に時間がかかることがあります。

■テーマ設定用の画像を一括保存する

アイコン画像設定や背景設定（☞P.120）でTOPメニューに表示した画像を、テーマとして最大4件まで登録できます。

アイコン画像設定や背景設定を行う▶TOPメニュー▶Ⓜ▶①［テーマ設定］▶［ユーザ設定1］～［ユーザ設定4］を選択▶Ⓜ［一括保存］▶［はい］▶⦿

- 登録したテーマを削除するとき：［ユーザ設定1］～［ユーザ設定4］を選択▶Ⓒ［削除］▶［はい］▶⦿

お知らせ

- マルチメディアのPIMロック中にテーマを設定したり削除するときは、端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要です。
- お買い上げ時に登録されているテーマは削除できません。
- 電源を切るなどしてテーマの設定を途中で終了させると、変更が途中まで反映された状態で設定されます。この場合は再び設定をやり直してください。お買い上げ時の状態に戻したいときは［テーマ1］を選択します。

TOPメニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

TOPメニューのアイコンを変更できます。

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。iモードサイトなどでダウンロードした画像も利用できます。
- 1つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の2枚の画像を設定できます。
- GIFアニメーションの場合は最大3シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 TOPメニュー

関連操作	
アイコン名を表示するかどうかを設定する<アイコン名表示>	操作1▶Ⓜ▶②▶③［アイコン名表示］▶①［ON］
TOPメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>	操作1▶アイコンを選択▶Ⓜ▶②▶②［アイコン移動］▶移動先の位置を選択▶⦿

2 アイコンを選択▶Ⓜ▶②▶①［アイコン画像設定］▶フォルダを選択▶⦿▶非選択時用の静止画を選択▶Ⓒ［決定］

- メニューアイコンに設定できない画像は表示されません。
- GIFアニメーションを選択したときは、TOPメニュー画面に戻ります。
- 静止画を確認するとき：静止画を選択▶⦿［確認］（戻るとき：Ⓒ）

次ページへ続く

3 選択時用の静止画を選択

選択時用の静止画を別に設定	[はい]▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶ⓢ[決定]
非選択時と同じ静止画を設定	[いいえ]▶⦿

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの画像をメニューアイコンに設定した場合、元の画像を削除しても、メニューアイコンの設定を変更するまで画面は保持されます。

アイコン表示名について

- お買い上げ時は、[OFF]に設定されています。
- お買い上げ時に登録されているアイコン画像の場合、画像の中にアイコン名が入っているため、アイコン名表示を[ON]に設定すると、文字が二重に表示されます。

TOPメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する ＜アクションフォーカス＞

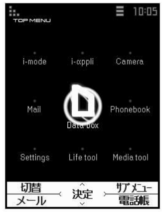
お買い上げ時 OFF

TOPメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定できます。

- アクションフォーカスを設定すると、TOPメニューで選択したアイコンのみアクションが実行されます。
- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 TOPメニュー▶ⓜ▶③[アクションフォーカス]▶アクションフォーカスの種類を選択

グローブ	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	光がきらきら輝き続けます。
ウインドミル	3本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	丸い枠が広がっていきます。
OFF	設定しません。



[グローブ]を選択した場合

TOPメニューの背景を設定する＜背景設定＞

お買い上げ時 メニュー背景1

TOPメニューの背景画像を設定できます。

- JPEG画像、GIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。) iモードサイトなどでダウンロードした画像も利用できます。

1 TOPメニュー▶ⓜ▶④[背景設定]▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶ⓢ[決定]

- 背景画像に設定できない静止画は表示されません。
- 静止画を確認するとき:静止画を選択▶⦿[確認](戻るとき:ⓒ)

お知らせ

- データBOXのマイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまで画面は保持されます。

音/画面/照明設定

テーマ設定

TOPメニューをお買い上げ時の状態に戻す＜メニューリセット＞

TOPメニューのアイコン画像設定、アイコン位置、アクションフォーカス、アイコン名表示、および背景設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 TOPメニュー▶◎▶⑤[メニューリセット]

2 [はい]▶⦿
- リセットしないとき：[いいえ]▶⦿

操作ガイドを表示する＜操作ガイド＞

操作ガイドブックを呼び出して、TOPメニューのアイコンや、待受画面でのボタンの操作方法を調べることができます。

1 TOPメニュー▶◎▶⑥[操作ガイド]▶確認したい機能を選択

ランプ設定

イルミネーションの色を設定する

着信時や通話中、充電完了時などに点滅するランプの色や点滅パターンを設定します。
- ランプの色は、レインボー、ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、パープル、ライトブルーから選択できます。

点滅パターンの種類

- ランプの点滅パターンは次のとおりです。点滅パターンにカーソルを合わせると、着信ランプで点滅パターンを確認することができます。

点滅パターン	着信ランプ（音声電話／テレビ電話）	メール受信ランプ	充電完了ランプ	通話中ランプ	アラーム／タイマーランプ	音楽再生中ランプ
クラシック	○	○	○	○	○	○
ブレス	○	○	○	○	○	○
ディープブレス	○	○	○	○	○	○
ライトブレス	○	○	○	○	○	○
ノーティス	○	○	○	○	○	○
ハートビート	○	○	○	○	○	○
モールス	○	○	○	○	○	○
メロディ連動	○	○	×	×	○	※

※曲ごとに自動的に点滅するランプの色や点滅パターンを変えるときは、[ON（オートセレクト）]を選択します。

着信ランプの色を設定する＜ランプ色設定＞

お買い上げ時　音声電話着信ランプ、テレビ電話着信ランプ：ブルー、メール受信ランプ：イエロー

音声電話やテレビ電話の着信やメール受信があったときの着信ランプの色を設定します。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[表示]▶[ランプ設定]▶項目を選択

音声電話着信時のランプの色を設定	①▶①▶①
テレビ電話着信時のランプの色を設定	①▶②▶①
メール受信時のランプの色を設定	②▶①

次ページへ続く▶▶

2 着信ランプの色を選択

● 色を🔘で選択するたびに、着信ランプの色が変わります。

お知らせ

● データ通信時の着信ランプは、音声電話着信ランプで設定したランプ色と同じです。
● 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール着信ランプは次の優先順位で点灯します。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

着信ランプのパターンを設定する<ランプパターン設定>

お買い上げ時 音声電話着信ランプ：ハートビート、テレビ電話着信ランプ：ノーティス、メール着信ランプ：ブレス

着信ランプの点滅パターンを設定します。着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音に設定しているときは、メロディと連動させる（メロディ連動）こともできます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［ランプ設定］▶項目を選択

音声電話着信時の点滅パターンを設定	①▶①▶②
テレビ電話着信時の点滅パターンを設定	①▶②▶②
メール受信時の点滅パターンを設定	②▶②

2 着信ランプの点滅パターンを選択（☞P.121）

● パターンを🔘で選択するたびに、着信ランプの点滅パターンが変わります。

充電完了ランプを設定する<充電完了ランプ>

お買い上げ時 OFF

充電完了時に充電ランプを点滅させることができます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［ランプ設定］▶［充電完了ランプ］▶①［ON］▶①［ランプ色設定］▶ランプ色を選択（☞P.121）▶②［ランプパターン設定］▶点滅パターンを選択（☞P.121）

通話中にイルミネーションを点滅させる<通話中ランプ>

お買い上げ時 OFF

通話中にイルミネーション（着信ランプ）を点滅させることができます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［ランプ設定］▶［通話中ランプ］▶①［ON］▶①［ランプ色設定］▶ランプ色を選択（☞P.121）▶②［ランプパターン設定］▶点滅パターンを選択（☞P.121）

アラームが動作するときのイルミネーションを設定する<アラーム／タイマーランプ>

お買い上げ時 ON

タイマーやアラーム、スケジュール、ToDoリストで設定したアラームが動作しているときのイルミネーション（着信ランプ）を設定できます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［表示］▶［ランプ設定］▶［アラーム／タイマーランプ］▶①［ON］▶①［ランプ色設定］▶ランプ色を選択（☞P.121）▶②［ランプパターン設定］▶点滅パターンを選択（☞P.121）

音楽再生中のイルミネーションを設定する<音楽再生中ランプ>

お買い上げ時　ON（オートセレクト）

モバイルオーディオで音楽再生中にイルミネーション（着信ランプ）を点滅させることができます。イルミネーション（着信ランプ）が動作するように設定されている音楽データ毎に自動でランプ色とパターンを点滅させる（オートセレクト）こともできます。

1 TOPメニュー▶(設定)▶［表示］▶［ランプ設定］▶［音楽再生中ランプ］▶イルミネーションの種類を選択

音楽データごとに自動でイルミネーションを点滅させる	①［ON（オートセレクト）］
ランプ色とランプパターンを選択	②［ON（固定）］▶①［ランプ色設定］▶ランプ色を選択▶②［ランプパターン設定］▶ランプパターンを選択
イルミネーションを点灯しない	③［OFF］

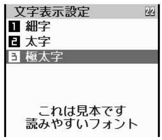
文字表示設定

文字の表示（太さ）を変更する

お買い上げ時　極太字

ディスプレイに表示される文字の太さを変更できます。
- 設定できる文字の種類は細字、太字、極太字の３種類です。

1 TOPメニュー▶(設定)▶［表示］▶［文字表示設定］▶文字の太さを選択
- 文字を選択すると、見本が表示されます。



Bilingual

画面を英語表示に切り替える

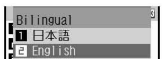
お買い上げ時　日本語

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 TOPメニュー▶(設定)▶［一般設定］▶［**Bilingual**］▶表示方法を選択



日本語表示



英語表示

お知らせ

- FOMAカードを挿入している場合、FOMAカードに記憶されます。Bilingual設定は、FOMA端末と挿入されたFOMAカードに記憶されますが、それぞれの設定が異なる場合は、FOMAカードの設定が優先されます。

▶MEMO◀

あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使って、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）

端末暗証番号は、お買い上げ時は［0000］に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（☞P.127）

- 以下の機能を利用するときには、端末暗証番号の入力が必要となります。
- 端末暗証番号入力時は、［¥］で表示されます。

暗証番号の入力が必要な機能

機能		ページ
電話帳に登録しているｉモードのシークレットコードの設定／確認／解除		P.88
端末暗証番号の変更		P.127
PIN1コードの入力設定		P.128
PINコードの変更		P.129
オールロックの設定		P.131
オールロックの解除		P.131
遠隔オールロックの設定／解除		P.132
PIMロックの設定／解除		P.134
PIMロック中の起動（一時解除）		P.134
ダイヤル発信制限の設定／解除		P.135
着信履歴、リダイヤルの表示の設定／解除		P.136
メール受信履歴、メール送信履歴表示の設定／解除		P.136
シークレットモードの設定／解除		P.136
電話帳指定着信許可の登録／設定／解除		P.137
電話帳指定着信拒否の登録／設定／解除		P.138
非通知理由別着信拒否／許可の設定		P.140
電話帳登録外着信拒否／許可の設定		P.141
ｉモード接続先登録／リセット		P.182
フォルダごと削除	メール	P.219
	miniSDメモリーカード	P.284
	データBOX	P.287
	ブックリーダー	P.298

機能	ページ
ｉモード設定リセット	P.183
証明書発行接続先の変更	P.190
メール設定リセット	P.226
メールのフォルダセキュリティ	P.219
FOMA端末（本体）からminiSDメモリーカードへの全件コピー	P.281
miniSDメモリーカードへのバックアップ	P.281
miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）へのバックアップデータの読み込み	P.282
miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）への全件コピー	P.283
miniSDメモリーカードフォーマット	P.283
赤外線全件送受信	P.292
設定状況確認	P.302
所有者情報の詳細表示・編集	P.322
料金上限通知設定	P.325
設定リセット	P.329
ユーザデータ削除	P.329
シークレットデータ一括削除	P.330
積算通話時間リセット	P.325
追加サービス全件削除	P.343
変換学習クリア	P.357
ソフトウェアの更新	P.394～P.398
データBOX、ブックリーダーのフォルダ内全データ移動	P.288

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

全データ削除	電話帳	P.101	ブックマーク	P.176	画面メモ	P.178
	メッセージR／F	P.187	メール	P.220	ｉアプリのソフト	P.248
	キャラ電	P.276	miniSDメモリーカードのバックアップデータ	P.282	miniSDメモリーカード	P.284
	データBOX	P.287、P.288	ブックリーダー	P.299	ショートカット	P.321
	ToDoリスト	P.320	スケジュール	P.317	URL履歴	P.174
	テキストメモ	P.327				

ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」、「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという２つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で、番号を変更できます。(☞P.129)
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の暗証番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。
- PIN1コード／PIN2コード入力時は、[＊]で表示されます。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には４桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。)

- ｉモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で、番号を変更できます。
- ｉモードから変更される場合は、[ｉMenu]→[8オプション設定]→[2ｉモードパスワード変更]から変更ができます。
- ｉモードパスワード入力時は、[＊]で表示されます。

端末暗証番号変更

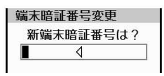
端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000

お客様独自の端末暗証番号(４～８桁の数字)に変更することをおすすめします。

- 端末暗証番号は、ネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードとは異なります。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[端末暗証番号変更]▶現在の端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉



2 新しい端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉

3 もう一度、新しい端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉

端末暗証番号が変更されます。

PINコードを設定する

お買い上げ時　PIN1コード:0000、PIN2コード:0000

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更できます。
- PIN1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の暗証番号です。
- PIN2コードは、iモードサイト接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するとき(☞P.188)に入力します。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになるときは、挿入したFOMAカードにお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、[0000]です。
- PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに登録されます。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する ＜PIN1コード入力設定＞

お買い上げ時　OFF

FOMA端末を不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと使えないように設定します。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[**FOMA**カード(**UIM**)設定]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

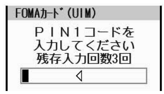


FOMAカード設定画面

2 ①[**PIN1**コード入力設定]▶[**ON**]／[**OFF**]を選択

設定	①[ON]▶PIN1コード(4～8桁の数字)を入力▶◉
解除	②[OFF]▶PIN1コード(4～8桁の数字)を入力▶◉

- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。



お知らせ

- PIN1コード入力画面で入力を3回間違えると、PIN1コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コードを入力する必要があります。(☞P.129)

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。
- PIN1コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

⊝(電源)(2秒以上)▶**PIN1**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉
- PIN1コードは3回まで入力できます。PIN1コード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。
- PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コードを変更する<PIN1コード変更／PIN2コード変更>

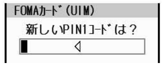
お買い上げ時　PIN1コード：0000、PIN2コード：0000

PIN1コード／PIN2コードを変更できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[**FOMA**カード(**UIM**)設定]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

- PIN1コード入力設定が[OFF]に設定されている場合、PIN1コードは変更できません。

2 変更する**PIN**コードを選択▶現在の**PIN**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉



- PINコードは3回まで入力できます。PINコード入力画面には[残存入力回数]が表示されます。

3 新しい**PIN**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉

4 もう一度、新しい**PIN**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉

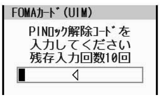
お知らせ

- PIN1コード／PIN2コード入力画面で、PIN1コード／PIN2コードの入力を3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。PINロックを解除してください。PINロック解除時に、新しいPIN1コード／PIN2コードを入力する必要があります。

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、PIN1コード／PIN2コードを3回間違って入力すると、PIN1コード／PIN2コードがロックされます。そのときは、PIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

PIN1／PIN2がロックされた画面



- [残存入力回数10回]と表示されます。
- PINロック解除コードは10回まで入力できます。

PIN1ロックを解除するとき

- 入力したPINロック解除コード、PIN1コードは、[✱]で表示されます。

1 **PIN**ロック中に**PIN**ロック解除コード入力画面▶**PIN**ロック解除コード(8桁の数字)を入力▶◉

2 新しい**PIN1**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉

3 もう一度、新しい**PIN1**コード(4～8桁の数字)を入力▶◉

次ページへ続く

お知らせ

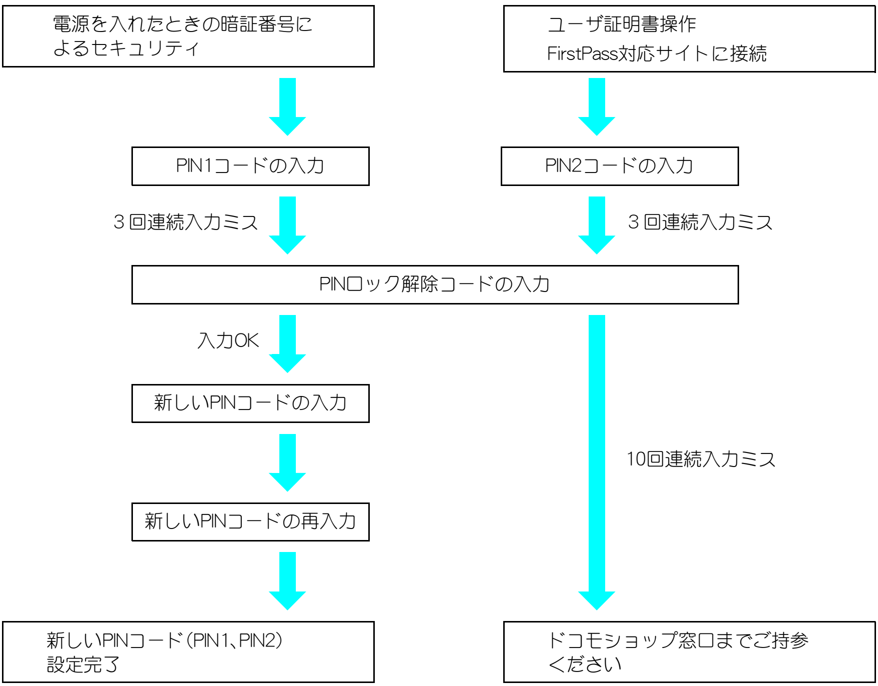
- PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。
- PIN2コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などの通信は可能ですが、PIN1コードの３回連続入力ミスによってFOMA端末がロックされた場合には、通信が必要な機能の操作はできなくなります。

PIN1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードの操作について

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードは、ご契約時には[0000]に設定されていますが、別の番号に変更できます。なお、新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、挿入したFOMAカードにお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。また、PIN1コード、PIN2コードの入力を３回連続して間違えると自動的にロックされますので、設定した番号は控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

- PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除できます。なお、お客様ご自身では変更することはできません。
- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。PINロック解除コードは控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

※PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。



各種ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などの機能を制限できます。

- ロックの設定／解除には、端末暗証番号が必要です。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動作・制限内容	ページ
オールロック	電源のON／OFF以外の操作ができないようにして、FOMA端末の無断使用を防ぎます。	P.131
遠隔オールロック	遠隔操作でオールロックを設定できます。	P.132
セルフモード※	音声電話やテレビ電話の発着信、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモードの機能を使えないように設定します。電話がかかってきた場合、相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。	P.133
PIMロック	ｉモード／ｉチャネル、ｉアプリ、マルチメディア、メール、電話帳、音声・テレビ電話伝言メモ／音声メモ、テキストメモ／スケジュール／ToDoリストの表示や編集・操作ができないようにして、個人情報の閲覧や書換えを防止します。項目ごとに設定が可能です。マルチメディアをロックするとカメラ機能もロックされます。	P.134
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳かリダイヤルを使った発信だけが可能です。	P.135
ボタン操作無効※	サイドボタンを操作できないようにして、誤作動を防ぎます。	P.135

※ セルフモード、ボタン操作無効のとき、端末暗証番号の入力は不要です。

オールロック

他の人が使用できないようにする

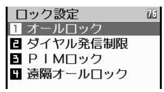
お買い上げ時 解除

電源ON／OFF以外の操作ができないようにします。

- 他の電話機や公衆電話などからの遠隔操作で、オールロックを設定することもできます。（遠隔オールロック：☞P.132）
- オールロックを解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。

オールロックを設定する

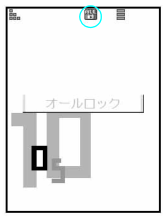
1 TOPメニュー▶5（設定）▶［セキュリティ］▶［ロック設定］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉



ロック設定画面

2 ［オールロック］▶［はい］▶◉

オールロックが設定されます。待受画面に［オールロック］と表示されます。（［ALL］表示）



オールロックを解除する

1 オールロック中に、待受画面▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉

待受画面の［オールロック］の文字と［ALL］が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

- オールロック中は待受画面設定にかかわらず、［待受画面11］の画像が表示されます。

次ページへ続く

お知らせ

- オールロック中に着信した場合、相手には話中音が流れます。オールロックを解除すると[着信あり]が表示されます。
- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることも受けることもできません。ただし、緊急通報番号(110番、119番、118番)には発信できます。発信する場合は、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力してⒾを押します。電話番号は＊＊＊で表示されます。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。また、ディスプレイにも表示されません。
- オールロック中も、iモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロック解除後に、iモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を(4～8桁の数字)を入力してください。

遠隔操作でオールロックを設定する<遠隔オールロック>

お買い上げ時　設定：OFF(解除)、着信回数：5回、指定時間：3分

あらかじめ登録した他の電話機や公衆電話から、一定時間内に一定回数(たとえば「5分以内に3回」など)FOMA端末に電話をかけ、不在着信を記憶させることで、FOMA端末のオールロックを設定できます。

- 遠隔オールロックは、あらかじめ登録・設定した次の項目にすべて該当する着信があった場合にのみ設定されます。

項　目	登録・設定内容
許可番号	遠隔操作を行う電話機の電話番号を最大3件まで登録します。公衆電話からの操作を有効にしておくこともできます。
着信回数	遠隔オールロックが有効になる、指定時間内の着信回数(3～10回)を設定します。
指定時間	許可番号から着信があってから、着信回数のカウントを行う時間(1～10分)を設定します。

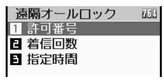
- 遠隔操作でオールロックを解除することはできません。遠隔オールロックを解除するには、「オールロックを解除する」(☞P.131)を参照してください。

遠隔オールロックを設定する

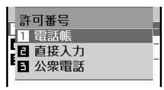
1 TOPメニュー▶⑤(設定)▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿

2 [遠隔オールロック]▶①[ON]

- 設定を解除するとき：②[OFF]



3 ①[許可番号]▶許可番号を登録



許可番号を登録	電話帳から選択※	許可番号を選択▶①▶名前を選択▶⦿
	直接電話番号を入力	許可番号を選択▶②▶電話番号を入力▶⦿
	公衆電話からの操作を許可	許可番号を選択▶③
許可番号を変更		変更する許可番号を選択▶①▶以降は許可番号の登録と同様
許可番号を削除		削除する許可番号を選択▶②▶[はい]▶⦿

※FOMA端末(本体)に登録している電話帳のみです。FOMAカードに登録している電話帳から選択することはできません。

- 新規に登録するときは[--------------------]が表示されている番号を選択してください。
- 許可番号は最大3件まで登録できます。

4 Ⓒ▶②[着信回数]▶着信回数(3回～10回)を選択

5 ③[指定時間]▶指定時間(1分～10分)を選択▶⑧[完了]

遠隔オールロックの操作をする

遠隔オールロック設定中は、他の電話機の操作でFOMA端末のオールロックを設定できます。

- 遠隔オールロックの許可番号に登録した電話機から操作してください。また、操作する電話機の発信者番号通知を[ON]に設定した状態で操作してください。
- 登録している複数の許可番号から着信した場合、最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数として数えられます。
- 公衆電話からの操作を許可しているときは、公衆電話からでも操作できます。
- すでにFOMA端末のオールロックが設定されている場合でも、同様に操作できます。

1 遠隔オールロックの許可番号に登録した電話機や公衆電話から**FOMA**端末に電話をかける

2 呼出音が数回鳴ったあと ▶ 電話を切る

FOMA端末の着信履歴に記憶されます。

3 指定時間以内 ▶ 操作1～2を指定回数くり返す

FOMA端末のオールロックが設定されると、操作をした電話機にオールロック設定の通知音「ピーピー」が流れます。（操作をした電話機に通話料がかかります。）

お知らせ

- 遠隔オールロックの許可番号が、電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否など、着信拒否を設定されている場合でも、遠隔オールロックは動作します。
- 遠隔オールロックの許可番号に設定した電話機から、FOMA端末に電話をかけても次の場合は着信回数にカウントされません。
  - ■ 留守番電話サービス、転送でんわサービスを[開始]に設定中で呼出時間を[0秒]に設定している場合
  - ■ キャッチホンを開始中にキャッチホンとして着信した場合
  - ■ 許可番号が2つ以上登録してあり、着信回数がカウントされているときに、別の許可番号から着信があった場合
- 次の操作を行うと、着信回数はリセットされます。
  - ■ 電源を切った場合
  - ■ カウントされている許可番号からの着信に応答した場合
  - ■ 伝言メモ、イヤホンマイクなどで自動着信した場合
- 許可番号に設定した電話帳は、編集・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 OFF

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、iモードなど、通信が必要なすべての機能を使えないように設定できます。

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス（☞P.332）、転送でんわサービス（☞P.335）をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモード中でも、110番、119番、118番へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- 赤外線通信、赤外線リモコン操作もできません。

1 **TOP**メニュー ▶ 5（設定） ▶ [通話・通信機能設定] ▶ [セルフモード] ▶ ①[**ON**] ▶ [はい] ▶ ◉

セルフモードを設定すると、ディスプレイ上部の[アンテナ]が消え[self]が表示されます。

- 設定を解除するとき：②[OFF]

お知らせ

- iモード待機中（[i]点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- セルフモード設定前に送受信したiモードメール／SMSやメッセージR／Fを読んだり、新規作成や編集して保存することはできますが、送信はできません。

次ページへ続く ▶▶

お知らせ

- 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。受信する場合はセルフモードを解除して、ｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時 OFF

個人情報を他の人が見たり、無断で書換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを制限します。

- ロックできる項目
  ｉモード／ｉチャネル、ｉアプリ、マルチメディア、メール、電話帳、伝言メモ／音声メモ、メモ／スケジュール／ToDo
- 項目ごとにロックを設定できます。
- メモ／スケジュール／ToDoをロックするとアラーム機能もロックされます。
- マルチメディアをロックするとカメラ機能、モバイルオーディオ機能もロックされます。

1 TOPメニュー▶[設定アイコン](設定)▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 [PIMロック]▶ロック／解除する項目を選択▶◉▶◎[完了]
PIMロックが設定され、ディスプレイ上部に[PIMロックアイコン]が表示されます。

- ☑はロック、☐は解除の状態です。
- ◉を押すと、ロックと解除を交互に切り替えることができます。
- ⓑ[全選択]を押すとすべての項目をロックできます。また、すべてにチェックが入っている場合は、ⓑ[全解除]を押すとすべての項目を解除できます。
- 各機能のメニューからPIMロックを設定してもチェックボックスに反映されます。



項目選択画面

お知らせ

- PIMとは「個人情報管理プログラム」を意味します。
- PIMロック中は、ロックがかかっている項目の赤外線受信はできません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳をPIMロックできません。
- 電話帳のPIMロック、ユーザデータ削除を行うと、それまでのリダイヤルと着信履歴、メール受信履歴、メール送信履歴は削除されます。ただし、操作後の発信や着信でリダイヤルや着信履歴が新たに記憶され、それを利用して電話をかけることができます。また、電話帳に登録されていても名前や画像は表示されません。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ ツータッチダイヤル、ツータッチメール、イヤホン発信
  - ■ 指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ
  - ■ ｉモードメールやSMS送信時の電話帳を利用した宛先入力
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDoリストの電話帳を利用した連絡先設定
  - ■ スケジュールの連絡先別表示
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
  - ■ 電話帳指定着信許可／拒否の[OFF]以外の設定
- メールのPIMロックを設定すると、設定前のメール受信履歴、メール送信履歴は削除されます。設定後のメール受信履歴、メール送信履歴は、PIMロックを解除しても保持されます。
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、アラームやスケジュールアラーム、ToDoアラームは動作しません。
- メールのPIMロック中、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信はできますが、画面に表示されません。PIMロック解除後に、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- テレビ電話時にキャラ電などの代替画像を送信する場合は、マルチメディアがPIMロック中でも、設定したテレビ電話代替画像を送信できます。
- PIMロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、PIMロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。miniSDメモリーカード*のPIMデータ（電話帳、テキストメモ、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、メール）は各機能の[miniSDデータ参照]から参照できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- マルチメディアのPIMロックを設定すると電話帳の指定着信音、指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。また、ピクチャーコール設定した画像や、10001バイト以上の画像が添付されているメールの画像は表示されません。待受画面はお買い上げ時に設定されている画像が表示されます。アラームやスケジュールアラーム、ToDoアラームは、お買い上げ時に設定されている画像を表示し、[着信音１]が鳴ります。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

お買い上げ時 OFF

電話帳（miniSDメモリーカード内の電話帳を除く）、リダイヤル以外で電話をかけられないように制限します。

- ダイヤル発信制限を設定中に、ダイヤルボタンを使って電話をかけようとすると、[ダイヤル発信制限設定中です]と表示され、待受画面に戻ります。
- ダイヤル発信制限を設定していても、110番、119番、118番へはダイヤルできます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、メール受信履歴、メール送信履歴が削除されます。ただし、設定後に発信するとリダイヤルに新たに記憶され、リダイヤルで電話をかけることができます。

1 TOPメニュー ▶ 5（設定） ▶ [セキュリティ] ▶ [ロック設定] ▶ 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力 ▶ ⦿

2 [ダイヤル発信制限] ▶ ①[ON]

ダイヤル発信制限を設定すると、ディスプレイ上部に[Dial]が表示されます。

- 設定を解除するとき：②[OFF]

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信（電話帳からのアドレス入力の場合は可能）
  - 電話帳の登録／修正／削除
  - アラームからの発信（電話帳に登録されている場合は可能）
  - 電話帳データの赤外線送受信
  - プレフィックス設定（国際電話設定）
  - 電話帳データの本体⇔FOMAカード間および本体⇔miniSD間データ転送（もしくは、コピー）
  - Phone To（AV Phone To）機能
  - Mail To機能
  - バーコードリーダー、文字読み取りでの発信

ボタン操作無効

サイドボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときに、▭（サイドボタン）を操作できないようにして、誤作動を防ぎます。

1 待受画面 ▶ ⦿（１秒以上）

ボタン操作無効を設定すると、ディスプレイ上部に[🔒]が表示されます。

- 解除するとき：もう一度⦿（１秒以上）
- 電源を切ると、ボタン操作無効は解除されます。

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時 ON(表示する)

着信履歴とリダイヤルを表示しないように設定できます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[発着信履歴表示]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

2 発着信履歴の表示/非表示を選択

着信履歴を表示	①▶①[ON]	リダイヤルを表示	②▶①[ON]
着信履歴を表示しない	①▶②[OFF]	リダイヤルを表示しない	②▶②[OFF]

お知らせ

- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
- 発着信履歴表示を[OFF]に設定している間も、着信履歴、リダイヤルは記録されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

メール履歴の表示を設定する<メール履歴表示>

お買い上げ時 ON(表示する)

メール受信履歴、メール送信履歴(☞P.221)を表示しないように設定できます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[メール履歴表示]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

2 メール履歴の表示/非表示を選択

メール送信履歴を表示	①▶①[ON]	メール受信履歴を表示	②▶①[ON]
メール送信履歴を表示しない	①▶②[OFF]	メール受信履歴を表示しない	②▶②[OFF]

お知らせ

- メール履歴表示を[OFF]に設定している間も、メール受信履歴、メール送信履歴は記録されます。[ON]に設定したときに、[OFF]に設定していた間の履歴も確認できます。

シークレットモード

シークレット登録されている情報を表示する

お買い上げ時 OFF(解除)

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュール、ToDoリストを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストのみ表示されます。
- 待受中に省電力モードでディスプレイの表示がOFFになったとき、待受中にFOMA端末を閉じたとき、自動的にシークレットモードが解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- シークレットデータの登録方法について:☞電話帳はP.101、スケジュールはP.314、ToDoリストはP.318

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[シークレットモード]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

2 シークレットモードを選択

設定	自動解除しない	①[ON]▶①[自動解除しない]
	自動解除する	①[ON]▶②[自動解除する]▶ ⦿[確認]
解除		②[OFF]

● シークレットモードに設定すると、ディスプレイ上部に[🔑]が表示されます。

電話帳指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけを受ける

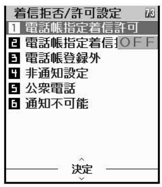
指定した相手からの電話だけをつながるようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

● 電話帳指定着信許可に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、番号通知お願いサービス（☞P.338）も併せて設定することをおすすめします。
● 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
● 着信許可以外の相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに[着信あり]と表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
● 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信許可の設定は無効となるため、許可していない相手からの電話もつながります。
● ｉモードメールやSMSは、この機能に関係なく受信されます。
● FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
● 電話帳指定着信許可に設定されていない電話番号からも遠隔オールロックの操作ができます。設定した着信回数に達して遠隔オールロックが設定されると、通知音「ピーピー」が操作をした電話機に流れます。（操作をした電話機に通話料がかかります。）

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿



着信拒否／許可設定画面

2 [電話帳指定着信許可]

● [電話帳指定拒否を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.139）
● [着信拒否設定を解除してください]と表示されたときは、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

3 ③[リスト登録]

すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

● [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.134）

関連操作	
リストの電話番号を削除する <削除>	操作３▶名前を選択▶②[削除]▶[はい]▶⦿ ● 電話帳指定着信許可を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。

次ページへ続く ▶▶

関連操作	
リストの電話番号を変更する <変更>	操作３▶名前を選択▶①［変更］▶名前を選択▶◉

4 リストの番号を選択▶名前を選択▶◉

電話帳指定着信許可の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。（☞P.97）

- 続けて、他の相手先電話番号を登録するとき：操作４をくり返す
- 電話帳指定着信許可を利用するには、このあと、電話帳指定着信許可を設定します。



登録リスト画面

お知らせ

- 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）できません。

関連操作	
電話帳から登録する <着信許可リスト登録>	待受画面▶Ⓜ▶名前を選択▶◎▶③▶②▶①［着信許可リスト登録］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶リスト番号を選択

指定した番号からの着信を許可する

お買い上げ時 OFF

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［セキュリティ］▶［着信拒否／許可設定］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 ［電話帳指定着信許可］▶①［ON］

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。
- 設定を解除するとき：②［OFF］
- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.134）

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話を受けない

指定した相手からの電話をつながらないようにできます。それ以外の電話番号からの電話（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながります。
電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

- 電話帳指定着信拒否に設定している相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。番号通知お願いサービス（☞P.338）や非通知理由別着信拒否も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
- 拒否した相手へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに［着信あり］と表示され、着信履歴に名前が記憶されます。
- 電話帳のPIMロック中は電話帳指定着信拒否の設定は無効となるため、拒否している相手からの電話もつながります。
- ｉモードメールやSMSは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。
- 電話帳指定着信拒否に登録した電話番号からも遠隔オールロックの操作ができます。設定した着信回数に達して遠隔オールロックが設定されると、通知音「ピーピー」が操作をした電話機に流れます。（操作をした電話機に通話料がかかります。）

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶⦿

2 [電話帳指定着信拒否]
- [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.138)

3 ③[リスト登録]
すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。
- [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.134)

関連操作	
リストの電話番号を削除する <削除>	操作３▶名前を選択▶②[削除]▶[はい]▶⦿ ● 電話帳指定着信拒否を設定したあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は解除されます。
リストの電話番号を変更する <変更>	操作３▶名前を選択▶①[変更]▶名前を選択▶⦿

4 リストの番号を選択▶名前を選択▶⦿
電話帳指定着信拒否の相手先電話番号として、電話帳の電話番号と名前が登録されます。(☞P.97)
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するとき：操作４をくり返す
- 電話帳指定着信拒否を利用するには、このあと、電話帳指定着信拒否を設定します。



登録リスト画面

お知らせ
- 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳を修正・削除(グループ内全件削除・全件削除は可能)できません。
- 非通知理由別着信拒否について：☞P.140

関連操作	
電話帳から登録する <着信拒否リスト登録>	待受画面▶ⓜ▶名前を選択▶◎▶③▶②▶②[着信拒否リスト登録]▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶⦿▶リスト番号を選択

指定した番号からの着信を拒否する

お買い上げ時 OFF

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶⦿

2 [電話帳指定着信拒否]▶①[**ON**]
- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。
- 設定を解除するとき：②[OFF]
- [PIMロック中です]と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。(☞P.134)

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時 すべて許可

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由（非通知理由）が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、[着信あり]と表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 番号通知お願いサービスも併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- ｉモードメールやSMSは、この機能に関係なく受信されます。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、この機能に関係なく発信者番号のわからない電話は拒否されます。

■非通知理由別の種類

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 非通知理由別に[許可]／[拒否]を選択

非通知設定を許可	④▶①[許可]	非通知設定を拒否	④▶②[拒否]
公衆電話を許可	⑤▶①[許可]	公衆電話を拒否	⑤▶②[拒否]
通知不可能を許可	⑥▶①[許可]	通知不可能を拒否	⑥▶②[拒否]

- [電話帳指定許可を解除してください]と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.138）

お知らせ

- 非通知理由別着信拒否と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合、非通知理由別着信拒否が優先されます。

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時 OFF

電話帳に登録されていない相手（相手が電話番号を通知してこない場合も含む）から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- 迷惑電話を防ぐ対策の１つです。
- 呼出動作開始時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶[音]▶[呼出動作開始時間設定]▶①[**ON**]

- 設定を解除するとき：②[OFF]



2 呼出動作開始時間（２桁：**01**～**99**秒）を入力▶◉

3 不在着信履歴表示を設定

着信履歴に表示	①［ON］
着信履歴に表示しない	②［OFF］ ●すべての履歴を確認するとき：着信履歴▶◎▶◯▶①▶①［全表示］ もう一度着信履歴▶◎▶◯▶①▶①［限定表示］を押すと元の表示に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 呼出動作開始時間設定と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合は、公共モード（ドライブモード）が優先されます。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定した場合は、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時 許可

電話帳に登録されていない相手からの電話がつながらないように設定します。
- 相手には、話中音が流れます。このとき、［着信あり］と表示され、着信履歴に記憶されます。
- 番号通知お願いサービスも併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳登録外着信を拒否に設定している場合は、公衆電話や非通知の相手からの着信はつながらなくなります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［セキュリティ］▶［着信拒否／許可設定］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 ［電話帳登録外］▶［許可］／［拒否］

- ［電話帳指定許可を解除してください］と表示されたときは、電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.138）
- ［PIMロック中です］と表示されたときは、電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.134）
- ［呼出動作開始時間設定を解除してください］と表示されたときは、呼出動作開始時間が設定されています。呼出動作開始時間を［OFF］に設定してからやり直してください。（☞P.140）

お知らせ

- 電話帳登録外着信拒否と公共モード（ドライブモード）を同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否が優先されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用することもできます。

目　的	機能／サービス名称	参照先
メールを選択して受信したい	メール選択受信	『ｉモード操作ガイド』
メールアドレスを変更したい	メールアドレスの変更	
指定したドメインのメールのみを受信したい	ドメイン指定受信	
指定したアドレスから送られてくるメールを受信したくない	アドレス指定受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
１日に１台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否したい	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい	ｉモードメールのみ受信／拒否	
パソコンから送られてくるメールは受信したくない		
一時的にメール機能を停止したい	メール機能停止	
すべてのSMS、発信者番号非通知のSMS、海外の携帯事業者に契約しているお客様のSMSを受信したくない	SMS拒否設定／確認	
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害伝言板」サービス	
特定の相手からの電話を着信しないように、電話番号を登録したい	迷惑電話ストップサービス（ドコモのネットワークサービス）	P.337
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合はダウンロードしてソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.394
外部からFOMA端末にデータやプログラムを取り込む際に、問題を引き起こす可能性がないかどうかを調べたい	スキャン機能	P.399
ユーザ証明書を利用して、SSLに対応したサイトに接続したい（FirstPass対応のサイトに限ります）	FirstPass（ドコモの電子認証サービス）	P.188

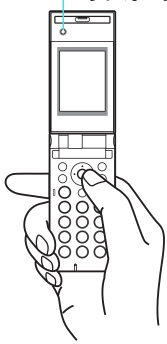
カメラ

カメラをご利用になる前に

カメラのはたらき

FOMA端末はメインカメラ(外部)とサブカメラ(内部)の2つのカメラを搭載しています。カメラを利用すると、静止画や動画を撮影できます。

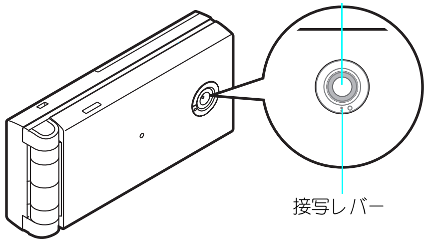
- テレビ電話時に、サブカメラを利用して自分側の映像を送信したり、メインカメラに切り替えてFOMA端末の外側の状況などを送信できます。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.278)
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 自分側を撮影するときはサブカメラを、他の人や風景を撮影するときはメインカメラを利用すると便利です。



多彩な撮影方法について

- 画像の利用方法に応じた、画質・サイズの設定(☞P.152)
- 多彩な連続撮影(☞P.149)
- フレーム付き(☞P.153)や色合いやタッチを変えた撮影(☞P.154)
- 撮影した画像をメールに添付して送信(☞P.157)
- セルフタイマーで静止画撮影(☞P.153)

カメラのご使用について



- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないと、充電中でも画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- FOMA端末を閉じるときなど、取り扱い時にはレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因になります。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- レンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOS(撮影素子)の性能を損なう場合がありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影することによりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- メインカメラを使用中に、メインカメラの周辺の温度が高くなると[ただいまカメラを利用できません]または[カメラを終了します　しばらくしてからお使いください]と表示され、カメラが終了します。
- FOMA端末(本体)に保存するときに、メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。(☞P.288)
- 近距離の撮影時には、接写レバーを右に回して[:]を真下に向けてください。近距離の撮影も鮮明になります。近距離(10cm前後)の撮影に適したモードです。

撮影時の留意事項

- 撮影時は、レンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費が早いため、撮影が終わったら⊖を押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面で、着信やアラームが動作すると、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。そのあと、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

● 静止画モード、動画モード起動時はボタン確認音は鳴りません。
● シャッター音やカメラ撮影開始音の音量は変更できません。また、マナーモードや公共モード(ドライブモード)設定中や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中でも鳴ります。
● 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。このときは、カメラ設定の「ちらつき防止」をお住まいの地域の電源周波数に設定してください。また、室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
● メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

著作権・肖像権について

● お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。
なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
● 著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影サイズについて

FOMA SH702iDで撮影(保存)できる静止画と動画の撮影サイズ(画像サイズ)は次のとおりです。
※本書でのサイズ名:サイズ表記はすべて横×縦です。

サイズ	静止画	動画	説明
アイコン:76×76	○	―	FOMA SH702iDのアイコンと同じサイズです。メニューアイコンに設定する静止画を撮影するときなどに便利です。
sQCIF:128×96	○	○	QCIFよりひと回り小さいサイズで、メール添付などに適したサイズです。
QCIF:176×144	○	○	テレビ電話の親画面のサイズです。代替画像用の静止画を撮影するときなどに便利です。
hQVGA:240×176※1	―	○	パソコンでの再生に適したサイズです。
待受:240×320	○	―	FOMA SH702iDのディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。i モード端末に送信するのに適したサイズです。
QVGA:320×240※1	―	○	FOMA SH702iDで動画撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの再生に適したサイズです。
CIF:352×288	○	―	パソコンでの表示に適したサイズです。
VGA:480×640※2	○	―	パソコンでの表示に適したサイズです。
1.2M:960×1280※2	○	―	パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。

※1 保存先をminiSDメモリーカードに設定する必要があります。
※2 サブカメラ撮影時は、設定できません。

撮影/保存できる目安

静止画モード

● 撮影枚数は、同じ画像サイズ、画質で撮影して、FOMA SH702iDに保存したときの目安です。FOMA SH702iDに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。
FOMA SH702iDへの各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。16Mバイト/32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影枚数の目安について:☞P.402

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン:76×76	―	約590枚	―
sQCIF:128×96	約700枚	約520枚	約360枚
QCIF:176×144	約670枚	約360枚	約230枚
待受:240×320	約470枚	約250枚	約100枚
CIF:352×288	約390枚	約220枚	約100枚
VGA:480×640	約250枚	約150枚	約100枚
1.2M:960×1280	約100枚	約50枚	約30枚

お知らせ

タイトルについて
● 撮影(保存)した静止画には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例:2006年4月16日午後1時5分7秒に撮影した場合→[060416_130507]
● 連続撮影を行った場合、末尾に連番([_01]、[_02]…)が付きます。データBOXに保存されると、画像一覧画面でのタイトル表示で、半角13文字を超える場合、13文字目以降が「…」と表示され、末尾の連番は表示されません。タイトルは、[情報表示]のファイル名で確認や「ファイル名編集」で編集することができます。(☞P.288)

動画モード

- 撮影時間は、FOMA SH702iDに保存するときに1回に撮影できる目安です。FOMA SH702iDに他の画像やｉアプリのソフトなどが保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
  FOMA SH702iDへの各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです。（映像＋音声の場合）
  16Mバイト／32MバイトのminiSDメモリーカードへの各画質別の撮影時間の目安について：☞P.402

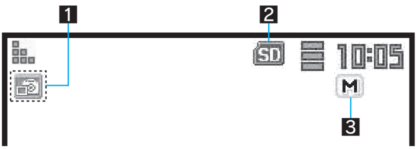
		ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用(短)	約90秒	約61秒	約30秒	−
	メール用(長)	約152秒	約103秒	約51秒	−
	制限なし	約249秒	約169秒	約83秒	−
QCIF：176×144	メール用(短)	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
	メール用(長)	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
	制限なし	約215秒	約126秒	約45秒	約31秒

※ファイルサイズ制限を［制限なし］に設定してFOMA SH702iDに保存する場合は、800Kバイトにファイルサイズが制限されます。

撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

ディスプレイ上部に表示されるマーク（全モード共通）



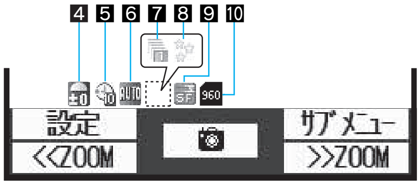
1 モード表示（☞P.151）
カメラモードを表示します。
- ：静止画モード
- ：動画モード
- ：文字読み取りモード
- ：バーコードリーダーモード

2 miniSDメモリーカード表示
miniSDメモリーカードが挿入されているときに表示されます。
- （グレー）： 本体へ保存
- （ピンク）： miniSDメモリーカードへ保存

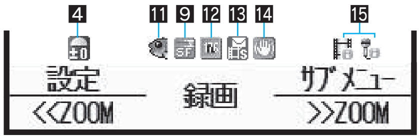
3 メモリ警告表示
メモリの空きがないときに表示します。
表示は目安です。マークが表示されていても保存できることがあります。
- （黄色）： メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示
- （赤色）： メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示

ディスプレイ下部に表示されるマーク

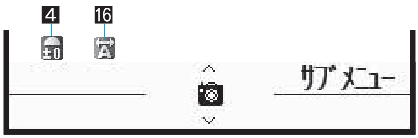
静止画モード



動画モード



文字読み取りモード



バーコードリーダー



4 画像の明るさ表示（☞P.151）
画像の明るさを表示します。
暗い ← 標準 → 明るい

5 セルフタイマー表示（☞P.153）
セルフタイマーの設定状態を表示します。
：2秒　：5秒　：10秒

6 シーン別撮影表示（☞P.154）
シーン別撮影の設定状態を表示します。
- ：オート
- ：スポーツ
- ：夜景
- ：文字

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

7 連続撮影表示（☞P.149）

連続撮影の設定状態を表示します。

- ：標準（25枚用）
- ：標準（９枚用）
- ：オーバーラップ（５枚）
- ：連写枚数共通（１〜25枚）〜

8 静止画エフェクト撮影表示（☞P.154）

エフェクトの設定状態を表示します。

- ：モノクロ
- ：波紋
- ：セピア
- ：万華鏡（大）
- ：きらきら
- ：万華鏡（小）
- ：色えんぴつ
- ：魚眼
- ：円ソフトフレーム

9 画質表示（☞P.152）

画質の設定状態を表示します。

- ：ECONOMY
- ：NORMAL
- ：FINE（動画モードのみ）
- ：SUPER FINE

10 静止画画像サイズ表示（☞P.152）

画像サイズの設定状態を表示します。

- ：アイコン：76×76
- ：CIF：352×288
- ：sQCIF：128×96
- ：VGA：480×640
- ：QCIF：176×144
- ：1.2M：960×1280
- ：待受：240×320

11 動画エフェクト撮影表示（☞P.154）

エフェクトの設定状態を表示します。

- ：モノクロ
- ：波紋
- ：セピア
- ：万華鏡（大）
- ：きらきら
- ：万華鏡（小）
- ：色えんぴつ
- ：魚眼
- ：残像

12 動画画像サイズ表示（☞P.152）

画像サイズの設定状態を表示します。

- ：sQCIF：128×96
- ：hQVGA：240×176
- ：QCIF：176×144
- ：QVGA：320×240

13 動画ファイルサイズ制限表示（☞P.152）

ファイルサイズ制限の設定状態を表示します。

- ：290Kバイト［メール用（短）］
- ：490Kバイト［メール用（長）］

14 手ぶれ補正撮影表示（☞P.154）

手ぶれ補正の設定状態を表示します。

- ：手ぶれ補正［ON］

15 映像・音声切替表示（☞P.153）

動画の種類別を表示します。

- ：映像のみ
- ：音声のみ
- ：映像＋音声

16 反転モード表示（☞P.160）

反転モードの状態を表示します。

- ：［自動］のときに表示
- ：［通常文字］のときに表示
- ：［反転文字］のときに表示

17 QRコード連結番号表示（☞P.158）

- 1〜16：分割されたデータを読み取るときに、読み取り済みの枚数を表示

ズーム利用時（静止画モード、動画モード）

静止画モードで⊙を押すと下の画面が表示され、ズームを調整できます。動画モードの場合はすでに表示されています。（☞P.151）

静止画モード



動画モード



一括設定変更時

撮影画面で⑧［設定］を押すと右の画面が表示され、現在の設定内容を確認しながら変更することができます。（☞P.155）



カメラを起動する／終了する

待受画面▶◎

撮影ランプが１回点滅して、静止画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。

- 終了するとき：⊖／Ⓒ

動画モードを起動するとき

静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶①▶②［動画］

撮影ランプが１回点滅して、動画撮影画面が表示されます。カメラからの画像がディスプレイに表示されます。

- 終了するとき：⊖／Ⓒ

次ページへ続く

お好みの撮影モードで起動するには

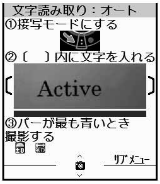
TOPメニュー ▶ 〖(カメラ) ▶ 撮影モードを選択



静止画撮影画面



動画撮影画面



文字読み取り画面



バーコードリーダー画面

- カメラを起動したあと、撮影モードを切り替えるとき：☞P.151

お知らせ

静止画保存中や動画撮影中、動画撮影確認メニュー画面表示中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。
  - ■ 静止画像撮影の場合、撮影した静止画は保持されます。
  - ■ 動画撮影の場合、通話終了後、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。①[保存]を押すと動画が保存され、動画撮影画面に戻ります。④[取消]を押すと、動画は削除され、動画撮影画面に戻ります。
- 撮影前のファインダーが表示されている状態でFOMA端末を閉じると、カメラモードが終了します。

自動終了について

- カメラモード(撮影前のファインダーが表示されている状態)で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了して待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合、または、サブメニューや一括設定変更画面を表示している場合、カメラモードは終了しません。

■ショートカットキーについて

各モードでよく使う操作は以下のボタンに割り当てられ、ワンタッチで操作可能です。

- 静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダーは、カメラモードを切り替えて操作します。

ボタン	静止画モード	動画モード	文字読み取りモード	バーコードリーダーモード
[右キー]	ズームアップ		－	－
[左キー]	ズームダウン		－	－
[電話帳キー]	瞬間ズームアップ		－	－
[メールキー]	瞬間ズームダウン		－	－
[キー]	一括設定変更		－	－
[上キー]	明るさアップ			
[下キー]	明るさダウン			
#	カメラ切替		－	－
*	本体⇔miniSD切替		－	－
①	カメラモード切替			
②	データBOX表示		読み取り対象選択	保存データ
③	セルフタイマー	サイズ選択	反転モード切替	－
④	サイズ変更	画質	－	－
⑤	画質	手ぶれ補正	－	－
⑥	シーン別撮影	－	－	－
⓪	操作ガイド		－	－

操作ガイドを表示する

撮影時に操作ガイドブックを呼び出して、操作方法を調べることができます。

静止画／動画撮影画面 ▶ ◎ ▶ [操作ガイド] ▶ ⦿

静止画撮影

静止画を撮影する

FOMA端末で静止画を撮影します。

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダ、またはminiSDメモリーカードに保存されます。

1 静止画撮影画面

- メインカメラとサブカメラを切り替えるとき：☞P.152

2 撮影：⦿

シャッター音が鳴り、撮影した静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。自動保存モードが[ON]に設定されているときは、撮影した静止画が自動的に保存されます。(プレビュー画面は表示されません。)(☞P.156)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

3 保存：◉［保存］

サブカメラで撮影したとき	正像（見たとおりの向き）で保存	◉［保存］ ●ディスプレイには鏡像（左右逆向き）で表示されますが、正像（見たとおりの向き）で保存されます。
	正像を確認してから保存	◎▶④［正像で確認］▶◉［保存］
	鏡像（左右逆向き）で保存	◎▶⑤［鏡像で保存］ ●フレームを設定して撮影した場合は（☞P.153）、鏡像のまま保存することはできません。
保存先を変更		⓪［保存先］ 保存先を本体またはminiSDメモリーカードに切り替えます。
撮影した静止画を削除して撮影し直す		Ⓒ
ｉモードメールで送信（☞P.157）		✉［メール］
撮影した画像を編集／利用		◎ ●撮影した静止画を利用して、画像編集、プチエステ、画面設定や全画面表示切替ができます。画像編集について：☞P.260～P.265、プチエステについて：☞P.264、画面設定について：☞P.259、全画面表示切替について：☞P.155
カメラモードを終了		⊖

● miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末（本体）内の、データBOXのマイピクチャの［カメラ撮影］フォルダに切り替わります。

連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影できます。連続撮影の方法は２種類あります。
連続撮影できる撮影サイズは次のとおりです。

	標準連続撮影	オーバーラップ	フレーム撮影との組み合わせ
アイコン：76×76	○	×	×
sQCIF：128×96	○	○	○
QCIF：176×144	○	○	○
待受：240×320	○	○	○

● サブカメラでのオーバーラップ連続撮影はできません。
● 「CIF：352×288」、「VGA：480×640」、「1.2M：960×1280」は連続撮影できません。

標準連続撮影

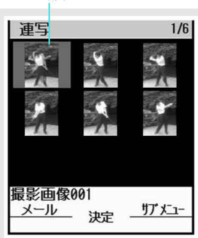
約0.1秒間隔で、静止画を連続して自動的に撮影します。
● 最大連続撮影枚数は撮影サイズにより異なります。

	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320
最大連続撮影枚数	25枚	25枚	25枚	９枚

オーバーラップ連続撮影

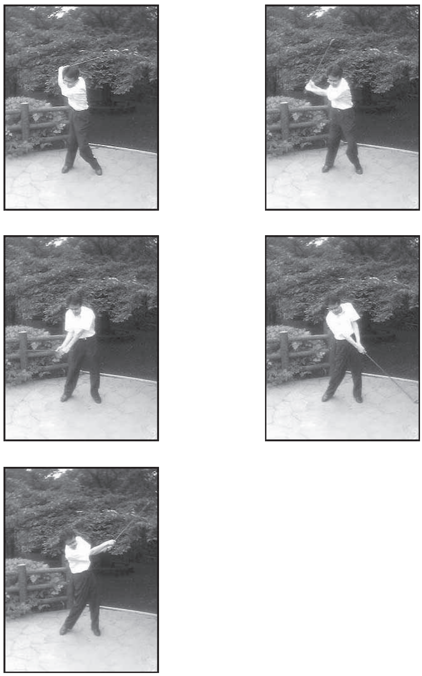
５枚の静止画を約0.1秒間隔で撮影し、５枚を合成した６枚目画像を自動的に作成します。
● オーバーラップ連続撮影中にカメラを動かすと正しく撮影できません。両手でFOMA端末をしっかり持って手ぶれがおきないように撮影してください。
● 撮影後は、５枚を重ね合わせた画像が１枚目に、重ねる前の画像が２～６枚目に表示されます。

合成



撮影画像一覧画面





カメラ／静止画撮影

連続撮影をする

● 撮影サイズによっては、[連続撮影]や[オーバーラップ]がグレー表示になり撮影できなかったり、連続撮影最大枚数が限られるものもあります。

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶④▶③[連続撮影]▶連続撮影の種類を選択(☞P.149)

2 撮影:⦿

撮影中に中断	◎[中止] それまで撮影した画像が表示されます。 ●◎▶①[全件保存]/◎▶③[1件保存]を押すと画像が保存できます。(オーバーラップ撮影時は、中断される前に撮影した画像は保存できません。上記操作を行うと、静止画撮影画面に戻ります。)

● 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。

3 保存:◎▶①

撮影した静止画の中から1件選択し、保存	静止画を選択▶◎▶③ ●他の静止画を追加保存するとき:静止画を選択▶⦿▶⦿[保存]
連続撮影した画像を連結保存して1枚の画像として保存	◎▶⑤ ●画像連結保存すると、1枚ずつ保存できません。
撮影した静止画をすべて削除	◎▶②
選択している静止画を一覧から削除	静止画を選択▶◎▶④ ●静止画を確認してから削除するとき:静止画を選択▶⦿▶◎[削除]
iモードメールで送信(☞P.157)	静止画を選択▶✉[メール] ●静止画を確認してからiモードメールで送信するとき:静止画を選択▶⦿▶✉[メール]

● 自動保存モード(☞P.156)が[ON]のときは、自動的に一括保存されます。
● 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります

お知らせ

● 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更したり、エフェクト撮影を設定したり、サブカメラに切り替えると、連続撮影は解除されます。
● 連続撮影を[標準]または「オーバーラップ」に設定されている場合、シーン別撮影を「夜景」に設定することはできません。
● カメラ設定保持が[ON]に設定されているときでも、カメラモードを終了すると、連続撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意

● 連続撮影中は、⊙によるズームの利用や、⊙による明るさを調整できません。

お知らせ

● 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。オーバーラップ連続撮影時は、撮影中の静止画が保持されません。
● 画像連結保存は「QCIF:176×144」サイズの場合のみ保存できます。また、画像連結保存したあとは静止画撮影画面に戻り、個々の撮影画像の保存はできません。画像連結保存中に着信やアラームが動作すると、連結保存画像が保持されない場合があります。
● 連続撮影中あるいはセルフタイマー動作中にFOMA端末を閉じたり、⊖を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末で動画を撮影(録画)します。

● 撮影した動画はデータBOXのiモーションの[カメラ撮影]フォルダ、またはminiSDメモリーカードに保存されます。
● FOMA端末で撮影した「QCIF:176×144」、「sQCIF:128×96」サイズの動画(Mobile MP4)は、メール送信できます。(☞P.146、P.152)
● 撮影した動画を着モーション(☞P.165)に使用する場合は、本体に保存してください。

1 動画撮影画面(☞P.148)

● メインカメラとサブカメラを切り替えるとき:☞P.152

2 撮影:⦿

カメラ撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。(ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。)

● 撮影を開始すると、撮影ランプが自動的に点灯します。撮影を終了すると、自動的に消灯します。(撮影中は消灯できません。)

3 撮影を止める:⦿

カメラ撮影終了音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

● 残時間表示が[00:00:00]になったとき(撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に撮影が停止しますので、操作4に進みます。
● 撮影時間が短いときは、停止できない場合があります。この場合、しばらく撮影を続けたあとで、⦿を押してください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

4 保存：①［保存］

撮影した動画を再生	③［再生］
撮影した動画を取消	④［取消］▶［はい］▶◉
ｉモーションメールで送信（☞P.157）	②［メール作成］ ●対応していないファイルサイズの動画／ｉモーションは送信できません。（☞P.152）

- miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると［録画処理に失敗しました］と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。

お知らせ

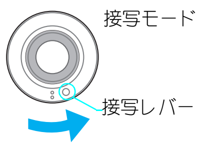
- 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると撮影が自動的に停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。ただし、撮影開始から１秒未満の場合は、撮影を停止し、カメラモードを終了します。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。
- 撮影中に着信を受けたくないときは、セルフモードに設定することをおすすめします。

撮影時の設定を変える

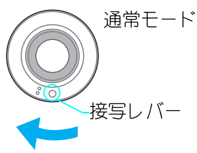
接写モードにする

近距離（10cm前後）の撮影や、文字読み取りモード（☞P.159）やバーコードリーダー（☞P.157）を利用するときは、接写モードにしてください。

1 接写レバーを右にスライドさせる



- ２つの小さい点［:］を真下に向けます。



- 通常モード撮影にするとき：接写レバーを左にスライドさせ、元の位置に戻す。

カメラを切り替える
＜カメラモード切替＞

静止画、動画、文字読み取り、バーコードリーダーの各モードを切り替えます。

- 電池が切れて警告音が鳴ったときに充電を開始してすぐカメラモードを切り替えようとすると［電池残量が足りません］と表示され、カメラモードを起動できません。

1 撮影画面（☞P.148）▶◎▶①［カメラモード切替］▶カメラモードを選択

明るさを設定する＜明るさ調整＞

お買い上げ時　明るさ±０

カメラの明るさを５段階で調整できます。

1 撮影画面（☞P.148）▶◌（明るく）／◌（暗く）で調整

- カメラモードを終了すると、［▣］（標準）に戻ります。
- サブカメラも同様の方法で調整できます。

デジタルズームを利用する
＜ズーム切替＞

1 静止画／動画撮影画面（☞P.148）▶◌（ズームアップ）／◌（ズームダウン）で切り替え

- 静止画像撮影画面では、ズームバーが表示されます。

徐々にズームアップ	◌（押し続ける）
徐々にズームダウン	◌（押し続ける）
瞬間ズームアップ	◎ 瞬間ズームマーク位置になります。 ●静止画の場合は、さらに◎や◌を押すと２倍に拡大されますが、画像は少し粗くなります。
等倍（元の大きさ）に戻す	◎

- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

カメラモード	撮影サイズ	ズームの段階（最大倍率）
静止画	アイコン：76×76	27段階（約25倍）※
	sQCIF　：128×96	22段階（約15倍）※
	QCIF　：176×144	19段階（約11倍）※
	待受　：240×320	16段階（約８倍）
	CIF　：352×288	12段階（約５倍）
	VGA　：480×640	９段階（約４倍）
	1.2M　：960×1280	２段階（約２倍）

※サブカメラで撮影の場合、３段階（約４倍）で切り替えできます。

次ページへ続く

カメラモード	撮影サイズ	ズームの段階（最大倍率）
動画	sQCIF ：128×96	21段階（約7.5倍）※1、2
	QCIF ：176×144	18段階（約5.4倍）※1、2
	hQVGA ：240×176	15段階（約4.0倍）※2
	QVGA ：320×240	12段階（約3.0倍）※2

※1 サブカメラで撮影の場合、2段階（約2倍）で切り替えできます。
※2 手ぶれ補正が［OFF］の場合

- 撮影サイズ変更、メイン／サブカメラ切替、手ぶれ補正の設定変更、エフェクト撮影の設定変更、映像・音声切替を行ったり、カメラモードを終了すると、等倍に戻ります。

お知らせ

撮影時のご注意
- 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影してください。
- 動画撮影時は手ぶれ補正機能を使ってください。（☞P.154）

メインカメラとサブカメラを切り替える＜カメラ切替＞

1 静止画／動画撮影画面（☞**P.148**）▶㊒

- サブメニューから切り替えるとき：
静止画撮影画面▶◎▶⑥▶①［カメラ切替］／
動画撮影画面▶◎▶⑤▶①［カメラ切替］

お知らせ

メインカメラ
- 他の人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。また、文字読み取り（OCR）やバーコードリーダーを利用するときに使います。ディスプレイには、正像（見たとおりの向き）で表示されます。（表示どおり撮影されます。）

サブカメラ
- 自分を撮影するときに使うと便利です。ディスプレイには鏡像（左右逆向き）で表示されます。（ディスプレイ表示とは左右が逆に撮影されます。）

撮影サイズを設定する＜サイズ選択＞

お買い上げ時	静止画：メインカメラ　待受：240×320、 サブカメラ　QCIF：176×144 動画：メインカメラ・サブカメラ　QCIF：176×144

- メインカメラとサブカメラについてそれぞれ設定できます。

1 静止画撮影画面（☞**P.148**）▶◎▶⑤［サイズ選択］▶サイズを選択（☞**P.145**）

- 動画撮影画面（☞P.148）のとき：◎▶④［サイズ選択］▶サイズを選択

お知らせ

- 静止画撮影の場合、撮影サイズを変更すると、フレーム撮影、エフェクト撮影、連続撮影の設定は［OFF］になります。
- 画像をｉモードメールに添付して送信する場合、サイズ選択や画質により通信料金は異なります。
- サイズ選択を「アイコン：76×76」にすると、画質は［NORMAL］に設定されます。
- 動画撮影時、保存先がFOMA端末（本体）に設定されている場合、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」に設定できません。

画質を設定する＜画質＞

お買い上げ時　静止画：NORMAL、動画：NORMAL

静止画や動画の画質を設定できます。
- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安について：☞P.145、P.402

1 静止画撮影画面（☞**P.148**）▶◎▶④▶①［画質］▶画質を選択

- 動画撮影画面（☞P.148）のとき：◎▶③▶①［画質］

	画　質	データ量
ECONOMY	↓	↓
NORMAL		
FINE（動画撮影のみ）		
SUPER FINE	よりきれい	より大きい

お知らせ

- 「待受：240×320」より大きいサイズの画像をｉモードメール送信する場合、「待受：240×320」以下に縮小できます。また、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超える場合、500Kバイト以下になるように圧縮されます。
- 画像サイズが「アイコン：76×76」の場合、画質を選択できません。
- きれいな画質を選択すると、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。
- 動画モードの場合、エフェクト撮影を設定しているときは画質を選択できません。

ファイルサイズ制限を設定する＜ファイルサイズ制限＞

お買い上げ時　メール用（短）

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限しておくことができます。
- ｉモーションメールで送信する場合は、［メール用（短）］、［メール用（長）］を選択してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。
- 保存先がFOMA端末（本体）に設定されている場合、［制限なし］に設定するとファイルサイズは800Kバイトに制限されます。

1 動画撮影画面（☞**P.148**）▶◎▶③▶③［ファイルサイズ制限］▶ファイルサイズを選択

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

メール用（短）	290Kバイトに制限します。
メール用（長）	490Kバイトに制限します。
制限なし	制限しません。

お知らせ

- 撮影サイズが「hQVGA：240×176」または「QVGA：320×240」の場合、［メール用（短）］、［メール用（長）］に設定できません。また、保存先をFOMA端末（本体）に設定できません。
- 撮影サイズが「sQCIF：128×96」または「QCIF：176×144」で、ファイルサイズ制限が［制限なし］に設定されている場合、撮影直後にメール送信を実行すると、先頭から約500Kバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定し、ファイルサイズ制限を［制限なし］に設定した場合、撮影時間は最大約1時間になります。（映像・音声切替が［音声のみ］の場合を除く）

セルフタイマーを使って撮影する ＜セルフタイマー＞

お買い上げ時 OFF

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶④▶⑦［セルフタイマー］▶セルフタイマーを設定

ON（2秒）	2秒に設定します。
ON（5秒）	5秒に設定します。
ON（10秒）	10秒に設定します。
OFF	解除します。

2 撮影：⦿

タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間（約2秒／約5秒／約10秒）が経過すると、シャッター音が鳴り、自動的に撮影されます。

（［2］、［5］または［10］と撮影ランプが点滅）

- 撮影を中止するとき：ⓒ（このとき、セルフタイマーは設定されたままです。）
- 撮影後もセルフタイマーは解除されません。

お知らせ

- カメラモードを終了すると、セルフタイマーが解除されます。カメラ設定保持が［ON］に設定されていても同様です。

セルフタイマー動作中のご注意

- セルフタイマー動作中に、⦿を押すと、その時点で撮影されます。
- 着信やアラームが動作すると、撮影は中止されます。
- セルフタイマー動作中は、⊙によるズームの利用や、⊙による明るさの調整はできません。
- セルフタイマー動作中にメインカメラとサブカメラを切り替えると、セルフタイマーは解除されます。
- セルフタイマー動作中にFOMA端末を閉じたり、⊝を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。

映像と音声の組み合わせを設定する＜映像・音声切替＞

お買い上げ時 映像＋音声

動画撮影の種類を［映像＋音声］、［映像のみ］、［音声のみ］に設定できます。

1 動画撮影画面（☞P.148）▶◎▶③▶④［映像・音声切替］▶映像と音声の組み合わせを選択

お知らせ

- 「音声のみ」に設定して動画を撮影した場合、FOMA端末を閉じたときでも、録音が継続されます。

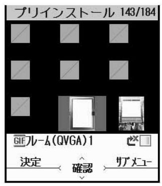
フレームを重ねて撮影する ＜フレーム撮影＞

お買い上げ時 OFF

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- FOMA端末にはあらかじめフレーム画像が登録されています。（☞P.370）
- 連続撮影でも利用できます。（それぞれの静止画にフレームが付きます。）（☞P.149）
- カメラ撮影時にフレームを付けられる画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」です。
- 撮影サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば、「待受：240×320」のときフレームが「320×240」）を選択した場合は、フレームが左に90度回転します。
- iモードサイトなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶④▶⑥［フレーム撮影］



あらかじめ登録されているフレームの場合

フレームを利用	①［ON］▶フォルダを選択▶⦿▶フレームを選択▶ⓢ［決定］ ●フレームを確認するとき：フレームを選択▶⦿［確認］（戻るとき：ⓒ）
フレームを解除	②［OFF］

選択したフレームと一緒に被写体が表示されます。

次ページへ続く

2 撮影：◉

フレーム付きの静止画が撮影されます。

お知らせ

- 撮影サイズを変更すると、フレーム撮影が解除されます。

いろいろな効果を付けて撮影する＜エフェクト撮影＞

お買い上げ時 OFF

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色あいやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影時にエフェクト効果を付けられるサイズは、「アイコン：76×76」、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「待受：240×320」、「CIF：352×288」です。
- サブカメラ使用時、エフェクト撮影はできません。

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶④▶⑤［エフェクト撮影］▶エフェクトの種類を選択

- 動画撮影画面（☞P.148）のとき：◎▶③▶⑤［エフェクト撮影］▶エフェクトの種類を選択
- ◎を押すと前後の画面を表示できます。

モノクロ	モノトーンで濃淡を表現
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらきら	光輝部をさらに輝かせる効果
色えんぴつ	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム（静止画撮影のみ）	画面の周りにぼかしを表現
残像（動画撮影のみ）	動きの残像を表現
波紋	波紋効果
万華鏡（大）	万華鏡の効果（模様が大きい）
万華鏡（小）	万華鏡の効果（模様が小さい）
魚眼	魚眼レンズでの効果
OFF	エフェクトを解除

2 撮影：◉

お知らせ

- エフェクト撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更すると、エフェクト撮影は解除されます。また、動画撮影時は画質を変更することはできません。画像サイズが「QVGA：320×240」の場合は［SUPER FINE］、それ以外のサイズの場合は［FINE］に自動的に設定されます。
- エフェクト撮影をすると手ぶれ補正が自動的に［OFF］になります。

手ぶれを補正して動画を撮影する＜手ぶれ補正＞

お買い上げ時 ON

手ぶれ補正を設定すると、動画撮影時に手ぶれを補正できます。

- サブカメラ使用時、エフェクト撮影時は、手ぶれ補正撮影できません。

1 動画撮影画面（☞P.148）▶◎▶⑤▶②［手ぶれ補正］▶①［ON］

- 設定を解除するとき：②［OFF］

お知らせ

- カメラ設定保持が［OFF］の場合、カメラモードを終了すると、手ぶれ補正の設定は［ON］に戻ります。カメラ設定保持が［ON］の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 手ぶれ補正の効果は、被写体や撮影時の条件によって異なります。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う＜シーン別撮影＞

お買い上げ時 オート

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

- サブカメラ使用時、シーン別撮影はできません。

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶④▶④［シーン別撮影］▶シーンを選択

オート	通常の撮影に適しています。
夜景	夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。
スポーツ	屋外でのスポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。
文字	白と黒などコントラストのはっきりした被写体を撮影する場合に適した設定です。

- 設定したシーンに応じてマークが表示されます。（☞P.146）

お知らせ

- カメラモードを終了すると［オート］に戻ります。
- 静止画撮影時に夜景など光の少ない場所を撮影する場合は、手ぶれに注意して撮影してください。
- 連続撮影を［標準］または「オーバーラップ」に設定されている場合、シーン別撮影を「夜景」に設定することはできません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

撮影時のバックライトの点灯時間を設定する＜バックライト点灯時間＞

お買い上げ時　照明設定に従う

1 動画撮影画面（☞P.148）▶◎▶⑤▶④［バックライト点灯時間］▶点灯時間を選択

照明設定に従う	照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞P.115）
常にON	常時点灯します。（ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。）

音声のノイズを少なくする＜ノイズキャンセラ＞

お買い上げ時　ON

1 動画撮影画面（☞P.148）▶◎▶⑤▶③［ノイズキャンセラ］▶①［ON］

- 設定を解除するとき：②［OFF］

お知らせ

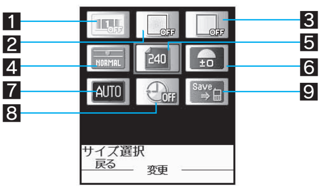
- 映像・音声切替が［映像のみ］の場合、ノイズキャンセラを設定できません。
- ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

撮影時の設定を一括変更する＜一括設定変更＞

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画／動画撮影画面（☞P.148）▶⑧［設定］

- 設定を変更するとき：◎で項目を選択▶●［変更］
- 静止画／動画撮影画面に戻るとき：⑧［戻る］



一括設定変更画面

	静止画	動　画
1	連続撮影	ファイルサイズ制限
2	エフェクト撮影	
3	フレーム撮影	映像・音声切替
4	画質	
5	サイズ選択	
6	明るさ調整	
7	シーン別撮影	手ぶれ補正
8	セルフタイマー	本体⇔miniSD切替
9	本体⇔miniSD切替	

カメラの設定を変える

カメラのシャッター音を変える＜シャッター音＞

お買い上げ時　標準音

シャッター音を、あらかじめ登録されている標準音、ピンポーンの２種類のパターンから選択できます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［音］▶［音選択］▶［各種設定音選択］▶［シャッター音］▶シャッター音を選択

- シャッター音を確認するとき：シャッター音を選択▶⑧［再生］（止めるとき：⑧［停止］）
- マナーモードが設定されているときは、確認画面が表示されたら［はい］を選択し、●を押します。

お知らせ

- シャッター音の音量は変更できません。（マナーモード設定中や公共モード（ドライブモード）設定中も鳴ります。）

画像をディスプレイいっぱいに表示する＜全画面表示＞

カメラモードで表示されるマークを消し、静止画をディスプレイいっぱいに表示できます。

- 「待受：240×320」、「VGA：480×640」、「1.2M：960×1280」サイズで撮影するときに全画面表示できます。

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶◎▶③［全画面表示］

- もう一度操作すると、全画面表示を解除できます。



お知らせ

- カメラモードを終了すると、全画面表示は解除されます。

miniSDメモリーカードに保存する ＜本体⇔miniSD切替＞

お買い上げ時　FOMA端末(本体)

撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存できます。

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶⑦[本体⇔miniSD切替]

- 動画撮影画面(☞P.148)のとき：◎▶⑥[本体⇔miniSD切替]
- 静止画撮影後に⑧[保存先]を押して切り替えることもできます。
- miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間はminiSDメモリーカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画の場合、最大約1時間です。

お知らせ

- 静止画モードでは、保存先がminiSDメモリーカードに設定されていても、miniSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、保存先がFOMA端末(本体)に切り替わります。動画モードでは、miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影を開始すると[録画処理に失敗しました]と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。
- miniSDメモリーカードに保存した静止画の確認について：☞P.282
- 保存先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画が保存されます。
- 保存先がminiSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は[カメラフォルダxxx](フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ)に保存されます。
- 撮影画像をminiSDメモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠(ExifVer.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

自動保存モードを設定する ＜自動保存モード＞

お買い上げ時　OFF

撮影した静止画をminiSDカード、またはFOMA端末(本体)に自動的に保存するように設定できます。

- miniSDメモリーカードへの保存について：☞P.156

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶⑥▶②[自動保存モード]▶①[ON]

- 設定を解除するとき：②[OFF]

お知らせ

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。

蛍光灯のちらつきを防止する ＜ちらつき防止＞

お買い上げ時　50Hz

お住まいの地域の電源周波数を設定すると、蛍光灯の下で撮影するときに、画面のちらつきやすじ状の濃淡の発生を抑えることができます。

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶⑥▶④[ちらつき防止]▶電源周波数(50Hz／60Hz)を選択

- 動画撮影画面(☞P.148)のとき：◎▶⑤▶⑥[ちらつき防止]▶電源周波数(50Hz／60Hz)を選択

お知らせ

- 映像･音声切替が[音声のみ]の場合やサブカメラ使用時は、ちらつき防止は設定できません。
- ちらつき防止の設定は、カメラモードを終了しても保持されます。

静止画撮影／動画撮影の設定をお買い上げ時の状態に戻さないようにする ＜カメラ設定保持＞

お買い上げ時　ON

カメラモードを終了したときに各設定を記憶しておくことができ、次回静止画や動画の撮影モードにしたときも同じ状態で利用できます。

- 設定を保持できる項目は、次のとおりです。

静止画	サイズ選択、画質、本体⇔miniSD切替、自動保存モード
動画	サイズ選択、画質、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、ノイズキャンセラ設定、本体⇔miniSD切替、手ぶれ補正

- 静止画の場合、[サイズ選択]、[画質]はメインカメラとサブカメラについてそれぞれの設定を保持します。

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶⑥▶③[カメラ設定保持]▶①[ON]

- 動画撮影画面(☞P.148)のとき：◎▶⑤▶⑤[カメラ設定保持]▶①[ON]
- 設定を解除するとき：②[OFF]

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

メール送信

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付したｉモードメールを送信できます。

- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していた場合、撮影した画像はminiSDメモリーカードに保存されたあと、データBOXのマイピクチャ(静止画)またはｉモーション(動画)に保存され、メール作成画面が表示されます。この場合、FOMA端末(本体)のメモリ容量が少ないと、上書き確認画面が表示されることがあります。データを削除してから保存してください。
- 動画の撮影サイズが｢hQVGA：240×176｣、｢QVGA：320×240｣のときは、ｉモードメールに添付できません。

1 静止画プレビュー画面(☞P.148の操作２)▶✉[メール]

- 動画のとき：撮影終了後の画面▶②[メール作成]



静止画の場合

[待受サイズ(240×320)以下に縮小しますか？]と表示されたとき	縮小	[はい]▶● 静止画の縦横比を保ったまま｢待受：240×320｣サイズ以下に縮小して添付します。
	縮小しない	[いいえ]▶● 静止画のファイルサイズを500Kバイト以下に調整して(画像サイズは変わりません)添付します。

- 撮影した動画のファイルサイズがメール添付可能なサイズを超えている場合、[動画データをメール添付用に切り出しますか？]と表示されます。[はい]を選択し、●を押すと、先頭からメール送信可能なサイズに切り出して添付します。

2 ｉモードメールを作成▶送信

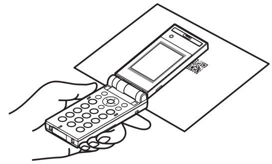
- 詳しくは：☞P.199の操作２～４

お知らせ

- メール添付時に切り出された動画は、FOMA端末(本体)に保存されます。元の動画は、本体⇔miniSD切替で設定した保存先に保存されます。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する



カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、ｉアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像の表示や保存を行うこともできます。

- 読み取り結果をminiSDメモリーカードに保存することはできません。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取りできません。
- 分割されたQRコードも読み取りできます。

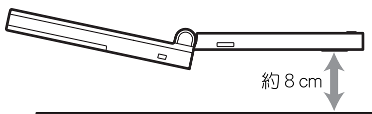
バーコード(JANコード、QRコード)から文字を読み取って利用する

バーコード(JANコード、QRコード)から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、ｉモードメール作成、音声電話やテレビ電話、ｉアプリの起動などを行うことができます。

- 接写モードにしてから撮影してください。(☞P.151)
- 撮影の焦点距離は約８cmです。
- カメラの明るさを調整することにより、読み取りやすくなることがあります。
- ｉモードサイトなどを表示中に、バーコードリーダーを利用してJANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力できます。(☞P.171)
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

1 静止画撮影画面(☞P.148)▶📷▶①▶④[バーコードリーダー]

- TOPメニューから切り替えるとき：(カメラ)／(生活ツール)▶[バーコードリーダー]



- バーコード(JANコード、QRコード)の真正面からカメラまでを約８cm離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。

カメラ／メール送信

次ページへ続く▶▶

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード（JANコード、QRコード）を表示



- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
- 保存されているデータを見るとき：◎▶②［保存データ］

3 ◉［読取］



バーコード（JANコード、QRコード）の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

- 読み取りを開始してから１分経過しても読み取れなかったときは、［読み取りできませんでした］と表示され、操作２の画面に戻ります。
- 読み取りを中止するとき：ⓢ［中断］／Ⓒ（読み取りを中断して操作２の画面に戻ります。）

4 読み取った文字を選択▶◉

- 読み取った文字や数字に下線が付いている場合は、その部分を選択できます。
- 読み取った文字の内容に応じて、ｉモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成確認画面（メールアドレスのとき）、電話（テレビ電話）確認画面（電話番号のとき）が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータ、ｉアプリデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面、ｉアプリ起動確認画面が表示されます。
- 読み取った文字や数字に下線が付いていない場合は、◉を押しても表示は変わりません。

読み取った文字をすべてコピー	ⓢ［全コピー］
読み取った文字の一部をコピー	◎▶③▶始点を選択▶◉［開始］▶終点を選択▶◉［コピー］ ● ◎［全選択］、⊚［文頭］、⊚［文末］を押して範囲を選択することもできます。
読み取ったデータを保存	◎▶④▶保存先を選択▶◉ ● ５件まで保存できます。

お知らせ

- URL入力画面や、ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）の文字入力画面で、◎▶⑥▶③［バーコードリーダー］を押してもバーコードリーダーを起動できます。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中、電話帳登録はできません。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力するとPIMロックは一時的に解除され、読み取った結果から電話帳登録できます。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- 読み取り完了音は、マナーモードや公共モード（ドライブモード）設定中には鳴りません。

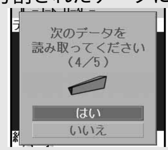
JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 左図を読み取ると［4942857122824］と表示されます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの１つです。データとは、文字列（英数字・漢字・カナ・絵文字）や画像データ、メロディデータなどを含みます。
- 左図を読み取ると［FOMA SH702iD］と表示されます。

分割されたデータについて



- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取った場合、操作３のあとで左の画面が表示されます。

（　）には残り個数／全連結数が表示されています。［はい］を選択すると次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

QRコードから画像やメロディを読み取って再生する

1 QRコードを読み取る（☞P.157の操作１～３）

- 読み取り結果が画像データの場合は結果画面に［画像］、メロディの場合は結果画面に［メロディ］が下線付きで表示されます。

2 ◉▶表示・再生

画像を表示	①［表示］ ● ファイル形式によっては表示できないものもあります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

メロディを再生	①[再生] ●ファイル形式によっては再生できないものもあります。 ●再生を中止するとき：⦿[停止]／Ⓒ
メロディや画像を保存	②[保存] ●画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダに保存されます。 ●メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダに保存されます。
メロディや画像を保存しない	③[保存しない]

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

● 読み取ったメールアドレスや電話番号、URLを電話帳に登録できます。
● URLをブックマークに登録することもできます。

1 バーコードを読み取り（☞P.157の操作1～3）▶読み取り結果画面▶📷

2 読み取り結果を利用

電話帳登録	FOMA端末（本体）電話帳に新規登録	①▶①▶[はい]▶⦿ ●読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.88） ●あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。
	FOMAカード電話帳に新規登録	①▶②▶[はい]▶⦿ ●読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.92）
	電話帳に追加／上書き登録	①▶③▶[はい]▶⦿▶名前を選択▶⦿ ●読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます。このあと、電話帳登録の操作を続けます。（☞P.88） ただし、URLの場合は、メモの項目（☞P.87）に上書き登録されます。
ブックマークに登録（URLのみ）（☞P.175）		②▶[はい]▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶[OK]▶⦿

保存データを利用するとき

● 読み取り開始画面（☞P.158の操作2）で📷▶②[保存データ]を押し、保存データを選択し、⦿を押します。
● このあと、上記の操作1～2に進みます。
● 保存データを削除するとき：保存データを選択▶ⓢ[削除]▶[はい]▶⦿

文字読み取り（OCR）

文字を読み取る

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号、英単語をFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換します。
読み取った文字を利用して、i モードサイトなどに接続したり、i モードメールを送信したりできます。音声電話やテレビ電話をかけたり、辞書検索することもできます。また、電話帳やブックマークに登録することもできます。
● 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[.-(ハイフン)_:/~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[.@-(ハイフン)_:]
電話番号	半角数字、半角記号[-(ハイフン)+P＃＊]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン)/?!@+*'(),.&]

● 読み取り結果をminiSDメモリーカードに保存することはできません。
● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

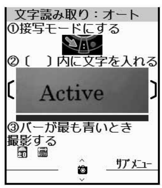
文字を読み取って利用する

カテゴリ（URL、メールアドレス、電話番号、英単語）を自動的に識別して、文字を読み取り、i モード接続、i モードメール作成、音声電話やテレビ電話の発信、辞書検索、電話帳の登録、ブックマーク登録などを行うことができます。
● 接写モードにしてから撮影してください。（☞P.151）

1 静止画撮影画面（☞P.148）▶📷▶①▶③[文字読み取り]

● TOPメニューから切り替えるとき：ℂ（カメラ）／ℒ（生活ツール）▶[文字読み取り]

2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示



● 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明が直接反射しないように角度を調節してください。
● ディスプレイの〔　〕枠内の中央に入るように調整してください。〔　〕の端の文字は読み取りにくい場合があります。

- 読み取り文字の真正面からカメラまでの焦点距離を約8cmにして、文字やFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

読み取り対象のカテゴリを選択	◎▶②▶カテゴリを選択 ●文字読み取り起動時は、[オート]に設定されています。
反転文字(黒地に白の文字)を読み取る	◎▶③▶反転モードの種類を選択 ●文字読み取り起動時は、[自動]に設定されています。うまく読み取れないときは、[通常文字]または[反転文字]に設定してください。

3 ⦿[📷]

静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。

- 複数の行を撮影したときは、⦿で読み取る行を指定します。(文字の読み取りは、1行単位で行います。)

4 ⦿[読取]

文字の読み取りが開始されます。

- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正	⦿で修正する文字を選択▶⦿で候補を選択 1文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。 ●修正候補がないときはダイヤルボタンで入力します。 ● 1文字ずつ削除するとき:Ⓒ
読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	ⓢ[再読取]▶[はい]▶⦿

5 ⦿[決定]

文字読み取り結果が表示されます。

読み取った文字を削除して読み取りをやり直す	ⓢ[再読取]▶[はい]▶⦿
続けて文字を読み取る	◎▶①[続き読み取り] ●先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取りできます。
読み取りを追加	◎▶②[追加読み取り] ●最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。
読み取った文字を編集	◎▶⑥[編集]
読み取った文字をすべてコピー	◎▶⑦[全コピー] ●他の画面に貼り付けて使用できます。
読み取った文字を削除	◎▶⑧[削除]▶[はい]▶⦿
読み取り結果のカテゴリを変更	⦿ ●読み取り結果がURL、メールアドレス、英単語のときは、カテゴリを変更できます。

6 ⦿▶[はい]▶⦿

読み取った文字のカテゴリに応じて、iモード接続確認画面(URLのとき)、メール作成確認画面(メールアドレスのとき)、電話(テレビ電話)確認画面(電話番号のとき)、辞書検索確認画面(英単語のとき)が表示されます。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中、電話帳登録はできません。端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力するとPIMロックが一時的に解除され、電話番号、URL、メールアドレス、英単語を電話帳登録できるようになります。電話帳登録が終了すると、再びロックされます。
- 読み取る文字のカテゴリが、電話番号の場合、( )は -(ハイフン)となります。
また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。
- 読み取る文字のカテゴリがURLの場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したカテゴリに応じて、電話帳の各項目やブックマークに登録できます。

カテゴリ	電話帳の項目
URL	メモ
メールアドレス	メールアドレス
電話番号	電話番号
英単語	名前(姓)・フリガナ(姓)

1 文字の読み取り後の画面(☞「文字を読み取って利用する」の操作5)▶◎

カメラ
文字読み取り

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

2 読み取り結果を利用

電話帳登録	FOMA端末(本体)電話帳に新規登録	③▶①▶[はい]▶◉ ●電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.88)
	FOMAカード電話帳に新規登録	③▶②▶[はい]▶◉ ●電話帳入力画面に読み取った文字が各項目に入力されています。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.92)
	電話帳に追加/上書き登録	③▶③▶[はい]▶◉▶名前を選択▶◉ ●読み取った文字は対応した項目に上書き登録されます(URLはメモの項目)。このあと、電話帳登録の操作を続けます。(☞P.88)
URLをブックマークに登録(☞P.175)		④▶[はい]▶◉▶フォルダを選択▶◉▶[OK]▶◉

- 電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるときは[一部登録できないデータがあります 登録しますか？]と表示されます。[はい]を選択すると、登録されます。

読み取った文字を辞書で検索する

読み取った文字を辞書で検索できます。

- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

1 文字の読み取り後の画面(☞**P.160**の操作5)▶◎▶⑤[辞書検索]▶[はい]▶◉

ブックリーダー一覧画面が表示されます。辞書の検索方法について:☞P.298

- 検索終了後、㊀を押すか、Ⓒを数回押すと、文字読み取り後の画面に戻ります。

▶MEMO◀

ｉモード／ｉモーション

■ｉモード

■サイトを表示する

■サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

■ｉモードの便利な機能

■ｉモードの設定を行う

■メッセージサービスを利用する

■証明書を利用する

■ｉモーション

※掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

iモード

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

サイト(番組)接続

iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP(情報サービス提供者)が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

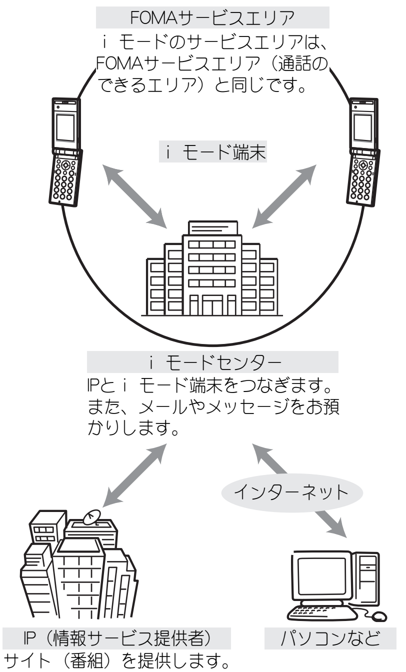
インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス(URL)を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ



iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス(iモードをご契約)からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、i Menu内「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量(パケット数)に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト(番組)接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にi Menuが表示されます。ここから、各サイト(番組)や[週刊iガイド]などへアクセスします。

サイトの表示方法☞P.168



1マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。(☞P.173) i Menu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選択して接続できます。
4とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。(提供:D2コミュニケーションズ)
5iエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。

かんたん検索	「ゲーム」、「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
iアプリサーチ	iアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	iMenuを英語表記に変更できます。

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

お知らせ

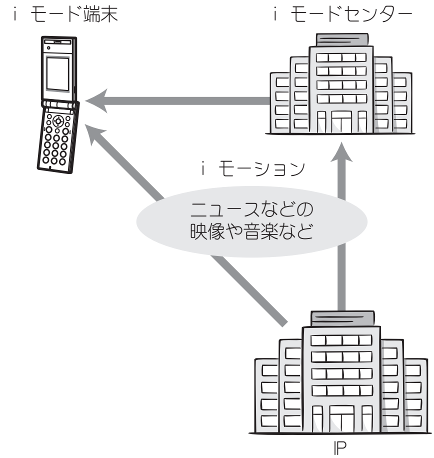
- iモードサイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

iモーション

iモードサイトから映像や音をiモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。☞P.190

- iモーションを取得するには☞P.191
- iモーションを再生するには☞P.191
- iモーションを自動再生設定するには☞P.192



着モーション／着うた®

iモードサイトからiモーションをiモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません。）

- 着モーションを設定するには☞P.88、P.104
- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- iアプリをダウンロードするには☞P.239
- iアプリを実行するには☞P.240
- iアプリを自動実行するには☞P.245

iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- iアプリ待受画面を設定するには☞P.246

ｉアプリDX

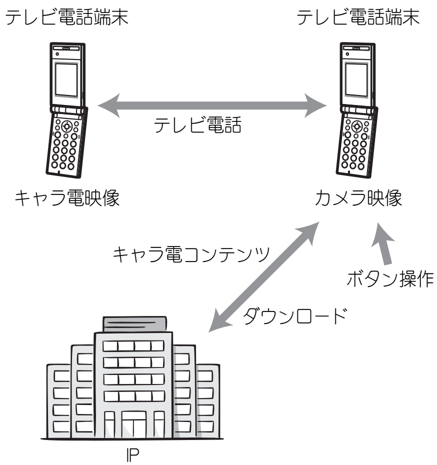
ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

- ｉアプリDXとは☞P.238

キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。）

- キャラ電をダウンロードするには☞P.180
- キャラ電の確認☞P.275
- キャラ電を設定するには☞P.273
- キャラクタの操作方法☞P.274
- キャラ電の撮影☞P.274



赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます※。

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※ 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

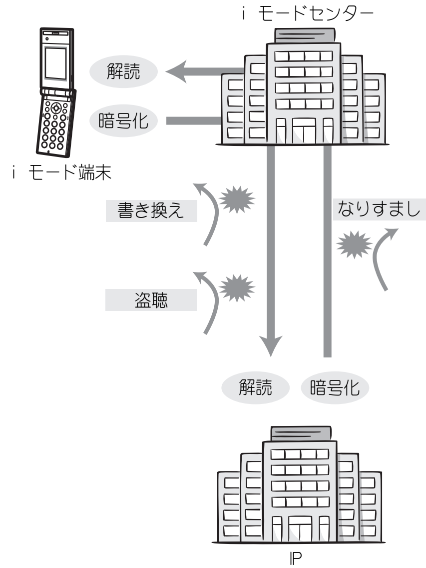
- 赤外線通信モードにするには☞P.291

SSL通信

SSLとは、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと２つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。☞P.188

- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☞P.188
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには☞P.188



※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

FOMAカード動作制限機能

お客様情報〔電話番号・電話帳（一部）など〕を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、ｉモードサイトなどからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源ONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※ 着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

ｉメロディ

ｉモードサイトなどから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。☞P.179

ｉアニメ

ｉモードサイトなどからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。
☞P.111、P.114

Flash™

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。☞P.111
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。☞P.183

- 電池残量
- 効果音設定
- 受信レベル
- バイリンガル設定
- 時刻情報
- 機種情報

メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（メッセージリクエスト）	メッセージサービスを提供するｉモードサイトなどでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（メッセージフリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法は☞P.184
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定のお買い上げ時の設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。お買い上げ時には、「受信しない」設定になっております。
- 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR／Fは、ｉモード問い合わせにより受信できます。（☞P.185）

トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージRの画面の見かたは☞P.186

ｉモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は［0000］に設定されていますので、お客様独自の４桁の数字に変更することをおすすめします。☞P.173
ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。

- 表示方法は☞P.174

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
  ｉモード対応のホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
  詳しくは：☞P.174
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末にダウンロードした文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにて取得した情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってｉモードサイトなどからダウンロードした静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容はお買い上げ時の状態にリセットされます。

サイト表示

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます。
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。
（サイトによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

1 待受画面▶ⓘ



2 ①［ｉ Menu］

- 接続を中止するとき：接続中（［↯］点滅）▶ⓘ［中止］



ｉモード中に表示されるマーク

ｉ：ｉモード待機中です。（点滅）

↯：ｉモード接続中です。（点滅）

SSL：SSLページ表示中です。

（画像読み込み中マーク）：画像読み込み中と、画像表示設定が［OFF］の場合に表示されます。

（画像読み込み失敗マーク）：画像読み込みに失敗した場合、表示できない形式の画像の場合に表示されます。

☒：URLが正しくないため画像が読み込めない場合に表示されます。

（ｉアプリダウンロードマーク）：ｉアプリダウンロード中です。

3 項目を選択▶◉

- この操作をくり返し、目的のｉモードサイトなどを表示します。

画面を上下にスクロール	◯（下）／◯（上）
１画面単位でスクロール	ⓜ［▼ページ］（下）／ⓜ［▲ページ］（上）

関連操作
サイトのサーバー証明書を参照する＜証明書参照＞
操作３▶ⓜ▶⑦▶②［証明書参照］
文字コードを変換する＜文字コード変換＞
操作３▶ⓜ▶⑦▶③［文字コード変換］
Flash画像やGIFアニメーションを再び再生する＜リトライ＞
操作３▶ⓜ▶⑦▶④［リトライ］

4 終了するとき：⊝▶［はい］▶◉

関連操作
ｉモードをPIMロックする＜PIMロック＞
待受画面▶ⓘ▶⑦▶⑤［PIMロック］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶①［ON］

お知らせ

- ｉモードサイトなどを表示する時に、表示しないように設定することもできます。（☞P.183）
- サイトによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のサイトの画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、文字コード変換を行うと正しい文字に変換して表示できることがあります。（☞P.174）
- ｉモードサイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数で発色できない場合があります。
- ｉモードサイト表示中にⓘ［ｉモードメニュー］を押すと、ｉモード終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードメニュー画面が表示されます。
- 電話帳指定着信許可／拒否、非通知理由別着信拒否、電話帳登録外着信拒否を設定している場合、着信を許可しない相手からｉモード中やｉモード待機中に電話がかかってきたときも、着信音が鳴りません。相手の電話番号や電話帳に登録した名前が着信履歴に残ります。相手には話中音が聞こえます。

■携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号送信について

ｉモードサイトなどを表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。［携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します］と表示された場合、携帯電話情報を送信するときは［はい］を選択し、◉を押します。送信しないときは［いいえ］を選択し、◉を押します。送信せずに元の画面に戻るには、ⓒを押す、または［戻る］を選択し、◉を押します。

お知らせ

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイトなどでの画像表示について

ｉモードサイトなどや画像メール、メッセージR／Fの画面には、画像が表示されることがあります。



- FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます。（ただし、一部表示できないJPEG形式の画像もあります。）
- 画像を受信中は、[◙]が表示され、受信が終わると画像を表示します。
- 画像を表示するかどうかを画像表示設定（☞P.183）で設定できます。[OFF]に設定すると、画像の代わりに[◙]が表示されます。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、ｉモードサイトなどの動作と異なる場合があります。
- インターネット接続でGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールにGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが記載されていても、画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLをクリックすると「Web To機能」（☞P.181）を利用してGIF形式、JPEG形式の画像データやFlash画像が表示されます。
- 画像を取得できなかったときは、[◙]が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。
- GIF形式、JPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに[◙]が表示され、画像は表示できません。

SSL対応のページを表示するとき

FOMA端末では、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、右のような画面が表示されます。



SSL通信を中止するときは⑧[中止]を押します。
SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書を使用します。（☞P.188）

■ CA証明書　■ ユーザ証明書
■ ドコモCA証明書

SSL対応のページを表示しているときは、[SSL]が表示されます。
SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。



お知らせ

- [このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]、[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]、[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]と表示されたときは、ページのSSL証明書が期限切れになっている、またはFOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
  この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信できませんので、ご注意ください。
  続けてページを表示させるときは[はい]を選択します。ページを表示させないときは[いいえ]を選択します。

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続できます。

- URLが半角2048文字を超えるページは表示できない場合があります。メロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

1 待受画面▶⑧▶⑥▶①[ラストURL]



関連操作
ラストURLを削除する<削除>
操作1▶◎▶①[削除]▶[はい]▶●
ラストURLをブックマークに登録する<Bookmark登録>
操作1▶◎▶②[Bookmark登録]▶フォルダを選択▶●▶[OK]▶● ● ブックマークの登録方法：☞P.175の操作1～2

関連操作
ラストURLをコピーする＜コピー＞
操作1▶◎▶③［コピー］ ● コピーは最大半角2000文字まで可能です。

2 ⊙［接続］

文字サイズを変更する ＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時　標準

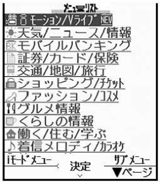
ｉモードサイトなどや画面メモの文字サイズを設定できます。

1 待受画面▶ⓜ▶⑦▶③▶②［文字サイズ設定］▶文字サイズを選択

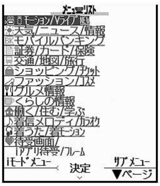
文字サイズの種類



［大きい文字］



［標準］



［小さい文字］

お知らせ

- サイトによっては、［文字サイズ設定］を変更すると正しく＜表示されない場合があります。

メロディの再生音量を設定する ＜効果音設定＞

お買い上げ時　音量５

ｉモードサイトなどや画面メモのメロディの再生音量を設定できます。

1 待受画面▶ⓜ▶⑦▶③▶⑦［効果音設定］

2 ▲（上げる）／▼（下げる）で調節▶⊙

お知らせ

- ｉモードサイトなどを表示中▶◎▶⑦▶⑤［効果音設定］で音量変更することができます。

サイトの見かたと操作

ｉモードサイトなどでは、表示されている画面から他の画面に移動したり、情報をもう一度読み込むことができます。表示中のURLを確認したり、電話番号などを電話帳に登録することもできます。

Flash画像を表示する ＜Flash画像表示＞

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりｉモードサイトなどの表現力がより豊かになります。
また、Flash画像をデータBOXのマイピクチャに保存し、待受画面に設定することもできます。（☞P.111、P.259）

1 **Flash画像のあるｉモードサイトなどや保存している画面メモを表示する（☞P.168の操作1～3）**

Flash画像が自動的に再生されます。

Flash画像内にリンクなどが設定されているとき	▲／▼／⊙／⓪～⑨／㊀／㊁で、Flash画像内のリンクなどを選択することができます。 ● ［⇕］が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
Flash画像の効果音の音量を設定（☞P.182）	Flash画像を表示中▶◎▶［表示／設定］▶⊙▶［効果音設定］▶⊙▶▲（上げる）／▼（下げる）▶⊙
Flash画像を再び再生	Flash画像を表示中▶◎▶［表示／設定］▶⊙▶［リトライ］▶⊙

お知らせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 画像表示設定を［OFF］に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 着信バイブレータを設定しても、Flash画像の効果音に合わせて振動することはありません。

お知らせ

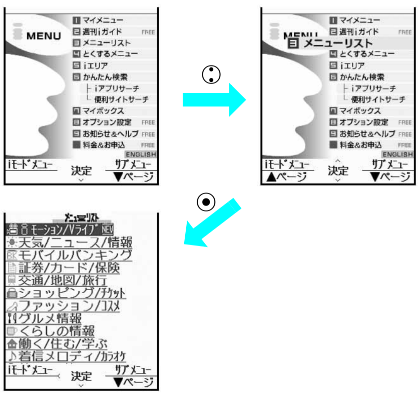
- Flash画像を再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには⦿を押します。（他のボタンでも再開できます。）
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。
- Flash画像によっては、画面メモとして保存しても、画像の一部が保存されないなど、ｉモードサイトなどの動作と異なる場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを［OFF］に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。お買い上げ時は、［利用する］に設定されています。（☞P.183）
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash画像の保存について：☞P.178の操作２～３

リンク先や項目を選択する

ｉモードサイトなどでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」といいます。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

リンクを選択して画面を移動する

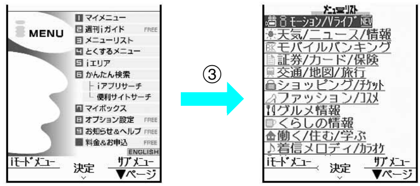


リンク先へ

- ⦿を押すと、次のリンクが反転され、⦿を押すと、前のリンクが反転表示されます。

番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する

選択できるリンクの先頭に［1］、［2］、［3］などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン（⓪～⑨、㊉、#）を押すと、移動できます。



リンク先へ

※一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

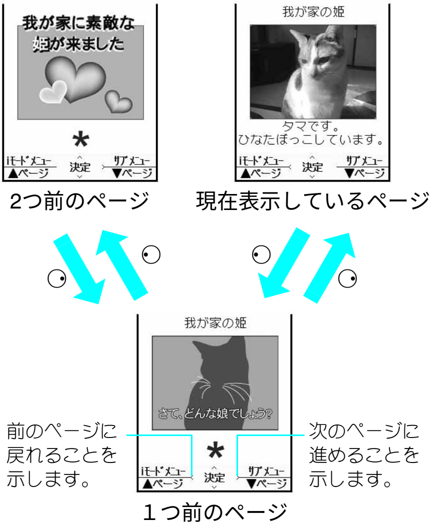
ｉモードサイトなどの項目選択や文字入力

ｉモードサイトなどでは、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	項目などの選択に使用します。１つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□：未選択状態 ☑：選択状態	項目などの選択に使用します。複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	項目などの選択に使用します。プルダウンメニューを選択すると、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。文字入力画面で、サブメニューから「バーコードリーダー」を利用してJANコード／QRコードの文字情報を読み取ってテキストボックスに入力できます。（メロディと画像は入力できません。文字情報として表示されます。また、テキストボックスに入力できない文字を読み取っても表示されません。）

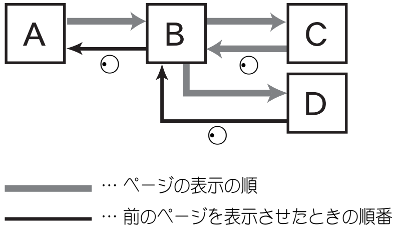
前のページに戻る／進む（キャッシュ、履歴について）

FOMA端末はｉモードサイトなどの画面と表示してきた経路を、最大10件記憶しています。これを「キャッシュ」といいます。通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを⊙を押して、前のページ／次のページの表示ができます。
Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。



- ⊙を押して前のページを表示したあとは、⊙を押して次のページを表示できます。
- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- 履歴に10件記憶されている状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- ⊙を押して前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたｉモードサイトなどのページを表示する場合は、ｉモードサイトなどからダウンロードして表示します。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- 履歴とキャッシュの情報は、ｉモードを終了するとリセットされます。
- ⊙を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で⊙を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から⊙を２回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉



情報を再読み込みする＜再読み込み＞

ｉモードサイトなどの情報が正常に受信できなかったとき（[ ]が表示されたとき）などに、もう一度そのｉモードサイトなどに接続して、情報をもう一度読み込むことができます。
- この操作はｉモードサイトなどの情報のダウンロードが完全に終わってから行ってください。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶◎▶①［再読み込み］

再読み込みを開始します。
- 再読み込みを中止するとき：接続中（[ ]点滅）▶⑧［中止］

お知らせ
- 再読み込みを行っても、ｉモードサイトなどの情報が正常に受信できない場合もあります。
- 画面メモ（☞P.177）は、再読み込みできません。

URLを参照する＜URL表示＞

表示中のｉモードサイトなどのURLを確認できます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。
URLは最大半角2048文字（http://などを含む）まで表示できます。
- 表示したURLを編集することはできません。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶◎▶⑦▶①［URL表示］

- 画面メモ（☞P.177）のURLを表示するとき：画面メモ一覧画面▶画面メモを選択▶◎▶④［URL表示］
- ブックマーク（☞P.175）のURLを表示するとき：ブックマーク一覧画面▶ブックマークを選択▶◎▶③［URL表示］

URLをコピー	◎［コピー］
画面を上下にスクロール	⊙（下）／⊙（上）

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

iモードサイトなどで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録できます。

1 iモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作1～3）▶電話番号やメールアドレスを選択▶ⓜ▶③▶④［電話帳登録］▶登録方法を選択

本体新規	FOMA端末（本体）電話帳に新規登録します。
FOMAカード新規	FOMAカード電話帳に新規登録します。
追加／上書	電話帳に追加／上書き登録します。

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.88）

お知らせ

- 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録できます。
- 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

マイメニュー

マイメニューに登録する

iMenuのメニューリストの中でよく利用するiモードサイトなどをマイメニューに登録すると、次回からそのiモードサイトなどに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。マイメニューに登録できないiモードサイトなどもあります。
- インターネットホームページは登録できません。簡単に接続するにはブックマークをご利用ください。（☞P.175）

マイメニューに登録する

1 登録したいiモードサイトを表示（☞P.168の操作1～3）▶マイメニュー登録用のメニュー（例：［1マイメニュー登録］）を選択▶⦿

2 ［iモードパスワード入力］の入力欄を選択▶⦿▶iモードパスワード（4桁の数字）を入力▶⦿

- 入力したパスワードは、［*］で表示されます。

3 ［決定］▶⦿

お知らせ

- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。
- 詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 待受画面▶ⓘ▶①［iMenu］▶①［マイメニュー］▶iモードサイトを選択▶⦿

お知らせ

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

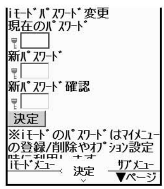
iモードパスワードを変更する

お買い上げ時 0000

マイメニューの登録／削除、メッセージR／FやiモードB有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、iモードパスワード（4桁の数字）が必要です。

- iモードパスワードの変更は、iモードをご契約後に可能となります。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを［0000］にリセットさせていただきます。

1 待受画面▶ⓘ▶①［iMenu］▶⑧▶②［iモードパスワード変更］



2 ［現在のパスワード］の入力欄を選択▶⦿▶現在のiモードパスワード（4桁の数字）を入力▶⦿

次ページへ続く

3 ［新パスワード］の入力欄を選択▶◉▶新しいｉモードパスワード（４桁の数字）を入力▶◉

4 ［新パスワード確認］の入力欄を選択▶◉▶もう一度新しいｉモードパスワード（４桁の数字）を入力▶◉

5 ［決定］▶◉

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス（URL:http://などで始まるアドレス）を入力して、接続できます。

- ｉモードに対応していないインターネットホームページや、情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。

1 待受画面▶ⓘ▶⑥▶③［URL入力］

URLの入力画面が表示されます。（「http://」が入力されています。）

以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。

- ｉモードサイトなどを表示中に他のホームページに接続するとき：ｉモードサイトなどを表示中▶ⓜ▶⑤▶②［URL入力］

2 URLを入力▶◉

- 最大半角512文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）
- 表示中の操作はｉモードサイトなどの場合と同様です。

バーコードリーダーでURLを読み取るとき（☞P.157）	URLの入力画面▶ⓜ▶⑥▶③［バーコードリーダー］
URLを間違えたとき	URLの入力画面▶Ⓒ 最後の一文字またはカーソルのあたっている文字が消えます。 ●すべての文字を消すときは、カーソルが最初の１文字、または最後の１文字の後にあるときにⒸを１秒以上押します。
接続を中止	接続中（［↯］点滅）▶ⓘ［中止］
接続を終了	⊝▶［はい］▶◉

お知らせ

- 文字が何も入力されていない状態でⒸを２回押すと、ｉモードメニューに戻ります。

お知らせ

- 受信したデータが、１ページの最大サイズを超えた場合、［最大サイズを超えたので中断しました］と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

インターネットホームページを正しい文字で表示し直す<文字コード変換>

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶ⓜ▶⑦▶③［文字コード変換］

- 正しく表示されないとき：同じ操作をくり返す

お知らせ

- 正しく表示されているときに文字コードを変換すると、正しく表示できなくなる場合があります。
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を４回くり返すと、元の表示に戻ります。
- 正しい文字で表示し直したあと、ページの更新、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

URL履歴を使ってページを表示する<URL履歴>

FOMA端末には、ｉモードメニューの［Internet］から接続したインターネットホームページの履歴を最大９件まで記憶しています。

この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続できます。

1 待受画面▶ⓘ▶⑥▶②［URL履歴］

関連操作
URL履歴を削除する<１件削除>
操作１▶ⓜ▶①［１件削除］▶［はい］▶◉ ● すべてのURL履歴を削除するとき：ⓜ▶②▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
URL履歴のURLをすべて表示する<URL表示>
操作１▶ⓜ▶③［URL表示］ ● URLをコピーするとき：URLが表示されている状態▶ⓜ［コピー］

2 URLを選択

接続中画面表示後、インターネットホームページが表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- URL履歴が９件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

iモードサイトなどを表示中に他のホームページに接続するとき

- ◎▶⑤▶①[URL履歴]を押すと、URL履歴一覧画面が表示されます。以降は操作２と同様です。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るiモードサイトなどのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます。(☞P.176)
- 画像やメロディが保存されているiモードサイトなどのURLをブックマークに登録したとき、iモードサイトなどによってはブックマークから表示できない場合もあります。

ブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録できます。

- １件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

1 iモードサイトなどを表示中(☞**P.168の操作１～３**)▶◎▶②▶①[**Bookmark登録**]

タイトルまたはURLの先頭から全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字(半角24文字)を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないときは、先頭から24文字のURLが登録されます。

すでにブックマークが100件登録されているとき	[Bookmarkがいっぱいです。他のBookmarkを上書きしますか？]▶[はい]▶⊙▶フォルダを選択▶⊙▶上書きするブックマークを選択
すでに同じURLが登録されているとき	[同じURLが登録されています。上書きしますか？]▶[はい]▶⊙ ● [いいえ]を選択すると、iモードサイトなどの表示画面に戻ります。
URLが長すぎるとき	[URLが長すぎて登録できません]と表示され、登録できません。

2 フォルダを選択▶⊙▶登録

登録	[OK]▶⊙
タイトルを変えて登録	[タイトル編集]▶⊙▶タイトルを編集▶⊙ ● 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
保存するフォルダを変更して登録	[フォルダ変更]▶⊙▶フォルダを選択▶⊙▶[OK]▶⊙

お知らせ

- iモードサイトなどで、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態でブックマークに登録しても、選択した項目や入力した文字はブックマークに登録されません。
- iモードサイトなどによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)に登録したブックマークをminiSDメモリーカードにコピーできます。(☞P.281)また、miniSDメモリーカードに保存されているブックマークを表示したり、FOMA端末(本体)にコピーできます。(☞P.283)
- miniSDメモリーカード内のブックマーク一覧画面では、ブックマークには[🔗]が表示されます。

赤外線通信について

- FOMA端末(本体)に登録したブックマークを赤外線通信で送信したり、赤外線通信でブックマークを受信できます。(☞P.292)

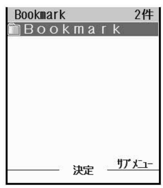
ブックマークに登録した内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード(☞P.278)やデータリンクソフト(☞P.379)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

1 待受画面▶⑧▶③[**Bookmark**]

- iモードサイトなどを表示中にブックマークを利用するとき：iモードサイトなどを表示中▶◎▶②▶②[Bookmark一覧]



Bookmark
フォルダ一覧画面

登録しているすべてのブックマーク一覧を表示	Bookmarkフォルダ一覧画面▶◎▶③[全Bookmark表示]
miniSDメモリーカード内のブックマークを利用	Bookmarkフォルダ一覧画面▶◎▶⑥[miniSDデータ参照] ● 再びFOMA端末(本体)のブックマークを利用するとき：Ⓒ(２回)

2 フォルダを選択▶⦿

関連操作
ブックマークのURLを確認する<URL表示>
操作２▶⦿でブックマークを選択▶◎▶③[URL表示]
ブックマークのURLをコピーする<URLコピー>
操作２▶⦿でブックマークを選択▶◎▶④[URLコピー]

3 ブックマークを選択

● 接続を中止するとき：接続中（[⇆]点滅）▶ⓒ[中止]

お知らせ

● Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
● コピーしたURLはメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。
貼り付け方法について：☞P.355

ブックマークを管理する

ブックマークを最大20個（[Bookmark]フォルダ含む）のフォルダに分けて管理できます。作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除できます。（ただし、あらかじめ登録されている[Bookmark]フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません。）

■削除について

フォルダは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	フォルダを１件ずつ削除します。
選択削除	複数のフォルダを選択し、まとめて削除します。
全削除（フォルダ残）	フォルダは残して、すべてのフォルダ内のブックマークを削除します。

ブックマークは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	ブックマークを１件ずつ削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。
選択削除	複数のブックマークを選択し、まとめて削除します。

関連操作

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶◎▶①▶①[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力▶⦿
● 「新しいフォルダ」名を削除するとき：ⓒ（１秒以上）

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶フォルダを選択▶◎▶①▶②[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶⦿
● フォルダ名を削除するとき：ⓒ（１秒以上）

関連操作

フォルダを削除する<削除>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶フォルダを選択▶◎▶②[削除]
2 ①[フォルダ１件削除]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶[はい]▶⦿
● 複数のフォルダを選択し、まとめて削除するとき：②[フォルダ選択削除]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶フォルダを選択⦿（くり返し可）▶◎[完了]▶[はい]▶⦿
● すべてのブックマークを削除するとき（フォルダ残）：③[全削除（フォルダ残）]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶[はい]▶⦿

別のフォルダに移動する<移動>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶フォルダを選択▶⦿▶ブックマークを選択▶◎▶⑤[移動]
2 ①[１件移動]▶フォルダを選択▶⦿
● フォルダ内のすべてのブックマークを移動するとき：②[フォルダ内全件移動]▶フォルダを選択▶⦿
● 複数のブックマークを選択し、まとめて移動するとき：③[選択移動]▶ブックマークを選択⦿（くり返し可）▶◎[完了]▶フォルダを選択▶⦿

ブックマークのタイトルを変更する<タイトル編集>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶フォルダを選択▶⦿▶ブックマークを選択▶◎▶①[タイトル編集]
2 タイトルを編集▶⦿
● タイトルを削除するとき：ⓒ（１秒以上）

ブックマークを削除する<削除>

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（☞P.175）▶フォルダを選択▶⦿▶ブックマークを選択▶◎▶②[削除]
2 ①[１件削除]
● フォルダ内のすべてのブックマークを削除するとき：②[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿
● 複数のブックマークを選択し、まとめて削除するとき：③[選択削除]▶ブックマークを選択⦿（くり返し可）▶◎[完了]
3 [はい]▶⦿
● 削除しないとき：[いいえ]▶⦿

お知らせ

フォルダ名について
● 最大全角９文字（半角18文字）まで入力できます。
ブックマークのタイトルの変更について
● 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなｉモードサイトなどの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。

- 画面メモ内の画像を、データBOXのマイピクチャに保存し直すと待受画面に設定することもできます。(☞P.178)
- 画面メモは最大400件まで保存できます。保存・登録できる最大件数はデータ量によって変わります。保存・登録した画面メモのデータ量が大きいときは、保存・登録できる最大件数は少なくなります。
- 保存できる容量分の保護設定ができます。保護された画面メモは、全件削除しても削除されません。

画面メモを保存する

1 ｉモードサイトなどを表示中(☞**P.168**の操作１～３)▶◎▶③▶①[画面メモ保存]

タイトルの全角12文字分(半角24文字分)までが登録されます。タイトルが設定されていないときは、[無題]と表示されます。

- 画面メモを登録するメモリの空き容量がない場合は、[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]と表示されます。
  [はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、保存確認の画面に進みます。また、登録する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きい場合、[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。
  [いいえ]を選択すると、ｉモードサイトなどの表示画面に戻ります。

2 保存：[**OK**]▶⦿

- タイトルを変えて保存するとき：[タイトル編集]▶⦿▶タイトルを編集▶⦿
  全角12文字(半角24文字)まで入力できます。
  タイトル編集後、ｉモードサイトなどの表示画面に戻ります。

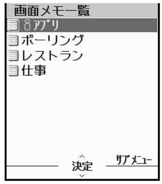
お知らせ

- 画像表示設定を[OFF]に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。
- ｉモードサイトなどで、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューで選択したり、テキストボックスに入力した状態で画面メモを保存しても、選択した項目や入力した文字は画面メモに保存されません。

画面メモを表示する

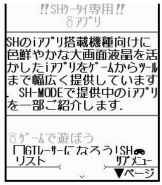
1 待受画面▶ⓘ▶⑤[画面メモ]

アイコン	説明
📄	通常の状態です。
📄(保護)	保護されています。
📄(制限)	FOMAカード動作制限(☞P.36)が設定されています。



画面メモ一覧画面

2 画面メモを選択▶⦿



画面メモ表示画面

操作	キー
画面を上下にスクロール	ⓖ(下)／ⓖ(上)
１画面単位でスクロール	ⓘ[▼ページ](下)／ⓜ[▲ページ](上)
前後の画面メモを表示	ⓖ(次)／ⓖ(前)
画面メモ一覧画面に戻る	ⓘ[リスト]

関連操作
画面メモのURLを確認する<URL表示>
操作２▶◎▶⑥▶①[URL表示] ● 画面メモ一覧画面から表示するとき：画面メモを選択▶◎▶④[URL表示] ● URLをコピーするとき：URLが表示されている状態▶◎[コピー]
画面メモの詳細な情報を確認する<情報表示>
操作２▶◎▶⑥▶②[情報表示] ● 画面メモ一覧画面から：画面メモを選択▶◎▶⑤[情報表示] ● 確認を終わるとき：⦿[確認]
画面メモ内の静止画をデータBOXのマイピクチャにダウンロードする<画像保存>
操作２▶◎▶④▶①[画像保存]
画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成する<メール作成>
操作２▶◎▶⑤▶①[メール作成]
画面メモ内の静止画を添付したｉモードメールを作成する<画像メール作成>
操作２▶◎▶⑤▶②[画像メール作成]▶画像を選択▶⦿▶①[URL貼り付け]／②[画像添付]

次ページへ続く

関連操作
画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
操作2▶◎▶④▶③[電話帳登録]
画面メモ内のFlash画像の効果音量を調節するとき<効果音設定>
操作2▶◎▶⑥▶⑥[効果音設定]▶(上げる)／(下げる)▶⦿
画面メモ内のFlash画像を再び再生する<リトライ>
操作2▶◎▶⑥▶⑤[リトライ]

お知らせ

- 画面メモに登録された情報は登録した時点の情報です。最新のｉモードサイトなどの情報と異なる場合があります。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
- 電話帳登録について：☞P.173「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」

画面メモを管理する

画面メモを保護／削除したり、タイトルを変更できます。画面メモの情報を表示することもできます。

■削除について

次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	画面メモを1件ずつ削除します。
全件削除	すべての画面メモを削除します。
選択削除	複数の画面メモを選択し、まとめて削除します。

関連操作

画面メモのタイトルを変更する<タイトル編集>

1 画面メモ一覧画面（☞P.177）▶画面メモを選択▶◎▶②[タイトル編集]
  - 画面メモ表示画面から：◎▶②[タイトル編集]

2 タイトルを編集▶⦿
  - タイトルを削除するとき：Ⓒ（1秒以上）

画面メモを保護する<保護設定>

1 画面メモ一覧画面（☞P.177）▶画面メモを選択▶◎▶③[保護設定]
  - 画面メモ表示画面から：◎▶③[保護]

2 ①[ON]

画面メモを削除する<削除>

1 画面メモ一覧画面（☞P.177）▶画面メモを選択▶◎▶①[削除]
  - 画面メモ表示画面から削除するとき：◎▶①[1件削除]▶[はい]▶⦿

2 ①[1件削除]▶[はい]▶⦿
  - すべての画面メモを削除するとき：②[全件削除]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⦿▶[はい]▶⦿
  - 複数の画面メモを選択し、まとめて削除するとき：③[選択削除]▶画面メモを選択⦿（くり返し可）▶◎[完了]▶[はい]▶⦿

お知らせ

画面メモのタイトルの変更について
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

ｉモードサイトなどやメッセージR／Fの画像やFlash画像、フレームやスタンプを取得して保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます。（☞P.111）また、デコメールのテンプレートを提供しているｉモードサイトなどからデコメールテンプレートをダウンロードし、メール作成に利用することもできます。

- 保存した画像はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]、[アイテム]または作成したフォルダに保存できます。画像の種別やサイズによって、保存先として選択できるフォルダが変わります。デコメールテンプレートはメールメニューの[テンプレート]に保存されます。（☞P.204）
- 画像の保存件数は、FOMA端末（本体）に保存する場合は最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- 保存できる画像の種類は、GIF画像（最大100Kバイト）、JPEG画像（最大100Kバイト）、SWF画像（Flash）（最大100Kバイト）です。

例：ｉモードサイトなどの場合

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞**P.168**の操作1～3）

2 ◎▶③▶②[画像保存]▶画像を選択▶⦿▶フォルダを選択▶⦿

画像が保存され、表示画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

関連操作

デコメールのテンプレートをダウンロードしてデコメールを作成する

1 操作1▶デコメールテンプレートを選択▶⦿

2 ②[保存]
  - プレビューするとき：①[プレビュー]
  - 保存しないとき：④[戻る]

3 ③[メール作成]▶メール作成

サイトや画面メモの背景画像を保存する<背景画像保存>

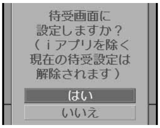
操作1▶◎▶③▶③[背景画像保存]▶フォルダを選択▶⦿
- 画面メモのとき：画面メモ表示画面▶◎▶④▶②[背景画像保存]▶フォルダを選択▶⦿

3 [はい]▶⦿▶設定先の画面を選択

- 画面設定しないとき：[いいえ]▶⦿
- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目はグレーで表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

- 待受画面に設定するときは、右の画面が表示されます。[はい]を選択し、⦿を押します。



お知らせ

- 保存したFlash画像は、ｉモードサイトなどの動作と異なる場合があります。
- ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。
- ｉモードサイトなどやメッセージR／F、ｉモードメールから画像を取得する場合は、メモリマークにご注意ください。メモリマークが表示されているときに、画像を取得すると上書き保存される場合があります。
  あらかじめ、データBOXの不要な画像を削除して、メモリマークの表示を消すことをおすすめします。（画面メモ保存はできます。）

Ⓜ（黄色）	メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
Ⓜ（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

デコメールテンプレートについて
- テンプレートはメールメニューの[テンプレート]に保存されます。
- テンプレートを保存しないと、メール作成を選択できません。
- メモリの空き容量がない場合は、テンプレートを保存できません。不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.287）

ｉメロディ

サイトからｉメロディをダウンロードする

ｉモードサイトなどからメロディをダウンロードして保存できます。
保存したメロディは着信音に設定したり、ｉモードメールに添付したりできます。
- ｉメロディは最大500件まで保存できます。メロディのサイズによって、保存できる件数が変わります。
- 保存できるメロディの種類は、SMF（最大100Kバイト）とMFi（最大100Kバイト）です。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞**P.168**の操作１〜３）▶メロディを選択▶⦿
- ダウンロードを中止するとき：ダウンロード中▶⦿／Ⓒ

2 保存：②

メロディを再生	① ● 再生を中止するとき：⦿／Ⓒ 音声電話着信音（☞P.106）の音量で再生されます。 音声電話着信音が[サイレント]、[ステップトーン]のときは、[音量１]で再生されます。 ● マナーモードを設定しているときは、確認画面が表示されます。[はい]を選択し、⦿を押します。
保存しない	③
すでにメロディが500件保存されているとき	上書きするメロディのメロディマークを選択▶⦿▶[はい]▶⦿

お知らせ

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカードを利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。（メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません。）

アイコン一括ダウンロード

サイトからアイコンを一括でダウンロードする

ｉアプリのソフト実行中に、TOPメニュー用のアイコン画像９個と背景画像１枚を一括してｉモードサイトなどからダウンロードし、保存できます。保存した画像はテーマ設定（☞P.119）で利用できます。
- アイコン・背景画像の一括ダウンロードに対応したソフトは、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

1 アイコン一括ダウンロードに対応したｉアプリのソフト実行中▶アイコン一括画像を選択▶⦿

2 保存：[はい]▶⦿▶フォルダを選択
- 保存しないとき：[いいえ]▶⦿
- 画像を確認するとき：[画像確認]▶⦿
- 確認を終わるとき：⦿[確認]

ｉモード／ｉモーション　ｉメロディ

ダウンロード辞書

サイトから辞書をダウンロードする

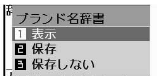
iモードサイトなどからダウンロード辞書をダウンロードし、FOMA端末に登録して利用できます。

- ダウンロード辞書ファイルは最大10件まで登録できます。（ただし、使用できる辞書は最大５件です。）
- 保存できるダウンロード辞書のファイルサイズは、最大６Kバイトです。
- FOMA端末で利用できるダウンロード辞書は、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。
  ［i Menu］▶［メニューリスト］▶［ケータイ電話メーカー］▶［SH-MODE］

サイト接続用QRコード

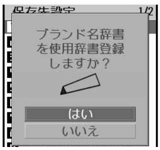
1 iモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶ダウンロード辞書を選択▶◉

ダウンロードが終了すると、［完了しました］と表示されます。



2 保存：②▶登録先番号を選択

- すでに登録されている番号を選択したときは、上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。［はい］を選択し、◉を押します。
- ダウンロード辞書を表示するとき：①
- ダウンロード辞書を保存しないとき：③



3 辞書の使用を設定：［はい］▶◉

- ダウンロード辞書を使用しないとき：［いいえ］▶◉
- すでに使用辞書設定に５件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除してから、やり直してください。
  解除方法について：☞P.357「使用辞書を設定／解除する」の操作１～２

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードする

iモードサイトなどからキャラ電をダウンロードし、FOMA端末に保存できます。

- ダウンロードできるキャラ電は最大100Kバイトです。
- キャラ電は最大50件まで保存できます。（メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。）
- ダウンロードしたキャラ電は、データBOXのキャラ電の［iモード］フォルダに保存されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。
  ［i Menu］▶［メニューリスト］▶［ケータイ電話メーカー］▶［SH-MODE］

サイト接続用QRコード

1 iモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶キャラ電を選択▶◉

2 保存：②

- データを表示するとき：①
- データを保存しないとき：③

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

iモードサイトなどやメッセージR／Fやメール内で反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示できます。

- パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。
- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。

Phone To（AV Phone To）機能を使う

iモードサイトなどやメッセージR／Fやメールの中に表示されている電話番号に、音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- ダイヤル発信制限中は、Phone To（AV Phone To）機能を使って電話をかけることはできません。

1 iモードサイトなどやメッセージR／F、メール表示中▶電話番号を選択▶◉▶［はい］▶◉

発信する電話番号が表示されます。

- 登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

2 電話をかける：①／◉（音声電話）

- テレビ電話をかけるとき：⑥［テレビ電話］

お知らせ

- ｉモードサイトなどの場合、電話番号自体は表示されず、[電話番号はこちら]などの文字が反転表示されることがあります。
- メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To(AV Phone To)機能を利用できます。
  - ■「０」または「+」(半角)で始まる「０」と「＋」(半角)を含めて10～26桁の数字列
  - ■「#」または「¥」で始まる「#」と「¥」を含めて５～26桁の数字列
  - ■「tel:」または「TEL:」で始まる３～26桁の数字列
  - ■「tel-av:」または「TEL-AV:」で始まる３～26桁の数字列(テレビ電話)
  - ※ 上記の数字列内に「-」(ハイフン)、「.」(ドット)、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます。(ただし、これらの記号が連続した場合は、連続した記号の前までが、電話番号として認識されます。)

Mail To機能を使う

ｉモードサイトなどやメッセージR／Fやメール内に表示されているメールアドレスに、ｉモードメールを送ることができます。

- メールアドレスが２つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択した場合は、50文字で削除されます。

1 ｉモードサイトなどやメッセージR／F、メール表示中▶メールアドレスを選択▶⦿

メール作成画面が表示され、選択したメールアドレスが入力されています。

- ｉモードサイトなどから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

2 ｉモードメールを作成▶送信

- 詳しくは：☞P.199の操作２～４

お知らせ

- ｉモードサイトなどの場合、メールアドレス自体は表示されず、[メールはこちら]などの文字が反転表示されることがあります。

画像メールを作成する

ｉモードサイトなどで表示されている画像のURLを貼り付けた、ｉモードメールを作成します。

- 画像を添付したｉモードメールを作成することもできます。

1 ｉモードサイトなどを表示中(☞P.168の操作１～３)▶◎▶④▶②[画像メール作成]

2 画像を選択▶⦿▶メールの作成方法を選択

- 複数の画像があるとき：画像を選択▶⦿



URLを貼り付けたｉモードメールを作成	①[URL貼り付け]
画像を添付したｉモードメールを作成	②[画像添付]▶⦿[確認]

3 ｉモードメールを作成▶送信

- 詳しくは：☞P.199の操作２～４

お知らせ

- 送信できるのは、GIF形式またはJPEG形式の画像ファイルです。Flash画像は送信できません。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

ｉアプリTo機能を使う

ｉモードサイトなどやメール、画面メモの中に表示されているURLから、ｉアプリを起動します。

- ｉアプリTo設定が[許可する]に設定されているときに、ｉアプリを起動できます。
- URLが半角512文字を超える場合は、ｉアプリを起動できません。

1 ｉモードサイトなどやメールや画面メモ表示中▶ｉアプリのアドレス(URL)を選択▶⦿▶[はい]▶⦿

Web To機能を使う

ｉモードサイトなどやメッセージR／F、メール内に表示されているURLからｉモード接続でインターネットホームページを表示できます。

- メール本文に静止画のURLが記載されているときは、静止画を取得後保存することもできます。
- メール本文にｉモーションのURLが記載されているときは、ｉモーションを取得することができます。
- URLが半角2048文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。

1 ｉモードサイトなどやメッセージR／F、メール表示中▶アドレス(URL)を選択▶⦿

- メール本文のURLを選択したときは、このあと⑧[はい]を押します。
- 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。(☞P.168)

関連操作
メール本文のURLから静止画を保存する<画像保存>
URL▶◉▶⑧[はい]▶◎▶③▶②[画像保存]▶◉▶フォルダを選択▶◉

お知らせ

- ｉモードサイトなどの場合、URL自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。

画像保存について

- 保存した静止画は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存できます。

ｉモードの設定を行う

ｉモード接続に関する各種の機能を設定します。

Flash画像の効果音量を調節する<効果音設定>

お買い上げ時　音量５

Flash画像の効果音量を設定できます。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶◎▶⑦▶⑤[効果音設定]

- 待受画面から操作するとき：⑧▶⑦▶③▶⑦[効果音設定]

2 ◌(上げる)／◌(下げる)で調節▶◉

- 効果音を鳴らさないとき：[サイレント]▶◉

お知らせ

- マナーモード設定中は、効果音を設定しても効果音は鳴りません。
- Flashによっては効果音の鳴らないものもあります。

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時　60秒間

ｉモードサイトなどが混み合っていてデータの送受信ができなかったときに、自動的にデータの送受信を中止するまでの時間を[60秒間]、[90秒間]、[無制限（設定なし）]のいずれかに設定できます。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶①▶①[接続待ち時間設定]▶接続待ち時間を選択

- [無制限（設定なし）]を選択した場合は、ｉモードセンターとの切断時間を設定しません。（ただし、電波状況などにより切断される場合があります。）

お知らせ

- 設定されている接続待ち時間が経過した場合、[設定時間内に接続できませんでした]と表示され、元の画面に戻ります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）<ｉモード接続先選択>

お買い上げ時　ｉモード（FOMAカード）

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

※ ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

- ドコモ以外の接続先を選択した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるｉモードサイトなどによっては、お客様が実際に閲覧されるｉモードサイトなどを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。
- FOMA端末に登録できる接続先は、最大10件です。（「ｉモード（FOMAカード）」を含まず）
- 「ｉモード（FOMAカード）」以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

接続先を登録する

最大10件（「ｉモード（FOMAカード）」を含まず）まで登録できます。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶①▶②[接続先選択]

関連操作
登録内容をリセットする<リセット>
操作１▶接続先の番号を選択▶③[リセット]▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 登録する番号を選択▶②［編集］

3 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉

4 接続先名称を入力▶◉

新規登録のときは［接続先○］と表示されます。（○には操作2で選択した接続先の番号が表示されます。）

- 表示されている接続先名称を消すとき：Ⓒ（1秒以上）
- 最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

5 接続先番号を入力▶◉

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力▶◉

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

7 接続先アドレス2（iチャネルの接続先アドレス）を入力▶◉

- 半角英数字と記号を、最大半角30文字まで入力できます。

お知らせ

- 現在設定されている接続先をリセットすると、接続先は「iモード（FOMAカード）」になります。

接続先を変更する

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶①▶②［接続先選択］

2 接続先の番号を選択▶①［設定］

- ［iモード（FOMAカード）］を選択し、◉を押した場合は、［iモード（FOMAカード）を選択しました］と表示され、接続先が変更されます。

お知らせ

- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する <端末情報データ利用設定>

お買い上げ時　利用する

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶⑥［端末情報データ利用設定］▶①［利用する］

画像を表示しないようにする <画像表示設定>

お買い上げ時　ON（表示する）

iモードサイトなどやメッセージR／F本文内の画像や画面メモの静止画を表示しないように設定できます。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶①［画像表示設定］▶②［OFF］

- iモードサイトなどを表示中に操作するとき：Ⓜ▶⑦▶⑥［画像表示設定］
- 表示するときは：①［ON］

お知らせ

- 画像表示設定を、［OFF］に設定すると、静止画の表示位置に［▣］が表示されます。
この場合、表示されている静止画を画面メモに登録しても、静止画は保存されません。（☞P.177）
- 画像表示設定を、［OFF］に設定すると、Flash画像も表示されません。
- iモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を［OFF］に設定していても表示されます。

iモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す <iモード設定リセット>

リセットされる項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

設定項目		お買い上げ時の設定
共通設定	接続待ち時間設定	60秒間
	接続先選択	iモード（FOMAカード）

次ページへ続く▶▶

設定項目			お買い上げ時の設定
Internet設定	画像表示設定		ON
	文字サイズ設定		標準
	証明書設定		ドコモ証明書1～2、ユーザ証明書、CA証明書すべて有効
	iモーション自動再生設定		する
	セキュア通信サービス設定	センター接続先設定	ドコモ
	端末情報データ利用設定		利用する
	効果音設定		音量5

1 待受画面▶⑧▶⑦▶④[iモード設定リセット]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉

2 [はい]▶◉

メッセージR/F

メッセージR/Fとは

メッセージサービスを提供するiモードサイトなどに申し込みいただくことにより、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR(リクエスト)とメッセージF(フリー)があります。

メッセージR(メッセージリクエスト)	メッセージサービスを提供するiモードサイトなどでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF(メッセージフリー)	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

- メッセージR/Fの受信方法はP.184「メッセージR/Fを受信したときは」を参照してください。
- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メッセージR/Fはiモードセンターに保管されます。

メッセージF(メッセージフリー)の設定方法

待受画面▶⑧▶①[i **Menu**]▶[8オプション設定]▶[3メッセージ**F**設定]▶[受信する]▶iモードパスワード(4桁の数字)を入力▶[決定]

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

FOMA端末がiモード圏内にあるときは、iモードセンターからメッセージR/Fを自動的に受信します。

- メッセージR/Fは、それぞれ最大50件までFOMA端末に保存できます。(メッセージのサイズによって、保存できる件数が変わります。)
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR/Fは、iモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ 保護や未読のメッセージR/Fがいっぱいで空き容量がないとき

お知らせ

マークの意味

マーク	意　味
R/F	未読メッセージR/Fがあります。 メッセージR/Fの確認について:☞P.186
R/F	FOMA端末の受信メッセージR/Fがいっぱいです。 未読メッセージの確認(☞P.186)、メッセージR/Fの保護解除(☞P.187)、不要なメッセージR/Fの削除(☞P.187)を行ってください。
R/F	センターでメッセージR/Fをお預かりしています。 メッセージR/Fを受信したいときは、iモード問い合わせ(☞P.185)を行ってください。
R/F	センターでお預かりしているメッセージR/Fがいっぱいです。 iモード問い合わせ(☞P.185)を行ってください。

RRRR:リクエスト、FFFF:フリーの意味です。

- メッセージR/Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR/Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR/Fを保護できます。(☞P.187)
- iモードセンターでメッセージR/Fが保存されていても、[R]/[F]、[R]/[F]が表示されない場合があります。
- [R]/[F]が表示された場合、iモードセンターのメッセージR/Fが上書きされることがあります。
- 通話中、iアプリ実行中、カメラ起動中にメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。

- ただし、メッセージ自動表示設定を［自動表示なし］に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。
- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定できます。

1 メッセージR／Fが届くと自動的に受信する

- メッセージR受信中は［R］が、メッセージF受信中は［F］が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります。（［R］／［F］表示）

すぐにメッセージR／Fの内容を確認	受信結果画面▶［メッセージR］／［メッセージF］▶◉▶メッセージR／Fを選択▶◉
着信音を止める	Ⓔ／⊖ ●着信音が止まり、受信結果画面が消えます。○を押すと、受信結果画面のまま着信音が止まります。

2 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る（自動表示するように設定している場合）

- メッセージR／Fの表示を続けるときは、メッセージR／Fを表示中に○を押して、スクロールなどの操作を行います。

メッセージR／Fを自動的に表示する<メッセージ自動表示設定>

お買い上げ時　メッセージR優先

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶⑦［メッセージ自動表示設定］▶表示方法を選択

メッセージR優先	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージF優先	未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージRのみ	未読のメッセージRのみ自動表示します。
メッセージFのみ	未読のメッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし	自動表示しません。

お知らせ

- 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
  - ■ 受信結果画面から待受画面に戻るとき
- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
  - ■ オールロック中　■ メールのPIMロック中

iモード問い合わせ

メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなど（☞P.184）に送られてきたメッセージR／Fはiモードセンターに保管されています。メッセージR／Fがiモードセンターに保管されているかどうかを問い合わせ、保管されている場合は受信します。

- iモード問い合わせを行う種類（iモードメール、メッセージR／F）を設定できます。（☞P.224）
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときも、iモード問い合わせを行うと、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせを行うように設定されています。
- SMSの問い合わせについて：☞P.232

1 待受画面▶✉（２回）

- iモード問い合わせ設定（☞P.224）の設定に従い、［iモードメール］▶［メッセージR］▶［メッセージF］の順でiモード問い合わせを行います。（問い合わせをしているマーク（［✉］、［R］、［F］）が順次表示されます。）
- 受信を中止するとき：受信中▶◉
- 受信を中止したメッセージR／Fは、iモードセンターに保管されます。（［R］／［F］表示）
- 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

2 新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る

iモード問い合わせが終了します。

- iモードセンターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が［０］と表示されます。
- iモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fの着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるとき：Ⓔ（他のボタンでも止めることができます。）（☞P.209）

3 受信結果画面▶［メッセージR］／［メッセージF］▶◉

- すぐに表示しないときは、受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に待受画面に戻ります。
- iモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

次ページへ続く

4 表示したいメッセージR／Fを選択▶●

メッセージR／F表示

メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

1 待受画面▶⑧▶②［メッセージ］▶メッセージR／Fを選択

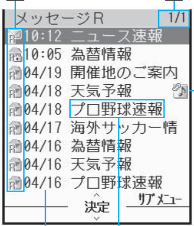
メッセージＲを表示	①▶メッセージＲを選択▶●
メッセージＦを表示	②▶メッセージＦを選択▶●

お知らせ

- 画像が正しく読み込めなかったときは、再読み込みしてください。
- 本文に挿入された画像については、画像を読み込まないように設定することもできます。（☞P.183）

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

メッセージ一覧画面の見かた



1 未読／保護マーク

- ［アイコン］：未読メッセージR／Fを表しています。
- ［アイコン］：保護されていない既読メッセージR／Fを表しています。
- ［アイコン］：保護されている既読メッセージR／Fを表しています。

2 メッセージR／F一覧画面のページ番号／総ページ数

3 メロディ／画像の有無

メロディ／画像が添付されているメッセージには、［ ］／［ (青色)］または［ (青色)］が表示されます。

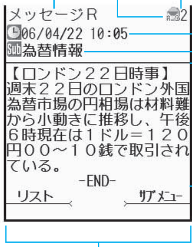
4 題名

メッセージR／Fの題名が表示されます。

5 受信日時

当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

メッセージ表示画面の見かた



1 メッセージの種別

2 保護マーク

保護されているときに表示されます。
（メッセージFでは［ ］が表示されます。）

3 メッセージ番号

4 受信日時

5 題名

6 本文

文末には［-END-］が表示されます。

7 画面操作

画面を上下にスクロール	(下)／(上)
１画面単位でスクロール	(下)／(上)
前後のメッセージ内容を表示	(次)／(前)

- メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の上の行に［ ］とメロディのタイトルが表示されます。
- メロディ自動再生を［ON］に設定しているときは、メロディが自動演奏されます。
- メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の上に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

関連操作
メッセージR／F内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>
メッセージ表示画面▶◎▶⑥［電話帳登録］

お知らせ

- 以降の操作について：☞P.173「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>」

メッセージR／F内の画像を再読み込みする

メッセージR／Fに含まれる画像が正常に受信できなかったとき（［ ］が表示されたとき）、再びｉモードセンターに接続して、再度読み込みをすることができます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.186）▶メッセージR／Fを選択▶⊙▶◎▶①［再読み込み］

- 再読み込みを中止するとき：接続中（［↯］点滅）▶ⓢ［中止］

お知らせ

- 再読み込みを行っても、画像が正常に受信できない場合もあります。

添付ファイルを確認・保存する ＜添付ファイル確認＞

メッセージR／Fに添付されている画像やメロディファイルを、確認・保存することができます。画像はデータBOXのマイピクチャの［ｉモード］、メロディはデータBOXのメロディの［ｉモード］フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.186）▶メッセージR／Fを選択▶⊙▶◎▶③［添付ファイル確認］

2 添付ファイルを選択▶確認

添付ファイルを確認	⊙［確認］
添付ファイルを保存	ⓢ［保存］▶［はい］▶⊙

挿入された画像を確認・保存する ＜本文中画像確認＞

メッセージR／Fの本文に挿入されているGIF画像、JPEG画像を確認・保存することができます。

- 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存されます。

1 メッセージ一覧画面（☞P.186）▶メッセージR／Fを選択▶⊙▶◎▶④［本文中画像確認］

2 画像を選択▶確認

画像を確認	⊙［確認］
画像を保存	ⓢ［保存］▶［はい］▶⊙

お知らせ

- 添付された画像については、「添付ファイルを確認・保存する＜添付ファイル確認＞」で確認・保存を行ってください。

メッセージR／Fを管理する

メッセージR／Fを上書きできないように保護したり、削除できます。

保護について

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除できます。保護すると上書きできません。

- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護できます。（ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）

削除について

メッセージR／Fは、次のいずれかの方法で削除できます。

１件削除	メッセージR／Fを１件ずつ削除します。
全件削除	保護されていないすべての既読メッセージR／Fを削除します。
選択削除	複数のメッセージR／Fを選択し、まとめて削除します。

関連操作

メッセージR／Fを保護する＜保護＞

1 メッセージ一覧画面（☞P.186）▶メッセージR／Fを選択▶◎▶①［保護設定］
- メッセージ表示画面から保護するとき：メッセージ表示画面（☞P.186）▶◎▶②［保護設定］

2 ①［ON］

メッセージR／Fを削除する＜削除＞

1 メッセージ一覧画面（☞P.186）▶メッセージR／Fを選択▶◎▶②［削除］
- メッセージ表示画面から削除するとき：メッセージ表示画面（☞P.186）▶◎▶⑤［１件削除］▶［はい］▶⊙

2 ①［１件削除］▶［はい］▶⊙
- 複数のメッセージR／Fを選択し、まとめて削除するとき：②［選択削除］▶メッセージR／F選択⊙（くり返し可）▶◎［確定］▶［はい］▶⊙
- すべてのメッセージR／Fを削除するとき：③［全件削除］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙

SSL証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する＜CA証明書設定＞

お買い上げ時　すべて有効

SSLページを表示する際は以下の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時は、FOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のメニューを選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示できます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できません。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶③［証明書設定］▶証明書を選択▶◎［有効／無効］

有効な証明書には［☑］が、無効な証明書には［☐］が表示されます。有効／無効が切り替わります。

- 証明書の内容を表示するとき：証明書を選択▶◉［表示］

FirstPassの設定を行う＜ユーザ証明書操作＞

FirstPass対応のｉモードサイトなどに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を要求したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色）に保存され、クライアント認証に対応しているｉモードサイトなどで利用できます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではご利用になれません。（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランにかかわらずご利用いただけます。）
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定をしてください。（☞P.45）
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンター接続中は、メールの送受信やメッセージR／Fの受信はできません。

お知らせ

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。（☞P.128）
  PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- ｉモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、パケ・ホーダイに含まれます。

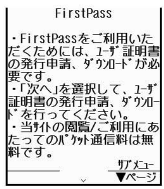
クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバー認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証をうけることで、より安全に通信サービスを受けられます。

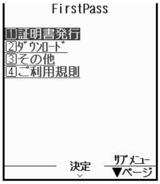
FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶⑤▶①［ユーザ証明書操作］



2 [次へ]▶●



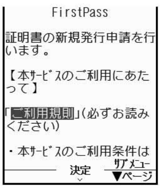
お知らせ

- FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、[ご利用規則]を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ■ テレビ電話（音声電話は利用可）
  - ■ ｉモードメールの送受信（SMSの受信は利用可）
  - ■ ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - ■ メッセージR／Fの受信
  - ■ ｉモーションの取得
  - ■ Web To機能

■ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前に必ずユーザ証明書の発行を申請し、ユーザ証明書をダウンロードします。

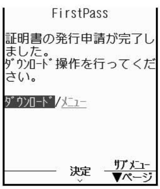
1 FirstPassセンターに接続（P.188「■FirstPassセンターに接続する」の操作１～２）▶[証明書発行]▶●



2 [実行]▶●

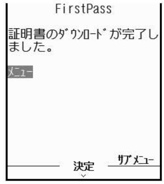
3 PIN2コード（４～８桁の数字）を入力▶●

- PIN2コードについて：☞P.128



4 [ダウンロード]▶●▶[実行]▶●

- 終了するとき：⊖▶[はい]▶●



お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

■ユーザ認証でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のｉモードサイトなどに接続します。

1 ｉモードサイトなどに接続▶SSL対応のサイトを表示（☞P.168の操作１～３）

- ユーザ証明書が必要なｉモードサイトなどでは、送信確認画面が表示されます。
- ｉモードサイトなどを表示中にサーバー証明書を参照するとき：◎▶⑦▶②[証明書参照]

2 [はい]▶●▶PIN2コード（４～８桁の数字）を入力▶●

認証が成功すると、SSL対応のｉモードサイトなどが表示されます。

- PIN2コードについて：☞P.128

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のｉモードサイトなどに接続した場合、[ユーザ証明書がありません　継続しますか？]と表示されます。[いいえ]を選択するとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、[ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？]と表示されます。[NO]を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターに接続（「FirstPassセンターに接続する」の操作1～2）▶［その他］▶⦿▶［証明書失効］▶⦿

2 ［はい］▶⦿▶PIN2コード（4～8桁の数字）を入力▶⦿

- PIN2コードについて：☞P.128

3 ［実行］▶⦿▶［次へ］▶⦿

失効申請確認の画面が表示されます。

4 ［実行］▶⦿

［証明書の失効申請が完了しました。］と表示されます。

- 終了するとき：⊖▶［はい］▶⦿

お知らせ

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法について：☞P.188

証明書発行接続先を変更する
<センター接続先設定>

お買い上げ時　ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶⑤▶②［センター接続先設定］



2 ②［接続先］

- 接続先をドコモにするとき：①

3 ②［編集］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⦿

- リセットするとき：③［リセット］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⦿（お買い上げ時の設定に戻ります。）

4 接続先情報を入力▶⦿

- 半角英数字と記号を、最大半角99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力▶⦿

- 半角英数字と記号を、最大半角100文字まで入力できます。

iモーション

iモーションとは

iモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。iモードサイトなどから、FOMA端末に取得することができます。取得したiモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。iモーション対応サイトは、i Menuのメニューリストから探すこともできます。

- FOMA端末は、標準タイプ（最大500Kバイト）のiモーションに対応しています。ストリーミングタイプのiモーションには対応していません。
- 標準タイプのiモーションには次の2つのタイプがあります。
  - ■ 取得したあとで再生するタイプ
  - ■ 取得しながら再生可能なタイプ

  iモーションによっては、保存できないものがあります。
- iモーションは最大100件まで保存できます。（iモーションのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

着信音・着信画面の組み合わせ

着信音・着信画面にｉモーションを設定した場合の組み合わせと動作は次のとおりです。

設定した着信音の種類	設定した着信画面の種類	着信したときに動作する着信音と着信画面の種類
メロディ	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：　メロディ 着信画像：設定した着信画像※
映像と音声を含むｉモーション	JPEG画像、GIF画像、ｉモーション（音＋映像）、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：　映像と音声を含むｉモーション 着信画像：映像と音声を含むｉモーション
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）	JPEG画像、GIF画像	着信音：　音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション） 着信画像：設定した着信画像
	音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：　音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション） 着信画像：お買い上げ時に設定されている画像
着信音量サイレント	JPEG画像、GIF画像、音声のないｉモーション、Flash画像	着信音：　サイレント 着信画像：設定した着信画像※

※Flash画像の効果音は再生されません。

お知らせ

- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は着信画像に設定できません。
- 音声のないｉモーションは着信音に設定できません。
- 着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信画像もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、着信画像は変更されず、設定した画像が表示されます。
- 着信画像に映像と音声を含むｉモーションを設定した場合は、着信音もそのｉモーションに自動的に変更されます。ただし、映像のみのｉモーションの場合は、次の優先順位に設定した着信音が再生されます。
- 着信音は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音の優先順位で鳴ります。
- 設定した画像は、電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定の優先順位で表示されます。いずれも設定していない場合は、お買い上げ時に設定されている画像が表示されます。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信音にメロディ、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると着信画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は［着信音１］に戻ります。
- テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定していた場合、着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ｉモーション取得

サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得し再生する

ｉモードサイトなどからｉモーションを取得して再生します。

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶ｉモーションを選択▶⊙

ｉモーション自動再生設定を［する］に設定しているとき	ｉモーションを取得し、準備ができたら再生します。
ｉモーション自動再生設定を［しない］に設定しているとき	再生・保存などの選択画面が表示されます。①［再生］を押すと再生し、②［保存］を押すと保存し、③［情報表示］を押すと情報が表示されます。 ● ｉモーションが保存されていない場合に④［戻る］を押すと［このｉモーションを保存しますか？］と表示されます。［はい］を選んで⊙を押すと保存されます。

- 取得を中止するとき：取得中▶Ⓒ／⊙
- 再生を中止するとき：Ⓜ［停止］
- 再生中に一時停止するとき：⊙［ポーズ］

お知らせ

- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものもあります。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。

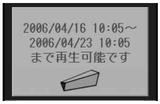
次ページへ続く

お知らせ

- ｉモーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションは、再生できません。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは着モーション(☞P.104)、待受画面(☞P.111)に設定できます。(設定できないｉモーションもあります。)

再生期間が設定されたｉモーション

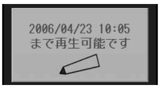
再生期間が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。



- 再生期間前には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生期限が設定されたｉモーション

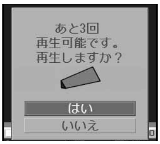
再生期限が設定されているｉモーションを取得して再生しようとすると、右の画面が表示されます。



- 再生期限が過ぎているｉモーションを取得しようとしたときは、[再生制限データに誤りがあるため、取得できません]と表示されます。

再生回数が設定されたｉモーション

再生回数が設定されているｉモーションを取得し、FOMA端末(本体)に保存してから再生しようとすると、右の画面が表示されます。



- 再生回数が０回のｉモーションを取得しようとしたときは、[このデータは保存できません。取得しますか？]と表示されます。取得するときは、[はい]を選択し、⦿を押します。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションを保存しておくことができます。

- ｉモーションはデータBOXのｉモーションの[ｉモード]フォルダへ保存されます。

1 取得したｉモーションの再生／停止(一時停止)中▶◎▶①[保存]

お知らせ

- 保存したｉモーションは、ビデオプレーヤで再生できます。

お知らせ

- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

ｉモーション再生中のテロップにリンクが設定されていた場合、Phone To(AV Phone To)機能、Mail To機能、Web To機能を利用できることがあります。また、表示される電話番号、メールアドレスは電話帳に登録できます。

1 取得したｉモーションを再生後、ダイヤル発信画面(**Phone To**(**AV Phone To**)の場合)、メール作成画面(**Mail To**の場合)、サイト接続画面(**Web To**の場合)が表示

2 操作を選択▶⦿

- 以降の操作について:☞P.180～P.182
- 戻るとき:Ⓒ

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションの詳細情報を表示できます。

1 取得したｉモーションの再生／停止(一時停止)中▶◎▶③[情報表示]

- データBOXからｉモーションを再生したとき:◎▶④[情報表示]
- 確認を終わるとき:⦿[確認]

ｉモーション自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時　する

ｉモーションを取得した際に、自動再生するかどうかを設定できます。

1 待受画面▶⑧▶⑦▶③▶④[ｉモーション自動再生設定]▶①[する]

お知らせ

- 自動再生を[する]に設定しても、ｉモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を[しない]に設定すると、ｉモーションの取得完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

メール

FOMA端末のメール機能について

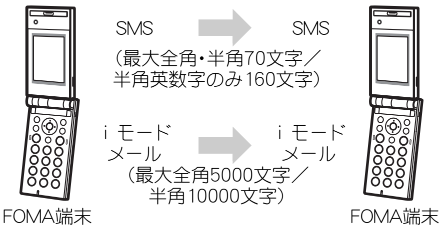
● FOMA端末はｉモードメールとSMS（ショートメッセージ）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
ｉモードメールの送信、受信方法について：☞P.198、P.208

● ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について：☞P.230、P.232

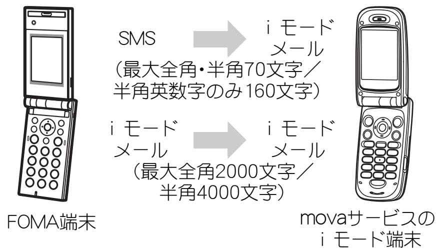
メール機能の送受信について

３種類のメール機能で送受信できる相手は次のとおりです。

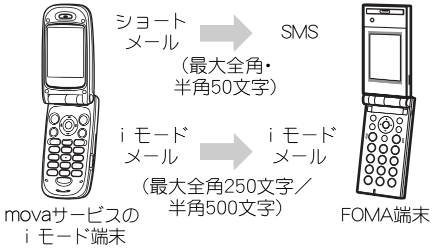
● FOMA端末→FOMA端末へ



● FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ
FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。
※「SMS送達通知設定」（☞P.233）を設定されている場合には、movaへ送ることはできません。



● movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ
movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。



※ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

お知らせ

● ｉモードメールやSMSの内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカードやデータリンクソフトをご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

ｉモードメール

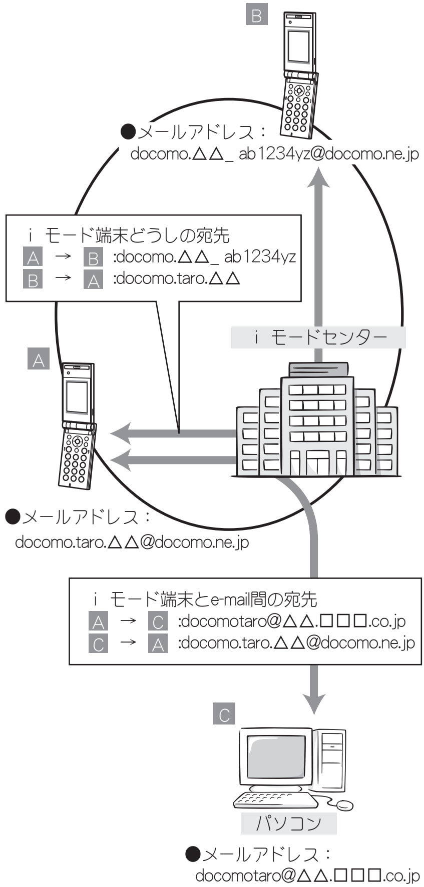
ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合 @マークの前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。 例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp 〈お客様のメールアドレスの確認方法〉 ［ｉMenu］▶［8オプション設定］▶［1メール設定］▶［アドレス確認］

● ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
● パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）



- メールの送信方法は☞P.198
- メールの受信方法は☞P.208

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☞P.209

■メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

〈設定方法〉
[ｉMenu]▶[🅄オプション設定]▶[1メール設定]▶各設定

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メールアドレス変更（アドレス変更）

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

シークレットコード登録（メールアドレス設定<その他設定>➡シークレットコード登録）

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット（メールアドレス設定<その他設定>➡アドレスリセット）

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

メールアドレス確認（アドレス確認）

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

メール受信／拒否設定

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

①ドメイン指定受信（メール受信設定<受信／拒否設定>➡ドメイン指定受信）
- au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

②アドレス指定受信／拒否
（メール受信設定<受信／拒否設定>➡アドレス指定受信、アドレス指定拒否）
- 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ｉモードメールのみ受信／拒否
（メール受信設定<受信／拒否設定>➡ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否）
- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
（メール受信設定<その他設定>➡ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）
- １日に１台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。お買い上げ時には[拒否する]に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤未承諾広告※メール拒否（メール受信設定<その他設定>➡未承諾広告※メール拒否）

次ページへ続く▶▶

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。お買い上げ時には[拒否する]に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。)

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「iモードメールのみ受信」、「iモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥SMS拒否(メール受信設定<その他設定> ➡ SMS拒否設定/確認)

- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」、「非通知SMS拒否」、「国際SMS拒否」、「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つから選択いただけます。また、設定の状況を確認することができます。

メール設定状況確認(設定状況確認)

現在設定されているメール受信/拒否などの設定状況を確認できます。

メールサイズ制限(メールサイズ制限)

あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限することができます。

メール機能停止(メール機能停止)

メール機能を利用されない場合、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

送受信できる文字数

iモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題名	15文字	30文字
メールアドレス	−	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- iモードメールの本文は全角5000文字(10000バイト)まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に[/]または[//]が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスへiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、iショット・iモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- iモード端末(mova含む)どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末がテレビ電話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどで受信できないときは、メールはiモードセンターに保管されます。iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。また、メール選択受信設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することができます。

お知らせ

- iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207〜1000件(約2メガバイトまで)	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には、[✉]が表示されます。
なお、メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、保管件数を超えても[✉]は表示されません。
- iモードセンターに保管されているメールは、iモード問い合わせやメール選択受信により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージも合わせて受信できます。
- iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。
- 極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

ファイル添付メール

■メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、iモードメールに添付して送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません。)

- 送信するには☞P.205
- 受信したときは☞P.214

■画像添付メール

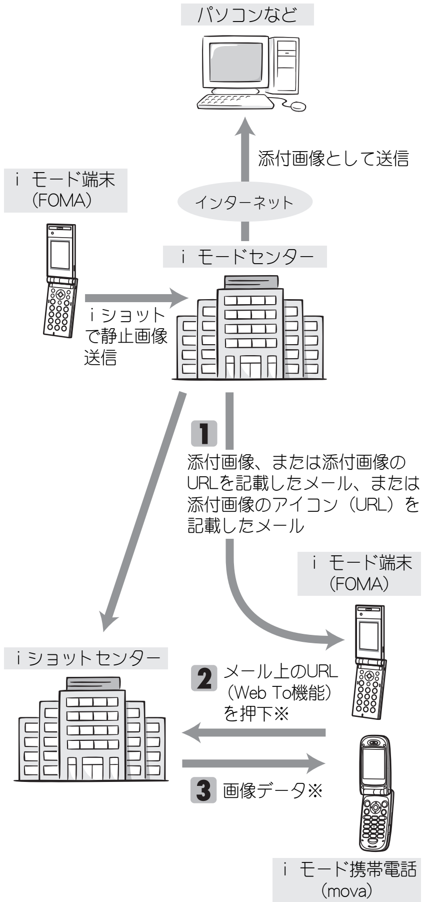
サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをiモードメールに添付して送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。)

- 送信するには☞P.205
- 受信したときは☞P.214

ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。
mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信するには☞P.205
- 受信したときは☞P.214



※添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは、最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

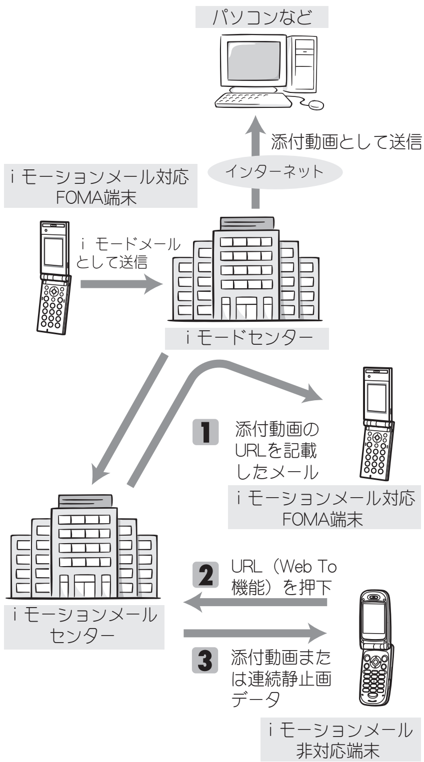
ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

- ｉモーションメールを送信するには☞P.205
- ｉモーションメールを受信したときは☞P.213

■サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。



- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。

- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法☞P.201
- デコメール送信方法☞P.201
- 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大５件）に送信できます。☞P.200

- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。）

Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが１件もない場合は、メールを送信できません。☞P.198

チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS（ショートメッセージ）

ｉモードを契約しなくても、FOMA端末どうしでSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。
- 保管期間を過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問い合わせ（☞P.232）により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信するとSMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。（☞P.232）FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードにコピーすることもできます。（☞P.234）
- SMS一括拒否、非通知SMS拒否、国際SMS拒否、非通知SMS拒否+国際SMS拒否を設定できます。（☞P.196）

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

メールメニュー

メールメニューを表示する

ｉモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

1 待受画面→✉



メニュー	機能	ページ
1受信BOX	受信したメールの表示や返信、転送などを行います。	P.208、P.215
2送信BOX	送信したメールの表示や再送信などを行います。	P.207、P.215
3未送信BOX	未送信メールの編集や送信を行います。	P.208、P.215
4新規メール作成	新規にメールを作成して送信や保存を行います。	P.198
5新規SMS作成	新規にSMSを作成して送信や保存を行います。	P.230、P.231
6チャットメール	チャットメールの設定や送信などを行います。	P.227
7ｉモード問い合わせ	ｉモードセンターにメールやメッセージR／Fが保管されていないか問い合わせます。	P.210
8SMS問い合わせ	SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせます。	P.232
9テンプレート	デコメールテンプレートの表示や編集などを行います。	P.204
◯→1メール選択受信	ｉモードセンターで保管されているメールのうち、受信したいメールのみを選択して受信します。	P.209
◯→2メール設定	ｉモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。	P.223

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して、送信します。

- ｉモード端末以外の相手にｉモードメールを送信する場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。

- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信できます。
- ｉモードメールの送信先を[To]、[Cc]、[Bcc]に分けて送信できます。[宛先]に入力したアドレスへは[To]で送信されます。
- 表示される文字サイズは、文字サイズ設定（☞P.223）で変更できます。

1 待受画面▶✉（１秒以上）

- 待受画面▶✉▶④でも表示できます。
- ［未送信BOX がいっぱいのため起動できません］が表示されたときは、未送信メールを削除してください。（☞P.220）



メール作成画面

2 ［宛先］▶⦿▶入力方法を選択

電話帳から選択	①▶相手を選択▶⦿ ●登録されている他のメールアドレスを選択するとき：相手を選択▶⑧［確認］▶メールアドレスを選択▶⦿ ●［✉］、［✉］、［✉］、［✉］、［✉］のいずれも表示されない場合、メールアドレスは登録されていません。
直接入力	②▶宛先を入力▶⦿ ●半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ●ｉモード端末にｉモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。 ●記号入力（☞P.354）、インターネットに関連した定型文（☞P.354）を利用できます。
メール送信履歴から選択	③▶相手を選択▶⦿（２回）
メール受信履歴から選択	④▶相手を選択▶⦿（２回）
メールメンバーから選択	⑤▶メールメンバーを選択 ●あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。（☞P.224）
複数の宛先に送信（☞P.200）	●［宛先］を入力すると「同報」の入力欄が追加されます。 「同報」の入力欄を選択▶⦿▶送信種別を選択▶入力方法を選択 ●メールメンバーを設定した場合はメンバー全員が必ず[To]で入力されます。 ●最大４件まで宛先を追加できます。
宛先を変更	宛先を選択▶⦿▶入力方法を選択 ●［電話帳検索］、［メール送信履歴］、［メール受信履歴］を選択したときは、［アドレスを上書きしますか？］と表示されます。［はい］を選択し、⦿を押すと、メールアドレスを選択できます。 ●［メールメンバー］を選択したときは、［アドレスを全件上書きします　よろしいですか？］と表示されます。［はい］を選択し、⦿を押すと、メールメンバーを選択できます。 ●［直接入力］を選択したときは、アドレス入力画面が表示されます。
宛先を削除	宛先を選択▶Ⓜ▶⑤［アドレス削除］▶［はい］▶⦿

3 ［題名］／［本文］▶⦿▶入力▶⦿



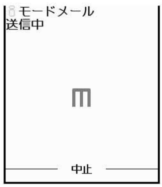
- メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定したあと、⦿を押して本文のカーソル位置に入力します。
- 題名は最大全角15文字（半角30文字）まで、本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。（ただし、movaサービスのｉモード端末に送信する場合は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信されます。）
- 以下の場合は、本文入力画面において全角5000文字（半角10000文字）以上のサイズとなり、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。マイナス表示となった場合は、10000バイト以下（残バイト数が０以上）になるように編集してください。
  - ■ 文字入力行で入力確定した文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10001バイト以上になる場合
  - ■ 貼り付けした文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10001バイト以上になる場合
  - ■ 本文入力済みのｉモードメールを、装飾操作によりデコメールに変更した場合
- 改行［↲］は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース（空白）もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします。（題名に改行［↲］は入力できません。）
- ［↲］（改行）するとき：本文入力画面の文末▶⊙（［↲］を削除するとき：Ⓒ）
- メール作成画面に戻るとき：本文に何も入力されていない状態▶Ⓒ

定型文を利用	本文入力画面▶Ⓜ▶⑦［定型文挿入］▶分類を選択▶定型文を選択▶⦿ ●定型文について：☞P.369

次ページへ続く▶▶

署名を貼り付ける	メール作成画面▶◎▶⑧[署名貼付] ●本文入力画面から貼り付けるとき：◎▶⊙▶②[署名貼付] ●あらかじめ署名を登録しておきます。(☞P.224) ●自動署名貼付が[ON]に設定されている場合、署名は自動的に貼り付けられます。 ●署名の文字数は、本文の文字数に含まれます。本文と署名の合計文字数が送信できる文字数を超える場合、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。残バイト数が0以上になるように編集してください。
デコメールを作成(☞P.201)	本文入力画面▶◎▶①[デコレーション]

4 ⓘ[送信]



- 送信が完了すると、[iモードメール送信しました]と表示され、メール作成前の画面に戻ります。
- 送信を中止するとき：送信中の画面▶⊙[中止]／⊖／Ⓔ
  ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
  送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- 画像やメロディなどを添付すると、本文に入力できる文字数が少なくなります。
- 宛先や同報が入力されている状態でメールメンバーから宛先を指定すると上書きされます。上書きする場合は[はい]を選択してください。
- 宛先にメールメンバーを設定すると、１人目のアドレスは[宛先]に入力され、２人目以降は同報の入力欄に[To]で入力されます。([Cc]、[Bcc]への変更も可能です。)
- 宛先を削除した場合、同報欄の一番上に表示されているアドレスの送信種別が[To]の場合は、[宛先]に入力されます。
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
- 送信できていても、電波状況などによっては、[送信できませんでした]と表示される場合があります。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信メールは送信SMSと合わせて最大200件まで保存できます。送信メールが200件保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます。(上書き確認のメッセージは表示されません。)必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。

お知らせ

- メール履歴表示を[OFF]に設定しているときは、宛先入力で[メール送信履歴]、[メール受信履歴]を選択できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳に登録されている宛先以外へｉモードメールを送信できません。
- オールロック中、セルフモード中はｉモードメールを送信できません。
- メールのPIMロック中は、端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力するとｉモードメールを送信できます。
- [宛先]、[To]、[Cc]に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

相手がシークレットコードを登録しているとき

- 「@」の前に、相手のシークレットコード(４桁の数字)を入力します。電話帳に相手のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません。(☞P.88)
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。(☞P.88)
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、ｉモードメール送信や返信ができないことがあります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送信できます。最大５人の相手に送信できます。

- 「同報」の入力欄では送信種別(To／Cc／Bcc)を選択できます。
  - ■ Cc ：[To]宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。
  - ■ Bcc：[Cc]と同じように第三者に知らせるときに使いますが、[Bcc]で指定したアドレスは、[To]や[Cc]の相手には表示されません。
- 最大５人までのアドレスをメールメンバーに登録しておくと、複数のアドレスを簡単に指定することができます。(☞P.224)
- 宛先に入力したアドレスは[Bcc]にしたものを除き、受信した相手に表示されます。ただし、相手の機種によっては表示されない場合もあります。
- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。

- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると[重複するアドレスがあります]と表示され、送信できません。重複するアドレスを削除して送信してください。

送信種別を変更する

入力した宛先や同報の送信種別を変更できます。

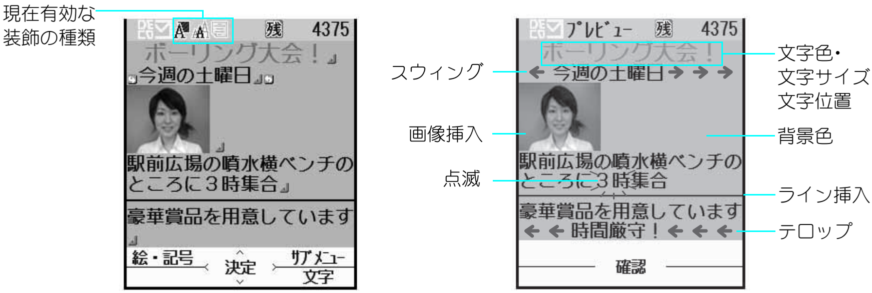
ｉモードメールの作成中（☞P.199の操作１～３）▶２件目以降の宛先の入力欄を選択▶◉▶⑥[送信種別変更]▶送信種別を選択

デコメールを作成して送信する

ｉモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

装飾の種類と効果

- 作成できるデコメールのサイズは、添付ファイルも含めて最大10000バイトです。残バイト数が０またはマイナス表示されている場合、本文に装飾できません。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

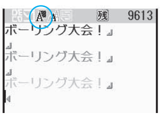
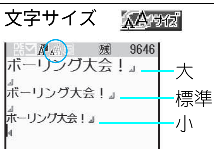


本文入力画面　　プレビュー画面

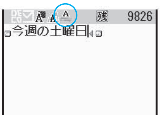
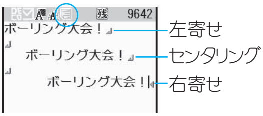
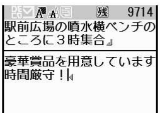
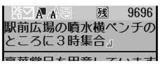
パレットについて

本文入力画面で、◎▶①[デコレーション]を押すとパレットが表示されます。✣で装飾の種類を選択して◉を押すか、◎を押してサブメニューから装飾の種類が選択できます。（☞P.203）



サブメニューの番号	装飾の種類	装飾の内容	番号入力後の装飾指定
①	文字色 	文字に色を付けます。なお、絵文字に対して文字の色を設定すると、設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。	色▶◉
②	文字サイズ 	文字の大きさを、大、標準、小のいずれかに変更します。	大：① 標準：② 小：③

次ページへ続く▶▶

サブメニューの番号	装飾の種類	装飾の内容	番号入力後の装飾指定
③	画像挿入 	本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間たつと止まります。(文字位置が画像の位置に反映されます。画像の位置(文字位置)は変更できます。)なお、デコレーション変更時は、画像挿入できません。	挿入する位置で◉[挿入]➡フォルダを選択➡◉➡画像を選択➡⓪[決定]
④	点滅 	文字を点滅させます。一定時間がたつと、点滅が自動的に停止します。	設定:① 解除:②
⑤	テロップ 	文字を流して表示(テロップ表示)します。一定時間がたつと、文字の流れが止まります。	設定:① 解除:②
⑥	スウィング 	文字を左右に揺らして表示(スウィング表示)します。一定時間がたつと、文字の揺れが止まります。	設定:① 解除:②
⑦	文字位置 	文字の配置を、左寄せ、センタリング、右寄せのいずれかに変更します。	左寄せ:① センタリング:② 右寄せ:③
⑧	ライン挿入 	本文中にライン(罫線)を挿入して表示します。(1行分のラインが挿入されます。挿入した位置の文字色がラインの色に反映されます。ラインの色(文字色)は変更できます。)なお、デコレーション変更時は、ライン挿入できません。	挿入する位置で ◉[挿入]
⊙➡①	背景色 	メール本文の背景に色を付けます。なお、デコレーション変更時は、背景色を変更できません。	背景の色➡◉
⊙➡②	デコレーション変更	範囲を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更します。	開始位置で◉➡終了位置で◉➡装飾を指定 ● [ライン挿入]、[画像挿入]、[背景色]は選択できません。
⊙➡③	元に戻す	直前に行った編集を取り消します。	
⊙➡④	デコレーションなし	装飾されていない通常の文字を入力します。挿入した画像とラインは解除されません。	
⊙➡⑤	全解除	すべての装飾を解除します。挿入した画像も削除され、テキストメールに戻ります。	

ボタン操作	装飾の種類	装飾の内容
⓪	文字入力	文字入力するときに押します。
ⓜ	カーソル切替/装飾選択	本文中のカーソル移動とパレット選択中のカーソル移動を切り替えます。
✉	範囲選択	装飾する範囲を選択するときに押します。

お知らせ

画像挿入について

- FOMA端末にはあらかじめ画像（デコメールピクチャ）が登録されています。（☞P.371）
- 本文入力画面中に挿入できる画像は10000バイトまでです。異なる画像の場合は最大10個、同一画像を続けて挿入した場合は10個以上の入力も可能です。ただし、いったんメール作成画面に戻って再び本文入力画面に移行した場合、すでに入力済みの画像に関しては、コピーして貼り付けした場合のみ同一画像として取り扱われます。
- デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- デコメール対応機種からデコメール非対応機種（movaおよび900iシリーズより前のFOMA）にデコメールを送信した場合に、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信し、受信者はURLをクリックすることによってWeb上でデコメールを閲覧することができます。
  対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 他のアプリケーションが既に起動している場合（例えば、音声通話中）のメール作成においては、画像選択時の画像プレビューができない場合があります。[決定]による画像選択確定のみとなります。

■装飾しながら本文を作成する

装飾方法を指定してから文字を入力したり、指定した装飾方法で入力済みの文字を装飾できます。

1 ｉモードメールを作成▶宛先／題名を入力（☞P.199の操作１～３）



2 [本文]▶⦿

- 装飾方法を指定してから文字を入力するとき：操作３に進む
- 文字を入力してから装飾するとき：本文を入力する

関連操作
パレットを表示しないように設定する＜パレット設定＞
1 操作２▶ⓜ▶⊙▶④[パレット設定] **2** ②[OFF] ● パレットを表示させるとき：①[ON]

3 ⓜ▶①[デコレーション]▶✤でパレットを選択▶⦿▶装飾を指定

- パレットを表示しているときに本文中のカーソルを移動するとき：ⓘ[カーソル切替]（戻るとき：ⓘ[装飾選択]）
- 各装飾の詳しい操作方法について：☞P.201～P.202の表「パレットについて」
- 続けて別の装飾を指定できます。パレットが表示されているときはⓜ▶①[デコレーション]は不要です。
- パレット設定が[OFF]のとき：ⓜ▶①[デコレーション]▶装飾の種類を選択▶装飾を指定



パレット表示画面

点滅を指定	[点滅]▶⦿▶①[設定]▶文字を入力※
テロップを指定	[テロップ]▶⦿▶①[設定]▶文字を入力※
スウィングを指定	[スウィング]▶⦿▶①[設定]▶文字を入力※
プレビュー画面を表示	ⓜ▶⊙▶⑦[プレビュー] ●確認を終わるとき：⦿[確認]

※ パレット設定が[OFF]のときは、⑧[文字入力]を押してから文字を入力します。

4 装飾の指定が終わったら▶本文を入力

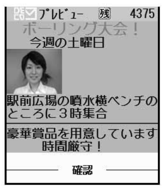
- すでに入力している文字を装飾するとき：装飾の指定が終わったら▶✉[範囲選択]▶始点を選択▶⦿[始点]▶終点を選択▶⦿[終点]
  すべての範囲を装飾するとき：✉[全選択]
  選択を取り消すとき：⦿[終点]を押す前にⓜ[取消]
- パレット設定が[OFF]のとき：装飾の指定が終わったら▶⑧[文字入力]▶本文を入力
- 本文を入力すると、装飾が反映されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾した文字を削除するときは、装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、Ⓒを１秒以上押して文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。



- 本文の変更を１つ前の状態に戻すとき：ⓜ▶⊙▶①[元に戻す]（連続して複数の装飾を指定したあとで、装飾範囲を指定した場合、元に戻すことはできません。）

5 ⓜ▶⊙▶⑦[プレビュー]

- ✧で画面をスクロールできます。
- プレビュー画面では、受信した相手に表示されるメールと同じものを確認できます。
- 続けて装飾をするとき：プレビュー画面を閉じたあと、操作３～４をくり返す



メール

デコメール

次ページへ続く

6 ◉［確認］

本文入力画面に戻ります。

- 装飾を全解除するとき：◎▶①［デコレーション］▶◎▶⊙▶⑤［全解除］（パレット設定が［OFF］のとき：◎▶①［デコレーション］▶⊙▶⑤［全解除］）
  挿入した画像も削除されます。
- 挿入した画像の詳細情報を表示するとき：画像の前にカーソルを移動▶◎▶⊙▶③［情報表示］

7 ◉▶ⓘ［送信］

- 本文のみのサイズが10000バイトを超えているときは、［最大サイズを超えているため一部のデータが失われる可能性があります　編集終了しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、◉を押すと、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、［✉］が表示されます。メールの内容（文字、画像など）によっては、削除されない場合もあります。編集し直すときは、［いいえ］を選択し、◉を押すと本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。

お知らせ

- 受信したデコメールを引用返信、または転送した場合、装飾や挿入した画像も引用されます。
- デコメール対応FOMA端末以外から送信された装飾メールは装飾が正しく表示されないことがあります。
- 装飾決定すると、状態アイコンが［✉］に変わります。
- デコメール非対応機種からデコメール閲覧用のURL付メールを転送された場合、そのURLを直接入力しても、該当するデコメールは閲覧できません。

■範囲を指定して装飾する

本文の一部を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更できます。

1 パレット表示画面（☞P.203）▶✉［範囲選択］

- パレット表示画面で◎▶⊙▶②［デコレーション変更］を押しても操作できます。

2 装飾開始位置にカーソルを移動▶◉［開始］

- すべての文章を選択するとき：✉［全選択］
- 選択を取り消すとき：ⓘ［取消］

3 装飾終了位置にカーソルを移動▶◉［終了］

4 ✤でパレットを選択▶◉▶装飾を指定

指定した範囲が装飾されます。

- １つ前の状態に戻すとき：◎▶⊙▶③［元に戻す］
- ［画像挿入］、［ライン挿入］、［背景色］、［デコレーション変更］、［デコレーションなし］は選択することができません。
- パレット設定が［OFF］のときは、サブメニューから装飾の種類を選択し、◉を押し、装飾を指定します。
- 同じ範囲を続けて装飾するとき：操作４をくり返す。

5 装飾の指定が終わったら▶ⓘ［文字入力］

- 以降の操作について：☞P.203の操作５～７

お知らせ

- 装飾を指定したあとで、範囲を指定したときは、元に戻すことはできません。

テンプレートを利用して送信する

テンプレートを利用してデコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信できます。
また、作成したデコメールをテンプレートとして保存したり、テンプレートをｉモードサイトなどからダウンロードすることもできます。

- テンプレートのダウンロードについて：☞P.178
- テンプレートは最大30～100件まで保存できます。
- お買い上げ時、19件のテンプレートが登録されています。

テンプレートを利用してデコメールを作成する<テンプレート呼出>

1 待受画面▶✉▶⑨［テンプレート］

- メール作成中にテンプレートを呼び出すとき：
  メール作成画面▶◎▶③［テンプレート呼出］／本文入力画面▶◎▶②［テンプレート呼出］
  本文が入力されているときは、編集中の内容が失われる旨のメッセージが表示されます。［はい］を選択して◉を押すと、本文の内容が削除されます。

2 テンプレートを選択▶◉［確認］▶ⓘ［メール］

テンプレートが本文入力画面に反映されます。

- デコメール作成と同様に編集できます。（☞P.201）



テンプレート挿入例
©BVIG

お知らせ

- テンプレートにファイル制限ありの画像が挿入されている場合、メッセージが表示され、画像を削除して表示されます。
- サイズが超過しているテンプレートは呼び出しできません。

作成したメールをテンプレートとして保存する<テンプレート保存>

1 デコメールの作成（☞P.203の操作1～6）▶◉▶メール作成画面▶◎▶④［テンプレート保存］

2 ［はい］▶◉

- テンプレートを呼び出して作成したデコメールのとき：［新規保存］／［上書き保存］▶◉

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例：2006年4月16日午後1時5分7秒に保存した場合→［060416_130507］
- 作成したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.287）

テンプレートを編集する<編集>

1 待受画面▶✉▶⑨▶テンプレートを選択

2 ◎▶①［編集］

関連操作
テンプレートのタイトルを編集する＜タイトル編集＞
操作1▶◎▶②［タイトル編集］▶タイトルを編集▶◉
テンプレートを削除する＜削除＞
1 操作1▶◎▶③［削除］ **2** ①［1件削除］ ● 複数のテンプレートを選択し、まとめて削除するとき：②［選択削除］▶テンプレートを選択◉（くり返し可）▶◎［確定］ ● すべてのテンプレートを削除するとき：③［全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉ **3** ［はい］▶◉
テンプレートの詳細情報を表示する＜情報表示＞
操作1▶◎▶④［情報表示］

3 デコメールを編集（☞P.203の操作3～6）▶◉▶［新規保存］／［上書き保存］▶◉

お知らせ

テンプレートの情報表示について

- タイトル、ファイル名、ファイル形式、ファイル制限が表示されます。

添付ファイル

ファイルを添付する

FOMA端末で撮影した静止画や動画、iモードサイトなどからダウンロードした画像、iモーション、メロディをiモードメールに添付して送信できます。

- 1つのメールに通常添付ファイルと大容量添付ファイルを同時に添付できます。

1つのメールに添付できるファイルのサイズや個数

種類		通常添付ファイル		大容量添付ファイル	
データの種類		メロディ	静止画	静止画	動画／iモーション
ファイル形式		SMF	GIF画像、JPEG画像	JPEG画像※1	Mobile MP4
ファイルサイズ		1～10000バイト※2		10001～500K（512000）バイト※3	1～500K（512000）バイト※3
添付可能件数		合計最大10個※4		どちらか1個	
送付先ごとの送付可否	FOMA端末	○		○※5	○※6
	movaサービスのiモード端末	×	○※7、8	○※5、8	○※6
	e-mail	○			

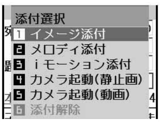
※1　10000バイトを超えるGIF画像はメールに添付できません。

メール／添付ファイル

次ページへ続く▶▶

※2　添付ファイルサイズと本文サイズの合計です。添付ファイルのサイズの分だけ、本文に入力できる文字数が少なくなります。ただし、大容量添付ファイルを添付すると、通常添付ファイルサイズと本文サイズの合計は最大9800バイト（デコメールの場合は最大9600バイト）になります。
※3　大容量添付ファイルのみを添付した場合のサイズです。
※4　添付ファイルサイズが大きいと、添付できる件数が少なくなります。
※5　ｉモード端末へ送信する場合、ｉショットセンターでｉモード端末に送るのに適したサイズに変換されます。
※6　動画／ｉモーションをｉモード端末へ送信する場合、ｉモーションメール（動画閲覧用URLと動画保存期限が自動的に付与される）となります。送信先のｉモード端末の種類によっては画像が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。
※7　GIF画像は添付できません。
※8　movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、自動的にｉショット送信（画像閲覧用URLと画像保存期限が自動的に付与される）となります。なお、添付できるデータは１個、本文は最大全角184文字までです。もし、この条件にあてはまらないファイルや、複数のファイルを添付した場合は、添付ファイルが削除され、本文のみが送信されます。

1 ｉモードメールを作成（☞P.199の操作１～３）▶◯で添付の入力欄を選択▶◉



2 添付するファイルを選択

メール作成画面に戻ります。添付欄に選択したファイル名とファイルサイズが表示されます。



静止画を添付	①［イメージ添付］▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶⑧［決定］ ●静止画を確認するとき：静止画を選択▶◉［確認］
メロディを添付	②［メロディ添付］▶フォルダ選択▶◉▶メロディを選択▶⑧［決定］ ●メロディを再生するとき：メロディを選択▶◉［確認］（止めるとき：⑧［停止］）
動画／ｉモーションを添付	③［ｉモーション添付］▶フォルダを選択▶◉▶動画／ｉモーションを選択▶⑧［決定］ ●動画／ｉモーションを再生するとき：動画／ｉモーションを選択▶◉［確認］（止めるとき：㊞［停止］）
撮影した静止画を添付	④［カメラ起動（静止画）］▶◉［📷］▶◉［保存］ ●撮影した静止画は、［カメラ撮影］フォルダに圧縮して保存されます。
撮影した動画を添付	⑤［カメラ起動（動画）］▶◉［録画］▶◉［停止］▶①［保存］

関連操作
添付ファイルを解除する＜添付解除＞
操作２▶◉▶⑥［添付解除］

- 本文入力欄の上に表示される残バイト数表示は、添付ファイルのサイズを引いた値です。
- 「待受：240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、［待受サイズ（240×320）に縮小しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、◉を押すと縮小して添付されます。［いいえ］を選択し、◉を押すと、500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。
- 「待受：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

3 ⑧［送信］

お知らせ

- ファイルサイズが500Kバイトを超える静止画を選択した場合は、自動的に圧縮して添付されます。圧縮されたファイルは、マイピクチャの取得元のフォルダに元のファイル名＋「_M」の名前で保存されます。
- データBOXのマイピクチャやｉモーションの取得元のフォルダに保存されている圧縮された画像を削除した場合、未送信BOXに保存されている未送信メールに添付されている画像が削除されることがあります。
- Flash画像やフレーム、スタンプは添付できません。
- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。
- FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送信できますが、受け取った方はそのファイルを外部へ送信できません。
- ｉモーションによっては、添付できないものもあります。また、送信相手側機種によって、画像が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付できません。

お知らせ

- メール添付可能なメロディ一覧には、メール本文と合わせるとデータ量がオーバーしてしまうメロディも表示されます。

次の場合はメロディや静止画を添付できません

- メロディまたは静止画を添付すると、本文(添付したメロディ、画像を含む)のデータ量が10000バイトを超える場合
- すでにメロディまたは画像が、合計で10個添付されている場合

次の場合は10000バイトを超える静止画またはｉモーションを添付できません

- ｉモーションのデータ量が500Kバイト(512000バイト)を超える場合
- 本文(添付したメロディ、画像を含む)の残りのデータ量が200バイト未満の場合(ただし、デコメールは400バイト未満の場合)
- すでに10000バイトを超える静止画、またはｉモーションが添付されている場合

撮影した静止画の添付について

- 自動保存モードを[ON]に設定している場合、撮影後のプレビュー画面は表示されません。
- すでに添付できる最大件数分のファイルが添付されている場合、または残バイト数が０バイトの場合は、カメラ起動は選択できません。

添付ファイルを確認する場合

- メール作成画面で確認したいファイルが添付されている添付欄を選択し、◎▶⑥[添付ファイル確認]を押します。

貼り付けられたデータについて

- メールに貼り付けられたメロディ(MFi)は、メールの返信や転送をする際に引用できません。また、赤外線通信での転送もできません。

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールの作成中に操作を中断するときや、作成したｉモードメールを保存しておきたいときは、FOMA端末(本体)に一時保存しておくことができます。また、保存したｉモードメールを編集して送信することもできます。

- ｉモードメールの作成について:☞P.198〜P.200

ｉモードメールを保存する

1 ｉモードメールの作成中(☞**P.199**の操作１〜３)▶◎▶②[保存]

作成中のｉモードメールが、未送信メールとして保存されます。



- 通常のｉモードメールでは、本文サイズと添付ファイルを合わせて10000バイトまで保存できます。
- 大容量添付ファイル(静止画およびｉモーション)を添付する場合は、メール本文と合わせて521800バイトまで保存できます。ただし、デコメールに大容量添付ファイルを添付する際の最大保存サイズは、521600バイトとなります。

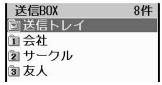
お知らせ

- メール作成中で宛先、題名、本文、添付ファイルのいずれかが入力されている場合、⊖を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

送信／保存したｉモードメールを編集・送信する

送信したｉモードメールを編集・再送する

1 待受画面▶ⓜ▶②[送信BOX]



2 フォルダを選択▶◉▶ｉモードメールを選択▶◉

- 前または次のメール表示画面を表示するとき:⊙
- 送信メール一覧画面に戻るとき:Ⓒ
  送信メール一覧画面で、メールを選択し、ⓢ[編集]を押しても編集できます。ⓜ[再送]を押すと、再送できます。
- メロディが添付されているときは、メロディが再生されます。メロディ自動再生(☞P.225)を[自動再生しない]に設定しているときは、再生されません。メロディを止めるときは、◉を押します。
  他の画面に移動してもメロディは止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。(☞P.217)

3 編集・再送

編集	**1** ⓢ[編集]／◎▶①[編集] **2** メールを編集▶ⓢ[送信] ● 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは:☞P.199の操作２〜３
再送	◎▶②[再送]

保存したｉモードメールを編集・送信する

1 待受画面▶[メールボタン]▶③［未送信BOX］

2 フォルダを選択▶[決定ボタン]▶ｉモードメール選択▶[決定ボタン]

3 項目を選択▶[決定ボタン]▶編集▶⑧［送信］
- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは：☞P.199の操作２～３
- 未送信メールは１件ずつ選択して、送信します。
- 送信したｉモードメールは［送信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.223）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

メール選択受信設定（☞P.209）が［OFF］に設定されている場合、ｉモードメールを自動的に受信します。
- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大100～1000件まで保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。（上書き確認のメッセージは表示されません。）
- FOMA端末が次のいずれかの状態のとき、送信されてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 圏外
  - ■ テレビ電話の通話中
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ FirstPassセンター接続中
  - ■ メール選択受信設定が［ON］のとき
  - ■ 保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき

お知らせ
- 本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えるｉモードメールを受信した場合、文末に［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分は確認できません。
- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中などにメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
- FOMA端末（本体）のメールをminiSDメモリーカードにコピーしたり、miniSDメモリーカード内のメールをFOMA端末（本体）にコピーできます。
- 文字サイズの設定によって、画面に表示される文字数が変わります。

お知らせ

マークの意味

マーク	状　態
（青色）	未読ｉモードメールがあります。（☞P.209）
	未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。（☞P.209、P.232）
	FOMA端末（本体）の受信ｉモードメールやSMSがいっぱいです。未読メールの確認（☞P.209、P.232）、保護解除（☞P.220）、不要なメールやSMSの削除（☞P.219、P.235）を行ってください。
（赤色）	FOMA端末（本体）の受信ｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。未読メールの確認（☞P.209、P.232）、保護解除（☞P.220）、不要なメールやSMSの削除（☞P.219、P.235）を行ってください。
SMS（赤文字）	未読SMSがあります。（☞P.232）
SMS（青文字）	FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なメールやSMSの削除（☞P.235）を行ってください。
（青色）	ｉモードセンターでメールをお預かりしています。（メール選択受信設定が［OFF］のとき）ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.210）を行ってください。
	ｉモードセンターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。（メール選択受信設定が［OFF］のとき）ｉモード問い合わせ（☞P.210）を行ってください。

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、［ ］（青色）が表示されない場合があります。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、［ ］（青色）や［ ］は表示されません。（☞P.209）

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールが届くと、自動的に受信（［ ］点滅）



- 受信を中止するとき：受信中▶[決定ボタン]
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。（［ ］（青色）表示）
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

メール　メール自動受信

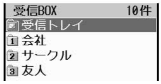
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

2 受信終了後、i モードメールの受信結果が表示され、i モードメール着信音が鳴る（[✉]表示）



- 受信したｉモードメールは、[受信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.223）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。

3 受信結果画面▶[メール]▶⦿



- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると、[新着メールあり ○件]と表示されます。
- メッセージR／Fを受信したときは、メッセージ自動表示設定（☞P.185）に従い、メッセージR／Fが自動表示されます。

4 フォルダを選択▶⦿▶ｉモードメールを選択▶⦿

- 受信メールの見かたについて：☞P.217

お知らせ

- ｉモードメールでは、メロディや動画、静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルを削除した場合は、本文に[添付ファイル削除]の文字が追加されます。
- メロディ自動再生が[ON]に設定されているときは、メロディが再生されます。⦿を押したり、他の画面に移動すると、メロディが止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。
- ｉモードメールに大容量の画像ファイルが添付されていて、自動的に取得できなかったときは、本文に表示されている[画像あり]を選択すると画像が取得され、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- メロディとｉアプリToの両方が貼り付けられている場合は、両方のデータが無効となります。
- 画像が貼り付けられているデコメール（☞P.201）の場合、添付ファイル受信（☞P.226）で画像を受信しないように設定しているときは、[▧]（画像取得失敗）が表示されます。

お知らせ

- あらかじめ、受信するｉモードメールのサイズ（本文+添付ファイルまたは貼付データ）を制限できます。（ｉモードメニューから[ｉMenu]→[■オプション設定]→[1メール設定]→[メールサイズ制限]）設定した文字数（データ量）を超えた場合、添付ファイル、貼付データはｉモードセンターで削除されます。削除された添付ファイルや貼付データを再度受信することはできません。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます。（☞P.217）
- メールのPIMロック中、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信しても、受信結果の表示とメッセージR／Fの自動表示は行われません。また、メール着信音も鳴りません。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが1件もないときにｉモードメールを受信した場合、[メッセージがいっぱいです]と表示されます。受信結果画面には件数[0]と表示されます。

バイブレータで新着メールの有無を確認するとき
- 待受中に、FOMA端末を閉じた状態で▭（サイドボタン）を押すと、不在着信、伝言メモ、新着メール や留守番電話の伝言メッセージの有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、[パターン1]で2回振動します。何もない場合は振動しません。着信／メールお知らせランプの設定が[OFF]でもバイブレータは動作します。バイブレータの振動内容について：☞P.107

着信音を止めるとき
- 次のボタンを押します。

⦿	着信音が止まり、受信BOX一覧画面が表示されます。
Ⓒ、⊖	着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
⦂	受信結果画面のまま着信音が止まります。

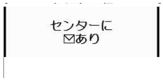
待受中以外の状態で受信したとき
- メール受信表示設定を[通知優先]に設定している場合、メール着信音が鳴り、ディスプレイに[✉]と受信完了画面が表示されます。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ[メール選択受信設定]を[ON]に設定します。なお、[ON]に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは



メール選択受信設定を［ON］に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、待受画面には右上の画面が表示されます。（メール選択受信通知）
◉、⊖または㋘を押すと、表示が消えます。
ｉモードメールを選択受信するときは、表示を消してから行ってください。

- 右上の画面が表示されているときに、電話がかかってきて①や⊖を押しても、通話終了後、再び右上の画面に戻ります。
- 右上の画面が表示されるときは、メール着信音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

ｉモードメールを選択受信する ＜メール選択受信＞

1 待受画面 ▶ ✉ ▶ ◯ ▶ ①［メール選択受信］

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが表示されます。



- メール選択受信設定を［OFF］に設定しているときは、［メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください］と表示されます。◉を押すと、メール選択受信設定画面が表示されます。①［ON］を押し、［はい］を選択し、◉を押してから、操作１を行ってください。

2 ｉモードメールごとに［受信］／［削除］／［保留］▶ ◉

- 表示されていない部分を確認するとき：◯
- ファイルが添付されているときはサイズの右側に次のアイコンが表示
  📷：画像ファイルが添付されています。
  ♪：メロディファイルが添付されています。
  🎥：ｉモーションが添付されています。



- ｉモードセンターのｉモードメールをすべて削除するときは、メール選択受信画面の最下部にある［削除］を選択し、◉を押します。確認画面で［決定］を選択し、◉を押すと、ｉモードセンターのｉモードメールがすべて削除されます。

3 ［受信／削除］▶ ◉ ▶［決定］▶ ◉

- 受信／削除したいｉモードメールを選び直すとき：［ｷｬﾝｾﾙ］▶ ◉

4 受信したｉモードメールを表示（☞P.209の操作３～４）

関連操作
ｉモードメニューリストから選択受信する＜メール選択受信＞
待受画面 ▶ ⓘ ▶［ｉMenu］▶ ◉ ▶［☰メニューリスト］▶［♦メール選択受信］▶ ◉

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されています。（☞P.208）ｉモードセンターに問い合わせて受信できます。

- ｉモード問い合わせをする種類（ｉモードメール、メッセージR／F）を設定できます。（☞P.224）
- メール選択受信設定を［ON］に設定していても、ｉモード問い合わせをすると、すべてのｉモードメールを受信します。
- ｉモード問い合わせをしたあと、［ⓘ］が点滅している間に再びｉモード問い合わせの操作をしても、実際には問い合わせを行いません。すべての種類について０件と表示されます。
- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせをするように設定されています。（☞P.224）
- SMSの問い合わせについて：☞P.232

1 待受画面 ▶ ✉（２回）

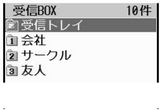
- ｉモード問い合わせ設定（☞P.224）の設定に従い［ｉモードメール］→［メッセージR］→［メッセージF］の順でｉモード問い合わせを行います。（問い合わせをしているマーク（［✉］、［R］、［F］）が順次表示されます。）
- 受信を中止するとき：受信中 ▶ ◉
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。（［✉］（青色）表示）
- 受信を中止するタイミングにより、ｉモードメールを受信してしまう場合もあります。

2 問い合わせ結果が表示され、ｉモードメールがある場合は、ｉモードメール着信音が鳴る

- ｉモード問い合わせが終了します。
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていないときは、件数が［０］と表示されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。
- 着信音を途中で止めるとき：㋘
  他のボタンで止めるとき：☞P.209

3 受信結果画面▶［メール］▶◉

- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されます。
- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に元の画面に戻ります。



- ｉモード待機中の状態（[ｉ]が点滅）のままです。
- ｉモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

4 フォルダを選択▶◉▶ｉモードメールを選択▶◉

- 受信メールの見かたについて：☞P.217

お知らせ

- 問い合わせの結果、表示される画面上側のマークの意味について：☞P.208
- 電波状況などにより、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。
- 保存先メモリの空き容量がなく、保護されていない既読メールが１件もないときにｉモード問い合わせをしてｉモードメールを受信した場合、［メッセージがいっぱいです］と表示されます。受信結果画面には件数［０］と表示されます。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、メールを返信できません。
- SMSの返信について：☞P.233

1 ｉモードメールを表示（☞P.208の操作１～４）▶◎▶①［返信／転送］▶返信方法を選択



返信	●受信メールの題名の先頭に［Re:］が付いた題名が入力されています。
受信メールの本文を引用して返信	本文の先頭に［>］が挿入され、受信メールの内容が引用されます。 ●デコメールのときは、装飾と挿入した画像が引用されます。

- メール一覧画面／メール表示画面のとき：⑧［返信］
- 返信できないｉモードメールを選択したときは、［返信先が無効です］と表示されます。
- 引用返信で10000バイトを超えるデコメールを選択したときは、入力可能な残バイト数はマイナス表示になり、［✉］が表示されます。10000バイト以内になるように編集してください。
- 同報があるｉモードメールを選択したときは、返信先の選択画面が表示されます。
①［差出人に返信］または②［全員に返信］を押します。

2 ｉモードメールを作成▶送信

- 題名や本文を編集できます。
詳しくは：☞P.199の操作２～３
- メール作成画面のとき：◎▶②［保存］
作成中のｉモードメールが未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- ｉモードメール作成中に⊖を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードメールの作成を中止できます。作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの返信画面で未編集のまま⊖を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 返信メールの題名は、受信メールの題名の先頭に［Re:］が付いた題名となります。［Re:］を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- ［>］と本文と合わせて全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときや、送信元が「ｉモードメールplus」の「フレンドメール12」のときなどは返信できません。返信できないｉモードメールには受信メール表示画面で［✉］が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合、ｉモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります。（☞P.200）
- 本文にｉアプリToが貼り付けられている場合、引用返信してもｉアプリToは引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信を利用しても、ｉアプリToの情報は送信できません。
- ダイヤル発信制限設定中は、電話帳に登録していない宛先へは返信できません。

手早く返信する＜クイック返信＞

受信メール表示画面から簡単に返信メールを送信できます。

- あらかじめクイック返信メール設定（☞P.225）で本文を登録しておきます。10件まで登録できます。

次ページへ続く

1 **ｉモードメールを表示（☞P.208の操作1～4）▶ⓜ▶①▶②［クイック返信］▶本文を選択**

- 宛先、題名、本文を確認します。
- 本文を確認するとき：［本文］▶●［決定］

2 **ⓘ［送信］**

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

FOMA端末で受信したｉモードメールを他の相手に転送できます。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、ｉモードメールを転送できません。

1 **ｉモードメールを表示（☞P.208の操作1～4）▶ⓜ▶①▶④［転送］**

- 受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名が入力されています。
- 受信した本文がそのまま入力されています。
- デコメールのときは、装飾と挿入した画像が転送されます。

2 **ｉモードメールを作成▶送信**

- 題名や本文を編集できます。
  詳しくは：☞P.199の操作2～3
- 作成中のｉモードメールを未送信メールとして保存するとき：メール作成画面▶ⓜ▶②［保存］

お知らせ

- ｉモードメール作成中に㊀を押すと、終了確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードメールの作成を中止できます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの転送画面で未編集のまま㊀を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 転送するｉモードメールの題名は、受信メールの題名の先頭に［Fw:］が付いた題名になります。［Fw:］を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 本文の編集後、全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 電話帳を表示中に受信したｉモードメールは、電話帳を終了してから転送してください。

転送するｉモードメールにメロディや画像が添付されていたとき

- メロディや画像も転送されます。ただし、メロディ添付のｉモードメールを転送した機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。

お知らせ

- 転送するｉモードメールに、ｉアプリToやｉモードメール添付、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。
- メロディは最大10件添付できますが、添付するファイルサイズによっては、添付できる件数が少なくなります。

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、送信メールの宛先のメールアドレスまたは電話番号を電話帳に登録できます。また、受信メールの本文に書かれたメールアドレスを電話帳に登録できます。

- SMSの場合、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- メールアドレスが半角50文字を超える受信メールの場合は、電話帳に登録できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳を登録できません。
- 電話帳のPIMロック中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると電話帳に登録できます。
- すでにFOMA端末（本体）電話帳の場合は750件、FOMAカード電話帳の場合は50件登録されているとき、新規には登録できません。
- 「ⓘモードメールplus」の「フレンドメール12」のメールアドレスは登録できません。

送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する<アドレス登録>

1 **受信メール表示画面▶ⓜ▶⑥▶①［アドレス登録］▶登録方法を選択**

- 送信メールのとき：送信メール表示画面▶ⓜ▶⑦▶①［アドレス登録］

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録	①
FOMAカード電話帳に新規登録	②
電話帳に追加／上書き登録	③▶名前を選択▶●

- 電話帳入力画面に、送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.87、P.92）

お知らせ

- 宛先が複数存在する場合は、操作1のあとアドレス選択画面が表示されます。宛先を選択し、●を押します。

メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する ＜電話帳登録＞

1 受信メール表示画面▶電話番号／メールアドレスを選択▶ⓜ▶⑥▶②［電話帳登録］▶登録方法を選択

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録	①
FOMAカード電話帳に新規登録	②
電話帳に追加／上書き登録	③▶名前を選択▶⊙

- 電話帳入力画面に、選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.87、P.92）

画像メール受信

画像メールの画像を表示する

大容量添付ファイル（静止画）を自動的に取得できなかったときや、URLが記載されたメールを受信したときは画像を取得します。

- 大容量添付ファイル（静止画）はメール受信時に自動的に取得されますが、取得に失敗した場合は［画像あり］が表示されます。

例：大容量添付ファイル（静止画）の場合

1 受信した大容量添付ファイル付メールを表示（☞**P.208**の操作１～４）▶本文中の［画像あり］▶⊙

- 画像が取得されデータBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存されます。
- メモリの空き容量がない場合は、不要なファイルを削除して、メモリの空き容量を増やしてから保存します。
- 大容量添付ファイル（静止画）が取得できなかった場合、静止画は添付されません。
- 画像のURLが記載されているときは、画像のURLを選択し、⊙を押します。ｉモード接続確認画面が表示されます。ⓢ［はい］を押すと、ｉモード接続が開始され、画像が表示されます。
- 表示した画像の保存方法は、ｉモードサイトなどから画像をダウンロードする場合と同様です。詳しくは：☞P.178

ｉモーションメール受信

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

受信したｉモーションメールには、ｉモーション閲覧のためのURLが記載されています。［あり］が表示され、URLを選択すると、ｉモーションメールセンターからｉモーションのファイルを取得して、再生することができます。

1 ｉモーションが添付されている受信メールを表示（☞**P.208**の操作１～４）▶本文中の**URL**を選択▶⊙

ｉモード接続確認画面に［サイトに接続しますか？］と表示されます。

2 ⓢ［はい］

取得が開始されます。

- ｉモーションが取得され、完了後、再生を行います。ｉモーションによっては、取得しながら自動的に再生を行い、再生が終ったときに、データ取得完了画面が表示されるものがあります。
- 再生回数が決められているｉモーションは、再生するときに残り回数が表示されます。再生するときは、［はい］を選択し、⊙を押します。
- 再生期限が決められているｉモーションは、再生するときに再生期限が表示されます。
- 再生期間が決められているｉモーションは、再生するときに再生期間が表示されます。
- ｉモーションを保存するとき：取得したｉモーションを再生中／停止（一時停止）中▶ⓜ▶①［保存］

お知らせ

- ｉモーション取得開始直後に音声電話着信があった場合は、ｉモーション取得が中止されます。
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL１件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションを取得できません。
- ｉモーションメールに添付されているｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。（☞P.379「動画再生ソフトのご紹介」）詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。
- データを取得しながら再生できるｉモーションの場合、電波状況などにより再生ができなくなった場合でも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。

添付ファイル確認

添付ファイルを確認・保存・削除する

ｉモードメールに添付されている、画像・動画・メロディを確認・保存・削除できます。

- 添付ファイルはデータBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダ、ｉモーションの［ｉモード］フォルダ、メロディの［ｉモード］フォルダにそれぞれ保存されます。

1 ファイルが添付されている受信メールを表示（☞P.208の操作１～４）▶◎▶④▶①［添付ファイル確認］

- 送信メールのとき：◎▶⑤▶①［添付ファイル確認］
- 添付ファイルのURLを確認するとき：◎▶④▶②［添付ファイルURL確認］

2 ◌でファイルを選択▶確認

添付ファイルを確認		⊙［確認］ 添付ファイルが表示／再生されます。
添付ファイルを保存		ⓢ［保存］▶［はい］▶⊙
添付ファイルを削除	１件削除	◎［削除］▶①▶［はい］▶⊙ ●添付ファイルが１件ののみのとき：◎［削除］▶［はい］▶⊙
	全件削除	◎［削除］▶②▶［はい］▶⊙

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されないことがあります。また、縦横ともに2048ドット以下、画像面積が1536×2048ドット以下のサイズの画像は表示されますが、そのサイズを超えた場合、受信しても表示されない場合があります。
- メモリが不足している場合、保存することができません。不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.287）

本文中画像確認

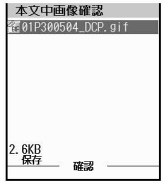
デコメールに挿入された画像を確認・保存する

デコメールの本文に挿入されている画像を確認・保存できます。

- 画像は、データBOXのマイピクチャの［ｉモード］フォルダに保存されます。

1 画像が挿入されている受信メールを表示（☞P.208の操作１～４）▶◎▶④▶③［本文中画像確認］

- 送信メールのとき：◎▶⑤▶②［本文中画像確認］



2 ◌で画像を選択▶確認

画像を確認	⊙［確認］
画像を保存	ⓢ［保存］▶［はい］▶⊙

お知らせ

- 添付された画像は、添付ファイル確認で確認・保存を行ってください。
- 動画、または大容量の画像ファイルは、本文中画像確認からは保存できません。

テンプレート保存

デコメールをテンプレートとして保存する

デコメールをテンプレートとして保存できます。

- 保存したテンプレートは、メールメニューの［テンプレート］に保存されます。

1 受信したデコメールを表示（☞P.208の操作１～４）▶◎▶⑥▶③［テンプレート保存］▶［はい］▶⊙

- 送信メールのとき：◎▶⑦▶③［テンプレート保存］

お知らせ

- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
例：2006年4月16日午後１時５分７秒に保存した場合→［060416_130507］
- 受信したデコメールに添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- 挿入画像がファイル制限されている場合、画像は削除して保存されます。
- メモリが不足している場合、テンプレートを保存できません。不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。（☞P.287）

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

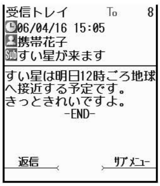
受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- ｉモードメールとSMSの両方が、受信BOXや送信BOXに保存されます。
- ｉモードメールでは最大全角5000文字の本文を送受信できます。
- 本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えるｉモードメールを受信した場合、文末に［/］または［//］が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分は確認できません。
- 送信メールと未送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて、それぞれ最大50～200件まで保存できます。（メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大100～1000件まで保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 受信／送信／未送信のｉモードメールとSMSは、フォルダで管理できます。FOMA端末（本体）には、自分でフォルダを作成することもできます。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードのそれぞれに［送信トレイ］、［受信トレイ］フォルダがあります。［送信トレイ］フォルダには、FOMA端末（本体）の［送信トレイ］の送信メールとFOMAカードの［送信トレイ］の送信メールが混在して表示されます。［受信トレイ］フォルダも同様です。

1 待受画面▶✉▶①［受信**BOX**］／②［送信**BOX**］／③［未送信**BOX**］

2 フォルダを選択▶⊙▶ｉモードメールや**SMS**を選択▶⊙

- メール連動型ｉアプリフォルダのメールを表示するとき：フォルダを選択▶◉▶［ｉモードメール閲覧］▶⊙▶ｉモードメールを選択▶⊙



メール表示画面

表示を終わる	⊖
他のメールを確認	Ⓒ▶メール一覧画面▶メールを選択し直す
表示中の受信／送信メールのアドレスや題名、本文をコピー	受信メールのとき：◉▶⑤▶②［コピー］▶項目を選択 ● 送信メールのとき：◉▶⑥▶②▶項目を選択

メール表示画面での画面操作

操　作	ボタン	操　作	ボタン
下スクロール	［下］	画面単位上スクロール	✉
上スクロール	［上］	次メール表示	［右］
画面単位下スクロール	ⓘ	前メール表示	［左］

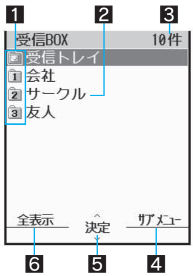
関連操作
マルチアシスタントを使う
メール作成中などに▭（サイドボタン）
メール表示画面から電話をかける<電話発信>
1 受信メール表示画面▶◉▶⑦［電話発信］ ● 送信メール表示画面のとき：◉▶⑧［電話発信］ **2** ［はい］▶⊙▶⊙［発信］／ⓘ［テレビ電話］

お知らせ

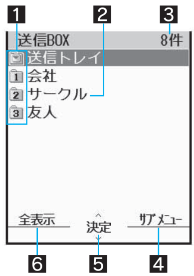
電話発信について
- あらかじめ電話帳にメールを送信された相手のメールアドレスと電話番号が１件目に登録されている場合、発信することができます。

BOX一覧画面の見かた

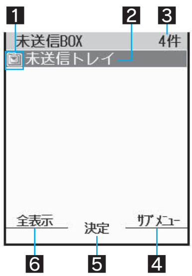
受信BOX一覧



送信BOX一覧



未送信BOX一覧



1 フォルダマーク
受信BOX一覧画面の場合、未読メールが保存されるとピンク色に表示されます。
- 1：作成されたフォルダ
  0～9のフォルダの場合、⓪～⑨を押すと、対応するフォルダのメール一覧画面が表示されます。
- ：メール連動型ｉアプリのフォルダ

2 フォルダ名
先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

次ページへ続く

3 ｉモードメール、SMSの総件数

4 ⓪を押すと、フォルダの作成や削除などができます。

5 ⦿を押すと、選択されたフォルダに保存されているｉモードメールとSMSの一覧が表示されます。

6 ⑧を押すと、保存されているすべてのｉモードメール、SMSの一覧が表示されます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうか選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に保存したｉモードメールやSMSをminiSDメモリーカードにコピーできます。（☞P.281）また、miniSDメモリーカードに保存されているｉモードメールやSMSを表示したり、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.282）

赤外線通信について

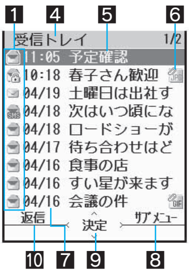
- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSのデータを赤外線通信で送信したり、赤外線通信でｉモードメールやSMSのデータを受信できます。（☞P.292）

FOMAカードについて

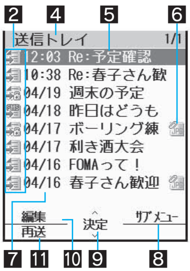
- FOMA端末（本体）に保存したSMSをFOMAカードやminiSDメモリーカードにコピーできます。（☞P.234）また、FOMAカードに保存されているSMSを表示したり、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.232）

メール一覧画面／表示画面の見かた

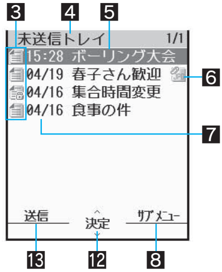
受信メール一覧



送信メール一覧



未送信メール一覧



1 受信メールの種類（保護の有無）

- ：未読ｉモードメール
- ：未読ｉモードメール（保護）
- ：既読ｉモードメール
- ：既読ｉモードメール（保護）
- ：未読SMS　　：未読SMS（保護）
- ：既読SMS　　：既読SMS（保護）
- ：FOMAカード未読SMS
- ：FOMAカード既読SMS
- ：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
- ：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護）
- ：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール
- ：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護）
- ：返信済み　　：返信済み（保護）
- ：転送済み　　：転送済み（保護）

［受信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［受信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

2 送信メールの種類（保護の有無）

- ：送信済みｉモードメール
- ：送信済みｉモードメール（保護）
- ：送信済みSMS
- ：送信済みSMS（保護）
- ：FOMAカード送信済みSMS
- ：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール
- ：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール（保護）

［送信トレイ］フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の［送信トレイ］内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

3 未送信メールの種類（保護の有無）

- ：未送信ｉモードメール
- ：未送信ｉモードメール（保護）
- ：未送信SMS
- ：未送信SMS（保護）

4 フォルダ名

先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

5 題名(題名のないメールは[無題]と表示されます。)
メールの題名が表示されます。先頭から全角7文字(半角14文字)まで表示されます。

6 データが付いているとき
- ：メロディが添付または貼り付けられています。
- (青色)　：GIF画像が添付されています。
- (青色)　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
- (ピンク)：大容量の画像ファイルが添付されています。
- ：動画／iモーションが添付されています。(送信メール／未送信メールのみ)
- ：大容量の画像ファイルがサーバーに保存されています。(受信メールのみ)
- ：iアプリToの情報が付いています。(受信メールのみ)

7 受信日時(受信メール)※／送信日時(送信メール)／保存日時(未送信メール)
当日の場合は時間、当日以外の場合は日付が表示されます。

8 ◎を押すと、iモードメールの移動や削除などができます。

9 ●を押すと、選択されたiモードメール表示画面やSMS表示画面が表示されます。

10 ⓘを押すと、選択されたiモードメールやSMSの編集画面が表示されます。

11 ✉を押すと、選択されたiモードメールやSMSが再送されます。

12 ●を押すと、選択されたiモードメールやSMSの編集画面が表示されます。

13 ⓘを押すと、選択されたiモードメールやSMSが送信されます。

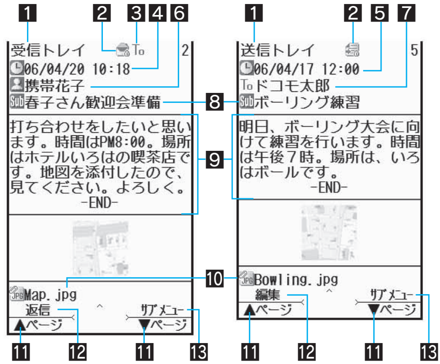
※お買い上げ時は、iモードセンターで受信した日時の新しい順に表示されます。(表示方法を変更することもできます。☞P.219)

- 受信SMSの場合は、相手によって、次のように表示されます。
  - ■ 相手の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合
    ....電話帳に登録されている名前
  - ■ 相手の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合
    ....[090(または080など)XXXXXXXX]
  - ■ 相手の電話番号が非通知の場合
    ....[非通知設定]
  - ■ 相手が公衆電話を利用して送信した場合
    ....[公衆電話]

お知らせ

- 大容量の画像ファイルまたは動画／iモーションが添付されているメールは、その添付ファイルをデータBOXから削除しても、受信／送信／未送信メール一覧画面では添付を示すアイコンが表示されます。

■受信メール表示　■送信メール表示



1 フォルダ名
文字サイズ設定により表示されます。
大きい文字　：全角5文字(半角11文字)
標準　　　　：全角7文字(半角15文字)
小さい文字　：全角9文字(半角18文字)

2 保護マーク
保護されているときに表示されます。

3 受信種別(To／Cc／Bcc)が表示されます。

4 受信日時(iモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。)

5 送信日時

6 送信元
送信種別(To／Cc:同報が設定されている場合に表示されます。)
- ：Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)
- ：Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)に表示されます。

7 宛先(送信先)
送信種別(To／Cc／Bcc)

8 題名

9 本文
文末には[-END-]が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

10 添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルがあるときに表示されます。
- ：メロディが添付または貼り付けられています。
- (青色)　：GIF画像が添付されています。
- (青色)　：10000バイト以下のJPEG画像が添付されています。
- (ピンク)：大容量の画像ファイルのJPEG画像が添付されています。
- ：iモーションのURLが記載されています。(受信メールのみ)
- ：動画／iモーションが添付されています。
- ：再生できない(壊れている)メロディが添付されています。

次ページへ続く

:再生できない(壊れている)GIF画像が添付されています。
(青色) :再生できない(壊れている)JPEG画像が添付されています。
(ピンク):再生できない(壊れている)大容量JPEG画像が添付されています。(送信メールのみ)
:再生できない(壊れている)iモーションが添付されています。(送信メールのみ)
:無効なデータが貼り付けられています。

11 ⓜを押すと前ページ、ⓘを押すと次ページを表示します。

12 ⓢを押すと、編集画面が表示されます。

13 ⓒを押すと、移動や削除などができます。(受信メールは転送もできます)

画面操作について:☞P.215「関連操作」

- 宛先または送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の名前が宛先の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレット登録(☞P.101)されている場合、名前は表示されません。シークレット登録した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード(☞P.136)を[ON]に設定してください。
- 受信メールの場合、画像が添付されているときは、画像が表示されます。

メールを管理する

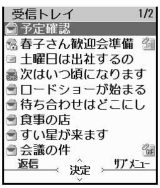
受信／送信／未送信のiモードメールやSMSは、フォルダに分けて管理したり、削除や表示順番を並べ替えることができます。

- フォルダは、それぞれ最大20個([受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型iアプリフォルダを含まず)作成することができ、フォルダ名を編集したり、削除できます。(ただし、[受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]は名前を編集したり、削除したりできません。)
- 保護設定したメールは全件削除では削除できません。

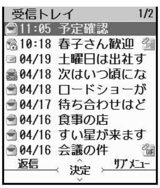
メール表示の切り替えについて

メール一覧画面で以下の５通りの表示に切り替えることができます。

- お買い上げ時は、[日時+題名表示]に設定されています。
- 表示切替は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに共通の設定です。



題名表示
(SMSは本文先頭文字)



日時+題名表示
(SMSは本文先頭文字)



名前表示
(電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスまたは電話番号)



日時+名前表示
(電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスまたは電話番号)



アドレス表示
(SMSは電話番号)

1 待受画面▶ⓜ▶①[受信BOX]

- 送信メールのとき:待受画面▶ⓜ▶②[送信BOX]
- 未送信メールのとき:待受画面▶ⓜ▶③[未送信BOX]

2 フォルダを選択▶●▶ⓒ▶⑤▶①[表示切替]▶表示方法を選択

メールの保護について

- 受信メールは受信SMSと合わせて最大500件、送信メールは送信SMSと合わせて最大100件、未送信メールは未送信SMSと合わせて最大100件まで保護できます。(ただし、メールのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。)

メールの削除について

- フォルダを削除した場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。

受信メール／送信メール／未送信メール

削除方法	説　明	操作できる画面
フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。保護されているiモードメール／SMSがある場合はフォルダ削除できません。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選択し、まとめて削除します。保護されているiモードメール／SMSがある場合はフォルダ削除できません。	

削除方法	説 明	操作できる画面
既読全件削除	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読ｉモードメール／SMSを削除します。	受信BOX一覧画面
未読全件削除	［受信トレイ］を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読ｉモードメール／SMSを削除します。	
全削除(フォルダ残)	フォルダは残して、すべてのフォルダ内の保護されていないｉモードメール／SMSを削除します。	受信／送信／未送信BOX一覧画面
全削除(フォルダ消)	すべてのフォルダと、保護されていないすべてのｉモードメール／SMSを削除します。保護されているメールが残ったフォルダは削除されません。	
フォルダ内既読削除	フォルダ内の保護されていないすべての既読ｉモードメール／SMSを削除します。	受信メール一覧画面
フォルダ内未読削除	フォルダ内の保護されていないすべての未読ｉモードメール／SMSを削除します。	
フォルダ内全件削除	フォルダ内の保護されていないすべてのｉモードメール／SMSを削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面
選択削除	保護されていない複数のｉモードメール／SMSを選択してまとめて削除します。	
1件削除	ｉモードメール／SMSを1件ずつ削除します。	受信／送信／未送信メール一覧画面、受信／送信メール表示画面

■メールの並べ替え（ソート）について

受信メールの表示方法

日付順(新→旧)	受信した日時が新しい順
日付順(旧→新)	受信した日時が古い順
アドレス順	送信元のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	上記送信メールの［題名順］と同様
保護メール優先※	保護メール→通常メールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※各項目内は「日付(新→旧)」の順で表示されます。

送信メール／未送信メールの表示方法

日付順(新→旧)	送信／保存した日時が新しい順
日付順(旧→新)	送信／保存した日時が古い順
アドレス順	宛先のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順
題名順	題名によって、半角文字(数字→英字大文字→英字小文字)→全角文字(ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字→数字→英字大文字→英字小文字)→半角カタカナの順(各文字種類内では、文字コード順)
保護メール優先※	保護メール→通常のメールの順
添付ありメール優先※	添付ありメール→添付なしメールの順

※各項目内は「日付(新→旧)」の順で表示されます。

関連操作

フォルダセキュリティを設定する＜フォルダセキュリティ＞

受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶◎▶①▶④［フォルダセキュリティ］▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿▶①［ON］

フォルダを作成する＜フォルダ新規作成＞

受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.215)▶◎▶①▶①［フォルダ新規作成］▶フォルダ名を入力▶⦿

フォルダ名を編集する＜フォルダ名編集＞

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶◎▶①▶②［フォルダ名編集］
2 フォルダ名を編集▶⦿
- フォルダ名を削除するとき：Ⓒ(1秒以上)

作成したフォルダを削除する＜削除＞

1 受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶◎▶②［削除］
2 ①［フォルダ1件削除］
- フォルダを選択し削除するとき：②［フォルダ選択削除］▶フォルダを選択⦿(くり返し可)▶◎［確定］

3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿▶［はい］▶⦿

フォルダの表示順を1つ上に移動する＜フォルダ移動(↑)＞

受信／送信／未送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶◎▶①▶③［フォルダ移動(↑)］

メールを別のフォルダに移動する＜移動＞

1 受信／送信／未送信メール一覧画面(☞P.216)▶メールを選択▶◎▶③▶①［移動］
2 ①［1件移動］
- フォルダ内で複数のメールを選択し、まとめて移動するとき：②［選択移動］▶メールを選択⦿(くり返し可)▶◎［確定］
- フォルダ内のすべてのメールを移動するとき：③［フォルダ内全件移動］

3 フォルダを選択▶⦿

次ページへ続く

関連操作
メール表示画面でフォルダに移動する＜1件移動＞
1 受信メール表示画面（☞P.217）▶◎▶⑤▶①［1件移動］ ● 送信メール表示画面のとき：◎▶⑥▶①［1件移動］ **2** フォルダを選択▶⊙
メールを保護する＜保護＞
1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.216）▶メールを選択▶◎▶①［保護］ ● 受信メール表示画面のとき：◎▶②［保護］ ● 送信メール表示画面のとき：◎▶③［保護］ **2** ①［ON］
メール一覧画面から1件ずつ削除する＜1件削除＞
受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.216）▶◎▶②▶①［1件削除］▶［はい］▶⊙
メールを1件ずつ削除する＜1件削除＞
1 受信メール表示画面（☞P.217）▶◎▶③［1件削除］ ● 送信メールを削除するとき：送信メール表示画面▶◎▶④［1件削除］ **2** ［はい］▶⊙
メールを選択して削除する＜選択削除＞
1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.216）▶◎▶②［削除］ **2** ②［選択削除］ **3** メールを選択⊙（くり返し可）▶◎［確定］▶［はい］▶⊙
メール一覧画面からすべてのメールを削除する＜フォルダ内全件削除＞
1 受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.216）▶◎▶②［削除］ **2** ⑤［フォルダ内全件削除］ ● 既読メールを全件削除するとき：③［フォルダ内既読削除］ ● 未読メールを全件削除するとき：④［フォルダ内未読削除］ ● 送信／未送信メールのとき：③［フォルダ内全件削除］ **3** 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙
すべてのメールを削除する＜全件削除＞
1 受信／送信／未送信BOX一覧画面（☞P.215）▶◎▶②［削除］ **2** ⑤［全削除（フォルダ残）］ ● 既読メールを全件削除するとき：③［既読全件削除］ ● 未読メールを全件削除するとき：④［未読全件削除］ ● フォルダごと全件削除するとき：⑥［全削除（フォルダ消）］ ● 送信BOX一覧画面／未送信BOX一覧画面のとき：③［全削除（フォルダ残）］ ● 送信BOX一覧画面／未送信BOX一覧画面でフォルダごと全件削除するとき：④［全削除（フォルダ消）］ **3** 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙

関連操作
iアプリフォルダ内のメールを削除する＜削除＞
1 受信／送信BOX一覧画面（☞P.215）▶iアプリフォルダを選択▶◎▶④［iモードメール閲覧］ ● 未送信BOX一覧画面のとき：iアプリフォルダを選択▶◎▶③［iモードメール閲覧］ **2** 1件削除のとき：メールを選択▶◎▶②▶①［1件削除］▶［はい］▶⊙ ● フォルダ内のメールをすべて削除するとき：◎▶②▶⑤［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙ ● 送信／未送信メールのとき：◎▶②▶③［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙ ● 既読メールを削除するとき：◎▶②▶③［フォルダ内既読削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙ ● 未読メールを削除するとき：◎▶②▶④［フォルダ内未読削除］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⊙▶［はい］▶⊙ ● メールを選択して削除するとき：◎▶②▶②［選択削除］▶メールを選択⊙（くり返し可）▶◎［確定］▶［はい］▶⊙
メールを並べ替える＜ソート＞
受信／送信／未送信メール一覧画面（☞P.216）▶◎▶⑤▶②［ソート］▶ソート方法を選択
受信メールの差出人のアドレスを表示する＜アドレス確認＞
受信メール一覧画面（☞P.216）▶メールを選択▶◎▶⑤▶③［アドレス確認］

お知らせ

フォルダの作成について
- FOMAカードにはフォルダを作成できません。
- フォルダ名は最大全角9文字（半角18文字）まで入力できます。
- メール連動型iアプリのフォルダ名は変更できません。

フォルダの削除について
- メールが保存されているフォルダも削除できます。
- フォルダを削除した場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。ただし、保護されているメールがある場合はフォルダを削除できません。
- メール連動型iアプリフォルダに対応したソフトがある場合、フォルダを削除できません。ソフトを削除してからフォルダを削除してください。また、対応したソフトがない場合、フォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOX一覧内に作成されたメール連動型iアプリフォルダのうち、いずれかを削除すると、他のメール連動型iアプリフォルダもすべて削除されます。

フォルダセキュリティについて
- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、フォルダのマークが［🔒］に変わります。
- フォルダセキュリティを［ON］に設定すると、メール一覧を表示するときに端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要になります。

お知らせ

- 受信トレイ、送信トレイ、未送信トレイのフォルダにフォルダセキュリティを設定すると、チャットメールを開いた場合、暗証番号を入力しないとチャットメールを閲覧することができません。

メールの移動について
- [受信トレイ]、[送信トレイ]、[未送信トレイ]、メール連動型ｉアプリフォルダの位置は変更できません。
- FOMAカード内のSMSはFOMAカード内では移動できません。
- 受信したメールは[受信トレイ]に保存されます。また、送信したメールは[送信トレイ]に保存されます。
  ただし、振分け条件設定の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 受信／送信したメールを、自動的にフォルダに振り分けることができます。(☞P.223)
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに自動的に作成されるフォルダに、すでに受信しているｉアプリメールを手動で振り分けることもできます。

メールの保護について
- FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。

メールの削除について
- まとめて削除したとき、保護されているｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSは削除されません。
- [全削除(フォルダ消)]を選択した場合、保護されていないｉモードメールやSMSは削除されますが、保護されているｉモードメールやSMSは削除されません。保護されているｉモードメールやSMSが保存されているフォルダは残ります。
- メール一覧画面からフォルダ内のメールをまとめて削除したときは、FOMAカード内のSMSも削除されます。
- ｉアプリのソフトによっては、フォルダ内からｉアプリメールが自動的に削除されることがあります。

ソートについて
- [受信トレイ]、[送信トレイ]の場合、ｉモードメール、FOMA端末(本体)のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- お買い上げ時は、受信／送信／未送信メールのいずれも、送信／保存(または受信)した日時が新しい順([日付順(新→旧)])に設定されています。
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、ⓒを押したり、[1件移動]または[1件削除]してメール一覧画面に戻った場合は、変更した状態が保持されます。

メール受信履歴・メール送信履歴

メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール(ｉモードメール、SMS)の履歴を、最新のものから受信／送信それぞれ30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、音声電話や、テレビ電話をかけたり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 同じ相手と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。
- 同報送信したメールアドレスは履歴に記憶されません。送信メール表示画面で、送信に成功した宛先を確認することができます。(☞P.200)
- メールアドレスは最大半角50文字まで表示されます。

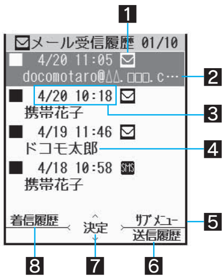
例：メール受信履歴を表示する場合

1 待受画面▶◯(✉)▶⑧[受信履歴]

- メール受信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、[メール受信履歴表示OFF設定中]と表示されます。
- メール送信履歴一覧画面を表示するとき：待受画面▶◯(✉)▶⑧[送信履歴]
- メール送信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、[メール送信履歴表示OFF設定中]と表示されます。

メール受信／送信履歴一覧画面の見かた

ここでは、メール受信履歴一覧画面で説明しています。



1 履歴の種類

✉：ｉモードメール
SMS：SMS
✉：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS(メール受信履歴)／送信を失敗したメール(メール送信履歴)

2 相手のメールアドレスまたは電話番号

3 受信日時(メール受信履歴)／送信日時(メール送信履歴)

4 相手の名前
(電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。)

次ページへ続く

5 サブメニュー表示
6 メール送信履歴表示
7 メール受信履歴／メール送信履歴詳細画面表示（⦿を押すと表示されます。）
8 着信履歴表示（メール送信履歴の場合は、リダイヤル表示）

メール受信／送信履歴詳細画面の見かた

ここでは、メール受信履歴詳細画面で説明しています。

● 表示するとき：メール受信／送信履歴一覧画面（☞P.221）▶メールを選択▶⦿（確認を終わるとき：⊖）



1 履歴の種類

✉：ｉモードメール
SMS：SMS
✉：返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

2 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）
3 相手の名前
（電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。）
4 相手のメールアドレスまたは電話番号
5 サブメニュー表示
6 メール作成画面表示（⦿を押すと表示されます。）

お知らせ

● メール受信履歴、メール送信履歴を表示しないように設定できます。（☞P.136）

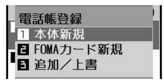
メール受信／送信履歴を利用してメールを送信する

1 メール受信／送信履歴詳細画面▶⦿［メール］

● ｉモードメールの履歴を選択して操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手のメールアドレスが入力されています。以降の操作について：☞P.199の操作3～4
● SMSの履歴を選択して操作した場合は、SMS作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の電話番号が入力されています。以降の操作について：☞P.231の操作３～４

メール受信／送信履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

1 登録する相手のメール受信／送信履歴詳細画面▶◎▶①［電話帳登録］



● メール受信履歴一覧画面で、履歴を選択し、◎▶①を押しても登録できます。
● ｉモードメールの履歴を選択して操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
● SMSの履歴を選択して操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

2 登録方法を選択

FOMA端末（本体）電話帳に新規登録	①
FOMAカード電話帳に新規登録	②
電話帳に追加／上書き登録	③▶名前を選択▶⦿

● 電話帳入力画面に、メールアドレスまたは電話番号が入力されています。電話帳登録の操作を続けます。（☞P.88、P.92）

メール履歴の削除について

ｉモードメールやSMSの履歴は、次のいずれかの方法で削除できます。

１件削除	メール受信履歴またはメール送信履歴を１件ずつ削除します。
全件削除	すべてのメール受信履歴、またはメール送信履歴を削除します。

関 連 操 作

メール作成中にメール受信／送信履歴から宛先を選択する

メール作成画面（☞P.199）▶［宛先］▶⦿▶③［メール送信履歴］／④［メール受信履歴］▶履歴を選択▶⦿▶⦿

メールの履歴を削除する<削除>

1 メール受信／送信履歴一覧画面（☞P.221）▶◎▶②［削除］
2 ①［１件削除］
● すべての履歴を削除するとき：②［全件削除］
3 ［はい］▶⦿

メールの履歴から電話をかける<電話発信>

1 メール受信／送信履歴一覧画面（☞P.221）▶◎▶③［電話発信］▶［はい］▶⦿
2 音声電話：⦿
● テレビ電話をかけるとき：ⓘ［テレビ電話］

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールの文字サイズを切り替える<文字サイズ設定>

お買い上げ時 標準

ディスプレイに表示されるｉモードメールやSMSの文字の大きさを[大きい文字]、[標準]、[小さい文字]に設定できます。

- リスト画面や、テンプレートから呼び出したデコメールのプレビュー画面では文字サイズは変わりません。

1 待受画面▶✉▶⊙▶②▶④[文字サイズ設定]▶文字サイズを選択

関連操作
メール表示画面で文字サイズを切り替える<文字サイズ設定>
1 受信メール表示画面(☞P.217)▶◎▶⊙▶①[文字サイズ設定] ● 送信メール表示画面のとき:◎▶⊙▶②[文字サイズ設定] 2 文字サイズを選択

メールを自動的にフォルダに振り分ける<振分け条件設定>

フォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- [受信トレイ]や[送信トレイ]、未送信BOXのフォルダに振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- 受信／送信BOXで、それぞれ最大25個(ｉアプリフォルダを含む)まで振り分けができ、1つのフォルダに最大10件まで振分け条件を設定できます。
- 通常のメールを、メール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の6つです。

アドレス(差出人)	差出人のメールアドレスで振り分けます。(受信メールのみ)
アドレス(差出人／同報)／アドレス(送信先／同報)	受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。
グループ	FOMA端末(本体)電話帳に設定されているグループで振り分けます。
題名	題名に含まれている文字列で振り分けます。
電話帳登録なし	FOMA端末(本体)電話帳に登録されていない相手からのメールを振り分けます。送信メールの場合、すべての宛先が電話帳に登録されていない場合のみ振り分けます。
全ての受信(送信)メール	すべての受信メール(または送信メール)を振り分けます。

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、[フォルダ1]が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。[グループ]では振分け対象外になり、[電話帳登録なし]では振分け対象になりますので、ご注意ください。[グループ]の対象にするには、シークレットモードを[ON]に設定してください。
- 指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します。(最大半角50文字)ただし、送信元がｉモード端末(mova含む)のアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- 相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 電話帳のPIMロック中は、[グループで振分け]と[電話帳登録なし]は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。

フォルダに振分け条件を設定する

1 受信／送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶◎▶③[振分け条件設定]

- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

2 登録先番号を選択▶振分け条件を設定

- 振り分け条件を編集するとき:設定済みの番号を選択▶振分け条件を選択▶[はい]▶⦿
- メール連動型ｉアプリフォルダに設定するときは、[メールはソフトで利用されます。設定しますか？]と表示されます。[はい]を選択し、⦿を押して振分け条件を設定します。[いいえ]を選択し、⦿を押すと、操作1の画面に戻ります。

受信メールを差出人のメールアドレスで振り分ける	[アドレス(差出人)]▶⦿▶入力方法を選択▶メールアドレスを選択／入力▶⦿ ●半角20文字分まで表示されます。
差出人または宛先と同報のメールアドレスで振り分ける	[アドレス(差出人／同報)]／[アドレス(送信先／同報)]▶⦿▶入力方法を選択▶メールアドレスを選択／入力▶⦿ ●半角20文字分まで表示されます。
グループで振り分ける	[グループ]▶⦿▶グループ名を選択 ●グループ名が表示されます。

次ページへ続く

題名に含まれる文字列で振り分ける	[題名]▶◉▶文字列を入力▶◉ ●最大全角15文字(半角30文字)まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分(半角20文字分)が表示されます。
FOMA端末(本体)の電話帳に登録していない相手からのメールを振り分ける	[電話帳登録なし]▶◉
すべての受信(送信)メールを振り分ける	[全ての受信メール]／[全ての送信メール]▶◉▶[はい]▶◉ ●[全ての受信(送信)メール]が[1]に設定されます。 ●[いいえ]を選択し、◉を押すと、指定した番号に設定されます。

● 複数の振分け条件を設定するとき：操作２をくり返す

3 ⓢ[完了]

お知らせ

● FOMAカード電話帳に登録してある相手からのメールは、[電話帳登録なし]のメールとして振り分けられます。
● ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。

設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除できます。

1 受信／送信BOX一覧画面(☞P.215)▶フォルダを選択▶ⓜ▶③[振分け条件設定]

2 振分け条件を選択▶ⓜ▶削除方法を選択

振分け条件を１件削除	①[１件削除]▶[はい]▶◉▶ⓢ[完了]
すべての振分け条件を削除	②[全件削除]▶[はい]▶◉▶ⓢ[完了]

ｉモードメールに署名を付ける＜署名登録＞

お買い上げ時 ON

署名を利用して自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。

● ｉモードメール作成時に、署名を自動的に貼り付けるように設定することもできます。
● 署名は１件のみ登録できます。
● チャットメールやSMSには署名を貼り付けることができません。

1 待受画面▶ⓜ▶◯▶②▶◯▶②[署名登録]

● すでに署名が登録されているときは、現在登録されている署名が表示されます。

2 署名を入力▶◉▶①[ON]

● 最大全角30文字(半角60文字)まで入力できます。
● 改行[↲]も入力できます。
● 新規メール作成時には、あらかじめ署名が[本文]に入力されます。

関 連 操 作
署名を削除
待受画面▶ⓜ▶◯▶②▶◯▶②[署名登録]▶Ⓒ(１秒以上)▶◉▶②[OFF]

ｉモード問い合わせの内容を設定する＜ｉモード問い合わせ設定＞

お買い上げ時 ｉモードメール、メッセージR、メッセージF:ON

ｉモード問い合わせをするかどうかを種類別(ｉモードメール、メッセージR／F)に設定できます。

1 待受画面▶ⓜ▶◯▶②▶⑥[ｉモード問い合わせ設定]▶種類を選択▶①[ON]／②[OFF]▶ⓢ[完了]

ｉモードメールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時 OFF

● メール選択受信設定を[ON]に設定した場合でも、ｉモード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくない場合には、問い合わせしたい項目からｉモードメールを外してご利用ください。(☞P.210)

1 待受画面▶ⓜ▶◯▶②▶⑧[メール選択受信設定]▶①[ON]▶[はい]▶◉

メールメンバーリストを作成する＜メールメンバー設定＞

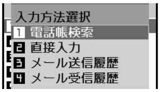
複数の宛先をメールメンバーに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先を指定できます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

● １つのメールメンバーにつき、最大５件のメールアドレスを登録できます。
● メールメンバーは、最大10件まで登録できます。
● 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については、通信料が増えます。)

メールメンバーにアドレスを登録する

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶①[メールメンバー設定]

2 登録先のメールメンバーの番号を選択▶登録先を選択



3 入力方法を選択▶メールアドレスを選択／入力▶◉



- すでに登録されている番号を選択したときは、入力方法選択画面で②[直接入力]以外を押すと、[上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選択し、◉を押すと、メールアドレスを選択できます。[いいえ]を選択し、◉を押すと、操作3の画面に戻ります。②[直接入力]を押したときは、アドレス入力画面が表示されます。
  メールアドレスを追加して登録するときは、登録先を選択し、◉を押して操作3をくり返します。

4 ⓘ[完了]

メールメンバーのメンバー名を編集する

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶①[メールメンバー設定]▶メールメンバーを選択▶📷▶①[メンバー名編集]



- メンバー名をリセットするとき：📷▶②[メンバー名1件リセット]▶[はい]▶◉メンバー名がお買い上げ時のメンバー名([メンバー1]～[メンバー10])に戻ります。

2 メンバー名を編集▶◉

- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- メンバー名を削除するとき：Ⓒ(1秒以上)

メールメンバーに登録されているメールアドレスを削除する

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶①[メールメンバー設定]▶メールメンバーを選択

2 メールアドレスを選択▶📷▶削除方法を選択

メールアドレスを1件削除	①▶[はい]▶◉▶ⓘ[完了]
メンバー内のすべてのメールアドレスを削除	②▶[はい]▶◉▶ⓘ[完了]

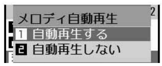
メロディを自動再生するかどうかを設定する＜メロディ自動再生＞

お買い上げ時　自動再生する

受信したｉモードメールやメッセージR／Fに添付または貼り付けられているメロディを、自動再生するかどうかを設定できます。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶③[メロディ自動再生]▶自動再生を設定

自動再生する	開封時に自動的に演奏します。
自動再生しない	開封時に自動的に演奏しません。



お知らせ

- [自動再生する]に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。

クイック返信メールの本文を設定する＜クイック返信メール設定＞

クイック返信(☞P.211)するときは、送信する本文をあらかじめ設定しておきます。

- 本文は全角250文字(半角500文字)以内で10件まで登録できます。
- お買い上げ時に登録されている本文は次のとおりです。

①	また後でかけ直します	⑥	よろしくお願い致します
②	OKです	⑦	キャンセルです
③	NGです	⑧	今忙しい
④	ありがとうございます	⑨	了解しました
⑤	ごめんなさい	○▶①	ちょっと待ってください

次ページへ続く▶▶

1 待受画面▶✉▶○▶②▶①[クイック返信メール設定]▶登録／編集する本文を選択

2 本文を編集▶◉

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<添付ファイル受信>

お買い上げ時　全添付ファイル

メールに添付されている画像やメロディを受信するかどうかを設定します。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶②[添付ファイル受信]▶添付ファイルの種類を選択

全添付ファイル	すべての添付ファイルを受信します。
画像のみ	画像は受信するがメロディは受信しません。
メロディのみ	メロディは受信するが画像は受信しません。
受信しない	添付ファイルを受信しません。

お知らせ

- 添付ファイル受信を[受信しない]に設定すると、受信し直すことはできません。添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんので、ご注意ください。
- メッセージR／Fの場合、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。
- メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは設定にかかわらず受信します。

操作中のメール受信の通知方法を設定する<メール受信表示設定>

お買い上げ時　通知優先

操作中にメールを受信した場合の通知方法を設定できます。

- 通話中、ｉアプリ実行中、カメラ起動中は、メール受信画面と受信結果は表示されません。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶⑤[メール受信表示設定]▶通知方法を選択

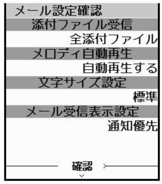
通知優先	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]や着信ランプなどが点灯し、メール着信音が鳴ります。
操作優先	メール受信時に、受信した[✉]、[R]、[F]、[SMS]などが点灯します。メール着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。

メールの設定状況を確認する<メール設定確認>

メールの設定状況を確認できます。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶⑦[メール設定確認]

- ページを切り替えるとき：○／○／○／○
- 確認を終わるとき：◉[確認]



メール機能の設定をリセットする<メール設定リセット>

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶⑧[メール設定リセット]

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶[はい]▶◉

お知らせ

- 署名登録、クイック返信メール設定、メールメンバー設定、SMSセンター設定、SMS有効期間設定、SMS本文入力設定の内容はリセットされません。

関連操作
メールをPIMロックする<PIMロック>
待受画面▶✉▶○▶②▶○▶⑨▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶①[ON]

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするようにメールを交換し、楽しむことができます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録しておく必要があります。
- チャットメールのメンバー設定画面に表示される自分のメールアドレスは、所有者情報と連動しています。(☞P.322)
- メンバーは自分を含め、最大6人まで登録できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、同報メール送信の場合と同じです。
- 相手がチャットメール非対応端末の場合、送信したチャットメールは題名が「チャットメール」(半角または全角)のメールとして相手に受信されます。
- 自分を含めて3人以上のメンバーとチャットメールを行う場合、自分だけでなく各メンバーが他のメンバーのメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要がありますので、チャットメールを行う前に、メンバーのメールアドレスを交換し合うことをおすすめします。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、チャットメールを起動できません。[OFF]に設定してからもう一度操作してください。(☞P.224)

チャットメンバーを設定する ＜メンバー設定＞

- チャットメールを使用する場合、事前にメンバーを登録する必要があります。

1 待受画面▶✉▶⑥[チャットメール]

- チャットメンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面(☞P.227)が表示されます。追加登録するときは◎▶④[メンバー設定]を押してメンバー設定画面を表示し、操作2に進みます。
- 受信／送信／未送信メールのフォルダのフォルダセキュリティが[ON]に設定されている場合は、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力するとチャットメールを起動できます。

2 ◎▶①[新規作成]▶入力方法を選択

電話帳から選択	①▶相手を選択▶◉ ●メールアドレスが登録されていないときは、[✉]、[📇]、[📇]、[📇]が表示されません。電話帳に登録されているメールアドレスのアイコンは最大3件まで表示されます。
直接入力	②▶メールアドレスを入力▶◉ ●半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。 ●記号入力(☞P.354)、インターネットに関連した定型文(☞P.354)を利用できます。
メール送信履歴から選択	③▶相手を選択▶◉(2回)
メール受信履歴から選択	④▶相手を選択▶◉(2回)
メールメンバー	⑤▶[はい]▶◉▶メールメンバーを選択▶ⓘ[完了] 指定したメールメンバーに置き換えられます。(メンバー設定完了) ●あらかじめメールメンバーを登録しておいてください。(☞P.224)

- シークレットコードを登録している相手とチャットメールをやりとりするときは、相手のシークレットコードをあらかじめ設定しておく必要があります。(☞P.88)
- 同じメールアドレスを重複して登録することはできません。

3 [👤]▶◉▶名前(チャット名)を入力▶◉

- 最大全角2文字(半角4文字)まで入力できます。

4 ⓘ[完了](2回)

- 続けてメンバーを登録するとき：ⓘ[完了](1回)▶◎▶①[新規作成]▶操作2～3をくり返す

■チャットメールのメンバーを登録／解除する

- メンバー設定画面で設定するメンバーを選んで◉を押します。☑は選択、□は解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。チャットメールを送るメンバーをすべて選んでⓘ[完了]を押します。

お知らせ

- チャットメール中は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXを表示することはできません。

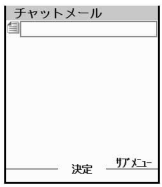
チャットメールの自動起動が設定されているとき(☞P.230)

- 題名に「チャットメール」(すべて半角またはすべて全角)が含まれるメールをメール一覧表示から開こうとしたとき、自動起動の確認画面が表示されます。

チャットメールを作成して送信する

1 待受画面▶✉▶⑥[チャットメール]

- メンバーが登録されていないときは、メンバー設定画面が表示されます。メンバーを登録してください。(☞P.227)
- 登録されているメンバーを確認するとき：◎▶④[メンバー設定]
送信メンバーに☑がついています。



チャットメール画面

次ページへ続く

2 ⦿ ▶ 本文を入力 ▶ ⦿

- 全角で250文字(半角500文字)入力できます。

3 Ⓘ[送信]

- ☑がついている宛先すべてに、チャットメールが送信されます。
- 送信に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。⦿[確認]を押すとチャットメール画面に戻り、失敗したチャットメールは赤色で表示されます。再送信するときは、もう一度操作2～3を行ってください。

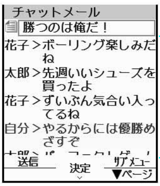
お知らせ

- 送信したチャットメールは送信トレイに保存されます。ただし、振分け条件設定の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- 送信に失敗したメールは、未送信トレイに保存されます。
- チャットメールには画像やメロディを添付できません。

チャットメールを受信する

チャットメール起動中にチャットメールを受信すると

チャットメール起動中、チャットメンバーから題名に「チャットメール」(すべて半角またはすべて全角)が含まれるメールを受信すると、受信チャットメール本文を最上段に表示します。(それ以外のメールを受信しても、チャットメールの画面では表示されません。)このとき、チャットメール着信音は鳴りません。



チャットメール本文(チャットメール表示部には、チャットメールが最新のものから最大50件まで表示されます。)

送信可能文字数は全角250文字(半角500文字)です。

- 1行ごとに上下にスクロールするとき：Ⓒ
- 1画面ごとに上下にスクロールするとき：Ⓜ／Ⓜ

お知らせ

- 受信したチャットメールは既読メールとして受信トレイに保存されます。ただし、振分け条件設定の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- チャットメールで受信したメッセージの中に電話番号、メールアドレス、URLが記載されていても、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能は利用できません。チャットメールを終了(☞P.229)して、受信トレイから受信したチャットメールを表示したときは、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が利用できます。
- 受信したチャットメールに添付ファイルがある場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。

チャットメール起動中以外でチャットメールを受信すると

- チャットメール着信音が鳴ります。
- メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、チャットメールは起動できません。

1 チャットメールを開く

チャットメールの確認画面が表示されます。

- 自動起動設定を[OFF]に設定しているときは、自動起動できません。
- 自動起動設定について：☞P.230
- 送信者がチャットメンバーに登録されているときは、[チャットメンバーです　チャットメールを起動しますか？]と表示されます。
- 送信者がチャットメンバーに登録されていないときは、[チャットメンバーに登録してチャットメールを起動しますか？]と表示されます。(メンバーがすでに6人登録されているときは、登録されません。)

2 [はい] ▶ ⦿

- 選択した受信メールの本文が最新のチャットメール本文として追加され、チャットメール画面が表示されます。(すでにチャットメール本文に追加されている受信メールを選択した場合は、同じ内容の本文が最新のチャットメールとして追加されます。)
- 登録が解除(☐)されていたときは、有効(☑)に切り替わり、チャットメール画面が表示されます。
- チャットメールを起動しないとき：[いいえ] ▶ ⦿
受信メール表示画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードメールで返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信できます。(☞P.211)
- チャットメール画面で表示される名前は、最大全角2文字(半角4文字)です。
- 名前が登録されていない場合、電話番号・メールアドレスの最初の4文字が表示されます。
- 送受信したメールは、新しい順に、最大50件まで表示できます。

関連操作
チャットメールを更新する<更新>
チャットメール画面 ▶ Ⓜ ▶ ②[更新]

チャットメールを終了する<チャットメール終了>

1 チャットメール中▶⊖／◎▶⑥［チャットメール終了］

「チャットメールを終了します。チャットメールを削除しますか？」と表示されます。

- 未送信のチャットメールは削除されます。
- チャットメールの本文やメンバー設定を編集中に⊖を押すと［編集中の内容が失われます終了しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、⦿を押すと、待受画面に戻ります。（送受信したチャットメールは保存されます。）

2 ［いいえ］▶⦿

- チャットメールを削除して終了するとき：［はい］▶⦿

お知らせ

- チャットメールを削除せずにチャットメールを終了すると、次回チャットメールを起動したときは、前回のチャットメールが表示されます。

受信メールからチャットメールを開始する<チャットメール起動>

- 受信メールからチャットメールを起動できます。ただし、デコメールとSMSからは起動できません。
- メール選択受信設定を［ON］に設定しているときは、チャットメールを起動できません。

1 待受画面▶⊠▶①［受信**BOX**］

2 フォルダを選択▶⦿▶ｉモードメールを選択▶◎▶⑥［チャットメール起動］▶［はい］▶⦿

- 以降の操作について：☞P.228の操作２～３

お知らせ

- 送信元が返信不可のメールアドレスの場合、チャットメールを起動できません。

チャットメールの宛先を確認する<最新メール宛先確認>

受信した最新のチャットメールの宛先と現在のチャットメンバーを確認できます。
チャットメンバーに設定されていないアドレスをメンバーに登録したり解除することもできます。

1 待受画面▶⊠▶⑥▶◎▶③［最新メール宛先確認］

- 設定済みのメンバーと、未設定のメンバーに分かれて表示されます。

2 ⓢ［設定］▶メンバーを選択▶⦿

- ☑は選択、□は解除の状態です。
- 切り替えるとき：⦿
- メンバーは５人まで選択することができます。



3 ⓢ［完了］

- メンバーが再設定され、チャットメール画面に戻ります。

メンバーを編集する

チャットメンバーの名前とアドレスを編集できます。

- 自分のメールアドレスは編集できません。

1 待受画面▶⊠▶⑥▶◎▶④［メンバー設定］

2 メンバーを選択▶◎▶②［編集］

3 名前／メールアドレスを編集▶ⓢ［完了］（２回）

- 詳しくは：☞P.227の操作３～４

メンバーを削除する

- 自分は削除できません。

1 待受画面▶⊠▶⑥▶◎▶④［メンバー設定］

2 メンバーを選択▶◎▶③［削除］▶削除方法を選択



メンバーを１件削除	①▶［はい］▶⦿▶ⓢ［完了］
すべてのメンバーを削除	②▶［はい］▶⦿▶ⓢ［完了］

お知らせ

- メンバーを削除しなくても、メンバー設定画面で☑を□にすると、チャットメールを送信しません。

チャットメールを削除する <チャットメール削除>

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールを削除します。

- 受信メールフォルダ／送信メールフォルダ／未送信メールフォルダ内のデータも削除されます。
- 保護されているメールは、メールフォルダから削除されません。

1 待受画面▶✉▶⑥▶ⓘ▶⑤[チャットメール削除]▶[はい]▶⊙

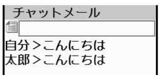
お知らせ

- チャットメールを1件ずつ削除する場合は、通常のｉモードメールと同様の方法で削除してください。(☞P.219)

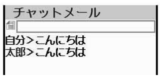
チャットメール画面の文字サイズを切り替える<文字サイズ切替>

お買い上げ時 標準

1 待受画面▶✉▶⑥▶ⓘ▶⑦[文字サイズ切替]



標準



小さい文字

チャットメールを自動的に起動するかどうかを設定する <自動起動設定>

お買い上げ時 ON

題名に「チャットメール」(すべて半角またはすべて全角)が含まれている受信メールを開くときに、チャットメール画面を自動的に開くかどうかを設定します。

1 待受画面▶✉▶⑥▶ⓘ▶⑧[自動起動設定]▶①[ON]

- 設定を解除するとき：②[OFF]



SMS作成・送信

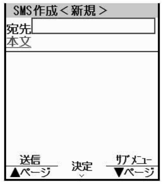
SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

SMSを新規に作成して、送信します。

- SMSの宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文に入力できる文字数は、SMS本文入力設定により異なります。(☞P.234)
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面▶✉▶⑤[新規SMS作成]

- [未送信BOX がいっぱいのため起動できません]が表示されたときは、SMSを作成できません。送信メールや未送信メールの保護を解除するか、未送信メールを削除してください。(☞P.220)



2 [宛先]▶⊙▶入力方法を選択

電話帳から選択	①▶相手を選択▶⊙ ●電話番号が20桁を超える場合、超えた部分は削除されます。
直接入力	②▶宛先を入力▶⊙ ●電話番号(最大20桁まで)を入力します。 ●[+]を入力するとき：⓪(1秒以上) [+]を入力した場合は、合計21桁まで入力できます。 ●宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、[+](⓪を1秒以上押す)、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、[010]、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、[010]を入力して海外に返信してください。)
メール送信履歴から選択	③▶相手を選択▶⊙(2回)
メール受信履歴から選択	④▶相手を選択▶⊙(2回)

メール

SMS作成・送信

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

3 [本文]▶⦿▶本文を入力▶⦿

- SMS本文入力設定を[日本語(70文字)]に設定している場合は、全角・半角を問わず最大70文字まで入力できます。
  [英語(160文字)]に設定している場合は、半角英数字のみを最大160文字まで入力できます。
- 改行[↲]は、[日本語(70文字)]に設定している場合は1文字、[英語(160文字)]に設定している場合は2文字としてカウントされます。スペース(空白)は1文字としてカウントされます。
- [英語(160文字)]に設定している場合、[ ] ^ | { }は、本文入力画面では半角1文字としてカウントされますが、送信するときに全角1文字としてカウントされるため、本文入力画面で160文字以内でも[送信できませんでした]と表示され、送信されないことがあります。

4 送信:ⓘ[送信]

送達通知を設定して送信	ⓜ▶③[SMS送達通知設定]▶①[要求する]/②[要求しない]▶ⓘ[送信]
有効期間を設定して送信	ⓜ▶④[SMS有効期間設定]▶有効期間を選択▶ⓘ[送信]

- 送信が完了すると、[送信完了しました]と表示されます。

お知らせ

- 宛先入力では、[+]は先頭でのみ有効となります。
- 電波状況などにより、送信できない場合があります。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSはｉモード契約をしていなくても送信できます。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信できます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存できます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。
- 送信時に設定した送達通知や有効期間は、メール設定のSMS送達通知設定やSMS有効期間設定には反映されません。

編集中に電話がかかってくると

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

ダイヤル発信制限中は

- ダイヤル発信制限中は、電話帳に登録されている宛先以外へSMSを送ることはできません。

「184」/「186」を付けたとき(☞P.46)

- 宛先の先頭に「186」を付けると、SMSを送信できません。「184」を付けた場合は、SMSが送信されますが、発信者番号も通知されます。

SMS(ショートメッセージ)を保存しておき、あとで送信する <SMS保存>

SMSの作成中に操作を中断するときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末(本体)に一時保存できます。また、保存したSMSを編集して送信することもできます。

- SMSの作成について:☞P.230
- 未送信SMSと送信SMSはｉモードメールと合わせて、それぞれ最大200件まで、FOMA端末(本体)に保存できます。

未送信SMSを保存する

SMSの作成中(☞P.230の操作1～3)▶ⓜ▶②[保存]

作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

お知らせ

- SMS作成中に⊖を押すと、終了確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、SMSの作成を中止できます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。

保存したSMSを編集・送信する

1 待受画面▶✉▶③[未送信BOX]▶フォルダを選択▶⦿▶SMSを選択▶⦿

2 項目を選択▶⦿▶編集▶ⓘ[送信]

- 新規作成時と同様に編集できます。詳しくは:☞P.230の操作2～3
- 送信したSMSは[送信トレイ]に保存されます。ただし、振分け条件設定(☞P.223)の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

お知らせ

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末(本体)やFOMAカードに保存したSMSをminiSDメモリーカードにコピーできます。(☞P.281)また、miniSDメモリーカードに保存されているSMSを表示したり、FOMA端末(本体)にコピーできます。(☞P.283)

送信したSMSを編集・再送する

1 待受画面▶✉▶②[送信BOX]

2 フォルダを選択▶⦿▶SMSを選択▶⦿

次ページへ続く

3 編集・再送

編集	1 ⑧［編集］／◎▶① 2 SMS編集▶⑧［送信］ ●新規作成時と同様に編集できます。詳しくは：☞P.230の操作2～3
再送	◎▶②

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

- 受信SMSはｉモードメールと合わせて最大100～1000件までFOMA端末（本体）に保存できます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）

1 SMSが届くと、自動的に受信



- 受信終了後、SMSの受信結果が表示され、SMS着信音が鳴ります。（［SMS］表示）
- 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.223）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。

待受画面に表示されるマークの意味

SMS（赤文字）：未読SMSがあります。

✉SMS：未読ｉモードメールと未読SMSの両方があります。

✉：FOMA端末（本体）の受信ｉモードメールやSMSがいっぱいです。

SMS（青文字）：FOMAカード内のSMSがいっぱいです。

✉（赤色）：FOMA端末（本体）の受信ｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSがいっぱいです。

2 受信結果画面▶［メール］▶⦿

- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ると［新着メールあり　○件］と表示されます。

3 フォルダを選択▶⦿▶SMSを選択▶⦿

- 受信SMSの見かたについて：☞P.232

お知らせ

- SMS着信音は変更できます。（☞P.104）
- FOMAカード内のSMSは上書きされません。
- FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーできます。ただし、SMS送達通知はコピーできません。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。
- SMSのみでFOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、新規にSMS受信できません。［本体内の容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません］または［FOMAカード（UIM）の容量がいっぱいです　空きがないためこれ以上受信できません］と表示された場合は、FOMA端末（本体）とFOMAカード内の受信SMSを削除してください。

待受中以外の状態で受信したとき

- メール受信表示設定を［通知優先］に設定している場合、SMS着信音が鳴り、ディスプレイに［SMS（赤文字）］と受信完了画面が表示されます。

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる＜SMS問い合わせ＞

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面▶✉▶⑧［SMS問い合わせ］



- 右の画面が表示されたあと、センターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

お知らせ

- SMSのみでFOMA端末（本体）とFOMAカードの容量がいっぱいの場合は、それ以上SMSを受信できません。不要なSMSを削除する、または保護を解除してください。読んだり、保護を解除したSMSは、受信時に古いものから上書きされます。（☞P.232）
- 問い合わせをしたあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

受信したSMS（ショートメッセージ）を見る＜受信SMS表示＞

受信したSMSを表示します。

- 受信したSMSは［受信トレイ］に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.223）の条件に合致していた場合は、設定したフォルダに保存されます。
- FOMAカードにコピーした受信SMSも［受信トレイ］に保存されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

1 待受画面▶Ⓜ▶①[受信BOX]

- 受信BOX一覧画面で未読のｉモードメールやSMSがある場合、そのフォルダはピンク色で表示されます。
- フォルダ一覧の見かた(☞P.215)
- 送信SMSを表示するとき：待受画面▶Ⓜ▶②[送信BOX]
- 未送信SMSを表示するとき：待受画面▶Ⓜ▶③[未送信BOX]

2 フォルダを選択▶⦿▶**SMSを選択**▶⦿

- 受信／送信メール一覧画面／表示画面の見かた(☞P.216)
- FOMAカード内の受信SMSを表示するときは、[受信トレイ]を選択して⦿を押し、SMSを選択し、⦿を押します。[受信トレイ]には、FOMA端末(本体)内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。マークで区別してください。
- FOMAカード内の送信SMSを表示するときは、[送信トレイ]を選択して⦿を押し、SMSを選択し、⦿を押します。
- 表示を終わるとき：⊖



SMS表示画面

受信したSMS(ショートメッセージ)に返信する<SMS返信>

SMSに返信できます。

1 SMS表示画面▶Ⓜ▶①▶①[返信]▶**SMSを作成**▶Ⓜ[送信]

- 本文の文字数は、送ってきた相手のSMSの設定(文字数の設定)に従います。
- 詳しくは：☞P.230の操作2〜3

お知らせ

- SMSはクイック返信できません。
- 送信元が非通知設定、公衆電話、通知不可のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSに返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末(本体)に保存されます。
- 送信元がドコモ以外の海外通信事業者の場合、宛先の先頭に[＋]が自動的に入力されます。

受信したSMS(ショートメッセージ)を転送する<SMS転送>

1 SMS表示画面▶Ⓜ▶①▶④[転送]▶**SMSを作成**▶Ⓜ[送信]

- 詳しくは：☞P.230の操作2〜3

SMS設定

SMS(ショートメッセージ)の設定を行う

SMS(ショートメッセージ)センターの設定をする<SMSセンター設定>

お買い上げ時 「ドコモ」(ドコモのSMSセンター)

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面▶Ⓜ▶○▶②▶○▶③[**SMSセンター設定**]



2 ②[ユーザ設定]▶**SMSセンターのアドレスを入力**▶⦿

- アドレスは最大20桁まで入力できます。

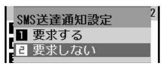
3 ①[**International**]／②[**Unknown**]

相手に届いたら通知を受け取る<SMS送達通知設定>

お買い上げ時 要求しない

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。

1 待受画面▶Ⓜ▶○▶②▶○▶④[**SMS送達通知設定**]



2 送達通知を受け取るかどうかを選択

要求する	SMS送達通知を受け取ります。
要求しない	SMS送達通知を受け取りません。

お知らせ

- SMS送達通知はSMSで届きます。
- SMS送達通知は、SMSごとに設定することもできます。
- SMS送達通知単独ではFOMAカードやminiSDメモリーカードへコピー、赤外線送信することはできません。

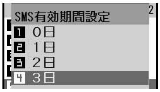
SMS（ショートメッセージ）に有効期間を設定する<SMS有効期間設定>

お買い上げ時　3日

送信するSMSにSMSセンターで保管する期間を設定できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶⑤［**SMS有効期間設定**］



2 期間（0～**3**日）を選択

お知らせ

- 有効期間設定は、SMSごとに設定することもできます。

本文に入力できる文字を設定する<SMS本文入力設定>

お買い上げ時　日本語（70文字）

SMSの本文に入力できる文字の種類を設定できます。

- FOMAカードが挿入されていない場合は設定できません。

1 待受画面▶✉▶○▶②▶○▶⑥［**SMS本文入力設定**］

2 入力する文字の種類を選択

日本語（70文字）	日本語、半角英数字を入力
英語（160文字）	半角英数字を入力

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。
FOMAカードには、受信SMS、送信SMS合わせて最大20件まで保存できます。

- あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）のSMSを、FOMAカードにコピーします。

例：受信SMSの場合

1 待受画面▶✉▶①［受信**BOX**］▶フォルダを選択▶◉

- 受信したSMS送達通知はコピーできません。
- 送信SMSのとき：待受画面▶✉▶②［送信BOX］▶フォルダを選択▶◉
- SMS表示画面からコピーするとき：SMS表示画面▶◎▶⑤▶④［FOMAカードへコピー］（送信SMSのとき：◎▶⑥▶④［FOMAカードへコピー］）

2 **FOMA**端末（本体）内の**SMS**を選択▶◎▶③▶③［**FOMA**カードへコピー］

- FOMA端末（本体）のSMSを選択した場合、サブメニューに［FOMAカードへコピー］が表示されます。

マークの意味

- ：FOMA端末（本体）の未読SMS
- ：FOMAカードの未読SMS
- ：FOMA端末（本体）の未読SMS（保護）
- ：FOMAカードの既読SMS
- ：FOMA端末（本体）の既読SMS
- ：FOMAカードの送信済みSMS
- ：FOMA端末（本体）の既読SMS（保護）
- ：FOMA端末（本体）の送信済みSMS
- ：FOMA端末（本体）の送信済みSMS（保護）

3 コピー方法を選択

SMSを1件コピー	①▶［はい］▶◉
SMSを選択してコピー	②▶SMSを選択◉（くり返し可）▶◎［確定］▶［はい］▶◉

- 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

お知らせ

- 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
- 上書きコピーはできません。
- FOMAカードの最大保存件数を超えると、コピーが中止されます。
- 送信SMSをFOMAカードにコピーすると、それに対応するSMS送達通知もFOMAカードにコピーされます。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末（本体）にコピーする

例：受信SMSの場合

1 待受画面▶✉▶①［受信BOX］▶［受信トレイ］フォルダ選択▶●
- 送信SMSのとき：待受画面▶✉▶②［送信BOX］▶［送信トレイ］フォルダを選択▶●
- SMS表示画面からコピーするとき：SMS表示画面▶◎▶⑤▶④［本体へ１件コピー］（送信SMSのとき：◎▶⑥▶④［本体へ１件コピー］）

2 FOMAカード内のSMSを選択▶◎▶③▶③［本体へコピー］
- FOMAカードのSMSを選択した場合、サブメニューに［本体へコピー］が表示されます。

マークの意味
- ：FOMAカードの未読SMS
- ：FOMAカードの送信済みSMS
- ：FOMAカードの既読SMS

3 コピー方法を選択

SMSを１件コピー	①▶［はい］▶●
SMSを選択してコピー	②▶SMSを選択●（くり返し可）▶◎［確定］▶［はい］▶●

- 受信SMSは［受信トレイ］に、送信SMSは［送信トレイ］にコピーされます。

お知らせ
- 上書きコピーはできません。
- FOMA端末（本体）の最大保存件数（受信SMSはｉモードメールと合わせて最大1000件、送信SMSは最大200件）を超えると、コピーが中止されます。

SMS削除

SMS（ショートメッセージ）を削除する

例：受信SMSの場合

1 待受画面▶✉▶①［受信BOX］▶フォルダを選択▶●
- FOMA端末（本体）のSMSとFOMAカード内のSMSはマークで区別します。
- SMS表示画面から削除するとき：受信SMSは◎▶③［１件削除］（送信SMSは◎▶④［１件削除］）

2 SMSを選択▶◎▶②［削除］▶①［１件削除］▶［はい］▶●

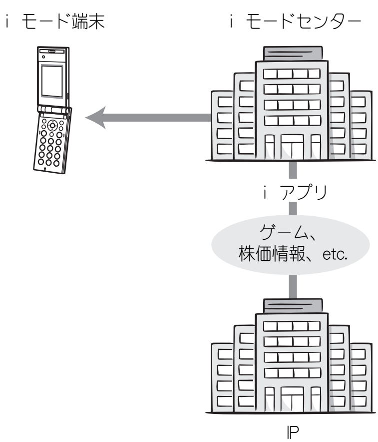
お知らせ
- 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面から、SMSをまとめて削除できます。（☞P.218、P.220）

▶MEMO◀

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末(以下、ｉモード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。
さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。



- ｉアプリをダウンロードするには☞P.239
- ｉアプリを実行するには☞P.240
- ｉアプリを自動実行するには☞P.245
- ソフトによっては、ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。
(☞P.240)

登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新の着信履歴参照
- 着信音保存
- データBOXからの画像取得
- 電話帳参照
- ブックマーク登録
- メールメニューの利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更(電話、メール、メッセージ)
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR／F受信)

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。
  通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻設定が必要です。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。（☞P.246）

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。（☞P.245）

カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。（☞P.249）

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます。（☞P.249）

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。（☞P.293）

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

バーコードリーダー

ソフトからｉモード端末のカメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることができます。（☞P.249）

ダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードする

ｉモードサイトなどからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

- ソフトは最大100件まで保存できます。（ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

1 ｉモードサイトなどを表示中（☞P.168の操作１～３）▶ソフトを選択▶◉

ｉアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

[ソフトを起動しますか？]が表示されたとき	[はい]▶◉ ● ソフトによっては、ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト実行後、終了時に保存するかどうかを選択できます。
FOMA端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているとき	[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました　上書きしますか？]▶[はい]▶◉▶ソフトを選択◉（くり返し可）▶ⓜ[完了]
ダウンロードを中止するとき	[ダウンロード中]表示中▶ⓜ[中止]

- 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのとき：[異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか？]と表示▶[はい]▶◉▶上書きされる

お知らせ

- 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、ｉアプリは登録されません。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- 通信設定を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。
- ダウンロード開始前に[このソフト（ｉアプリDX）は登録データと携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用します。（利用することがあります。）ダウンロードしますか？]または[このソフト（ｉアプリDX）は登録データを利用します。（利用することがあります。）ダウンロードしますか？]または[このソフトは携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用します。ダウンロードしますか？]が表示される場合があります。[はい]を選択すると、ダウンロードを開始します。なお、[登録データ]を選択すると、利用する登録データの一覧が確認できます。
- SSL対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- ｉアプリのPIMロック中に、ｉアプリダウンロードを行うと、暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、PIMロックは一時解除され、ダウンロードできます。

次ページへ続く

お知らせ

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード(バージョンアップ)が開始されます。

メモリエリアについて

- データBOXとｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリのソフトが保存できない場合があります。
- 保存できるｉアプリのファイルサイズは、ソフト１件あたり最大250Kバイトです。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、最大５個まで保存できます。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、すでに受信しているｉアプリメールを自動的に作成されたフォルダに振り分けることができます。また、手動での振り分けも可能です。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。

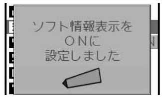
  メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかどうかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがある場合はフォルダの削除はできません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて◎を押し、[ｉモードメール閲覧]を選択し、⦿を押すと、メール本文を確認することができます。
- メールのPIMロック中(☞P.134)は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールのPIMロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メールのPIMロック中、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

ダウンロード開始時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定できます。

1 待受画面▶⑧(１秒以上)▶③[ソフト情報表示設定]▶①[ON]

ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。



ｉアプリ実行

ｉアプリを実行する

FOMA端末に保存されているｉアプリを実行(起動)します。

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.241)で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。
- ショートカットメニューにソフトを登録することもできます。(☞P.320)

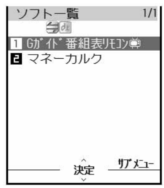
1 待受画面▶⑧(１秒以上)

- TOPメニューから(ｉアプリ)で選択することもできます。
- 待受画面で⑧を２回押してもｉアプリ画面が表示されます。

2 ①[ソフト一覧]

FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。

選択しているソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。



ソフト一覧画面

マークの意味

- ：ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
- ：自動起動の機能を持ったソフト
- ：SSL通信でダウンロードしたソフト
- ：ｉアプリDXのソフト
- ：メール連動型ｉアプリのソフト
- ：ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
- ：自動起動が設定されているソフト
- ：通信する機能を持ったソフト

3 実行するソフトを選択

ｉアプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動します。

- ソフトを終了するとき：ソフト実行中▶⊖▶[はい]▶⦿



お知らせ

- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行(起動)できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中に音声電話またはテレビ電話がかかってくるとソフトは中断され、電話を切ると再開します。ｉアプリのソフトによっては、電話がかかってきたときにソフトを終了するものもあります。
- ソフト実行中にスケジュールやアラームの時刻になると、ソフトは中断され、スケジュールやアラームの通知画面が表示されます。スケジュールやアラームの通知画面を終了すると再開されます。ｉアプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各フォルダ一覧からｉアプリメール用フォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  3Dポリゴンは、多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。(通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。)
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

ｉアプリ音量設定について

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

関連操作

ショートカットメニューから起動する

待受画面▶⦿▶ⓘ[切替]でショートカットメニューを表示▶ソフトを選択▶⦿

音量を調節する＜ｉアプリ音量設定＞

待受画面▶ⓘ(１秒以上)▶②[ｉアプリ音量設定]▶◓(上げる)／◒(下げる)▶⦿

関連操作

ソフトの情報を表示する＜ソフト情報表示＞

ソフト一覧画面(☞P.240)▶ソフトを選択▶ⓜ▶①[ソフト情報表示]

- 証明書を確認するとき：ソフト情報表示画面▶ⓜ[証明書]
- 確認を終了するとき：⦿[確認]

お知らせ

ショートカットメニューについて

- よく使うｉアプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります。(☞P.320)

ソフト情報表示について

- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。
- 証明書を確認できるのは、SSL対応サイトからダウンロードしたソフトです。

通信を行うかどうかを設定する ＜通信設定＞

お買い上げ時　通信する

ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は[通信する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞**P.240**)▶ソフトを選択▶ⓜ▶⑥[ソフト利用設定]

2 [通信設定]▶⦿▶通信するかどうかを選択

通信する	通信します。
通信しない	通信しません。
起動ごとに確認	ｉアプリが起動するたびに確認します。

3 ⓘ[完了]

お知らせ

- 通信設定を[通信しない]に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。(「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照してダウンロードした画像です。)

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する＜アイコン情報設定＞

ｉアプリ実行中、未読のメール・メッセージR／Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。

- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。

1 ソフト一覧画面（☞P.240）▶ソフトを選択▶◎▶⑥［ソフト利用設定］

2 ［アイコン情報設定］▶◉▶①［利用する］▶⑧［完了］

お知らせ

- アイコン情報が必要なソフトの場合、［利用しない］に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を［利用する］に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する＜電話帳／履歴参照＞

ｉアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。［許可する］に設定した場合、ｉアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。

- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。

1 ソフト一覧画面（☞P.240）▶ソフトを選択▶◎▶⑥［ソフト利用設定］

2 ［ソフトからの電話帳／履歴参照を］▶◉▶①［許可する］▶⑧［完了］

お知らせ

- ［許可しない］に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する＜着信音／画像変更＞

ｉアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。［許可する］に設定した場合、ｉアプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

1 ソフト一覧画面（☞P.240）▶ソフトを選択▶◎▶⑥［ソフト利用設定］

2 ［ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更を］▶◉▶①［許可する］

- 変更を許可しないとき：②［許可しない］▶操作4に進む

3 ［変更ごとに確認画面を］▶◉▶①［表示する］

- 確認画面を表示しないとき：②［表示しない］

4 ⑧［完了］

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。
［ｉMenu］▶［メニューリスト］▶［ケータイ電話メーカー］▶［SH-MODE］

サイト接続用QRコード

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®などを知ることができます。また、テレビのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります。)



メイン画面

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
※はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
※別途パケット通信料がかかります。
※詳しくは、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面(☞P.240)▶[Gガイド番組表リモコン]▶⦿
初回起動時は、初期設定画面が表示されます。

2 郵便番号、生まれた年や性別などを入力

3 ◎[設定]
利用規約画面が表示されます。

4 規約に同意するとき：[はい]▶⦿
通信後、⦿[OK]を押すとメイン画面とお知らせが表示されます。

番組情報の表示

● 番組情報を切り替える

メイン画面には番組情報や広告が表示されます。番組情報の部分を選択しているときに、◯を押すとチャンネルを選択できます。◯を押すと、時間帯を切り替えられます。⦿を押すと番組情報が表示されます。このとき、リモコン登録およびリモコンチャンネル設定がされている場合は、赤外線送信されます。

● メイン画面での共通操作

使い方画面を表示※1	◎
メニューを表示※2	◎

※1　リモコンの設定をしている場合に表示できます。
※2　番組表を選択している場合に表示できます。

● 広告表示での操作

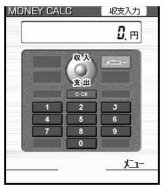
広告部分を選択すると、登録されている文字情報が吹き出しで表示されます。⦿を押すと、広告に設定されている機能(Phone To機能、Mail To機能、Web To機能)を起動できる場合があります。

関 連 操 作
番組詳細情報を表示する
メイン画面▶◎[メニュー]▶[番組詳細]▶⦿
視聴チャンネルの設定を行う
メイン画面▶◎[メニュー]▶[視聴チャンネル]▶⦿▶⦿▶チャンネルを選択⦿(くり返し可)▶◎[Close]▶◎[設定]▶⦿
リモコン登録を行う
メイン画面▶◎[メニュー]▶[リモコン登録]▶⦿▶⦿▶登録機器のメーカーを選択▶⦿▶◎[設定]▶⦿
初期化する
メイン画面▶◎[メニュー]▶[初期化]▶⦿▶⦿▶[はい]▶⦿▶⦿
リモコンチャンネルの設定を行う※
メイン画面▶◎[メニュー]▶[リモコンチャンネル設定]▶⦿▶チャンネルを入力▶◎[設定]▶⦿
最新の番組表に更新する
メイン画面▶◎[メニュー]▶[最新に更新]▶⦿▶[はい]▶⦿▶⦿

※リモコン登録を行った状態でないと実行できません。

マネーカルク

入力金額の項目を分類して積算するだけでなく、収入・支出別の入力ができます。期間を設定したり、項目別に表示させることもできます。また、通貨換算、単位換算、割勘電卓などの便利な機能も使用することができます。



収支入力画面
©SHARP

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面▶[マネーカルク]▶⦿
ソフトが起動し、収支入力画面が表示されます。

収支を入力する

1 ダイヤルボタンで金額を入力

2 収支の項目を選択

収入	◯
支出	◯

3 項目を選択▶◉

明細追加画面が表示されます。

4 ◉[OK]

収支入力画面に戻ります。

収支明細を確認する

1 収支入力画面▶◎[メニュー]▶[収支明細]▶◉

- 複数ページがあるときは、◐／◑でページを切り替えることができます。



収支明細画面

関連操作
明細を修正／追加する
1 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[明細修正]または[明細追加]▶◉ 2 [日時]▶日時を修正▶[項目]▶◉▶項目を選択▶◉▶[金額]▶金額を修正▶[収支]▶◐◑で収入／支出を選択▶[OK]▶◉▶◉ ● 金額の修正は、直接ダイヤルボタンで入力するか、◐／◑で行います。 ● 修正／追加をしない場合は、[Cancel]を選んで◉を押します。
明細を削除する
■1件削除 収支明細画面▶削除する明細を選択▶ⓢ[変更]▶[明細削除]▶◉▶[1件削除]▶◉▶[OK]▶◉▶◉ ■全件削除／前月まで削除 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[明細削除]▶◉▶[全件削除]／[前月まで削除]▶◉▶[OK]▶◉▶◉ ●「データがありません」と表示されたときは、◉を押すと収支明細画面が表示されます。 ■選択削除 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[明細削除]▶◉▶[選択削除]▶◉▶削除する項目を選択◉(くり返し可)▶◎[削除]▶[OK]▶◉▶◉
表示期間を設定する
■当月分／全期間 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[表示期間設定]▶◉▶[当月分]／[全期間]▶◉ ■指定期間 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[表示期間設定]▶◉▶[指定期間]▶◉▶開始日時を入力▶終了日時を入力▶[OK]▶◉
表示項目を設定する
収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[表示項目設定]▶◉▶[設定]▶◉▶表示する項目を選択▶◉▶◎[決定] ● すべての項目を表示するときは、[表示項目設定]で[設定解除]を選択してください。

関連操作
表示収支を設定する
収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[表示収支設定]▶◉▶[収入のみ]／[支出のみ]／[全て]▶◉
自動収入を設定する
1 収支明細画面▶ⓢ[変更]▶[自動収入設定]▶◉▶[設定]▶◉▶[種別] 2 [今月]／[毎月]▶[日付指定]▶収入金額を入力▶[OK]▶◉ ● 種別の選択は、◐／◑で行います。 ● 種別で[今月]または[毎月]を選択したときは、1日に設定した金額が追加されます。 ● 金額は、直接ダイヤルボタンで入力するか、◐／◑で行います。 ● 種別で[日付指定]を選択したときは、[年月日]を選択して、収入の日時を入力してください。

その他のマネーカルクの機能

1 ◎[メニュー]▶使用する機能を選択▶◉

■換算、電卓機能を使用する

通貨、換算、割勘の3種類の機能を使うことができます。

- 通貨換算の換算レートは、2005年11月1日現在となっております。

■ヘルプ

マネーカルクの使用方法を表示できます。

■オプション

マネーカルクを起動したときの初期画面、表示項目の追加、通貨換算で使用する為替レートと通貨単位を設定することができます。

お知らせ

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- マネーカルクの割勘電卓の結果は、差額を支払う人の支払い金額の差が最小になるよう算出されます。
- お買い上げ時、内蔵iアプリの各機能は次のように設定されています。ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

	お買い上げ時の設定	
	Gガイド番組表リモコン	マネーカルク
待受画面設定	ー	
通信設定	通信する	
iアプリTo設定	許可する	
アイコン情報設定	ー	
着信音／画像変更	ー	
電話帳／履歴参照	ー	

- 「Gガイド番組表リモコン」について詳しくは:
☞『iモード操作ガイド』

自動起動設定

ｉアプリを自動実行する

ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.45）

ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。最大９件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

お買い上げ時 OFF

1 待受画面▶⑧（１秒以上）▶④[自動起動設定]▶①[**ON**]

自動起動が設定されます。



自動起動設定画面

FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

1 自動起動設定画面▶③[詳細設定]▶番号を選択

自動起動のスケジュールを新規登録	番号を選択▶◉ ●新規に登録するときは[-------------------]が表示されている番号を選択します。
自動起動のスケジュールを変更	変更する番号を選択▶◉▶①[変更]
自動起動のスケジュールを削除	削除する番号を選択▶◉▶②[削除]

2 ソフトを選択▶◉▶起動日時を設定
- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは✣で移動できます。



スケジュール設定画面

毎日起動	①[デイリー]▶時刻を入力▶◉
曜日を指定して起動	②[曜日設定]▶曜日を選択◉(くり返し可)▶◎[確定]▶時刻を入力▶◉
日付を指定して起動	③[日付設定]▶日付・時刻を入力▶◉

自動起動対応のソフトの設定を有効にする

スケジュール設定画面▶④[時間間隔設定]
- 無効にするには、自動起動の設定を削除します。（「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作１「自動起動のスケジュールを削除」）
- 自動起動設定がないソフトの場合、[時間間隔設定]はグレーで表示されます。

お知らせ
- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ 他の機能が起動している場合
  - ■ ｉアプリが起動中の場合
  - ■ 通話中
  - ■ スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ■ ｉアプリのPIMロック中
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位（高→低）
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ToDoリスト→ｉアプリ自動起動

- 設定リセットを行うと、ｉアプリ自動起動失敗履歴は削除され、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が[起動ごとに確認]となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに５秒間経過すると自動的に確認画面で[いいえ]を選択した設定で起動します。

ｉアプリ

ｉアプリ実行

次ページへ続く

お知らせ

- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

iアプリTo機能

サイトやiモードメールからiアプリを実行する

iモードサイト、iモードメールや画面メモにiアプリTo(iアプリ起動設定)が表示されている場合、iアプリを起動できます。また、赤外線通信中にiアプリ起動の信号を受信したとき、バーコードリーダーでiアプリの起動情報を読み取ったときも、iアプリを起動できます。

- iアプリToを許可するかどうかは、iアプリTo設定で設定します。

iアプリToでの起動を設定する <iアプリTo設定>

お買い上げ時 許可する

iアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.240)▶ソフトを選択▶◎▶⑥[ソフト利用設定]

2 [iアプリTo設定]▶●▶①[許可する]▶⑧[完了]

お知らせ

- 起動するソフトは、iモードサイト、iモードメールや画面メモによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやiモードメールからiアプリを起動する<iアプリTo機能>

iモードサイト、iモードメールや画面メモにiアプリTo(iアプリ起動設定)が設定されている場合は、iアプリを起動できます。

- iアプリTo設定が[許可しない]に設定されている場合、iアプリToでは起動できません。
- iアプリ待受画面として起動することはできません。

1 iモードサイト、iモードメールや画面メモに表示されているiアプリを選択▶●▶[はい]▶●

- 起動を中止するとき:[iアプリ起動中]表示中▶⊖

お知らせ

- iアプリを終了すると、元のiモードサイト、受信メール表示画面や画面メモに戻ります。
- iアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- iモードサイトなどから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- iモードサイトなどによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト実行後、終了時に保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定が必要な場合もあります。
- iモードメールからのiアプリToは、IP(情報サービス提供者)からのiモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

iアプリ待受設定

iアプリ待受画面を設定する

iアプリを待受画面に設定できます。

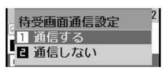
- 待受画面に設定したiアプリは、ⓒを押すと操作できるようになります。

iアプリ待受画面を設定する <待受画面設定>

- iアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(☞P.247)で設定できます。

1 ソフト一覧画面(☞P.240)▶ソフトを選択▶◎▶④[待受画面設定]▶[はい]▶●

iアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。



- 通信を利用するソフトのときは、右上の画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。[通信しない]を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

- iアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- iアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- iアプリ待受画面を設定している場合、待受画面設定で設定した画像は表示されません。

お知らせ

- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、お買い上げ時に待受画面設定されている[待受画面11]の画像が表示されます。また、ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリのPIMロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリのPIMロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。
  [はい]を選択する、または約５秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定（☞P.111）した画像が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
- ｉアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
- 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
  - カメラ機能を利用する場合
  - データBOX機能を利用する場合
  - ｉモード機能を利用する場合
  - メール機能を利用する場合
  - テレビ電話を利用する場合
  - モバイルオーディオを利用する場合
  - ｉアプリの設定を変更する場合
  - ｉモーションの再生を行う場合
  - 赤外線通信を利用する場合
  - ｉアプリのソフトをダウンロードする場合
  - ｉアプリを起動する場合
  - ソフトウェアを更新する場合
  - ブックリーダーを利用する場合
  - パターンデータを更新する場合

セキュリティエラーについて

- ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたり、ｉアプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、⦿を押すと、エラー履歴が表示されます。

関連操作

ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定する＜待受画面通信設定＞

1 ソフト一覧画面（☞P.240）▶待受画面に設定されているソフトを選択▶Ⓜ▶⑤[待受画面通信設定]
2 ①[通信する]

メニューからｉアプリ待受画面を設定する＜待受画面設定＞

TOPメニュー▶§(設定)▶[表示]▶[待受画面設定]▶[待受画面設定]▶[ｉアプリ]▶ソフトを選択▶⦿

- 待受画面に設定しているｉアプリを設定し直すとき：[設定]▶⦿▶ソフトを選択▶⦿▶[はい]▶⦿
- 待受画面に設定しているｉアプリを終了するとき：[終了]▶⦿
- 待受画面に設定しているｉアプリを解除するとき：[解除]▶⦿

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を終了しても、ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。

1 待受画面▶⑧（１秒以上）▶①[ソフト一覧]▶待受画面に設定されているソフトを選択▶Ⓜ▶④[待受画面設定]

2 [はい]▶⦿

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

バージョンアップ

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。
ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

ソート

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

ダウンロード（新→旧）	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード（旧→新）	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

- お買い上げ時は、[ダウンロード（新→旧）]に設定されています。

削除

ソフトは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	ソフトを1件ずつ削除します。
選択削除	複数のソフトを選択し、まとめて削除します。
全件削除	すべてのソフトを削除します。

エラー表示、トレース情報表示

ソフト実行時のエラー情報([自動起動失敗履歴]、[待受画面エラー履歴]、[セキュリティエラー履歴])やトレース情報を確認できます。

- トレース情報がない場合は、[トレース情報がありません]と表示されます。

関連操作

iアプリをバージョンアップする<バージョンアップ>

ソフト一覧画面(☞P.240)▶ソフトを選択▶◎▶②[バージョンアップ]▶[はい]▶⦿

- ソフトの情報が表示されたとき:⦿[確認]

自動バージョンアップする

[最新ソフトにバージョンアップしますか?]の確認画面▶[はい]▶⦿

iアプリを並べ替える<ソート>

ソフト一覧画面(☞P.240)▶◎▶⑦[ソート]▶ソート方法を選択

iアプリを削除する<削除>

1 ソフト一覧画面(☞P.240)▶ソフトを選択▶◎▶③[削除]
2 ①[1件削除]
- 複数のソフトを選択し、まとめて削除するとき:②[選択削除]▶ソフトを選択⦿(くり返し可)▶◎[確定]
- すべてのソフトを削除するとき:③[全件削除]▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶⦿

3 [はい]▶⦿

エラー表示を確認する<エラー表示>

待受画面▶⑧(1秒以上)▶⑤[エラー表示]▶エラー履歴を選択

トレース情報を表示する<トレース表示>

1 待受画面▶⑧(1秒以上)▶⑥[トレース表示]
2 確認を終わるとき:⦿[確認]
- トレース情報を削除するとき:⑧[削除]▶[はい]▶⦿

iアプリをPIMロックする<PIMロック>

待受画面▶⑧(1秒以上)▶⑦[PIMロック]▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶⦿▶①[ON]

お知らせ

バージョンアップについて
- FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたはiアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。

自動バージョンアップについて
- メールのPIMロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

お知らせ

iアプリの削除について
- メール連動型iアプリのソフトを削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除する、またはしないを選択できます。ただし、メールフォルダ内に保護されているiモードメールがある場合、フォルダは削除できません。
- フォルダを残してメール連動型iアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のiモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXで◎を押し、[iモードメール閲覧]を選択します。メール連動型iアプリを起動せずにフォルダ内のiモードメールを表示できます。
- 内蔵ソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合は、iMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。(ダウンロードしたiアプリはFOMAカード動作制限機能の対象になります。☞P.36)

メール連動型iアプリを含むソフトを全件削除するとき
- フォルダ内に保護されたiモードメールがあるとき、フォルダは削除できません。

エラー表示について
- iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。

トレース情報表示について(iアプリ作成者の方へ)
- 作成したiアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

● 機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

ｉアプリからサイトを表示する

実行中のソフトから、ｉモードサイトなどを表示できます。
● ｉモードサイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中に**URL**の項目を選択▶⦿▶[はい]▶⦿
● ｉモードサイトなどを表示する方法は、ソフトによって異なります。

ｉアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話またはテレビ電話をかけることができます。
● 音声電話またはテレビ電話をかけることに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
● ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に電話番号の項目を選択▶⦿▶[はい]▶⦿
● 音声電話またはテレビ電話をかける方法は、ソフトによって異なります。

2 電話をかける：①／⦿（音声電話）
● テレビ電話をかけるとき：ⓘ[テレビ電話]

ｉアプリからカメラ機能を利用する

実行中のソフトから、カメラを利用できます。
● ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中にカメラの起動項目を選択▶⦿
● カメラモード（静止画撮影画面）になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用することもできます。
● ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

2 撮影：⦿[📷]
● 撮影した画像を保存するとき：⦿[保存]

お知らせ

● ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

実行中のソフトから、バーコードリーダーを利用できます。

1 ソフト実行中にバーコードリーダーの起動項目を選択▶⦿
● 接写モードにしてから撮影してください。（☞P.151）
● 接写撮影の焦点距離は約８cmです。
● バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード（**JAN**コード、**QR**コード）が表示されるようにカメラを合わせる▶⦿[読取]
バーコード（JANコード、QRコード）が撮影されます。

お知らせ

● 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

ｉアプリから赤外線通信機能を利用する

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.290）を利用できます。
● 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
● セルフモード中は、赤外線通信機能を利用することはできません。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動▶[はい]▶⦿
● 赤外線通信を中止するとき：Ⓒ／◎[中止]

▶MEMO◀

ｉチャネル

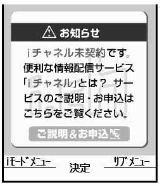
iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は☞P.253）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

● iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

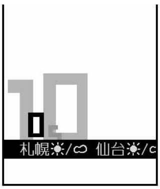
未契約

◉（ch）



1

契約後



2テロップ表示

◉（ch）



3チャネル一覧

◉◉



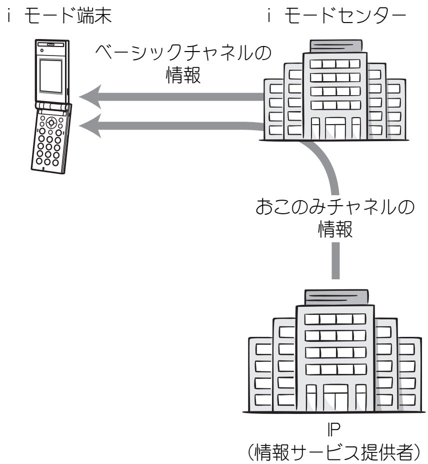
4詳細情報画面

1 iチャネルをご契約いただいていない場合。
2 iチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
3「ch」ボタンを押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
4 各チャネルを押下するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

iチャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の２種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

● 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
● 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
● 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。



iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはiモード契約が必要です。

● 操作方法：☞P.253
● 対応機種：701iシリーズ、702iシリーズ、902iシリーズ、P851i

おためしサービス

ｉモードをご契約のうえｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについて：☞『ｉモード操作ガイド』

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押下することで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、１つのご契約者回線につき１回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。

- 途中で終了したい場合の操作方法について：☞『ｉモード操作ガイド』

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約し、ｉチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。さらに、Ⓞを押してチャネル一覧を表示することができます。

お知らせ

最新情報の受信について

- 電源が入っていないときや圏外など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは動作しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。

ｉチャネルテロップ表示について

- 次の場合は、ｉチャネルテロップは表示されません。
  - ｉチャネルサービスまたはｉモードサービス未契約時（解約時）
  - お客様の操作によりｉチャネルテロップ設定を［OFF］にした場合（☞P.113）
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中
  - PIMロック（ｉモード／ｉチャネル）中
- テロップ表示のON／OFFやテロップの速度は、ｉチャネルテロップ設定で設定できます。

詳細情報を表示する

ｉモードサイトなどに接続して各チャネルの詳細情報を入手できます。

1 チャネル一覧（☞P.252）▶チャネルを選択▶⦿

お知らせ

- オールロック中、PIMロック（ｉモード／ｉチャネル）中は、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、チャネル一覧が表示されます。

ｉチャネルの接続先変更について

- ｉモードの接続先選択（☞P.182）でｉチャネルの接続先を設定できます。通常は設定を変更する必要はありません。
- ｉチャネルの接続先を変更すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップが表示されます。
- ｉチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、チャネル一覧を表示してください。

関連操作
効果音の音量を調節する＜効果音設定＞
チャネル一覧（☞P.252）▶◎▶⑦▶⑤［効果音設定］▶Ⓞ（上げる）／Ⓞ（下げる）▶⦿ ● ｉチャネルの音量は、ｉモードの効果音設定と共通の設定です。

▶MEMO◀

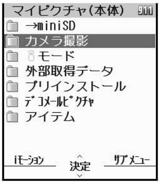
データ表示／編集／管理

保存した画像を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、iモードサイトなどからダウンロードした画像は、データBOXのマイピクチャに保存され、イメージビューアで再生できます。

1 TOPメニュー▶📄(データBOX)▶[マイピクチャ]

- 待受画面▶◎(1秒以上)▶①[マイピクチャ]でも表示できます。
- 静止画撮影画面(☞P.148)▶◎▶②[データBOX表示]でも表示できます。



マイピクチャのフォルダ一覧画面

関連操作
再生時の照明を設定する＜バックライト点灯時間＞
1 操作1▶◎▶④[バックライト点灯時間] 2 常にONにするとき:② ● 照明設定に従うとき:①

2 フォルダを選択▶⦿

- 画像一覧表示を切り替えるとき:◎▶⑧▶①[表示切替]▶①[9分割]／②[16分割]／③[リスト表示]
- miniSDメモリーカード内の静止画を確認するとき:[→miniSD]▶⦿
- リスト表示中に次のページを表示するとき:⊙
- リスト表示中に前のページを表示するとき:⊙



[カメラ撮影]フォルダを選んだ場合

3 静止画を選択▶⦿

- 前後の画像を表示するとき:⊙
- 静止画がディスプレイより小さいときや大きいときは、⦿を押すと、[等倍]、[縮小]、[拡大]表示を切り替えることができます。(静止画のサイズ自体は変更されません。)



画像表示画面

- 静止画のサイズが[240×240]より小さい場合、[等倍]、[拡大]表示を切り替えることができます。[240×240]より大きい場合、[等倍]、[縮小]表示を切り替えることができます。[240×240]の場合、[拡大]、[等倍]、[縮小]は表示されません。
- GIFアニメーションやFlash画像は拡大表示／縮小表示の変更ができません。
- 静止画を全画面表示するとき:ⓢ[全画面]／◎▶⑧▶③[全画面表示]
- 画像一覧画面▶ⓢ[全画面]でも表示できます。全画面表示を解除するときは、⊙、⊙以外のいずれかのボタンを押します。

関連操作
ズームを利用する＜ズームアップ＞
操作3▶◎▶④[ズーム]▶◎[拡大] ● 他の部分を表示するとき:✣ ● 元の表示に戻すとき:⦿[終了] ● 拡大した静止画表示を縮小(ズームダウン)するとき:ⓢ[縮小]
ライトアップする＜ライトアップ＞
操作3▶#(1秒以上) ● サブメニューから設定するとき:◎▶⑧▶④[ライトアップ] ● 消すとき:同じ操作をする、または他の画像を表示する

お知らせ

- メモリの空き容量がなくなると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末(本体)に保存するときは、不要なファイルを削除し、メモリの空き容量を増やして保存できます。(☞P.287)
  撮影や静止画の編集、iモードサイトなどから画像をダウンロードする前に、メモリの使用状況を確認してください。(☞P.289)
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 保存したGIFアニメーションやFlash画像は、コマ落ちなど、iモードサイトなどでの見えかたと異なる場合があります。
- 現在の画像の参照先(FOMA端末(本体)またはminiSDメモリーカード)は、イメージビューアをいったん終了しても記録され、次回、イメージビューアを起動したときも同じ参照先となります。

データBOXのマイピクチャに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード(☞P.278)を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのマイピクチャに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

バックライト点灯時間について

- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.115)

ズームアップについて

- ズームを利用できるのは、JPEG画像のみです。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

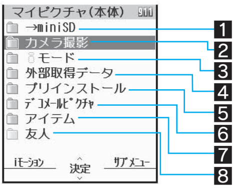
照明について

- バックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を[常にON]に設定しているときは、Flash画像の再生時、画像の表示を終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトが消灯しません。ただし、ライトアップ時は設定した時間が経過するとバックライトが消灯します。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定(☞P.117)にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

マイピクチャのフォルダ一覧画面／画像一覧画面の見かた

マイピクチャのフォルダ一覧画面の見かた

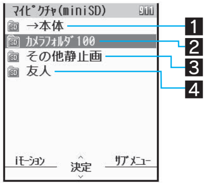
FOMA端末(本体)



1. miniSDメモリーカードのフォルダ
2. FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
3. iモードサイト、メッセージR／FやiモードメールでI入手した静止画用フォルダ
4. バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信で入手した画像用フォルダ
5. あらかじめFOMA端末に内蔵されている静止画用フォルダ
6. あらかじめFOMA端末に内蔵されているデコメール画像用フォルダ
7. iモードサイトなどから入手したフレームやスタンプの画像用フォルダ
8. お客様が作成できるフォルダ(☞P.286)

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、マイピクチャフォルダ一覧画面で[→miniSD]を選択する、または◎▶⑥[本体⇔miniSD切替]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。(☞P.280)



1. FOMA端末(本体)のフォルダ
2. FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末(本体)から静止画をコピーするとカメラフォルダ100が自動的に作成され、ファイル数が400件になると、カメラフォルダxxx(「xxx」は100～999の3桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。(カメラフォルダの「xxx」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません。)
3. FOMA端末(本体)からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像用フォルダ
4. お客様が作成できるフォルダ(☞P.284)

画像一覧画面の見かた

画像一覧画面は、[9分割]、[16分割]、[リスト表示]のいずれかで表示できます。



9分割



16分割



リスト表示

- 画面右上上部に表示される件数表示は最大3桁です。1つのフォルダに1000件の画像を保存した場合、件数は[xxx/999]と表示されます。(「xxx」はカーソルがあたっている画像の数字です。)また、1000件目は[0/999]と表示されます。

静止画情報マークの見かた

画像の種類とサイズ	JPEG										GIF画像	Flash画像
	アイコン：76×76	sQCIF：128×96	QCIF：176×144	待受：240×320	CIF：352×288	VGA：480×640	1.2M：960×1280	1200×1600	1536×2048	その他		
マーク	76	128	176	240	352	480	960	1200	3M	JPG	GIF	

：FOMAカード動作制限機能が設定された静止画
：待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画
：メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画
：ｉモードなどでダウンロードした静止画
：miniSDメモリーカード、赤外線通信など、FOMA端末以外から取得した静止画
：フレーム画像／スタンプ画像
：カメラ撮影した静止画
：テレビ電話中に撮影した静止画メモ
：キャラ電撮影した静止画
：電子書籍／電子辞書で保存した静止画

- 画像サイズが該当しない場合は、[JPG]、[GIF]、[ ]が表示されます。また、画像サイズは[情報表示]の表示サイズで確認することができます。(☞P.288)
- FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについて：☞P.145

お知らせ

画像一覧画面の表示方法変更について
- お買い上げ時は、[９分割]に設定されています。
- 静止画のタイトル名は、最大全角25文字(半角50文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。

Flash画像を再生する

ｉモードサイトなどからダウンロードしたFlash画像は、データBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存され、再生できます。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶⦿▶Flash画像を選択▶⦿
- 画像一覧画面でFlash画像には、[ ]が表示されます。
- 再生を始めからやり直すとき：再生中に⦿[停止]▶◎▶①[リトライ]

関連操作

再生時の照明を設定する
<バックライト点灯時間>

1 Flash画像の再生または停止(一時停止)中に◎▶⑦[バックライト点灯時間]
2 常にONにするとき：②
- 照明設定に従うとき：①

お知らせ

- 保存したFlash画像は、ｉモードサイトなどでの見えかたと異なる場合があります。

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.115)

関連操作

再生時の音量を調節する<音量設定>

TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶⦿▶◎▶⑧▶④[音量設定]▶(上げる)／(下げる)▶⦿

お知らせ

音量設定について
- お買い上げ時は、[音量５]に設定されています。

スライドショーを見る <スライドショー>

指定したフォルダ内の、再生可能なすべての画像を連続表示できます。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◎▶③▶①[スライドショー開始]

[画像展開中]と表示され、全画面表示サイズでスライドショーが開始されます。
- 再生を中止するとき：Ⓒ／⊖／▭(サイドボタン)

スライドショー動作時にBGMを流す

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量も設定できます。ただし、マナーモード設定中は、BGM設定をしてもサイレントで再生します。
- BGMの音色は、データBOXのメロディから選択できます。
- お買い上げ時は、音色は[Light heart]、音量は[サイレント]に設定されています。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

1 **TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◎▶③[スライドショー]**



2 **BGMの音色や音量を選択**

BGMの音色を設定	②▶フォルダを選択▶⦿▶メロディを選択▶⑧[決定] ● メロディを確認するとき：メロディを選択▶⦿[確認]（停止するとき：⑧[停止]）
BGMの音量を変更	③▶音量を選択▶⦿

■スライドショーの再生間隔や効果を変更する

マイピクチャフォルダ内のスライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定できます。

● お買い上げ時は、再生間隔は[普通]、効果は[ランダム]に設定されています。

1 **TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◎▶③[スライドショー]**

2 **④[再生間隔]▶再生間隔を選択**

もっと速く	画像を表示後、すぐに次の画像を再生します。
速く	画像を約３秒間表示してから次の画像を再生します。
普通	画像を約５秒間表示してから次の画像を再生します。
ゆっくり	画像を約10秒間表示してから次の画像を再生します。

※ 再生間隔は、画像の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

3 **⑤[効果設定]▶効果を選択**

ひし形	次の画像が中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	次の画像が回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	次の画像が中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	次の画像が細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	次の画像が中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
OFF	効果を設定しません。

静止画を添付してｉモードメールを送信する

データBOXのマイピクチャから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信できます。

● 送信できる静止画のファイルサイズは、最大500Kバイト（512000バイト）です。

● 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画、ｉモードサイトなどからダウンロードした静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。

● ファイル制限されている静止画でも、FOMA端末で撮影した静止画やminiSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

1 **TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶✉[メール]**

● 「待受：240×320」より大きいサイズのJPEG画像を選んだときは、[待受サイズ（240×320）に縮小しますか？]と表示されます。[はい]を選択し、⦿を押すと縮小して添付されます。[いいえ]を選択し、⦿を押すと、ファイルサイズが500Kバイト以下の場合はそのまま添付されます。500Kバイトを超える場合は自動的に500Kバイト以下になるように圧縮して添付されます。



● 「待受：240×320」サイズはｉモード端末に送信するのに適したサイズです。

● 圧縮された静止画は、静止画の取得元によりマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダまたは[ｉモード]フォルダに自動的に保存されます。

2 **ｉモードメールを作成▶送信**

● 詳しくは：☞P.199の操作２～４

画像を待受画面などに設定する ＜画面設定＞

データBOXのマイピクチャに保存されている静止画を待受画面や電話発着信、メール送受信画面、マーク表示などに設定できます。

● フレームとスタンプは画面設定できません。

● Flash画像は、待受画面、電話発着信画面、メール送受信画面に設定できます。

● JPEG画像とGIFアニメーション、一部のGIF画像は、サブメニュー画像設定およびお知らせウィンドウアニメに設定できません。

次ページへ続く

1 TOPメニュー▶📄（データBOX）▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶ⓜ［画面設定］

- 画像表示画面（☞P.256の操作３）▶◎▶③［画面設定］、Flash画像の場合は、停止中▶◎▶④［画面設定］でも表示できます。



2 画面設定の種類を選択

- 画面の種類によっては、さらに項目を選択します。
- 待受画面を設定するとき：①▶［はい］▶◉

画像編集

静止画を編集する（スピーディラボ）

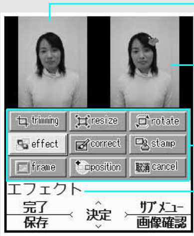
画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- サイズによっては、編集できない場合があります。
- 画像によっては編集できない場合があります。
- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像を編集することによって、データの容量が増減する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信できます。（☞P.261）
- Flash画像とGIFアニメーションは編集できません。

編集画面を表示する<画像編集>

1 TOPメニュー▶📄（データBOX）▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶◎▶①▶①［画像編集］

- 画像表示画面（☞P.256の操作３）▶◎▶①▶①［画像編集］でも表示できます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面（☞P.148の操作２）▶◎▶①［画像編集］でも表示できます。



元の静止画

編集後の静止画

編集種別ボタン

編集名

編集画面

編集種別ボタンの見かた

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

trimming	resize	rotate
画像切り出し（☞P.261）	サイズ変更（☞P.261）	画像回転（☞P.261）
effect	correct	stamp
エフェクト（☞P.262）	画像補正（☞P.262）	スタンプ（☞P.263）
frame	position	cancel
フレーム（☞P.262）	顔検出位置修正（☞P.263）	元に戻す

※ 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の３通りの方法があります。

- ◎で編集種別を選択
- ✤で編集種別ボタンを選択
- ダイヤルボタン（①～⑨）で選択
  （編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。）
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ静止画を連続で編集できます。
  - ■ 編集名がグレー表示になっている場合は、操作できません。

直前の操作を取り消す<元に戻す>

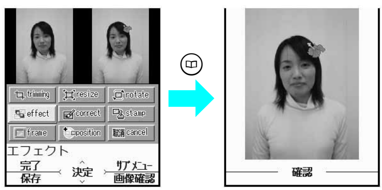
◎▶◌▶①［元に戻す］▶［はい］▶◉

- 直前に編集した静止画が編集前に戻ります。（何も編集していないときは操作できません。）
- 取消は１回のみ可能です。続けて取消操作を行うと、静止画が編集前の状態に戻ります。

１画面で表示する

編集した静止画を１画面で表示できます。編集を開始する前には、元の画像を１画面で表示します。

ⓜ［画像確認］



お知らせ

- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときに、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

静止画を回転する＜画像回転＞

静止画を左右に90度ずつ回転したり、上下、左右に反転できます。

- ｉモードサイトなどからのダウンロードや、データリンクソフトからインポート（☞P.285）した静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

1 編集画面（☞**P.260**）▶◎▶③［画像回転］▶回転の種類を選択

2 静止画を保存

静止画を保存	ⓘ［完了］▶［はい］▶⦿▶［OK］▶⦿
タイトルを変更して保存	ⓘ［完了］▶［はい］▶⦿▶［タイトル編集］▶⦿▶タイトルを編集▶⦿▶［OK］▶⦿ ●最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。
フォルダを変更して保存	ⓘ［完了］▶［はい］▶⦿▶［フォルダ変更］▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶［OK］▶⦿
ｉモードメールに添付して作成	ⓘ［完了］▶［はい］▶⦿▶［メール作成］▶⦿▶ｉモードメール作成・送信 ●静止画は自動的に保存されます。 ●詳しくは：☞P.199の操作２～４
保存せずに別の編集	◎▶編集種別番号
保存後に続けて編集	✉［保存］▶［OK］▶⦿▶◎▶編集種別番号

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画は回転できますが、画質が劣化することがあります。
- 静止画を右回転または左回転すると、「アイコン：76×76」以外は縦横比が変わります。

静止画のサイズを修正する＜画像切り出し＞

アイコン設定用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを修正したり、切り出したりできます。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	アイコン：76×76
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、sQCIF：128×96
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144
待受：240×320	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320、アイコン（９分割）
CIF：352×288 VGA：480×640 1.2M：960×1280 1200×1600 1536×2048	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320

※カメラ撮影サイズ以外に、miniSDメモリーカードや赤外線受信で取り込んだ任意サイズの静止画も修正できますが、サイズによっては、修正できない場合もあります。

1 編集画面（☞**P.260**）▶◎▶①［画像切り出し］▶画像サイズを選択

- 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、グレー表示されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。
- 「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」の画像を編集（90度回転）すると、同サイズに切り出すことができません。また、「待受：240×320」の画像を編集（90度回転）すると、アイコン（９分割）に切り出すことができません。

2 ✥で切り出し部分を指定▶⦿

- ◎を押して拡大したり、ⓘを押して縮小してから✥で切り出し部分を指定できます。［アイコン（９分割）］のときは拡大・縮小できません。

3 静止画保存

- 保存については、「静止画を回転する」の操作２を参照してください。

静止画のサイズを変更する＜サイズ変更＞

デコメール用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更できます。

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。

変更前の静止画サイズ	変更可能な静止画サイズ
アイコン：76×76	sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320
sQCIF：128×96	アイコン：76×76、QCIF：176×144、待受：240×320、デコメール用
QCIF：176×144	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、待受：240×320、デコメール用
待受：240×320	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、デコメール用
CIF：352×288 VGA：480×640 1.2M：960×1280 1200×1600 1536×2048	アイコン：76×76、sQCIF：128×96、QCIF：176×144、待受：240×320、デコメール用

次ページへ続く▶▶

1 編集画面(☞P.260)▶◎▶②[サイズ変更]▶画像サイズを選択

- デコメール用を選択すると9000バイト以下に圧縮されます。「待受:240×320」サイズより大きい静止画は、「待受:240×320」サイズ以下に縮小されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

2 静止画保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

静止画を補正する＜画像補正＞

静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

- 画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。

1 編集画面(☞P.260)▶◎▶⑤[画像補正]▶補正の種類を選択

シャープネス	エッジを強調
ソフト	エッジをぼかす
感度アップ	明るさ、およびコントラストをアップ
鮮やか	色彩度をアップ

2 静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

フレームを重ねる＜フレーム＞

静止画にいろいろなフレームを重ねることができます。

1 編集画面(☞P.260)▶◎▶⑦[フレーム]▶フォルダを選択▶●▶フレームを選択▶⑧[決定]

- フレームを確認するとき:フレームを選択▶●[確認](戻るとき:Ⓒ)

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフレームを付けると、画質が劣化することがあります。

いろいろな効果をかける＜画像エフェクト＞

静止画の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。

1 編集画面(☞P.260)▶◎▶④▶①[画像エフェクト]▶エフェクトの種類を選択

モノクロ	①	波紋	⑥
セピア	②	万華鏡(大)	⑦
きらきら	③	万華鏡(小)	⑧
色えんぴつ	④	魚眼	⊙▶①
円ソフトフレーム	⑤		

2 静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。

顔を装飾する＜フェイスエフェクト＞

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情の効果を付けることができます。

- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画にはフェイスエフェクトをかけられません。

1 編集画面(☞P.260)▶◎▶④▶②[フェイスエフェクト]▶エフェクトの種類を選択

ほっそり	①	シワ隠し	⑦
ふっくら	②	色白	⑧
目ぱっちり	③	くしゃ顔	⊙▶①
微笑む	④	左右対称顔(右)	⊙▶②
怒る	⑤	左右対称顔(左)	⊙▶③
悲しむ	⑥		

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できない(編集前の画像に戻す)とき:◎▶◯▶①[元に戻す]▶[はい]▶◉
この後、P.263「各部の輪郭情報を手動で設定する＜顔検出位置修正＞」で手動設定してください。

2 静止画を保存

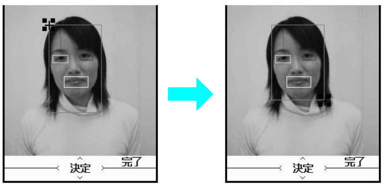
- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

各部の輪郭情報を手動で設定する ＜顔検出位置修正＞

フェイスエフェクトまたはフェイススタンプで利用する顔の各部の輪郭情報を顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭の順番に手動で設定できます。

- [+]カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。
- 輪郭情報は、プチエステ(☞P.264)でも利用されます。

1 編集画面(☞**P.260**)▶◎▶⑧[顔検出位置修正]▶顔の輪郭を指定



1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる◉
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる◉

2 画面上の右の目の輪郭を指定

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる▶◉
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる▶◉

3 画面上の左の目の輪郭を指定

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる▶◉
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる▶◉

4 口の輪郭を指定

1. ✥で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる▶◉
2. ✥で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる▶◉

5 ◎[完了]▶静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- ✥を押し続けると[+]カーソルを連続して移動させることができます。

お知らせ

- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。画像を保存しないと、輪郭情報の設定は元に戻ります。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報を元に画像編集が行われます。

顔スタンプを貼り付ける ＜フェイススタンプ＞

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。

- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次の静止画の場合はご注意ください。
ピントが合っていない、首を傾けている、暗い、目が髪で隠れている、口が開いている、メガネをかけている、ヒゲを生やしているなど
- 「VGA:480×640」より大きいサイズの静止画はフェイススタンプを貼り付けできません。

1 編集画面(☞**P.260**)▶◎▶⑥▶②[フェイススタンプ]▶スタンプの種類を選択

怒り	①	サングラス	⑤
涙	②	真面目メガネ	⑥
うずまきほっぺ	③	モザイク(目)	⑦
きらきら目	④	モザイク(顔)	⑧

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できない(編集前の画像に戻す)とき:◎▶◯▶①[元に戻す]▶[はい]▶◉
この後、P.263の「各部の輪郭情報を手動で設定する ＜顔検出位置修正＞」で手動設定してください。

2 静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画にフェイススタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

画像スタンプを貼り付ける
＜画像スタンプ＞

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプやダウンロードした画像スタンプを貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は画像スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞P.260）▶ⓜ▶⑥▶①［画像スタンプ］▶フォルダを選択▶●▶画像スタンプを選択▶ⓘ［決定］

- スタンプを確認するとき：画像スタンプを選択▶●［確認］（戻るとき：ⓒ）
- 画像スタンプの貼り付け位置を調整するとき：✣
- 画像スタンプを選択し直すとき：ⓒ
  ⓒを押す前に選択していたスタンプは削除されます。

2 ●［決定］

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるとき：貼り付け位置を調整▶●

3 ⓘ［完了］▶静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に画像スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

文字スタンプを貼り付ける
＜文字スタンプ＞

静止画に入力した文字や日付を貼り付けできます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は文字スタンプを貼り付けできません。

1 編集画面（☞P.260）▶ⓜ▶⑥▶③［文字スタンプ］▶文字スタンプを選択

フリーワード	①▶文字を入力▶● ●全角11文字（半角22文字）まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。（改行できません。）
日付	②

- ✣を押すと、文字の貼り付け位置を調節できます。
- 文字サイズを変更するときは、ⓜ［▼サイズ］／ⓘ［▲サイズ］を押します。文字サイズは、20ドット⇔24ドット⇔30ドット⇔40ドット（縦倍角）⇔12ドット⇔16ドット⇔20ドットに変更されます。

2 ⓜ▶文字色を選択

オレンジ	①	イエロー	⑤
ブラック	②	グリーン	⑥
ホワイト	③	ブルー	⑦
レッド	④		

3 ●▶静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 画像切り出しやサイズ変更した静止画に文字スタンプを貼り付けると、画質が劣化することがあります。

人物の顔をメークアップする
＜プチエステ＞

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は効果をかけられません。

1 TOPメニュー▶🗎（データBOX）▶［マイピクチャ］▶フォルダを選択▶●▶静止画を選択▶ⓜ▶①▶②［プチエステ］



2 ⓜ▶効果の種類を選択

美白	肌を白く美しくします。
ナチュラル	肌を自然に、健康的にします。

3 ●▶静止画を保存

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作2を参照してください。

お知らせ

- 静止画によって効果に差があります。

データ表示／編集／管理　画像編集

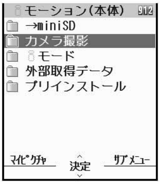
＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画、ｉモードサイトなどから入手したｉモーションは、データBOXのｉモーションに保存され、ビデオプレーヤで再生できます。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶［ｉモーション］

- 待受画面▶◎(１秒以上)▶②［ｉモーション］でも表示できます。
- 動画撮影画面(☞P.148)▶◎▶②［データBOX表示］でも表示できます。



ｉモーションのフォルダ一覧画面

関連操作
再生時の照明を設定する＜バックライト点灯時間＞
1 操作１▶◎▶④▶①［バックライト点灯時間］ **2** 常にONにするとき：② ● 照明設定に従うとき：①
再生時の音量を調節する＜音量設定＞
1 操作１▶◎▶④▶②［音量設定］ ● 操作２の画面で設定するとき：◎▶⑧▶④［音量設定］ **2** ⊙(上げる)／⊙(下げる)▶⦿
レジューム再生するかどうかを設定する＜レジューム再生設定＞
1 操作１▶［→miniSD］▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶動画／ｉモーションを選択▶◎▶⑧▶⑤［レジューム再生設定］ **2** レジューム再生するとき：①［ON］

2 フォルダを選択▶⦿

- 映像一覧表示を切り替えるとき：◎▶⑧▶①［表示切替］▶①［９分割］／②［16分割］／③［リスト表示］
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するとき：［→miniSD］▶⦿
- リスト表示中に次のページを表示するとき：⊙
- リスト表示中に前のページを表示するとき：⊙



［カメラ撮影］フォルダを選んだ場合

3 動画／ｉモーションを選択▶⦿

- 再生中に一時停止するとき：⦿［ポーズ］
- 音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)の場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- ［マナーモード中です 音を再生しますか？］と表示されたとき：［はい］▶⦿
  音声を出力して再生されます。音声なしの場合は表示されません。



動画再生画面

全画面表示で再生	再生中／一時停止中／停止中▶⑧［全画面］ 横方向の全画面表示で再生されます。 ● 全画面表示中に⑧を押したり、停止すると、元の表示サイズに戻ります。 ● 全画面表示中は上下と左右の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持った状態で操作してください。
音量を調節	再生中、一時停止中、停止中▶⊙(上げる)／⊙(下げる)
早送り	再生中／一時停止中▶⊙を押し続ける ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
早戻し	再生中／一時停止中▶⊙を押し続ける ● 再生中の場合、ボタンから指を離した時点で、再生します。一時停止中の場合は再生せず、一時停止のままとなります。
一時停止	⦿［ポーズ］ ● もう一度⦿［再生］を押すと、続きを再生します。 ● 一時停止中に⊙を押すとコマ送り、⊙を押すとコマ戻しできます。
停止	⊡［停止］
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	①～⑨ ● 一時停止中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプします。 再生中に押すと、ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプして、再生を開始します。※
次の動画／ｉモーションを再生	再生中に⊙
前の動画／ｉモーションを再生	再生中に⊙

次ページへ続く

※ ①を押すと再生中の動画／ｉモーションの先頭に戻ります。②～⑨を押すと録画時間の約1／9ずつ先の位置にジャンプします。ただし、録画時間が短い場合は、ジャンプしないときがあります。
- 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は情報表示で確認できます。

ファイル形式		符号化方式
MP4 （拡張子：「.mp4」、「.3gp」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC
ASF （拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 再生可能な動画／ｉモーションの画像サイズは、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」、「QQVGA：160×120」、「hQVGA：240×176」、「QVGA：320×240」です。
- ファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、FOMA端末（本体）に保存したり、コピーすることはできません。
- 符号化方式がH.263の動画は、「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」のみ再生可能です。また、符号化方式がH.264の動画は、「QCIF：176×144」のみ再生可能です。

再生状態のマークの見かた

再生種別	音声あり		バッファリング中表示	
	映像あり		ダウンロード未完了	
	テロップあり		リピート再生	
	音声再生不可		バックライト常にON	
	映像再生不可			
ステレオ			拡大再生中表示	
モノラル			等倍再生中表示	
音　量		～	サラウンド再生可ファイル	
画像サイズ		128 176 240 320	サラウンド設定ON	
			サラウンド設定OFF	

関連操作
リピート再生する<リピート再生>
操作3▶◎▶⑥▶①［リピート再生］ ● 通常の再生に戻すとき：◎▶⑥▶① ● 再生を中止するとき：ⓒ
再生サイズを切り替える<表示サイズ切替>
1 操作3▶◎▶⑥▶②［表示サイズ切替］ **2** 拡大するとき：② ● 等倍にするとき：①
ライトアップする<ライトアップ>
操作3▶#（1秒以上）／◎▶⑥▶③［ライトアップ］ ● 消すとき：同じ操作をする

関連操作
コマ送りの幅を設定する<送り幅指定>
1 操作3▶◎▶⑥▶⑧［送り幅指定］ ● 映像編集画面（☞P.270）で設定するとき：◎▶◯▶②▶①［送り幅指定］ **2** 送り幅を細かくするとき：② ● 送り幅を大まか（高速）にするとき：①
音声のサラウンドを設定する<サラウンド設定>
1 操作3▶◎▶⑥▶④［サラウンド設定］ **2** サラウンドにするとき：①［ON］

お知らせ

- 再生中にアラーム動作や電話着信があったり、他の機能を起動して再生が中止された場合、再生を再開するときに一時停止した位置とは少しずれた位置から再生されることがあります。
- 動画／ｉモーションを一時停止してサブメニューを選んだ場合、メニューや再生中のデータによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。
- データによっては①～⑨を押しても指定した位置にジャンプできないデータや位置があります。また、コマ送り・コマ戻しで、一部画像を表示できない場合があります。
- 外部機器でminiSDメモリーカードに保存した動画もFOMA端末で再生できます。（☞P.380）
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。
- 現在の動画／ｉモーションの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、ビデオプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、フォルダ一覧画面を表示したときにも同じ参照先となります。

データBOXのｉモーションに保存した動画／ｉモーションは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.278）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのｉモーションに登録してある動画／ｉモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると
- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生は中止され、通話終了後に、動画／ｉモーションの停止画面に戻ります。FOMA端末（本体）に保存されたMP4ファイルの場合は、miniSDメモリーカード側でレジューム再生を［ON］に設定しても、再生を中止したところから再生できません。

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、［照明設定に従う］に設定されています。（☞P.115）

音量設定について
- お買い上げ時は、［音量5］に設定されています。

レジューム再生について
- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。
- レジューム再生は、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションが対象となります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- レジューム再生を[ON]に設定すると、miniSDメモリーカードに保存された動画／ｉモーションを再生中に着信などで中断した場合、再生を中止したところから再生を開始できます。
- [ミュージック／ボイス]フォルダの動画／ｉモーションは設定できません。
- miniSDメモリーカードに、動画／ｉモーションが保存されていない場合、レジューム再生設定はできません。

リピート再生について

- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。
- リピート再生が開始される前の３秒間に①～⑨／⓪／㊍／㊌／Ⓘ／Ⓜ／◎／▭(サイドボタン)／✣を押すと、リピート再生は停止します。(ただし▭(サイドボタン)を１秒以上押すと再生は継続されます。)
- リピート再生を終了するときは、Ⓒ／⊖を押します。

表示サイズ切替について

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」、「QCIF：176×144」(テロップなし)、「QQVGA：160×120」(テロップなし)の場合、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。
- お買い上げ時は、[等倍]に設定されています。

照明について

- バックライト点灯時間を[照明設定に従う]に設定しているときは、照明時間設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- バックライト点灯時間を[常にON]に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまで照明時間設定で設定した時間が経過してもバックライトは消灯しません。
- ライトアップ時は、ディスプレイの明るさの設定(☞P.117)にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

コマ送りの幅の設定について

- お買い上げ時は、[大まか(高速)]に設定されています。
- 映像のない動画は、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされます。
- 一部、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされる動画があります。
- 映像編集画面で編集中のデータサイズが500Kバイトを超える場合、コマ送り幅は[大まか(高速)]となります。

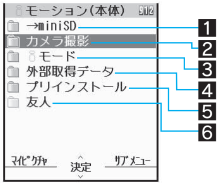
サラウンド設定について

- サラウンド設定はイヤホン接続時に有効になります。
- サラウンド再生できるのは、音声の符号化方式がAACでチャンネル数が2chの動画／ｉモーションです。
- サラウンドが設定できる動画／ｉモーションは、各ファイルの情報表示のサラウンド再生の項目で確認してください。
- ここでの設定と、モバイルオーディオのサラウンド設定は連動しません。

ｉモーションフォルダ一覧画面／映像一覧画面の見かた

ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

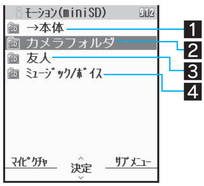
FOMA端末(本体)



1 miniSDメモリーカードのフォルダ
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
3 ｉモードサイト、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダ
4 バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信で入手したｉモーション用フォルダ
5 あらかじめFOMA端末に内蔵されているｉモーション用フォルダ
6 お客様が作成できるフォルダ(☞P.299)

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーションフォルダ一覧画面で[→miniSD]を選択する、または◎▶⑥[本体⇔miniSD切替]を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



1 FOMA端末(本体)のフォルダ
2 FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
   - [カメラフォルダ]フォルダに保存された動画は、本体に移動できません。
3 お客様が作成できるフォルダ(☞P.284)
4 映像・音声切替を音声のみ、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダおよびボイスレコーダーで録音した音声用フォルダ
   - [ミュージック／ボイス]フォルダに保存された動画は、別のフォルダに移動できません。
   - [ミュージック／ボイス]フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
   - [ミュージック／ボイス]フォルダに保存された動画にはタイトル名がないため、タイトル編集はできません。
   - [ミュージック／ボイス]フォルダには、お客様が撮影・録音したデータを最大100件まで保存でき、VOICE001～VOICE100までのファイル名が付きます。ファイル形式はMP4です。

■ [ミュージック／ボイス]フォルダには、お客様が撮影・録音したもの以外のデータも、パソコンを経由して保存することができます。ファイル形式はMP4です。最大400件まで参照することができます。再生できないデータがある場合や、400件以上データが存在する場合には、データが表示されないことがあります。

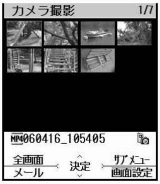
■ FOMA端末(本体)に全件コピーする場合、[ミュージック／ボイス]フォルダに保存された動画はコピーされません。

映像一覧画面の見かた

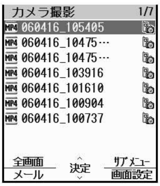
映像一覧画面は、[９分割]、[16分割]、[リスト表示]のいずれかで表示できます。



９分割



16分割



リスト表示

● ９分割や16分割では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに[♪]、[ｉ]が表示されます。
 ■ 音声のみまたはテキストのみのデータ
 ■ 画像サイズが非対応のデータ
 ■ 画像ファイル形式が非対応のデータ
 ■ 画像が表示できない(壊れている)データ
 ■ 符号化方式がH.264のデータ

動画／ｉモーション情報マークの見かた

	MP4(Mobile MP4)		ASF
	再生制限なし	再生制限あり	－
マーク	MP4	MP4	ASF

：FOMAカード動作制限機能が設定されたｉモーション
：待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音、アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラームに設定した動画／ｉモーション
：ファイル制限されている動画／ｉモーション
：ｉモードなどで取得した動画／ｉモーション
：miniSDメモリーカード、赤外線通信など、FOMA端末以外から取得した動画／ｉモーション
：カメラ撮影した動画
：キャラ電撮影した動画

お知らせ

映像一覧画面の表示方法変更について
● お買い上げ時は、[９分割]に設定されています。
● 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角18文字(半角36文字)まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。

動画を連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべての動画／ｉモーションを連続して再生できます。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[ｉモーション]▶フォルダを選択▶◎▶③▶①[連続再生開始]

● 再生中に一時停止するとき：◉[ポーズ]
● 再生中に停止するとき：◎[停止]
● 停止中に◉を押すと、停止した動画／ｉモーションの先頭から再生し、連続再生は継続されます。
● 再生回数、再生期間の制限を超えた動画／ｉモーションの場合、[再生できないデータをスキップしました]と表示され、次の動画／ｉモーションを再生します。

連続再生の設定をする

設　定	内　容	お買い上げ時
リピート再生設定	くり返し再生するかどうかを設定します。設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
ダイジェスト再生設定	それぞれの動画の最大再生時間を設定します。(つなぎ目の時間は含みません。)設定内容はすべてのフォルダに反映されます。	しない
つなぎ目効果設定	動画と動画の間のつなぎ目の効果を設定します。miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。ただし、[ミュージック／ボイス]フォルダには設定できません。フォルダごとに設定します。	ランダム

リピート再生する

TOPメニュー▶(データBOX)▶[ｉモーション]▶フォルダを選択▶◎▶③▶②[リピート再生設定]▶①[する]

ダイジェスト再生する

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[ｉモーション]▶フォルダを選択▶◎▶③▶③[ダイジェスト再生設定]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

2 再生時間（５秒／15秒／しない）を選択

つなぎ目効果を設定する

- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのフォルダのみに設定できます。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［ｉモーション］▶［→miniSD］▶◉▶フォルダを選択▶◎▶③▶④［つなぎ目効果設定］

2 効果の種類を選択

ひし形	次の画像が、中から外へ、ひし形が大きくなるようにして切り替わります。
ピンウィール	次の画像が、回転しながら大きくなって切り替わります。
ホイール	次の画像が、中心から回転するように広がって切り替わります。
ディゾルブ	次の画像が、細かい粒子状に浮かび上がって切り替わります。
ストレッチ	次の画像が、中心から縦方向に広がりながら切り替わります。
ランダム	効果の種類がランダムに選択されて反映されます。
OFF	つなぎ目効果を設定しません。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する ＜ｉモーションメール＞

- 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは、最大500Kバイト（512000バイト）、ファイル形式はMP4です。
- 送信できる画像サイズは、「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」です。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶動画／ｉモーションを選択▶［メール］

メール作成画面が表示されます。選択した動画／ｉモーションが添付されます。



- 300Kバイトを超える動画／ｉモーションのときは、［メール用（短）］と［メール用（長）］の選択画面が表示されます。
- ［メール用（短）］を選択し、◉を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。
- ［メール用（長）］を選択し、◉を押すと、500Kバイトを超える場合は先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。300Kバイトを超え、500Kバイト以下の動画／ｉモーションはそのまま添付されます。

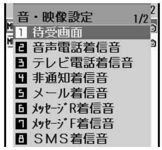
2 ｉモードメールを作成し、送信

- 詳しくは：☞P.199の操作２～４

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する＜音･映像設定＞

- 待受画面にGIFアニメーション、Flash画像やｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶◉▶動画／ｉモーションを選択▶［画面設定］



- サブメニューから設定するとき：動画／ｉモーションを選択したあと◎▶④［音･映像設定］
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）やファイル形式がASFの動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。
- 画像サイズが「QQVGA：160×120」の動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションは、待受画面や着信音などに設定できません。

2 項目を選択

待受画面	①	メッセージR着信音	⑥
音声電話着信音	②	メッセージF着信音	⑦
テレビ電話着信音	③	SMS着信音	⑧
非通知着信音	④	チャットメール着信音	◯▶①
メール着信音	⑤		

3 待受画面を選択した場合、［はい］▶◉▶表示方法（等倍／拡大）を選択

- 画像サイズが「sQCIF：128×96」と「QCIF：176×144」以外のときは、拡大表示できません。

お知らせ

- FOMA端末（本体）に保存されているデータのみ、待受画面や着信音などに設定できます。
- ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- ｉモーション待受画面から、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションの音量は、オープン音の音量で設定できます。

映像編集

動画を編集する（スピーディラボ）

- FOMA SH702iD以外で撮影した動画は、編集できない場合があります。

映像編集画面を表示する＜映像編集＞

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［ｉモーション］▶フォルダを選択▶⦿▶動画を選択▶◎▶①▶①［映像編集］

映像編集画面が表示されます。このとき、ファイルの先頭の映像が表示されます。

編集種別マーク



映像編集画面

- 動画再生中（☞P.265）に◎▶①▶①［映像編集］でも表示できます。動画が停止して映像編集画面が表示されます。
- ⊙を押して、コマ送り／戻しできます。このとき、音声は再生されません。
- ①～⑨を押すと、指定した位置にジャンプします。動画によっては指定位置にジャンプできない場合もあります。

編集種別マークの見かた

	静止画キャプチャ（☞P.271）		映像カッター（☞P.270）
ABCD	テロップ編集（☞P.271）		アフレコ編集（☞P.272）
EFFECT	エフェクト挿入（☞P.272）		サイズ変換（☞P.272）
	情報表示（☞P.270）	Save	保存（☞P.270）
FINISH	終了（☞P.270）		

映像編集画面でのボタン操作

編集種別の選択方法には、次の方法があります。

- ◎で編集種別を選択
- ⊙で編集種別マークを選択

関連操作

テロップを表示しないようにする＜テロップ表示＞

1 映像編集画面▶◎▶⊙▶②▶②［テロップ表示］
2 ②［OFF］

関連操作

詳細情報を表示する＜情報表示＞

映像編集画面▶◎▶⑦［情報表示］
- 確認を終わるとき：⦿［確認］

お知らせ

- 映像編集後、続けて編集の種類を選択すると、同じ動画を連続で編集できます。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみテロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入ができます。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるときは、テロップ編集、アフレコ編集、エフェクト挿入を行うことはできません。

テロップ表示について
- お買い上げ時は、［ON］に設定されています。

動画を切り取る＜映像カッター＞

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

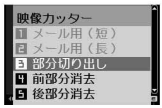
- テロップが付いている場合、テロップの始点から終点までが切り取る範囲に含まれていないと、テロップは削除されます。

動画の始点と終点を指定して切り取る

- ３秒未満の動画は切り取りできません。

1 映像編集画面（☞P.270）▶◎▶②［映像カッター］▶切り取り方法を選択

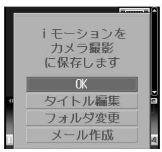
- ⊙を押してコマ送り／戻しをできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。



始点と終点を指定して切り取る	③［部分切り出し］▶⑧［始点］▶⑧［終点］▶⦿［確認］
始点からファイルの最後までを切り取る	④［前部分消去］▶⑧［始点］▶⦿［確認］
ファイルの最初から終点までを切り取る	⑤［後部分消去］▶⑧［終点］▶⦿［確認］

- 映像編集画面に戻ります。

2 動画を保存



＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

編集した動画を保存	ⓜ▶⑧[保存]▶[OK]▶⦿
タイトルを変更して保存	ⓜ▶⑧[保存]▶[タイトル編集]▶⦿▶タイトルを編集▶⦿▶[OK]▶⦿ ●静止画キャプチャの場合は最大全角25文字（半角50文字）まで、その他の場合は最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
保存するフォルダを変更して保存	ⓜ▶⑧[保存]▶[フォルダ変更]▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶[OK]▶⦿ ●miniSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できないことがあります。
ｉモードメールに添付して送信※	ⓜ▶⑧[保存]▶[メール作成]▶⦿▶ｉモードメール作成・送信 ●動画は自動的に保存されます。 ●詳しくは：☞P.199の操作２～４
編集した動画を保存しない	ⓜ▶◁▶①[終了]▶[はい]▶⦿
編集した動画を再生	ⓘ[プレビュー]

※ 編集した動画の画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」で、ファイルサイズが300Kバイトを超えるときは、メール添付用に変換するかどうかの選択画面が表示されます。[メール用(短)]を選択し⦿を押すと、先頭から約290Kバイトが自動的に切り出されます。[メール用(長)]を選択し⦿を押すと、先頭から約490Kバイトが自動的に切り出されます。そのまま保存するときは、[何もしない]を選択し⦿を押します。

動画からメール用に切り出す

ｉモードメール添付用に、動画を切り出します。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみ切り出しできます。
- 約290Kバイト以下の動画は切り出しができません。

1 映像編集画面（☞**P.270**）▶ⓜ▶②[映像カッター]▶切り出し方法を選択

[メール用(短)]	指定した位置から約290Kバイトまでを自動的に切り出します。
[メール用(長)]	指定した位置から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。

- ◁▷を押してコマ送り／戻しをできます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。

2 切り取る始点▶ⓘ[始点]▶⦿[確認]

3 動画を保存

- 保存については、P.270「動画を切り取る」の操作２を参照してください。

動画を静止画として保存する
<静止画キャプチャ>

動画の一場面を、静止画として保存できます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、ｉモードメールに添付して送信することもできます。

1 映像編集画面（☞**P.270**）▶◁▷で静止画として保存したい場面を選択▶ⓜ▶①[静止画キャプチャ]

2 [OK]▶⦿

動画の一場面が静止画として保存されます。

- 保存については、P.261「静止画を回転する」の操作２を参照してください。

動画のテロップを編集する
<テロップ編集>

動画を再生中に、テロップを付けたいところで一時停止して、１ファイルにつき、最大５個のテロップを付けることができます。
文字の色やサイズを変更したり、背景に色を付けるなどの装飾ができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみテロップ編集できます。
- １秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、テロップ編集できません。

1 映像編集画面（☞**P.270**）▶ⓜ▶③[テロップ編集]

- [現在のテロップをすべて削除します　よろしいですか？]と表示されたとき：[はい]▶⦿
現在のテロップを残したままテロップ編集する場合は、[いいえ]を選択し、⦿を押します。



2 ⦿[再生]▶テロップを入れる場面▶⦿[ポーズ]▶ⓘ[始点]

- ⓘ[始点]を押す前に◁▷を押してコマ送り／戻しをして位置を調整できます。１秒以上押すと、早送り／早戻しします。

3 文字を入力（☞**P.350**）▶⦿

- 最大全角20文字（半角40文字、絵文字、改行も含む）まで入力できます。

4 ⓜ▶①[デコレーション]▶装飾の種類を選択▶装飾内容を指定

選択した装飾一覧画面が表示されます。



装飾の種類	装飾内容の指定
文字色	文字色▶⦿
背景色	背景色▶⦿
アンダーライン	①[引く]／②[引かない]
点滅	①[する]／②[しない]
文字サイズ	①[文字→小]／②[文字→大]
文字表示位置	①[左]／②[中央]／③[右]
スクロールイン	①[する]／②[しない]
スクロールアウト	①[する]／②[しない]
スクロール方向	①[←(右から左)]／②[→(左から右)]／③[↑(下から上)]／④[↓(上から下)]

- 入力した文字に装飾が反映されます。
- [スクロールイン]または[スクロールアウト]を設定した場合に[スクロール方向]が表示されます。

5 テロップ編集を完了

編集を完了	◎▶②[編集完了]
再び文字を編集	◎▶③[文字編集]▶操作3～4(くり返し可)
装飾を解除	◎▶④[デコレーション解除]▶[はい]▶⦿
テロップを削除	◎▶⑤[テロップ削除]▶[はい]▶⦿
他のところにテロップを付ける	操作2～4(くり返し可)

6 動画を保存

- 保存については、P.270「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

お知らせ

- テロップ編集を行うと、そのデータは、着信音などの設定ができません。

動画をアフレコ編集する ＜アフレコ編集＞

動画に音声を付けることができます。動画を再生しながら吹き込みます。音声は送話口から録音されます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみアフレコ編集できます。
- 1秒未満のデータ、500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、アフレコ編集できません。
- 別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク接続時は、イヤホンマイクから録音できます。

1 映像編集画面(☞P.270)▶◎▶④[アフレコ編集]

- 映像のみで撮影した動画のとき：操作3に進む

2 [はい]▶⦿

- ファイルの最初で一時停止します。
- ファイルの途中からアフレコ編集を開始することはできません。

3 ⦿[録音]▶録音が終了したら⦿[完了]

- 映像に合わせて音声を吹き込みます。
- 録音中に一時停止、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。
- 動画が終了するまで録音すると、自動的に完了します。

4 動画を保存

- 保存については、P.270「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

動画全体に効果をかける ＜エフェクト挿入＞

動画の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「sQCIF：128×96」のときのみ編集できます。
- 500Kバイトを超えるデータや映像のないデータは、エフェクト挿入できません。

1 映像編集画面(☞P.270)▶◎▶⑤[エフェクト挿入]▶エフェクトの種類を選択

モノクロ	①	波紋	⑥
セピア	②	万華鏡(大)	⑦
きらきら	③	万華鏡(小)	⑧
色えんぴつ	④	魚眼	○▶①
残像	⑤		

2 動画を保存

- 保存については、P.270「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

動画のサイズを変換する ＜サイズ変換＞

メール添付できるように動画のサイズを変換します。変換後は画質が[NORMAL]で画像サイズが「QCIF:176×144」になります。また、先頭から約490Kバイトまでを自動的に切り出します。

- 画像サイズを「QVGA：320×240」、「hQVGA：240×176」に設定して撮影した動画、または画像サイズを「QCIF：176×144」、画質を[SUPER FINE]に設定して撮影した動画のみ変換できます。

1 映像編集画面(☞P.270)▶◎▶⑥[サイズ変換]▶[はい]▶⦿

2 動画を保存

- 保存については、P.270「動画を切り取る」の操作2を参照してください。

キャラ電とは

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手へ送信できます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり(リップシンク対応データ)、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションをさせることができます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。)
キャラ電や動作は、キャラ電プレーヤでいつでも確認したり、撮影することが可能です。

- FOMA端末にあらかじめインストールされているキャラ電の他に、iモードサイトなどからダウンロードしたキャラ電も利用できます。(☞P.180)
- テレビ電話中(☞P.76)、キャラ電再生中、キャラ電撮影中(☞P.274)のキャラクタ操作では、ボタン確認音は鳴りません。

キャラ電を再生する ＜キャラ電プレーヤ＞

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を再生できます。またアクションを実行することもできます。

1 **TOP**メニュー▶(データ**BOX**)▶[キャラ電]

2 フォルダを選択▶◉

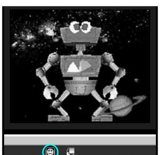
- 次のページを表示するとき:◯
- 前のページを表示するとき:◯



キャラ電一覧画面
©BVIG

3 キャラ電を選択▶◉

- アクションモードを切り替えるときは、ⓐ[モード切替]／◯を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。



アクションモードマーク

- アクションをさせるときは、ⓜ[アクションリスト]または◯を押し、アクションを選択し、◉を押す、または表示されているアクションの番号(①～⑨)を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについて:☞P.77

アクションモードマークの見かた

- ：全体アクションモード
- ：パーツアクションモード

関 連 操 作
再生時の照明を設定する ＜バックライト点灯時間＞
1 操作3▶ⓜ▶◯▶①[バックライト点灯時間] ● キャラ電一覧画面から設定するとき:ⓜ▶⑦▶②[バックライト点灯時間] **2** 常にONにするとき:② ● 照明設定に従うとき:①
画面サイズを変更する＜画面サイズ切替＞
操作3▶ⓘ[等倍] ● 拡大サイズに戻すとき:ⓘ[拡大]
キャラ電をテレビ電話代替画像に設定する ＜テレビ電話代替画像＞
操作3▶◉[登録]／ⓜ▶③▶①[テレビ電話代替画像] ● キャラ電一覧画面から設定するとき:キャラ電を選択▶ⓜ▶③▶①[テレビ電話代替画像]
電話帳に設定する＜電話帳代替画像＞
1 操作3▶ⓜ▶③▶②[電話帳代替画像] ● キャラ電一覧画面から設定するとき:キャラ電を選択▶ⓜ▶③▶②[電話帳代替画像] **2** 電話帳に新規登録するとき:① ● 上書き登録するとき:②

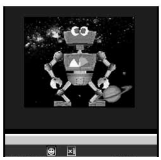
お知らせ

キャラ電プレーヤでキャラ電を表示中のボタン操作

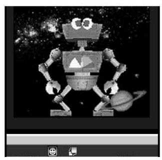
ⓐ／◯	ⓘ	ⓜ／◯
アクションモード切替(☞P.274)	画面サイズ切替(☞P.273)	アクション一覧(☞P.274)
ⓜ	①～⑨	⓪
サブメニュー表示	アクション操作(☞P.274)	アクション中止(☞P.274)

画面サイズについて

キャラ電を表示する画面サイズを変更できます。



等倍



拡大

次ページへ続く

お知らせ

バックライト点灯時間について
- お買い上げ時は、[照明設定に従う]に設定されています。(☞P.115)

画面サイズ変更について
- お買い上げ時は、[拡大]に設定されています。

代替画像設定について
- 設定されたキャラ電には、[☺]が表示されます。

キャラ電を代替画像として電話をかける<キャラ電発信>

お好みのキャラ電を選択し代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[キャラ電]▶フォルダを選択▶⊙▶キャラ電を選択▶◎▶⑥[キャラ電発信]

2 入力方法を選択▶テレビ電話をかける

電話帳を利用してかける	①▶相手を選択▶⊙▶ⓢ[テレビ電話]
電話番号を直接入力してかける	②▶電話番号を入力▶ⓢ[テレビ電話]

キャラ電を操作する

キャラ電にアクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電再生中に、キャラ電にアクションをさせることができます。
- 全体アクションモードにすると、喜ぶや怒るなどの感情を選択することができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクからの音に合わせて口を動かすことができます。
- アクションの種類は、キャラ電により異なります。
- キャラ電によっては、アクションしないものがあります。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[キャラ電]▶フォルダを選択▶⊙▶キャラ電を選択▶⊙

2 ✉[アクションリスト]/○▶アクションを選択
- アクションリストの詳細を表示するとき：ⓢ[詳細]
- 選択したアクションを行います。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについて：☞P.77



- 表示されているアクションの番号(①～⑨)を押すこともできます。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションさせることもできます。
- アクションを中止するとき：⓪

お知らせ
- キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

関 連 操 作
全体アクションとパーツアクションを切り替える<アクションモード切替>
キャラ電再生中▶ⓢ[モード切替]/○

キャラ電を撮影する<キャラ電撮影>

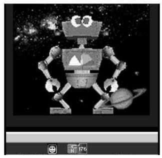
キャラ電を画像として撮影できます。
- マナーモード設定中、シャッター音は鳴りません。

静止画を撮る

キャラ電を撮影し、静止画として保存します。
- キャラ電で撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」です。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[キャラ電]▶フォルダを選択▶⊙▶キャラ電を選択▶⊙▶◎▶①▶①[キャラ電撮影]

2 ②[静止画]



関 連 操 作
動画撮影に切り替える<撮影モード切替>
◎▶①▶①[動画]
画質を変更する<画質>
◎▶②[画質]▶画質の種類を選択
キャラ電を切り替える<キャラ電切替>
◎▶③[キャラ電切替]▶フォルダを選択▶⊙▶使用するキャラ電を選択▶ⓢ[決定]
画面サイズを切り替える
✉[等倍]/[拡大]
保存先を切り替える<本体⇔miniSD切替>
◎▶⑥[本体⇔miniSD切替]

3 ⊙[📷]▶⊙[保存]
- 撮影したいアクションをさせた直後に⊙を押して撮影できます。
- 静止画が保存されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

動画を撮る

キャラ電を撮影し、動画として保存します。

- キャラ電を撮影した動画は、データBOXのｉモーションの[カメラ撮影]フォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」です。

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[キャラ電]▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶◉▶◎▶①▶①[キャラ電撮影]

2 ①[動画]



関連操作
静止画撮影に切り替える＜撮影モード切替＞
◎▶①▶②[静止画]
画質を変更する＜画質＞
◎▶②▶①[画質]▶画質の種類を選択
ファイルサイズ制限を設定する＜ファイルサイズ制限＞
◎▶②▶②[ファイルサイズ制限]▶①[メール用(短)]／②[メール用(長)]／③[制限なし]
キャラ電を切り替える＜キャラ電切替＞
◎▶③[キャラ電切替]▶フォルダを選択▶◉▶使用するキャラ電を選択▶Ⓢ[決定]
画面サイズを切り替える
Ⓜ[等倍]／[拡大]
バックライトの点灯時間を設定する＜バックライト点灯時間＞
◎▶⑥[バックライト点灯時間]▶①[照明設定に従う]／②[常にON]
映像・音声を切り替える＜映像・音声切替＞
◎▶②▶③[映像・音声切替]▶①[映像＋音声]／②[映像のみ]
保存先を切り替える＜本体⇔miniSD切替＞
◎▶⑦[本体⇔miniSD切替]

3 ◉[録画]

- アクション一覧表示中も録画は継続されていますが、録画残時間表示が更新されないことがありますので、ご注意ください。

4 ◉[停止]

- 録画を停止します。
- 録画残時間表示が00:00:00になったときは、自動的に撮影は停止します。また、録画残時間表示は目安であり、撮影対象により00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。

5 保存：①

ｉモードメールに添付してメール作成	②▶ｉモードメール作成・送信 ●動画は自動的に保存されます。 ●詳しくは：☞P.199の操作2～4
再生	③
取消	④▶[はい]▶◉

お知らせ

- キャラ電の動画撮影中にボタン確認音は鳴りませんが、ボタン操作音が録音されることがあります。

キャラ電を管理する

キャラ電の削除や並べ替えなどができます。

並べ替え（ソート）について

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字１→絵文字２→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順	取得元によって、空白→ｉモードの順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

- お買い上げ時は、[日付順(新→旧)]に設定されています。

削除について

フォルダは、次のいずれかの方法で削除できます。

フォルダ１件削除	フォルダを１件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選んで削除します。
全件削除(フォルダ残)	フォルダは残して、すべてのフォルダ内のキャラ電を削除します。
全件削除(フォルダ消)	すべてのフォルダとキャラ電を削除します。

キャラ電は、次のいずれかの方法で削除できます。

１件削除	キャラ電を１件ずつ削除します。
選択削除	複数のキャラ電を選択しまとめて削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのキャラ電を削除します。

情報表示について

表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- 表示サイズ
- ファイルサイズ
- テレビ電話設定[ON／OFF]
- ファイル名

次ページへ続く

- ファイル制限［あり／なし］
- 電話帳設定［ON／OFF］
- オリジナルタイトル
- 撮影後ファイル制限［あり／なし］
- 取得元

お知らせ

- 撮影後ファイル制限とは、キャラ電撮影により作成された静止画／動画のメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

関 連 操 作
キャラ電を並べ替える<ソート>
TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶◉▶◎▶⑦▶①［ソート］▶ソート方法を選択
タイトルを変更する<タイトル編集>
1 TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶◎▶①▶②［タイトル編集］ **2** ①［直接入力］ ● 元のタイトルに戻すとき：②［オリジナルタイトルに戻す］ **3** タイトルを編集▶◉ ● タイトルを削除するとき：Ⓒ(１秒以上)
キャラ電を削除する<削除>
1 TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶◎▶②［削除］ **2** ①［１件削除］ ● 複数のキャラ電を選択し、まとめて削除するとき：②［選択削除］▶キャラ電を選択◉(くり返し可)▶◎［確定］ ● フォルダ内のすべてのキャラ電を削除するとき：③［フォルダ内全件削除］▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉ **3** ［はい］▶◉
キャラ電を別のフォルダに移動する<移動>
1 TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶◎▶⑤［移動］ **2** ①［１件移動］ ● 複数のキャラ電を選択し、移動するとき：②［選択移動］▶データを選択◉(くり返し可)▶◎［確定］ ● フォルダ内のすべてのデータを移動するとき：③［フォルダ内全件移動］▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉ **3** フォルダを選択▶◉
キャラ電の詳細情報を表示する<情報表示>
TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［キャラ電］▶フォルダを選択▶◉▶キャラ電を選択▶◎▶④［情報表示］ ● 確認を終わるとき：◉［確認］

お知らせ

タイトルの変更について
- 最大全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字(半角14文字)です。

お知らせ

キャラ電の削除について
- 全件削除すると、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。(☞P.180)

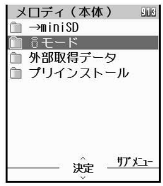
メロディプレーヤ

メロディを再生する

ｉモードサイトなどからダウンロードしたｉメロディや、ｉモードメールやメッセージR／Fに添付されているメロディは、データBOXのメロディに保存され、メロディプレーヤで再生できます。

1 TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶［メロディ］

- 連続再生するとき：◎▶③［連続再生］



2 フォルダを選択▶◉

- miniSDメモリーカード内のメロディを確認するとき：［→miniSD］▶◉
- 次のページを表示するとき：◎
- 前のページを表示するとき：◎

関 連 操 作
音量を調節する<音量設定>
操作２▶◎▶⑦▶③［音量設定］▶◎(上げる)／◎(下げる)▶◉

3 メロディを選択▶◉［再生］

- 再生中に◉［停止］を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。
- マナーモードを設定しているときは、［マナーモード中です。メロディを再生しますか？］と表示されます。［はい］を選択し、◉を押します。

関 連 操 作
イコライザを設定する<イコライザ設定>
操作３▶◎▶⑦▶①［イコライザ設定］▶イコライザの種類を選択

お知らせ

- 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

データBOXのメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.278）を利用してパソコンに転送・保管することをおすすめします。

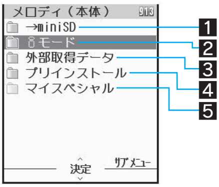
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、データBOXのメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メロディを着信音に設定できます。（☞P.278）
- 現在のメロディの参照先（FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカード）は、メロディプレーヤをいったん終了しても記録され、次回、メロディプレーヤを起動したときにも同じ参照先となります。

音量設定について

- お買い上げ時は、［音量５］に設定されています。

メロディフォルダ一覧画面の見かた

FOMA端末（本体）



1 miniSDメモリーカードのメロディフォルダに切り替え
2 iモードサイト、iモードメールやメッセージR／Fで取得したメロディ用フォルダ
3 バーコードリーダーやminiSDメモリーカード、赤外線通信で入手したメロディ用フォルダ
4 あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディ用フォルダ
5 お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.286）

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディフォルダ一覧画面で［→miniSD］選択するか◎▶⑥［本体⇔miniSD切替］を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。



1 FOMA端末（本体）のメロディフォルダに切り替え
2 あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
3 お客様が作成できるメロディ用フォルダ（☞P.284）

メロディマークの見かた

	SMF	MFi
マーク	SMF	MFi

：FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディ
：着信音などに設定したメロディ
：iモードなどでダウンロードしたメロディ
：miniSDメモリーカード、赤外線通信など、FOMA端末以外から取得したメロディ
：メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディ

連続再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のすべてのメロディを連続して再生できます。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［メロディ］▶フォルダを選択▶◎▶③［連続再生］

途中で次のメロディにスキップ	◯
現在のメロディの先頭に戻る	◯ ● メロディの先頭でもう一度◯を押すと、１つ前のメロディに戻ります。

メロディの演奏部分を指定する<開始位置選択>

iモードサイト、iモードメールやメッセージR／Fで取得したメロディの指定されている部分だけを演奏できます。

- 演奏部分は、あらかじめ指定されている部分が決まっていて、変更できません。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［メロディ］▶フォルダを選択▶◉▶◎▶⑦▶①［開始位置選択］

- 演奏部分を指定できないメロディの場合、［1 開始位置選択］はグレーで表示されます。

2 再生方法を選択

フルコーラス再生	メロディを全部演奏します。
ポイント再生	メロディを一部演奏します。

メロディを添付してiモードメールを送信する

データBOXのメロディからメロディ（SMF）を選択し、iモードメールに添付して送信できます。

- 送信できるメロディのサイズは最大10000バイトです。これを超えるサイズは添付できません。

1 TOPメニュー▶（データBOX）▶［メロディ］▶フォルダを選択▶◉▶メロディを選択▶◎［メール］

- メール作成画面が表示され、選択したメロディファイルが添付されます。

2 iモードメールを作成▶送信

- 詳しくは：☞P.199の操作２～４

次ページへ続く

お知らせ

- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- ファイル形式がMFiのメロディ、メールに添付されたメロディ、iモードでダウンロードしたメロディやiアプリから取得したファイル制限ありのSMFのメロディは一部、iモードメールに添付できないものがあります。

メロディを着信音などに設定する ＜音設定＞

データBOXのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定できます。

1 **TOP**メニュー▶(データ**BOX**)▶［メロディ］▶フォルダを選択▶◉▶メロディを選択▶㊂［音設定］

- サブメニューから切り替えるとき：◎▶③［音設定］

2 項目を選択

音声電話着信音	①
テレビ電話着信音	②
非通知着信音	③
メール着信音	④
メッセージR着信音	⑤
メッセージF着信音	⑥
SMS着信音	⑦
チャットメール着信音	⑧
オープン音	◌▶①
クローズ音	◌▶②

- メロディを確認するとき：メロディを選択▶◉［再生］
- 停止するとき：◉［停止］

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、miniSDメモリーカードを利用できます。miniSDメモリーカードは、SDメモリーカードをさらに小型化したメモリーカードです。FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを閲覧できます。miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安について：☞P.402～P.403

miniSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

miniSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- miniSDメモリーカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないと、使用できません。
- miniSDメモリーカードを挿入してFOMA端末を起動したときに、［miniSDが使用中です］または［miniSD認識中］と表示されることがあります。この場合は、しばらくたってからご使用ください。
- SH702iDでは、1GバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2006年2月現在）miniSDメモリーカードの最新対応状況については、FOMA端末からの場合：［iMenu］▶［③メニューリスト］▶［ケータイ電話メーカー］▶［SH-MODE］
パソコンからの場合　：http://k-tai.sharp.co.jp/products/d/sh702id/をご覧ください。
- miniSDメモリーカードや他の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードなどをお使いの場合は次の点にご注意ください。
  - ■ miniSDメモリーカードを挿入してFOMA端末を起動すると、約5秒間FOMA端末でご使用いただくための情報を書き込みます。その間に電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
  - ■ パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますので、ご注意ください。フォーマットの操作について：☞P.283
- miniSDメモリーカード内のデータ編集中に、FOMA端末やminiSDメモリーカードを挿入した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたminiSDメモリーカードをFOMA SH702iDに挿入した場合、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

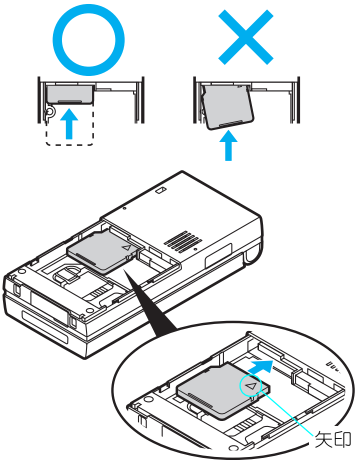
miniSDメモリーカードを挿入する

FOMA端末の電源を切ってから電池パックを取り外し、miniSDメモリーカードを取り付けてください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

1 miniSDメモリーカードの矢印(▲)を上に向けてゆっくりと挿入

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。
- miniSDメモリーカードが傾いたままで無理に押し込まないでください。miniSDメモリーカードスロットが破損することがあります。



■ miniSDメモリーカードを取り外す

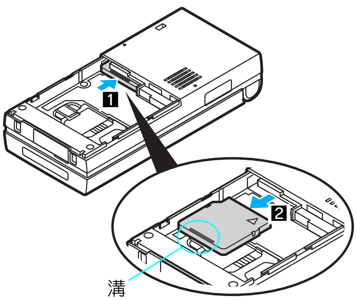
FOMA端末の電源を切ってから電池パックを取り外し、miniSDメモリーカードを取り外してください。

1 miniSDメモリーカードを軽く押し込む(❶)

- 「カチッ」と音がするまで指で押し込んでください。miniSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させるおそれがあります。

2 miniSDメモリーカードを取り外す(❷)

- 爪でカードの溝をひっかけて、ゆっくりまっすぐに取り外してください。



お知らせ

- miniSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- FOMA端末から取り外したときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。

miniSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末(本体)のデータをminiSDメモリーカードにコピーできます。
コピーには、1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

■ FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーできるデータ

機　能	件　数※1	1件／選択／全件コピー	グループ内全件コピー	フォルダ内全件コピー
電話帳※2	合わせて最大65535件	○	○	－
スケジュール※3、4		○	－	－
ToDoリスト※3		○	－	－
テキストメモ		○	－	－
ブックマーク		○	－	○※9
iモードメール／SMS※5、6		○	－	○
静止画※7、8	最大999フォルダ／1フォルダ最大400件(☞P.402)	○	－	○
動画※7	最大4095フォルダ／1フォルダ最大400件(☞P.402)	○	－	○
メロディ※7	999フォルダ／1フォルダ最大400件	○	－	○

※1　保存するデータの大きさや、miniSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。

※2　シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、キャラ電設定はコピーされません。電話帳で[画像転送設定]を[しない]に設定しているときは、ピクチャーコール設定もコピーされません。[画像転送設定]を[する]に設定しても、ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のあるデータはコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。

※3　シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報はコピーされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もコピーされません。

※4　祝日設定はコピーされません。終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。

※5　miniSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信したり、転送できますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。

※6　大容量添付ファイルが添付されているメールは、大容量添付ファイルが削除されてコピーされます。

※7　ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーできます。

※8　Flash画像、フレームはminiSDメモリーカードにコピーされません。

※9　フォルダ情報はコピーされません。

お知らせ

- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカードに保存できます。
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからminiSDメモリーカードへ直接ファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されないことがあります。その場合はデータリンクソフトをご利用ください。データリンクソフトのダウンロードについて：☞P.379
- PIMロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時的に解除され、操作できるようになります。

miniSD管理画面について



miniSD管理画面では、miniSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、miniSDメモリーカード内のデータを管理・利用できます。また、FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続し、miniSDリーダーライターとして利用することもできます。（☞P.284）

- miniSD管理画面：TOPメニュー▶L（生活ツール）▶[miniSD管理]
- miniSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコンなどでminiSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。（☞P.285）管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピーなどができない場合がありますので、ご注意ください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

miniSDメモリーカード
- BOOK　ブックリーダーフォルダ
- DCIM　静止画フォルダ
  - xxxSHARP　撮影静止画用フォルダ
  - xxxSH_UF　ユーザ作成フォルダ
- MISC　DPOF設定ファイル用フォルダ
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - RINGER　メロディファイル用フォルダ
    - STILL　その他画像ファイル用フォルダ
    - TABLE　管理情報フォルダ※1
  - SHARP
    - IMPORT　インポートフォルダ
    - VOICE　ボイスメモフォルダ・iモーション（音楽データ含む）
- SD_AUDIO ※2　音楽データ用フォルダ
- SD_PIM　PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク）
- SD_VIDEO　動画フォルダ
  - PRLxxx　撮影動画用フォルダ

※1　[TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[RINGER]、[STILL]、[SD_VIDEO]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

※2　SD_AUDIOフォルダはSD-jukeboxを利用して音楽データを転送した場合に作成されます。なお、SD_AUDIOフォルダは隠しフォルダであり、お使いのパソコン設定により表示されないことがあります。
- フォルダ名「PUDxxx」の「xxx」は、001～999の3桁の半角数字、フォルダ名「PRLxxx」の「xxx」は、001～FFFの3桁の半角英数字になります。
- フォルダ名「xxxSHARP」、「xxxSH_UF」の「xxx」は、100～999の3桁の半角数字になります。（「xxx」は変更できますが、000～099に変更しても認識されません。）
- GIFアニメーションファイルは［STILL］フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは［DCIM］フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。

miniSDへコピー

FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーする

データの一覧画面や内容表示画面から、データをminiSDメモリーカードにコピーします。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面▶Ⓟ▶名前を選択▶Ⓜ▶⑤▶②［**miniSD**へコピー］
- 電話帳の内容を確認してからコピーするとき：内容表示画面▶Ⓜ▶③▶③［miniSDへ1件コピー］▶［はい］▶●

2 コピー方法を選択

1件コピー	①▶［はい］▶●
グループ内全件コピー	②▶グループを選択▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶［はい］▶●
全件コピー	③▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶●▶［はい］▶●
選択コピー	④▶名前を選択●（くり返し可）▶Ⓜ［完了］▶［はい］▶●

お知らせ
- データBOXの静止画、メロディ、動画／iモーションをminiSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。
- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で静止画、動画／iモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400件を超えると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。

お知らせ
- FOMA端末に保存してあるJPEG画像をminiSDメモリーカードにコピーすると、画像のファイルサイズが大きくなります。FOMA端末のメモリが少ないと、元の画像を削除しても、miniSDメモリーカードにコピーした画像をFOMA端末にコピーして戻せない場合があります。
- miniSDメモリーカードのメール、電話帳、スケジュール、ToDo、Bookmark、テキストメモのデータを選択コピー／選択削除するときは、50件まで選択できます。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。
- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、コピーできない場合があります。

バックアップ／復元

FOMA端末（本体）のデータをバックアップする

FOMA端末（本体）の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ）のデータをminiSDメモリーカードにバックアップデータとして各機能ごとに1ファイルで保存できます。電話帳のバックアップ／復元では所有者情報も含んで転送されます。
- バックアップできるデータの種類について：☞P.279
ただし、データBOXの静止画や動画／iモーション、メロディはバックアップできません。
- 個人データのバックアップは、同機種間またはminiSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時に個人データの移動などの目的でご利用されることをおすすめします。
- 電池残量が少ない場合、バックアップできなかったり、正しくバックアップできないことがあります。充電しながら行うことをおすすめします。
- あらかじめ、日付・時刻を設定しておいてください。（☞P.45）
- PIMロック中は、バックアップできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップできません。

FOMA端末（本体）からminiSDメモリーカードにバックアップする

1 **TOP**メニュー▶Ⓛ（生活ツール）▶［**miniSD**管理］▶［バックアップ／復元］▶［**miniSD**へバックアップ］▶機能を選択
- ［メール］を選択したときは、メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選択し、●を押します。

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力●▶［はい］▶●
- バックアップが開始されます。

次ページへ続く▶▶

- バックアップが終了すると、[バックアップ完了しました]と表示されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳のシークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、キャラ電設定はバックアップされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- 電話帳で[画像転送設定]を[する]に設定している場合、ピクチャーコールに設定した画像もバックアップされます。バックアップされる画像は、FOMA端末でカメラ撮影した静止画、動画およびそれらを編集したものです。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- ToDoリストをバックアップすると、シークレット登録したデータが通常のデータとして保存されますので、ご注意ください。
- メールでは、i アプリ To、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。

miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にバックアップデータを読み込む

miniSDメモリーカードからFOMA端末(本体)にバックアップデータを読み込みます。

- FOMA端末(本体)のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末(本体)のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[バックアップ/復元]▶[本体へ復元]▶機能を選択

選んだ機能のバックアップデータが表示されます。該当するデータがないときは、[miniSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。
例:2006年4月21日8時52分の場合→[datagr060421_0852]
- [メール]を選んだときは、メール内の分類が表示されます。⦿を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。
- バックアップデータの内容を確認するとき:バックアップデータを選択▶◎▶②[データ参照]
- バックアップデータの情報を確認するときは、バックアップデータを選択し、◎▶③[情報表示]を押します。タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

2 バックアップデータを選択▶⦿▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶⦿

復元確認画面が表示されます。

3 [追加]▶⦿

- バックアップデータの読み込みが開始されます。
- バックアップデータの読み込みが終了すると、[復元完了しました]と表示されます。
- FOMA端末(本体)のデータに上書きするとき:[上書き]▶⦿▶[はい]▶⦿
電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報については、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますので、ご注意ください。

お知らせ

- メールとブックマークにはフォルダの情報が保存されていないため、受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、ブックマークは[Bookmark]フォルダに保存されます。
- メールについては、転送に時間がかかる場合があります。

バックアップデータを削除する

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[バックアップ/復元]▶[本体へ復元]▶機能を選択

2 データを選択▶◎▶①[削除]▶削除方法を選択

1件削除	①▶[はい]▶⦿
選択削除	②▶データを選択⦿(くり返し可)▶⑧[完了]▶[はい]▶⦿
フォルダ内全件削除	③▶端末暗証番号(4~8桁の数字)を入力▶⦿▶[はい]▶⦿

miniSDデータ参照

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはminiSD管理画面から確認できます。

各機能の画面から確認する

miniSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

例：電話帳の場合

待受画面▶◻▶◎▶⊙▶②［miniSDデータ参照］

miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。FOMA端末（本体）のデータと同様に確認できます。

- バックアップデータを選択し、⦿を押すと、miniSDメモリーカードにバックアップしたデータの内容を確認できます。
- 該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。

miniSD管理画面から確認する

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［miniSD管理］▶［miniSDデータ参照］▶機能を選択

- 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、［miniSDデータがありません］と表示されたあと、元の画面に戻ります。
- ［メール］を選んだときは、メール内の分類が表示されます。参照するメールを選択し、⦿を押します。
- データを削除するとき：◎▶①［削除］▶削除方法を選択▶画面の指示に従って操作する。（基本的な操作方法は、電話帳などと同様です。）
- FOMA端末（本体）へコピーするとき：◎▶②［本体へコピー］▶コピー方法を選択▶画面の指示に従って操作する
  バックアップ／復元（☞P.281）で作成されたデータはコピーできません。
- データ情報を確認するとき：◎▶③［情報表示］

2 データを選択▶⦿

- データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

本体へコピー

miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている各データをFOMA端末（本体）にコピーできます。
１件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。

- miniSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

例：電話帳の場合

1 待受画面▶◻▶◎▶⊙▶②［miniSDデータ参照］

2 データを選択▶◎▶②［本体へコピー］▶コピー方法を選択

１件コピー	①▶［はい］▶⦿
選択コピー	②▶名前を選択⦿（くり返し可）▶⑥［完了］▶［はい］▶⦿
全件コピー	③▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿▶［はい］▶⦿

お知らせ

- miniSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。
- miniSDメモリーカードにバックアップしたデータをコピーすることはできません。miniSDメモリーカードからの読み込み（☞P.282）を行ってください。

電話帳をコピーするとき

- 名前が未登録のデータがコピーされたときは［No Name］と表示されます。

ブックマークをコピーするとき

- ［同じURLは上書きされます　よろしいですか？］と表示されます。現在のデータに上書きするときは、［はい］を選択します。

miniSDメモリーカードの管理について

データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、ブックリーダーは、miniSDメモリーカード内のデータを管理するために、フォルダの作成や削除、フォルダ名の編集を行うことができます。データの詳細情報を表示したり、静止画をプリント指定することもできます。

- miniSDメモリーカード内には、1つのフォルダに最大400件までのファイルを保存できます。フォルダやデータについて：☞P.279～P.280

miniSDメモリーカードをフォーマットする<フォーマット>

フォーマット（初期化）されていないminiSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、miniSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。
- フォーマットを中止すると、miniSDメモリーカードがパソコンなどで認識されなくなりますので、ご注意ください。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［miniSD管理］▶［フォーマット］

次ページへ続く

2 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿▶[はい]▶⦿

● フォーマットが終了すると、[フォーマットしました]と表示されます。

データを管理する

削除について

miniSDメモリーカードのデータは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	データを1件ずつ削除します。
選択削除	複数のデータを選択し、まとめて削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのデータを削除します。

関連操作

miniSDメモリーカードのデータを削除する(例:電話帳)

1 待受画面▶ⓜ▶◎▶◌▶②[miniSDデータ参照]▶データを選択▶◎▶①[削除]
2 ①[1件削除]
● 複数のデータを選択し、まとめて削除するとき:②[選択削除]▶名前を選択⦿(くり返し可)▶ⓘ[完了]
● すべてのデータを削除するとき:③[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
3 [はい]▶⦿

miniSDメモリーカードにフォルダを作成する(例:マイピクチャ)

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶[→miniSD]▶⦿▶◎▶①▶①[フォルダ新規作成]
2 カメラ撮影フォルダを作成するとき:①
● [その他静止画]フォルダを作成するとき:②
3 フォルダ名を入力▶⦿

miniSDメモリーカードのデータをフォルダごと削除する(例:マイピクチャ)

1 TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶[→miniSD]▶⦿▶フォルダを選択▶◎▶②[削除]
2 ①[フォルダ1件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
● 複数のフォルダを選択し、まとめて削除するとき:②[フォルダ選択削除]▶フォルダを選択⦿(くり返し可)▶◎[確定]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
● フォルダを残してすべてのデータを削除するとき:③[全件削除(フォルダ残)]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
● すべてのフォルダを削除するとき:④[全件削除(フォルダ消)]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
3 [はい]▶⦿

miniSDメモリーカード内のデータの詳細情報を表示する(例:電話帳)

待受画面▶ⓜ▶◎▶◌▶②[miniSDデータ参照]▶データを選択▶◎▶③[情報表示]
● 確認を終わるとき:⦿[確認]

お知らせ

削除について
● miniSD管理画面でデータを確認中に削除することもできます。(☞P.283)

フォルダ作成について
● miniSDメモリーカードの空き容量がない場合、miniSDメモリーカード内にフォルダを新規作成することはできません。
● フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。ブックリーダーのフォルダ名は、全角・半角を問わず最大64文字まで入力できます。

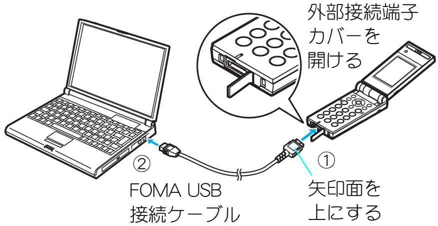
情報表示について
● 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。
● miniSD管理画面でデータを確認中に情報表示することもできます。(☞P.283)

miniSDリーダーライターとして使う<USBモード設定>

お買い上げ時 通信モード

FOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)でパソコンに接続し、miniSDメモリーカードのデータの読み込みや書き込みをすることができます。

通信モード	外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、データの送受信(OBEX)用に使います。(☞P.346)
miniSDモード	外部接続端子をminiSDメモリーカードのリードライト用に使います。



1 TOPメニュー▶(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[USBモード設定]

● TOPメニュー▶(設定)▶[一般設定]▶[USBモード設定]の順に選択することもできます。

2 ②[miniSDモード]▶[はい]▶⦿

3 FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続(☞P.284)

● 通信モードに戻るときは、いずれかのボタンを押し、[はい]を選択し、⦿を押します。または、約90秒間何も操作しないでそのままにしておくと、自動的に通信モードに切り替わります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

- FOMA端末をminiSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル(別売)
パソコン	FOMA USB接続ケーブル(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP(いずれも日本語版)

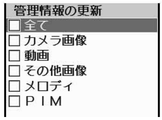
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池をフル充電して、電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。また、パソコンの電源についても確認してください。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータの読み込み／書き込み中は[miniSDモード]に設定できません。
- miniSDモード中は、電話やｉモードなどの通信ができません。

miniSDメモリーカードの管理情報を更新する<管理情報の更新>

miniSDメモリーカードを他の機器などで利用(データ編集や追加、削除など)した場合、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、miniSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。
- 管理情報の更新を行うと、Exif形式以外のデータのタイトル名は消去されますので、ご注意ください。ただし、オリジナルタイトルの付いたｉモーションとメロディのタイトル名は消去されません。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[管理情報の更新]



2 項目を選択▶◉

- マークが[☑]に変わります。☑が選択、□が解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。管理情報を更新する項目をすべて選択します。
- [全て]を選択したとき：[はい]▶◉
  管理情報更新が開始されます。

3 ⓜ[完了]▶[はい]▶◉

- 管理情報更新が開始されます。

お知らせ

- 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
  - ■ ｉアプリ
  - ■ 静止画・動画撮影のminiSDメモリーカードへの保存
  - ■ 電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、Bookmark、テキストメモ、ブックリーダー、データBOXのマイピクチャ・ｉモーション・メロディからのminiSDデータ参照
  - ■ miniSDメモリーカードのメモリ確認
  - ■ 赤外線受信
  - ■ プリント指定(DPOF)
  - ■ モバイルオーディオ

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ(電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ)をminiSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認できます。

- あらかじめ、データリンクソフトを使って、パソコンなどからminiSDメモリーカードのインポートフォルダにデータをコピーしておいてください。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[インポート]

2 機能を選択

- 該当するデータがないときは、[miniSDデータがありません]と表示されたあと、操作1の画面に戻ります。

- 選んだ機能のデータ(ファイル名)が表示されます。
- データを削除するとき:◎▶①[削除]
  以降の操作は通常のデータの削除と同様です。
- FOMA端末(本体)へコピーするとき:◎▶②[本体へ1件コピー]
  以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。漢字やひらがなのファイル名のファイルをコピーしたときは、FOMA端末で扱えるファイル名に変更されます。
- データ情報を確認するとき:◎▶③[情報表示]
  パソコンなどで作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

3 データを選択▶⦿

お知らせ

- メロディの場合、本体へのコピーは100Kバイト、miniSDメモリーカード上の再生は200Kバイトまで可能となります。静止画の場合、JPEG画像は1.2Mバイト、GIF画像は500Kバイト、動画の場合は800Kバイトまで再生およびコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、バックアップデータ内の最初の1件のみを表示します。
- 横1536×縦2048ドットを超える静止画(JPEG/GIF)は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- 次の場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - FOMA端末で未対応のファイルが添付されているメール
  - 100Kバイトを超えるJPEG画像が添付されているメール
  - 500Kバイトを超える動画/iモーションが添付されているメール
  - 10000バイト以下の添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
  - iモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ(SMF)ファイルが合計2件以上添付されているメール
  - iモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルまたは10000バイトを超えるメロディ(SMF)ファイルを除く添付ファイルの合計サイズがメール本文と合わせて10000バイトを超えるメール
- インポートフォルダに保存する場合のファイル名の文字数は次のとおりです。
  - PIMデータ(電話帳、スケジュール、ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク)は、全角・半角を問わず228文字以内(拡張子を除く)
  - 静止画、動画、メロディは、全角・半角を問わず100文字以内(拡張子を除く)

データを管理する

データBOXには次のフォルダがあります。

データBOX
- マイピクチャ
  FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。(☞P.257)
- iモーション
  FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したiモーションが保存されます。(☞P.265)
- メロディ
  メロディが保存されます。(☞P.276)
- キャラ電
  キャラ電が保存されます。(☞P.273)
- プリント指定(DPOF)
  miniSDメモリーカードに保存された静止画のプリント指定の枚数などが、miniSDメモリーカードに保存されます。(☞P.300)

フォルダを作成・編集・削除する

データBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電にそれぞれ最大20個のフォルダを作成して、データを管理できます。

削除について

フォルダは、次のいずれかの方法で削除できます。

フォルダ1件削除	フォルダを1件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選択し、まとめて削除します。
全件削除(フォルダ残)	フォルダは残して、すべてのフォルダ内のデータを削除します。
全件削除(フォルダ消)	すべてのフォルダを削除します。

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。
- 保存されているデータごと削除されます。
- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。設定を解除して、やり直してください。

マイピクチャを例に説明します。

関連操作

フォルダを作成する<フォルダ新規作成>

TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶◎▶[フォルダ管理]▶⦿▶[フォルダ新規作成]▶⦿▶フォルダ名を入力▶⦿

フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

TOPメニュー▶(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◎▶[フォルダ管理]▶⦿▶[フォルダ名編集]▶⦿▶フォルダ名を編集▶⦿

- フォルダ名を削除するとき:フォルダ名編集画面▶Ⓒ(1秒以上)

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

関連操作
フォルダを削除する<削除>

1 TOPメニュー▶🗎(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◎▶②[削除]

2 ①[フォルダ1件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿

- 複数のフォルダを選択し、まとめて削除するとき:②[フォルダ選択削除]▶フォルダを選択⦿(くり返し可)▶◎[確定]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
- フォルダを残してすべてのデータを削除するとき:③[全件削除(フォルダ残)]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿
- すべてのフォルダを削除するとき:④[全件削除(フォルダ消)]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿

3 [はい]▶⦿

お知らせ

フォルダ作成について
- フォルダ名は最大全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

フォルダ名編集について
- 緑色のフォルダ以外は変更できません。

データを削除・ソートする

データの削除や並べ替えなどができます。
- キャラ電の管理について:☞P.275

削除について

データは、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	データを1件ずつ削除します。
選択削除	複数のデータを選択し、まとめて削除します。
フォルダ内全件削除	フォルダ内のすべてのデータを削除します。

- 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除では削除されません。

並べ替え(ソート)について

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

日付順(新→旧)	保存した日付の新しい順
日付順(旧→新)	保存した日付の古い順
タイトル名順	タイトルによって、(半角数字→半角英大文字→半角英小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字1→絵文字2→全角数字→全角英大文字→全角英小文字→半角カタカナ)の順
ファイル取得元順※	取得元によって、空白→iモード→カメラ→データ交換→キャラ電→テレビ電話の順
サイズ順(大→小)	サイズの大きい順
サイズ順(小→大)	サイズの小さい順

※データの種類により取得元は異なります。
- お買い上げ時は、[日付順(新→旧)]に設定されています。

ファイル制限設定について

静止画や動画のメール添付や、FOMA端末外への出力ができないように設定できます。
- FOMA端末で撮影したデータをファイル制限設定すると、お客様がiモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- iモードサイトなどからダウンロードしたデータや、iモードメールに添付されているデータ、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、iアプリから保存したデータのファイル制限設定を変更することはできません。
- FOMA SH702iDで撮影、または編集して作成したデータのみ設定を変更できます。
- FOMA SH702iDで撮影した動画であっても、iモードサイトなどから取得したiモーションや、iモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したiモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

詳細情報(情報表示)について

表示される情報は、次のとおりです。

項目	マイピクチャ	iモーション	メロディ
保存日時	○	○	○
保存日時(Exif)(カメラ撮影画像のみ)	○	−	−
作成日時	−	○	○(MFiのみ)
表示サイズ※1(Flash画像を除く)	○	○	−
ファイルサイズ	○	○	○
ファイルサイズ(映像部)(JPEG画像のみ)	○	−	−
ファイル形式(Flash画像を除く)	○	○	○
ファイル制限[あり/なし]	○	○	○
音色設定※2	−	○	○
画面設定※2	○	○	−
電話帳設定※2	○	○	○
スケジュール/ToDo設定※2	○	○	○
テレビ電話設定※2	○	−	−
伝言メモ設定※2	○	−	−
所有者情報設定※2	○	−	−
デイリーアラーム設定※2	−	○	○

次ページへ続く

項　目	マイピクチャ	iモーション	メロディ
スライドショー設定	－	－	○
作成者	－	○	－
コピーライト	－	○	－
説明	－	○	－
ファイル名	○	○	○
撮影日時(JPEG画像のみ)	○	－	－
オリジナルタイトル	－	○	○
再生回数制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
再生期限制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
再生期間制限[MobileMP4／MP4]※3	－	○	－
音[AAC/AMR]※2、4	－	○	－
取得元	○	○	○
故障時移行可否[可／不可]※2	○	－	○
着信音設定[可／不可、MobileMP4／MP4]	－	○	－
着信画面設定[可／不可]	－	○	－
サラウンド再生[可／不可]※4	－	○	－

※1　表示サイズは数値(ドット)で表示されます。
※2　miniSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※3　再生制限がない場合は表示されません。
※4　音声のない動画／ｉモーションの場合は、表示されません。

お知らせ

- 故障時移行可否は、お客様のFOMA端末を修理する際、お客様の情報内容をドコモ指定の故障取扱窓口にて移行することが可能かどうかを示します。(万が一、お客様の情報内容の移行ができない場合および情報内容の消失・変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。)
- 故障時移行可否が[可]になるのは、移行を許可された、ダウンロードした画像／メロディです。

マイピクチャを例に説明します。

関 連 操 作

タイトルを変更する<タイトル編集>

1 TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[データ編集]▶◉▶[タイトル編集]▶◉

2 タイトルを編集▶◉

- タイトルを削除するとき:タイトル編集画面▶Ⓒ(１秒以上)

データを削除する<削除>

1 TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[削除]▶◉

- miniSDメモリーカード内のデータを削除するとき:フォルダ一覧画面▶[→miniSD]▶◉▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[削除]▶◉

2 ①[１件削除]

- 複数のデータを選択し、まとめて削除するとき:②[選択削除]▶データを選択◉(くり返し可)▶◎[確定]
- フォルダ内のすべてのデータを削除するとき:③[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉

3 [はい]▶◉

データを別のフォルダに移動する<移動>

1 TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[移動／コピー]▶◉▶[移動]▶◉

2 ①[１件移動]

- フォルダ内のすべてのデータを移動するとき:②▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶◉
- 複数のデータを選択し、移動するとき:③▶データを選択◉(くり返し可)▶◎[確定]

3 フォルダを選択▶◉

ファイル名を変更する<ファイル名編集>

TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[データ編集]▶◉▶[ファイル名編集]▶◉▶ファイル名を編集▶◉

- ファイル名を削除するとき:ファイル名編集画面▶Ⓒ(１秒以上)

データを並べ替える<ソート>

TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶◎▶[マイピクチャ設定]▶◉▶[ソート]▶◉▶ソート方法を選択

静止画や動画のFOMA端末外への出力を制限する<ファイル制限>

1 TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[データ編集]▶◉▶[ファイル制限]▶◉

2 ①[あり]

詳細情報を表示する<情報表示>

TOPメニュー▶🄳(データBOX)▶[マイピクチャ]▶フォルダを選択▶◉▶データを選択▶◎▶[情報表示]▶◉

- 確認を終わるとき:◉[確認]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

タイトルの変更について
- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。また、ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 最大全角25文字（半角50文字）まで入力できます。ｉモーションの場合は、最大全角18文字（半角36文字）まで入力できます。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）です。
- miniSDメモリーカードの［ミュージック／ボイス］フォルダ内のデータは、タイトル編集できません。

データの削除について
- マイピクチャの［プリインストール］フォルダ内のデータと、メロディの［プリインストール］フォルダ内のデータは削除できません。

別のフォルダへの移動について
- miniSDメモリーカードのメモリの空き容量がない場合は、miniSDメモリーカード内で別のフォルダに移動することはできません。
- miniSDメモリーカードの場合、移動先フォルダ内の静止画や動画／ｉモーション、メロディのデータ数が400件を超えると、超えた分のデータは移動できません。
- miniSDメモリーカードの［ミュージック／ボイス］フォルダ内のデータは移動できません。

ファイル名の変更について
- ファイル名は、最大半角36文字まで入力できます。
- ｉモードサイトなどからダウンロードしたデータや、ｉモードメールに添付されているデータ、ｉアプリから保存したデータで、ファイル制限が［あり］のデータや、テレビ電話中に撮影した静止画メモ、miniSDメモリーカードに保存されているデータのファイル名は編集できません。

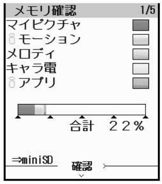
メモリの使用状況を確認する ＜メモリ確認＞

確認できる内容は次のとおりです。

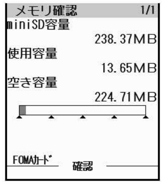
項　目	内　容
電話帳	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク、テキストメモ	残り件数・登録件数
スケジュール	残り件数・登録件数・シークレット件数
ToDo	残り件数・登録件数・シークレット件数
受信BOX、送信BOX、未送信BOX、メッセージR／F、画面メモ	使用率（%）
データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、ｉアプリ	合計の使用率（%）
miniSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数・登録件数・SMS使用率（%）

- シークレットデータの件数は、シークレットモードを［ON］に設定しているときのみ表示されます。（☞P.136）

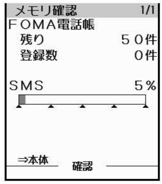
1 TOPメニュー▶§（設定）▶［一般設定］▶［確認］▶［メモリ確認］



本体



miniSD
メモリーカード



FOMAカード

- miniSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するとき：⑧［⇒miniSD］
  miniSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度⑧［FOMAカード］を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。
- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- 各画面のインジケータ、および目盛は目安です。
- 本体のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、⚙を押します。
- 確認を終了するとき：⦿［確認］／Ⓒ／⊖
- 電話帳の登録数はシークレットデータを含んで表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

メモリが足りなくなったり、保存件数をオーバーしたときは、データやファイルを保存できません。miniSDメモリーカードなどに保存したり、不要なファイルの削除をおすすめします。
- 保存件数を超えたときは、メモリに空きがあっても保存できません。不要なデータを削除してから保存してください。
- 画像やｉモーション、メロディ、キャラ電、ｉアプリのソフトを保存するときにメモリが足りなくなったときは、［メモリが不足しているか保存可能件数を超えました　上書きしますか？］と表示され、不要なデータやファイルを削除して保存することもできます。

次ページへ続く

1 上書き確認画面▶［はい］▶◉



2 データの種類を選択▶◉▶フォルダを選択▶◉

3 データを選択▶◉
- ［☑］が選択、［□］が解除の状態です。◉を押すと交互に切り替えることができます。
- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。

4 ⑧［完了］▶［はい］▶◉

お知らせ
- FOMA端末（本体）のメモリが少なくなったときや、なくなったときは、待受画面に［M］、［M］が表示されます。

M（黄色）	メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。
M（赤色）	メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。

赤外線通信

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりできます。
- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、iモード、iモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。

各種ロック中の動作について

- オールロック中やセルフモード中は、赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳の送受信ができません。
- PIMロック中は、ロックされている機能のデータの受信ができません。たとえば、電話帳のPIMロック中、電話帳を受信できません。ただし、PIMロックを一時解除することで受信することができます。

赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信できます。

FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1件	全件	備　考
電話帳	○	○	1件送信ではグループ情報は送信されません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。また、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、キャラ電設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報も送信されます。
スケジュール	○	○	シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレット登録したデータも送信されます。アラーム時刻以外のアラーム情報および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。
ToDoリスト	○	○	シークレット登録したToDoリストはシークレットモードを［ON］に設定しないと1件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信され、受信側では通常のデータとして保存されます。アラーム時刻以外のアラーム情報（連絡先、アラーム音選択、アラーム音量選択、鳴動時間の設定）は送信できません。
テキストメモ	○	○	－
iモードメール、SMS	○	○	貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。 添付不可のデータは送信できません。 ファイルサイズが10000バイト以上の添付ファイルは送信できません。
ブックマーク	○	○	フォルダ情報は送信できません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

機 能	1件	全件	備 考
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ	○	×	ｉモードサイトなどからダウンロードしたり、受信したｉモードメールに添付されたデータで、ファイル制限ありのデータは送信できません。FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。
所有者情報	○	※	受信側では電話帳として保存されます。 ※電話帳の備考覧参照

FOMA端末で受信できるデータ

機 能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時メモリ番号は[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。名前が未登録のデータが送信されたときは[No Name]と表示されます。
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順に登録されます。
ToDoリスト	○	○	ToDoリスト	期限順に登録されます。
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順に登録されます。
ｉモードメール、SMS	○	○	ｉモードメール、SMS	受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時は一番上に登録されます。全件受信時は利用された古い順に登録されます。
データBOXの静止画、動画／ｉモーション、メロディ	○	×	データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ	一番上に登録されます。
所有者情報	○	※	電話帳	1件受信時メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号に保存されます。 ※電話帳の格納順欄参照

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータは送受信できません。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。

お知らせ

- ブックマークを送受信した場合、フォルダ分けの設定は反映されません。すべて[Bookmark]フォルダに保存されます。

電話帳の1件送受信について

- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号[010]以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。ただし、[010]以降に空きがないときは、[000]以降の空き番号に付加されます。
- グループ番号はすべて[指定なし]になります。

電話帳の全件受信について

- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号も登録されます。

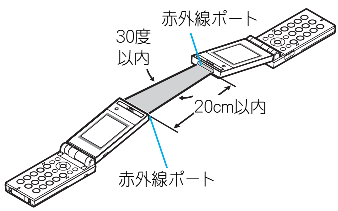
メールの1件送受信について

- ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

絵文字の送受信について

- 絵文字が登録できる機能については、絵文字を送受信できます。ただし、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意



- 上の図のように机などの安定した台の上に、受信側と送信側FOMA端末の赤外線ポートが20cm以内に向き合うようにして置いてください。
- 次のときは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
  - ■ データを受信すると受信側に[○○○保存しますか？]と表示され、[はい]、[いいえ]を選択するまで。
  - ■ データの送受信が終わるまで。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。

お知らせ

- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  [認証に失敗しました　続けますか？]
  [接続相手が見つかりません　続けますか？]
  このような場合は、[はい]を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。
- 正常に通信できなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。

認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信するたびに変更してもかまいません。

データを１件ずつ送受信する

赤外線通信を利用して、FOMA端末のデータを１件ずつ送受信できます。

- 送受信できるデータについて：☞P.290

データを１件送信する＜赤外線送信＞

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞**P.97**）や電話帳内容表示画面（☞**P.98**）▶データを選択▶ⓜ▶［赤外線送信］▶◉

- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

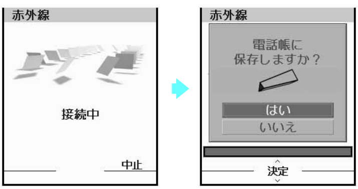
2 受信側の**FOMA**端末を１件受信待ち状態▶①［送信］▶［はい］▶◉

- 送信が開始されます。
- 送信が完了すると、［通信終了しました］と表示され、元の画面に戻ります。

データを１件受信する＜赤外線受信＞

赤外線通信を利用した１件受信は、赤外線受信画面から操作します。

1 **TOP**メニュー▶L（生活ツール）▶［赤外線受信］▶［受信］▶［はい］▶◉



電話帳を受信した場合

- データ送信側のFOMA端末で、事前に１件送信状態にしておきます。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。

2 受信が完了▶［はい］▶◉

- 同じ内容のブックマークが存在するときは、［同一Bookmarkが存在します　保存しますか？］と表示されます。現在のデータに上書きするときは、［はい］を選択し、◉を押します。

データを全件送受信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを全件送受信できます。

- 送受信できるデータについて：☞P.290

データを全件送信する＜赤外線全件送信＞

送信したいデータのリスト画面から操作します。

例：電話帳の場合

1 電話帳リスト画面（☞**P.97**）▶ⓜ▶［赤外線送信］▶◉

- サブメニューの番号を入力して操作できますが、番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

2 ②［全件送信］

3 受信側の**FOMA**端末を全件受信待ち状態▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

4 認証パスワード（４桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

- 送信が完了すると、［通信終了しました］と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- ブックマークを全件送信すると、受信側のブックマーク一覧画面では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー表示またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。

データを全件受信する
＜赤外線全件受信＞

赤外線通信を利用した全件受信は、赤外線受信画面から操作します。
● 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。
● 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶[赤外線受信]▶[全件受信]▶[はい]▶◉

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉

3 送信側のFOMA端末を全件送信状態
● 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。

4 送信側と同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力▶◉
30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

5 [はい]▶◉
● データの受信中に全件受信を中止するとき：◎[中止]
● 受信が完了すると[通信終了しました]と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ
● ブックマークを全件受信すると、利用された古い順に表示されます。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.290）を利用できます。また、赤外線通信からｉアプリを起動することもできます。
● セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
● ｉアプリのPIMロック中はｉアプリを起動できません。

ｉアプリから赤外線通信を起動する

1 ソフト実行中▶赤外線通信を起動▶[はい]▶◉
● 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
● 赤外線通信を開始します。
● 赤外線通信を中止するとき：Ⓒ／◎[中止]

赤外線通信からｉアプリを起動する

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。
● ｉアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からｉアプリを起動できません。
● ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]▶◉
受信待ち状態になります。詳しくは：☞P.292「データを1件受信する＜赤外線受信＞」の操作1

2 送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動

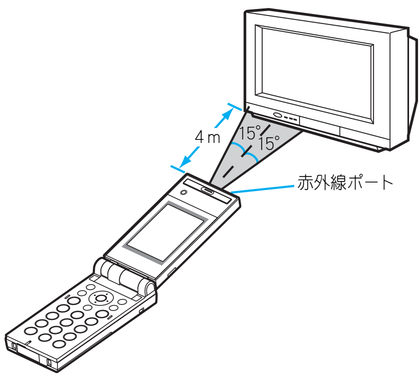
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。
● 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトが必要です。（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は、赤外線リモコン機能に対応しています。）
● セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。



- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。「Gガイド番組表リモコン」について：☞P.243
- 操作できる距離は、およそ４mです。（相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります。）
- 赤外線リモコンの送信中は、[ ]が点灯します。

お知らせ

- 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます。

- ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、[音声のみ]（＝映像なし）の動画データとして、miniSDメモリーカードの[ミュージック／ボイス]フォルダに保存されます。
- 録音データは、最大100件まで保存できます。（録音時間により保存件数は変わります。）１件あたり最大６時間まで録音できます。100件を超えて録音しようとすると[録音処理に失敗しました。]と表示され、ボイスレコーダーが終了します。不要なデータを削除してから録音し直してください。
- 32MバイトのminiSDメモリーカードに保存する場合は、最大約５時間です。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.265）で再生できます。
- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音距離は、1.5m以内をおすすめします。
- レコーダー設定保持を[ON]に設定すると、設定を記憶しておくことができます。
- miniSDメモリーカードを挿入していないときは、ボイスレコーダーを起動できません。

録音する

1 待受画面▶◯（１秒以上）▶◉[録音]

- TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ボイスレコーダー]の順に選択することもできます。
- 録音を開始すると、シャッター音が鳴り、撮影ランプが自動的に点滅します。録音を終了すると自動的に消灯します。（録音中に消灯させることはできません。）
- 録音を一時停止するとき：ⓢ[一時停止]（録音を再開するとき：ⓢ[再開]）

2 録音を止めるとき：◉[停止]

- 残時間表示が00:00:00になったとき（録音中にファイルサイズ制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に録音が停止します。

3 ①[保存]

- 録音した音声を再生するとき：②[再生]（元の画面に戻るとき：Ⓒ）
  再生を一時停止するとき：◉[ポーズ]
  停止するとき：ⓜ[停止]
- 保存しないとき：③[取消]▶[はい]▶◉

お知らせ

- 録音中にFOMA端末を閉じても、録音は継続されます。
- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、録音確認メニュー画面が表示され、[保存]・[再生]・[取消]を選択できます。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤで再生できます。miniSDメモリーカードのｉモーションのフォルダ一覧画面で[ミュージック／ボイス]を選択します。（☞P.267）

ボイスレコーダーの設定を変える

ボイスレコーダーでは次の設定ができます。詳しくは：☞カメラの章

データBOX表示	指定されている保存先フォルダのファイルを表示します。
ノイズキャンセラ	音声のノイズを少なくするときに設定します。
セルフタイマー	録音するまでの時間を[２秒]、[５秒]、[10秒]から選択できます。
レコーダー設定保持	[ON]に設定すると、ボイスレコーダーの設定を記憶しておくことができます。

関連操作

データBOXを表示する<データBOX表示>

TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ボイスレコーダー]▶ⓜ▶①[データBOX表示]

ノイズキャンセラを設定する<ノイズキャンセラ>

1 TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ボイスレコーダー]▶ⓜ▶②[ノイズキャンセラ]
2 ①[ON]

セルフタイマーを設定する<セルフタイマー>

1 TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ボイスレコーダー]▶ⓜ▶③[セルフタイマー]
2 ①[ON（２秒）]
- ２秒以外の時間に設定するとき：②[ON（５秒）]／③[ON（10秒）]

ボイスレコーダーの設定を保持する<レコーダー設定保持>

1 TOPメニュー▶T（メディアツール）▶[ボイスレコーダー]▶ⓜ▶④[レコーダー設定保持]
2 ①[ON]

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

ブックリーダー

電子辞書や電子書籍を表示する

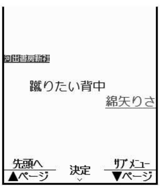
miniSDメモリーカードに保存されている電子書籍／電子辞書をFOMA端末で表示できます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(☞P.278)
- 表示できる電子書籍／電子辞書／辞書の種類(拡張子)：XMDF形式(.zbf)(メディアバインドXMDFには非対応)、TEXT形式(.zbk .txt .text)
- 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードの¥BOOKフォルダに置いてください。(☞P.280)
- お買い上げ時は、FOMA端末(本体)に「サポートブック(内蔵)」が内蔵されています。
- 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに、電子辞書や電子書籍が入っているminiSDメモリーカードを挿入しておいてください。サポートブック(内蔵)をご利用になる場合、miniSDメモリーカードを挿入する必要はありません。
- 電子書籍／電子辞書によっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、FOMA端末では音声をご利用になれません。画像によってもご利用になれない場合があります。

1 **TOP**メニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◉

- TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[miniSD管理]▶[miniSDデータ参照]▶[ブックリーダー]の順に選択することもできます。
- 前回の閲覧時に⊖またはⒸを押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 次のページを表示するとき：Ⓜ[▼ページ]
- 前のページを表示するとき：Ⓜ[▲ページ]

2 電子書籍／電子辞書を選択▶◉



内容表示画面
(横書き画面)



内容表示画面
(縦書き画面)

行を移動	横書き画面	◎(上下)
	縦書き画面	◎(左右)
次のページを表示		Ⓜ[▼ページ]
前のページを表示		Ⓜ[▲ページ]
先頭のページを表示		ⓢ[先頭へ]／◎▶④▶②[先頭へ]
ブックリーダー一覧画面に戻る		Ⓒ／◎▶④▶④[リストへ]

お知らせ

- 内容表示画面は、綿矢りさ著「蹴りたい背中」©ザ ウルスセレクト文庫／河出書房新社提供のものを使用しています。
- ブックリーダー起動中にテレビ電話の発着信を行った場合、テレビ電話終了後、待受画面へ戻ります。

履歴を表示する

前に表示したページを、順に戻ったり進んだりできます。

- 履歴がないときは、操作できません。

表示したページを順に戻る	横書き画面	◎(左)
	縦書き画面	◎(上)
表示したページを順に進む	横書き画面	◎(右)
	縦書き画面	◎(下)

お知らせ

- ⊖を押してブックリーダーを終了したあと、次回ブックリーダーを起動すると、自動的に終了時のページが表示されます。ただし、挿入し直したminiSDメモリーカードに、終了時に閲覧していたファイルが入っていないときや、文字読み取りから起動したときは表示されません。また、待受画面からサポートブックを起動したときも表示されません。
- 電子書籍／電子辞書によってはパスワードの入力が必要な場合があります。パスワード(最大16桁)を入力して◉を押してください。
- データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報が埋め込まれている場合があります。情報が埋め込まれている文字列や画像を選択し◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◎(横書き画面の場合)、◎(縦書き画面の場合)を押すと、元のページに戻ります。
- ファイル一覧に表示できるのは最大400件までです。

マルチアシスタントを使う

- メール作成中などに▭(サイドボタン)を押すと、ブックリーダーを利用できます。

関連操作
フォルダを切り替える<表示フォルダ切替>
TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶◉▶◎▶③[表示フォルダ切替]▶フォルダを選択▶◉

お知らせ

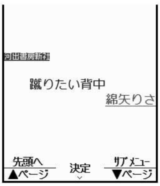
表示フォルダ切替について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していた場合、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できない場合もあります。

■内容表示画面の操作方法

電子書籍／電子辞書の内容表示画面では次の機能を利用できます。

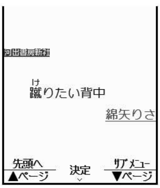
しおり設定	しおりをはさむ	表示中のページにしおりを設定します。1つの電子書籍／電子辞書に最大２個（最大10冊）のしおりを設定できます。
	しおりへ移動	以前に設定したしおりのページを表示します。
情報表示		電子書籍／電子辞書の詳細情報を表示します。
現在位置確認		現在のページが全体のおよそ何%にあるかを表示します。
移動	目次	目次に対応した書籍データの場合は、目次からページを表示できます。
	先頭へ	先頭のページを表示します。
	最後へ	最後のページを表示します。
	リストへ	ブックリーダー一覧画面を表示します。
	%指定移動	文書全体のページ数に対するおおよその位置を%で指定して表示します。
文字列コピー		電子書籍／電子辞書内の文字列をコピーします。他の画面などに貼り付けできます。一度にコピーできる文字数は最大全角20文字（半角20文字）です。
表示設定	文字サイズ設定	電子書籍／電子辞書の文字サイズを[大きい文字]、[標準]、[小さい文字]に設定できます。（お買い上げ時：標準）
	縦横設定	画面の縦横表示を設定できます。（お買い上げ時：縦書き）
	ルビ表示	ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定できます。（お買い上げ時：OFF）



横書き画面



縦書き画面



ルビ表示[ON]

関連操作
しおりをはさむ＜しおりをはさむ＞
1 内容表示画面（☞P.295）▶◎▶①▶①[しおりをはさむ] **2** ①[しおり１] ● しおり２を設定するとき：②
しおりへ移動する＜しおりへ移動＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶①▶②[しおりへ移動]▶しおりを選択
電子書籍／電子辞書の詳細な情報を確認する＜情報表示＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶②[情報表示]
現在の表示位置を確認する＜現在表示位置確認＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶③[現在表示位置確認] ● 確認を終わるとき：⦿
目次からページを表示する＜目次＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶④▶①[目次]▶項目を選択▶⦿
最後のページを表示する＜最後へ＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶④▶③[最後へ]
%指定でページを移動する＜%指定移動＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶④▶⑤[%指定移動]▶移動先（２桁：00〜99%）を入力▶⦿
文字をコピーする＜文字列コピー＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶⑤[文字列コピー]▶最初の文字を選択▶⦿[開始]▶最後の文字を選択▶⦿[コピー]
文字サイズを設定する＜文字サイズ設定＞
内容表示画面（☞P.295）▶◎▶⑦▶①[文字サイズ設定]▶文字サイズを選択
縦書き／横書きを切り替える＜縦横設定＞
1 内容表示画面（☞P.295）▶◎▶⑦▶②[縦横設定] **2** ②[横書き] ● 縦書きに設定するとき：①[縦書き]
ルビ（ふりがな）を表示するかどうかを設定する＜ルビ表示＞
1 内容表示画面（☞P.295）▶◎▶⑦▶③[ルビ表示] **2** ①[ON]

お知らせ

しおりについて

- 11冊目のしおりを設定すると、自動的に古いしおりから消去されます。
- ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり１]が設定されます。次に同じ電子書籍／電子辞書を表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり１]に設定され、前回の[自動しおり１]は[自動しおり２]に設定されます。（自動しおりも、１つの電子書籍／電子辞書に最大２個（最大10冊）まで設定され、古いものから自動的に消去されます。）
- 電池パックを取り外したときは、[自動しおり]は設定されません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

お知らせ

- 待受画面▶▭(サイドボタン)を押してサポートブック(内蔵)を起動したときは、[自動しおり]を参照せずに常に先頭ページから表示されます。また、マルチアシスタントからサポートブックを起動したときは、[自動しおり]を参照せずに起動元の機能に対応したページまたは先頭ページが表示されます。

コピーについて

- 電源を切ると、読み取った文字は破棄されます。
- コピーできない文字もあります。
- マスクが設定されている文字やルビ文字、外字などはコピーできません。

表示設定について

- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されている電子書籍／電子辞書もあります。
- サポートブック(内蔵)は縦書き／横書きの切り替えに対応していません。

ルビ表示について

- ルビが設定されていない電子書籍／電子辞書では表示されません。

サポートブック(ヘルプ)を利用する

待受画面▶▭(サイドボタン)

- TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶[プリインストール]▶[サポートブック(内蔵)]の順に選択することもできます。
- サポートブック(内蔵)から対応する機能を起動することもできます。(☞P.34)

辞書で調べる

辞書も電子書籍と同様の操作が可能です。辞書の検索例を説明します。

- 文字読み取りで読み取った文字を辞書で調べることもできます。(☞P.298)
- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

※辞書については別途お買い求めください。

1 TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶⦿▶辞書を選択▶⦿

- 文字読み取りで文字を読み取るとき：◎▶⑥[文字読み取り](☞P.159)

2 入力欄を選択▶⦿▶用語を入力▶⦿

- 半角255文字まで入力できます。
検索結果が表示されます。

3 用語を選択▶⦿

電子書籍／電子辞書内の情報を利用する

電子書籍／電子辞書内から他のページへ移動したり、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用したり、動画の実行、静止画の保存、文字列のマスクなどの機能を利用することができます。(対応ページのみ)

- 操作の前に、電子辞書や電子書籍が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍／電子辞書内で反転表示された文字情報(電話番号、メールアドレス、URLなど)やPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、iモードサイトなどを表示できます。(☞P.180)

1 TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶⦿▶電子書籍／電子辞書を選択▶⦿

関連操作
文字列や画像をマスクする<マスク>
文字列／画像を選択▶⦿ ● マスクされた文字列を表示するとき：文字列▶⦿ ● マスクされた画像を表示するとき：画像▶⦿▶③[マスクの切替]

2 電話番号やメールアドレス、URLなどを選択▶⦿

- 画像に設定されているとき：⦿▶②[リンクへ移動]

3 [はい]▶⦿

- Phone To(AV Phone To)機能が設定されているときは、テレビ電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、⑧[テレビ電話]を押します。音声電話の場合は、表示されている電話番号を確認し、①を押します。
- Mail To機能が設定されているときは、メールアドレスが入力されたメール作成画面が表示されます。
- Web To機能が設定されているときは、接続が開始され、iモードサイトなどが表示されます。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URLが表示されていても、電話をかけたり、メッセージを送信したり、画面を表示できない場合もあります。

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

内容表示画面（☞P.297「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」の操作１）▶リンク情報が設定されている文字列や画像を選択▶◉

リンク先のページが表示されます。

動画を再生する

画像に動画を実行する情報が設定されているときは、動画を再生できます。

内容表示画面（☞P.297「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」の操作１）▶画像を選択▶◉▶④［動画の実行］

電子書籍／電子辞書内の画像を保存する

電子書籍／電子辞書に表示された静止画をマイピクチャ（☞P.257）に保存すると、待受画面などに設定できます。（☞P.111）

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- 保存した画像は、マイピクチャ内の［カメラ撮影］フォルダに保存されます。（☞P.149）
- 画像の保存件数は、最大1000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。miniSDメモリーカードへの保存や、メールへの添付はできません。

1 内容表示画面（☞P.297「Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する」の操作１）▶静止画を選択▶◉▶①［マイピクチャ登録］

文字読み取り

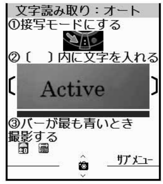
カメラで文字を読み取って検索する

電子辞書を表示中に、英単語をFOMA端末で撮影し、検索できます。（☞P.159「文字を読み取る」）

- 操作の前に、電子辞書が入っているminiSDメモリーカードを挿入してください。

例：英和辞書の場合

1 内容表示画面（☞P.297「辞書で調べる」の操作１）▶◎▶⑥［文字読み取り］



2 読み取る文字をディスプレイの中央に表示（☞P.159）

3 ◉［📷］

静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。

- 複数の行を撮影したとき：◯で読み取る行を指定（文字の読み取りは一行単位で行います。）

4 ◉［読取］



文字の読み取りが開始されます。

読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

5 単語を選択▶◉

電子書籍／電子辞書を管理する

電子書籍／電子辞書は、フォルダを作成して管理したり、削除、移動することができます。ファイル名を編集したり、詳細情報を表示することもできます。

フォルダを作成・編集・削除する

最大398個のフォルダを作成して、ファイルを管理できます。

削除について

フォルダは、次のいずれかの方法で削除できます。

フォルダ１件削除	フォルダを１件ずつ削除します。
フォルダ選択削除	複数のフォルダを選択し、まとめて削除します。
全件削除	すべてのデータを削除します。

- 自分で作成したフォルダ以外は削除できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

関連操作
フォルダを作成する<フォルダ新規作成>
TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶◎▶①▶①[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力▶◉ ● 「新しいフォルダ」名を削除するとき:Ⓒ(1秒以上)
フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>
TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◎▶①▶②[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶◉ ● フォルダ名を削除するとき:フォルダ名編集画面▶Ⓒ(1秒以上)
フォルダを削除する<削除>
1 TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◎▶②[削除] 2 ①[フォルダ1件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉ ● 複数のフォルダを選択し、まとめて削除するとき:②[フォルダ選択削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶フォルダを選択◉(くり返し可)▶◎[完了] ● すべての電子書籍／電子辞書を削除するとき:③[全件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉ 3 [はい]▶◉

お知らせ

フォルダ作成について
- 最大全角・半角64文字まで入力できます。

フォルダ名編集について
- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

フォルダ名／ファイル名について
- 対応していない文字コードを持つ名前のフォルダやファイルをパソコンなどで作成した場合、フォルダ名、ファイル名が空白文字で表示されます。

電子書籍／電子辞書を削除・移動する

電子書籍／電子辞書の削除について

電子書籍／電子辞書は、次のいずれかの方法で削除できます。
- サポートブック(内蔵)は削除できません。

1件削除	ファイルを1件ずつ削除します。
選択削除	複数のファイルを選択し、まとめて削除します。
フォルダ内全件削除	該当フォルダに表示されているすべてのファイルを削除します。

電子書籍／電子辞書の移動について

電子書籍／電子辞書は、次の方法で移動できます。
- サポートブック(内蔵)は移動できません。

1件移動	ファイルを1件ずつ移動します。
選択移動	複数のファイルを選択し、まとめて移動します。
フォルダ内全件移動	該当フォルダに表示されているすべてのファイルを移動します。

詳細情報について

表示される詳細情報は次のとおりです。
- XMDF形式(.zbf)は、ブックリーダー一覧画面ではタイトル、ファイル名、著者、出版社、ファイルサイズが、内容表示画面ではシリーズ、タイトル、サブタイトル、ファイル名、著者、出版社、出版人、要約、配布日時、ファイルサイズ、配布時の刻印情報が表示されます。(これらの項目でも電子書籍／電子辞書に記録されていない情報は表示されません。)

関連操作
電子書籍／電子辞書を削除する<削除>
1 TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◉▶電子書籍／電子辞書を選択▶◎▶②[削除] 2 ①[1件削除] ● 複数の電子書籍／電子辞書を選択し、まとめて削除するとき:②[選択削除]▶電子書籍／電子辞書を選択◉(くり返し可)▶◎[完了] ● フォルダ内のすべての電子書籍／電子辞書を削除するとき:③[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉ 3 [はい]▶◉
ファイルを別のフォルダに移動する<移動>
1 TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◉▶電子書籍／電子辞書を選択▶◎▶④[移動] 2 ①[1件移動] ● 複数の電子書籍／電子辞書を選択し、移動するとき:②▶ファイルを選択◉(くり返し可)▶◎[完了] ● フォルダ内のすべての電子書籍／電子辞書を移動するとき:③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉ 3 フォルダを選択▶◉
ファイル名を編集する<ファイル名編集>
TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◉▶電子書籍／電子辞書を選択▶◎▶①[ファイル名編集]▶ファイル名入力▶◉
詳細情報を表示する<情報表示>
TOPメニュー▶T(メディアツール)▶[ブックリーダー]▶フォルダを選択▶◉▶電子書籍／電子辞書を選択▶◉▶◎▶②[情報表示] ● ブックリーダー一覧画面から表示するとき:◎▶③ ● 確認を終わるとき:◉[確認]

お知らせ

ファイル名編集について
- サポートブック(内蔵)のファイル名は変更できません。
- ファイル名は、最大全角・半角64文字まで入力できます。
- 半角8文字以内のファイルの名前および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わる場合があります。

詳細情報について
- サポートブック(内蔵)の情報は表示できません。
- ファイル名は、拡張子も併せて表示されます。

プリント指定(DPOF)

保存した画像を印刷する

DPOF(ディーポフ:「Digital Print Order Format」の略称)とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したminiSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- ｉモードサイトなどからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、miniSDメモリーカードにコピーできるJPEG画像の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - ■ 撮影静止画用フォルダ/ユーザ作成フォルダ(☞P.280)
  - ■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ(☞P.156)
- DPOF対象となるファイル
  - ■ 上記フォルダに保存されている静止画(DCF準拠JPEG)
- FOMA端末(本体)の静止画は指定できません。

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する<プリント指定(DPOF)>

1 **TOP**メニュー▶🗎(データ**BOX**)▶[プリント指定(**DPOF**)]

- プリント指定(DPOF)のフォルダ一覧画面が表示されます。
- すでに他の機器で設定したDPOFがあるとき:確認画面▶[はい]▶⦿
  クリアしないと、新たにDPOFを設定できません。

関連操作
静止画を並べ替える<ソート>
操作1▶フォルダを選択▶⦿▶Ⓜ▶②[ソート]▶ソート方法を選択

2 プリント内容を設定する

選択し、プリント	フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶Ⓜ[枚数指定]▶枚数(1～99)を入力▶⦿ ●静止画を選択し⓪～⑨でプリント枚数を入力することもできます。 ●続けて他の静止画を指定できます。
すべてプリント	Ⓜ▶①[枚数一括指定]▶①[全ての画像]▶枚数(1～99)を入力▶⦿
[640×480以上]をプリント	Ⓜ▶①[枚数一括指定]▶②[640×480以上]▶枚数(1～99)を入力▶⦿
[1024×768以上]をプリント	Ⓜ▶①[枚数一括指定]▶③[1024×768以上]▶枚数(1～99)を入力▶⦿
指定をすべて取り消す	Ⓜ▶②[一括リセット]▶[はい]▶⦿
日付を付ける	Ⓜ▶③[日付付加指定]▶①[ON] ●静止画のプロパティの日付が付けられます。
インデックスプリントを指定	プリント枚数を設定▶Ⓜ▶④[インデックスプリント指定]▶①[ON] ●インデックスプリントとは、はがきやA4用紙などに縮小画像をファイル名付きで印刷する機能です。
プリント指定状況を確認	Ⓜ▶⑤[指定状況確認] ●枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。 ●確認を終わるとき:⦿[確認]

3 Ⓘ[完了]▶[はい]▶⦿

- プリント指定をやり直すとき:[いいえ]▶⦿

4 ⦿[確認]

お知らせ

- 他の機器でminiSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

その他の便利な機能

設定状況確認

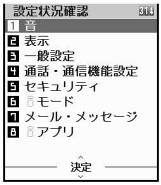
設定状況を確認する

各種機能の設定状況を確認できます。

- 確認できる機能は次のとおりです。
  音、表示、一般設定、通話・通信機能設定、セキュリティ、ｉモード、メール・メッセージ、ｉアプリ

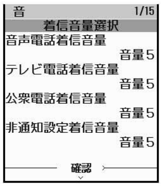
1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[確認]▶[設定状況確認]▶端末暗証番号(４～８桁の数字)を入力▶●

入力した端末暗証番号は、[*]で表示されます。



2 確認する機能を選択

- 設定状況が表示され、内容を確認できます。◎でページを切り替えできます。
- 確認を終わるとき：●[確認]



[音]を選んだ場合

マルチアクセス

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信(ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信)の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSを受信できます。
- 音声電話中にも他のパケット通信(ｉモードおよびｉモードメール送信)はご利用できます。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは：☞P.377「マルチアクセスの組み合わせについて」

マルチアクセスでできる主な操作

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信できます。さらに、マルチアシスタント(☞P.303)をご利用になると、音声電話をかけながら受信したメールを見ることなどもできます。

通話中にｉモードメールやSMSを受信する

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信したり、テレビ電話中にSMSを受信したとき、通話中の画面のまま受信できます。音声電話の通話中にマルチアシスタントを使うと、通話しながらｉモードメールやSMSを見ることもできます。

- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

1 音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信

ディスプレイに[✉]／[✉]／[SMS]が表示されます。

- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 通話しながらｉモードメールやSMSを見るとき：▭(サイドボタン)

- マルチアシスタントの使いかたについて：☞P.303
- 通話中画面に戻るとき：▭(サイドボタン)



3 [メール]▶●▶[受信BOX]▶●

4 フォルダを選択▶●▶メールを選択▶●

- 通話中画面に戻るとき：▭(サイドボタン)▶音声電話の機能アイコンを選択▶●

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To(AV Phone To)機能により音声電話をかけることができます。

1 ｉモードサイトなどで表示されている電話番号を選択▶●

2 [はい]▶●▶①／●[発信]／⑧[テレビ電話]

ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。

- テレビ電話をかけた場合は、ｉモード通信が終了します。

3 通話が終わったら▶⊖

ｉモードサイトなどの画面に戻ります。

その他の便利な機能　設定状況確認

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

マルチアシスタント(マルチタスク)について

マルチアシスタント(マルチタスク)とは音声電話中にメールを作成するなど、複数の機能を同時に使用できる機能です。

- 音声電話の着信やデータ通信の着信などで、4つ以上の機能が同時に動くこともあります。
- ディスプレイ上部に、起動中の機能のマーク(マルチタスク表示)が表示されます。(☞P.28)

新しい機能を呼び出す

音声電話中や機能の操作中に別の機能を起動することができます。

- 以下の場合はマルチアシスタントで他の機能を起動できません。

■待受画面表示中	■タイマー設定中・動作中
■テレビ電話中	■miniSD管理画面
■カメラ起動中	■各種設定画面
■ボイスレコーダー起動中	■TOPメニュー
■メール送受信中	■ズームメニュー
■赤外線送受信中	■ショートカットメニュー
■アラーム設定中	

- マルチアシスタントで同時に起動できる機能の組み合わせについて:☞P.377

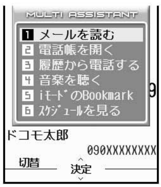
1 音声電話の通話中/機能の操作中▶⊂⊃(サイドボタン)

- アプリアイコン選択画面が表示されないとき:Ⓢ[切替]



アプリアイコン選択画面

- アプリリスト選択画面が表示されたときは、Ⓢ[切替]で切り替えるか、そこから起動する機能を選択することもできます。
- マルチアシスタントを利用できないときは⊂⊃(サイドボタン)を押してもマルチアシスタントの画面は表示されません。



アプリリスト選択画面

2 ✥で起動する機能アイコンを選択▶●

- グレー表示されている機能は起動できません。
- 音声電話をかけるときは、ⓘを押し、電話番号を入力してⓘを押します。
- 機能アイコンの位置を入れ替えるとき:機能アイコンを選択▶ⓜ[アイコン移動]▶移動先を選択▶●

  元に戻すとき:ⓜ[リセット]



3 起動する機能が一覧表示されたときは、機能を選択▶●

現在の画面の手前に、新しく選択した機能の画面が表示されます。

- 機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

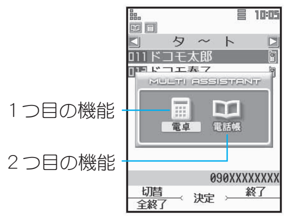


電話帳の場合

画面を切り替える

マルチアシスタントで複数の機能を起動しているときは、表示する画面を切り替えることができます。

1 複数の機能の動作中▶⊂⊃(サイドボタン)



アプリ切替画面

現在動作している複数の機能が、アプリ切替画面にアイコンとして表示されます。(4つ以上の機能が動作しているときは、アプリリスト切替画面が表示されます。)

2 表示する機能を⊙で選択▶●

選択した機能が表示されます。

機能を終了する

表示中の機能を終了する

複数の機能が動作中▶Ⓒ

表示されていた機能が終了し、別の動作中の画面が表示されます。

機能を選択して終了する

1 複数の機能が動作中▶▭(サイドボタン)

2 Ⓒで機能を選択▶Ⓜ[終了]

- すべての機能を終了するとき:Ⓜ[全終了]

お知らせ

- 機能によっては確認メッセージが表示されることがあります。[はい]を選択し、◉を押すと終了します。

アクティブマーカー

直前に使った機能やファイルを呼び出す

最近利用した機能、最近表示したページや画像などは待受画面から簡単に呼び出すことができます。当日のスケジュールやToDoリストの詳細を表示することもできます。

アイコン	機　能	内　容
	iモード履歴	iモードメニューから接続したiモードサイトのURLとタイトルを最新5件分記憶しています。iモード履歴一覧から選択するだけで、同じiモードサイトにすぐに接続できます。(同じサイトは重複せず1件として記憶されます。)
	モバイルオーディオ履歴	モバイルオーディオで再生したminiSDメモリーカード内の楽曲のタイトル最新1件とプレイリストを記憶しています。モバイルオーディオ履歴一覧から選択するだけですぐに再生できます。(音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)は記憶されません。)
	スケジュール表示	当日のスケジュールまたは当日が期限のToDoリストのうち開始時間／期日時間が早いものが5件まで表示されます。スケジュール表示一覧から選択すると、詳細画面が表示されます。
	メール履歴	表示したメールを最新5件分記憶しています。メール履歴一覧から選択してメール詳細画面を表示できます。
	マイピクチャ履歴	イメージビューアで再生した画像を最新5件分記憶しています。マイピクチャ履歴一覧から選択して再生できます。(Flash画像、GIFアニメーションは記憶されません。)
	iモーション履歴	ビデオプレーヤで再生したiモーションを最新5件分記憶しています。iモーション履歴一覧から選択して再生できます。
	iアプリ履歴	保存されているiアプリのうち最近起動したものを5件分記憶しています。iアプリ履歴一覧から選択して起動できます。(待受iアプリを実行した場合は履歴に記憶されません。)

1 待受画面▶Ⓒ

- 待受画面にカレンダーを表示しているとき:Ⓒ▶Ⓒ
- Ⓒを押したときにショートカットメニューが表示されたとき:Ⓜ[切替]
- 選択した機能のPIMロック中▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉



ディスクトップアイコン選択画面

カレンダー／日付表示エリア

- デスクトップアイコンが[スケジュール表示]の場合は常にカレンダーが表示されます。[マイピクチャ履歴]、[iモーション履歴]の場合は選択した画像が表示されます。それ以外の場合は、[カレンダー／日付表示]の設定に従います。

2 デスクトップアイコンを選択▶◉

- 履歴のないデスクトップアイコンを選択しても、履歴は表示されません。

3 履歴を選択▶◉

選択した履歴の機能が起動します。

- 選択した履歴のファイルやメールを削除または移動した場合は、[起動できません　削除／移動されている可能性があります]／[起動できません　削除されている可能性があります]／[起動できませんでした]と表示され、起動できません。また、カレンダー／日付表示エリアの選択画像表示は代替画像に切り替わります。選択した履歴のiアプリを削除した場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- [マイピクチャ履歴]／[iモーション履歴]は、FOMA端末(本体)に保存しているデータの場合、保存先フォルダを移動しても起動して表示できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

- ダイヤル発信制限やメールのPIMロックを設定すると、設定前のメール履歴は削除されます。設定後のメール履歴は、ダイヤル発信制限やPIMロックを解除しても保持されます。

アクティブマーカーのデザインを変更する

アクティブマーカーのデザインを変える＜スクリーンテーマ＞

お買い上げ時　テーマ：働

デスクトップアイコンのタイトル画像やアクションを、統一されたイメージに変更できます。
- イメージは［働］、［遊］、［休］の３つのテーマから選択します。

デスクトップアイコン選択画面▶ⓜ▶①［スクリーンテーマ］▶テーマを選択

アクティブマーカーの背景を設定する＜背景設定＞

お買い上げ時　待受画面１

アクティブマーカーの背景画像を設定できます。
- JPEG画像、GIF画像を利用できます。（Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。）

デスクトップアイコン選択画面▶ⓜ▶②［背景設定］▶背景画像を選択

待受（静止画）と同じ	①
マイピクチャから選択	②▶フォルダを選択▶⊙▶静止画を選択▶ⓜ［決定］ ●静止画を確認するとき：静止画を選択▶⊙［確認］（戻るとき：Ⓒ）

お知らせ

- 待受画面にｉアプリやｉモーション、Flash画像、GIFアニメーションを設定している場合、［待受（静止画）と同じ］に設定できません。また、［待受（静止画）と同じ］に設定してから、待受画面にｉアプリやｉモーション、Flash画像、GIFアニメーションを設定すると、背景画像には［待受画面１］が表示されます。

カレンダー／日付の設定する＜カレンダー／日付表示＞

お買い上げ時　カレンダー表示

カレンダー／日付表示エリアの表示を変更できます。
- デスクトップアイコンが［スケジュール表示］の場合はこの設定にかかわらず常にカレンダーが表示されます。［マイピクチャ履歴］、［ｉモーション履歴］の場合は選択した画像が表示されます。

デスクトップアイコン選択画面▶ⓜ▶③［カレンダー／日付表示］▶表示する内容を選択

カレンダーを表示	①
日付を表示	②
表示しない	③

履歴を削除する＜履歴削除＞

アクティブマーカーの履歴を、機能ごとに削除または全削除することができます。
- スケジュールは削除できません。

デスクトップアイコン選択画面▶デスクトップアイコンを選択▶ⓜ▶④［履歴削除］▶削除方法を選択
- すべての機能の履歴を削除するときは、［スケジュール表示］以外のデスクトップアイコンを選択してください。

選択した機能の履歴を全削除	①
すべての機能の履歴を全削除	②▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⊙

デスクトップアイコンを表示するかどうかを設定する＜表示カテゴリ設定＞

お買い上げ時　すべて表示

機能ごとにデスクトップアイコンを表示するかどうかを設定できます。

1 デスクトップアイコン選択画面▶ⓜ▶⑤［表示カテゴリ設定］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⊙
- すべてを選択／解除するとき：ⓜ［全選択］／ⓜ［全解除］



2 表示／非表示にする項目を選択▶⊙▶ⓜ［完了］

☑は表示、☐は非表示の状態です。
- 表示と非表示を切り替えるとき：⊙

モードイルミ

指定した時間帯にイルミネーションを点滅させる

お買い上げ時　OFF

指定した時間帯に5分間隔でイルミネーション（ランプ）を点滅させることができます。
- 指定できる時間帯は、朝（６～12時）、午後（12～17時）、夕方（17～22時）、夜（22～６時）の４種類の中のいずれかの時間帯です。
- 待受状態以外のときは点滅しません。

1 TOPメニュー▶Ⓛ（生活ツール）▶［モードイルミ］
- イルミネーションを解除するとき：③［OFF］

次ページへ続く

2 ②［時間指定］▶時間帯を選択

朝（6～12時）	①
午後（12～17時）	②
夕方（17～22時）	③
夜（22～6時）	④

モードイルミのランプパターンを設定する

1 TOPメニュー▶[生活ツール]（生活ツール）▶［モードイルミ］▶①［ランプパターン］▶ランプパターンを選択

働く	① ランプ色：グリーン、 点滅パターン：モールスで点滅します。
遊ぶ	② ランプ色：イエロー、 点滅パターン：ハートビートで点滅します。
休む	③ ランプ色：ブルー、 点滅パターン：ライトブレスで点滅します。

自動電源ON

自動的に電源をONにする

お買い上げ時 OFF（解除）

指定した時刻になると自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.45）
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 TOPメニュー▶[設定]（設定）▶［一般設定］▶［自動電源ON／OFF］▶［自動電源ON］



2 ［自動電源ON設定］▶⦿▶①［ON］

3 ［時刻］▶⦿▶動作時刻（4桁）を入力▶⦿

- 時刻は24時間制で入力します。
- 時刻は○で選択することもできます。
- カーソルは、○で移動できます。

4 ［アラーム設定］▶⦿▶①［ON］

- アラームを鳴らさないとき：②［OFF］▶操作7に進む

5 ［アラーム音］▶⦿▶フォルダを選択▶⦿▶アラーム音を選択▶⑧［決定］

- アラーム音を確認するとき：アラーム音を選択▶⦿［確認］（停止するとき：⑧［停止］）

6 ［アラーム音量］▶⦿▶○（上げる）／○（下げる）で調節▶⦿

7 ⑧［完了］

- アラーム設定を［ON］に設定したときは、［PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません］と表示されます。⦿［確認］を押すと、自動電源ON機能が設定されます。

指定した時刻になると

［自動電源ON時刻が過ぎました］と表示されます。

- PIN1コード入力設定（☞P.128）を［ON］に設定しているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後［自動電源ON時刻が過ぎました］と表示されます。
- アラームが鳴るように設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。いずれかのボタンを押すと止まります。
- 通話中や着信時の場合は、通話終了後にアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム（アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。いずれかのボタンを押して自動電源ON通知画面の表示を消すとアラームが動作します。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。
- アラーム設定を［ON］にしたときは、［PIN1コード入力がONのときにはPIN1コードが入力されるまでアラームは鳴動しません］と表示されます。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす ＜アラーム連動電源ON＞

お買い上げ時 OFF

電源が入っていないときにアラーム設定時刻になった場合、自動的に電源を入れてアラームを動作させることができます。

1 TOPメニュー▶[設定]（設定）▶［一般設定］▶［自動電源ON／OFF］▶［アラーム連動電源ON］▶⦿▶①［ON］

- 設定を解除するとき：②[OFF]
- 「PIN１コード入力がONのときにはPIN１コードが入力されるまでアラームは鳴動しません」と表示されます。

2 ●[確認]

アラーム連動電源ONが設定されます。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム連動電源ONを同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先します。

自動電源OFF

自動的に電源をOFFにする

お買い上げ時　OFF（解除）

指定した時刻になると自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.45）

1 TOPメニュー▶5（設定）▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[自動電源OFF]

2 [自動電源OFF設定]▶●▶①[ON]

3 [時刻]▶●▶動作時刻（４桁）を入力▶●

- 時刻は24時間制で入力します。
- 時刻は◯で選択することもできます。
- カーソルは、◯で移動できます。

4 ⓐ[完了]

自動電源OFF機能が設定されます。

■指定した時刻になると

指定した時刻に何かの操作をしていると（待受画面以外のとき：ｉモード／メール／アラーム（鳴動時）／電卓／スケジュール／ToDo／タイマー／メロディプレーヤ／データBOXの連続再生・スライドショー・全画面表示など）、確認画面が表示されます。



自動電源OFF確認画面

[はい]を選択し●を押すか、または約１分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源は切れます。

[いいえ]を選択し●を押すと、操作を続けることができます。

- 通話中のときは、通話終了後、待受画面に戻ると確認画面が表示されます。
- ソフトウェア更新中（☞P.394）は、ソフトウェア更新終了後、待受画面に戻ると確認画面が表示されます。

お知らせ

- 自動電源OFFとアラーム（アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません。（ただし、同時刻内に手動で電源を入れた場合や自動電源OFF確認画面が表示されたときに、[いいえ]を選択し、●を押した場合は、アラームが動作します。）
- ｉアプリ起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。ｉアプリを終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、「はい」を選択し、●を押すか、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 赤外線通信機能起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。赤外線通信が終了すると自動電源OFF確認画面が表示され、「はい」を選択し、●を押すか、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間を同時刻に設定した場合、FOMA端末の電源が切れているときは電源が入り、電源が入っているときは電源が切れます。ただし、電源が入っているときは、電源が切れたあとすぐに電源が入る場合があります。

タイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせできます。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶[便利機能]▶[タイマー]

時間入力画面が表示されます。

2 時間を入力▶●[開始]

- 左の２桁に分を、右の２桁に秒を入力します。
- １秒～99分59秒の間で設定できます。

タイマーが開始します。



９分58秒
➡[09:58]

タイマーを止める	●[停止] ●再開するとき：●[開始] ⓐ[リセット]を押すと、設定時間が[03:00]に戻ります。
タイマーを解除	⊖

その他の便利な機能　自動電源ＯＦＦ

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- タイマーでお知らせする音や鳴動時間、音量、ランプ色やランプパターンを変えることができます。
- タイマーを利用中に電話がかかってきたりメールを受信しても、タイマーは継続します。ただし、通話中、メール受信中など、タイマーが表示されていない時に設定した時間が経過した場合、アラーム音は鳴りません。
- タイマー動作中に電源を切った場合、タイマーは終了します。

関連操作
待受画面からタイマーを使う
待受画面▶時間(1～99分)を入力▶⊙▶③[タイマー]

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音や動画／iモーションでお知らせします。モバイルオーディオを起動して音楽を再生することもできます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。(☞P.45)
- アラームは9件まで登録でき、毎日、または曜日指定の繰り返し設定を行っている場合は、解除するまでお知らせします。
- 着信バイブレータ(☞P.107)やアラーム／タイマーランプ(☞P.122)を設定していると、アラーム動作時に連動して動作します。
- アラーム連動電源ON(☞P.306)を設定すると、アラーム設定時刻に電源が入っていない場合、自動的に電源を入れてアラームを動作させることができます。

アラームを登録する

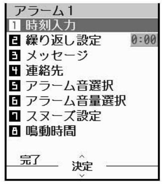
お買い上げ時	アラーム音選択：着信音1 アラーム音量選択：音量5 スヌーズ設定：OFF、鳴動時間：15秒

ここでは、アラームが動作する時刻と曜日を設定する手順を例に、基本的なアラームの登録方法を説明します。

- アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定することもできます。

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示できます。最大全角30文字(半角60文字)まで入力できます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示できます。アラーム動作時に簡単に電話をかけられます。(☞P.309)
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。動画／iモーションの設定や、モバイルオーディオを起動して音楽を再生するように設定することもできます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。
スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定できます。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更できます。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[アラーム]▶登録番号を選択



アラーム登録画面

関連操作
メッセージを表示する<メッセージ>
操作1▶③[メッセージ]▶メッセージを入力▶⊙
連絡先を表示する<連絡先>
1 操作1▶④[連絡先] **2** ①[電話帳検索]▶名前を選択▶⊙ ● 直接入力するとき：②▶電話番号を入力▶⊙
アラーム音を変更する<アラーム音選択>
1 操作1▶⑤[アラーム音選択] **2** ①[メロディ] ● 動画／iモーションを設定するとき：②▶操作3に進む ● モバイルオーディオを起動するとき：③▶⊙[確認] ● 設定しないとき：④ **3** フォルダを選択▶⊙▶アラーム音を選択▶⑧[決定] ● アラーム音を確認するとき：アラーム音を選択▶⊙[確認](⑧で停止) ● 動画／iモーションを確認するとき：動画／iモーションを選択▶⊙[確認](㊞で停止)
アラーム音量を変更する<アラーム音量選択>
1 操作1▶⑥[アラーム音量選択] **2** ⊙(上げる)／⊙(下げる)▶⊙ ● アラーム音を鳴らさないとき：[サイレント] ● だんだん大きな音になるようにするとき：[ステップトーン]
アラームの回数と間隔を設定する<スヌーズ設定>
1 操作1▶⑦[スヌーズ設定] **2** ①[ON] **3** 間隔(2桁:02～15分)を入力▶⊙▶回数(2～6)を入力▶⊙
鳴動時間を変更する<鳴動時間>
操作1▶⑧[鳴動時間]▶鳴動時間(2桁:02～99秒)を入力▶⊙

2 ①[時刻入力]▶動作時刻(4桁)を入力▶⊙

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、⊙で移動できます。

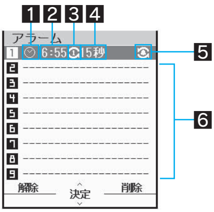
＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

3 ②[繰り返し設定]▶くり返し方法を選択

アラームを1回だけ動作させる	① ●アラーム動作後、設定が自動的に解除されます。
動作させる曜日を指定	②▶曜日を選択◉(くり返し可)▶◎[完了] ●[休日設定日を除く]にチェックを入れたときは、休日設定・祝日設定された日にはアラームが動作しません。 ●曜日指定を解除する場合は、曜日を選択し、◉[解除]を押します。 ●すべてを選択/解除する場合は、ⓜ[全選択]/ⓜ[全解除]を押します。
アラームを毎日動作させる	③

4 ⓜ[完了]

設定内容の見かた



1 アラーム設定されているときに表示
2 設定時刻
3 くり返し設定の内容を表示
①:1回だけ　Ⓦ:曜日指定　Ⓓ:毎日
4 アラーム音が動作している時間
5 スヌーズ設定されているときに表示
6 未登録
● 登録を終わるとき:⊖(待受画面に[🔔]表示)

お知らせ

● アラームとスケジュール/ToDoアラームを同じ時刻に設定すると、アラーム→スケジュール/ToDoアラームの順に動作します。
● 当日(時刻が過ぎている場合は翌日)、1回のみのアラームを簡単に設定することもできます。(クイックアラーム)

連絡先の表示について
● ダイヤル発信制限中は、連絡先を入力できません。
● 電話帳のPIMロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要です。

アラーム音設定について
● miniSDメモリーカードを挿入していないときは、[モバイルオーディオ起動]に設定できません。
● [モバイルオーディオ起動]に設定した場合、アラーム音量は設定できません。

お知らせ

● マルチメディアのPIMロック中は、[メロディ]、[iモーション]、[モバイルオーディオ起動]を設定するときに端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要です。

スヌーズ間隔について
● スヌーズ中に音声電話着信やテレビ電話着信があった場合、通話中にスヌーズ設定された時刻になったときは、通話終了後すぐにアラームが動作します。スヌーズ設定された時刻になっていないときは、通話終了後にスヌーズ中となり、スヌーズ設定された時刻になるとアラームが動作します。

関連操作
待受画面からアラームを設定する <クイックアラーム>
1 待受画面▶時刻(例 午後2時5分:「1405」)を入力▶◉[クイック]▶②[クイックアラーム]

お知らせ

待受画面からのアラーム設定について(クイックアラーム)
● 日時は当日(時刻が過ぎている場合は翌日)、分類は[分類なし]、メッセージは[クイックアラーム]としてスケジュールに登録されます。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が鳴る



● 登録したアラーム音の種類、音量、鳴動時間などに従って動作します。(登録しているメッセージ、連絡先の電話帳に登録されている静止画やiモーションも表示されます。)
● 着信バイブレータ(☞P.107)を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。また、アラーム/タイマーランプ(☞P.122)を設定しているときは、ランプも点滅します。
● アラーム音量を調節するとき(ステップトーン以外の場合):Ⓤ(上げる)/Ⓓ(下げる)
● アラーム連動電源ON(☞P.306)を設定しているときは、アラーム設定時刻に電源が入っていない場合、自動的に電源が入りアラームが動作します。

2 止めるとき:いずれかのボタンを押す(Ⓒ以外)

表示を消す	⊖
電話をかける(連絡先登録時)	◉[電話]▶電話をかける(☞P.98)

● スヌーズを設定しているときは、⊖以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。⊖でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズは動作しません。

その他の便利な機能

アラーム

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- アラーム音に[モバイルオーディオ起動]を設定しても、アラーム時刻にモバイルオーディオを起動できない場合は、[着信音１]が鳴ります。
- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。
- 連絡先に登録した電話帳に、ピクチャーコールとグループピクチャーコールの両方が設定されている場合、電話帳に登録されているピクチャーコールが優先されます。
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 赤外線通信中、データ送受信中、赤外線リモコン操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了し、待受画面に戻ると動作しますが、ソフトウェア更新操作中にアラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラームで設定した時刻になったときは、ソフトウェア更新操作終了後でも動作しない場合があります。

操作２で何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると

- アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします。（アラームの設定時間が表示されます。）

通話中にアラーム時刻になったとき

- 通話を終了し、通話前の画面に戻るとアラームが動作します。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき

- 通常マナーモードの場合、アラーム音は鳴りませんが、バイブレータは動作します。サイレントマナーモードの場合、アラーム音はならず、バイブレータも動作しません。オリジナルマナーモードの場合は、アラーム音やバイブレータの[ON]／[OFF]の設定に従います。
  通常マナーモードや、オリジナルマナーモードでバイブレータを[ON]にしている場合、バイブレータ設定を[OFF]に設定していても、バイブレータは[パターン１]で振動します。

公共モード（ドライブモード）設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータも動作しません。

アラームを解除／再設定／削除する

アラームは、１件ごとに設定（再設定）／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 TOPメニュー ▶ Ⓛ（生活ツール）▶ [アラーム] ▶ ⊙で登録番号を選択 ▶ 解除／再設定／削除



解除	ⓢ[解除] ●解除するときは[⏰]が表示されている番号を選択します。解除すると[⏰]が消えます。
設定（再設定）	ⓢ[設定] ●再設定するときは[⏰]が表示されていない番号を選択します。設定すると[⏰]が表示され、待受画面に[🔔]が表示されます。
削除	ⓜ[削除] ▶ [はい] ▶ ⊙ ●設定されていた内容が削除され、アラーム一覧画面に[------------------]が表示されます。

ズームメニューから登録する

ズームメニューからアラームを設定できます。

- アラーム時刻のみを設定できます。その他の項目は以下のように設定されます。
  - ■繰り返し設定：毎日
  - ■メッセージ：なし
  - ■連絡先：なし
  - ■アラーム音選択：前回設定したアラーム音
  - ■アラーム音量選択：音量５
  - ■スヌーズ設定：OFF
  - ■鳴動時間：60秒

1 待受画面 ▶ ⊙ ▶ [設定／生活ツール] ▶ ⊙

- TOPメニューやショートカットメニューが表示されたときは、ⓢ[切替]を押してズームメニューに切り替えます。

2 [アラームの設定] ▶ ⊙ ▶ 登録番号を選択

3 動作時刻（４桁）を入力 ▶ ⊙

- 時間は24時間制で入力します。
- カーソルは、⊙で移動できます。

■ズームメニューからアラームを解除／再設定／削除する

1 「■ズームメニューから登録する」（☞**P.310**）の操作１を行う

2 ［アラームの設定］▶⦿▶⦿で登録番号を選択▶解除／再設定／削除

- 詳しくは：☞P.310「アラームを解除／再設定／削除する」の操作１

スケジュール

スケジュールを管理する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先（電話番号）などを登録して管理できます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示することもできます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成することもできます。アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録できます。あとから内容を追加することもできます。（☞P.312）

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.45）
- スケジュールは最大300件まで登録できます。
- 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

カレンダーを表示できます。（☞P.112）スケジュール機能で登録した予定を確認することもできます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.45）
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号）」に基づいた祝日が登録されています（2006年２月現在）。（春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なる場合があります。）祝日は赤色で表示されます。
- 自分の休日など、新たな休日や祝日を登録し、カレンダーに表示することもできます。

1 **TOP**メニュー▶L（生活ツール）▶［スケジュール］▶［スケジュール］

- 前月／次月のカレンダーを表示するとき：⊡［前月］／⊡［次月］



カレンダー画面

関連操作
アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する
操作１▶◎▶③▶①▶②［アイコン表示］▶日を選択▶⑧［アイコン］▶分類アイコンを選択（ページを切り替えるとき：⊙）

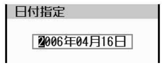
お知らせ

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日＋操作した時間
要約	–
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

■指定した日付のカレンダーを表示する<日付指定表示>

1 カレンダー画面▶◎▶③▶⑤［日付指定表示］



2 日付を入力▶⦿

関連操作
待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する
待受画面▶日付入力▶⦿［クイック］▶①［スケジュール］

お知らせ

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  01～31　今月のカレンダー（１日～31日）
  0101～1231　指定月日のカレンダー（１月１日～12月31日）
  20000101～20991231　指定年月日のカレンダー（2000年１月１日～2099年12月31日）

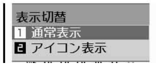
カレンダー表示を切り替える
<表示切替>

お買い上げ時 通常表示

- カレンダーの表示をアイコン表示に切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。(設定したスケジュールや休日は反映されます。)待受画面のカレンダー表示設定について:☞P.112

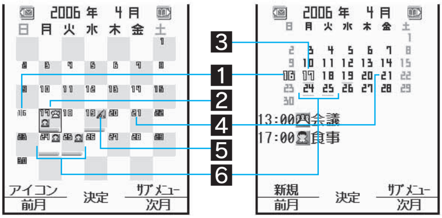
カレンダー画面▶◎▶③▶①[表示切替]▶①[通常表示]/②[アイコン表示]

カレンダー画面の表示が切り替わります。



- 予定の内容を表示するとき:予定を選択▶◉(☞P.315)

カレンダー画面の見かた



アイコン表示　　通常表示

1 本日(反転表示)
2 選択している日(黒線枠で表示)
3 選択している日(緑色で表示)
4 休日設定されている日(赤色で表示)
5 登録されている予定(分類別にアイコンで表示)
6 予定が登録されている日(アンダーライン表示)

スケジュールを登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先などを登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容は必ず設定してください。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり(☞P.313)、予定をシークレット登録する(☞P.314)こともできます。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[スケジュール]▶[スケジュール]▶日を選択▶ⓢ[新規]/◎▶①[新規作成]

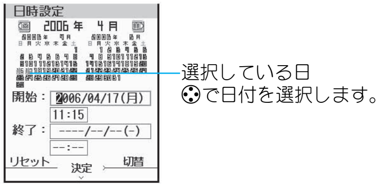
- アイコン表示の場合は、◎▶①[新規作成]を押します。



予定登録画面

2 [日時]▶◉

- カレンダーで日付を選択するとき:続けて◎[切替]



カレンダーでの日付選択画面

3 予定の開始日を入力/カレンダーから選択▶◉▶時刻(4桁)を入力▶◉

- 時刻は24時間制で入力します。
- 終了日時を入力すると、操作4で[1回のみ]以外は選択できません。
- 終了日時をリセットするとき:ⓢ[リセット]
- カーソルは、✥で移動できます。

4 くり返し方法を選択

1回のみの予定を登録	①
毎日くり返す予定を登録	②▶くり返しの回数を入力(00～99)▶◉
毎週1回の予定を登録	③▶くり返しの回数を入力(00～99)▶◉
毎月1回の予定を登録	④▶くり返しの回数を入力(00～99)▶◉
毎年1回の予定を登録	⑤▶くり返しの回数を入力(00～99)▶◉

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

5 [要約]▶◉▶要約を入力▶◉

- 最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

6 [分類]▶◉▶分類アイコンを選択

- ページを切り替えるとき:✥

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		誕生日
	プライベート		趣味
	休日		デート
	旅行		カラオケ
	仕事		飲み会
	会議		買い物
	食事		習い事
	ドライブ		出張
	スポーツ		鑑賞
	記念日		病院

選択された分類名が表示されます。
- 分類が決定されると、次回分類を選択するときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

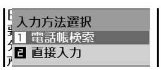
7 [画像]▶⦿▶画像を選択

静止画を設定	①▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶⑧[決定] ●静止画を確認するとき：静止画を選択▶⦿[確認]（戻るとき：Ⓒ）
静止画を設定しない	②

選択された静止画のタイトル名が表示されます。
- 動画／ｉモーションを選択することはできません。
- 設定した画像は、予定リスト画面（☞P.315）やスケジュール詳細画面（☞P.316）で表示されます。

8 [連絡先]▶⦿▶入力方法を選択▶連絡先を設定

- 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。



- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号（4～8桁の数字）の入力が必要です。

電話帳から選択	①▶電話番号を選択▶⦿ ●電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択できません。
直接入力	②▶電話番号を入力▶⦿

9 [内容]▶⦿▶内容を入力▶⦿

- 最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

10 ⑧[完了]

お知らせ

赤外線通信について
- FOMA端末（本体）に登録したスケジュールを赤外線通信で送信したり、赤外線通信でスケジュールを受信できます。（☞P.292）

miniSDメモリーカードについて
- FOMA端末（本体）に登録したスケジュールをminiSDメモリーカードにコピーできます。（☞P.281）また、miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールを表示したり、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.283）

スケジュールに登録した内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.278）やデータリンクソフト（☞P.379）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

アラームを設定する

お買い上げ時	アラーム時刻：00分、鳴動時間：15秒 アラーム音選択：着信音１ アラーム音量選択：音量５

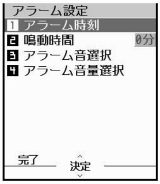
予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。アラーム動作時の状態を設定することもできます。
- 着信バイブレータ（☞P.107）やアラーム／タイマーランプ（☞P.122）を設定していると、アラーム動作時に連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更できます。
アラーム音選択	アラーム音を変更できます。モバイルオーディオを起動して音楽を再生するように設定することもできます。
アラーム音量選択	アラーム音量を変更できます。

- 上記の設定は、予定登録画面（☞P.312「スケジュールを登録する」の操作１）から行います。

■アラームを設定する

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.312**）▶［アラーム］▶◉▶①［**ON**］



アラーム設定画面

関連操作
アラームが鳴っている時間を変更する＜鳴動時間＞
操作１▶②［鳴動時間］▶鳴動時間（２桁：02～99秒）▶◉
アラーム音を変更する＜アラーム音選択＞
1 操作１▶③［アラーム音選択］ **2** ①［メロディ］ ● 動画／ｉモーションを設定するとき：② ● モバイルオーディオを起動するとき：③▶◉［確認］ ● アラーム音を設定しないとき：④ **3** フォルダを選択▶◉▶アラーム音を選択▶⑧［決定］
アラーム音量を変更する＜アラーム音量選択＞
操作１▶④［アラーム音量選択］▶◯̂（上げる）／◯̬（下げる）▶◉ ● アラーム音を鳴らさないとき：［サイレント］ ● だんだん大きな音になるようにするとき：［ステップトーン］

お知らせ

アラーム音選択について

- miniSD メモリーカードを挿入していないときは、［モバイルオーディオ起動］に設定できません。
- ［モバイルオーディオ起動］に設定した場合、アラーム音量は設定できません。

2 ①［アラーム時刻］▶アラームを鳴らす時刻（予定開始時刻の何分前：**00～99**）を入力▶◉

3 ⑧［完了］

予定登録画面に戻ります。

シークレット登録する

予定をシークレット登録すると、端末暗証番号（☞P.126）を入力してFOMA端末のシークレットモードを［ON］に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法について：☞P.136
- シークレット登録を解除するときは、あらかじめシークレットモードを［ON］に設定（☞P.136）してから操作してください。

1 スケジュールの予定登録画面（☞**P.312**）▶［シークレット］▶◉▶①［**ON**］

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、◯以外のいずれかのボタンを押します（☞P.309）。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます。

- アラーム音量を調節するとき（ステップトーン以外に設定している場合）：◯̂（上げる）／◯̬（下げる）
- スケジュールに画像が設定されていたり、映像を含んだｉモーションをアラーム音に設定していたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定されている場合は、その画像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	アラーム音に設定したｉモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像



通常のスケジュール



シークレットデータ

お知らせ

- シークレット登録している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを［ON］に設定（☞P.136）しているときは、表示されます。）
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の［ON］／［OFF］を設定できます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中に設定した時刻になったとき、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータも動作しません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

休日を登録する＜休日設定＞

特定の日を休日に設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定できます。休日は最大100件まで設定できます。また、自分で設定した休日をすべて解除したり、過去の休日のみすべて（曜日指定で設定した休日を除く）解除できます。

- 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

1 カレンダー画面（☞P.311）▶休日（設定する日／解除する日）を選択▶◎▶④▶①［休日設定］▶休日の設定方法を選択

- 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選択する必要はありません。

選択した日を休日に設定／解除	① ●休日に設定されている日を選択したときは、設定が解除されます。
毎週決まった曜日を休日に設定／解除	②▶曜日を選択◉（くり返し可）▶◎［完了］ ●すべてを選択／解除する場合は、ⓜ［全選択］／ⓜ［全解除］を押します。

設定した休日は、赤色で表示されます。

- 日曜日や祝日は、休日設定を解除しても赤色で表示されます。

関連操作

設定した休日をまとめて解除する＜全解除＞

1 カレンダー画面（☞P.311）▶◎▶④▶①［休日設定］
2 ④［全解除］▶［はい］▶◉
- 選択した日より前の休日をすべて解除するとき：③▶［はい］▶◉

お知らせ

- 曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定（日曜日のみ休日）に戻ります。

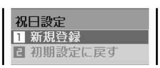
祝日を登録する＜祝日設定＞

お買い上げ時　国民の祝日（17件）

カレンダーに祝日を設定したり、初期設定に戻したりできます。

- あらかじめ登録されている国民の祝日の他に、最大20件まで設定できます。

1 カレンダー画面（☞P.311）▶祝日に設定する日を選択▶◎▶④▶②［祝日設定］



2 ①［新規登録］

- 設定した祝日をすべて解除するとき：②［初期設定に戻す］▶［はい］▶◉

3 祝日の設定方法を選択

「毎年○月○日」として設定	①
「毎年○月第○○曜日」として設定	②

4 祝日名を入力▶◉

設定した祝日は、赤色で表示されます。

- 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
- 設定した祝日内容を変更するとき：スケジュール詳細画面（☞P.316）▶◎▶①［編集］▶変更する日を入力▶◉▶操作3へ進む

スケジュールを確認する

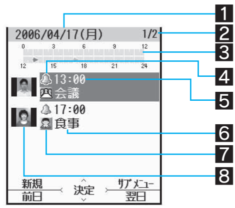
登録されているスケジュールの内容を確認します。

- 分類別、連絡先別に表示できます。電話番号やメールアドレスが登録されているときは、電話をかけたりｉモードメールを送信することもできます。スケジュールをコピーすることもできます。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［スケジュール］▶［スケジュール］▶日を選択▶◉

指定した日の予定がリストで3件まで表示されます。（予定リスト画面）

- ⓜ［前日］を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
- ⓜ［翌日］を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
- シークレット登録した予定を確認するときは、シークレットモードを［ON］に設定してください。（☞P.136）
- miniSDメモリーカード内の予定を確認するときは、カレンダー画面▶◎▶⑦［miniSDデータ参照］



予定リスト画面

1 日付
2 当日に登録されている件数
3 タイムバー（スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。）
4 アラームの有無
5 予定時刻
6 要約または内容※
7 分類アイコン
8 画像（マイピクチャに保存されている画像または電話帳に登録されている画像）

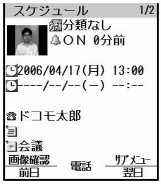
※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。
要約が登録されていないときは、内容の先頭全角8文字分（半角16文字分）が表示されます。

次ページへ続く

関 連 操 作
分類別に表示する＜分類別表示＞
カレンダー画面（☞P.311）▶◎▶③▶③［分類別表示］▶分類を選択（ページを切り替えるとき：⊙）
連絡先別に表示する＜連絡先別表示＞
カレンダー画面（☞P.311）▶◎▶③▶④［連絡先別表示］▶連絡先を選択▶⦿
すべてのスケジュールを確認する＜スケジュール全件表示＞
カレンダー画面（☞P.311）▶◎▶③▶②［スケジュール全件表示］ ● 予定を確認するとき：予定を選択▶⦿
スケジュールのPIMロックを設定する＜PIMロック＞
カレンダー画面（☞P.311）▶◎▶⑧［PIMロック］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⦿▶①［ON］

2 予定を選択▶⦿

● 連絡先が登録されていると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されているときは名前が表示されます。



スケジュール詳細画面

登録されている画像を確認	ⓢ［画像確認］
確認を終了	⊖

関 連 操 作
スケジュールから電話をかける
操作2▶⦿［電話］▶電話番号を選択▶⦿［ ］ ● テレビ電話をかけるとき：⦿［電話］▶電話番号を選択▶ⓢ［テレビ電話］
スケジュールからｉモードメールを作成する
操作2▶⦿［電話］▶アドレスを選択▶⦿［メール］▶ｉモードメール作成
スケジュールをコピーする＜コピー＞
操作2▶◎▶④▶①［コピー］ ● コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けることができます。

お知らせ

● 音声電話の通話中やメール作成中などに▭（サイドボタン）を押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認できます。（☞P.303）

ｉモードメールの作成について

● 予定からｉモードメールを作成できるのは、電話帳にメールアドレスも登録されているときのみです。

スケジュールを修正する＜編集＞

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［スケジュール］▶［スケジュール］▶日を選択▶⦿▶予定を選択▶◎▶②［編集］

● シークレット登録している予定を選択するときは、シークレットモードを［ON］に設定してください。（☞P.136）



2 予定を修正▶ⓢ［完了］▶登録方法を選択

● 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.312）

新しい予定として登録	①
予定を上書き登録	②▶［はい］▶⦿

着信履歴、リダイヤルの連絡先を登録する

着信履歴やリダイヤルの電話番号をスケジュールの連絡先として登録できます。

1 着信履歴（☞P.58の操作1）／リダイヤル（☞P.50の操作1）を表示▶電話番号を選択▶◎▶⑧［スケジュール作成］

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
要約	－	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	－	
連絡先	電話番号	
シークレット	OFF	
内容	［未入力］と入力されます。	

2 スケジュールの内容を追加登録（☞P.312の操作2～10）

ｉモードメールの本文を登録する

受信／送信メールの本文をスケジュールの内容として登録できます。

● ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

その他の便利な機能　スケジュール

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

1 受信メールを表示（☞P.215の操作1～2）▶◎▶⑥▶④［スケジュール作成］

● 送信メールのとき：送信メールを表示▶◎▶⑦▶④［スケジュール作成］

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
要約	–	
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	–	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の1つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。）	宛先の登録されている電話帳の1つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合、連絡先は登録されません。）
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文（全角100文字（半角200文字）まで）	

2 スケジュールの内容を追加登録（☞P.312の操作2～10）

■テキストメモの本文を登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録できます。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［便利機能］▶［テキストメモ］▶テキストメモを選択▶◎▶①▶③［スケジュール作成］

スケジュールに登録される内容

項目	内容
日時	----/--/--
要約	–
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

2 スケジュールの内容を追加登録（☞P.312の操作2～10）

■マイピクチャの静止画を登録する

データBOXのマイピクチャの静止画を、スケジュールの静止画として登録できます。

● データBOXの動画／iモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 静止画を選択（☞P.256の操作1～3）▶◎▶③▶⑧［スケジュール画像設定］

スケジュールに登録される内容

項目	内容
日時	静止画の保存日時
要約	–
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	［未入力］と入力されます。

2 スケジュールの内容を追加登録（☞P.312の操作2～10）

お知らせ

● カメラ撮影後のプレビュー画面で◎▶③▶③［スケジュール］を押すと、撮影した静止画をすぐに登録できます。なお、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュール登録できません。保存先を本体に設定してください。

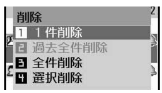
● miniSDメモリーカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから登録してください。

スケジュールを削除する
＜スケジュール削除＞

予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

方法	説明
1件削除	予定を1件ずつ削除します。
過去全件削除	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除	すべての予定を削除します。
選択削除	複数の予定を選択し、まとめて削除します。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［スケジュール］▶［スケジュール］▶◎▶③▶②［スケジュール全件表示］▶予定を選択▶◎▶③［削除］



● 1件削除や選択削除でシークレット登録している予定を選択するときは、シークレットモードを［ON］に設定してください。（☞P.136）

● 選択削除の場合は、操作2で予定を選択します。

● 過去全件削除は選択した予定の前日までの予定を削除します。

2 削除方法を選択

予定を1件削除	①▶[はい]▶◉
過去のすべての予定を削除	②▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
すべての予定を削除	③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
複数の予定を選択し、まとめて削除	④▶予定を選択◉(くり返し可)▶ⓜ[完了]▶[はい]▶◉ ●すべてを選択/解除するとき:ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]

関連操作

カレンダー画面から削除する

1 カレンダー画面(☞P.311)▶ⓜ▶②[削除]
2 ①[過去全件削除]
 ● 全件削除するとき:②
3 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉

ToDoリスト

ToDoリストを登録する

行動予定の期限、内容などを登録して行動予定を管理できます。

- 優先度を設定したり、行動予定の期限前にアラームでお知らせすることもできます。
- 行動予定をシークレット登録すると、端末暗証番号(☞P.126)を入力してシークレットモードを[ON]に設定しない限り、読み出すことができなくなります。他の人に見られたくない行動予定を守ることができます。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。(☞P.45)
- ToDoリストは最大100件まで登録できます。
- 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

ここでは、行動予定の期限と内容、分類などを登録する手順を例に、基本的な行動予定の登録方法を説明します。

1 TOPメニュー▶Ⓛ(生活ツール)▶[スケジュール]▶[ToDoリスト]▶✉[新規]



行動予定登録画面

関連操作

行動予定をシークレット登録する<シークレット>

1 操作1▶[シークレット]▶◉
2 ①[ON]

2 [期限]▶◉▶期限日時を入力▶◉

- 完了日を設定するとき:[完了日]▶◉▶完了日時を入力▶◉
- 状態を設定するとき:[状態]▶◉▶状態を選択
- 優先度を設定するとき:[優先度]▶◉▶優先度を選択

関連操作

行動予定の期限前にアラームで知らせる<アラーム設定>

1 操作2▶[アラーム]▶◉
2 ①[ON]
3 ①[アラーム時刻]▶時刻(期限の何分前)を入力▶◉
 ● アラームに連絡先を登録するとき:⑤[連絡先]▶入力方法を選択▶連絡先を選択▶◉
4 ⓘ[完了]

3 [内容]▶◉▶内容を入力▶◉

- 内容は最大全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
- 行動予定リスト画面(☞P.319)では、要約が登録されているときは要約の先頭全角9文字分(半角18文字分)が表示され、要約が登録されていないときには内容の先頭全角9文字分(半角18文字分)が表示されます。
- 要約を入力するとき:[要約]▶◉▶要約を入力▶◉
 最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

4 [分類]▶◉▶分類のアイコンを選択

- ページを切り替えるとき:⊙
- 分類の種類について:☞P.313
- 分類が決定されると、次回分類を選択するときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。



5 ⓘ[完了]

- 行動予定の内容が入力されていない場合、ⓘを押しても完了することはできません。

お知らせ

アラーム設定について
- アラームの設定方法について:☞P.313「アラームを設定する」
- 連絡先を設定するとアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳利用時に端末暗証番号(4～8桁の数字)の入力が必要です。

シークレットについて
- シークレットモードの設定方法について:☞P.136

お知らせ

赤外線通信について

- FOMA端末（本体）に登録したToDoリストを赤外線通信で送信したり、赤外線通信でToDoリストを受信できます。（☞P.292）

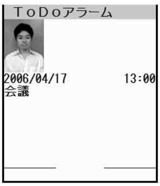
miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録したToDoリストをminiSDメモリーカードにコピーできます。（☞P.281）また、miniSDメモリーカードに保存されているToDoリストを表示したり、FOMA端末（本体）にコピーできます。（☞P.283）

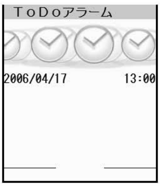
ToDoリストに登録した内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞P.278）やデータリンクソフト（☞P.379）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、Ⓜ以外のいずれかのボタンを押します。（☞P.309）



通常の行動予定



シークレットデータ

- シークレット登録している行動予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードを［ON］に設定（☞P.136）しているときは、表示されます。）
- メモ／スケジュール／ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 通常マナーモード、サイレントマナーモード設定中は、アラーム音が鳴りません。オリジナルマナーモードの場合はアラーム音の［ON］／［OFF］を設定できます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中に設定した時刻になったとき、アラーム音は鳴りません。着信ランプ、バイブレータも動作しません。

お知らせ

- アラームの連絡先に設定した電話帳にピクチャーコールが設定されていた場合、アラーム時にその画像（静止画や動画／ｉモーション）が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションをアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールに関係なくｉモーションの映像が表示されます。

お知らせ

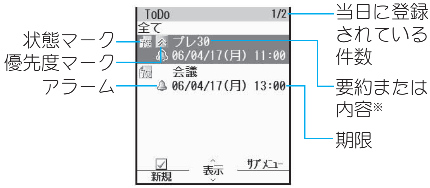
- 音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）をアラーム音に設定した場合、登録されている連絡先のピクチャーコールが表示されます。ピクチャーコールにｉモーションが登録されている場合は通常のアラーム画面が表示されます。

ToDoリストを確認する

状態や分類を指定してToDoリストを表示したり、完了したToDoリストをチェックできます。

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶［スケジュール］▶［ToDoリスト］

- miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき：行動予定リスト画面▶◎▶⑧［miniSDデータ参照］



行動予定リスト画面

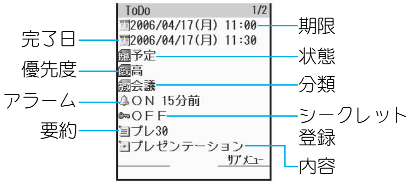
※ 要約が登録されているときは、要約の先頭全角9文字分（半角18文字分）が表示されます。
　要約が登録されていないときは、内容の先頭全角9文字分（半角18文字分）が表示されます。

関連操作
状態を切り替える<状態切替>
操作1▶◎▶⑤［状態切替］▶項目を選択
表示方法を切り替える<表示設定>
1 操作1▶◎▶⑥▶①［状態別表示］ ● 分類別表示をするとき：◎▶⑥▶② **2** 項目を選択（ページを切り替えるとき：Ⓜ）
完了したToDoリストをチェックする
操作1▶行動予定を選択▶⑧［☑］ ● 未チェック（［未］）に戻すとき：すでに［済］が表示されている行動予定を選択▶⑧［☑］
ToDoリストのPIMロックを設定する<PIMロック>
操作1（☞P.319）▶◎▶Ⓜ▶①［PIMロック］▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶⦿▶①［ON］

その他の便利な機能　ToDoリスト

2 行動予定を選択▶◉[表示]

内容をコピー	◎▶②
確認を終了	⊖



行動予定内容画面

お知らせ

- <u>音声電話</u>の通話中やメール作成中などに⊂⊃(サイドボタン)を押すと、ToDoリストを呼び出して行動予定を確認できます。(☞P.303)

ToDoリストのチェックについて

- チェックすると、完了日時が自動的に登録されます。

ToDoリストを修正する

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[スケジュール]▶[ToDoリスト]▶行動予定を選択▶◎▶②[編集]

2 行動予定を修正

- 修正方法は、登録時の操作と同様です。(☞P.318)
- 完了日を設定するとき:行動予定登録画面▶[完了日]▶◉▶行動予定の完了日(時刻:4桁)を入力▶◉

3 修正が終わったら▶ⓘ[完了]▶登録方法を選択

新しい行動予定として登録	①
行動予定を上書き登録	②▶[はい]▶◉

ToDoリストを削除する

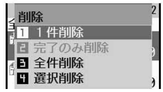
行動予定は、次のいずれかの方法で削除できます。

1件削除	行動予定を1件ずつ削除します。
完了のみ削除	完了したすべての行動予定を削除します。
全件削除※	すべての行動予定を削除します。
選択削除	複数の行動予定を選択し、まとめて削除します。

※状態別表示や分類別表示のときは、完了のみ削除、全件削除を行うことはできません。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[スケジュール]▶[ToDoリスト]▶行動予定を選択▶◎▶③[削除]

- [完了のみ削除]、[全件削除]の場合は、削除したい行動予定を選択する必要はありません。



2 削除方法を選択

行動予定を1件削除	①▶[はい]▶◉
完了したすべての行動予定を削除	②▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
すべての行動予定を削除	③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉
複数の行動予定を選択し、まとめて削除	④▶行動予定を選択◉(くり返し可)▶◎[完了]▶[はい]▶◉ ●すべてを選択/解除するとき:ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]

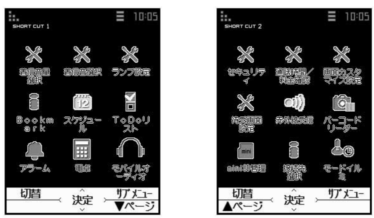
ショートカットメニュー

よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておくと、簡単な操作でその機能を表示できます。

ショートカットメニューを登録する

登録できるショートカットは、最大18件です。FOMA端末には、あらかじめ次のショートカットが登録されていますが、よく使う機能やｉアプリのソフト、ブックマークを上書き登録できます。



ショートカットメニュー画面

1 登録したい機能（📎が表示されている）の画面▶▭（サイドボタン）（1秒以上）



2 登録先を選択▶◉

3 上書き登録するとき：[はい]▶◉

お知らせ

- ショートカットに登録したｉアプリのソフトそのものや、ブックマークのURLを削除すると、ショートカットメニューからも自動的に削除されます。
- 設定リセットを行うと、お買い上げ時のショートカットに戻ります。

アクティブマーカーが表示されたときは

- ショートカットメニューを利用する場合、待受画面で◯を押したあと、アクティブマーカーが表示されたときはⓢ[切替]を押して表示を切り替えてください。

ショートカットメニューを実行する

1 待受画面▶◯▶ショートカットアイコンを選択▶◉

登録している機能が実行されます。

- ◯を押したときにアクティブマーカーが表示されたとき：ⓢ[切替]
- 待受画面にカレンダーを表示しているときは、◯を押すとカレンダーの月表示が変わります。このときは⊖を押し、カレンダー表示を解除したあと、◯を押してください。
- ショートカットメニューのページを切り替えるとき：ⓜ[▲ページ]／ⓘ[▼ページ]
- 待受画面で◉を押してもショートカットメニューを表示できます。◉を押したときに、TOPメニューやズームメニューが表示されたときはⓢ[切替]を押してショートカットメニューに切り替えてください。待受画面で◉を押すと、前回と同じメニューが表示されます。

ショートカットメニューから削除する

1 ショートカットメニューを表示▶ショートカットアイコンを選択▶ⓐ▶②[削除]

2 削除方法を選択

ショートカットを１件削除	①▶[はい]▶◉
すべてのショートカットを削除	②▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶[はい]▶◉

選択したショートカットが削除され、ショートカットメニューに表示されなくなります。

ショートカットメニューのアイコンを移動する<アイコン移動>

ショートカットメニューのアイコンの位置を入れ替えできます。

1 ショートカットメニューを表示▶ショートカットアイコンを選択▶ⓐ▶①▶②[アイコン移動]

2 移動先を選択▶◉

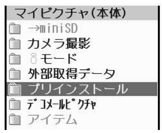
最初に選んだショートカットと入れ替わります。

ショートカットメニューのアイコンを設定する<アイコン画像設定>

ショートカットメニューのアイコンを変更できます。
１つのアイコンに非選択時用と選択時用の２枚の画像を設定し、切替表示できます。

- 横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。
- GIFアニメーションの場合は最大３シーンが切り替わります。選択時用の画像は設定できません。

1 ショートカットメニューを表示▶ショートカットアイコンを選択▶ⓐ▶①▶①[アイコン画像設定]



2 フォルダを選択▶◉▶非選択時用の静止画を選択▶ⓢ[決定]

非選択時用のアイコンが設定されます。

- 静止画を確認するとき：静止画を選択▶◉[確認]（戻るとき：Ⓒ）

3 選択時用の静止画を選択

非選択時用と選択時用の画像を同じにする	[いいえ]▶◉

次ページへ続く▶▶

選択時用の画像を別に設定	[はい]▶◉▶フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶⑧[決定]

- 操作２でGIFアニメーションを選択したときは、ショートカットメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ショートカットアイコンに設定できない画像は表示されません。
- あらかじめ内蔵されているショートカットメニューのアイコンは、GIFアニメーションです。
- マイピクチャの静止画をショートカットアイコンに設定した場合、元の静止画を削除しても、ショートカットアイコンの設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定する<アクションフォーカス>

お買い上げ時　グローブ

ショートカットメニューのアイコンにアクションフォーカスを設定できます。

- GIFアニメーションが設定されている場合は、最後に表示される画像にアクションフォーカスを設定します。

1 ショートカットメニューを表示▶📷▶③[アクションフォーカス]▶アクションフォーカスの種類を選択

グローブ	円が速度を変えながら回転します。
ターゲット	大きい四角形から小さい四角形になります。
ミスト	霧のような光の幕がかかります。
スターダスト	光がきらきら輝き続けます。
ウインドミル	３本の棒が次々に現れ、アイコンの下で回転します。
リップル	丸い枠が広がっていきます。
OFF	設定しません。

ショートカットメニューの背景を設定する<背景設定>

お買い上げ時　メニュー背景１

ショートカットメニューの背景画像を設定できます。

- JPEG画像、GIF画像が利用できます。(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。)

1 ショートカットメニューを表示▶📷▶④[背景設定]

2 フォルダを選択▶◉▶静止画を選択▶⑧[決定]

- 静止画を確認するとき：静止画を選択▶◉[確認](戻るとき：ⓒ)

お知らせ

- 背景画像に設定できない静止画は、表示されません。
- マイピクチャの静止画を背景画像に設定した場合、元の静止画を削除しても、背景画像の設定を変更するまでショートカットメニューの表示は変わりません。

ショートカットメニューをリセットする<メニューリセット>

ショートカットメニューをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 ショートカットメニューを表示▶📷▶⑤[メニューリセット]▶[はい]▶◉

所有者情報登録

自分の名前や画像を登録する

お客様の所有者情報として、名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモ、所有者画像を登録・変更できます。
電話番号はご契約の電話番号の他に２件、メールアドレスは３件まで登録できます。

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが表示され、メールアドレスは未登録です。取得したｉモードメールアドレスを追加登録してください。

登録できる項目



アイコン	登録項目
👤	名前(最大全角16文字／半角32文字)
ｶﾅ	フリガナ(最大半角32文字)
📱	ご契約の電話番号(編集不可)
☎	電話番号(２件、１件あたり最大26桁)
✉	メールアドレス(３件、１件あたり最大半角50文字)
〒	郵便番号(半角数字、最大７桁)
🏠	住所(最大全角50文字／半角100文字)
🎂	誕生日(半角数字、1900年１月１日～2099年12月31日まで)
📝	メモ(最大全角100文字／半角200文字)
🖼	所有者画像

1 TOPメニュー▶⓪▶◉[詳細]

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶Ⓘ▶①[編集]

所有者情報編集画面が表示されます。

3 ◌で項目を選択▶それぞれの内容を登録

- 登録方法は、電話帳と同様です。（☞P.88）
- 1つの項目の登録が終わると、操作2の画面に戻ります。続けて他の項目を登録できます。
- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、誕生日、メモを削除するときは、各入力画面でⒸを押して削除します。所有者画像を削除するときは③[設定なし]を選択します。

4 必要な項目の登録が終わったら▶ⓘ[完了]

- ◌で各項目のアイコンを選択すると、登録した内容が表示されます。

お知らせ

- 所有者情報登録でメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。
- iモードメールアドレスは、お好みで変更することもできます。（☞P.195）
- iモードメールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。

関連操作
自分のiモードメールアドレスを確認する（iモードご契約者のみ）
待受画面▶ⓘ▶[i Menu]▶[目オプション設定]▶[1メール設定]▶[アドレス確認]▶◉

所有者情報の詳細を表示する

所有者情報の詳細を表示できます。

- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の文字入力画面に貼り付けできます。

1 TOPメニュー▶⓪▶◉[詳細]

2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉

- 登録した内容を表示するとき：◌
- 所有者情報の項目をコピーするとき：◌でコピーする項目を選択▶Ⓘ▶②[項目コピー]
  コピーできる項目は、名前、ご契約の電話番号、電話番号、メールアドレス、住所、メモです。

お知らせ

- 赤外線通信機能を利用して、所有者情報を他のFOMA端末などに送信することもできます。

関連操作
iモードメールやSMS作成中にコピーする
1 待受画面▶Ⓜ▶④[新規メール作成]▶[本文]▶◉▶Ⓘ▶⑧▶②[所有者情報引用] ● SMSのとき：待受画面▶Ⓜ▶⑤[新規SMS作成]▶[本文]▶◉▶Ⓘ▶⑥▶②[所有者情報引用] **2** ◉[詳細]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶項目を選択▶◉
所有者画像を赤外線通信で転送しないように設定する<画像転送設定>
TOPメニュー▶⓪▶◉[詳細]▶端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力▶◉▶Ⓘ▶④[画像転送設定]▶②[しない]

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中に自分の声（待受中音声メモ）を録音できます。

- 録音した音声メモを応答保留音や保留音に設定することもできます。（☞P.61）
- 録音時間は1件につき約15秒で、音声伝言メモの用件（☞P.65）と合わせて3件（1件あたり約15秒）まで録音できます。
- テレビ電話伝言メモは2件（1件あたり約15秒）まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する <通話中音声メモ>

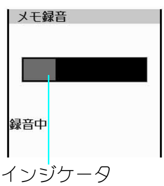
1 音声電話の通話中▶◌（1秒以上）／Ⓘ▶②[通話中音声メモ]

- 録音時の注意点は、待受中に自分の声を録音するとき（☞P.323）と同様です。
- 15秒以内に録音を止めるとき：Ⓘ（中止前までの内容は録音されています。）

待受中に自分の声を録音する <待受中音声メモ>

1 待受画面▶◌（1秒以上）▶①[録音]

録音が始まります。



- 送話口から10cm以内でお話しください。
- すでに音声伝言メモと音声メモが3件録音されていて、テレビ電話伝言メモが2件録画されているときは、[これ以上録音できません]と表示されます。テレビ電話伝言メモが2件未満のときは、[音声伝言メモがすでに3件録音されています]と表示されます。不要な録音内容を削除してからやり直してください。（☞P.68）

次ページへ続く▶▶

● 録音は約15秒で自動的に終わります。
● インジケータは目安です。
● 15秒以内に録音を止めるとき：⦿（中止前までの内容は録音されています。）

お知らせ

● 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除について：☞P.67
● 音声メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
● 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音される場合もあります。
● 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
● 待受中音声メモ録音中、ボタン確認音は鳴りません。

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると

● 録音は中止されます。Ⓘを押すと電話に出ることができます。（中止前までの内容は録音されています。）

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

● FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また、故障・修理・FOMA端末の変更やその他取り扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電卓

電卓として使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。

● 電卓計算例について：☞P.376

1 TOPメニュー▶L（生活ツール）▶[便利機能]▶[電卓]

● 待受画面▶計算用の数字を入力▶⦿[クイック]▶[電卓]の順に選択することもできます。

関 連 操 作
税率を変更する
操作１▶Ⓘ（１秒以上）▶税率（01〜99の数字）入力▶⦿

2 計算用の数字を入力

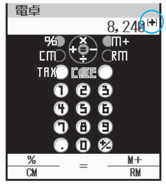
● 次のボタンを押して、入力します。

⓪〜⑨	０〜９の数字
⊛	小数点
⊕	＋／－の切り替え※

※ 先に数値を入力してから⊕を押すことにより、＋／－の切り替えができます。

● Ⓒを押すと、入力した数字がすべて消えます。（数字が０のとき、Ⓒを押すと電卓が終了します。）

3 演算方法を選択



● 加減乗除は、マルチガイドボタンで指定します。

◐	＋ 加算	◑	－ 減算	◓	× 乗算	◒	÷ 除算

● 次の演算も指定できます。

✉	CM クリアメモリ	⊡	RM メモリ呼出し	ⓐ	％ パーセント計算
Ⓘ	TAX 税計算	◎	M+ メモリ加算		

関 連 操 作
計算内容をコピーする
操作３▶計算中▶⊛（１秒以上）

4 計算用の数字を入力▶⦿[＝]

● 電卓を終了するとき：⊖（待受画面に戻ります。）

関 連 操 作
税額を計算する
操作４▶Ⓘ[TAX]（税） ● 税抜額を計算するとき：計算結果を表示▶Ⓘ[TAX]▶Ⓘ[TAX]（税抜）

お知らせ

● 電卓表示中にアラームまたはスケジュールアラームが動作した場合、動作終了後に電卓の画面に戻ります。遠隔オールロックが動作した場合は、待受画面に戻ります。
● メモリ計算をご利用の場合、電卓を終了しても計算結果は保存されています。

税計算について

● お買い上げ時は、税率は[５％]に設定されています。
● 税額は小数点以下切り捨てで計算されます。
● 例：120 Ⓘ[TAX]と押すと、[５税]と表示されます。

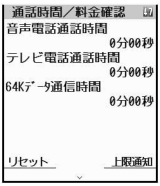
通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回の通話時間および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、［０円］もしくは［¥¥¥¥¥¥円］が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、音声電話通話料金○○円、テレビ電話通話料金○○円と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。（FOMAカードには蓄積されています。）
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間および料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話明細を表示する

1 TOPメニュー▶Ⓢ（設定）▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］



- FOMAカード読み込み中のときは、［FOMAカード（UIM）読み込み中です］と表示されます。
- 一度もリセットしていない場合には、リセット日時は［----/--/--(--)--:--］と表示されます。
- 積算通話料金をリセットすると、リセット日時にリセット時の積算通話料金が記録されます。
- 確認を終わるとき：⊖

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 前回の通話時間が９時間59分59秒を超えると、０秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、０秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

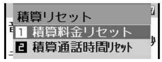
お知らせ

- 電源を切ると、前回通話料金は「¥¥¥¥¥¥円」になります。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「０」に戻すことができます。

1 TOPメニュー▶Ⓢ（設定）▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］▶ⓘ［リセット］



2 リセットする項目を選択

積算料金	①▶PIN2コード（４～８桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉
積算通話時間	②▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

- ［リセット日時］に、リセットした年月日が登録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる<料金上限通知設定>

お買い上げ時 無効

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにメッセージを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。毎月１日に通話料金のリセット通知を表示し、リセットすることもできます。

1 TOPメニュー▶Ⓢ（設定）▶［NWサービス］▶［通話時間／料金確認］▶📷［上限通知］

関連操作
待受画面に表示された料金上限通知メッセージを削除する<通知あり表示削除>
待受画面に料金上限通知メッセージ表示中▶◉▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉

2 ①［料金上限通知設定］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）▶◉

3 ［料金上限通知設定］▶◉▶①［有効］

4 ［料金上限額設定］▶◉▶上限の料金を入力▶◉

- 10～100,000円の間、10円単位で設定できます。
- お買い上げ時は3,000円に設定されています。

次ページへ続く▶▶

5 [通知方法選択]▶⦿▶通知方法を選択

待受画面にメッセージを表示し、アラームを鳴らす	①[アラーム+待受け]▶アラーム音/アラーム音量/鳴動時間を設定▶ⓢ[完了] ● アラーム音、アラーム音量、鳴動時間の設定方法について:☞P.308 動画/ｉモーションはアラーム音色に設定できません。
待受画面にメッセージを表示	②[待受け]

● アラームを鳴らす設定にした場合、料金上限通知アラームの動作中に省電力モードになったときに、アラームが停止します。

6 [自動リセット]▶⦿▶自動リセットするかどうかを選択

自動リセットする	①[ON] ● 毎月1日午前0時を通過したとき、または日時設定(☞P.45)で翌月以降に日時を変更したときに、待受画面に[リセット時刻経過]が表示され、通話料金をリセットすることができます。
自動リセットしない	②[OFF]

7 ⓢ[完了]▶**PIN2**コード(4～8桁の数字)を入力▶⦿

お知らせ

● 待受画面に料金上限通知メッセージが表示されている場合、料金上限通知を再設定すると、料金上限通知メッセージが削除されます。

通知あり表示削除について

● 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットする、または料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

関連操作

リセット通知画面から通話料金をリセットする

待受画面▶[リセット時刻経過]表示中▶⦿▶⦿▶PIN2コード(4～8桁の数字)を入力▶⦿▶[はい]▶⦿

お知らせ

自動リセットについて

● リセットを中断したり、リセット確認画面で[いいえ]を選択してもリセット通知の表示は消去されます。翌月の1日午前0時になるまでリセット通知は表示されません。

テキストメモ

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

● テキストメモは、最大10件まで登録できます。また、20種類に分類できます。

1 TOPメニュー▶L(生活ツール)▶[便利機能]▶[テキストメモ]



テキストメモ一覧画面

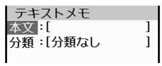
関連操作

テキストメモのPIMロックを設定する<PIMロック>

操作1▶ⓜ▶⑦[PIMロック]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿▶①[ON]

2 ⓢ[新規]/ⓜ▶①▶①[新規作成]

● 登録したメモを確認するとき:メモを選択▶⦿[表示]



3 [本文]▶⦿▶本文を入力▶⦿

● 本文は最大全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

4 [分類]▶⦿▶分類のアイコンを選択

● ページを切り替えるとき:⊙
● 20種類の分類設定から選択できます。分類の種類について:☞P.313
● 分類が決定されると、次回分類を選択するときに、前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 ⓢ[完了]

お知らせ

● テキストメモのPIMロックを設定すると、スケジュール、ToDoリスト、アラームもロックされ、アラーム設定時刻になってもアラームは動作しません。

赤外線通信について

● FOMA端末(本体)に保存されているテキストメモを赤外線通信で送信したり、赤外線通信でテキストメモを受信できます。

その他の便利な機能 テキストメモ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

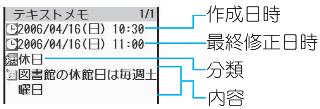
miniSDメモリーカードについて
- FOMA端末(本体)に登録したテキストメモをminiSDメモリーカードにコピーできます。(☞P.281)また、miniSDメモリーカードに保存されているテキストメモを表示したり、FOMA端末(本体)にコピーできます。(☞P.283)

テキストメモに登録した内容は、別にメモを取る、またはパソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード(☞P.278)やデータリンクソフト(☞P.379)をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用できます。

1 テキストメモ一覧画面(☞**P.326**)▶メモを選択▶◉[表示]



2 メモを利用する機能を選択

メール作成に利用	◎▶①▶① メール作成画面が表示されます。 ●[本文]にメモの文章が入力されます。
スケジュールに利用	◎▶①▶② 予定登録画面が表示されます。 ●[内容]にメモの文章が、[分類]にメモの分類が入力されます。
ToDoリストに利用	◎▶①▶③ 行動予定画面が表示されます。 ●[内容]にメモの文章が、[分類]にメモの分類が入力されます。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに▭(サイドボタン)を押すと、テキストメモを呼び出して起動できます。(☞P.303)

登録したメモを修正する

1 テキストメモ一覧画面(☞**P.326**)▶メモを選択▶◎▶②[編集]

2 メモを編集
- 編集方法は、登録時と同様です。(☞P.326)

3 修正が終ったら▶ⓘ[完了]▶登録方法を選択

新規登録	①
上書き登録	②▶[はい]▶◉

メモを削除する

1 テキストメモ一覧画面(☞**P.326**)▶メモを選択▶◎▶③[削除]

2 削除方法を選択

メモを1件削除	①▶[はい]▶◉
複数のメモを削除	②▶メモを選択◉(くり返し可)▶◎[完了]▶[はい]▶◉ ●すべてを選択/解除するとき:ⓘ[全選択]/ⓘ[全解除]
すべてのメモを削除	③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話を受けることができます。
- イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。
  - ■ 平型スイッチ付イヤホンマイク
  - ■ スイッチ付イヤホンマイク ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ ステレオイヤホンセット P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
  - ■ イヤホンターミナル P001 ＋ イヤホンジャック変換アダプタ P001
(この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。)
- 接続するときは、イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。
- テレビ電話をかけるときはFOMA端末のボタンを操作してください。
- イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したままかばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン確認音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節（☞P.60）で設定されている音量で聞こえます。
- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末（本体）に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく働かないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全な場合は「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する<イヤホンマイク自動発信>

お買い上げ時 OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末（本体）電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～749から1件のみ登録することができます。
- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［イヤホンマイク自動発信］▶①［**ON**］

2 メモリ番号（3桁：**000～749**）を入力▶◉

イヤホンマイク自動発信が設定されます。

スイッチを使って音声電話をかける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続

2 待受画面▶スイッチを押す（2秒以上）

イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に登録されている電話番号に自動的に発信します。

- イヤホンマイク自動発信で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に発信します。1件目に電話番号が登録されていないときは2件目に、2件目にも登録されていないときは3件目の電話番号に発信します。

3 通話が終わったら▶スイッチを押す（2秒以上）

電話が切れます。

- FOMA端末のボタンで電話を切るとき：⊖

お知らせ

- イヤホンマイク自動発信に設定したメモリ番号がシークレット登録されている場合は、シークレットモードを［ON］に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話をかけることができません。

スイッチを使って電話を受ける

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る

- 着信音は、着信音出力切替（☞P.109）で設定したところから流れます。

3 スイッチを押す（2秒以上）

電話がつながります。

- FOMA端末を閉じているときにテレビ電話がかかってきたときは、スイッチを押すと代替画像設定（☞P.79）で設定した代替画像が送信されます。FOMA端末を開いているときは、自分側のカメラ映像が送信されます。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時 OFF

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定できます。

- 音声電話やテレビ電話のときは、自動的に電話を受けるまでの時間（着信時間）を設定することもできます。
- オート着信設定を［ON］に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません。

1 **TOP**メニュー▶5（設定）▶［通話・通信機能設定］▶［着信時設定］▶［オート着信設定］▶①［**ON**］

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

2 着信時間（３桁：**000～120**秒）を入力 ▶ ⦿

- 電話を受けるまでの時間を入力せずに⦿を押すと、電話がかかってきてから約２秒後に自動的に電話を受けます。（お買い上げ時は、[２秒]に設定されています。）
- 着信時間を[000秒]に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否・許可などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
- オート着信設定と伝言メモ応答時間設定は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをオート着信設定と同時に設定しているときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じ時間に設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。
  オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。
- テレビ電話がかかってきたときは、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。そのあと、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます。

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態について：☞P.360～P.364「メニュー一覧」

1 **TOP**メニュー ▶ §（設定） ▶ [一般設定] ▶ [設定リセット] ▶ 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力 ▶ ⦿

リセット確認画面が表示されます。

2 [はい] ▶ ⦿

設定がリセットされます。

お知らせ

設定リセットを行うと

- 次のものはリセット（削除・変更）されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

日時設定（☞P.45）	ToDoリスト（☞P.320）
端末暗証番号（☞P.126）	画面メモ（☞P.178）
所有者情報（☞P.322）	送受信／未送信メール（☞P.218）
電話帳指定着信許可リスト（☞P.138）	署名の登録内容（☞P.224）
電話帳指定着信拒否リスト（☞P.139）	ネットワークサービスの設定（☞P.332～P.343）
伝言メモなどの録音内容（☞P.67）	電話帳の登録内容（☞P.87、P.92）
データBOXのデータ（☞P.286、P.276、P.288）	miniSDメモリーカード内のデータ（☞P.284）
カメラで撮影した画像（☞P.286、P.288）	テキストメモ（☞P.327）
Bilingual（☞P.123）	ユーザ辞書（☞P.357）
アラーム（☞P.310）	ダウンロード辞書（☞P.357）
スケジュール（☞P.317）	

- ｉモードの設定のリセットについて：☞P.183
- メールの設定のリセットについて：☞P.226
- 設定リセットを行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップ設定が[ON]の場合はｉチャネルテロップが表示されます。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 端末暗証番号はお買い上げ時の番号[0000]に戻ります。
- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話／テレビ電話の着信やメールの受信、アラームなどは動作しません。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、一括削除できないことがあります。
- データ一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- お買い上げ時に登録されているデータBOXのメロディのプリインストールフォルダ内のメロディ、マイピクチャのプリインストールフォルダ内の静止画、GIFアニメーション、Flash画像は削除されません。ただし、ｉアプリ、キャラ電、ｉモーション、デコメール用画像は削除されます。お買い上げ時の状態について：☞P.360～P.364「メニュー一覧」

次ページへ続く ▶▶

削除されるデータ	電話帳、データBOX内の静止画・動画・メロディ・キャラ電、ｉアプリ、メール、メッセージR／F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、ToDoリスト、アラーム設定、着信履歴、リダイヤル、メール受信履歴、メール送信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、ブックリーダーのしおり、フォルダ※、チャットメール、SMS（ショートメッセージ）、ｉアプリメールのデータ、メールテンプレート、伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール（登録・変更した祝日を含む）、ラストURL
削除されないデータ（お買い上げ時の状態に戻るデータ）	各種設定リセット（☞P.329）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。 ●待受画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、TOPメニューのアイコン、ショートカットメニュー、通話時間、画面カスタマイズ設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報（ご契約の電話番号以外）、メールメンバー、URL入力、プレフィックス設定、ｉアプリの履歴表示、データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディの各種動作設定、アクティブマーカー、メール設定、ｉモード設定、ｉアプリ設定

※お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［セキュリティ］▶［データ一括削除］▶［ユーザデータ削除］

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力◉▶［はい］▶◉
- ［20分程度かかる事がありますがよろしいですか？］と表示されます。

3 ［はい］▶◉

［削除後再起動しますがよろしいですか？］と表示されます。

4 ［はい］▶◉

データ削除完了後にFOMA端末が再起動します。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、ｉモーション、デコメール用画像は、ｉMenu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。（☞P.178、P.180、P.191、P.239）

お知らせ

- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- 削除するデータが多い場合は、データ一括削除に時間がかかる場合があります。
- データ一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- ユーザデータ削除を行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップ設定が［ON］の場合はｉチャネルテロップが表示されます。

シークレットデータをまとめて削除する<シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュール、ToDoリストにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。
- シークレットモードを［ON］または［OFF］どちらに設定していても、削除できます。

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［セキュリティ］▶［データ一括削除］▶［シークレットデータ削除］

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶◉▶［はい］▶◉

シークレット登録したデータが一括削除されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法を説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなネットワークサービスを利用できます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	ページ
留守番電話サービス	要	有料	P.332
キャッチホン	要	有料	P.334
転送でんわサービス	要	無料	P.335
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.337
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.46
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	P.62
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.63
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.338
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.339
英語ガイダンス	不要	無料	P.340
マルチナンバー	要	有料	P.342

※「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

- お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法を説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、圏外のときは操作できません。(公共モードは、圏外でも設定できます。)
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます。(☞P.343)

留守番電話サービス

留守番電話サービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。音声電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えします。

お知らせ

- 留守番電話サービスを[開始]に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます:☞P.332)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を[0秒]に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを[開始]に設定しているときに901iSシリーズ以降のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合、設定した呼出時間が経過すると、相手には[音声電話でおかけ直しください]と表示され、電話が切れます。901iSシリーズより前のテレビ電話対応機種からテレビ電話がかかってきた場合は、[接続できませんでした]と表示され、電話が切れます。設定した呼出時間内に応答すると、そのまま通話できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1 留守番電話サービスを開始する。
STEP 2 お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3 音声電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4 相手が用件を伝言メッセージに録音する。
STEP 5 伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを開始／停止する<留守番電話サービス開始／留守番電話サービス停止>

留守番電話サービスを開始する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[留守番電話サービス開始]

2 開始方法を選択

留守番電話サービスを開始	①▶[はい]▶⦿
呼出時間を設定してからサービスを開始	②▶呼出秒数(000～120秒)を入力▶⦿▶[はい]▶⦿

留守番電話サービスが開始され、メッセージが表示されます。

- 呼出時間は、待受画面▶⦿▶④▶①▶④でも設定できます。

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

留守番電話サービスを停止する

TOPメニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[留守番サービス停止]▶[はい]▶◉

留守番電話サービスが停止され、メッセージが表示されます。

伝言メッセージを聞く<留守番メッセージ再生>

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[留守番メッセージ再生]▶[はい]▶◉

2 音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージを再生

お知らせ

- 待受画面に[📼 留守録音あり○件]が表示されているときに◉を押すと、「留守番メッセージ再生しますか？」が表示されます。「はい」を選択して、◉を押すとメッセージを再生できます。ただし、待受画面にｉアプリを設定しているときは、Ⓒを押すと表示が消えます。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する<留守番サービス設定>

音声ガイダンスに従って留守番電話サービスを設定できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[留守番サービス設定]▶[はい]▶◉

2 音声ガイダンスの指示に従って▶⑨▶設定

不在案内変更	①
応答メッセージまたは名前のアナウンスの確認・変更	②
発信者番号案内の確認・変更	③

新しい伝言メッセージがあるか確認する<メッセージ問合せ>

留守番電話サービスセンターに、伝言メッセージが入っているかどうかを問い合わせます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[メッセージ問合せ]

問い合わせが完了すると、メッセージが表示されます。

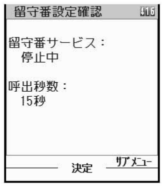
- 伝言メッセージが入っていると、待受画面に[📼 留守録音あり ○件]と表示されます。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する<留守番設定確認>

留守番電話サービスの設定を確認してから、開始、停止、呼出時間を変更できます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[留守番設定確認]

現在の設定内容が表示されます。



2 ◎▶機能を選択

留守番電話サービスを開始	①▶①▶[はい]▶◉
呼出時間を設定してから留守番電話サービスを開始	①▶②▶呼出秒数(000〜120秒)を入力▶◉▶[はい]▶◉
留守番電話サービスを停止	②▶[はい]▶◉
呼出時間を変更	③▶呼出秒数(000〜120秒)を入力▶◉

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

新しい伝言メッセージが届いたときに、着信音でお知らせできます。

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[**NW**サービス]▶[留守番電話]▶[件数お知らせ設定]▶[件数増加鳴動設定]▶①[**ON**]

次ページへ続く▶▶

件数増加鳴動が設定されます。
● 設定を解除するとき：②[OFF]

伝言メッセージマークを消去する
＜表示消去＞

伝言メッセージが届いたことを示す[留守録音あり○件]を消去できます。

1 TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[件数お知らせ設定]▶[表示消去]▶[はい]▶◉
[留守録音あり○件]が消去されます。

お知らせ
● 伝言メッセージが留守番電話センターに残っているとき、[留守録音あり○件]を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行ったり、新しい伝言メッセージが録音されると、再び表示されます。

着信通知機能を利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

着信通知を開始する

1 TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知開始]

2 発信者番号非通知の着信を通知するかどうかを選択

発信者番号非通知の着信を通知	[はい]▶◉▶[はい]▶◉
発信者番号非通知の着信を通知しない	[いいえ]▶◉▶[はい]▶◉

着信通知の開始画面で[はい]を選択すると、着信通知が開始され、メッセージが表示されます。

着信通知を停止する

TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知停止]▶[はい]▶◉
着信通知が停止され、メッセージが表示されます。

着信通知の設定を確認する

TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[留守番電話]▶[着信通知]▶[着信通知開始設定確認]
現在の設定内容が表示されます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。現在通話中の相手との通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。
● 圏外のときは、キャッチホンの設定はできません。

お知らせ
● 通話中のテレビ電話を保留にして、かかってきた音声電話やテレビ電話に出る、またはかけることはできません。
● 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出る、またはかけることはできません。

キャッチホンを開始／停止する
＜キャッチホンサービス開始／キャッチホンサービス停止＞

キャッチホンを開始する

TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス開始]▶[はい]▶◉
キャッチホンを開始する旨のメッセージが表示されます。

キャッチホンを停止する

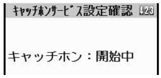
TOPメニュー▶§(設定)▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス停止]▶[はい]▶◉
キャッチホンが停止され、メッセージが表示されます。

お知らせ
● キャッチホンを使用するときは、着信動作選択を[通常着信]に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを[開始]に設定しても、音声電話の通話中にかかってきた音声電話に応答できません。
● キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

キャッチホンの設定を確認する

TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[キャッチホン]▶[キャッチホンサービス設定確認]

現在の設定内容が表示されます。



開始中の場合

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら▶ⓣ

最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。



2 新しくかかってきた方との通話が終わったら▶ⓣ

最初の方との通話に切り替わります。

- ⓣを押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。
- 保留中の音声電話を終わらせるとき：◎▶③[保留呼切断]

お知らせ

- テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってきても通話中着信音は鳴らず、電話に出ることができません。テレビ電話終了後、待受画面に戻ると[着信あり]と表示されます。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら▶⊖

新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 ⓣ

新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする

- 電話帳、着信履歴、リダイヤルを利用してダイヤルすることもできます。

2 ⓣ

新しくかけた相手と通話できます。
最初の方との通話は自動的に保留されます。

- 保留中の相手がいるとき、ⓣを押して通話する相手を切り替えることができます。



3 新しくかけた相手との通話が終わったら▶⊖

新しくかけた相手との通話が終了します。

- ⓣを押すと、最初の方と通話できます。

転送でんわサービス

転送でんわサービスを利用する

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに、FOMA端末にかかってきた音声電話やテレビ電話を、一般の電話機や携帯電話、テレビ電話など、あらかじめ登録しておいた転送先に転送できます。

お知らせ

- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを[開始]に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます：☞P.336)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を[0秒]に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを[開始]に設定しているときは、コレクトコール(料金着信払通話)での着信はできません。
- 音声電話やテレビ電話の着信中に◎▶②(テレビ電話のとき：③)[着信転送]を押して手動で転送できます。

次ページへ続く

お知らせ

- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを［開始］に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このような場合は、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に電話がかかる。
STEP 4　電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する<転送サービス開始／転送サービス停止>

転送でんわサービスを開始する

1 TOPメニュー▶$(設定)▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス開始］▶⦿

2 ③［転送先電話番号入力］▶転送先電話番号を入力

直接入力する	①▶電話番号を入力▶⦿
電話帳から選択する	②▶名前を選択▶⦿（2回）

3 ②［呼出秒数設定］▶呼出秒数（3桁：000～120秒）を入力▶⦿

4 ①［転送サービス開始］▶［はい］▶⦿

転送サービスが開始され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話できます。

転送でんわサービスを停止する

TOPメニュー▶$(設定)▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス停止］▶［はい］▶⦿

転送サービスが停止され、メッセージが表示されます。

お知らせ

- ［転送サービス停止］とは、転送でんわサービスの契約そのものを解約するものではありません。

通話中にかかってきた電話を転送先へ転送する

通話中（ｉモード待機中）に別の電話がかかってきたときも、その電話を登録されている転送先へ転送できます。

通話中着信音が鳴っている間に▶◎▶②［着信転送］

かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

着信音が鳴っている間に▶◎▶②［着信転送］

かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

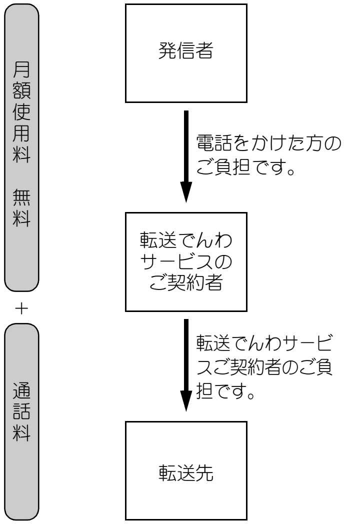
転送ガイダンス有・無を設定する場合

待受画面▶①④②⑨▶ⓘ

- 音声ガイダンスに従って設定してください。

転送でんわサービスの料金

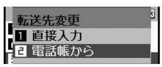
■ 通話料金



※転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

転送先を変更する＜転送先変更＞

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送先変更］▶入力方法を選択▶転送先電話番号を修正



直接入力する	①▶電話番号を入力▶◉
電話帳から選択する	②▶名前を選択▶◉（2回）

2 転送でんわサービスを開始するかどうかを選択

転送先電話番号が変更されます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する ＜転送先通話中時設定＞

● 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（月額使用料：有料）のお申し込みが必要です。

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送先通話中時設定］▶［はい］▶◉

転送先通話時留守番サービスが設定され、メッセージが表示されます。

お知らせ

● テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを［開始］に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、相手には話中音が流れます。

転送サービス設定を確認する

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶［転送サービス設定確認］

現在の設定内容が表示されます。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話が着信しないように登録できます。最大30件登録できます。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する ＜迷惑電話着信拒否登録＞

1 TOPメニュー▶§（設定）▶［NWサービス］▶［迷惑電話ストップ］▶［迷惑電話着信拒否登録］▶［はい］▶◉

電話番号が登録され、メッセージが表示されます。

- 最後に着信応答した電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されます。
- すでに30件登録されているときは、［限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？］と表示されます。
上書き登録するとき：［はい］▶◉

電話番号を選択して着信拒否登録する<電話番号指定拒否登録>

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[電話番号指定拒否登録]

2 選択先を選択

着信履歴から選択	①▶電話番号を選択▶⦿▶[はい]▶⦿
リダイヤルから選択	②▶電話番号を選択▶⦿▶[はい]▶⦿
電話帳から選択	③▶電話番号を選択▶⦿▶[はい]▶⦿

電話番号が登録され、メッセージが表示されます。

- すでに30件登録されているときは、[限度数を超えました。最も古い登録を削除し、迷惑電話を登録しますが、よろしいですか？]と表示されます。
  上書き登録するとき：[はい]▶⦿

登録した電話番号をすべて削除する<迷惑電話全登録削除>

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[迷惑電話全登録削除]▶[はい]▶⦿

電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

最後に登録した電話番号1件のみを削除する

TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[迷惑電話1登録削除]▶[はい]▶⦿

電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

拒否登録した電話番号の件数を確認する<拒否登録件数確認>

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]▶[拒否登録件数確認]

現在の拒否登録件数が表示されます。

お知らせ

- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した1件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話を拒否登録できない場合があります。
- この機能によって着信しなかった場合、着信履歴に記憶されません。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が通知されない電話をガイダンスの案内により、「番号の通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないなどによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。

各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを[開始]に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始する
＜番号通知サービス開始＞

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[番号通知サービス開始]▶[はい]▶⊙**
番号通知お願いサービスが開始され、メッセージが表示されます。

番号通知お願いサービスを停止する
＜番号通知サービス停止＞

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[番号通知サービス停止]▶[はい]▶⊙**
番号通知お願いサービスが停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する
＜サービス設定確認＞

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]▶[サービス設定確認]**
現在の設定内容が表示されます。

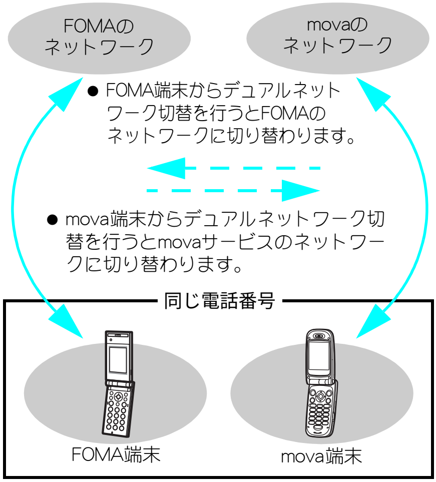
デュアルネットワークサービス

デュアルネットワークサービスを利用する

FOMAでご契約されたひとつの電話番号で、movaもご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

■デュアルネットワークサービスの切り替え

デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスエリア内で利用不可状態のFOMA端末またはmova端末から操作することにより行います。



※一部のサービスはご利用になれません。
※FOMAとmovaを同時にご利用いただくことはできません。

FOMA端末を使えるようにする

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[デュアルネットワーク]▶[デュアルネットワーク切替]**
ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 **ネットワーク暗証番号(４桁の数字)を入力▶⊙▶[はい]▶⊙**
入力したネットワーク暗証番号は、「¥」で表示されます。
ネットワーク切替が終了します。

お知らせ

● ネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、mova端末の画面の[圏]は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。

設定内容を確認する
＜デュアルネットワーク状態確認＞

1 **TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[デュアルネットワーク]▶[デュアルネットワーク状態確認]**
現在の設定内容が表示されます。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

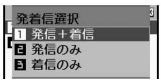
留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスの言語を設定できます。また、番号通知お願いサービスなど、お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンスの言語を設定することもできます。

- 圏外のときは、英語ガイダンスの設定はできません。

利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［その他のNWサービス］▶［英語ガイダンス］▶［ガイダンス設定］▶ガイダンスの種類を選択



発信時と着信時のガイダンスを設定	①
発信時のみのガイダンスを設定	②
着信時のみのガイダンスを設定	③

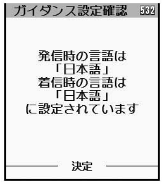
2 言語の種類を選択

発信時のガイダンス		着信時のガイダンス	
日本語	①	日本語	①
英語	②	日本語＋英語	②
		英語＋日本語	③

設定内容を確認する
＜ガイダンス設定確認＞

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［その他のNWサービス］▶［英語ガイダンス］▶［ガイダンス設定確認］

現在の設定内容が表示されます。



サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

お買い上げ時は、FOMAカードにはあらかじめ「ドコモ故障問合せ」と「ドコモ総合案内・受付」の電話番号が登録されています。メニュー操作で電話をかけることができます。

- 圏外のときは、電話をかけることはできません。

故障問い合わせ先へ電話をかける

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」（☞P.384～P.385）を参照してお調べください。

お知らせ

- 表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［その他のNWサービス］▶［サービスダイヤル］▶［ドコモ故障問合せ］▶［はい］▶⊙

総合案内・受付へ電話をかける

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［その他のNWサービス］▶［サービスダイヤル］▶［ドコモ総合案内・受付］▶［はい］▶⊙

着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

通話中に別の音声電話がかかってきたときの動作を設定できます。

- 着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を[開始]に設定してください。

選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの[開始]／[停止]に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの[開始]／[停止]に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが[開始]に設定されている場合、キャッチホンの動作となります。キャッチホンが[停止]に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ●留守番電話サービスや転送でんわサービスが[開始]に設定されているときは、その設定に従います。

- キャッチホンを使用するときは、[通常着信]に設定してください。
- 着信動作選択がいずれの設定の場合でも、通話中に着信があったことを着信履歴でお知らせします。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[着信動作選択]▶着信動作を選択

お知らせ

- テレビ電話中やテレビ電話を着信した場合、または64Kデータ通信の着信をした場合は、着信動作選択どおりに動作しません。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を[開始]に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに、着信動作選択(☞P.341)に従い着信させることができます。

- 圏外のときは、通話中着信設定はできません。

通話中着信設定を開始する＜通話中着信設定開始＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[通話中着信設定]▶[通話中着信設定開始]▶[はい]▶◉

通話中着信設定が開始され、メッセージが表示されます。

通話中着信設定を停止する＜通話中着信設定停止＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[通話中着信設定]▶[通話中着信設定停止]▶[はい]▶◉

通話中着信設定が停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[NWサービス]▶[通話中着信設定]▶[通話中着信設定確認]

現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

遠隔操作とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を一般電話、NTT公衆電話、ドコモの携帯電話などから行うことです。FOMAのサービスエリア外でも操作できます。遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を[開始]に設定してください。

- 圏外のときは、遠隔操作設定はできません。

遠隔操作を開始する＜遠隔操作開始＞

遠隔操作ができるように設定します。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[遠隔操作設定]▶[遠隔操作開始]▶[はい]▶◉

遠隔操作が開始され、メッセージが表示されます。

遠隔操作を停止する<遠隔操作停止>

遠隔操作ができないように設定します。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[遠隔操作設定]▶[遠隔操作停止]▶[はい]▶⦿

遠隔操作が停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する<遠隔操作設定確認>

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[遠隔操作設定]▶[遠隔操作設定確認]

現在の設定内容が表示されます。

公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

マルチナンバーを利用すると、電話番号を追加して「ビジネス用」、「プライベート用」など、電話番号を使い分けることができます。

- 基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用になれます。
- それぞれの番号に、名称と着信音(☞P.104)を設定できます。

お知らせ

- リダイヤルから発信した場合、以前発信したときの電話番号で発信します。
- 着信履歴から発信した場合、以前着信したときの電話番号で発信します。

マルチナンバーを登録する<電話番号設定>

お買い上げ時 着信音1

- 「基本契約番号」は電話番号の削除はできません。
- 登録した電話番号と名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]▶[電話番号設定]

2 登録する番号を選択

3 名称を入力▶⦿

- 最大全角7文字(半角14文字)まで入力できます。

4 電話番号を入力▶⦿

- 電話番号は26桁まで入力できます。「P」は入力できません。

5 着信音を選択

- 着信音の設定について:☞P.104

電話をかけるときに発信番号を選ぶ

発信時に、発信元にする電話番号を選択して電話をかけることができます。

1 待受画面▶電話番号を入力

2 ◎▶④[マルチナンバー選択]

3 使用する電話番号を選択

- 電話番号設定でマルチナンバーを登録していない場合は選択できません。マルチナンバー登録を行ってください。

4 ①

選択した電話番号から発信します。

お知らせ

- 着信履歴またはリダイヤルから電話をかけるときは、相手を選択し⦿を押し、◎▶⑤[マルチナンバー選択]を押し、操作3～4を行います。
- FOMAカードを抜いたり、差替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定(名前・番号・着信音など)が消去されることがあります。このような時は再度登録を行ってください。

使用する発信番号を設定する<通常発信番号設定>

電話をかけるときに使用する電話番号を設定します。すべての発信先に、設定した電話番号で電話をかけることができます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]▶[通常発信番号設定]

2 使用する番号を選択▶[はい]▶⦿

設定した番号で発信するようになります。

マルチナンバーの設定内容を確認する＜通常発信番号設定確認＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]▶[通常発信番号設定確認]
現在の設定内容が表示されます。

マルチナンバーを修正する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]▶[電話番号設定]

2 番号を選択▶①[修正]
- 修正方法は、登録時の操作と同様です。

マルチナンバーを削除する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]▶[電話番号設定]

2 番号を選択▶②[削除]

3 [はい]▶◉

追加サービス(USSD)

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを最大10件まで登録できます。
- 圏外のときは、追加サービスの設定はできません。
- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供される場合、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを登録する＜USSD登録＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[USSD登録]

2 ⦿で登録する番号を選択▶◎▶①[編集]▶サービス名を入力▶◉
- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

3 追加するサービスの特番／サービスコードを入力▶◉
新しいサービスが追加されます。

登録したサービスを利用する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[USSD登録]

2 サービスを選択

登録したサービスを削除する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[USSD登録]

2 ⦿でサービスを選択▶削除方法を選択

サービスを1件削除	◎▶②▶[はい]▶◉
すべてのサービスを削除	◎▶③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉

サービスが削除されます。

登録したサービスの受信表示を編集する＜応答メッセージ登録＞

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[応答メッセージ登録]

2 ⦿で受信表示を選択▶編集／消去方法を選択
新しい受信表示名が登録または変更されます。

受信表示を編集	◎▶①▶受信表示名を入力▶◉▶特番／サービスコードを入力▶◉ ●受信表示名は最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
受信表示を1件削除	◎▶②▶[はい]▶◉
すべての受信表示を削除	◎▶③▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶◉▶[はい]▶◉

▶MEMO◀

データ通信

データ通信について、詳細は添付のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧ください。「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります。)
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

※ この章では、Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea™、sigmarion® II、sigmarion® III と接続してデータ通信を行うことができます。musea™、sigmarion® II を使用する場合は、アップデートしてご利用ください。
  アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeup には対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます。（通信環境や電波などが込み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。）

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。（☞P.302）

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。

FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話とデータ転送する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどとデータ転送する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルを利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

データ通信用語集

APN(Access Point Name)
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例:mopera.net)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA(Infrared Data Association)
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC(Ir Mobile Communications)
携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX(Object Exchange)
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

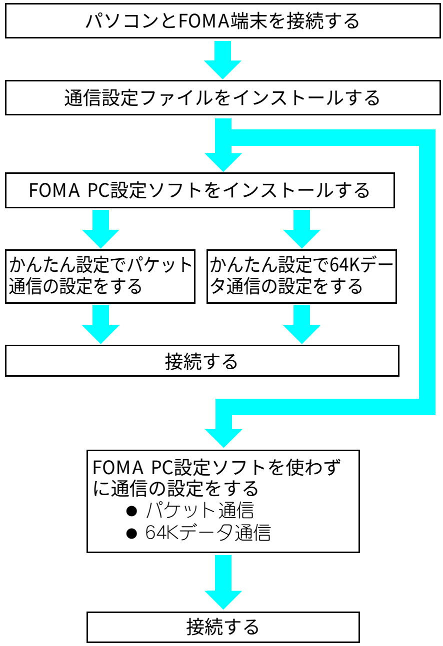
W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。



※FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応した「mopera U」(お申し込み必要)が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込が不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。
また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。(別途通信料がかかります。)詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版)
必要メモリ※2	Windows 98、Windows Me:32MB以上 Windows 2000 Professional:64MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1　USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。
※2　必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

FirstPass PCソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP(各日本語版) (Windows 98には対応していません。)
必要メモリ※	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional:32MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ● Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

※必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は添付のCD−ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

文字入力

文字入力

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字入力が必要な機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力変換方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられ、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。 各ボタンの文字の割り当てについて：☞P.365～P.366 （表示を逆戻りさせるとき：①）
2タッチ方式	ポケットベル※へ文字を送信するときのように、2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字（変換方法）について：☞P.367

- 文字入力変換方式の選択方法について：☞P.358
- それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります。（☞P.352、P.358）

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

- 全角文字の数字は、全角英数字入力モードで入力できます。
- 詳しくは：☞P.365～P.369

近似予測変換と連携予測変換について

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時は、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.358）
- 学習された変換候補をすべてリセットできます。（☞P.357）

お知らせ

- 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式

かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

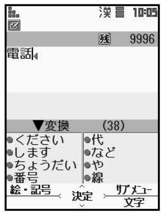
漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナ（全角）や記号などに変換します。

1 文字入力画面▶ダイヤルボタンを押してひらがなを入力



- 押す回数で文字が変わります。
- ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、Ⓞを押してカーソルを移動させる、または最初の文字を入力したあとで、同じボタンを押します（1秒以上）。
（例：「あい」　①▶Ⓞ▶①▶①または①▶①（1秒以上）▶①）
- カタカナや英数字を入力するときは、Ⓜ［文字］を押します。押すたびに文字の種類が切り替わります。

2 Ⓞで変換候補欄にカーソルを移動▶文字を選択▶⦿



- 選択をやめるとき：Ⓒ
文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。

次のリスト画面を表示	Ⓜ［次ページ］▶Ⓜ［次ページ］ ● リストの最後の候補にカーソルがあるとき：Ⓜ［次ページ］（1回）
前のリスト画面を表示	Ⓜ［前ページ］▶Ⓜ［前ページ］ ● リストの最初の候補にカーソルがあるとき：Ⓜ［前ページ］（1回）
目的の漢字に変換されないとき	● 文字入力画面にカーソルがあるときはⓄで変換の対象になる文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。 ● 選択候補画面にカーソルがあるときはⓂ［⇐文節］／Ⓜ［文節⇒］で文字の区切りを変えます。 ● ワンタッチ変換するとき：Ⓞ

関連操作
濁点（゛）を付ける
文字入力画面▶文字を入力▶⊛
半濁点（゜）を付ける
文字入力画面▶文字を入力▶⊛（２回）
小文字に変換する
文字入力画面▶文字を入力▶Ⓜ［大／小］
文末にスペースを入力する
文字入力画面▶文末でⓇ
入力を取り消し、元に戻す<UNDO機能>
文字入力画面▶文字を入力▶操作（削除、切り取り）確定▶Ⓒ
文字表示サイズを変える<文字サイズ設定>
1 文字入力画面▶◎▶［文字入力／辞書設定］▶②［文字サイズ設定］ **2** ①［大きい文字］／②［標準］／③［小さい文字］
操作ガイドを表示する<操作ガイド一覧>
文字入力画面▶◎▶［操作ガイド一覧］

お知らせ

濁点、半濁点について
- 半角カタカナの場合、⊛を１回押すと濁点（゛）、２回押すと半濁点（゜）、３回押すと長音（－）、４回押すと改行（↲）が追加されます。５回押すと再び濁点（゛）に戻ります。追加された文字は１文字として数えられます。
- 全角かなの場合、⊛を１回押すと濁点（゛）、２回押すと半濁点（゜）、３回押すと元の文字に戻ります。濁点が付かない文字の場合は、カーソルが右に移動して１文字分として濁点が追加されます。

小文字について
- 英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字になります。

スペース入力について
- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは１文字として数えられます。

入力の取り消し（UNDO機能）について
- Ⓒを11回以上押すと、［UNDO　これ以上元にもどせません］と表示され、10回前の画面に戻ります。メール本文入力中は１回のみ取り消しできます。
- 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。

文字サイズ設定について
- 文字サイズ設定できない文字入力画面もあります。
- ［大きい文字］は24ドット、［標準］は20ドット、［小さい文字］は12ドットです。
- ｉモードメール、チャットメール、SMSは文字サイズ設定により［大きい文字］、［標準］、［小さい文字］で表示されます。（☞P.223、P.230）
- 電話帳登録時の入力画面では、［大きい文字］、［標準］、［小さい文字］を選択できます。
- 文字の表示（太さ）も設定できます。（☞P.123）

１文字変換について

変換によって入力した漢字を再度入力するときは、先頭の１文字を入力するだけで漢字に変換できます。

入力したい漢字が見つからないとき<音訓変換>

漢字の音読みや訓読みを入力して１文字ずつ漢字を入力できます。

文字入力画面▶ひらがなを入力▶Ⓢ［音訓］▶漢字を選択▶⊙

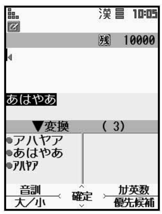
お知らせ
- 漢字候補の表示順序は、辞書の学習機能によって変わります。
- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

漢字変換用の文字を簡単に指定する<ワンタッチ変換>

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「おはよう」と入力する場合

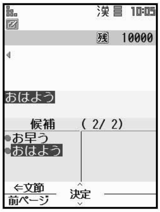
1 文字入力画面▶①▶⑥▶⑧▶①
- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを１回押したあと、濁点・半濁点を入力します。
（例：「勉強」の場合「⑥▶⊛▶⓪▶②▶⑧▶①」）



※2001年１月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く▶▶

2 変換：○



- ワンタッチ変換状態のとき、ⓜ[⇐文節]または◎[文節⇒]で、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときにⓒを押すと、変換前のひらがなに戻ります。この状態で○を押すと、通常変換の変換候補が表示されます。
- 電話帳登録のとき、ワンタッチ変換で名前を入力してもフリガナは自動的に入力されません。

3 文字を選択▶⦿

推測頭出し変換について

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」、「い」、「う」、「え」、「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00～10:59、11:00～16:59、17:00～22:59、23:00～4:59の時間帯で変わります。

ワンタッチ１文字学習について

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字（「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」）を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果（「お父さん」）が表示されます。

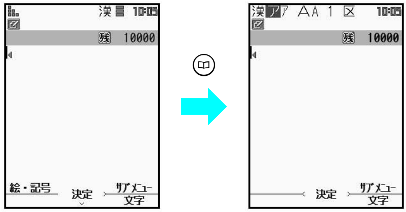
かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

入力モードの種類

- ■ 漢字・ひらがな
- ■ 全角カタカナ
- ■ 半角カタカナ
- ■ 全角英数字
- ■ 半角英数字
- ■ 半角数字
- ■ 区点コード

文字入力画面▶⊡[文字]



- ⊡[文字]を押すたびに、[ア]（全角カタカナ）→[ｱ]（半角カタカナ）→[A]（全角英数字）→[A]（半角英数字）→[１]（半角数字）→[区]（区点コード）→[漢]（漢字・ひらがな）の順に入力モードが切り替わります。
- ⊡[文字]を押したあとは、○を押しても同様に切り替えできます。○を押すと、逆の方向に切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面で[絵・記号]と表示されているときは、ⓜ[絵・記号]を押すと、絵文字入力モードや記号入力モードに切り替わります。（☞P.354）

文字入力を中止するとき

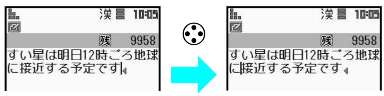
- 文字入力を中止し１つ前の画面に戻るには、ⓒを押します。すでに文字を入力しているときは、ⓒを押してすべての文字を削除したあと、ⓒを押します。文字の途中にカーソルがあるときは、ⓒを１秒以上押す操作を２回くり返したあと、ⓒを押します。

文字を修正する

文字を追加する

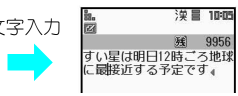
追加したい文字の左側にカーソルを移動▶追加する文字を入力

例：「接近」の前に「最」を追加する場合



追加したい位置にカーソルを移動

文字入力



カーソル位置に追加される

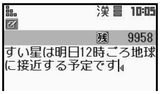
文字を削除する

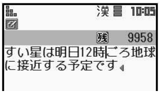
削除したい文字の左側にカーソルを移動▶ⓒ

カーソル右側の文字が消えます。

- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

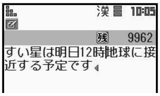
例:「ごろ」を削除する場合





削除したい位置に
カーソルを移動

Ⓒ2回



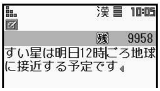
文字が削除される

- Ⓒを押す(1秒以上)と、カーソル位置に応じて文字をまとめて削除できます。
  - ■ カーソルの前後に文字があるときやカーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
  - ■ カーソルの前にだけ文字があるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

文字を変更する

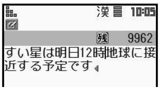
変更したい文字を削除▶文字を入力

例:「ごろ」を「近く」に変更する場合



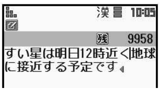
変更したい位置に
カーソルを移動

Ⓒ
2回



文字が削除される

文字入力



カーソル位置に
追加される

カタカナ(半角)を入力する

1 文字入力画面▶Ⓜ[文字]文字入力画面(数回)▶[ｱ]表示

2 ダイヤルボタンを押して半角カタカナを入力



- 次の文字を入力する、または◯/◯を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、◉で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させるまたは最初の文字入力したあとで、同じボタンを押します(1秒以上)。
(例:「アイ」①▶◯▶①▶①または①▶①(1秒以上)▶①)

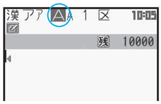
関連操作
かなをカタカナ(全角/半角)に変換する <カナ英数字変換>
文字入力画面▶ひらがなを入力▶◎[カナ英数]▶全角カタカナ/半角カタカナ▶◉

英数字を入力する

英字を入力する

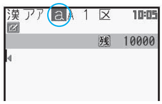
1 文字入力画面▶Ⓜ[文字](数回)▶[A]/[A]表示

- [A]を表示したときは全角英数字、[A]を表示したときは半角英数字が入力できます。
- 大文字⇔小文字を切り替えるとき:Ⓜ
文字を入力後、Ⓜを押すと、1文字ずつ変換することもできます。



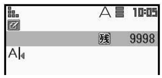
大文字

Ⓜ



小文字

2 ダイヤルボタンを押して英字を入力



- 次の文字を入力する、または◯/◯を押すと確定されます。
- ｉモードメールの本文入力時は、◉で確定されます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させる、または最初の文字を入力したあとで、同じボタンを押します(1秒以上)。
(例:「AB」、「ab」②▶◯▶②▶②または②▶②(1秒以上)▶②)
- 漢字モードで英単語の固有名詞(例「はうす」など)を入力し、変換候補から半角英字(例「House」、「house」など)を選択し、入力することもできます。
- 漢字モードでひらがな(例「ひとみ」)を入力し、変換候補から半角ローマ字(例「hitomi」など)を選択し、入力することもできます。

数字を入力する

1 文字入力画面▶Ⓜ[文字](数回)▶[1]表示

2 ダイヤルボタンを押して数字を入力



- すぐに確定されます。
- 全角数字は、全角英数字モード(大文字/小文字)で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
(例:「1」の場合「①(5回)、「2」の場合「②(7回)(大文字の場合)/②(4回)(小文字の場合)」)

次ページへ続く

●漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数変換候補から数字を選択し、入力することもできます。

関連操作
かなを英字／数字に変換する ＜カナ英数字変換＞
文字入力画面▶ひらがなを入力▶ⓒ［カナ英数］▶英字／数字を選択▶◉

お知らせ

- 変換候補には、ボタンに割り当てられている数字や英字が表示されます。
例：「あした」（①▶③▶③▶④）と入力▶ⓒ［カナ英数］を押すと、「アシタ（全角カタカナ）」、「ｱｼﾀ（半角カタカナ）」、「１３４（全角数字）」、「134（半角数字）」、「．ＥＧ（全角英字の大文字）」、「.EG（半角英字の大文字）」、「．ｅｇ（全角英字の小文字）」、「.eg（半角英字の小文字）」、「１３３４（全角数字）」、「1334（半角数字）」が表示されます。

バーコードリーダーや文字読み取りを利用して入力する

ｉモード接続中に、JANコードやQRコードを読み取ったり、文字読み取り機能で読み取ったデータを文字入力画面で入力できます。
（☞P.171「ｉモードサイトなどの項目選択や文字入力」）

1 ｉモードサイトなどの文字入力画面▶ⓒ▶⑥▶③［バーコードリーダー］

2 データを読み取る

- バーコードリーダーの利用方法について：☞P.157

定型文を利用する＜定型文挿入＞

あらかじめ登録されている固定定型文（☞P.369）や、自分で登録した自作定型文（☞P.355）、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面▶ⓒ▶［定型文挿入］

- 文字入力画面▶ⓜ（１秒以上）
定型文挿入画面が表示されます。
- すべての定型文を表示するとき：ⓘ［切替］



定型文挿入画面

2 定型文の分類を選択▶定型文を選択▶定型文を確認▶◉

メールアドレスなどを簡単に入力する

文字入力画面▶ⓜ（１秒以上）▶定型文を選択

記号を入力する＜記号入力＞

1 文字入力画面▶ⓘ［絵・記号］▶ⓘ［記号］

次のリスト画面を表示	ⓜ［次ページ］▶ⓜ［次ページ］ ●リストの最後の記号にカーソルがあるとき：ⓜ［次ページ］（１回）
前のリスト画面を表示	ⓜ［前ページ］▶ⓜ［前ページ］ ●リストの最初の記号にカーソルがあるとき：ⓜ［前ページ］（１回）

2 記号を選択▶◉

- 連続して入力できます。

全角記号と半角記号を切り替える	ⓒ
元の入力モードに戻る	Ⓒ

お知らせ

- 入力できる記号・特殊文字について：☞P.367「記号・特殊文字一覧」
- 一覧の１行目に表示される記号は、最近使用された10個の記号が表示されます。
- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

絵文字を入力する＜絵文字入力＞

1 文字入力画面▶ⓘ［絵・記号］



次のリスト画面を表示	ⓜ［次ページ］▶ⓜ［次ページ］ ●リストの最後の絵文字にカーソルがあるとき：ⓜ［次ページ］（１回）
前のリスト画面を表示	ⓜ［前ページ］▶ⓜ［前ページ］ ●リストの最初の絵文字にカーソルがあるとき：ⓜ［前ページ］（１回）

2 絵文字を選択▶◉

絵文字１と絵文字２を切り替える	ⓒ
元の入力モードに戻る	Ⓒ

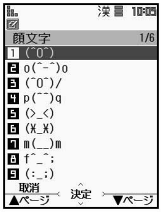
お知らせ

- 絵文字の「読み」を入力して絵文字に変換することもできます。（☞P.368「絵文字一覧」）
- 一覧の１行目に表示される絵文字は、最近使用された10個の絵文字が表示されます。
- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

顔文字を入力する＜顔文字＞

顔文字一覧表（☞P.369）

1 文字入力画面 ▶ ◎ ▶［顔文字］



次のリスト画面を表示	ⓜ［▼ページ］▶ⓜ［▼ページ］ ● リストの最後の行にカーソルがあるとき：ⓜ［▼ページ］（１回）
前のリスト画面を表示	ⓜ［▲ページ］▶ⓜ［▲ページ］ ● リストの最初の行にカーソルがあるとき：ⓜ［▲ページ］（１回）

2 顔文字を選択

お知らせ

- ひらがなで「かお」と入力して○を押すと、漢字の候補と共に顔文字も表示されます。

定型文登録

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。

- あらかじめ登録されている定型文について：☞P.369
- 定型文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

1 TOPメニュー ▶ ⑤（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［定型文編集］▶ ⑥［自作定型文］

- 登録されている定型文を修正するとき：①［あいさつ］〜⑤［インターネット］

2 登録する番号を選択 ▶ ⑧［編集］

3 定型文を入力 ▶ ◉

定型文をお買い上げ時の状態に戻す＜リセット＞

修正、または登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

１件リセット	指定した定型文を１件ずつリセットします。
フォルダ内リセット	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセット	すべての定型文をリセットします。

関連操作

１件リセット／フォルダ内リセットを行う＜１件リセット／フォルダ内リセット＞

1 TOPメニュー ▶ ⑤（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［定型文編集］▶ 分類を選択 ▶ ◌で定型文を選択 ▶ ◎
- 編集していない定型文のフォルダにはサブメニューが表示されません。

2 ①［１件リセット］
- フォルダ内の定型文をすべてリセットするとき：②

3 ［はい］▶ ◉
- リセットしないとき：［いいえ］▶ ◉

すべての定型文をリセットする＜全件リセット＞

1 TOPメニュー ▶ ⑤（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［定型文編集］▶ ◎［リセット］

2 ［はい］▶ ◉
- リセットしないとき：［いいえ］▶ ◉

文字コピー

文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。

- 同じ画面へも、他の文字入力画面へも貼り付けできます。（サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません。）
- 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。
- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角5000文字（半角10000文字）までです。
- コピー／切り取りして文字を記憶できるのは１件のみです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

文字をコピーする／切り取る

例：テキストメモの文字をコピーまたは切り取る場合

1 文字入力画面 ▶ コピー／切り取る最初の文字にカーソルを移動

次ページへ続く ▶▶

2 コピー／切り取りを選択

コピー	◎▶①▶◉[開始]
切り取る	㊞(1秒以上) ●メニューで操作するとき:◎▶②▶◉[開始]

3 コピー／切り取る最後の文字にカーソルを移動▶◉

文字列が選択され、反転表示されます。

- ◯(1秒以上)を押すと、操作1で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。
- ◯(1秒以上)を押すと、操作1で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。
- ◎[全選択]、✉[文頭]、ⓘ[文末]を押して範囲を選択することもできます。

メールの本文などをコピーする

例:受信メールの本文をコピーする場合

1 受信したメールを表示▶◎▶⑤▶②[コピー]

- 送信メールのとき:送信メール表示画面▶◎▶⑥▶②[コピー]
- 未送信メールのとき:メール作成画面▶[本文]▶◉▶◎▶③[コピー]▶操作3に進む

2 コピーする項目を選択

- アドレスを選択したときは、アドレスがコピーされ終了します。

3 コピーする最初の文字にカーソルを移動▶◉[開始]

4 コピーする最後の文字にカーソルを移動▶◉[コピー]

文字を貼り付ける

例:新規作成メールの本文に文字を貼り付ける場合

1 貼り付け先の文字入力画面▶貼り付ける位置にカーソルを移動▶㊍(1秒以上)

- メニューで操作するとき:◎▶⑤[貼り付け]▶貼り付ける位置にカーソルを移動▶◉[貼付]
- 記憶されている文字列が、カーソルの位置に貼り付けられます。
- 文字を貼り付ける前の状態に戻るとき:ⓒ

お知らせ

- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。

お知らせ

- コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りする、または電源を切るまで記憶しています。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。
区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
区点コードおよび区点でコード入力できる文字について:☞P.372～P.375「区点コード一覧」

1 文字入力画面▶ⓘ[文字](数回)▶[区]表示

2 4桁の区点コードを入力

4桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。

- 区点コードを押し間違えたときは、4桁目を押す前にⓒを押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

単語登録(ユーザ辞書)

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語(全角ひらがな最大8文字)を付けて、最大100語まで登録できます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、簡単に入力できます。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。

単語を新規登録する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]

- 単語と見出し語のリストを切り替えるとき:⑧[切替]

2 [新規登録]

3 単語を入力▶◉

- 最大全角15文字(半角30文字)まで入力できます。
- 改行できません。

4 見出し語を入力▶◉

- ひらがなで入力します。(最大8文字)

登録した単語を修正する

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]▶単語を選択

2 単語を修正▶⦿

3 見出し語を修正▶⦿▶［新規登録］／［上書登録］

- 修正しないとき：そのまま⦿▶登録方法を選択
- 同じ見出し語がすでに５件登録されている場合は、新規登録できません。

登録した単語を削除する

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［ユーザ辞書］▶ⓞで単語を選択▶◎▶①［削除］

2 ［はい］▶⦿

変換学習クリア

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測変換機能などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。

- 絵文字や記号の変換候補もリセットされます。

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［変換学習クリア］▶端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力▶⦿

2 ［はい］▶⦿

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

お買い上げ時　辞書登録なし

FOMA端末には、ｉモードサイトなどから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大10件まで登録できます。このうち５件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換できます。
- 辞書のダウンロード方法について：☞P.180

使用辞書を設定／解除する

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［ダウンロード辞書］

登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、［■］が表示されます。

2 ⓞで辞書を選択▶使用辞書を設定／解除

使用辞書を設定／解除	◎▶① ●すでに５件使用を設定されているときは、［使用辞書登録は最大５つまでです］と表示されます。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。 ●すでに設定されている使用辞書を選択したときは、解除されます。
辞書の情報を確認	◎▶④ ●辞書の情報（タイトル、作者、バージョン、ダウンロード日時など）が表示されます。 Ⓒ／ⓘ［戻る］を押すと、元の画面に戻ります。

- 設定／解除するとき：文字入力画面▶◎▶［文字入力／辞書設定］▶③▶⑤［ダウンロード辞書切替］

辞書の内容を確認する

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［ダウンロード辞書］▶ⓞで辞書を選択▶⦿［表示］

- 単語の詳細情報を表示するとき：⦿［詳細］
- 確認を終了するとき：Ⓒ
- 見出し語の一覧を確認するとき：ⓘ［切替］
  ⓘ［切替］を押すたびに、「単語の一覧」▶「見出し語の一覧」の順に切り替わります。

辞書を削除する

登録されている辞書を１件ずつ、またはすべての辞書をまとめて削除できます。

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［ダウンロード辞書］▶ⓞで辞書を選択▶◎▶⑤［削除］▶削除方法を選択▶［はい］▶⦿

お知らせ

- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換する<ダウンロード辞書変換>

1 TOPメニュー▶設定（設定）▶［一般設定］▶［文字入力設定］▶［ユーザ辞書］▶◎▶②［ダウンロード辞書変換］

次ページへ続く▶▶

2 保存先を選択

- 登録されている辞書に上書きするとき：[はい]▶⦿
- 使用辞書登録確認画面が表示されたときは、[はい]▶⦿を押すと、使用辞書に設定されます。すでに5件使用辞書に設定されているときは表示されません。

関連操作
ダウンロード辞書変換した辞書の内容を編集する＜編集＞
1 TOPメニュー▶⑤(設定)▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]▶辞書を選択▶◎▶⑥[編集] **2** 単語を選択▶⦿ ● 新規登録するとき：①[新規登録] **3** 単語を編集▶⦿▶見出し語を編集▶⦿▶◎[登録]
ダウンロード辞書変換した辞書のタイトルを編集する＜タイトル編集＞
1 TOPメニュー▶⑤(設定)▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]▶辞書を選択▶◎▶③[タイトル編集]▶タイトルを編集▶⦿

お知らせ

- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

近似予測変換／連携予測変換

使用する変換方法を選ぶ

お買い上げ時　近似予測変換辞書：ON（使用する）、連携予測辞書：ON（使用する）

近似予測変換（☞P.350）および連携予測変換（☞P.350）を使用するかどうかを設定できます。

1 文字入力画面▶◎▶[文字入力／辞書設定]▶③▶②[近似予測変換辞書]▶①[**ON**]

- 連携予測変換を選択するとき：◎▶[文字入力／辞書設定]▶③▶③[連携予測辞書]
- 設定を解除するとき：②[OFF]

変換候補の優先度を設定する＜優先候補設定＞

お買い上げ時　高い

英語、姓名、地名、固有名詞、顔文字については、変換候補として表示されるときの優先順位を高くすることができます。

1 文字入力画面▶◎▶[文字入力／辞書設定]▶③▶①[優先候補設定]

2 項目を選択▶⦿▶⑧[完了]

☑は高い、☐は低い設定の状態です。

顔文字を変換候補に表示する＜顔文字連携＞

お買い上げ時　ON

1 文字入力画面▶◎▶[文字入力／辞書設定]▶③▶④[顔文字連携]▶①[**ON**]

- 設定を解除するとき：②[OFF]

2タッチ方式

2タッチ方式で文字を入力する

2タッチ方式に設定する＜変換方式＞

ボタン2つでひらがなが入力できる2タッチ方式に切り替えできます。2タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。

1 文字入力画面▶◎▶[文字入力／辞書設定]▶①▶②[2タッチ方式]

- 2タッチ方式は、通常の入力方式[かな方式]にするまで継続します。
- 2タッチ方式でも、かな方式と同様に定型文挿入を利用できます。
- 2タッチ方式では、カナ英数変換はできません。
- かな方式に戻すとき：文字入力画面▶◎▶[文字入力／辞書設定]▶①▶①[かな方式]

入力モードを切り替える

1 文字入力画面▶ⓜ[文字]

- ⓜ[文字]を押すたびに、[半]（半角大文字）→[区]（区点コード）→[全]（全角大文字）の順に入力モードが切り替わります。
- ⓜ[文字]▶Ⓒでも切り替えできます。（Ⓒ：逆の方向に切り替わります。）

お知らせ

- 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。また、文字を入力したあと、ⓜ[大／小]を押すと、1文字ずつ変換することもできます。（☞P.353）

文字を入力する

1 文字入力画面▶2桁の数字を入力

例：②▶②→[き]

- 文字の割り当てについて：☞P.367

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

設定メニュー

音

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1音量選択	着信音量選択	⦿①①①	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量５☆	P.106
	メール着信音量選択	⦿①①②	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量５☆	P.106
	チャットメール着信音量選択	⦿①①③	音量５☆	P.106
	各種設定音量選択	⦿①①④	ボタン確認音・オープン音・クローズ音・充電開始音・充電完了音・タイマー音：音量５☆	P.107
2音選択	着信音選択	⦿①②①	音声電話着信音：着信音１／テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う☆	P.104
	メール着信音選択	⦿①②②	メール着信音：着信音２／メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う☆	P.104
	チャットメール着信音選択	⦿①②③	着信音２☆	P.104
	各種設定音選択	⦿①②④	オープン音：OP（サイレント）／クローズ音：CL（サイレント）／シャッター音：標準音／タイマー音：標準音☆	P.105 P.155
3バイブレータ設定	着信バイブレータ	⦿①③①	OFF☆	P.107
	メール着信バイブレータ	⦿①③②	OFF☆	P.107
4マナーモード設定	通常マナーモード	⦿①④①①	−	P.109
	サイレントマナーモード	⦿①④①②	−	P.109
	オリジナルマナーモード	⦿①④①③	伝言メモ・バイブレータ・マイク感度アップ：ON／アラーム音・ボタン確認音・電池残量警告音・マナー再生：OFF／着信音・メール着信音：サイレント☆	P.110
5着信音出力切替	−	⦿①⑤	イヤホン＋スピーカ☆	P.109
6メール着信鳴動時間	−	⦿①⑥	ON／３秒☆	P.108
7呼出動作開始時間設定	−	⦿①⑦	OFF☆	P.140
8保留・応答保留音	応答保留音	⦿①⑧①	応答保留音１☆	P.61
	保留音	⦿①⑧②	保留メロディ１☆	P.61

● お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.329）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

表示

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1待受画面設定	待受画面設定	⦿②①①	待受画面11☆	P.111
	待受時計表示設定	⦿②①②	OFF☆	P.113
	カレンダー表示設定	⦿②①③	OFF☆	P.112
	iチャネルテロップ設定	⦿②①④	ON（テロップ文字サイズ：大（標準）／テロップ色：パターン１（文字色：緑、背景色：黒）／テロップ速度：標準）☆	P.113
2文字表示設定	−	⦿②②	極太字☆	P.123
3テーマカラー設定	−	⦿②③	Mstyle☆	P.118

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
4画面カスタマイズ設定	発着信画面設定	●②④①	ピクチャーコール設定:ON/電話発信画面:電話発信1/音声電話着信画面・テレビ電話着信画面・公衆電話着信画面・非通知設定着信画面・通知不可能着信画面:電話着信1☆	P.114
	メール送受信画面設定	●②④②	メール送信画面設定:メール送信1/メール受信画面設定:メール受信1☆	P.114
	サブメニュー画像設定	●②④③	上画像:メニュー枠1(上)/下画像:メニュー枠1(下)☆	P.117
	お知らせウィンドウアニメ	●②④④	お知らせアニメ1☆	P.118
	マーク表示設定	●②④⑤	電波マーク:電界強度1/電池マーク:電池残量1/小時計マーク:時計表示1☆	P.118
5ランプ設定	着信ランプ	●②⑤①	音声電話:ランプ色設定-ブルー・ランプパターン設定-ハートビート/テレビ電話:ランプ色設定-ブルー・ランプパターン設定-ノーティス☆	P.122
	メール受信ランプ	●②⑤②	ランプ色設定:イエロー/ランプパターン設定:ブレス☆	P.121
	着信/メールお知らせランプ	●②⑤③	不在着信お知らせ・未読メールお知らせ:ON☆	P.64
	通話中ランプ	●②⑤④	OFF☆	P.122
	充電完了ランプ	●②⑤⑤	OFF☆	P.122
	音楽再生中ランプ	●②⑤⑥	ON(オートセレクト)(ランプ色設定:パープル/ランプパターン設定:ライトブレス)☆	P.123
	アラーム/タイマーランプ	●②⑤⑦	ON(ランプ色設定:ホワイト/ランプパターン設定:モールス)☆	P.122
6省電力設定	通常モード	●②⑥①	−	P.115
	節約モード	●②⑥②	−	P.115
	ユーザ設定	●②⑥③	照明時間設定:(通常時:15秒/充電時・iモード時:通常時と同じ/テレビ電話時:常にON)/画面表示時間設定:2分/明るさ調整:明るさ12/ボタン照明設定:点灯☆	P.115

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.329)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

一般設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1確認	所有者情報	●③①①	−	P.322
	メモリ確認	●③①②	−	P.289
	電池残量確認	●③①③	−	P.43
	設定状況確認	●③①④	−	P.302
2文字入力設定	ユーザ辞書	●③②①	−	P.356
	ダウンロード辞書	●③②②	−	P.357
	定型文編集	●③②③	※1	P.355
	変換学習クリア	●③②④	−	P.357
3自動電源ON/OFF	自動電源ON	●③③①	OFF☆	P.306
	自動電源OFF	●③③②	OFF☆	P.307
	アラーム連動電源ON	●③③③	OFF☆	P.306
4日時設定	−	●③④	※2	P.45
5Bilingual	−	●③⑤	日本語	P.123
6USBモード設定	−	●③⑥	通信モード☆	P.284
7スキャン機能	パターンデータ更新	●③⑦①	−	P.399
	自動更新設定	●③⑦②	−	P.400
	スキャン機能設定	●③⑦③	有効☆	P.399
	バージョン表示	●③⑦④	−	P.401
8ソフトウェア更新	−	●③⑧	−	P.394
9設定リセット	−	●③⑨	−	P.329

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット(☞P.329)でお買い上げ時の状態に戻る項目です。
※1 お買い上げ時に登録されている定型文について:☞P.369
※2 2006年1月1日 00:00

NWサービス

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1留守番電話	メッセージ問合せ	⦿④①①	–	P.333
	留守番メッセージ再生	⦿④①②	–	P.333
	留守番電話サービス開始	⦿④①③	呼出時間：10秒	P.332
	留守番呼出時間設定	⦿④①④	呼出時間：10秒	P.332
	留守番サービス停止	⦿④①⑤	–	P.332
	留守番設定確認	⦿④①⑥	–	P.333
	留守番サービス設定	⦿④①⑦	–	P.333
	件数お知らせ設定	⦿④①⑧	件数増加鳴動設定：ON☆	P.333
	着信通知	⦿④①⑨	–	P.334
2キャッチホン	キャッチホンサービス開始	⦿④②①	–	P.334
	キャッチホンサービス停止	⦿④②②	–	P.334
	キャッチホンサービス設定確認	⦿④②③	–	P.335
3転送でんわ	転送サービス開始	⦿④③①	呼出時間：7秒	P.336
	転送サービス停止	⦿④③②	–	P.336
	転送先変更	⦿④③③	–	P.337
	転送先通話中時設定	⦿④③④	–	P.337
	転送サービス設定確認	⦿④③⑤	–	P.337
4迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	⦿④④①	–	P.337
	電話番号指定拒否登録	⦿④④②	–	P.338
	迷惑電話全登録削除	⦿④④③	–	P.338
	迷惑電話1登録削除	⦿④④④	–	P.338
	拒否登録件数確認	⦿④④⑤	–	P.338
5発信者番号通知	設定確認	⦿④⑤①	非通知設定	P.46
	発信者番号通知設定	⦿④⑤②	–	P.46
6番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	⦿④⑥①	–	P.339
	番号通知サービス停止	⦿④⑥②	–	P.339
	サービス設定確認	⦿④⑥③	–	P.339
7通話時間／料金確認	–	⦿④⑦	–	P.325
8通話中着信設定	通話中着信設定開始	⦿④⑧①	–	P.341
	通話中着信設定停止	⦿④⑧②	–	P.341
	通話中着信設定確認	⦿④⑧③	–	P.341
9着信動作選択	留守番電話	⦿④⑨①	–	P.341
	転送でんわ	⦿④⑨②	–	P.341
	着信拒否	⦿④⑨③	–	P.341
	通常着信	⦿④⑨④	–	P.341

● お買い上げ時欄に[☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.329）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

その他のNWサービス

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1遠隔操作設定	遠隔操作開始	⦿⑤①①	–	P.341
	遠隔操作停止	⦿⑤①②	–	P.342
	遠隔操作設定確認	⦿⑤①③	–	P.342
2デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	⦿⑤②①	–	P.339
	デュアルネットワーク状態確認	⦿⑤②②	–	P.339
3英語ガイダンス	ガイダンス設定	⦿⑤③①	–	P.340
	ガイダンス設定確認	⦿⑤③②	–	P.340
4サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	⦿⑤④①	–	P.340
	ドコモ総合案内・受付	⦿⑤④②	–	P.340

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
5追加サービス	USSD登録	◉⑤⑤①	－	P.343
	応答メッセージ登録	◉⑤⑤②	－	P.343
6マルチナンバー	通常発信番号設定	◉⑤⑥①	－	P.342
	通常発信番号設定確認	◉⑤⑥②	－	P.343
	電話番号設定	◉⑤⑥③	－	P.342

通話・通信機能設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1通話中設定	ノイズキャンセラ	◉⑥①①	ON☆	P.55
	再接続機能	◉⑥①②	アラームあり（高音）☆	P.55
	通話品質アラーム	◉⑥①③	アラームあり（高音）☆	P.108
2イヤホンマイク自動発信	－	◉⑥②	OFF☆	P.328
3着信時設定	エニーキーアンサー	◉⑥③①	ON☆	P.58
	オート着信設定	◉⑥③②	OFF☆	P.328
4テレビ電話設定	音声自動再発信	◉⑥④①	OFF☆	P.82
	送信画像設定	◉⑥④②	※３☆	P.79
	テレビ電話画面設定	◉⑥④③	相手大・自分小☆	P.81
	子画面表示位置	◉⑥④④	左上☆	P.81
	送信画質設定	◉⑥④⑤	標準☆	P.80
	テレビ電話切替機能通知	◉⑥④⑥	通知中	P.83
	テレビ電話ハンズフリー設定	◉⑥④⑦	ON☆	P.80
5伝言メモ設定	伝言メモ設定	◉⑥⑤①	OFF☆	P.65
	伝言応答時間	◉⑥⑤②	８秒☆	P.65
	応答メッセージ	◉⑥⑤③	応答メッセージ１☆	P.65
	テレビ電話時応答画像	◉⑥⑤④	テレビ電話代替☆	P.75
6クローズ動作設定	－	◉⑥⑥	終話☆	P.58
7セルフモード	－	◉⑥⑦	OFF☆	P.133
8その他の設定	プレフィックス設定	◉⑥⑧①	１件目：009130-010☆	P.53
	サブアドレス設定	◉⑥⑧②	ON☆	P.55
	国際ダイヤル設定	◉⑥⑧③	自動付加設定：自動付加／ 国際電話設定：WORLD CALL 009130-010☆	P.54

- お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.329）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

※３　代替画像設定：ブンブン（Dimo）（［ブンブン（Dimo）］）を削除したあとで、設定リセット（☞P.329）を行った場合は［テレビ電話代替］）、応答保留画像設定：テレビ電話代替、保留画像設定：テレビ電話代替

セキュリティ

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1シークレットモード	－	◉⑦①	OFF☆	P.136
2FOMAカード（UIM）設定	PIN1コード入力設定	◉⑦②①	OFF	P.128
	PIN1コード変更	◉⑦②②	0000	P.129
	PIN2コード変更	◉⑦②③	0000	P.129
3着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	◉⑦③①	OFF☆	P.138
	電話帳指定着信拒否	◉⑦③②	OFF☆	P.139
	電話帳登録外	◉⑦③③	許可☆	P.141
	非通知設定	◉⑦③④	許可☆	P.140
	公衆電話	◉⑦③⑤	許可☆	P.140
	通知不可能	◉⑦③⑥	許可☆	P.140
4発着信履歴表示	着信履歴表示	◉⑦④①	ON☆	P.136
	リダイヤル表示	◉⑦④②	ON☆	P.136
5メール履歴表示	メール送信履歴表示	◉⑦⑤①	ON☆	P.136
	メール受信履歴表示	◉⑦⑤②	ON☆	P.136

次ページへ続く

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
6ロック設定	オールロック	⦿⑦⑥①	解除	P.131
	ダイヤル発信制限	⦿⑦⑥②	OFF☆	P.135
	PIMロック	⦿⑦⑥③	OFF☆	P.134
	遠隔オールロック	⦿⑦⑥④	OFF／許可番号：なし／着信回数：5回／指定時間：3分☆	P.132
7端末暗証番号変更	－	⦿⑦⑦	0000	P.127
8データ一括削除	ユーザデータ削除	⦿⑦⑧①	－	P.329
	シークレットデータ削除	⦿⑦⑧②	－	P.330

● お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.329）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

その他の設定

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
初期設定	－	⦿⑧	－	P.44
電話番号表示	－	⦿⓪	ご契約の電話番号	P.46

データBOX

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1マイピクチャ	－	⦿⑨①①	－	P.256
2iモーション	－	⦿⑨①②	－	P.265
3メロディ	－	⦿⑨①③	－	P.276
4キャラ電	－	⦿⑨①④	－	P.273
5プリント指定（DPOF）	－	⦿⑨①⑤	－	P.300

生活ツール

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1バーコードリーダー	－	⦿⑨②①	－	P.157
2赤外線受信	受信	⦿⑨②②①	－	P.292
	全件受信	⦿⑨②②②	－	P.292
3miniSD管理	miniSDデータ参照	⦿⑨②③①	－	P.282
	バックアップ／復元	⦿⑨②③②	－	P.281
	インポート	⦿⑨②③③	－	P.285
	管理情報の更新	⦿⑨②③④	－	P.285
	フォーマット	⦿⑨②③⑤	－	P.283
	USBモード設定	⦿⑨②③⑥	－	P.284
4文字読み取り	－	⦿⑨②④	－	P.159
5モードイルミ	－	⦿⑨②⑤	OFF	P.305
6アラーム	－	⦿⑨②⑥	－	P.308
7スケジュール	スケジュール	⦿⑨②⑦①	－	P.311
	ToDoリスト	⦿⑨②⑦②	－	P.318
8便利機能	電卓	⦿⑨②⑧①	税率5％☆	P.324
	テキストメモ	⦿⑨②⑧②	－	P.326
	タイマー	⦿⑨②⑧③	－	P.307

● お買い上げ時欄に［☆］が付いているものは、設定リセット（☞P.329）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

メディアツール

機能メニュー		ボタン操作	お買い上げ時	ページ
1モバイルオーディオ	－	⦿⑨③①	－	P.381
2ボイスレコーダー	－	⦿⑨③②	－	P.294
3ブックリーダー	－	⦿⑨③③	－	P.295

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。（☞P.278）

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。１つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

- ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。
  例：全角カタカナモードで①を３回押すと
  ①［ア］が表示➡①［イ］が表示➡①［ウ］が表示（表示を逆戻りさせるとき：ⓘ）

全角文字の割り当て

ボタン	漢 漢字（ひらがな）入力モード	ア 全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード A 大小文字	全角英数字入力モード a 小文字	区 区点コードモード
①	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠１□（スペース）	．／＿＠１□（スペース）	1
②	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２	2
③	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３	3
④	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７	7
⑧	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９	9
⓪	わをん□（スペース）	ワヲン□（スペース）	０□（スペース）	０□（スペース）	0
⓪～⑨ 1秒以上押す	※3				0～9
＊	゛゜↲※1		↲※1		↲
＃	全角記号変換（ー、。！？・）				なし
上	ワンタッチ変換（前候補）	カーソル上移動			
下	通常変換（次候補）／↲※1	カーソル下移動／↲※1			
左	文節左移動	カーソル左移動			
右	文節右移動	カーソル右移動			
文字モード	文字入力モードの切り替え				
文字モード 1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示				
メール	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
メール 1秒以上押す	定型文挿入				
Ⓒ	1文字削除、変換中止	1文字削除			入力済みコードまたは1文字削除
Ⓒ 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2				
●	採用、決定	決定			
ⓘ	逆順表示／やり直し				やり直し

※１　文字確定後に押すと［↲］（改行）されます。［↲］は半角で表示されますが、全角１文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※２　カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※３　同じ行の文字を続けて入力したい場合に、１秒以上押すと入力することができます。
- 濁点の付いたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものがあります。

半角文字の割り当て

ボタン	ｶ 半角カタカナモード	半角英数字モード A 大小文字	半角英数字モード a 小文字	1 半角数字モード
①	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	. / _ @ 1 (スペース)	. / _ @ 1 (スペース)	1
②	ｶｷｸｹｺ	A B C a b c 2	a b c 2	2
③	ｻｼｽｾｿ	D E F d e f 3	d e f 3	3
④	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	G H I g h i 4	g h i 4	4
⑤	ﾅﾆﾇﾈﾉ	J K L j k l 5	j k l 5	5
⑥	ﾊﾋﾌﾍﾎ	M N O m n o 6	m n o 6	6
⑦	ﾏﾐﾑﾒﾓ	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7
⑧	ﾔﾕﾖｬｭｮ	T U V t u v 8	t u v 8	8
⑨	ﾗﾘﾙﾚﾛ	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9
⓪	ﾜｦﾝ (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)	0
⓪～⑨ 1秒以上押す	※4			※5
＊	ﾞ ﾟ ｰ ↵	↵※1		*
＃	半角記号変換（-､｡!?･~()'",:;¥&）※3			#
↑	カーソル上移動			P（電話番号入力時）／カーソル上移動
↓	カーソル下移動／↵※1			
←	カーソル左移動			
→	カーソル右移動			
Ⓜ	文字入力モードの切り替え			
Ⓜ 1秒以上押す	定型文挿入の［インターネット］表示			
✉	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
✉ 1秒以上押す	定型文挿入			
Ⓒ	1文字削除			
Ⓒ 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2			
●	決定			
ⓘ	逆順表示／やり直し			やり直し

※1　［↵］（改行）されます。［↵］は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。
※2　カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。
※3　半角英数入力限定時（メールアドレス、URL入力時）は、「、」、「。」、「・」を入力することはできません。
※4　同じ行の文字を続けて入力したい場合に、1秒以上押すと入力することができます。
※5　⓪を1秒以上押した場合は、「+」が入力されます。

■文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

■全角文字

全角大文字モード

	2桁目（次に押すボタン）									
1桁目（最初に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	&		☎	
8	や	(	ゆ	)	よ	＊	＃		♥	※
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

■半角文字

半角大文字モード

	2桁目（次に押すボタン）									
1桁目（最初に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

※⑧➡⓪を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。□部分は、切り替えた文字モードにより大文字または小文字で入力できます。

- 全角小文字モードで⓪➡④を押すと[、]、⓪➡⑤を押すと[。]が入力できます。
- 半角小文字モードで⓪➡④を押すと[,]、⓪➡⑤を押すと[.]が入力できます。
- 半角大文字モードで[☎]、[♥]は半角2文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- □部分は、文字入力後、㊞を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。（「わ」（小文字）は全角小文字モードでのみ入力できます。）

記号・特殊文字一覧

文字入力画面で㊞を押すと[記号]と[絵文字]を切り替えて入力できます。
記号入力時に◎を押すと、[半角]、[全角]が切り替わり、絵文字入力時に◎を押すと、[絵文字2]、[絵文字1]が切り替わります。

■全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠
￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号
※特殊文字は、iモードメール対応機以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

■半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

絵文字1

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
はれ		ばすけっと、ばすけ		びーる、さけ		しーでぃー		かちんこ		はた		かわいい	
くもり		はた		はんばーがー		はーと、はあと		ふくろ		ふりーだいやる		きす	
あめ、かさ		ぽけっとべる、ぽけべる		ぶてぃっく		すぺーど		ぺん		しゃーぷだいやる		ぴかぴか、きらきら	
ゆき		でんしゃ		はさみ、びよういん		だいや		ひとかげ		もばきゅー		ひらめき	
かみなり		ちかてつ		からおけ		くろーばー、くらぶ		いす		いち		むか、いかり	
うずまき、たいふう		しんかんせん		えいが		め		よる、つき		に		ぱんち	
きり		くるま		やじるし、みぎうえ		みみ		すーん		さん		ばくだん	
こさめ		くるま		ゆうえんち		ぐー		おん		よん、し		おんぷ	
おひつじざ		ばす		おんがく		ちょき、ぶい		えんど		ご		やじるし、ばっど	
おうしざ		ふね		あーと		ぱー		とけい		ろく		ねる、ねむい	
ふたござ		ひこうき		えんげき		やじるし、みぎした		でんわ		なな、しち		びっくり	
かにざ		いえ		いべんと		やじるし、ひだりうえ		めーる		はち		びっくり	
ししざ		びる		ちけっと		あし		ふぁっくす		きゅー、く		びっくり	
おとめざ		ゆうびんきょく		たばこ、きつえん		くつ		あいもーど		ぜろ		しょうげき、いらいら	
てんびんざ		びょういん		きんえん		めがね		あいもーど		はーと、はあと		あせ	
さそりざ		ぎんこう		かめら		くるまいす		めーる		はーと、はあと		あせ	
いてざ		ぎんこう、えーてぃーえむ		かばん		しんげつ、つき		どこも		しつれん、はーと、はあと		だっしゅ	
やぎざ		ほてる		ほん		つき		どこも		はーと、はあと		ー	
みずがめざ		こんびに		りぼん		はんげつ、つき		ゆうりょう		かお、にこ		ー	
うおざ		がそりん、すたんど		ぷれぜんと		みかづき、つき		ふりー、むりょう		かお、むか		おーけー	
すぽーつ		ちゅうしゃじょう		ばーすでー		まんげつ、つき		あいでぃー		かお、かなしい			
やきゅう		しんごう		でんわ		いぬ		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど		かお、かなしい			
ごるふ		といれ		でんわ、けいたい		ねこ		りたーん		かお、ふらふら			
てにす		れすとらん		めも		よっと、りぞーと		くりあ		やじるし、ぐっど			
さっかー		きっさてん		てれび		くりすます		むしめがね、るーぺ、さーち		おんぷ			
すきー		ばー		げーむ		やじるし、ひだりした		にゅー		おんせん			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- SMSでは[ ]、[ ]、[ ]以外はスペースになります。
- 「見出し(ヨミ)」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに[絵 1]と表示されますが、その候補を選択しても[絵 1]という文字は採用されません。

絵文字2

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
あいあぷり		らぶれたー		かお、あせ		かお、かなしい		きんし		ちゅーりっぷ、はな		かたつむり	
あいあぷり		れんち、こうぐ		かお、あせ		かお、なみだ、かなしい		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ		ばなな		ひよこ	
てぃーしゃつ、しゃつ		えんぴつ		かお、むか		えぬじー		ごうかく		りんご		ぺんぎん	
さいふ		おうかん		かお、ぼけ		くりっぷ		まんしつ、まんせき、まんしゃ		め		さかな	
くちべに、けしょう		ゆびわ		はーと		こぴーらいと		やじるし、さゆう		もみじ		かお、うまい	
じーんず、じーぱん、ずぼん		すなどけい、とけい		おーけー、ぐっど、ないす		てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう		やじるし、じょうげ		さくら		かお	
すのぼ		じてんしゃ		かお、べー		はしる、ひと		がっこう		おにぎり、おむすび		うま	
べる、ちゃぺる		おちゃ、ゆのみ		かお、ういんく		まるひ		なみ		けーき		ぶた	
どあ		うでどけい、とけい		かお、にこ、うれしい		りさいくる		ふじさん、やま		とっくり、さけ		わいん、さけ	
おかね、どるぶくろ		かお		かお、がまん、かなしい		まるあーる、しょうひょう		くろーばー		らーめん、どんぶり		かお、げっそり、さけび	
ぱそこん		かお、にこ		ねこ		きけん、けいこく		さくらんぼ、ちぇりー		ぱん、しょくぱん			

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、i モード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- サイトによっては正しく表示されない絵文字もあります。
- 「見出し(ヨミ)」を入力すると、変換候補の絵文字の後ろに[絵２]と表示されますが、その候補を選択しても[絵２]という文字は採用されません。

顔文字一覧

(^0^)	(+_+)	(^^ゞ	φ(..)	(^^)Y☆Y(^^)
o(^-^)o	(-_-)	(☆_☆)	(^人^)	o(^-^o)(o^-^)o
(^0^)/	(v_v)	(ノ><)ノ	<(__)>	(ノ°0°)ノ
p(^^)q	(T_T)	(－_－#)	(´Д`)	(° o°)＼(-_-)
(>_<)	(￥_￥)	(¨ ;)	＼(^^;;)	(∪o∪)。。。
(X_X)	(@_@)	(－_－メ)	(#^.^#)	(^ ^)＼(° °)
m(__)m	(?_?)	(° ∇°)	(^0)＝3	＼^o^／
f^_^;	(;_;)	!(^ ^)!	(; ´・`)	(┬┬_┬┬)
(:_;)	(0_0)	o(><)o	(´～`;)	??(° Q。)??
(-.-;)	(^_^)	(。。;)	(￣∇￣;)	(^_-)-☆

- 「かお」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することもできます。

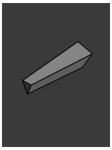
定型文一覧

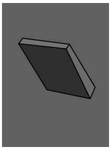
分類	No.	定型文	分類	No.	定型文
あいさつ	1	おはようございます	応答	1	OKです
	2	おやすみなさい		2	NGです
	3	昨日は､どうもありがとうございました		3	ありがとう
	4	行ってきます		4	ごめんなさい
	5	いってらっしゃい		5	待ってて
	6	お疲れ様でした		6	今忙しい
	7	お世話になっております		7	後で連絡入れます
	8	こんにちは		8	保留です
	9	こんばんは		9	キャンセルです
ビジネス	1	直行します	インターネット	1	.ne.jp
	2	直帰します		2	.co.jp
	3	休暇をとります		3	.ac.jp
	4	半休します		4	.or.jp
	5	電車遅延のため、遅れます		5	.go.jp
	6	本日の会議は中止となりました		6	.com
	7	出欠をご連絡ください		7	@docomo.ne.jp
	8	次の指示を待ってください		8	http://
	9	携帯の電源を切ります		9	www.
プライベート	1	遊びに行こう	自作定型文	1	--------------------
	2	飲みに行きませんか？		2	--------------------
	3	遅れます		3	--------------------
	4	変更します		4	--------------------
	5	中止です		5	--------------------
	6	先に行きます		6	--------------------
	7	先に帰ります		7	--------------------
	8	時間です		8	--------------------
	9	何してるの？		9	--------------------

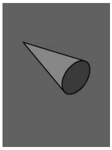
- お買い上げ時は、自作定型文は登録されていません。

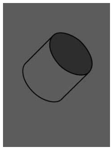
プリインストールデータ一覧

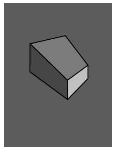
■待受画面


待受画面 1


待受画面 2

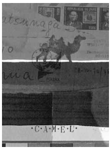

待受画面 3


待受画面 4

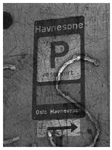

待受画面 5

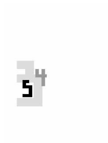

待受画面 6

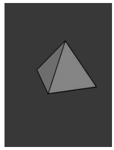

待受画面 7


待受画面 8


待受画面 9

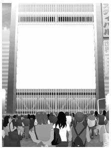

待受画面10


待受画面11

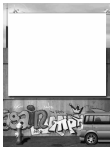

待受画面12

■プリインストールフレーム

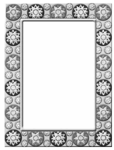

フレーム 1


フレーム 2


フレーム 3


フレーム 4


フレーム 5


フレーム 6

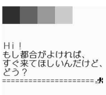

フレーム 7


フレーム 8

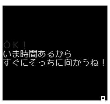

フレーム 9

※各フレームには、QCIF、QVGA、CIF、VGAのサイズがあります。

■デコメールテンプレート



疑問符



感嘆符



congratulations

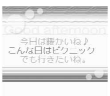


message


Dance



あいさつ



Good afternoon



Hello！



元気？



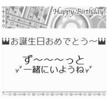
待ち合わせ



CHU！



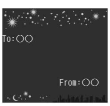
お誕生日



Birthday



おめでとう



夜景



雪の街



ブンブン 1※



ブンブン 2※



ブンブン 3※

※©BVIG

デコメールピクチャ

疑問符(上)	疑問符(下)	感嘆符(上)	感嘆符(下)	Chidori(上)
Chidori(下)	やあ！(上)	やあ！(下)	Good afternoon(上)	Good afternoon(下)
Room1(上)	Room1(下)	Room2(上)	Room2(下)	Happy？(上)
Happy？(下)	Dragon(上)	Dragon(下)	Nature(上)	Nature(下)
Free way(上)	Free way(下)	和(上)	和(下)	元気？(上)
元気？(下)	夜空(上)	夜空(下)	おめでとう(上)	おめでとう(下)
Happy！(上)	Happy！(下)	Flower(上)	Flower(下)	おこる
なく	超ハッピー	悩む	ショック	さみしい
暑い	ばいばい	ファイト	オヤスミ	Good！
Hello！	おめでとう！	寒い	ごめんね	なみだ
スキ	キライ	ありがとう	プンプン	・・・
べー	痛っ	降参	は～い	ばいば～い
HIT！	お腹すいた	good morning！	Meet	Thank you very much！
I'm sorry！	How are you？	THANK YOU！	疲れた～	ライン(さくら)
ライン(ハート)	ライン(チェック)	ライン(ripple)	ライン(星)	ライン(Blue)
おどろき※	ラブラブ※	ごめんなさい※	ねむる※	悲しい※
あっかんべー※	YO！※	ムンクの叫び※	いただきます！※	にっこり※

区点コード一覧

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについて☞P.356「区点コードで入力する」

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

お知らせ

- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3+5=	14[×]3[+]5[=]	47
	(−24)÷4−2=	[−]24[÷]4[−]2[=]	−8
定数計算	34+57= 45+57=	34[+]57[=] 45 [=] (加数が定数となります)	91 102
	48−23= 14−23=	48[−]23[=] 14 [=] (減数が定数となります)	25 −9
	68×25= 68×40=	68[×]25[=] 40 [=] (被乗数が定数となります)	1,700 2,720
	35÷14= 98÷14=	35[÷]14[=] 98 [=] (除数が定数となります)	2.5 7
パーセント計算	200の10%は？	200[×]10[%]	20
	9は36の何%？	9[÷]36[%]	25
消費税計算	消費税込み3000円の消費税額は？	3000[TAX]	142税
	消費税込み3000円の税抜き額は？	3000[TAX][TAX]	2,858税抜
割増割引計算	200の10%増しは？	200[+]10[%]（または200[×]10[%][+][=]）	220
	500の20%引きは？	500[−]20[%]（または500[×]20[%][−][=]）	400
べき乗	$(4^3)^2$=	4[×][=][=][×][=]	4,096
逆数計算	1／8=	8[÷][=]	0.125
メモリ計算 累計	27×5= +)87÷3= +)68+15= （計）=	[CM]27[×]5[M+] 87[÷]3[M+] 68[+]15[M+] [RM] ([M+]は[=]の働きをかねています。)	M 135 M 29 M 83 M 247
メモリ計算 一時記憶	(13+3×4)×(50−45)=	[CM]13[M+]3[×]4[M+]50[−]45[×][RM][=]	M 125
メモリ計算 定数記憶	135×(12+14)= (12+14)÷5=	[CM]12[+]14[M+] 135[×][RM][=] [RM][÷]5[=]	M 26 M 3,510 M 5.2

● メモリに「0」以外の数値が入ると、[M]が表示されます。

お知らせ

● メモリ計算ではⓂ[CM]を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。

[E]が表示されたとき

● 計算の結果、[E]が表示されると、それ以降の計算ができません。Ⓒ[C･CE]を押してください。
①除数が0の計算をしたとき（例：5[÷]0[=]）
②メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき（例：[CM]999999999999[M+]1[M+]）
③計算結果の整数部が12桁以上になったとき（例：1000000000[÷]0.01[%]）

● 税計算は小数点以下は省略されます。
例：120[TAX]と押すと、[5税]と表示されます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の通信状態＼実行する通信	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	発信	着信	
音声電話中	×※1	×※1	×	×※2	○	○	○	○	○	○	○	×
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
iモード中	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×
iアプリ通信中	○※3	○※3	×	×	×	○※3	○	○※3	○	×	×	×
データ通信中（パケット）	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
データ通信中（64K）	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します。（実行する通信を処理することはできません。）
※1　キャッチホンをご契約の場合は、処理できます。（☞P.334）
※2　音声電話を継続するか、音声電話を切断してテレビ電話を受けるかを選択できます。
※3　iモード、iアプリからの通信は切断され、実行する通信を処理できます。

マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせについて

マルチアシスタント（マルチタスク）で同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の操作中機能＼呼び出し可能な機能	メール／メールを読む／マナーモード設定／省電力設定／ToDo	履歴から電話する／マルチアシスタント画面	iモード	iチャネル／iモードのBookMark	iアプリ	サポートブック／ブックリーダー	データBOX	電話帳／電話帳を開く	スケジュール／スケジュールを見る	電卓	テキストメモ	モバイルオーディオ	音楽を聴く	ダイヤル入力／音声電話発信	テレビ電話発信
iアプリ	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
モバイルオーディオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
電話帳	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
キャラ電プレーヤ	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
音声電話	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×
ブックリーダー	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード・iチャネル	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール・メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ通信・パケット	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×

○：呼び出し可能な機能です。
×：呼び出し不可能な機能です。

- 表中の「現在の操作中機能」以外の機能を利用している場合は、マルチアシスタントを使用できないことがあります。
- アプリケーションの状態によってはこの表に従わない場合もあります。
- メモリの不足している場合など、この表の組み合わせでもマルチタスクを使用できない場合があります。
- ダイヤル入力はアプリリスト選択画面／アプリ切替画面で ⓘ を押して呼び出します。また、音声電話発信、テレビ電話発信はダイヤル入力から起動します。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス		電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)		(局番なし)106
一般電話の電話番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)(電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。)		(局番なし)104
電報の発信(有料)	午前８時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)		(局番なし)117
天気予報(有料)		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		(局番なし)110
消防・救急への緊急通報		(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		(局番なし)118
お話中調べ		(局番なし)114
災害用伝言ダイヤル(有料)		(局番なし)171

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と１回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2006年２月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2006年２月現在)
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できませんので、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください。
  (一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用になれます。)

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01
- 電池パック SH07
- 卓上ホルダ SH07
- リアカバー SH08
- FOMA DCアダプタ01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンターミナル P001※1
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- キャリングケース SH08
- FOMA海外兼用ACアダプタ01
- 車載ハンズフリーキット01※2
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01
- 車内ホルダ01
- FOMA乾電池アダプタ 01

※１ スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※２ FOMA SH702iDと接続するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してminiSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※

- 対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/products/d/sh702id/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。
- 外部機器で作成したｉモーション（音楽データを含む）をFOMA端末で再生する。（☞P.380）

※保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、以下のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

データリンクソフトのご紹介

「SHシリーズデータリンクソフト」を使って、静止画、動画、電話帳、メール、ブックマーク、スケジュールなどのデータを、FOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。また、miniSDメモリーカードとパソコンとの間でもデータを転送できます。

- データリンクソフトは、http://k-tai.sharp.co.jp/soft/soft.htmlからダウンロードできます。

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。
- ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- パソコンと接続してデータリンクソフトを利用するには「FOMA USB接続ケーブル（別売）」が必要です。赤外線通信では使用できません。
- ダウンロードした情報は、著作権法により、データリンクソフトを利用してもFOMA端末外へ転送することはできません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

対応OS

- ■ Microsoft Windows 98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000 Professional/Windows XP（各日本語版）
  ※上記OSが動作するPC/AT互換機

データリンクソフトのご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権はシャープ株式会社に帰属します。
- ＜免責事項＞について
  シャープ株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、シャープ株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

■データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間:平日10:00～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日および所定の休日を除く)

パソコンで作成したｉモーション(音楽データ含む)をFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの楽曲などを、パソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
ここでは、データBOXのｉモーションの[ミュージック／ボイス]フォルダに保存して再生する方法を説明します。

● モバイルオーディオで再生する方法について:☞次項「楽曲を再生する」
● miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
● ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
● miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

1 お客様が購入した**CD**の楽曲などを、**MP4**形式に変換できる市販ソフトを利用して変換▶パソコンに保存

● ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 **miniSD**メモリーカードをパソコンに挿入▶楽曲ファイルをコピー

● コピー方法は次のとおりです。

1. 操作1で作成したファイルの名前を「XXX.3gp」／「XXX.mp4」に変更する
   ● ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
   ● 変更後のファイル名は、拡張子を除いて全角・半角を問わず101文字以内になるようにしてください。
2. miniSDメモリーカード内の\PRIVATE\SHARP\VOICEフォルダにコピーする
   ● [VOICE]フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、miniSDメモリーカードをFOMA端末に一度挿入して認識させてから、再度パソコンに挿入してください。
   ● miniSDメモリーカードのフォルダ構成について:☞P.280

3 **TOP**メニュー▶(データ**BOX**)▶[ｉモーション]▶[→**miniSD**]▶[ミュージック／ボイス]フォルダから楽曲を選択▶ｉモーション(音楽データ含む)を再生

● ｉモーションの再生について:☞P.265、リピート再生について:☞P.266、連続再生について:☞P.277
● [ミュージック／ボイス]フォルダ内のデータは、最大400件まで表示されます。フォルダ内に再生できないデータがある場合や、400件以上のデータが存在する場合は、データが表示されないことがあります。

お知らせ

● 再生中に着信やアラーム動作があった場合、再生は中止されます。
● ご使用になる市販のソフトウェアなどによっては、楽曲ファイルをFOMA端末でうまく再生できない場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

楽曲を再生する

お客様が購入した音楽CDの楽曲などを、SD-JukeboxとパソコンなどをNo利用してminiSDメモリーカードに保存すると、FOMA端末で音楽を再生することができます。
- モバイルオーディオでは、SD-Audioデータとｉモーションの[ミュージック／ボイス]フォルダ内のデータを再生できます。

種　類	ソフト	形　式
SD-Audioデータ	SD-Jukebox	SD-Audio対応AAC
[ミュージック／ボイス]内データ	AAC形式に変換可能な任意のソフト	3GP、MP4(AMR・AAC・HE-AAC)

- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移動をしないでください。

■SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/PanaSense/special/soft/sd_jukebox
SD-Jukeboxの動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html

音楽を再生する

AAC形式でminiSDメモリーカードに保存された音楽を再生します。

1 TOPメニュー ▶ T(メディアツール) ▶ [モバイルオーディオ]

2 ⦿[再生]

音楽が再生されます。
- マナーモードを設定しているときは、[マナーモード中です　音楽を再生しますか？]と表示されます。[はい]を選択し、⦿を押します。
- マナーモード解除中で、イヤホンマイクを接続していない場合、モバイルオーディオでマナー再生設定を[ON]に設定しているときに再生しようとすると、[マナー再生中です　音楽を再生しますか？]と表示され、[はい]を選択し、⦿を押すと、マナー再生設定が[ON]で再生されます。マナー再生設定を[ON]に設定中は、音量が制限され、小さい音量で再生されます。
- オリジナルマナーモード設定中にモバイルオーディオを起動すると、マナー再生はオリジナルマナーモードの設定に従い変更されます。また、変更されたマナー再生の設定はオリジナルマナーモードを解除しても保持されます。
- 前回再生した曲の終了した時点から再生されます。
- SD-Audioデータがない場合は、[ミュージック／ボイスに切替えますか？]と表示されます。[はい]を選択し、⦿を押すと、[ミュージック／ボイス]フォルダ内のデータが再生されます。

お知らせ
- 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。
- 電池残量が[▭]以下の場合は再生できません。また、再生中に電池残量が[▭]以下になると再生が停止されます。
- モバイルオーディオ再生時、最後に再生した曲の履歴情報(曲番号と再生時間)をminiSDメモリーカード内に保持します。次回再生時は、この履歴情報により、最終再生位置から再生を再開します([ミュージック／ボイス]再生時は非対応)。ただし、FOMA端末やパソコンでminiSDメモリーカード内の曲を削除したり、曲の追加などを行なったりした場合は、履歴情報がクリアされたり、異なるデータに履歴情報が適用されることがあります。
- マルチメディアのPIMロック中は、端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力するとモバイルオーディオを起動できます。

関 連 操 作	
FOMA端末を閉じているとき	待受中 ▶ ▭(サイドボタン)(1秒以上) ▶ (モバイルオーディオ再生) ▶ ▭(サイドボタン)(1秒以上)(モバイルオーディオ終了)
リピート再生／ランダム再生を設定する<再生設定>	**1** 音楽停止中／音楽再生中 ▶ ◎ ▶ ③[再生設定] **2** 全曲リピート再生するとき：③ ●通常再生するとき：① ●１曲リピート再生するとき：② ●ランダム再生するとき：④

次ページへ続く ▶▶

関連操作	
イコライザを設定する <イコライザ設定>	**1** 音楽停止中▶◎▶④▶①[イコライザ設定] **2** ノーマル再生するとき:① ●ロックを再生するとき:② ●ポップスを再生するとき:③ ●クラシックを再生するとき:④
サラウンドを設定する <サラウンド設定>	**1** 音楽停止中▶◎▶④▶②[サラウンド設定] **2** ①[ON]
マナー再生モードにする <マナー再生設定>	**1** 音楽停止中/音楽再生中▶◎▶⑤[マナー再生設定] **2** ①[ON]
再生中の画面を設定する <再生中画面設定>	**1** 音楽停止中▶◎▶⑥[再生中画面設定] **2** パターン1を表示するとき:① ●パターン2を表示するとき:② ●パターン3を表示するとき:③ ●静止画/アニメーションを表示するとき:④▶フォルダを選択▶⦿▶静止画を選択▶ⓐ[決定]
タイトルやアーティスト名を編集する <トラック情報編集>	**1** 音楽停止中▶◎▶⑦[トラック情報編集] ●プレイリスト画面からトラック情報を編集するとき:プレイリスト画面▶◎▶①[トラック情報編集] **2** タイトルを編集するとき:①▶タイトルを編集▶⦿ ●アーティスト名を編集するとき:②▶アーティスト名を編集▶⦿

お知らせ

- イコライザとサラウンドは、イヤホンマイクを接続したときのみ、有効です。

FOMA端末を閉じているとき

- マナーモード設定中でイヤホンマイクを接続していない場合、モバイルオーディオは起動しません。
- マルチメディアのPIMロックを設定している場合、モバイルオーディオは起動しません。
- SD-Audio 内にデータがない場合やSD-Audio 内のデータがすべて非対応曲の場合、モバイルオーディオは起動しません。[ミュージック/ボイス]内のデータは、FOMA端末を閉じた状態の待受画面からは再生できません。

再生中のボタン操作

一時停止	⦿[停止]
音量を調節	◯(下げる)/◯(上げる) ●ボタンを押し続けると、連続して調節できます。
前の曲に戻す/頭出し	◯ ●再生経過時間が2秒未満の場合は前の曲に戻ります。2秒以上の場合は頭出しになります。 ●ボタンを押し続けると、連続して巻き戻しできます。([ミュージック/ボイス]参照中は曲をまたいでの巻き戻しはできません。)
曲を送る	◯ ●ボタンを押し続けると、早送りになります。
モバイルオーディオを終了	ⓒまたは⊖▶[はい]▶⦿

- ⓐ[操作パネル]を押すと操作パネルが表示されます。
- 操作パネルから◯で動作を選択し、⦿を押すか、ダイヤルボタン(①～⑨)を押して操作することもできます。操作パネルの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。

iモーションを再生する<参照先切替>

miniSDメモリーカード内\PRIVATE\SHARP\VOICEフォルダにある、音声のみの動画/iモーションはモバイルオーディオでも再生することができます。

音楽停止中▶◎▶②▶②[ミュージック/ボイス]

- 音楽停止中▶◎▶②▶①[SD-Audio]を押すと、音楽データ(AAC)の再生に戻ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

お知らせ

- ミュージック／ボイス参照中はイコライザ設定やトラック情報編集の操作はできません。
- 音楽CDからminiSDメモリーカードに楽曲を保存すると、タイトル（全角）、タイトル（半角）、アーティスト名（全角）、アーティスト名（半角）、コメントの情報が設定されます。
- タイトル（全角）とアーティスト名（全角）は編集することができます。タイトル・アーティスト名以外の項目の文字数により、入力できる文字数は変化します。すべての項目の文字数の合計は最大125文字までです。また、タイトル（半角）とアーティスト名（半角）については、FOMA端末で確認することはできません。

サラウンド設定について

- サラウンド設定はイヤホン接続時に有効です。
- サラウンド再生できるのは、音声の符号化方式がAACでチャンネル数が2chの動画／ｉモーションです。
- モバイルオーディオのサラウンド設定と、データBOXのｉモーションのサラウンド設定は連動しません。

プレイリストを利用する<プレイリスト表示>

登録されているプレイリストを使って再生します。

- お客様がSD-Jukeboxで作成したユーザプレイリストは参照（表示）できません。

1 音楽再生中／音楽停止中▶◎▶①［プレイリスト表示］

2 再生する曲を選択▶●［再生］

関連操作	
音楽データを削除する<削除>	**1** 音楽停止中▶プレイリスト画面▶曲を選択▶◎▶②［トラック削除］ **2** １件削除するとき：①▶［はい］▶● ●複数の曲を選択し、まとめて削除するとき：②［選択削除］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶●▶曲を選択●（くり返し可）▶ⓘ［完了］▶［はい］▶● ●すべての曲を削除するとき：③［全件削除］▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶●▶［はい］▶●
プレイリストの曲を並べ替える<並べ替え>	音楽停止中▶プレイリスト画面▶◎▶③［並べ替え］▶移動する曲を選択●移動先を選択●（くり返し可）▶ⓘ［完了］
詳細情報を表示する<情報表示>	音楽停止中／音楽再生中▶プレイリスト画面▶曲を選択▶◎▶⑤［情報表示］ ●検索結果リスト画面のとき：◎▶③［情報表示］

お知らせ

- ミュージック／ボイス参照中は削除や並べ替えの操作はできません。

プレイリストの曲を検索する<トラック検索>

1 プレイリスト画面▶◎▶④［トラック検索］▶検索方法を選択

タイトルで検索	①▶タイトルを入力▶●
アーティストで検索	②▶アーティスト名を入力▶●
検索履歴から検索	③▶検索履歴を選択▶● ●最近検索した履歴が５件まで表示されます。

- 検索をやり直すとき：ⓘ［検索］
- プレイリスト画面に戻るとき：◎▶④［プレイリストに戻る］
- 検索結果リストから曲を削除するとき：◎▶①［検索結果内トラック削除］▶削除方法を選択（検索結果リストから削除しても、元の音楽データは削除されません。）
- モバイルオーディオを終了すると、検索履歴はクリアされます。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新をしてください。（ソフトウェア更新☞P.394）

症　状	説　明	ページ
動作しない	●FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.44 P.43 P.38
電源が入らない	●⊖を２秒以上押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ●電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.44 P.43 P.38
電源が切れる	●FOMAカードのＩＣ部が汚れていませんか？ ●電池パックの接続端子面やFOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が汚れていませんか？	P.35 P.38
充電ができない	●電池パックが正しく取り付けられていますか？ ●充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ●ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ●卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ●専用のAC/DCアダプタを使用していますか？	P.38 － P.41 P.42 P.42 P.40
充電しても、すぐに使えなくなる	●卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ●電池の寿命がきていませんか？ ●充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ●FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.42 P.40 － P.40
ボタン操作ができない	●FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ●オールロックやボタン操作無効が設定されていませんか？	P.44 P.131 P.135
[圏外]（圏外）が表示されて電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.27
[self]が表示されて電話がかけられない	●セルフモードが設定されていませんか？	P.133
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	●電話帳のPIMロックが設定されていませんか？ ●オールロックが設定されていませんか？	P.134 P.131
ダイヤルボタンで電話がかけられない	●ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ●オールロックが設定されていませんか？	P.135 P.131
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいませんか？ ●電池切れになっていませんか？	P.27 P.43
通話中、相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	●受話音量が大きくなっていませんか？	P.60
宛先登録時、[メール送信履歴]、[メール受信履歴]が選択できない	●メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が[OFF]に設定されていませんか？	P.136
メールを受信したとき設定した着信音が鳴らない	●メール受信表示設定を[操作優先]に設定していませんか？	P.226
着信音が鳴らない	●着信音量が[サイレント]に設定されていませんか？ ●電池切れになっていませんか？ ●FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ●通話中ではありませんか？ ●保留のままになっていませんか？ ●呼出動作開始時間設定を設定していませんか？ ●電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ●電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ●非通知着信拒否を設定していませんか？ ●電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ●留守番電話サービスを使用し、呼出時間を[０秒]に設定していませんか？ ●公共モード（ドライブモード）に設定していませんか？ ●マナーモードに設定していませんか？	P.106 P.43 P.44 P.48 P.48 P.75 P.140 P.138 P.139 P.140 P.141 P.332 P.62 P.109

症　状	説　明	ページ
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	●電話帳に指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ●電話帳のグループにメール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ●指定メール着信音とグループ指定メール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ●複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ●相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ●メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ●SMSを受信したときは、電話帳に設定した指定メール着信音が有効となります。 ●電話番号が正しく登録されていますか？	P.88 P.95 P.90 – P.88 P.88 – P.89
ダイヤルしても話中音(ツーツー…)が出る	●「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ●[圏外アイコン](圏外)が表示されていませんか？ ●相手が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.48 P.27 –
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	–
[サービス未契約です]と表示される	●ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ●ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	– –
日付の順序が逆に表示される	●Bilingualで[English]に設定していませんか？	P.123
[しばらくお待ちください]が表示されて消えない	●回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。	–
電話の発着信、メールの送受信、ｉモードの機能が使えない	●電池切れになっていませんか？ ●[圏外アイコン](圏外)が表示されていませんか？ ●セルフモードが[ON]に設定されていませんか？	P.43 P.27 P.133
文字が入力できない	●文字数の制限をオーバーしていませんか？	–
画面表示が消えた	●FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ●電池切れになっていませんか？ ●省電力モードが起動していませんか？ ●自動電源OFFを設定していませんか？	P.44 P.43 P.117 P.307
ドコモホームページやｉMenuの[お知らせ＆ヘルプ]にソフトウェア更新が必要との案内がある	●ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.394
積算通話料金が増えない	●FOMAカードの積算通話料金の上限値(約1677万円)に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。	P.325
Flash画像の時計表示(待受画面11)と本体内の時刻がずれる	●Flash画像は一定の時間が経過すると停止します。Ⓒを押すと、再生が再開され時刻は更新されます。	P.111

こんな表示が出たら

● メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	●FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR/Fを選択し、実行しようとしたときに表示されます。	P.36
[FOMAカード(UIM)を挿入してください]	●FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.35

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[端末暗証番号を入力してください]	●PIMロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、操作できます。	P.134
[PIN1コードがロックされています]	●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.129
[PINロック解除コードがロックされています]	●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.129
[メモリの空きがありません]	●すでにFOMA端末（本体）の電話帳に電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。	P.86
[このカードは認識できません]	●本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ●FOMAカードが正しく差し込まれていない、または破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	－ P.35
[シークレットデータが登録されています]	●シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.101
[セルフモード設定中です]	●セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.133
[操作できませんでした]	●サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。[ ]が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。	P.332
[ただ今、使用できません]	●サービスエリア外や電波が届かないところで、テレビ電話発信しようとしたときに表示されます。	－
[ダイヤル発信制限設定中です]	●ダイヤル発信制限中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.135
[端末暗証番号が違います] [４～８桁で入力してください]	●端末暗証番号（４～８桁の数字）の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.126
[データベースが破損しました　復旧を行います]	●端末のデータベースにエラーがありますので、復旧処理を行います。	－
[ネットワーク暗証番号が誤ってます]	●ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P.127
[メモリ番号：×××は書換えできません]	●シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ●電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.101 P.137～P.139
[しばらくお待ちください]	●回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ●回線設備が故障、または回線が非常に混みあっていますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。 ●110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－ － －
[外部機器接続中のため使用できません]	●外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。	－
[画像に誤りがあり正しく動作しません]	●Flash画像に誤りがあります。	－

表　示	説　明	ページ
[録音処理に失敗しました]	● 100件を超えて録音しようとしたときに表示され、ボイスレコーダーが終了します。不要なデータを削除してから録音し直してください。	P.294

iモード関連

● iモード関連のエラーメッセージ中の(　)で囲まれた数字は、iモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

表　示	説　明	ページ
[FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません]	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR/Fを選択し、実行しようとしたときに表示されます。 ● ソフト一覧からiアプリを起動しようとした場合に表示されます。	P.36 –
[FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした]	● iモードサイト、iモードメールから、iアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.36
[SMSがいっぱいです　これ以上コピーできません]	● FOMA端末(本体)またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。	P.234
[iアプリTo設定されていません]	● iモードサイト、メッセージR/FやiモードメールからソフトをI起動しようとしたときに、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。	P.246
[iアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]	● iアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。 ● 通信を行ってiアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにiアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。iアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.241 –
[iアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]	● [iアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示されたときに[いいえ]または[終了]を選択してiアプリを継続している場合、再度iアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。 ● 通信を行ってiアプリを継続するときは[はい]を選択します。通信を行わずにiアプリを継続するときは[いいえ]を選択します。iアプリを終了するときは[終了]を選択します。	P.241 –
[iモーション再生サイズを超えています]	● 標準タイプのiモーションを取得するときに、iモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得ができない場合に表示されます。	P.190
[iモーション再生サイズを超えました]	● 標準タイプのiモーションを取得するときに、iモーションのサイズが500Kバイトを超えているため取得が完了しなかった場合に表示されます。	P.190
[サービス未契約です]	● iモードをご契約されておりません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。	P.164 –
[SSL通信が切断されました]	● SSL通信に対応したiモードサイトなどに接続できなかったときに表示されます。再び接続し直してください。	P.169
[SSL通信が無効です]	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	P.169
[SSL通信が無効に設定されています]	● 証明書設定で[無効]に設定した証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。	P.188
[URLが長すぎて登録できません]	● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。	P.175
[応答がありませんでした(408)]	● iモードサイトなどからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。	P.172
[外部機器接続中のため使用できません]	● 外部機器接続中のため、iモードを終了する以外のiモードの操作はできません。	–
[接続できませんでした]	● テレビ電話発信時に番号通知お願いサービスを設定しているため、接続ができません。発信者番号を[通知する]に設定してかけ直してください。	P.338

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]	●ｉモードサイトなどを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選択し、⦿[決定]を押すと、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」が送信されます。送信したくないときは[いいえ]を選択し、⦿[決定]を押す、またはⒸを押すとコンテンツ表示画面に戻ります。 ●送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。 ●送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。	P.168 － －
[圏外です]	●サービスエリア外や電波が届かないところで、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。 [圏外]が表示されるところまで移動してｉモードのサービスをご利用ください。	－
[このサイトとのSSL通信は無効です]	●書換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このｉモードサイトなどとはSSL通信できません。	P.169
[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]	●サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい]を選択し、⦿[決定]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選択し、⦿[決定]を押します。	P.169
[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]	●期限切れまたは有効期間前のSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい]を選択し、⦿[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選択し、⦿[決定]を押します。	P.169
[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]	●端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。 接続するときは、[はい]を選択し、⦿[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選択し、⦿[決定]を押します。 「日時設定」を行ってください。	P.169
[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]	●正しくない情報をもったSSLサーバー証明書を受信したときに表示されます。 接続するときは、[はい]を選択し、⦿[選択]を押します。接続しないときには、[いいえ]を選択し、⦿[決定]を押します。	P.169
[このデータは再生できない可能性があります。取得しますか？]	●MP4(Mobile MP4)形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	P.268
[これ以上保護できません]	●メッセージR／F／メール／送信済みメールで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。	P.218
[最大サイズを超えたので中断しました]	●ｉモードサイトなどで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。 ●メロディやダウンロード辞書をダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	P.174 －
[サイトが移動しました(301)]	●ｉモードサイトなどが移動したため、URLが変更されています。 古いURLをブックマークに登録している場合は、新しいURLに更新されます。	P.176
[サイトに接続できませんでした(403)]	●何らかの原因でｉモードサイトなどに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.172
[削除される添付ファイルがあります]	●転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。 ⦿[決定]を押すと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。	P.206
[指定サイトがみつかりません(404)]	●ｉモードサイトなどが見つかりませんでした。ｉモードサイトなどが存在しない可能性があります。	－
[指定サイトに表示データがありません(204)]	●接続したｉモードサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	－
[指定されたソフトがありません]	●ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	P.246

表　示	説　明	ページ
[指定されたソフトが起動できませんでした]	● ｉモードサイト、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。	P.246
[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]	● 何らかの原因でｉモードサイトなどに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.172
[セキュリティエラーのため終了しました]	● ｉアプリが不正な動作をしようとしました。 ● ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。	P.248 P.248
[接続が中断されました]	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。 電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く[ ]マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したｉモードサイトなどが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.27 －
[接続できません]	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。 ｉモード設定の[接続先選択]で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。	P.182 P.172
[設定時間内に接続できませんでした]	● [接続待ち時間設定]で設定した接続待ち時間となったため、ｉモードサイトなどへの接続、ｉモードメールの送信などが中断されました。しばらくたってからｉモードサイトなどへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。	P.182
[送信できませんでした]	● ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。[宛先を確認してください]が併せて表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。 [ｉモードセンターが混みあっています]が併せて表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです]が併せて表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。	－
[そのソフトは最新です]	● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。	P.247
[ソフトに誤りがあります]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
[ソフトに誤りがあるためダウンロードできません]	● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。	－
[対応機種ではありません]	● ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。	－
[ダウンロード中止しました]	● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。	P.239
[ダウンロードできませんでした] [コンテンツ不正のためダウンロードできません]	● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。 ● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。	－ －
[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	P.346
[重複するアドレスがあります]	● ｉモードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定することはできません。重複するアドレスを削除して送信してください。	P.201
(赤外線通信中に)[中断されました] [接続相手が見つかりません　続けますか？] [認証に失敗しました　続けますか？]	● 赤外線通信を中止する操作をしたときに表示されます。 ● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。[はい]を選択し、◉を押すと、もう一度やり直すことができます。 ● 赤外線通信が正確に行えなかったときに表示されます。[はい]を選択し、◉を押すと、もう一度やり直すことができます。	P.291 P.291 P.291
[入力データまたはURLが長すぎます]	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。 文字数を減らしてから送信し直してください。	－

次ページへ続く

表　示	説　明	ページ
[入力データをご確認ください(205)]	● i モードサイトなどで入力を行い送信したあとに、サーバーがこの内容をリセットしたいときに表示されます。 画面上の入力した文字や設定が消去されます。(直前に送信した内容はすでに送信されています。)	−
[認証タイプに未対応です(401)]	●認証できないときに表示されます。 元のページに戻ります。	−
[認証を中止しました]	●認証画面で[キャンセル]を選択したとき、またはⓒを押したときに表示されます。	−
[パスワードをご確認ください(401)]	●認証画面で認証できないときに表示されます。	−
[添付可能サイズを超えるため添付できません]	●サイズを超えているため添付できません。本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。	P.207
[無効なデータを受信しました(301)] [無効なデータを受信しました(302)]	●受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。	−
[未送信BOXがいっぱいのため起動できません]	●未送信メールの空きエリアがないために新規メールを作成できません。未送信メールを送信または削除してから作成し直してください。	P.199 P.218
[メモリ不足です]	●メモリが不足したため、ソフトを実行できません。 ●メモリが不足したため処理を中断し、i モードを終了します。	− −

■データBOX関連

表　示	説　明	ページ
[一部コピーできませんでした]	●miniSDメモリーカード内に、FOMA SH702iD以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。	P.280
[リンク設定データがあるため一部削除できませんでした]	●xxxSHARP/xxxSH_UF/PRLxxxなどのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。 ●パソコンなどで該当フォルダを削除する、またはminiSDメモリーカードをフォーマットしてください。	− P.283
[このデータは再生できません　削除しますか？]	●日時設定がリセットされたあとに、i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	−
[再生可能回数が終了しました　削除しますか？]	●再生可能回数が終了した i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.192
[再生可能期限が切れました　削除しますか？]	●再生期間または再生期限が終了した i モーションを再生しようとしたときに表示されます。	P.192
[再生可能日前です　再生できません]	●再生期間が設定されている i モーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。	P.192
[ただいまカメラを利用できません]	●高温下にて保管されていた場合や、長時間連続で使用して、カメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。	−
[電池残量が足りません]	●電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。	P.40
[Ⓜ表示]	●メモリの空き容量が1.2Mバイト未満になったときに表示されます。 ●データBOX内のデータや i アプリを整理し、空き容量を確保してください。	− −
[Ⓜ表示]	●メモリの空き容量が100Kバイト未満になったときに表示されます。 ●データBOX内のデータや i アプリを整理し、空き容量を確保してください。	− −
[未対応画像です　画像編集できません]	●画像データが正しくないため編集ができません。	−
[メモリが少なくなっています　不要な画像を削除してください]	●本体の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のままで撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	−

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

マルチアシスタント（マルチタスク）関連

表　示	説　明	ページ
[電池がありません　保存していないデータは失われます　動作中の機能は終了します]	● 電源が切れる約80秒前に表示されます。充電してください。	P.43
[既に起動中です　実行中の機能を終了し新規起動しますか？]	● すでに起動している機能を選択したときに表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動する、または起動中の画面に切り替えるかを選択できます。	－
[これ以上起動できません] [これ以上起動できません　サイドボタンを押して機能を終了させてください]	● 起動できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了させてから再度操作してください。	－
[同時に利用できない機能を使用中です　起動できません　サイドボタンを押して機能を終了させてください]	● 同時使用ができない機能を起動しています。使用中の機能を終了させてから再度操作してください。	－

その他の表示

表　示	説　明	ページ
[電池不足です　フル充電してください]	● ソフトウェアの更新時、電池残量が[⊟]、[▭]のときに表示されます。[目]になるように充電してください。	P.394
[通信に失敗しました]	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。再度ソフトウェア更新を実施してください。	P.394
[SSL通信を切断しました]	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付（年月日）が正しく設定されていないときに表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.394
[SSL通信が無効に設定されています]	● ソフトウェアの更新時、SSL証明書が有効に設定されていないときに表示されます。[証明書設定]で証明書１～９のすべてを有効にしてください。	P.394
[他機能実行中のため起動できませんでした]	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行う、または別の日時を予約し直してください。	P.394
[ただいまメインカメラを利用できません]	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、FOMA端末の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話でメインカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。	－ －

保証とアフターサービス

保証について

FOMA端末には保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていないときは、すぐにお買い上げの販売店へお申し付けください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（☞P.379）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡のうえ、ご相談ください。

※お問い合わせの結果、修理が必要な場合
ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■次の場合は修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面連絡先へお問い合わせください。

- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

お願い

FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。

- 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

各種機能のON／OFF設定や通話明細などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。

- お手数をおかけしますが、この場合は再び、設定を行ってくださるようお願いします。

電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

- FOMA端末の受話口部やスピーカには、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

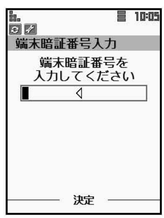
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の２種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード設定の接続先選択をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 日付・時刻を設定していないとき
  - ■ 電池残量アイコンが[▤]または[▭]になっているとき
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ セルフモード中
  - ■ 外部機器と接続中
  - ■ オールロック中
  - ■ PIMロック中
- PIN1コードON／OFF設定を［ON］に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、他機能を利用することはできません。（ダウンロード中は音声電話の着信は可能です。）
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、ｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると［✉］／［R］／［F］が表示されますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。また、メール選択受信を［ON］に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります。（お買い上げ時は［有効］に設定されています。☞P.188）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  - ■ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新は必要ありません このままご利用ください］と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータは、更新前にバックアップ（☞P.281、P.379）を取ることをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。）
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

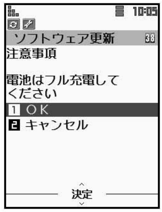
ソフトウェア更新を起動する

1 **TOPメニュー▶(設定)▶［一般設定］▶［ソフトウェア更新］**

- TOPメニュー▶(設定)▶［初期設定］▶日付・時刻を設定▶端末暗証番号（４～８桁の数字）を登録▶ボタン確認音を設定▶［はい］の順に選択してもソフトウェア更新画面が表示されます。（☞P.44）

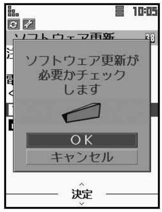


2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力▶⦿

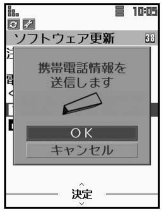


- 入力した端末暗証番号は、［¥］で表示されます。お買い上げ時は、［0000］に設定されています。
- ソフトウェア更新注意事項画面で電池残量が不足しているとき：②［キャンセル］（十分充電してからやり直してください。）

3 ①［OK］



4 ［OK］▶⦿



5 ［OK］▶⦿



- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新の必要がないときは、［更新は必要ありません　このままご利用ください］と表示されます。⦿を押して、そのままご利用ください。
- 更新が必要なときは、［更新が必要です］と表示されます。このとき［今すぐ更新］／［予約］を選択することができます。
- 送信を中止するとき：⊖

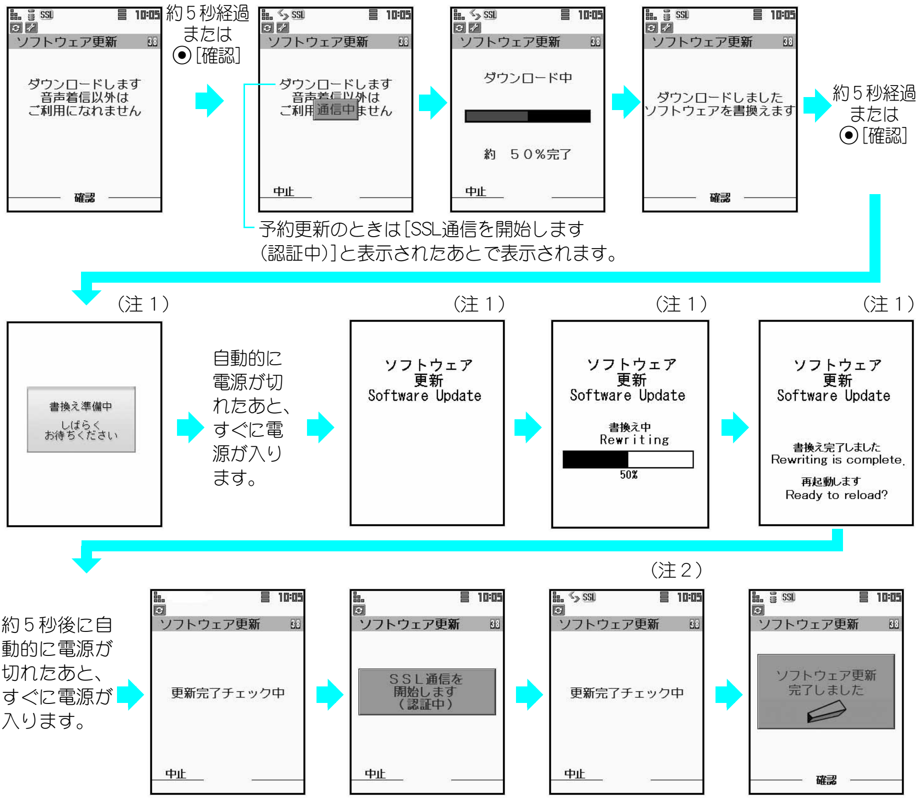
すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 ソフトウェア更新を起動（☞**P.394**の操作１～５）▶①［今すぐ更新］

ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

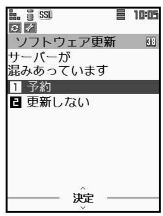
- 更新しないとき：③［更新しない］

次ページへ続く▶▶



(注1)すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
(注2)[更新完了チェック中]と表示されたあと、すぐに次の画面が表示されます。

- ⊖を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。ダウンロード中に終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます。(ソフト書換え中は操作できません。)
- [通信中]と表示されたあと、[サーバーが混みあっています]と表示されたときは、①[予約]を押します。以降の操作について：☞P.397「日時を予約してソフトウェアを更新する＜予約更新＞」の操作2～3
  予約しないときは、②[更新しない]を押します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、[はい]を選択し、◉を押します。



2 ◉[確認]

お知らせ

- 操作1～2を行っているときに[書換え準備中　しばらくお待ちください]、[ソフトウェア更新]、[ソフトウェア更新 書換え中]、[書換え完了しました　再起動します]と表示されているときは、圏外と同じ状態になり着信できません。これ以外の画面が表示されているときは着信できます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作1～2を行っているときに送信されてきたｉモードメールやメッセージR/FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新終了後、待受画面に[ソフトウェア更新完了]または[ソフトウェア更新説明あり]と表示されたら、◉を押してください。正常に完了しなかった場合は、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。◉を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバーが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 P.394の操作１～５を行う▶②[予約]

- 日時は、サーバーの時刻に合わせて表示されます。
- 操作を中止するとき：操作１～４で⊖▶[はい]▶◉



2 希望日時を選択▶◉

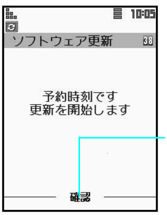
- [その他の日時]を選択したとき：サーバーと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選択することができます。まず希望日を選んで◉を押し、次に希望時間帯を選んで◉を押します。
時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が[○：空あり]、[△：空わずか]のように表示されます。希望する時間帯を一つ選んで◉を押すと、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選んで◉を押します。

3 [はい]▶◉▶◉[確認]

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。

■予約した日時になると

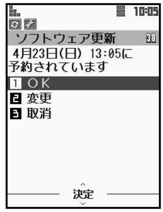


予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>」の操作１と同じ動作になります。
約５秒経過する、または◉[確認]を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時に電池残量アイコンが[▭]または[▭]になっていると、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、メール送信中、ｉモード中、ｉアプリ起動中、メニュー表示中、外部機器接続中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中など操作を行っていた場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。メール受信中の場合は、メール受信終了後にソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は（自動マナーモード解除は除く）、アラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約した日時に通話中（着信中および発信中を含む）の場合、約10分以内に待受画面に戻るとソフトウェア更新が起動されます。それ以上経過して待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。
- 予約が完了したあとに「データ一括削除（ユーザデータ削除）」（☞P.329）を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力▶⦿



予約を確認したとき	①
予約を変更	②▶[OK]▶⦿ 希望日選択画面が表示されます。 ●以降の操作について：☞P.397「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作1～3
予約を取り消す	③▶[はい]▶⦿▶[OK]▶⦿▶[予約を取消しました]と表示▶⦿

お知らせ

- 操作中に電話がかかってきた場合は電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。送信されてきたｉモードメールやメッセージR／FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

ｉモードサイトなどからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取得したデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

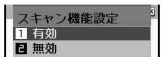
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時　有効

スキャン機能設定を［有効］に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［スキャン機能設定］

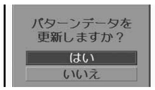


2 ①［有効］▶［はい］▶◉

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に５段階の警告レベルで表示されます。（☞P.400）

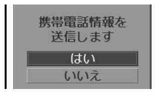
パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 TOPメニュー▶5（設定）▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［パターンデータ更新］



2 ［はい］▶◉

- 携帯電話情報を送信しないとき：［いいえ］▶◉



3 ［はい］▶◉

- ダウンロードを中止するとき：⑧［中止］／⊖▶［はい］▶◉
- パターンデータ更新の必要がないとき：［パターンデータは最新です］と表示▶◉（そのままご利用ください。）

4 パターンデータ更新が完了▶◉

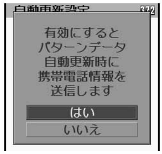
お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する<自動更新設定>

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 TOPメニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[自動更新設定]▶[有効]▶◉



2 [はい]▶◉▶[はい]▶◉▶◉[確認]

お知らせ

- 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
- 自動更新設定の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

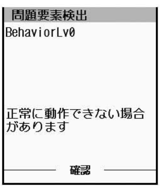
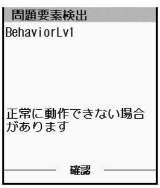
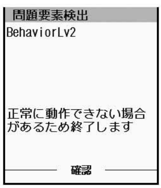
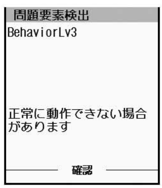
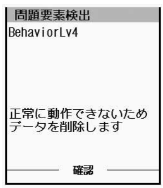
スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について



- スキャンを実行すると、問題要素名のレベルの大きい順にスキャン結果の画面が表示されます。
- 問題要素を検出した場合、最大5個まで問題要素名が表示されます。6個以上検出した場合は、5個目の問題要素名の下に[などの問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、1個のみ表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
				
表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。◉[確認]を押すと表示／起動／発信できます。	◉[確認]を押すと[動作を中止しますか？]と表示され、[いいえ]を選択し、◉を押すと表示／起動／発信できます。[はい]を選択し、◉を押すと終了します。	表示／起動／発信できません。◉[確認]を押すと終了します。	表示／起動できません。◉[確認]を押すと[データを削除しますか？]と表示され、[はい]を選択すると削除されます。[いいえ]を選択し、◉押すとデータを削除しないで終了します。	表示／起動できません。[データを削除します]と表示されます。◉[確認]を押すと削除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 **TOP**メニュー▶5(設定)▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[バージョン表示]



主な仕様

品名		FOMA SH702iD
サイズ(H x W x D)		94(H)×45(W)×19.9(D)mm(折りたたみ時)(最厚部)
質量		約89g(電池パック装着時)
液晶部	方式	TFT液晶
	サイズ	2.0inch
	画素数	縦320×横240ドット
連続待受時間※1、3		静止時　約420時間※4 移動時　約330時間※5
連続通話時間※2、3		音声電話　約130分 テレビ電話　約80分
最大出力		0.25W
電池パック種別		専用リチウムイオン蓄電池
電源電圧		3.7V
電池容量		720mAh
ACアダプタでの充電時間		約110分
DCアダプタでの充電時間		約110分
撮像素子	種類	メインカメラ／CMOS※6、サブカメラ／CMOS※6
	サイズ	メインカメラ　CMOS総画素数　約149万画素※6 サブカメラ　CMOS総画素数　約12万画素※6
カメラ部	有効画素数	メインカメラ　131万画素 サブカメラ　11万画素
	記録画素数	メインカメラ　123万画素 サブカメラ　10万画素
	ズーム(デジタル)	メインカメラ　最大約25倍 サブカメラ　最大約４倍

※１　連続待受時間とは、FOMA SH702iD端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い場合)などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。
ｉモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。

※２　連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※３　データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※４　FOMA SH702iD端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※５　FOMA SH702iD端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※６　CMOS(complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

主な仕様(データBOX)

miniSDメモリーカードに保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安は次のとおりです。
● 保存できる枚数や時間は、撮影環境や被写体などの条件により少なくなることがあります。

■静止画撮影枚数(32Mバイト)

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン:76×76	−	約1800枚	−
sQCIF:128×96	約1800枚	約900枚	約900枚
QCIF:176×144	約1800枚	約900枚	約600枚
待受:240×320	約900枚	約750枚	約300枚
CIF:352×288	約900枚	約600枚	約300枚
VGA:480×640	約600枚	約450枚	約300枚
1.2M:960×1280	約300枚	約150枚	約90枚

■静止画撮影枚数(16Mバイト)

	ECONOMY	NORMAL	SUPER FINE
アイコン:76×76	−	約860枚	−
sQCIF:128×96	約860枚	約430枚	約430枚
QCIF:176×144	約860枚	約430枚	約280枚
待受:240×320	約430枚	約360枚	約140枚
CIF:352×288	約430枚	約280枚	約140枚
VGA:480×640	約280枚	約210枚	約140枚
1.2M:960×1280	約140枚	約70枚	約40枚

■動画撮影時間(32Mバイト)

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF:128×96	メール用(短)	映像+音声	約90秒	約61秒	約30秒	−
		映像のみ	約124秒	約75秒	約36秒	−
	メール用(長)	映像+音声	約152秒	約103秒	約51秒	−
		映像のみ	約210秒	約127秒	約61秒	−
	制限なし	映像+音声	約156分	約106分	約52分	−
		映像のみ	約214分	約130分	約62分	−
QCIF:176×144	メール用(短)	映像+音声	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
		映像のみ	約102秒	約52秒	約18秒	約11秒
	メール用(長)	映像+音声	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約172秒	約89秒	約30秒	約20秒
	制限なし	映像+音声	約130分	約79分	約28分	約19分
		映像のみ	約176分	約91分	約31分	約20分
hQVGA:240×176	メール用(短)	映像+音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	メール用(長)	映像+音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	制限なし	映像+音声	−	約31分	約15分	約10分
		映像のみ	−	約34分	約16分	約10分
QVGA:320×240	メール用(短)	映像+音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	メール用(長)	映像+音声	−	−	−	−
		映像のみ	−	−	−	−
	制限なし	映像+音声	−	−	−	約10分
		映像のみ	−	−	−	約10分

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。(☞P.278)

動画撮影時間（16Mバイト）

			ECONOMY	NORMAL	FINE	SUPER FINE
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約90秒	約61秒	約30秒	－
		映像のみ	約124秒	約75秒	約36秒	－
	メール用（長）	映像＋音声	約152秒	約103秒	約51秒	－
		映像のみ	約210秒	約127秒	約61秒	－
	制限なし	映像＋音声	約72分	約49分	約24分	－
		映像のみ	約101分	約61分	約29分	－
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約77秒	約45秒	約16秒	約11秒
		映像のみ	約102秒	約52秒	約18秒	約11秒
	メール用（長）	映像＋音声	約131秒	約77秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約172秒	約89秒	約30秒	約20秒
	制限なし	映像＋音声	約61分	約37分	約13分	約9分
		映像のみ	約83分	約43分	約14分	約9分
hQVGA：240×176	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	－
		映像のみ	－	－	－	－
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	－
		映像のみ	－	－	－	－
	制限なし	映像＋音声	－	約14分	約7分	約4.75分
		映像のみ	－	約16分	約7分	約4.9分
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	－
		映像のみ	－	－	－	－
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	－
		映像のみ	－	－	－	－
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約4.75分
		映像のみ	－	－	－	約4.9分

音声録音時間（ボイスレコーダー）

● 32Mバイトの場合、最大約５時間です。（16Mバイトの場合、約２時間20分です。）

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SH702iDの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2.0W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SH702iDのSARの値は1.46W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/product/
シャープ株式会社のホームページ	http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

索引／クイックマニュアル

索引

た

な

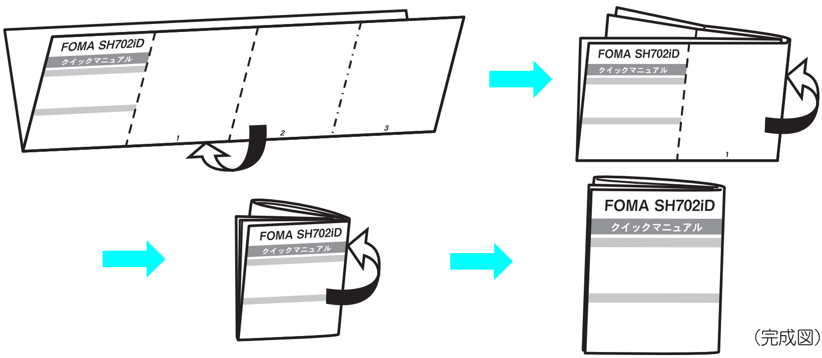
は

ま

クイックマニュアル

次ページからのクイックマニュアルは、切り取り線で切り離してご利用いただけます。

折りたたみ方



（完成図）

お知らせ

- 切り離しの際、けがなどをしないように十分ご注意ください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう

NTT DoCoMo **FOMA SH702iD**

クイックマニュアル

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)113(無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳登録

1 待受画面▶ⓜ(1秒以上)▶①[本体新規]／②[FOMAカード(UIM)新規]
2 名前▶◉▶[ ]／[ ]※▶◉▶電話番号▶◉▶電話種別▶◉▶[ ]／[ ]※▶◉▶メールアドレス▶◉▶メールアドレス種別▶◉
※FOMAカードの場合
3 ⓢ[完了]▶メモリ番号(FOMAカードのときは省略)

登録できる項目

アイコン	項　目	補　足
[ ]	名前	全角16文字(半角32文字)以内　FOMAカードのときは全角10文字(半角21文字)以内
[ｶﾅ]	フリガナ	自動的に入力(半角カナ32文字以内　FOMAカードのときは全角カナ12文字以内)
[ ]	グループ	20種類　FOMAカードのときは11種類
[ ]、[ ]	電話番号	3件まで　FOMAカードのときは1件
[ ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]、[ ]	電話種別※	7種類
[ ]、[ ]	メールアドレス	3件まで　FOMAカードのときは1件
[ ]、[ ]、[ ]、[ ]	メールアドレス種別※	4種類
[ ]	郵便番号※	半角7文字
[ ]	住所※	全角50文字(半角100文字)以内
[ ]	誕生日※	半角数字のみ
[ ]	メモ※	全角100文字(半角200文字)以内
[ ]	シークレット登録※	電話帳に表示しない
[ ]	シークレットコード※	4桁の数字
[♪]	指定着信音選択※	—
[ ]	指定メール着信音選択※	—
[ ]	指定着信ランプ色※	—
[ ]	指定着信ランプパターン※	—
[ ]	指定メール着信ランプ色※	—
[ ]	指定メール着信ランプパターン※	—
[ ]	ピクチャーコール設定※	1件
[ ]	キャラ電設定※	—

※ FOMAカードのときは登録できません。

電話帳編集

1 待受画面▶ⓜ▶名前▶ⓜ▶③▶①▶項目▶◉▶編集

電話帳を呼び出して電話をかける

1 待受画面▶ⓜ
検索方法を切り替えるとき：ⓜ▶①▶検索方法
2 名前▶◉▶①／◉

文字入力

入力モードを切り替える

1 文字入力画面▶ⓜ
ⓜを押すごとに、ア(全角カタカナ)▶ｱ(半角カタカナ)▶A(全角英数字)▶A(半角英数字)▶1(半角数字)▶区(区点コード)▶漢(漢字・ひらがな)の順に切り替わります。

小文字を入力する

1 全角英数字モード／半角英数字モード▶ⓜ
小文字入力モードに切り替わります。
文字入力後の小文字変換：ⓜ

ワンタッチ変換する

1 文字入力後に◯

絵文字・記号を入力する

1 文字入力画面▶ⓢ[絵・記号]
絵文字モードと記号モードが交互に切り替わります。

文字を削除する

1 カーソルを合わせてⓒ
すべての文字を削除するとき：ⓒ(1秒以上)

定型文を利用する

1 文字入力画面▶ⓜ(1秒以上)
2 定型文の分類▶◉
3 定型文▶◉(2回)

顔文字を入力する

1 文字入力画面▶ⓜ▶[顔文字]▶◉▶顔文字▶◉

文字入力例

例)「今日のテニス3時🎾」

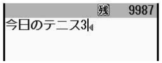
1 文字入力画面▶②(2回)▶◯▶[今日]▶◉
●ダイヤルボタンでひらがなを入力します。押す回数で文字が変わります。
●ひらがなを1文字入力するたびに、変換する候補が表示され、選択できます。
●ⓜで小文字変換されます。



●同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、◯を押してカーソルを移動させる、または最初の文字を入力したあとで、同じボタンを(1秒以上)押します。
2 ◯▶[の]▶◉
3 ④▶⑤▶③▶◯▶[テニス]▶◉
●◯でワンタッチ変換されます。



4 ⓜ(5回)▶③
●ⓜ5回で半角数字モードになります。



5 ⓜ(2回)▶③(2回)▶㊉▶◯▶[時]▶◉
●㊉で濁点が付きます。



6 ⓢ[絵・記号]▶◯▶[🎾]▶◉



カメラ－静止画撮影

1 待受画面▶ⓜ
2 ◉
3 ◉[保存]

カメラ－動画撮影

1 静止画撮影画面▶ⓜ▶①▶②
2 ◉[録画]▶(録画)
3 ◉[停止]
4 ①[保存]

静止画を表示する

1 待受画面▶◉▶⑨▶①▶①▶フォルダ▶◉▶静止画▶◉

動画を表示する

1 待受画面▶◉▶⑨▶①▶②▶フォルダ▶◉▶動画▶◉

ボイスレコーダーで録音する

1 待受画面▶◉▶⑨▶③▶②▶◉[録音]▶(録音)▶◉[停止]▶①[保存]

テレビ電話

テレビ電話をかける

1 待受画面▶電話番号を入力▶ⓢ

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話着信▶①

テレビ電話中にキャラ電を代替画像として送る

1 ⓜ▶③▶③▶フォルダ▶◉▶キャラ電▶ⓢ

ブックリーダー

電子辞書や電子書籍を表示する

1 待受画面▶◉▶⑨▶③▶③▶フォルダ▶◉▶電子書籍／電子辞書▶◉
行を移動するとき：◯(横書き)／◯(縦書き)
次／前のページを表示するとき：ⓜ[▼ページ]／ⓜ[▲ページ]

<切り取り線>

ｉモードメール作成・送信

1 待受画面▶✉（１秒以上）▶[宛先]▶⦿
2 ②▶宛先▶⦿
電話帳から選択するとき：①▶相手▶⦿
メール送信／メール受信履歴から選択するとき：③／④▶相手▶⦿（２回）
メールメンバーから選択するとき：⑤▶メンバー
3 [題名]▶⦿▶題名▶⦿▶[本文]▶⦿▶本文
4 ⓘ[送信]



デコメールを送る

1 本文入力画面▶📷▶①
2 デコレーション選択▶ⓘ[文字入力]▶文字を入力
3 📷▶⊙▶⑦[プレビュー]▶⦿
4 ⦿▶ⓘ[送信]

画像／メロディを送る

1 待受画面▶⦿▶⑨▶①▶①
動画／ｉモーションを送るとき：⦿▶⑨▶①▶②
メロディを送るとき：⦿▶⑨▶①▶③
2 フォルダ▶⦿▶ファイル

3 ✉[メール]
動画／ｉモーションのとき：✉[メール]▶サイズを選択▶⦿

SMS（ショートメッセージ）作成・送信

1 待受画面▶✉▶⑤
2 [宛先]▶⦿▶②▶宛先▶⦿▶[本文]▶⦿▶本文▶⦿
3 ⓘ[送信]

ｉモード問い合わせ

1 待受画面▶✉▶⑦
SMSのとき：✉▶⑧

メール自動受信

1 メールが届くと自動的に受信する
2 [メール]▶⦿▶フォルダ▶⦿▶メール▶⦿



メニュー一覧

TOPメニューから選択

1 待受画面▶⦿
2 TOPメニュー▶アイコン▶⦿
3 機能▶⦿

TOPメニュー／ショートカットメニュー／ズームメニューの切替

1 待受画面▶⦿▶ⓘ

機能番号で呼び出す

1 待受画面▶⦿▶機能番号

音

機能メニュー		機能番号
音量選択	着信音量選択	①①①
	メール着信音量選択	①①②
	チャットメール着信音量選択	①①③
	各種設定音量選択	①①④
音選択	着信音選択	①②①
	メール着信音選択	①②②
	チャットメール着信音選択	①②③
	各種設定音選択	①②④
バイブレータ設定	着信バイブレータ	①③①
	メール着信バイブレータ	①③②
マナーモード設定	通常マナーモード	①④①①
	サイレントマナーモード	①④①②
	オリジナルマナーモード	①④①③
着信音出力切替		①⑤
メール着信鳴動時間		①⑥
呼出動作開始時間設定		①⑦
保留・応答保留音	応答保留音	①⑧①
	保留音	①⑧②

表示

機能メニュー		機能番号
待受画面設定	待受画面設定	②①①
	待受時計表示設定	②①②
	カレンダー表示設定	②①③
	ｉチャネルテロップ設定	②①④
文字表示設定		②②
テーマカラー設定		②③
画面カスタマイズ設定	発着信画面設定	②④①
	メール送受信画面設定	②④②
	サブメニュー画像設定	②④③
	お知らせウィンドウアニメ	②④④
	マーク表示設定	②④⑤
ランプ設定	着信ランプ	②⑤①
	メール受信ランプ	②⑤②
	着信／メールお知らせランプ	②⑤③
	通話中ランプ	②⑤④
	充電完了ランプ	②⑤⑤
	音楽再生中ランプ	②⑤⑥
	アラーム／タイマーランプ	②⑤⑦
省電力設定	通常モード	②⑥①
	節約モード	②⑥②
	ユーザ設定	②⑥③

一般設定

機能メニュー		機能番号
確認	所有者情報	③①①
	メモリ確認	③①②
	電池残量確認	③①③
	設定状況確認	③①④
文字入力設定	ユーザ辞書	③②①
	ダウンロード辞書	③②②
	定型文編集	③②③
	変換学習クリア	③②④
自動電源ON／OFF	自動電源ON	③③①
	自動電源OFF	③③②
	アラーム連動電源ON	③③③
日時設定		③④
Bilingual		③⑤
USBモード設定		③⑥
スキャン機能	パターンデータ更新	③⑦①
	自動更新設定	③⑦②
	スキャン機能設定	③⑦③
	バージョン表示	③⑦④
ソフトウェア更新		③⑧
設定リセット		③⑨

NWサービス

機能メニュー		機能番号
留守番電話	メッセージ問合せ	④①①
	留守番メッセージ再生	④①②
	留守番電話サービス開始	④①③
	留守番呼出時間設定	④①④
	留守番サービス停止	④①⑤
	留守番設定確認	④①⑥
	留守番サービス設定	④①⑦
	件数お知らせ設定	④①⑧
	着信通知	④①⑨
キャッチホン	キャッチホンサービス開始	④②①
	キャッチホンサービス停止	④②②
	キャッチホンサービス設定確認	④②③
転送でんわ	転送サービス開始	④③①
	転送サービス停止	④③②
	転送先変更	④③③
	転送先通話中時設定	④③④
	転送サービス設定確認	④③⑤

機能メニュー		機能番号
迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	④④①
	電話番号指定拒否登録	④④②
	迷惑電話全登録削除	④④③
	迷惑電話１登録削除	④④④
	拒否登録件数確認	④④⑤
発信者番号通知	設定確認	④⑤①
	発信者番号通知設定	④⑤②
番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	④⑥①
	番号通知サービス停止	④⑥②
	サービス設定確認	④⑥③
通話時間／料金確認		④⑦
通話中着信設定	通話中着信設定開始	④⑧①
	通話中着信設定停止	④⑧②
	通話中着信設定確認	④⑧③
着信動作選択	留守番電話	④⑨①
	転送でんわ	④⑨②
	着信拒否	④⑨③
	通常着信	④⑨④

<切り取り線>

その他のNWサービス

機能メニュー		機能番号
遠隔操作設定	遠隔操作開始	⑤①①
	遠隔操作停止	⑤①②
	遠隔操作設定確認	⑤①③
デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	⑤②①
	デュアルネットワーク状態確認	⑤②②
英語ガイダンス	ガイダンス設定	⑤③①
	ガイダンス設定確認	⑤③②
サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	⑤④①
	ドコモ総合案内・受付	⑤④②
追加サービス	USSD登録	⑤⑤①
	応答メッセージ登録	⑤⑤②
マルチナンバー	通常発信番号設定	⑤⑥①
	通常発信番号設定確認	⑤⑥②
	電話番号設定	⑤⑥③

通話・通信機能設定

機能メニュー		機能番号
通話中設定	ノイズキャンセラ	⑥①①
	再接続機能	⑥①②
	通話品質アラーム	⑥①③
イヤホンマイク自動発信		⑥②
着信時設定	エニーキーアンサー	⑥③①
	オート着信設定	⑥③②
テレビ電話設定	音声自動再発信	⑥④①
	送信画像設定	⑥④②
	テレビ電話画面設定	⑥④③
	子画面表示位置	⑥④④
	送信画質設定	⑥④⑤
	テレビ電話切替機能通知	⑥④⑥
	テレビ電話ハンズフリー設定	⑥④⑦
伝言メモ設定	伝言メモ設定	⑥⑤①
	伝言応答時間	⑥⑤②
	応答メッセージ	⑥⑤③
	テレビ電話時応答画像	⑥⑤④
クローズ動作設定		⑥⑥
セルフモード		⑥⑦
その他の設定	プレフィックス設定	⑥⑧①
	サブアドレス設定	⑥⑧②
	国際ダイヤル設定	⑥⑧③

セキュリティ

機能メニュー		機能番号
シークレットモード		⑦①
FOMAカード(UIM)設定	PIN1コード入力設定	⑦②①
	PIN1コード変更	⑦②②
	PIN2コード変更	⑦②③
着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	⑦③①
	電話帳指定着信拒否	⑦③②
	電話帳登録外	⑦③③
	非通知設定	⑦③④
	公衆電話	⑦③⑤
	通知不可能	⑦③⑥
発着信履歴表示	着信履歴表示	⑦④①
	リダイヤル表示	⑦④②
メール履歴表示	メール送信履歴表示	⑦⑤①
	メール受信履歴表示	⑦⑤②
ロック設定	オールロック	⑦⑥①
	ダイヤル発信制限	⑦⑥②
	PIMロック	⑦⑥③
	遠隔オールロック	⑦⑥④
端末暗証番号変更		⑦⑦
データ一括削除	ユーザデータ削除	⑦⑧①
	シークレットデータ削除	⑦⑧②

その他の設定

機能メニュー	機能番号
初期設定	⑧
電話番号表示	⓪

データBOX

機能メニュー	機能番号
マイピクチャ	⑨①①
iモーション	⑨①②
メロディ	⑨①③
キャラ電	⑨①④
プリント指定(DPOF)	⑨①⑤

生活ツール

機能メニュー		機能番号
バーコードリーダー		⑨②①
赤外線受信		⑨②②
miniSD管理		⑨②③
文字読み取り		⑨②④
モードイルミ		⑨②⑤
アラーム		⑨②⑥
スケジュール	スケジュール	⑨②⑦①
	ToDoリスト	⑨②⑦②

機能メニュー		機能番号
便利機能	電卓	⑨②⑧①
	テキストメモ	⑨②⑧②
	タイマー	⑨②⑧③

メディアツール

機能メニュー	機能番号
モバイルオーディオ	⑨③①
ボイスレコーダー	⑨③②
ブックリーダー	⑨③③

その他の機能

マナーモード　設定／解除	[#](1秒以上)
公共モード(ドライブモード)設定／解除	[*](1秒以上)
リダイヤルの表示	[右]
着信履歴の表示	[左]
ｉチャネル情報表示	[上]
ショートカットメニュー／アクティブマーカー表示	[下]
ｉモードメニューの表示	[iモード]
ｉアプリ画面の表示	[iモード](1秒以上)
伝言メモ／音声メモの機能	[左](1秒以上)
メールメニューの表示	[メール]

電話帳の表示	[電話帳]
カメラ(静止画モード)起動	[カメラ]
カメラ(動画モード)起動	静止画撮影画面▶[カメラ]▶①▶②
データBOX画面の表示	[カメラ](1秒以上)
サポートブック(内蔵)	[サイド](サイドボタン)
マルチアシスタント(マルチタスク)の起動	操作中▶[サイド](サイドボタン)
ショートカットメニューの登録	[ショートカット]が表示されている画面▶[サイド](サイドボタン)(1秒以上)
ボイスレコーダーの起動	[右](1秒以上)
モバイルオーディオの起動再生	FOMA端末を閉じた状態▶[サイド](サイドボタン)(1秒以上)

ネットワークサービス

※　確認画面が表示されたとき:[はい]▶◉

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3　音声電話に出られないときは留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音する。

STEP 5　伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスの開始	待受画面▶◉▶④▶①▶③▶①
呼出時間を設定してからサービスを開始	待受画面▶◉▶④▶①▶③▶②▶呼出秒数を入力▶◉
留守番電話サービスの停止	待受画面▶◉▶④▶①▶⑤
留守番メッセージの再生	待受画面▶◉▶④▶①▶②
音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定	待受画面▶◉▶④▶①▶⑦
新しい伝言メッセージの確認	待受画面▶◉▶④▶①▶①
留守番電話サービスの設定を確認してから変更	待受画面▶◉▶④▶①▶⑥▶[カメラ]▶各設定
伝言メッセージ増加時に着信音を鳴らす	待受画面▶◉▶④▶①▶⑧▶①▶①[ON]
伝言メッセージマークの消去	待受画面▶◉▶④▶①▶⑧▶②
着信通知の開始	待受画面▶◉▶④▶①▶⑨▶①
着信通知の停止	待受画面▶◉▶④▶①▶⑨▶②
着信通知開始設定確認	待受画面▶◉▶④▶①▶⑨▶③

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:有料)サービスです。

キャッチホンサービスの開始	待受画面▶◉▶④▶②▶①
キャッチホンサービスの停止	待受画面▶◉▶④▶②▶②
キャッチホンサービス設定確認	待受画面▶◉▶④▶②▶③
通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[発信]▶通話▶[発信]▶通話
通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る	通話中に「ププ…ププ…」▶[終話]▶[発信]▶通話
通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける	通話中にダイヤル▶[発信]▶通話▶[終話]▶[発信]▶通話

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション(月額使用料:無料)サービスです。

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に電話がかかる。
STEP 4　電話に出られないときはあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

<切り取り線>

転送でんわサービスの開始	待受画面▶◉▶④▶③▶①▶③▶①▶転送先電話番号の入力▶◉▶②▶呼出秒数を入力▶◉▶①
転送でんわサービスの停止	待受画面▶◉▶④▶③▶②
転送先の変更	待受画面▶◉▶④▶③▶③▶①▶転送先電話番号の修正▶◉▶①
転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対	待受画面▶◉▶④▶③▶④
転送サービス設定確認	待受画面▶◉▶④▶③▶⑤
着信中／通話中にかかってきた電話を転送先へ転送	着信中／通話中▶◎▶②

迷惑電話ストップサービス

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：無料）サービスです。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録	待受画面▶◉▶④▶④▶①

電話番号を選択して着信拒否登録	待受画面▶◉▶④▶④▶②
登録した電話番号をすべて削除	待受画面▶◉▶④▶④▶③
最後に登録した電話番号１件のみを削除	待受画面▶◉▶④▶④▶④
拒否登録した電話番号の件数を確認	待受画面▶◉▶④▶④▶⑤

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（月額使用料：無料）。

番号通知お願いサービスの開始	待受画面▶◉▶④▶⑥▶①
番号通知お願いサービスの停止	待受画面▶◉▶④▶⑥▶②

デュアルネットワークサービスを利用する

お申し込みが必要なオプション（月額使用料：有料）サービスです。

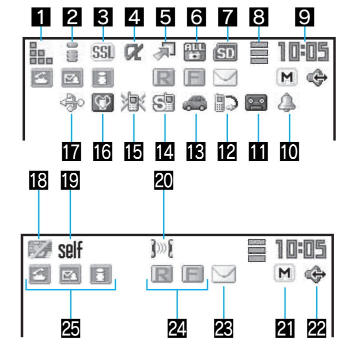
FOMA端末を使えるようにする	待受画面▶◉▶⑤▶②▶①▶ネットワーク暗証番号（４桁の数字）を入力▶◉
設定内容確認	待受画面▶◉▶⑤▶②▶②

FOMAからご利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません。）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）午前８時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
お話中調べ	（局番なし）114
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

マーク一覧

ディスプレイ上部



1 ：電波状態表示
2 ：ｉモード表示
3 ：SSL表示
4 ：ｉアプリ表示
5 ：ショートカットメニュー表示
6 ：制限表示
7 （グレー）（ピンク）（点滅）：miniSDメモリーカード表示
8 ：電池残量／充電中表示
9 時計表示
10 ：アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示
11 ：伝言メモ表示
～ ：伝言メモ１～４件
12 ：イヤホンマイク接続表示
13 ：公共モード（ドライブモード）表示
14 ：サイレント表示
15 ：バイブレータ表示
16 ：マナーモード表示
17 ：USBモード表示
18 FOMAカードエラー表示
：FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードに異常がある
：FOMAカード以外のカード挿入中
19 self ：セルフモード表示
20 （緑色）（赤色）：赤外線通信／外部機器通信中表示

21 メモリ警告表示
（黄色）：メモリの空きが1.2Mバイト未満
（赤色）：メモリの空きが100Kバイト未満
22 （赤色）（緑色）：ハンズフリー表示
23 ｉモードメール／SMS受信表示
（青色）：未読メールあり
（赤色）：受信メールがいっぱい
：センターにメールを保管中
：センターに保管中のメールがいっぱい
（赤文字）：未読SMSあり
（青文字）：FOMAカード内のSMSがいっぱい
24 メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示
R／F ：未読メッセージR／Fあり
R／F ：受信メッセージR／Fがいっぱい
R／F ：センターにメッセージR／Fを保管中
R／F ：センターに保管中のメッセージR／Fがいっぱい
25 マルチタスク表示
：４つ以上のアプリが起動中
：TV電話（64k）
：TV電話（32k）
：音声通話
：ソフトウェア更新中
：赤外線受信
：ｉアプリ
：ｉモード
：メール／SMS
：メール／SMS作成中
：メッセージ
：モバイルオーディオ
：電話帳
：データBOX
：カメラ（静止画）
：カメラ（動画）
：カメラ（OCR）

：ｉチャネル
：ボイスレコーダー
：スケジュール
：To Do
：テキストメモ
：電卓
：ブックリーダー
：アラーム
：タイマー
：バーコードリーダー
：miniSD管理
：各種設定
：伝言メモ・音声メモ起動中
：リダイヤル表示中
：着信履歴表示中
：電話番号表示中
：モデム通信中

※ 表示されるマークの詳しい説明は、取扱説明書のP.27～P.29を参照してください。

FOMA SH702iD

クイックマニュアル

お申し込み・お問合せ

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

調子が悪いときは

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞P.109）／オリジナルマナーモード（☞P.110）

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、ボタン確認音、電池残量警告音、マナー再生）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●公共モード（ドライブモード）（☞P.62）

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞P.107）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞P.65）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.332）、転送でんわサービス（☞P.335）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

i モードから	i Menu ▶ 料金&お申込 ▶ ドコモeサイト パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※ 一般電話などからはご利用できません。

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　シャープ株式会社

Li-ion
環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。

'06.4（3版）
TINSJA162AFZB
06D 64.0 YM TU420④

データ通信マニュアル

'06.3(2版)
TINSJA199AFZA

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmusea™、sigmarion®Ⅱ、sigmarion®Ⅲと接続してデータ通信を行うことができます。musea™、sigmarion®Ⅱを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。
  アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます。（通信環境や電波などが込み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。）

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。

FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話とデータ転送する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどとデータ転送する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルを利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

データ通信用語集

APN（Access Point Name）
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid（Context Identifier）
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では１番から10番まで使えます。

DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：mopera.net）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の１つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。（☞P.39、P.46）

W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の１つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー
Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。１台のパソコンに最低１人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

パソコンとFOMA端末を接続する（☞P.4）

↓

通信設定ファイルをインストールする（☞P.5）

	Windows XPをお使いのとき	Windows 2000 Professionalをお使いのとき	Windows Meをお使いのとき	Windows 98をお使いのとき
インストールする	P.5	P.6	P.7	P.8
インストール後の確認をする	P.9	P.9	P.9	P.9

↓

FOMA PC設定ソフトをインストールする（☞P.12）

↓

かんたん設定でパケット通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※（☞P.15）
- その他のプロバイダ（☞P.16）

かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする
- mopera Uまたはmopera※（☞P.18）
- その他のプロバイダ（☞P.19）

↓

接続する（☞P.20）

（または）

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする
- パケット通信（☞P.24）
- 64Kデータ通信（☞P.24）

↓

接続する（☞P.34）

※ FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。（☞P.5〜P.8）

お知らせ

- インストールに失敗してP.9の操作３の各画面で[FOMA SH702iD]のデバイス名が表示されていない場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.10）、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.10）、もう一度インストールしてください。
- 自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.10）、もう一度インストールしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。（☞P.11）

また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末より取得したユーザー証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります。）詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ※2	Windows 98、Windows Me：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1　USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

※2　必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

FirstPass PCソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版） （Windows 98には対応していません。）
必要メモリ※	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ● Windows XPの場合はInternet Explorer 6.0以上

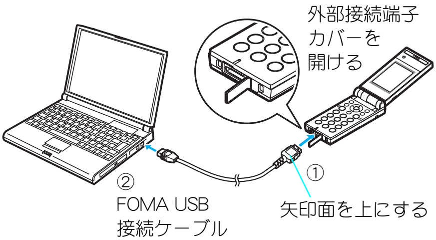
※必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に[ ]が表示されます。

FOMA USB接続ケーブルで接続する



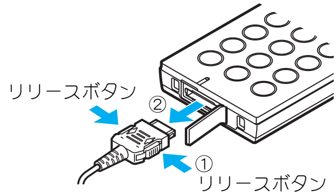
1 **FOMA USB接続ケーブル(別売)のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(①)**

2 **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(②)**

- はじめてパソコンに接続する場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識し、ウィザード画面が表示されます。(☞P.5)

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押した状態(①)で、FOMA端末からコネクタを抜く(②)(無理に引っ張ると故障の原因になります。)



2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルのコネクタを抜く

お知らせ

- 通信の切断・誤動作・データの消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルの取り外しは行わないでください。

通信設定ファイルをインストールする

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

Windows XPにインストールする

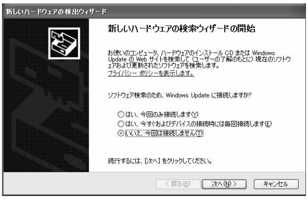
パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。(閉じてください。)この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

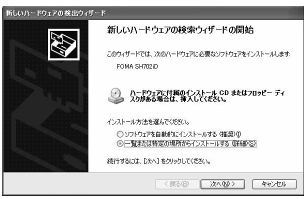
2 **FOMA**端末をパソコンに接続(☞**P.4**)

3 [いいえ、今回は接続しません] ▶ [次へ]をクリック

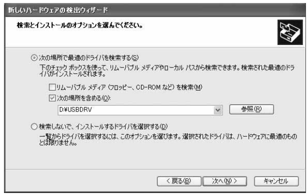


- お使いのパソコンにより、この画面が表示されない場合があります。

4 [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)] ▶ [次へ]をクリック



5 検索するフォルダを指定



1 [次の場所で最適のドライバを検索する]
2 [次の場所を含める] ▶ [参照]をクリック
　次のディレクトリを指定します。
　<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV
3 [次へ]をクリック
　インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。

6 [新しいハードウェアの検索ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリック

インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

7 引き続き他のドライバをインストール

- 以降、操作3～6をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
  ③コマンドポートドライバ
  すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから[新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました]というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。(☞P.9)

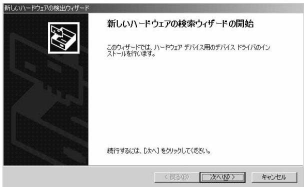
■Windows 2000 Professionalにインストールする

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

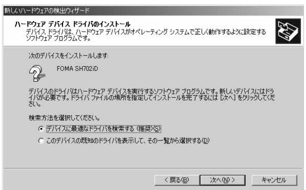
1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続▶[次へ]をクリック

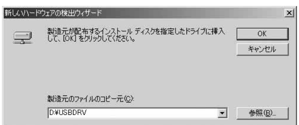


3 [デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]▶[次へ]をクリック



4 [場所を指定]▶[次へ]をクリック

5 コピー元を指定▶[**OK**]をクリック



- コピー元には次のディレクトリを指定します。<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV
- [参照]をクリックした場合は、上記ディレクトリからいずれかのファイルを選択して[開く]をクリックします。

6 [ドライバファイルの検索　ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しました。]が表示されたら、[次へ]をクリック

インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。

- 表示されるフォルダ名は、お使いのパソコンによって異なります。

7 [完了]をクリック

インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

8 引き続き他のドライバをインストール

以降、操作３～７をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。

①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ

③コマンドポートドライバ

- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.9）

Windows Meにインストールする

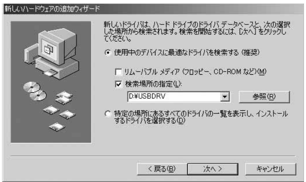
1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続▶［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］▶［次へ］をクリック



3 検索するフォルダを指定



1. ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］
2. ［検索場所の指定］▶［参照］をクリック
   次のディレクトリを指定します。
   <CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV
3. ［次へ］をクリック
   インストール準備完了画面が表示されます。

4 ［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］が表示されたら、［次へ］をクリック

インストールが開始されます。インストールが終了するとウィザードの完了画面が表示されます。

- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

5 ［完了］をクリック

インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

6 引き続き他のドライバをインストール

以降、操作3～5をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。

①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
③コマンドポートドライバ

- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.9）

Windows 98にインストールする

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。（閉じてください。）この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 **FOMA**端末をパソコンに接続▶[次へ]をクリック



3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]▶[次へ]をクリック



4 検索するフォルダを指定

1 [検索場所の指定]▶[参照]をクリック
　次のディレクトリを指定します。
　<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV

2 [次へ]をクリック

5 [更新されたドライバ（推奨）]▶[次へ]をクリック



6 [次のデバイス用のドライバファイルを検索します。]が表示されたら、[次へ]をクリック

インストールが開始されます。

- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

7 [新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。]が表示されたら、[完了]をクリック

インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

8 [次の新しいドライバを検索しています：]が表示されたら[次へ]をクリック▶引き続き他のドライバをインストール

以降、操作３～７（操作５を除く）をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。

①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ
③コマンドポートドライバ

- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.9）

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。
＜例＞Windows XPで確認するとき

1 [スタート]メニュー▶[コントロールパネル]をクリック▶[パフォーマンスとメンテナンス]アイコン▶[システム]アイコンをクリック

システムのプロパティ画面が表示されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- [スタート]メニュー▶[設定]▶[コントロールパネル]をクリック▶[システム]アイコンをダブルクリック

2 [ハードウェア]タブをクリック▶[デバイスマネージャ]をクリック

デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows 2000 Professionalの場合

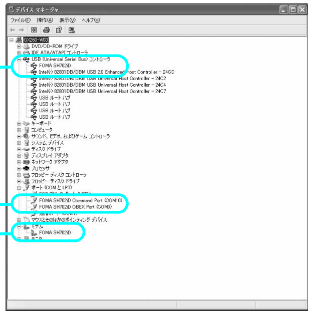
- [ハードウェア]タブをクリック▶[デバイスマネージャ]をクリック
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

Windows Me、98の場合

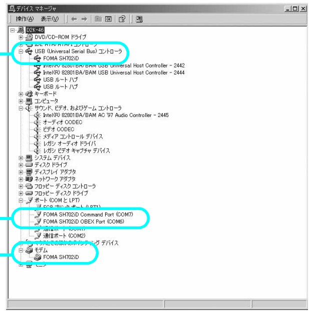
- [デバイスマネージャ]タブをクリック
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

3 各デバイスをクリック▶インストールされたデバイス名を確認

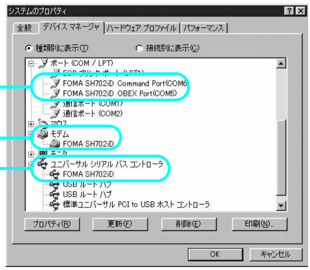
[ポート(COMとLPT)]または[ポート(COM/LPT)]、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]または[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]、[モデム]の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。



Windows XPの場合



Windows 2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

認識されるとこのように表示されます。

- 通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート(COM/LPT)	FOMA SH702iD Command Port(COMx) FOMA SH702iD OBEX Port(COMx)
モデム	FOMA SH702iD
USB(Universal Serial Bus)コントローラ	FOMA SH702iD

※「COMx」の「x」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。

次ページへ続く

関連操作
インストールに失敗したとき、または操作３の画面に[FOMA SH702iD]が表示されていないとき
● アンインストールしてから再度インストールしてください。アンインストールの操作については下記を参照してください。

通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。OSによって画面表示などが異なります。

- パソコンとFOMA端末が接続されていないことを確認してからアンインストールしてください。
- Windows XP、2000 Professionalで通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

添付のCD-ROMからアンインストールする

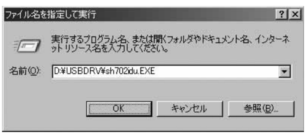
<例>Windows XPでアンインストールするとき

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

- ランチャ画面が表示された場合は、画面を終了してください。(閉じてください。)この画面はCD-ROMをパソコンにセットすると自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては表示されないことがあります。

2 [スタート]メニュー▶[ファイル名を指定して実行]をクリック

3 [<**CD-ROM**ドライブ名>:**¥USBDRV¥sh702idu.EXE**]と入力▶[**OK**]をクリック



4 [お使いのパソコンから**FOMA SH702iD**が使用しているファイルをアンインストールいたします]が表示されたら、[実行]をクリック

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

5 [アンインストールが完了しました。]が表示されたら、[完了]をクリック

通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

Windows 98の場合

- [今すぐ再起動しますか？]が表示されたら、[はい]をクリックして、パソコンを再起動してください。

お知らせ

- Windows Meの場合、通信設定ファイルをアンインストールしたあと、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

コントロールパネルからアンインストールする

<例>Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー▶[コントロールパネル]をクリック▶[プログラムの追加と削除]アイコンをクリック

[プログラムの追加と削除]画面が表示されます。

Windows 2000、Me、98の場合

- [スタート]メニュー▶[設定]▶[コントロールパネル]の順に選んで、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [**FOMA SH702iD USB**]▶[変更と削除]をクリック

3 削除するプログラム名を確認▶[実行]をクリック

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [完了]をクリック

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

かんたん設定

- メニューに従って操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「W-TCPの設定」などを簡単に行います。

W-TCPの設定

- [FOMAパケット通信]を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、[W-TCP設定]による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定

- パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
  FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
  お買い上げ時、cidの１番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの３番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
  cid[Context Identifier]…
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号のこと。
  FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（☞P.24）

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。（☞P.3）

STEP 1　FOMA PC設定ソフトをインストールする

お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に添付のW-TCP環境設定ソフト（以後、旧[W-TCP設定ソフト]）、およびFOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧[FOMAデータ通信設定ソフト]）、FOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
FOMA PC設定ソフトは、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP 2　設定前の準備

設定を行う前に以下のことを確認してください。

- FOMA端末とパソコンの接続（☞P.4）
- FOMA端末がパソコンに認識されているか（☞P.9）

STEP 3　かんたん設定で通信の設定を行う

- mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信（☞P.15）
- その他のプロバイダを利用したパケット通信（☞P.16）
- mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信（☞P.18）
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信（☞P.19）

その他の設定：☞P.24

STEP 4　接続する（☞P.20）

インターネットに接続します。

お知らせ

- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、接続先（APN）設定の際、接続先（APN）の情報の取得・書き込みができません。その場合は、Windows標準添付のハイパーターミナルを使って、接続先（APN）の設定をしてください。（☞P.24）

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをインストールする

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがある場合は、FOMA PC設定ソフトの[キャンセル]をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

<例>Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外をご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 添付の**CD-ROM**をパソコンにセット

2 [**FOMA PC**設定ソフトのインストール]をクリック

- 「ランチャ」画面が表示されない場合は、Windowsの「スタート」メニューで[ファイル名を指名して実行]をクリックし、[<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE]と指定して[OK]をクリックします。

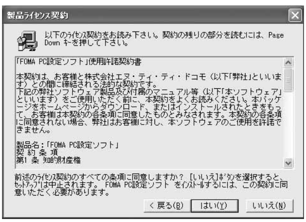
FirstPass PCソフトをインストールする場合

- 「ランチャ」画面▶[FirstPass PCソフトのインストール]をクリック
- CD-ROM内のFirstPassPCSoftフォルダ内の[FirstPassManual]の手順に従ってインストールしてください。
- 「ランチャ」画面が表示された場合は、画面を終了してください。

3 [次へ]をクリック

- 旧[W-TCP設定ソフト]および旧[FOMAデータ通信設定ソフト]がインストールされているという画面や、すでに[FOMA PC設定ソフト]がインストールされているという画面が表示された場合：☞P.13

4 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合▶[はい]をクリック



- FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。[いいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。

5 [タスクトレイに常駐する]が☑であることを確認▶[次へ]をクリック



- インストール後、タスクトレイにW-TCP設定が常駐します。(☞P.21)
  これは、W-TCP通信の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
  インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認▶[次へ]をクリック



- 変更する場合は[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックしてください。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認▶[次へ]をクリック



- 変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックしてください。

8 [セットアップの完了]の画面▶[完了]をクリック

- FOMA PC設定ソフトが起動します。
  このまま各種設定を始められます。(☞P.14)

FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

- 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。[OK]をクリックし、[アプリケーション(プログラム)の追加と削除]より、これらのソフトをアンインストールしてから、「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。

- インストール途中で[キャンセル]をクリックした場合

インストール途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は[いいえ]を、意図的に中止する場合 は、[はい]をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

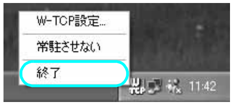
- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフト／FirstPass PCソフトのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

1 タスクトレイの[ ]を右クリック ▶ [終了]をクリック

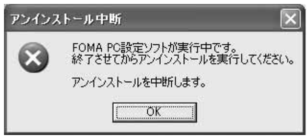
右クリック



クリック



2 起動中のプログラムを終了



- FOMA PC設定ソフトやW-TCP設定ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、上のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールする

<例>Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー▶[コントロールパネル]をクリック▶[プログラムの追加と削除]アイコンをクリック

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

- [スタート]メニュー▶[設定]▶[コントロールパネル]をクリック▶[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]▶[変更と削除]をクリック

[NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選択



ここをクリック

FirstPass PCソフトをアンインストールする場合

- [FirstPass PCソフト]▶[変更と削除]をクリック

Windows Me、98SEの場合

- [追加と削除]をクリック

Windows 2000 Professionalの場合

- [変更と削除]をクリック

3 削除するプログラム名を確認▶[はい]をクリック

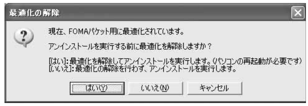
- FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

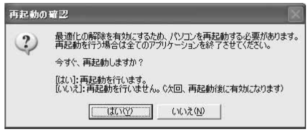
4 [OK]をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

W-TCP最適化の解除

- W-TCPが最適化されている場合は次の画面が表示されます。
- 通常は[はい]をクリックして、最適化を解除してください。
  W-TCP最適化の解除は、パソコンの再起動後に行われます。



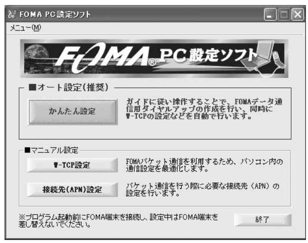


各種設定前の準備

この設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。(☞P.4)

1 プログラムを起動



- [スタート]メニュー▶[プログラム](Windows XPの場合は、[すべてのプログラム])▶[FOMA PC設定ソフト]の順に選択
  FOMA PC設定ソフトを起動すると上の画面が表示されます。

タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

- タスクトレイの[W TCP]をクリック▶W-TCP設定を起動(☞P.21)



各種設定の方法

かんたん設定からパケット通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。送信最大64kbps、受信最大384kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や輻輳状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

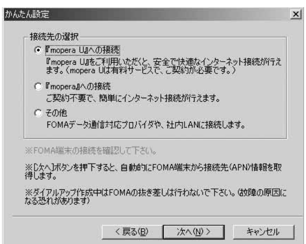
1 **FOMA PC**設定ソフトを起動▶［かんたん設定］をクリック



2 ［パケット通信］▶［次へ］をクリック



3 ［「**mopera U**」への接続］／［「**mopera**」への接続］▶［次へ］をクリック

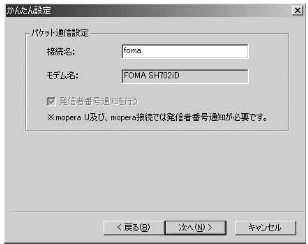


- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用の場合（☞P.16）
- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。

4 ［**FOMA**端末設定取得］の画面▶［**OK**］をクリック

- パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

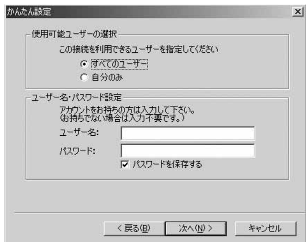
5 接続名を入力▶［次へ］をクリック



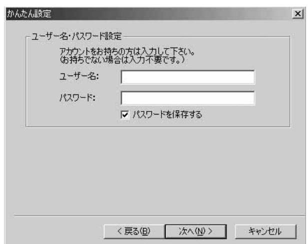
- ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
￥ / : ＊ ? ! < > | ”

6 ［次へ］をクリック

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、［ユーザー名］と［パスワード］については空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、ご利用のパソコンにログオンできるユーザーに対して、使用可能なユーザーを選択します。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

次ページへ続く

7 [最適化を行う]が☑であることを確認▶[次へ]をクリック



- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認▶[完了]をクリック

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

9 [完了]の画面▶[OK]をクリック

- W-TCPの設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、[はい]を選択します。
- 通信を行うには(☞P.20)

■かんたん設定からパケット通信を選択する場合(その他のプロバイダを利用)

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。

※高速パケット通信について(☞P.15)

1 P.15の操作1～4を行う

- 操作3の接続先は[その他]を選択します。

2 接続名を入力▶[接続先(APN)設定]をクリック



- [接続名]欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥ / : ＊ ? ! < > | ”
- お買い上げ時、[接続先(APN)の選択]には、moperaに接続するための接続先(APN)、[mopera.ne.jp]が選択されています。
- [発信者番号通知を行う]を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定(TCP/IPの設定)

- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバーの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先(APN)を設定

- お買い上げ時、番号(cid) 1にはmoperaに接続するための接続先(APN)、[mopera.ne.jp]が、番号(cid) 3にはmopera Uに接続するための接続先(APN)、[mopera.net]が設定されています。※

1. [追加]をクリックする。
   接続先(APN)の追加画面が表示されます。
2. [接続先(APN)]にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力して[OK]をクリックする。
   接続先(APN)設定画面に戻ります。

- [接続先(APN)]には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。

※ cidは10まで登録可能です。

4 [接続先(APN)設定]の画面▶[OK]をクリック

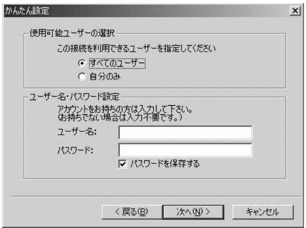
次ページへ続く ▶▶

- 操作２の画面に戻ります。[接続先（APN）の選択]には、操作３で設定した接続先（APN）が表示されます。

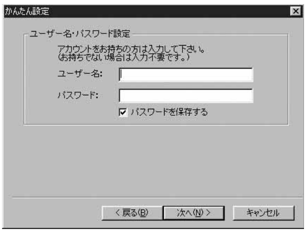
5 [接続先（APN）の選択]で接続先名（APN）を確認 ▶ [次へ]をクリック

6 [ユーザー名]・[パスワード]を設定 ▶ [次へ]をクリック

- [ユーザー名]・[パスワード]の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、ご利用のパソコンにログオンできるユーザーに対して、使用可能なユーザーを選択します。

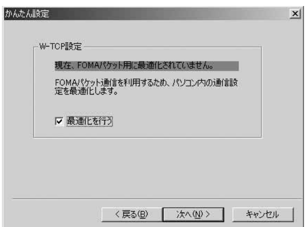


Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

7 [最適化を行う]が☑であることを確認 ▶ [次へ]をクリック



- パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認 ▶ [完了]をクリック

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  [デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

9 [完了]の画面 ▶ [OK]をクリック

- W-TCPの設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]を選択します。
- 通信を行うには（☞P.20）

■かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合（mopera Uまたはmoperaを利用）

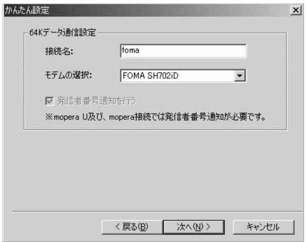
64Kデータ通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。

1 P.15の操作１～４を行う

- 操作２の接続方法は［64Kデータ通信］を選択します。

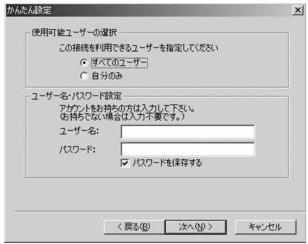
2 接続名の入力とモデムを選択▶［次へ］をクリック



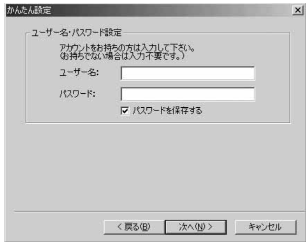
- ［接続名］欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥ / : ＊ ? ! < > | ”
- ［モデムの選択］が［FOMA SH702iD］に設定されていることを確認してください。

3 ［次へ］をクリック

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、［ユーザー名］と［パスワード］については空欄でもかまいません。。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択します。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認▶［完了］をクリック

- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。［デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する］が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。

5 ［完了］の画面▶［OK］をクリック

- 通信を行うには（☞P.20）

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合（その他のプロバイダを利用）

64Kデータ通信※の設定を行います。

※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。

1 P.15の操作１～４を行う

- 操作２の接続方法は[64Kデータ通信]、操作３の接続先は[その他]を選択します。

2 各項目を設定▶[次へ]をクリック



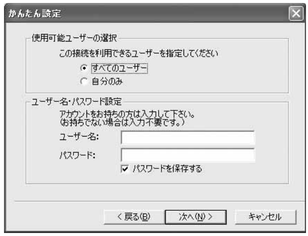
- ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。
  - ■ 接続名：任意
  - ■ モデムの選択：FOMA SH702iD
  - ■ 電話番号：
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 入力できる文字は次のとおりです。
０１２３４５６７８９ＡＢＣＤＰＴＷａｂｃｄｐｔｗ！＠＄-．（）＋＊＃，&および半角スペース
- [発信者番号通知を行う]を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

高度な設定（TCP/IPの設定）

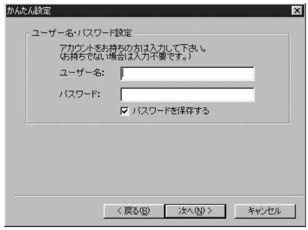
- [詳細情報の設定]をクリックするとIPアドレス・ネームサーバー設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 [ユーザー名]・[パスワード]を設定▶[次へ]をクリック

- [ユーザー名]・[パスワード]の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選択します。



Windows XP、2000 Professionalの場合



Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認▶[完了]をクリック

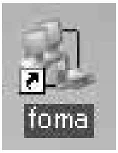
- 設定した内容が一覧画面で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
[デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する]が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。

5 [完了]の画面▶[OK]をクリック

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

接続画面が表示されます。
接続アイコン名には、設定を行ったときに作成した接続名が表示されます。



アイコンはOSによって異なります。

2 接続を実行



Windows XPの画面です。他のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

- mopera Uまたはmoperaを選択した場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でもかまいません。
- P.19の操作3で[ユーザー名]・[パスワード]を入力した場合は、その情報が入力されています。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、[ユーザー名]・[パスワード]を入力して[ダイヤル]をクリックします。
- ユーザー名とパスワードを保存する項目を☑にすると、次回からは入力の必要がなくなります。

お知らせ

- デスクトップに接続アイコンがないとき
  (Windows XP)
  [スタート]メニュー▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ネットワーク接続]をクリック
  (Windows 2000 Professional)
  [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリック
  (Windows Me、98)
  [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ダイヤルアップネットワーク]をクリック
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

タスクトレイの[ ]をダブルクリック▶[切断]をクリック

- 接続が切断されます。

W-TCP設定

W-TCPの役割

W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

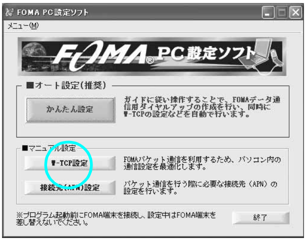
最適化の設定と解除

64Kデータ通信する場合やFOMA端末以外で通信をおこなう場合は最適化を解除してください。

● Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 **FOMA PC設定ソフトを起動▶[W-TCP設定]をクリック**



タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

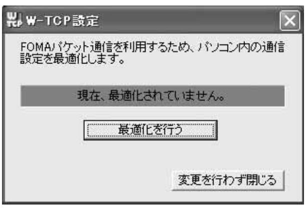
- タスクトレイの[W TCP]をクリックし、W-TCP設定を起動してください。



2 **次の操作を行う**

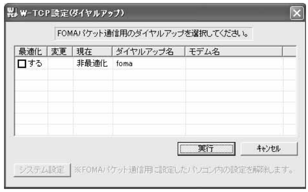
システム設定が最適化されていない場合

- 次の画面が表示されます。
  [最適化を行う]をクリックすると、W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面が表示されます。
  最適化するダイヤルアップを選択して[実行]をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
  システム設定は、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。



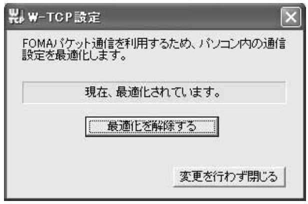
システム設定が最適化されている場合

- 次の画面が表示されます。
  内容を変更する場合は設定を行ってください。
  変更した内容はパソコンを再起動したあと、有効になります。



最適化を解除する場合

- W-TCP設定(ダイヤルアップ)画面で[システム設定]をクリックします。
  次の画面が表示されます。
  [最適化を解除する]をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が解除されます。



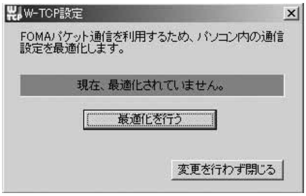
● Windows 2000 Professional、Me、98の場合

1 ☞**P.21「Windows XPの場合」**の操作1を行う

2 次の操作を行う

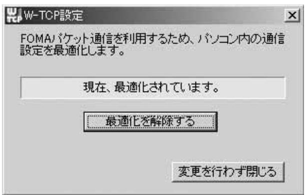
システム設定が最適化されていない場合

● 次の画面が表示されます。
[最適化を行う]をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、パソコンの再起動を実行してください。



システム設定が最適化されている場合

● 次の画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]をクリックしてください。パソコンの再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、パソコンの再起動を実行してください。



接続先（APN）の設定

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み



［接続先（APN）設定］をクリックし、FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。（FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。）また、設定情報はツールバーから［ファイル］▶［FOMA端末から設定を取得］を順に選んでも読み込むことができます。

接続先（APN）の追加・編集・削除

接続先（APN）を追加する場合

接続先（APN）設定画面で、［追加］をクリックします。

登録済みの接続先（APN）を編集または修正する場合

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選んで［編集］をクリックします。

登録済みの接続先（APN）を削除するには

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選んで［削除］をクリックします。

- 番号（cid）の１と３に登録されている接続先（APN）は削除できません。（番号（cid）の３を選択して、「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや編集中の接続先（APN）設定を保存したい場合は、ツールバーの［ファイル］からの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの［ファイル］からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

接続先（APN）設定画面で、［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックすると、編集または読み出した接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面で追加・編集された接続先（APN）を選んで［ダイヤルアップ作成］をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面が表示されます。
任意の接続名を入力して［アカウント・パスワードの設定］をクリックします。（mopera Uまたはmoperaの場合、［アカウント・パスワードの設定］は任意です。）
［ユーザー名］と［パスワード］を入力して（Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーを選んで）［OK］をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。
設定を入力後、［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信を設定する方法について説明します。
設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

- ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先（APN）の設定はありません。

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する（操作２～５）

↓

接続先（APN）の設定をする（☞P.25の操作６～７）	発信者番号通知／非通知を設定する（☞P.26）	ダイヤルアップネットワークを設定する（☞P.27）

↓

通信ソフトを終了する（☞P.25の操作７）

お知らせ

- パケット通信／64Kデータ通信の設定をする前に通信設定ファイルをインストールしてください。（☞P.5）
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先（APN）の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください。（mopera Uまたはmoperaをご利用の場合、[通知]に設定する必要があります。）お買い上げ時は、[設定なし]に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は１～10のcid（☞P.25）という番号で管理されます。お買い上げ時、cidの１番にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」、cidの３番にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されていますので、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

<例>Windows XPの場合

1 **FOMA端末をパソコンに接続**

2 [スタート]メニュー▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ハイパーターミナル]をクリック

- ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000 Professional、Meの場合

- [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ハイパーターミナル]をクリック

Windows 98の場合

- [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ハイパーターミナル]▶[hypertrm.exe]をクリック

3 [名前]に接続先名など任意の名前を入力▶[**OK**]をクリック



電話番号の詳細設定画面が表示されます。

次ページへ続く

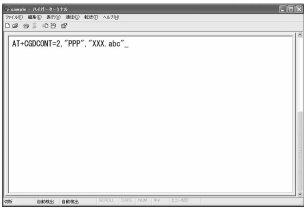
4 [接続方法]▶[FOMA SH702iD]▶[電話番号]に実在しない電話番号([0]など)を仮入力▶[OK]をクリック



- 市外局番には、Windowsに設定されている値[03]などが表示されますが、接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

5 接続画面が表示されたら、[キャンセル]をクリック

6 接続先(APN)を入力▶↵



- 「AT+CGDCONT=<cid>, "PPP","APN"」の形式で入力します。(☞P.39)
  <cid> ： 2、4～10までのうち任意の番号を入力します。
  "PPP" ： そのまま"PPP"と入力します。
  "APN"： 接続先(APN)の名称を" "で囲んで入力します。
- [OK]と表示されると、APNの設定は完了です。
- 現在の接続先(APN)設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?↵」と入力すると、接続先(APN)設定が一覧画面で表示されます。

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

- ATE1↵
  詳しくは：☞P.42

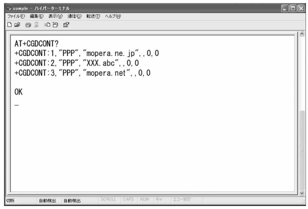
ATコマンドで接続先(APN)設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT=↵ ：すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>↵：特定のcidのみリセットします

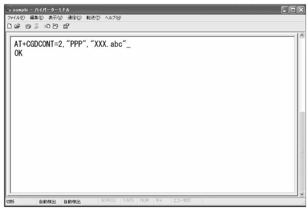
リセットした場合、<cid>= 1は「mopera.ne.jp」(初期値)、<cid>=3は「mopera.net」(初期値)に戻り、<cid>= 2、4～10の設定は未登録になります。

ATコマンドで接続先(APN)設定を確認する場合

- AT+CGDCONT?↵
  詳しくは：☞P.39



7 [OK]が表示されていることを確認▶[ファイル]メニュー▶[ハイパーターミナルの終了]



ハイパーターミナルが終了します。

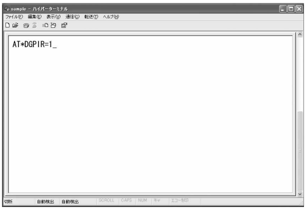
- [セッション×××を保存しますか？]と表示されますが、保存する必要はありません。

発信者番号の通知／非通知を設定する

お客様の電話番号（発信者番号）は大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

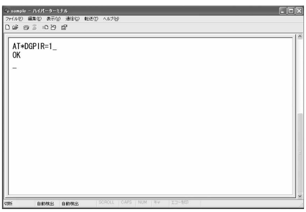
1 P.24の操作１～５を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定



- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します。（☞P.39）
  AT*DGPIR=1⏎：
  　パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2⏎：
  　パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 [OK]が表示されたことを確認



■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	*DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
*99***1#	設定なし（初期値）	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***1#	設定なし（初期値）	非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される）
	非通知	
	通知	
186*99***1#	設定なし（初期値）	通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「186」（通知）／「184」（非通知）を[設定なし]（初期値）に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を[通知]に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

■接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先（APN）設定をしておきます。接続先（APN）設定で1～10の管理番号（cid）に接続先（APN）を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先（APN）設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号（メモリ番号）	1～10の管理番号（cid）
相手の名前	接続先の名前（接続先（APN））
相手の電話番号	*99***<cid>#

たとえば、moperaの接続先（APN）、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

*99***1#：　cid1に登録した接続先（APN）に接続します。
*99#でも接続できます。

*99***2#：　cid2に登録した接続先（APN）に接続します。
〜
*99***10#：　cid10に登録した接続先（APN）に接続します。

お買い上げ時、cid1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。moperaまたはmopera Uの接続先（APN）以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。（☞P.25）

64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 64Kデータ通信をご利用の場合のアクセスポイントの電話番号は、mopera Uをご利用の場合「*8701」、moperaをご利用の場合「*9601」です。
- パケット通信をご利用の場合の接続先番号は、mopera Uをご利用の場合「*99***3#」、moperaをご利用の場合「*99***1#」です。（お買い上げ時）

■Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先（APN）とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 ［スタート］メニュー▶［すべてのプログラム］▶［アクセサリ］▶［通信］▶［ネットワーク接続］をクリック

2 ［ネットワークタスク］▶［新しい接続を作成する］をクリック

3 ［次へ］をクリック

4 ［インターネットに接続する］▶［次へ］をクリック

5 ［接続を手動でセットアップする］▶［次へ］をクリック

6 ［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］▶［次へ］をクリック

7 ［モデム－**FOMA SH702iD（COMx）**］▶［次へ］をクリック

- 「x」には数字が入ります。
- ［FOMA SH702iD］以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

8 ［**ISP**名］に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリック



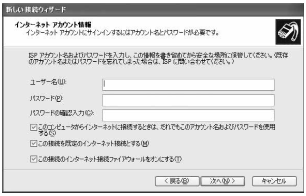
次ページへ続く▶▶

9 [電話番号]に接続先の番号を入力▶[次へ]をクリック



- ここでは<cid>=1(mopera)への接続のため、「*99***1#」を入力します。

10 各項目を画面例のように設定▶[次へ]をクリック



- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でもかまいません。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、ご加入のプロバイダや、社内LANなどの入力指示情報を元に、ユーザー名とパスワードを入力してください。

11 [新しい接続ウィザードの完了]が表示されたら、[完了]をクリック

12 設定内容を確認▶[キャンセル]をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

13 作成した接続先アイコンを選択▶[ファイル]メニュー▶[プロパティ]

14 [全般]タブの各項目の設定を確認



- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH702iD]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH702iD]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

15 [ネットワーク]タブをクリック▶各項目の設定を確認▶[設定]をクリック



- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- [この接続は次の項目を使用します]の欄は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。
- インターネットサービスプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

16 すべての項目を□にする▶[**OK**]をクリック



接続先のプロパティ画面に戻ります。

次ページへ続く▶▶

17 [プロパティ]の画面で[**OK**]をクリック

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

- ダイヤルアップ接続するとき：☞P.34

Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリック

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする。

- この画面は[新しい接続の作成]をはじめてダブルクリックしたときに表示されます。
  2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 [市外局番]を入力して[**OK**]をクリック

4 [**OK**]をクリック

5 [次へ]をクリック

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]▶[次へ]をクリック

7 [インターネット接続を手動で設定する、またはローカルエリアネットワーク(**LAN**)を使って接続します]▶[次へ]をクリック

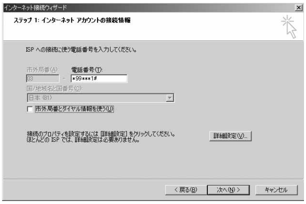
8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]▶[次へ]をクリック

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[**FOMA SH702iD**]に設定されていることを確認▶[次へ]をクリック

- [FOMA SH702iD]に設定されていない場合は、[FOMA SH702iD]に設定してください。
- [FOMA SH702iD]以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

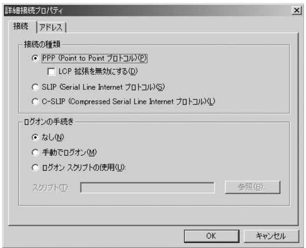
次ページへ続く▶▶

10 [電話番号]に接続先の番号を入力 ▶ [詳細設定]をクリック

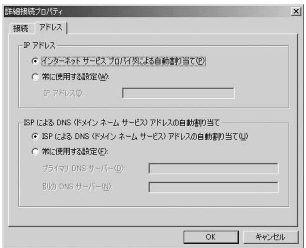


● [市外局番とダイヤル情報を使う]が☐になっていることを確認します。☑の場合は☐にします。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定



12 [アドレス]タブをクリック ▶ 各項目を画面例のように設定



● インターネットサービスプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

13 [OK]をクリック

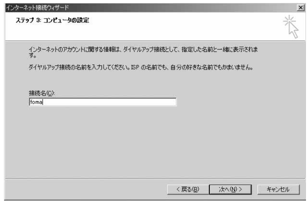
14 [次へ]をクリック

15 各項目の設定を確認 ▶ [次へ]をクリック

● mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でもかまいません。

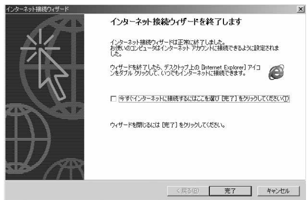
● mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、ご加入のプロバイダや、社内LANなどの入力指示情報を元に、ユーザー名とパスワードを入力してください。

16 [接続名]に任意の接続名を入力 ▶ [次へ]をクリック



17 [いいえ] ▶ [次へ]をクリック

18 [今すぐインターネットに接続するにはここを選んで[完了]をクリックしてください]を☐にする ▶ [完了]をクリック



● ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。

19 作成した接続先アイコンを選んで[ファイル]メニュー ▶ [プロパティ]をクリック

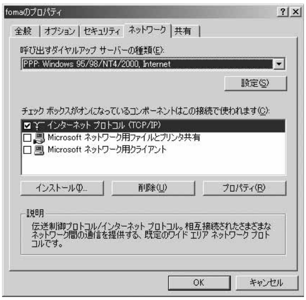
次ページへ続く ▶▶

20 [全般]タブの各項目の設定を確認



- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]の[FOMA SH702iD]が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。また、[FOMA SH702iD]以外のモデムの☑を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。

21 [ネットワーク]タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認



- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet]に設定します。
- コンポーネントは[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみを☑にします。

22 [設定]をクリック

23 すべての項目を□にする ▶ [OK]をクリック



- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

24 [OK]をクリック

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するときは☞P.34

■Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

<例><cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 [スタート]メニュー ▶ [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [通信] ▶ [ダイヤルアップネットワーク]をクリック

- はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 [次へ]をクリック

3 [新しい接続]をダブルクリック

4 [接続名]に任意の接続名を入力 ▶ [次へ]をクリック



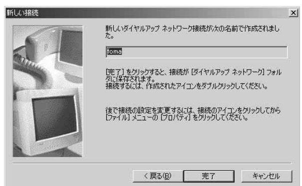
- [モデムの選択]が[FOMA SH702iD]に指定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH702iD]に設定してください。

5 接続先の番号を入力 ▶ [次へ]をクリック



- [市外局番]欄には何も入力しません。

6 接続先名を確認 ▶ [完了]をクリック



接続先が設定されます。

次ページへ続く ▶▶

7 作成した接続先アイコンを選択▶[ファイル]メニュー▶[プロパティ]

8 [全般]タブの各項目の設定を確認



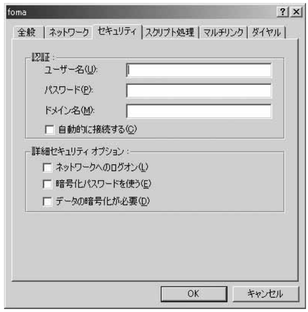
- [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]が□になっているか確認します。☑の場合は□にします。
- [接続方法]が[FOMA SH702iD]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH702iD]に設定してください。

9 [ネットワーク]タブをクリック▶各項目の設定を確認



- [ダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]に設定します。
- [使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみを☑します。
- インターネットサービスプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 [セキュリティ]タブをクリック▶各項目の設定を確認▶[**OK**]をクリック



TCP/IPが設定されます。

- mopera Uまたはmoperaをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でもかまいません。
- mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合の[ユーザー名]と[パスワード]は、ご加入のプロバイダや、社内LANなどの入力指示情報を元に、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- ダイヤルアップ接続するときは☞P.34

■Windows 98でダイヤルアップネットワークの設定をする

<例><cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

1 [スタート]メニュー▶[プログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ダイヤルアップネットワーク]をクリック

- はじめて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 [次へ]をクリック

3 [新しい接続]をダブルクリック

4 [接続名]に任意の接続名を入力▶[次へ]をクリック



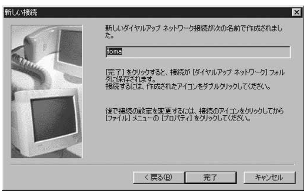
- [モデムの選択]が[FOMA SH702iD]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH702iD]に設定してください。

5 接続先の番号を入力▶[次へ]をクリック



- [市外局番]欄には何も入力しません。

6 接続先名を確認▶[完了]をクリック



7 作成した接続先アイコンを選択▶[ファイル]メニュー▶[プロパティ]

8 [全般]タブの各項目の設定を確認



- [市外局番とダイヤルのプロパティを使う]が☐になっているか確認します。☑の場合は☐にします。
- [接続の方法]が[FOMA SH702iD]に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、[FOMA SH702iD]に設定してください。

9 [サーバーの種類]タブをクリック▶各項目の設定を確認



- [ダイヤルアップサーバーの種類]は[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]に設定します。
- [使用できるネットワークプロトコル]は[TCP/IP]のみを☑にします。
- インターネットサービスプロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 [OK]をクリック

- TCP/IPが設定されます。

ダイヤルアップ接続する

<例>Windows XPでダイヤルアップ接続する場合

1 FOMA端末をパソコンに接続

2 [スタート]メニュー▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[ネットワーク接続]をクリック

3 接続先のアイコンをダブルクリック



● 接続先のアイコンを選択して[接続]メニューの[接続]を選択すると、接続画面が表示されます。

4 各項目を確認▶[接続]をクリック



● [電話番号]には「ダイヤルアップネットワークを設定する」(☞P.27)で設定した電話番号が表示されます。
● 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、[ユーザー名]と[パスワード]については空欄でもかまいません。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

タスクトレイの[ ]をダブルクリック▶[切断]をクリック

● 接続が切断されます。

データの送受信(OBEX)について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

● FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信(OBEXによるデータの送受信)を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、ToDoリスト、送信メール(SMS含む)、受信メール(SMS含む)、未送信メール(SMS含む)、テキストメモ、メロディ、マイピクチャ、iモーション、ブックマークのデータを送受信できます。また、FOMA SH702iDには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりできます。
また、miniSDメモリーカード経由でもデータを転送できます。
● FOMA端末では、次の3通りのデータ送信が可能です。
  ■ パソコンからFOMA端末にデータを1件ずつ送信する(1件書き込み)
  ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する(全件書き込み)
  ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する(全件読み出し)
● データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモードやiモードメール、パケット通信などはできません。
● データの送受信終了後、しばらく[ ]と表示される場合があります。

お知らせ

● FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● FOMA端末の電池をフル充電して、電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
● バッテリ駆動しているパソコンのバッテリ残量が少ないと、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画/iモーションを設定している場合は、動画/iモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。

次ページへ続く

お知らせ

- 通信中（音声通話やテレビ電話、データ通信）にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- FOMAカード内の電話帳は送信できません。
- 赤外線通信時、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画、ｉモーションはパソコンに送信できません。ただし、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が［あり］に設定されていても送信されます。
- ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 10001バイト以上500Kバイト以下のJPEG画像を添付したメールの添付データは削除して送信されます。
- オールロック、またはセルフモードが設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。PIMロックが設定されている場合、ロックされている機能のデータは受信できません。
- ダイヤル発信制限が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号［010］から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報（1件目の電話番号を除く）も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件送信を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。

データの送受信（OBEX）に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA SH702iD通信設定ファイルのインストール（☞P.5～P.8）が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA USB接続ケーブルが必要です。

お知らせ

- FOMA端末のデータの送受信（OBEX）機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを1件送信する（1件書き込み）

- パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（1件書き込み）の操作を行う

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき（パソコンからFOMA端末（本体）へ送信するとき）は電話帳のメモリ番号［010］～［749］の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。［010］～［749］がすべて登録されているときは、［000］～［009］の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときや750件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する（全件書き込み／全件読み出し）

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（全件転送）の操作を行う

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは 4 桁の数字を入力してください。

2 **FOMA**端末で、端末暗証番号（4 ～ 8 桁の数字）と認証パスワード（4 桁の数字）を入力

3 データ送信を開始

お知らせ

- パソコンからFOMA端末への全件書込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD*99***1#↵

リターンマーク:Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ:コマンドの内容です。

コマンド:コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、160文字(AT含む)まで入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作(下記参照)をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO↵と入力します。

※USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

[M]：FOMA SH702iD Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT%V⏎ Ver 1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：回路CDを常にON n=1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化（お買い上げ時） &C1に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、“NO CARRIER”を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1⏎ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード状態になる n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード状態になる（お買い上げ時）	AT&D1⏎ OK
AT&E<n> [M]	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：DTEシリアル通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E0⏎ OK
AT&F<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。※2	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&F⏎ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0⏎ OK
AT&W<n> [M]	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※2、※5	n=0のみ指定可能（省略可）	AT&W⏎ OK
AT*DANTE [M]	アンテナ本数をTEに表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DANTE:<m> <m> 0：FOMA端末にて圏外と表示される状態 1：FOMA端末にてアンテナ本数1本の状態 2：FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態 3：FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	AT*DANTE⏎ *DANTE:3 OK
AT*DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を[OFF]に設定（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定を[ON]に設定 n=2：着信許可設定を[ON]に設定	AT*DGANSM=0⏎ OK AT*DGANSM?⏎ *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加（<n>=0）あるいは削除（<n>=1）します。本コマンドで追加（削除）しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加（削除）できます。 n=0：リストへ追加（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。） n=1：リストから削除（<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。）	AT*DGAPL=0,1⏎ OK AT*DGAPL?⏎ *DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n>[,<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加(<n>=0)あるいは削除(<n>=1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0：リストへ追加(<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。) n=1：リストから削除(<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します。)	AT*DGARL=0,1↵ OK AT*DGARL?↵ *DGARL:1 OK
AT*DRPW [M]	MTFから通知される受信電力値を表示します。※2	本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 *DRPW:<m> m：0～75(受信電力の値)	AT*DRPW↵ *DRPW:0 OK
AT*DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186(通知)／184(非通知)を付けることができます。※2	n=0：パケット通信確立時、接続先(APN)にそのまま接続(お買い上げ時) n=1：パケット通信確立時、接続先(APN)に184を付けて接続 n=2：パケット通信確立時、接続先(APN)に186を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で186(通知)／184(非通知)を設定した場合について：☞P.26の表	AT*DGPIR=0↵ OK AT*DGPIR?↵ *DGPIR:0 OK
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。エスケープガード区間は、1秒の固定値です。※2	―	(通信中) +++(表示は見えない) OK
AT+CACM=[<passwd>] [M]	FOMAカードに記録される累積課金値をリセットします。※2	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、FOMAカードに記録される累積課金値をリセットします。 <passwd>：SIM PIN2 ※ ストリングパラメータであり、入力時は”で囲みます。	AT+CACM="0123"↵ OK
AT+CAOC[=<mode>] [M]	現在の課金値の問い合わせを行います。※2	<mode> 0：現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは以下の書式とします。 +CAOC:"<ccm>"	AT+CAOC↵ +CAOC:"00001E" OK
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。※2	「切断理由一覧」を参照。(☞P.45)	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先(APN)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.45)	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.45)
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.46)	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.46)
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.46)	「ATコマンドの補足説明」を参照。(☞P.46)
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	―	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n> [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	<n> 0：設定しない（お買い上げ時） 1：設定する AT+CGREG=1に設定すると、"+CGREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは、0,1,4,5をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CGREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。※2	—	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=<n> [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	<n> 0：リザルトを出さない（お買い上げ時） 1：リザルトを出す 「AT+CLIP?」のとき、+CLIP:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK AT+CLIP?↵ +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=<n> [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2	<n> 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?のとき、 +CLIR:<n>,<m>を表示します。 <m> 0：CLIRは起動していない（常時通知） 1：CLIRは常時起動している（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリ・モード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリ・モード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0↵ OK AT+CLIR?↵ +CLIR:2,3 OK
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示する、または理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。 +CME ERROR:xxxx（xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」☞P.45）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。※2	number：電話番号 type　：129 もしくは145 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM:,"+819012345678",145 OK

次ページへ続く ▶▶

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に“CONNECT”のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、“GPRS”と表示され64Kデータ通信のときは“SYNC”と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しない （お買い上げ時） 1：回線接続時に表示する	AT+CR=1↵ OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない （お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=<n> [M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。※1	AT+CREG=1に設定すると、“+CREG:<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは0,1,4,5をサポートします。 <n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり <stat> 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏内（visitor）	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG?↵ +CREG:1,0 OK （圏外を意味している） +CREG:1 （圏外から圏内に移動した場合）
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [M]	付加サービスなどに関し、網側の設定を変更します。※1	<n> 0：中間リザルトを応答せず、OKを応答する （お買い上げ時） 1：中間リザルトを応答する <str> サービスコード ※詳しくは：☞『ネットワークサービス操作ガイド』 <dcs> 0：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx"↵ OK
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。※2	—	AT+GMI↵ SHARP OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH702iD）がアルファベットおよび数字で表示されます。※2	—	AT+GMM↵ FOMA SH702iD OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。※2	—	AT+GMR↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=<n,m> [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（<n>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う （お買い上げ時） DTE by DCE（<m>） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う （お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=<n> [M]	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。※1	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。※2	—	A/ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184↵」(発信者番号通知なし着信動作)および「ATA186↵」(発信者番号通知あり着信動作)を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
ATD [M]	発信処理を行います。※2、※3	● パケット通信ATD*99***<cid>#↵ ATD*99#を入力した場合： <cid>=1(お買い上げ時)を用います。(<cid>の入力を省略した場合は、<cid>=1になります。) ATD184*99***<cid>#で始まる書式を入力した場合： 指定した<cid>に規定した接続先(APN)に対して“184”が付加されます。(発信者番号通知ありの“186”でも同様の操作ができます。) ● 64Kデータ通信ATD[パラメータ]、[電話番号↵] 相手側の電話番号に、0～9、*、#、+、A、a、B、b、C、c、D、d、-(ハイフン)、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,(カンマ)以外を設定した場合は、発信できません。の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#↵ CONNECT
ATE<n> [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり(お買い上げ時) 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1↵ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。※2	―	(通信中) +++(表示は見えない) OK ATH↵ NO CARRIER
ATI<n> [M]	確認コードを表示します。※2	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示(FOMA SH702iD) n=2：製品のバージョンを“VerX.XX”などの形式で表示	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。※2	―	ATO↵ CONNECT
ATQ<n> [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：リザルトコードを表示する(お買い上げ時) n=1：リザルトコードを表示しない	ATQ0↵ OK
ATV<n> [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：リザルトコードを数字表記で表示 n=1：リザルトコードを英文字表記で表示(お買い上げ時)	ATV1↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n> [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ<n> [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※2、※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 n=0のみ指定可能（省略可）	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=<n> [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信しない（お買い上げ時） n=1～255　：指定したリング数で自動着信する	ATS0=0↵ OK
ATS2=<n> [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=<n> [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=13）	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=<n> [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、CRキャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=10）	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=<n> [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=8）	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=<n> [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS7=<n> [M]	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンからATD入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに“CONNECT”を送出できない場合は、“NO CARRIER”のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を121～255に設定した場合、“OK”のリザルトを返しますが、値は120に設定されます。	ATS7=60↵ OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS8=<n> [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=<n> [M]	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。（1/10秒）※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=<n> [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=<n> [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：*アスタリスク n=1：/スラッシュ （お買い上げ時） n=2：¥マーク あるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=<n> [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT\S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。※2	―	AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT\V<n> [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド（☞P.43）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない （お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V1↵ OK

※1　AT&Wコマンドで FOMA端末に記憶されます。
※2　AT&Wコマンドで FOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。
※3　ATDN↵やATDL↵でリダイヤル発信ができます。
※4　AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。
※5　AT&Wコマンドで FOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとして FOMA端末に格納されます。

切断理由一覧

パケット通信

値	理　由
27	接続先（APN）が存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するＩＣカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]⏎

パラメータ説明

<cid>＊　：1～10
<APN>＊　：任意

<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。

実行例

「abc」という接続先（APN）名を登録する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"⏎
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1および3の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

■コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
AT&Wコマンドでfoma端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]↵

パラメータ説明

<cid>＊　：１～10
<Maximum bitrate UL>＊　：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>＊　：なし（初期値）または384

<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=１にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。［Maximum bitrate UL］および［Maximum bitrate DL］では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。［なし（お買い上げ時）］に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますので、ご注意ください。

実行例

以下の４パターンのみ設定できます。（１）の設定が各cidに初期値として設定されています。

（１）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGEQMIN=2↵
OK

（２）上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK

（３）上り64kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64↵
OK

（４）上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。
AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid>]↵

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>＊：１～10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

実行例

<cid>=3の場合
AT+CGEQREQ=3↵
OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手側と接続しました。
2	RING	着信を検出しました。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。

お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド（☞P.42）がn=1に設定されている場合は英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT￥V<n>コマンド（☞P.44）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

　文字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　CONNECT
　数字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　1

ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

　文字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　1 21

● ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞PACKET＜接続先（APN）＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞

　文字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
　　　　　　　　（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
　数字表示例：　ATD*99***1#
　　　　　　　　1 21 5

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0のみでのご利用をおすすめします。